参考資料－２

葛飾区水と緑に関する

一般区民アンケート調査報告書

令和７年３月

目次

Ⅰ　調査の概要 1

1　目的 1
2　実施概要 1
3　調査内容 1
4　回収結果 1
5　報告書の見方 2
6　クロス集計の考え方 3

Ⅱ　回答者の属性 5

Ⅲ　結果の概要 8

Ⅳ　各設問の集計結果 10

1　緑について 10
（1）住まい周辺の緑の量 10
（2）住まい周辺で緑が多いまたは身近に感じる場所 13
（3）住まい周辺で緑が増えたと感じる場所 21
（4）住まい周辺で緑が減ったと感じる場所 29
（5）今後増やしていく必要があると感じる緑 37
（6）「まちの魅力を高める」という要素としての満足度 44
（7）緑があってよかったと感じる時・よかったと感じることはない理由 47
（8）普段緑に触れる機会・触れる機会がない理由 59
（9）今後行いたい緑に関する活動 69
2　水辺について 75
（1）水辺の有効活用 75
（2）葛飾区内で親しみを感じる水辺 77
（3）水辺の利用状況 81
（4）今後行いたい水辺の利用方法 95
3　葛飾らしい緑と水辺の風景について 105
4　公園について 111
（1）住まい周辺の公園の量 111
（2）公園の利用状況 113
（3）身近な公園に望むこと 127
5　期待する区の施策 135
（1）区の施策の認知状況 135
（2）区内の緑に関して区役所に期待する取組 145
（3）区内の水辺に関して区役所に期待する取組 155

（４）区内の公園に関して区役所に期待する取組.....164
（５）区民が緑や水辺とふれあう機会を増やすため区役所に期待する取組.....174
６　協働への意識.....179
（１）緑化推進や水辺の活用によるまちの魅力向上のための協働の取組の必要性.....179
（２）緑や水辺によって、まちを今よりも魅力的なものにするためにしてみたいこと 181
７　自由意見 229

Ⅴ　考察 230

１　緑に対する意識 230
（１）全般 230
（２）まちの魅力を高めるという要素としての緑の満足度による意識の違い 232
２　水辺に対する意識.....234
３　公園に対する意識.....234
４　区の取組に対する認知度と期待.....235
５　協働への意識.....236
（１）全般 236
（２）世代別の意識・意向.....236
６　地区別の特徴.....238

資料　調査票(WEB 回答フォーム) 240

Ⅰ　調査の概要

1　目的

（仮称）葛飾区水と緑の基本方針・実施プランの策定に当たり、次の事項について、区民の意識、意向を把握することを目的として実施した。

・緑・水辺に対する意識・評価の把握
・緑・水辺と接する機会・利用方法の把握
・区の取組の方向性に関する意向把握
・協働への意識の把握

2　実施概要

（1）調査対象　葛飾区在住、満 18 歳以上のインターネットリサーチ会社モニター
（区内 7 地区の人口構成比に応じて回答者数を設定）
（2）調査方法　インターネットリサーチ会社のフォームによるオンライン回答
（調査実施機関：株式会社マクロミル）
（3）調査期間　令和 6 年 12 月 20 日（金）～令和 6 年 12 月 23 日（月）

3　調査内容

（1）緑について
（2）水辺について
（3）葛飾らしい緑と水辺の風景について
（4）公園について
（5）期待する区の施策
（6）協働への意識

4　回収結果

有効回収数　1,034 サンプル

5　報告書の見方

（1）図表内のｎとは、回答者総数（または該当設問での該当者数）のことである。

（2）集計は、小数点第２位を四捨五入している。したがって、数値の合計が 100.0%にならない場合がある。

（3）回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問は全ての比率を合計すると 100.0%を超える場合がある。

（4）標本誤差は以下の式で得られ、比率算出の基数（ｎ：回答者数)、回答の比率（Ｐ）によって誤差範囲が異なる。回答比率は、ある設問の１つの選択肢に対して得られた回答の割合である。定数 1.96 は、信頼度 95%と設定した場合の定数である。

$$b = 1.96\sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P\ (1-P)}{n}}$$

ｂ＝標本誤差　Ｎ＝母集団数　ｎ＝回答者数　Ｐ＝回答の比率　ｋ＝ 1.96

回答者数 n=1,034 人

母数集団 N=470,284 人（令和６年 12 月葛飾区人口合計）

回答比率(p) / n	90%または10%程度	80%または20%程度	70%または30%程度	60%または40%程度	50%程度
1,034	±1.83%	±2.44%	±2.79%	±2.98%	±3.04%
1,000	±1.86%	±2.48%	±2.84%	±3.03%	±3.10%
500	±2.63%	±3.50%	±4.01%	±4.29%	±4.38%
200	±4.16%	±5.54%	±6.35%	±6.79%	±6.93%
100	±5.88%	±7.84%	±8.98%	±9.60%	±9.80%

※上記の場合、ある設問の選択肢の回答率が 50%の場合、標本誤差は±3.04%（46.96%～53.04%）の範囲と考えることができる。

（5）クロス集計に関する説明における、「全体の集計結果より高い」「全体の集計結果より低い」は、全体の集計結果（%）と比較し 10 ポイント以上の差があることを表す。同様に「全体の集計結果よりやや高い」「全体の集計結果よりやや低い」は、全体の集計結果（%）と比較し５ポイント以上 10 ポイント未満の差があることを表す。回答者数（n）が 50 を下回る属性については、（４）の誤差を考慮し原則として言及していないが、世帯構成別の集計結果の一部において参考値として言及している場合がある。

6　クロス集計の考え方

設問ごとの単純集計のほか、以下のように年齢階層、居住地区等との比較の点から以下のクロス集計を行った。

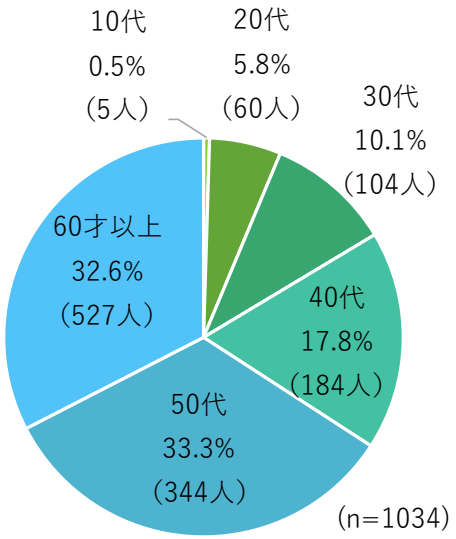
設問		属性				
		年齢	居住地域	世帯構成	住居形態	在住歴
1 緑について	（1）住まい周辺の緑の量［SA］	●	●			●
	（2）住まい周辺で緑が多いまたは身近に感じる場所［MA］	●	●			●
	（3）住まい周辺で緑が増えたと感じる場所［MA］	●	●			●
	（4）住まい周辺で緑が減ったと感じる場所［MA］	●	●			●
	（5）今後増やしていく必要があると感じる緑［MA］	●	●			
	（6）「まちの魅力を高める」という要素としての満足度［SA］	●	●			●
	（7）①緑があってよかったと感じる時［MA］	●	●	●		●
	②「よかったと感じることは、あまりない」を選択した理由［MA］	●	●			
	（8）①普段緑に触れる機会［MA］	●	●	●	●	
	②緑に触れる機会はない理由［MA］	●	●		●	
	（9）今後行いたい緑に関する活動［MA］	●	●	●	●	●
2 水辺について	（1）①水辺の有効活用［SA］	●	●			●
	②選択した理由［FA］					
	（2）葛飾区内で親しみを感じる水辺［MA］	●	●			●
	（3）①水辺の利用方法［MA］	●	●	●		
	②水辺の利用頻度［SA］	●	●	●		
	③最も多く利用する時間帯［SA］	●	●	●		
	④水辺を利用する機会を持たない理由［MA］	●	●			
	（4）今後行いたい水辺の利用方法［MA］	●	●	●		●
3 風景	（1）葛飾らしいまたは葛飾の魅力だと感じる、緑や水辺の風景［MA］	●	●			●
4 公園について	（1）住まい周辺の公園の量［SA］	●	●			●
	（2）①公園の利用方法［MA］	●	●	●		
	②公園の利用頻度［SA］	●	●	●		
	③最も多く利用する時間帯［SA］	●	●	●		
	④公園を利用しない理由［MA］	●	●			
	（3）身近な公園に望むこと［MA］	●	●	●		

設問		属性				
		年齢	居住地域	世帯構成	住居形態	在住歴
5 期待する区の施策	（1）区の施策の認知状況［MA］	●	●	●		●
	（2）区内の緑に関して区役所に期待する取組［MA］	●	●	●		●
	（3）区内の水辺に関して区役所に期待する取組［MA］	●	●	●		●
	（4）区内の公園に関して区役所に期待する取組［MA］	●	●	●		●
	（5）区民が緑や水辺とふれあう機会を増やすため区役所に期待する取組［MA］	●	●	●		●
6 協働への意識	（1）緑化推進や水辺の活用によるまちの魅力向上のための協働の取組の必要性［SA］	●	●			●
	（2）①緑や水辺によって、まちを今よりも魅力的なものにするためにしてみたいこと［MA］	●	●		●	●
	②前問の取組の妨げになっていること［MA］	●	●			●
自由意見［FA］						

Ⅱ　回答者の属性

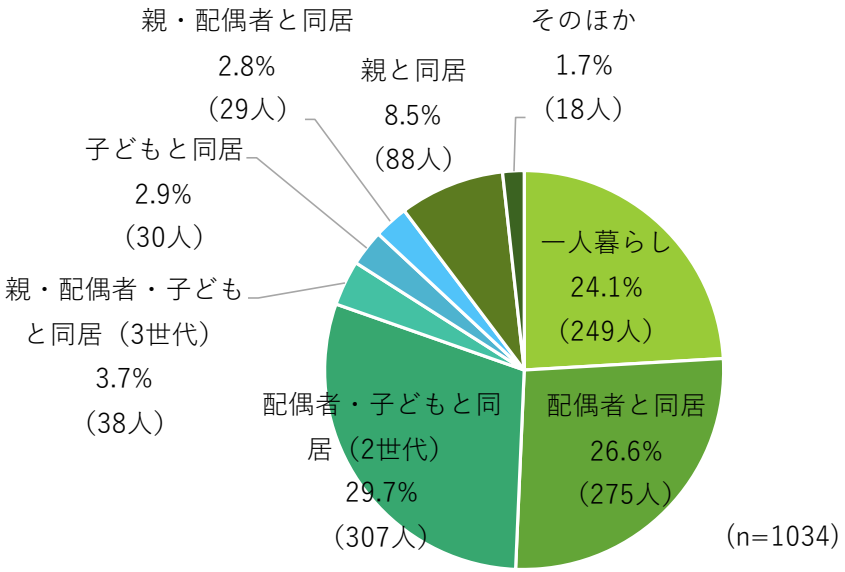
1　年齢

- 50 代（33.3%）が最も多く、次いで 60 才以上（32.6%）、40 代（17.8%）が多い。



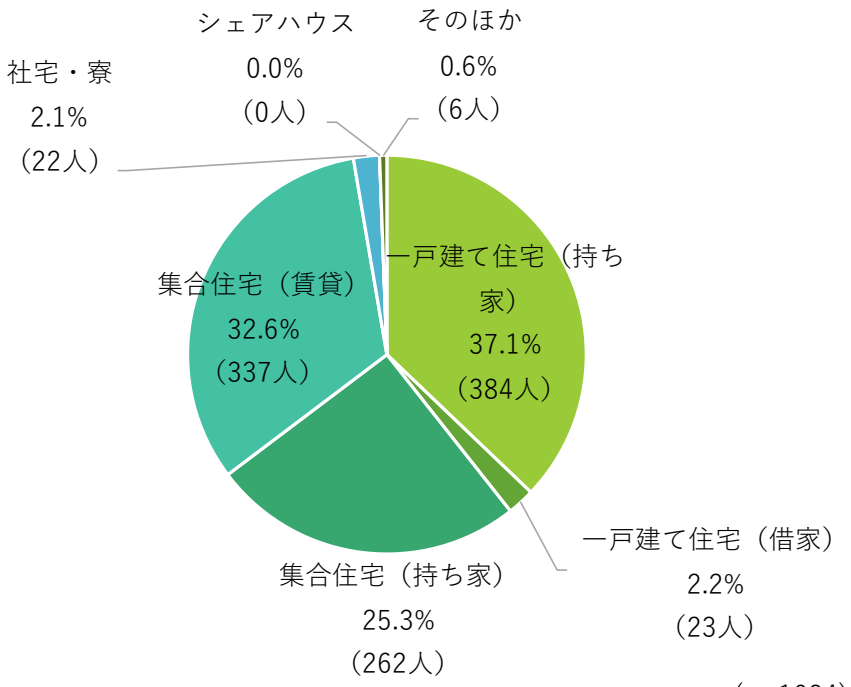
2　世帯構成

- 「配偶者・子どもと同居（2 世代）」（29.7%）が最も多く、次いで「配偶者と同居」（26.6%）、「一人暮らし」（24.1%）が多い。



3　住居形態

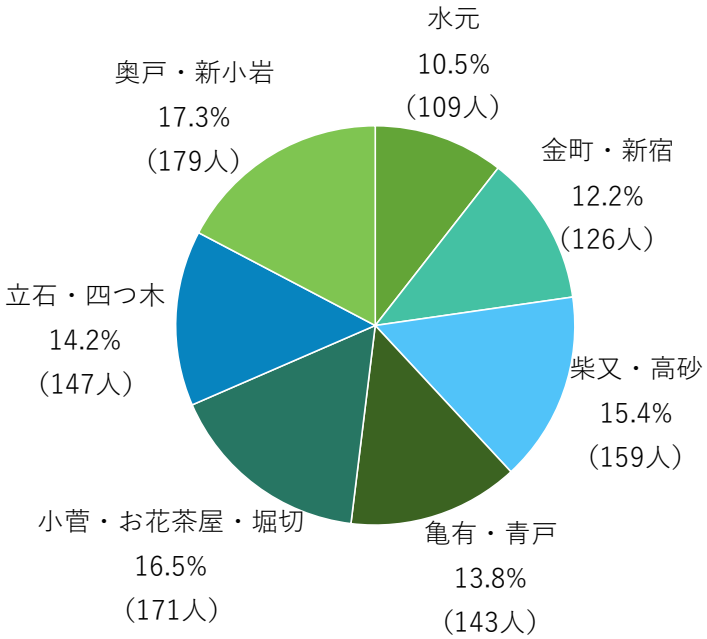
- 「一戸建て住宅（持ち家）」（37.1%）が最も多く、次いで「集合住宅（賃貸）」（32.6%）、「集合住宅（持ち家）」（25.3%）が多い。



（n=1034）

4　居住地

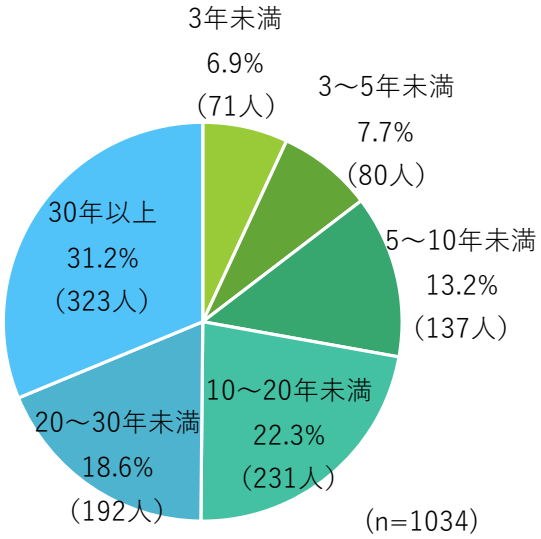
- 「奥戸・新小岩地区」（17.3%）、「小菅・お花茶屋・堀切地区」（16.5%）、「柴又・高砂地区」（15.4%）の順に多い。



（n=1034）

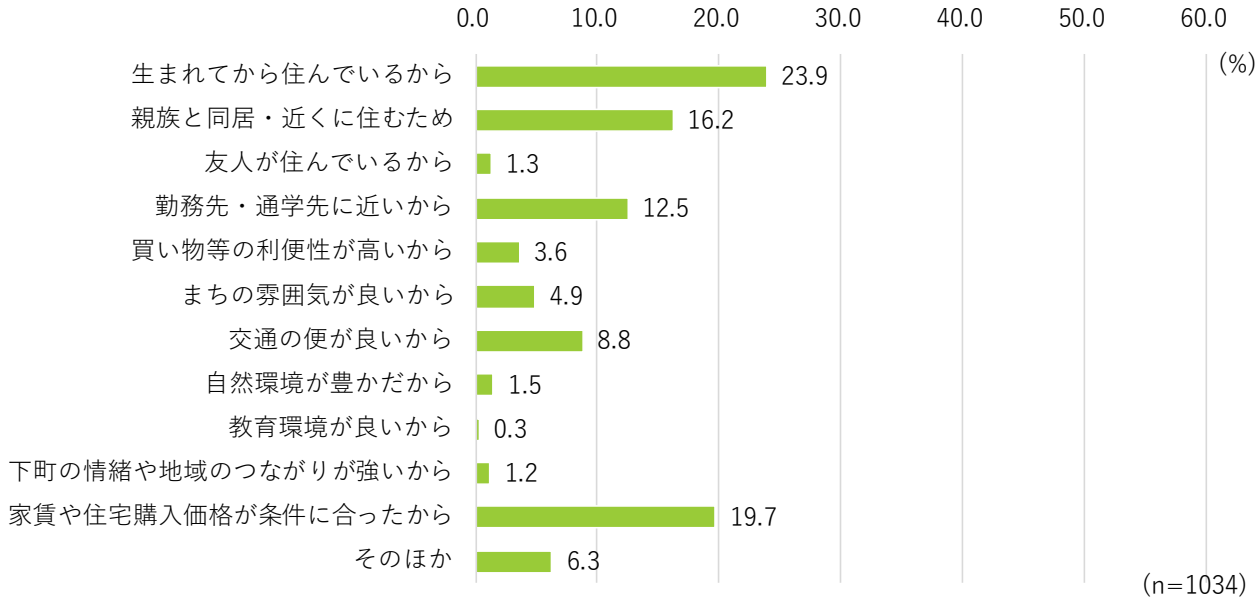
5　葛飾区在住歴

- 「30 年以上」（31.2%）が最も多く、次いで「10～20 年未満」（22.3%）、「20～30 年未満（18.6%）」が多い。



6　居住理由

- 「生まれてから住んでいるから」（23.9%）が最も多く、次いで「家賃や住宅購入価格が条件に合ったから」（19.7%）、「親族と同居・近くに住むため」（16.2%）が多い。



Ⅲ　結果の概要

1　緑・公園に対する意識（「緑について」「公園について」「協働への意識」の集計結果より）

【緑の量やまちの魅力としての満足度に対する意識】

- 実感として、住まい周辺には一定程度の緑があり、半数以上の回答者が過去 10 年を振り返って増えても減ってもいないと捉えている。また、まちの魅力を高める要素として不満に感じている割合は低い。
- 緑の量の多さに対する実感、まちの魅力としての満足度は、地区別の緑被率を大きくは乖離していない。
- 多くの回答者が、緑が多い・身近と感じる場所は「公園」で、今後増やしていく必要があると感じる緑は「公園の緑」「道路沿いの緑」である。
- 緑があってよかったこととして、緑のある景色に癒される、自然の豊かさが感じられる、快適に暮らせること、きれいな街並みが保たれることが選ばれている。

【緑と自身の関わり、区に期待する取組】

- 普段緑に触れる機会は「ない」が約 40%で、最も多い。
- 緑、公園に関するこれからの取組について、緑や水辺の保全・創出そのものよりも、場の活用（自然観察や各種イベントへの参加、イベントの企画に関心がやや高い）に関心が高い。
- 緑にふれる機会や、緑・公園などについて区に期待する取組は、「特にない」とする回答が一定数（２～３割）見られる。

【まとめ】

- 緑の量や、まちの魅力を高める要素として、現状に大きな不満はない。
- 緑は、公園、道路、河川沿いなど公共空間に「あるもの」で、緑があってよかったこととして、緑のある景色に癒される、自然の豊かさが感じられる、快適に暮らせるなど、効果を享受する意識がやや強く、自ら主体的に関わる意識はやや希薄である。
- 様々な設問に共通して「特にない」の回答が２～３割を占めており、緑そのものに関心がないと考えられる層も一定数存在する。
- 緑をまちの共有資産としてみんなで育てていくためには、意識の醸成が必要である。

2　水辺に対する意識（「水辺について」「葛飾らしい緑と水辺の風景」の集計結果より）

- 荒川・江戸川の河川敷、中川・新中川の親水テラスは、親しみを持つ存在となっている。
- 葛飾らしい緑と水辺の風景として、道路沿いのせせらぎも約３割の回答者が選んでいる。
- 水辺のネットワーク性を活かした散策、ウォーキング、ジョギングなど健康づくりといった利用が主になされており、今後したい利用方法もほぼ同じ傾向となっている。

【まとめ】

- 水辺は親しみをもって受け止められており、区民が日常的に利用できる場として整備、活用していくことが重要である。
- 水辺の利用方法については、現在と今後に差がない。現在行っていることに満足しているか、もしくは現在の利用方法以外のイメージが持てていない可能性がある。また、現在は水辺を利用していないが、利用に関心を持っている層も１割程度存在している。水辺の活用を進めるに当たり、水辺の利用可能性について様々な試行などを展開し、区民の関心を高める取組が重要である。

3　区の取組に対する認知度と期待（「期待する区の施策」の集計結果より）

- 区役所の取組について、「知っている取組は無い」とした回答者が５割弱。認知度が比較的高い取組は、区民農園、花いっぱいのまちづくり活動（約２割が認知）。
- 緑については「街路樹や公共施設の緑の維持管理の充実」、水辺については「水辺に近づきやすくなるよう、施設の整備や改修を行う」、公園については「古くなった公園をリニューアル」「歩いて行ける身近な公園を増やす」「木陰をつくる大きな樹木を増やす」などが選ばれており、整備も求められる一方で、現在ある資源を適切に維持または育成、リニューアルする取組へのニーズも高い。

【まとめ】

- 区の取組が区民にあまり知られていないことから、区の取組をはじめ、身近な緑や水辺について知る機会を設けていくことが重要である。
- 総体としては、既存のストックを適切に維持または育成、再生していくことがやや重視されており、質を高めていくことが重要である。

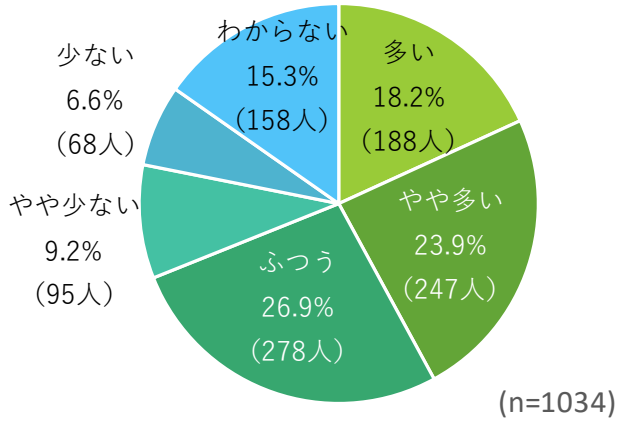
Ⅳ　各設問の集計結果

1　緑について

（1）住まい周辺の緑の量

Q　あなたのお住まい周辺は、緑が多いと感じますか。
　　また、そう思う理由は何ですか。

- 「ふつう」(26.9%) が最も多く、次いで「やや多い」(23.9%)、「多い」(18.2%) となっている。
- 「多い」「やや多い」の合計は 42.1%で、「少ない」「やや少ない」の合計 15.8%を上回っている。

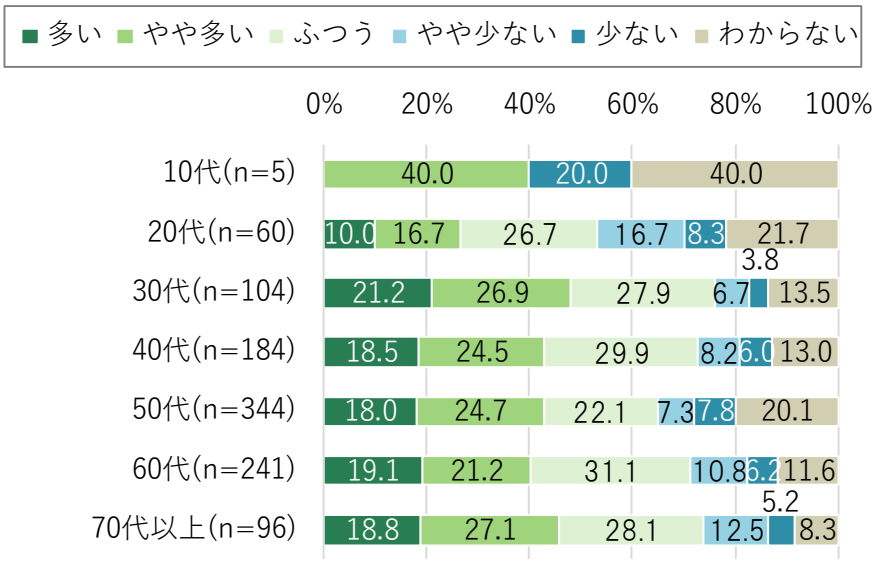


そう思う理由

多い・やや多い
● 水元公園があるから ● 江戸川土手がすぐ近くにあるので ● 公園が多い ● 親水公園があるから ● 街路樹など整備されているので など
少ない・やや少ない
● 小さい建物が密集していて植栽があまりないので ● 公園が少ない ● 街中の緑が失われてきている ● マンション開発の影響 ● 街路樹が減ったから など

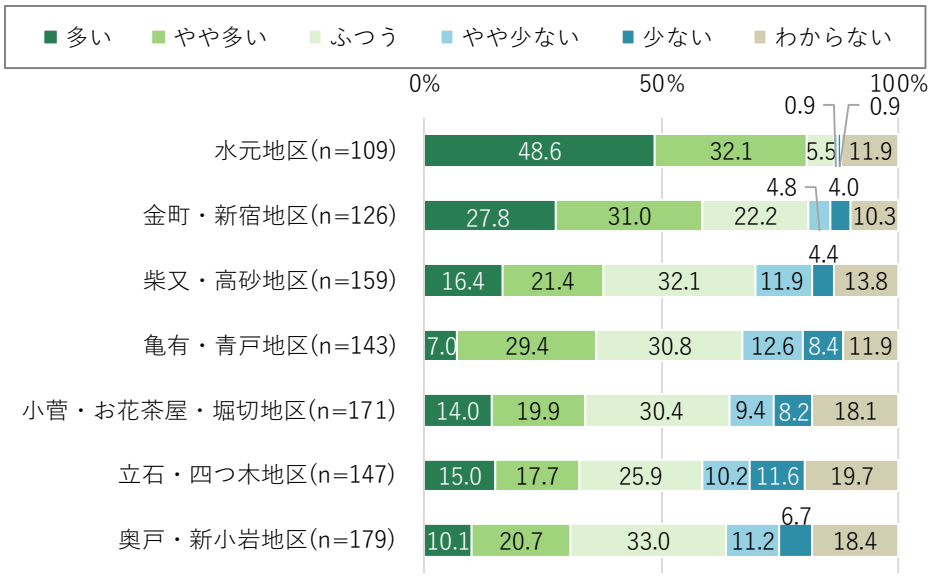
【年齢別】

- 20 代おいて「多い」と「やや多い」の合計が全体の集計結果より低く、「少ない」と「やや少ない」合計がやや高い。
- 30 代おいて「多い」と「やや多い」の合計が全体の集計結果よりやや高く、「少ない」と「やや少ない」合計がやや低い。



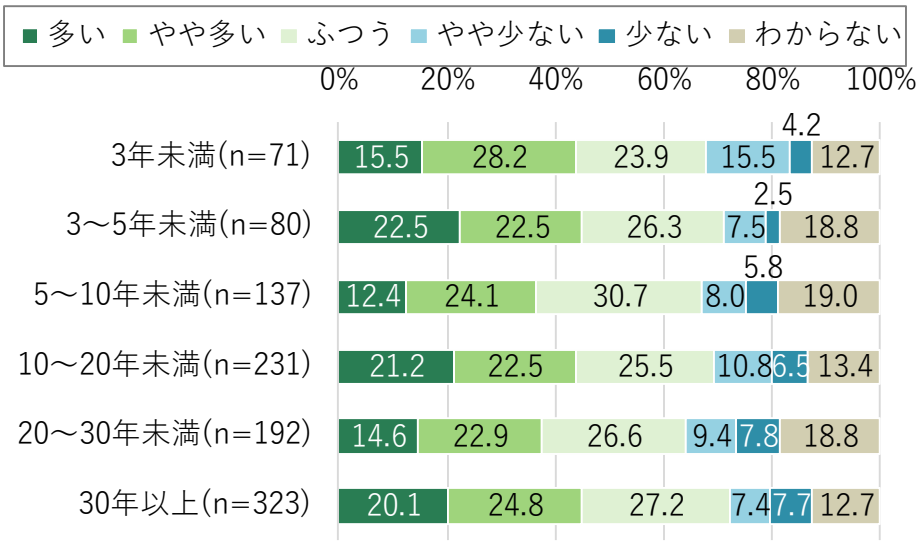
【居住地別】

- 水元地区、金町・新宿地区において「多い」と「やや多い」の合計が全体の集計結果より高い。また、水元地区は「少ない」と「やや少ない」合計が全体の集計結果より低く、金町・新宿地区はやや低い。
- 亀有・青戸地区、立石・四つ木地区において「多い」と「やや多い」の合計が全体の集計結果よりやや低く、「少ない」と「やや少ない」合計がやや高い。
- 小菅・お花茶屋・堀切地区において「多い」と「やや多い」の合計が全体の集計結果よりやや低い。
- 奥戸・新小岩地区において「多い」と「やや多い」の合計が全体の集計結果より低い。



【在住歴別】

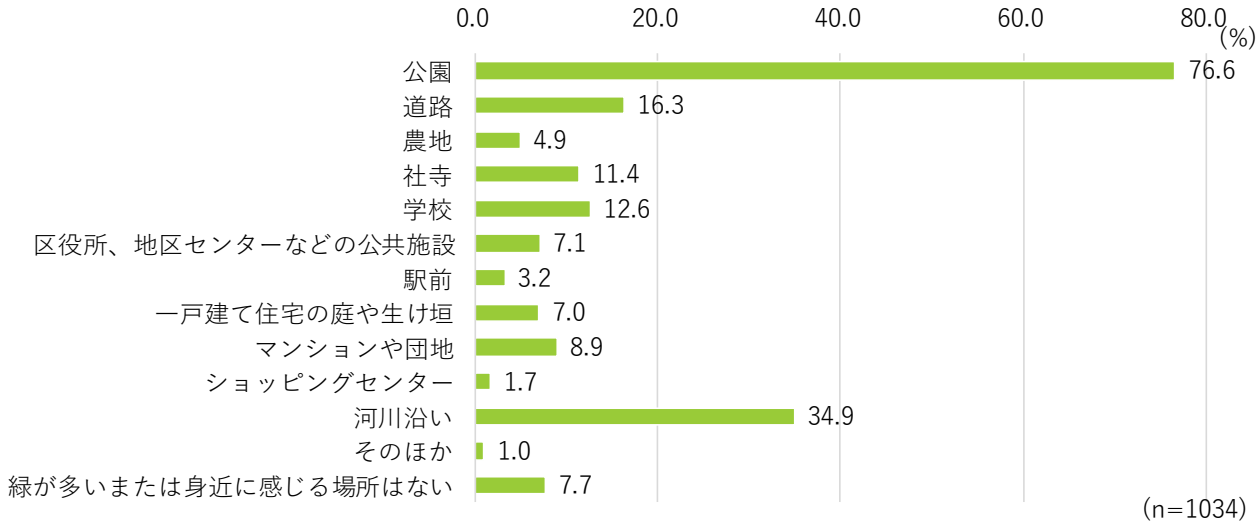
- 3年未満において「やや少ない」が全体の集計結果よりやや高い。
- 3～5年未満において「少ない」と「やや少ない」合計が全体の集計結果よりやや低い。
- 5～10年未満において「多い」が全体の集計結果よりやや低く、「多い」と「やや多い」の合計もやや低い。



（2）住まい周辺で緑が多いまたは身近に感じる場所

Q　あなたのお住まい周辺で、緑が多いまたは身近に感じる場所はどこですか。（いくつでも）

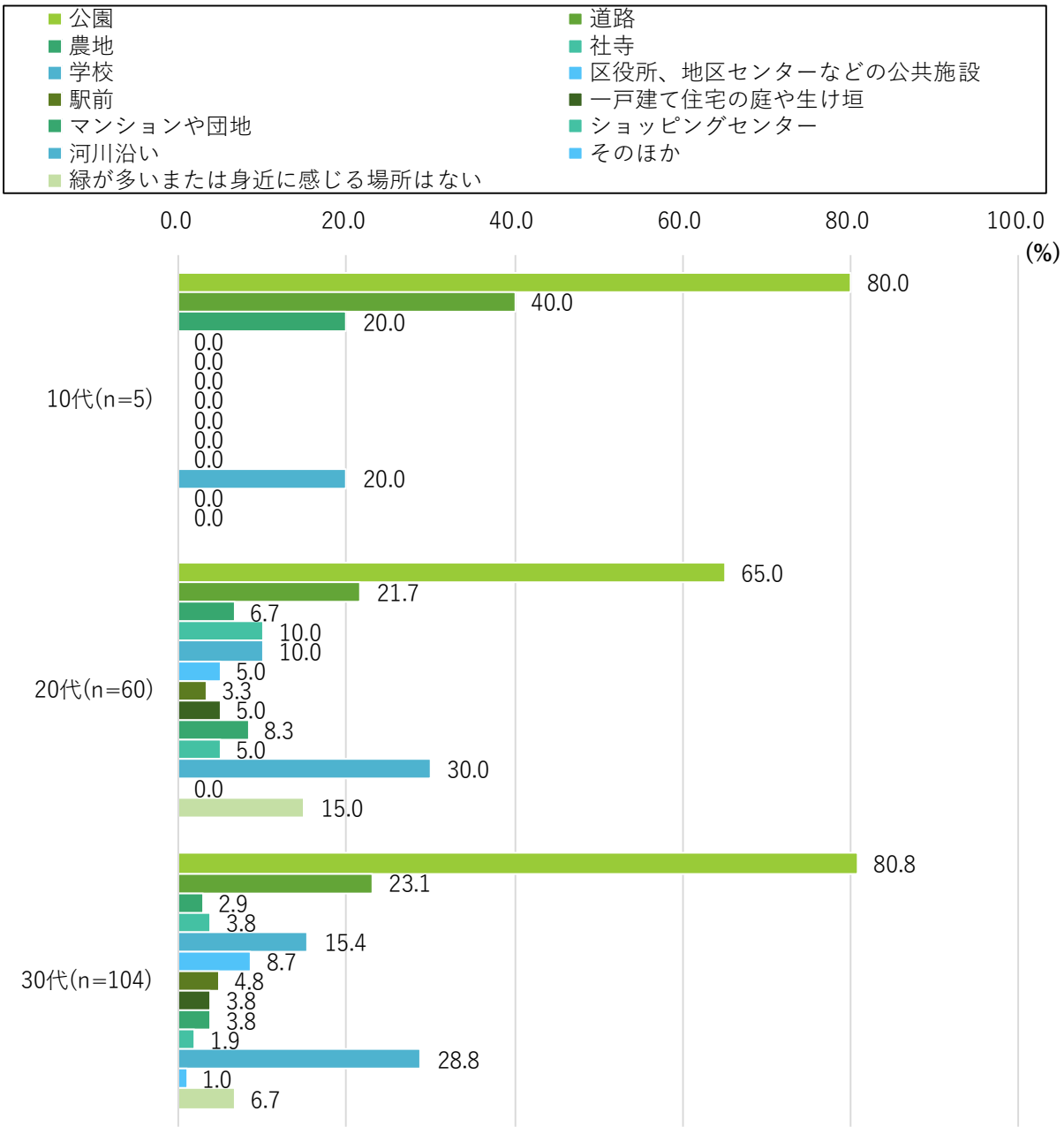
- 「公園」（76.6%）、「河川沿い」（34.9%）の割合が高い。

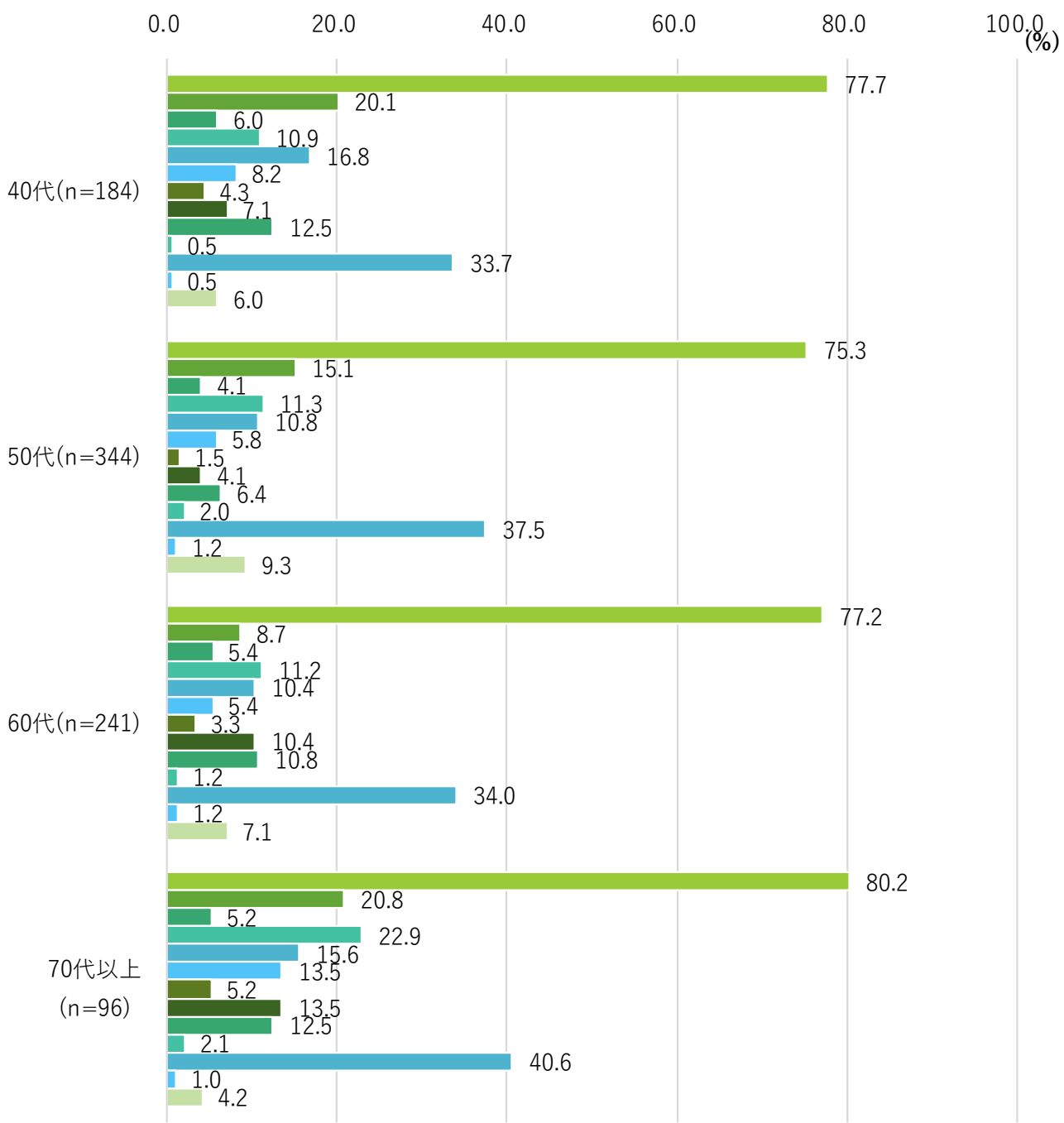


「そのほか」の回答
- 曳舟川通り
- 戸建て住宅の植栽や植木
- 遊歩道
- 菖蒲園
- 意識したことがない
- 親水緑道
- 親水公園、ビオトープ
- お寺
- 気にしたことがない
- どこもない

【年齢別】

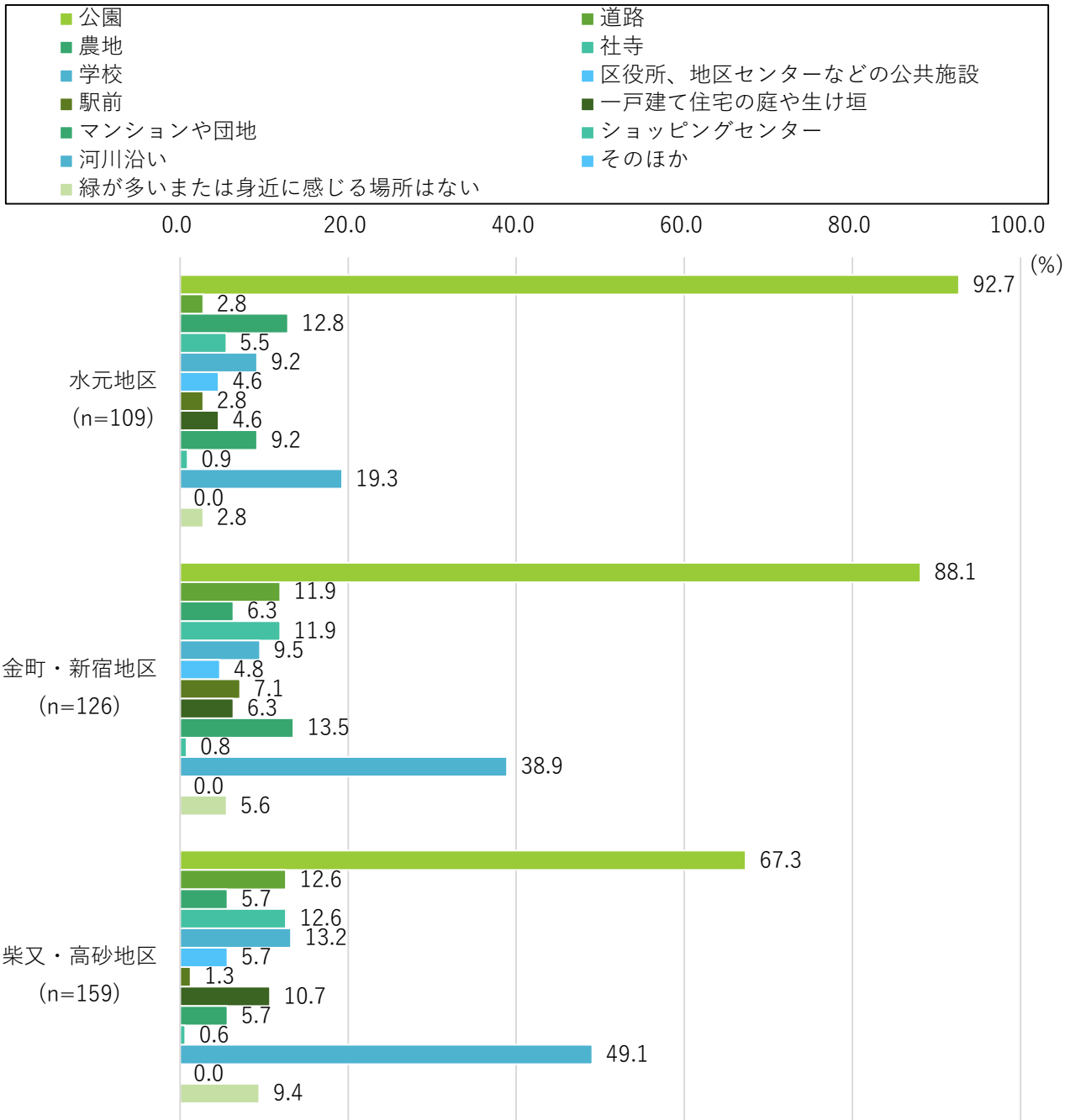
- 20 代において「公園」が全体の集計結果より低い。
- 70 代以上において「社寺」が全体の集計結果より高い。

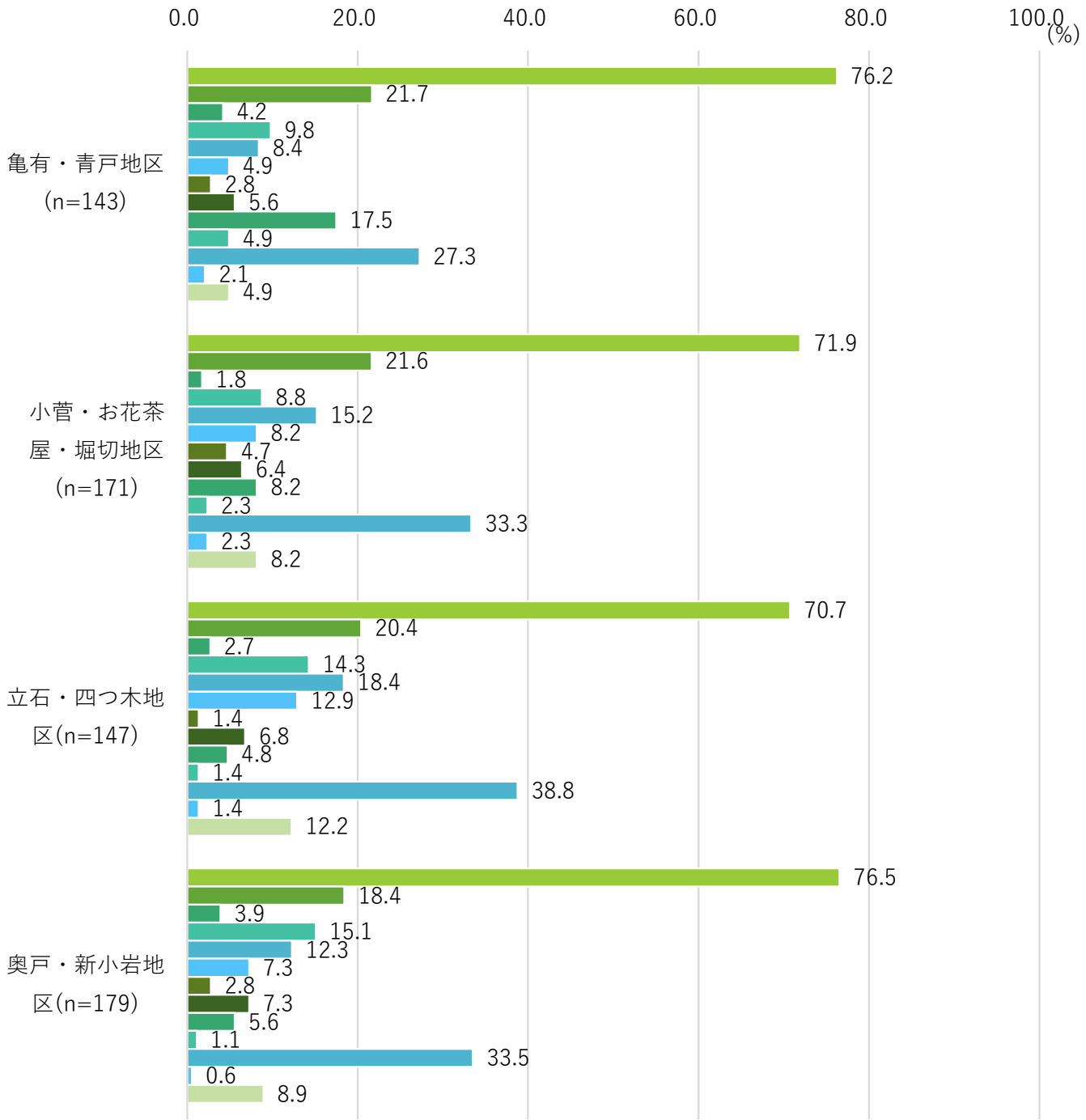



0.0
20.0
40.0
60.0
80.0
100.0
(%)
40代(n=184)
77.7
20.1
6.0
10.9
16.8
8.2
4.3
7.1
12.5
0.5
33.7
0.5
6.0
50代(n=344)
75.3
15.1
4.1
11.3
10.8
5.8
1.5
4.1
6.4
2.0
37.5
1.2
9.3
60代(n=241)
77.2
8.7
5.4
11.2
10.4
5.4
3.3
10.4
10.8
1.2
34.0
1.2
7.1
70代以上
(n=96)
80.2
20.8
5.2
22.9
15.6
13.5
5.2
13.5
12.5
2.1
40.6
1.0
4.2

【居住地別】

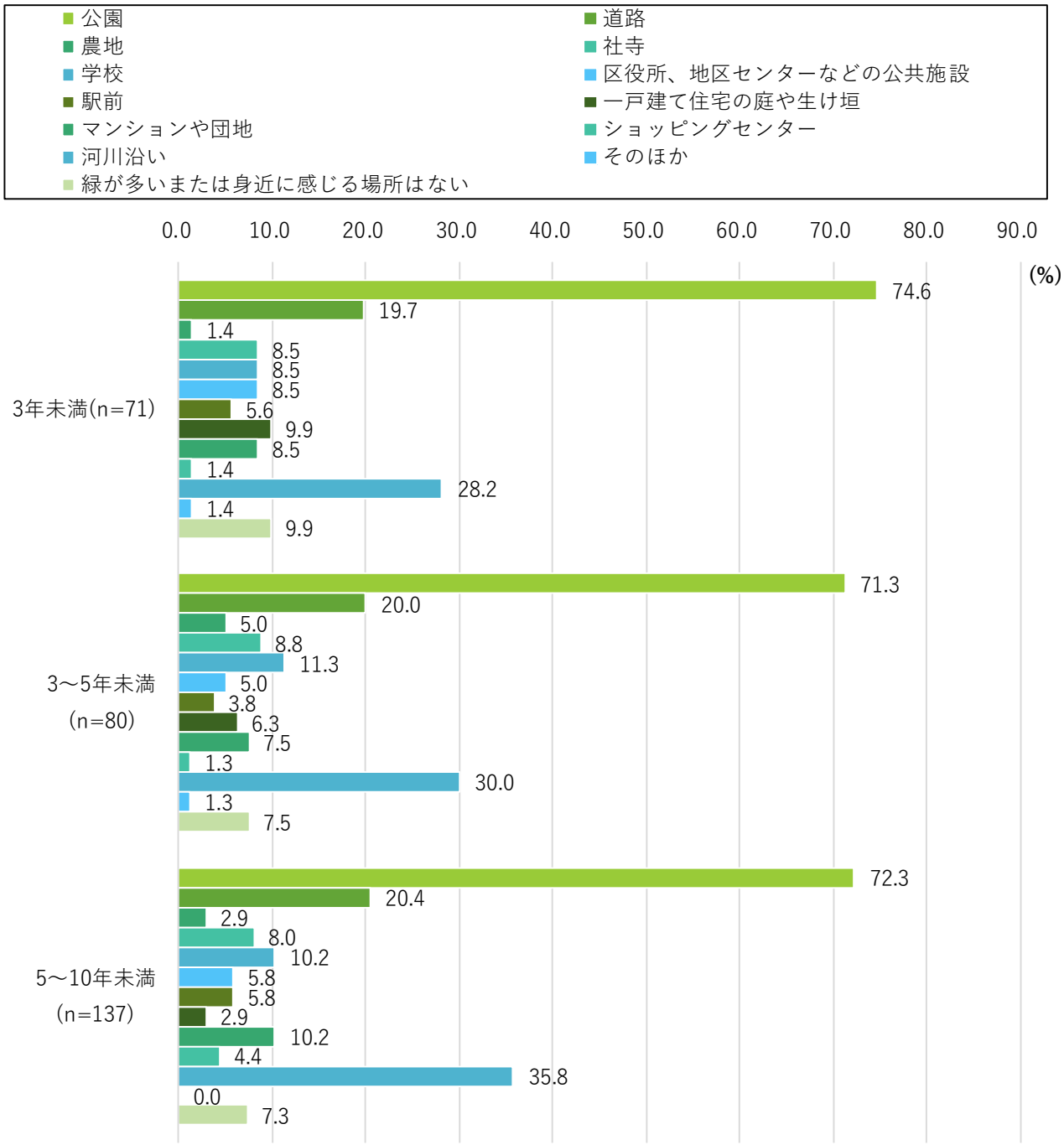
- 水元地区、金町・新宿地区において「公園」が全体の集計結果より高い。
- 水元地区において「道路」と「河川沿い」が全体の集計結果より低い。
- 柴又・高砂地区において「河川沿い」が全体の集計結果より高い。

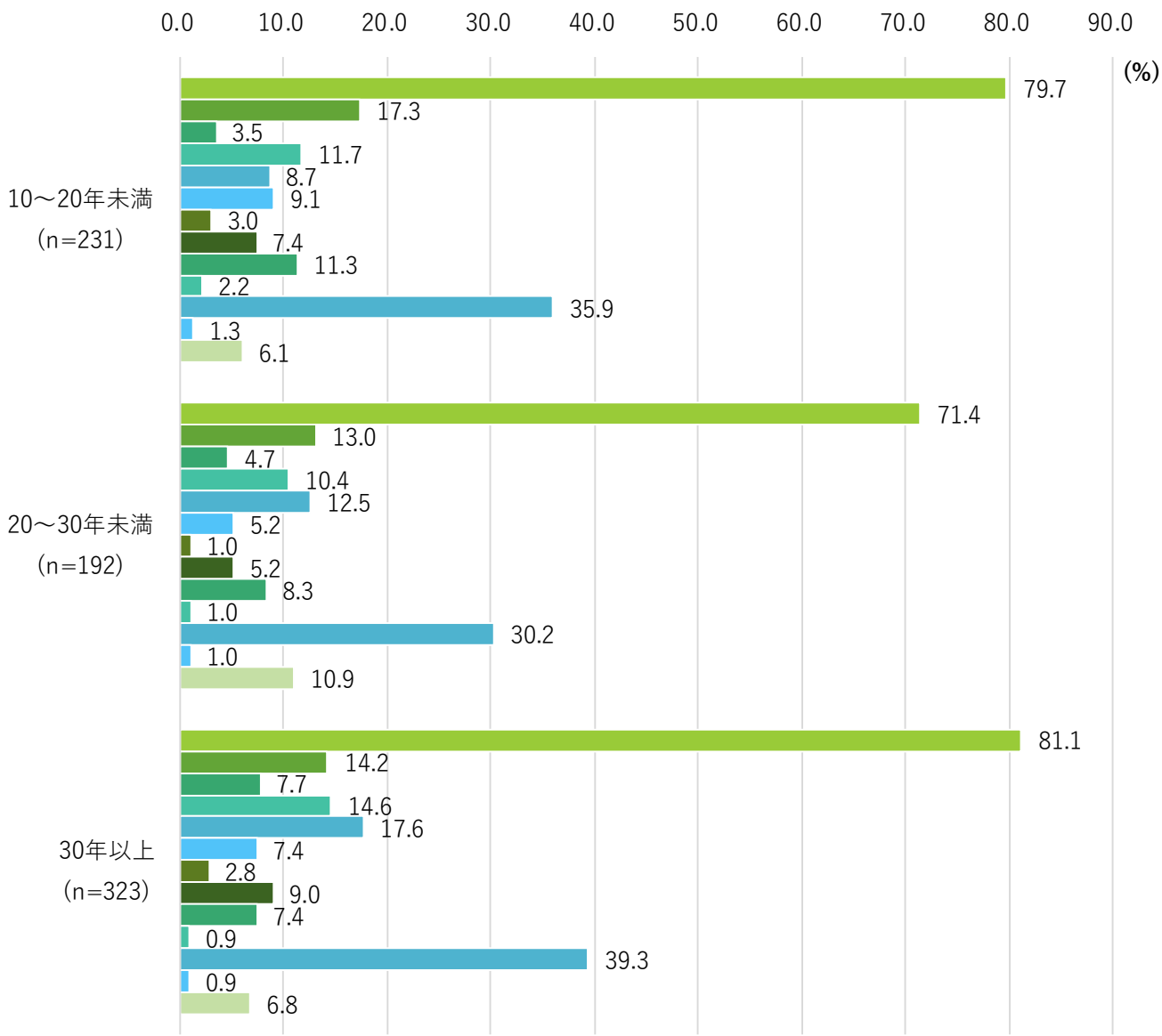



0.0
20.0
40.0
60.0
80.0
100.0
(%)
亀有・青戸地区
(n=143)
76.2
21.7
4.2
9.8
8.4
4.9
2.8
5.6
17.5
4.9
27.3
2.1
4.9
小菅・お花茶屋・堀切地区
(n=171)
71.9
21.6
1.8
8.8
15.2
8.2
4.7
6.4
8.2
2.3
33.3
2.3
8.2
立石・四つ木地区(n=147)
70.7
20.4
2.7
14.3
18.4
12.9
1.4
6.8
4.8
1.4
38.8
1.4
12.2
奥戸・新小岩地区(n=179)
76.5
18.4
3.9
15.1
12.3
7.3
2.8
7.3
5.6
1.1
33.5
0.6
8.9

【在住歴別】

- 3～5年未満、20～30年未満において「公園」が全体の集計結果よりやや低い。
- 3年未満において「河川沿い」が全体の集計結果よりやや低い。
- 30年以上において「学校」が全体の集計結果よりやや高い。

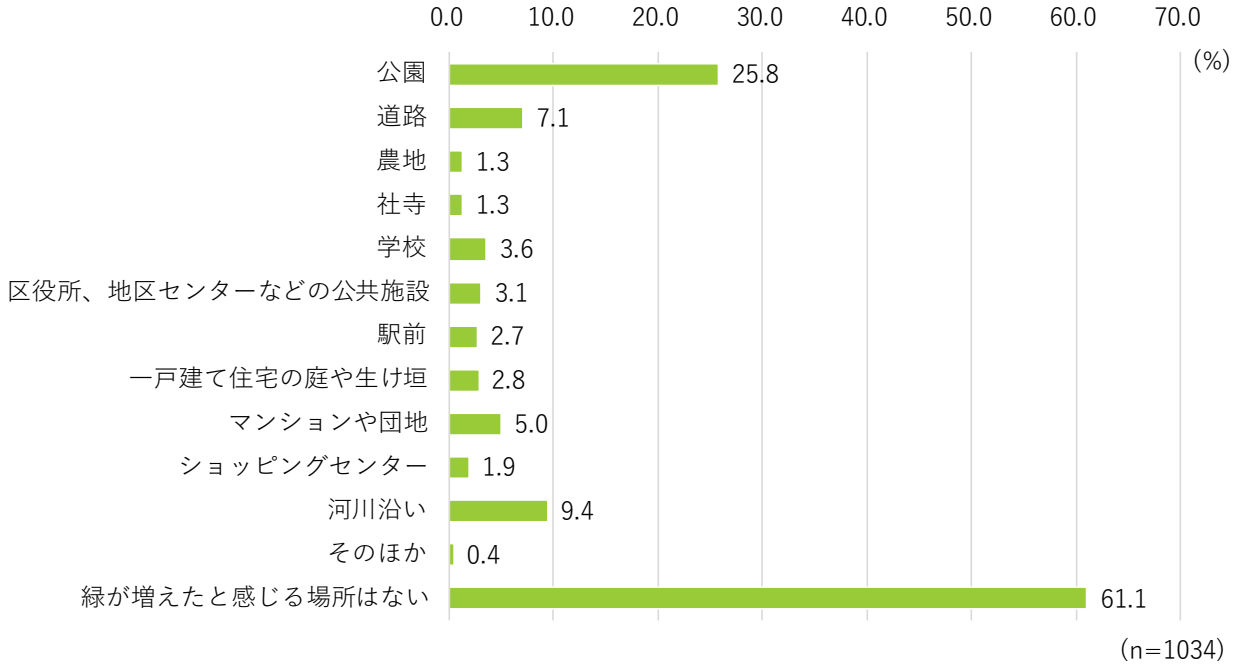



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
70.0
80.0
90.0
(%)
10～20年未満
(n=231)
79.7
17.3
3.5
11.7
8.7
9.1
3.0
7.4
11.3
2.2
35.9
1.3
6.1
20～30年未満
(n=192)
71.4
13.0
4.7
10.4
12.5
5.2
1.0
5.2
8.3
1.0
30.2
1.0
10.9
30年以上
(n=323)
81.1
14.2
7.7
14.6
17.6
7.4
2.8
9.0
7.4
0.9
39.3
0.9
6.8

（3）住まい周辺で緑が増えたと感じる場所

Q　過去 10 年を振り返って、あなたのお住まい周辺で緑が増えたと感じる場所はどこですか。葛飾区在住 10 年未満の場合は、住み始めたときと比べて緑が増えたと感じる場所をお答えください。（いくつでも）

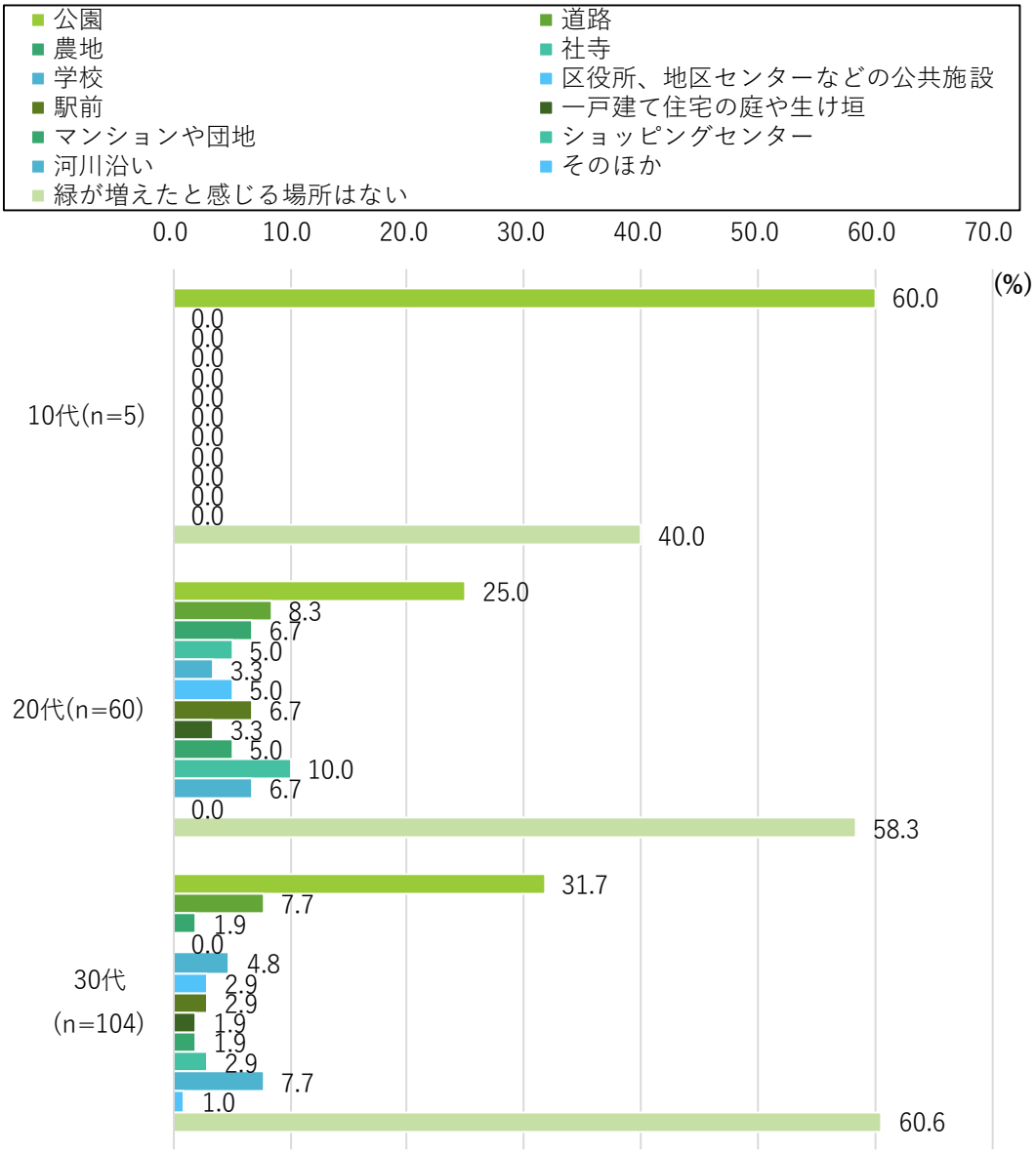
- 「緑が増えたと感じる場所はない」（61.1%）が多く、次いで「公園」（25.8%）となっている。

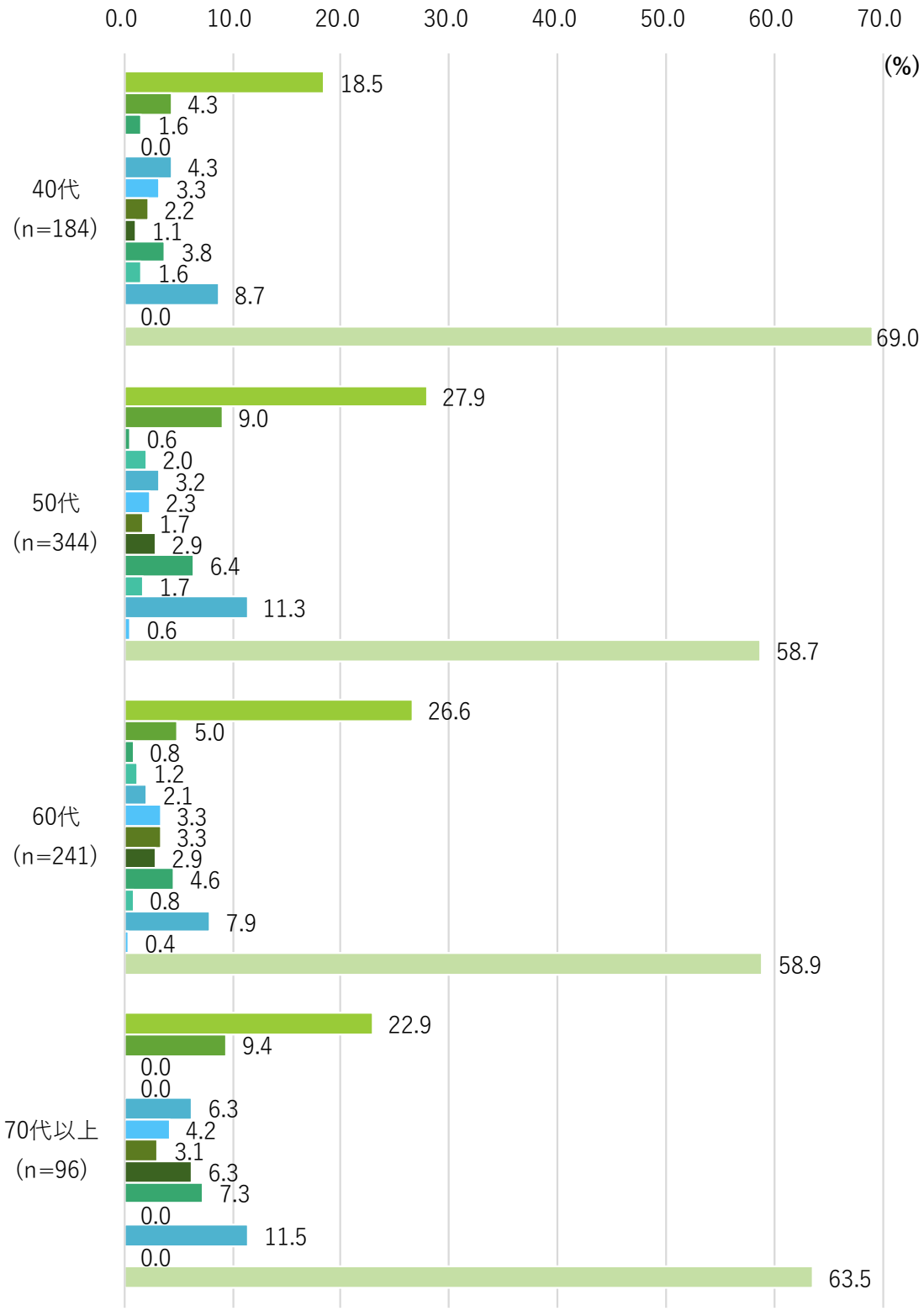


「そのほか」の回答
- ・遊歩道
- ・家の庭
- ・せせらぎ通りの花壇
- ・意識したことがない

【年齢別】

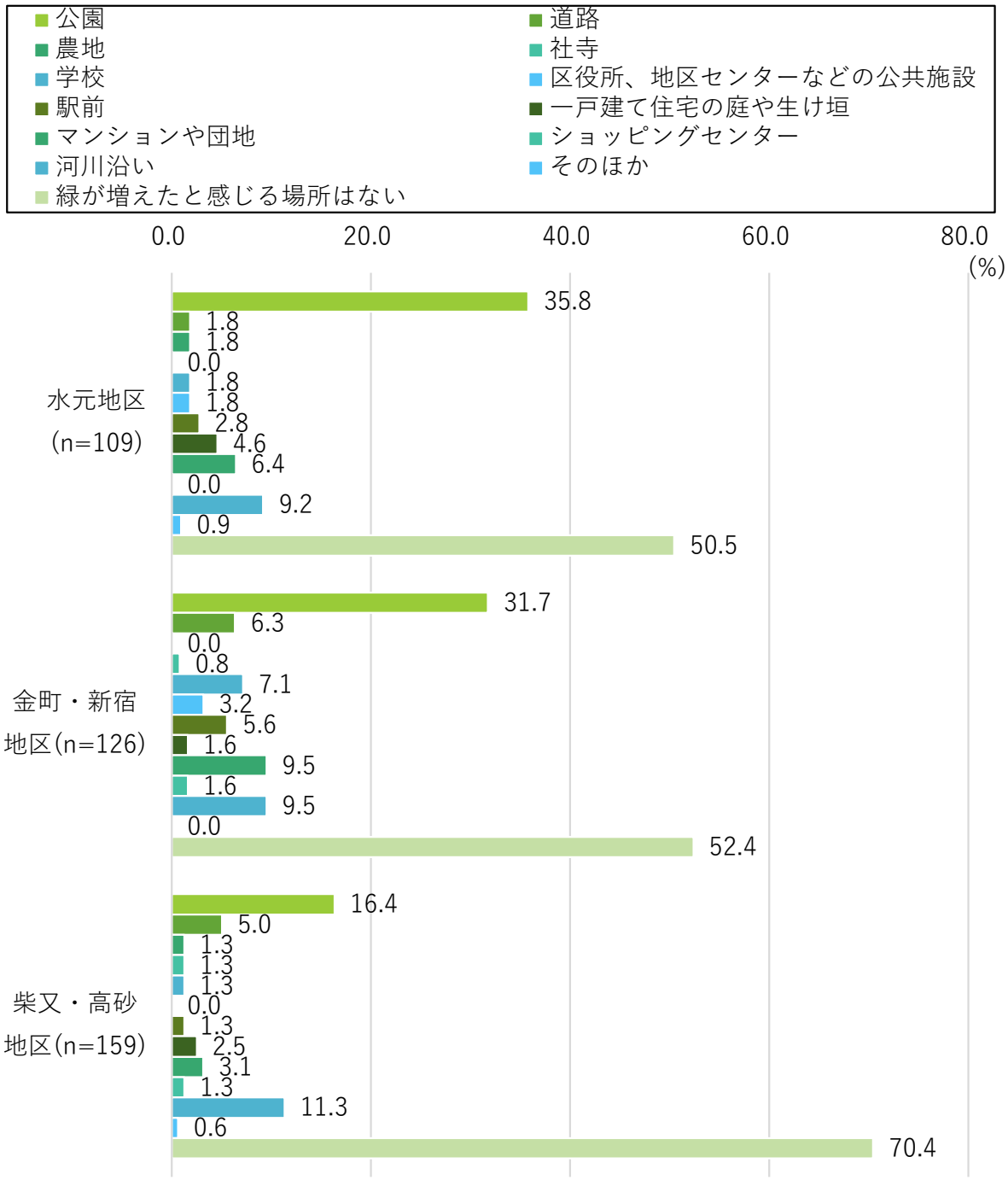
- 20 代において「農地」と「ショッピングセンター」が全体の集計結果より高い。
- 30 代において「公園」が全体の集計結果よりやや高い。
- 40 代において「公園」が全体の集計結果よりやや低い。また、「緑が増えたと感じる場所はない」がやや高い。

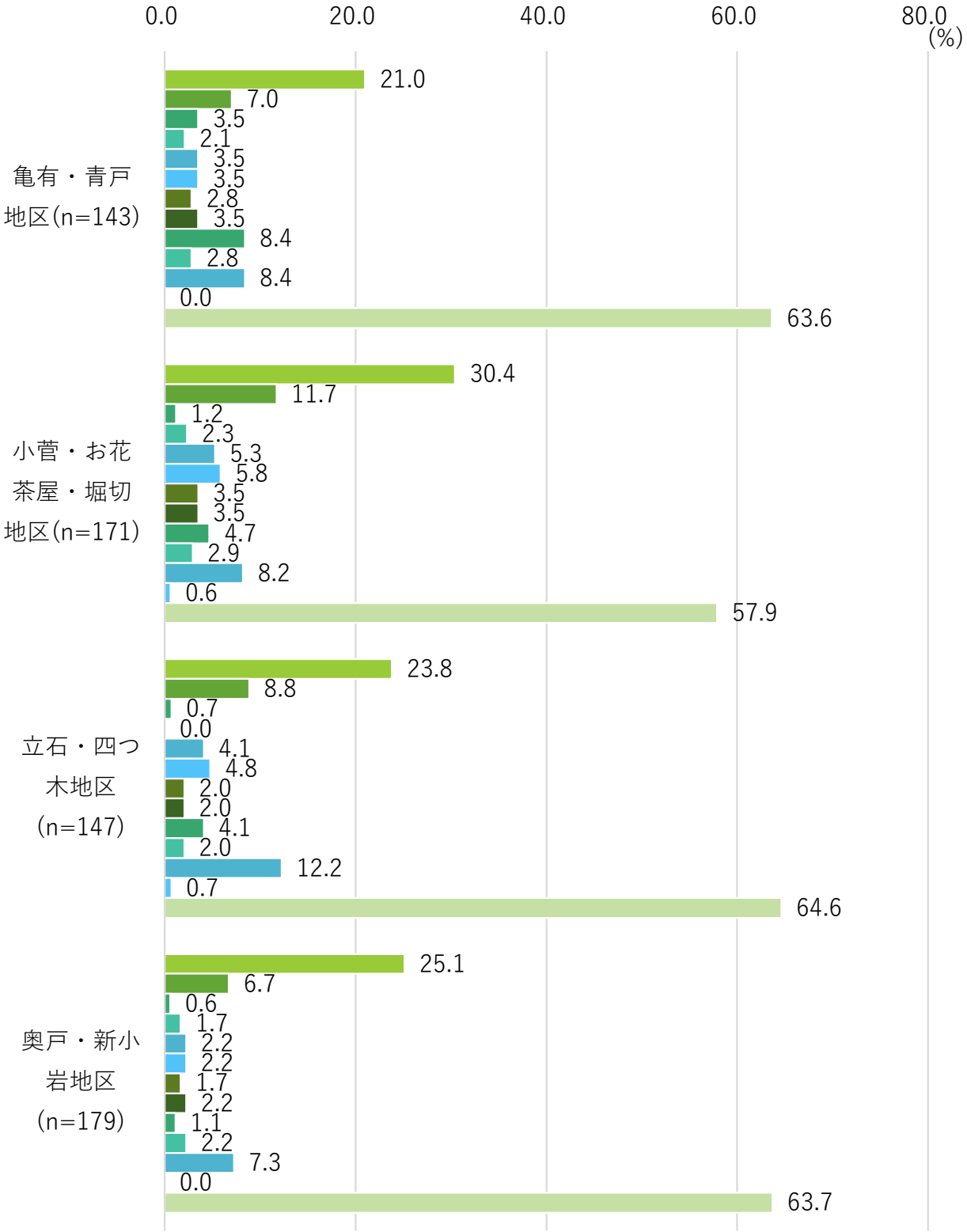



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
70.0
(%)
40代
(n=184)
18.5
4.3
1.6
0.0
4.3
3.3
2.2
1.1
3.8
1.6
8.7
0.0
69.0
50代
(n=344)
27.9
9.0
0.6
2.0
3.2
2.3
1.7
2.9
6.4
1.7
11.3
0.6
58.7
60代
(n=241)
26.6
5.0
0.8
1.2
2.1
3.3
3.3
2.9
4.6
0.8
7.9
0.4
58.9
70代以上
(n=96)
22.9
9.4
0.0
0.0
6.3
4.2
3.1
6.3
7.3
0.0
11.5
0.0
63.5

【居住地別】

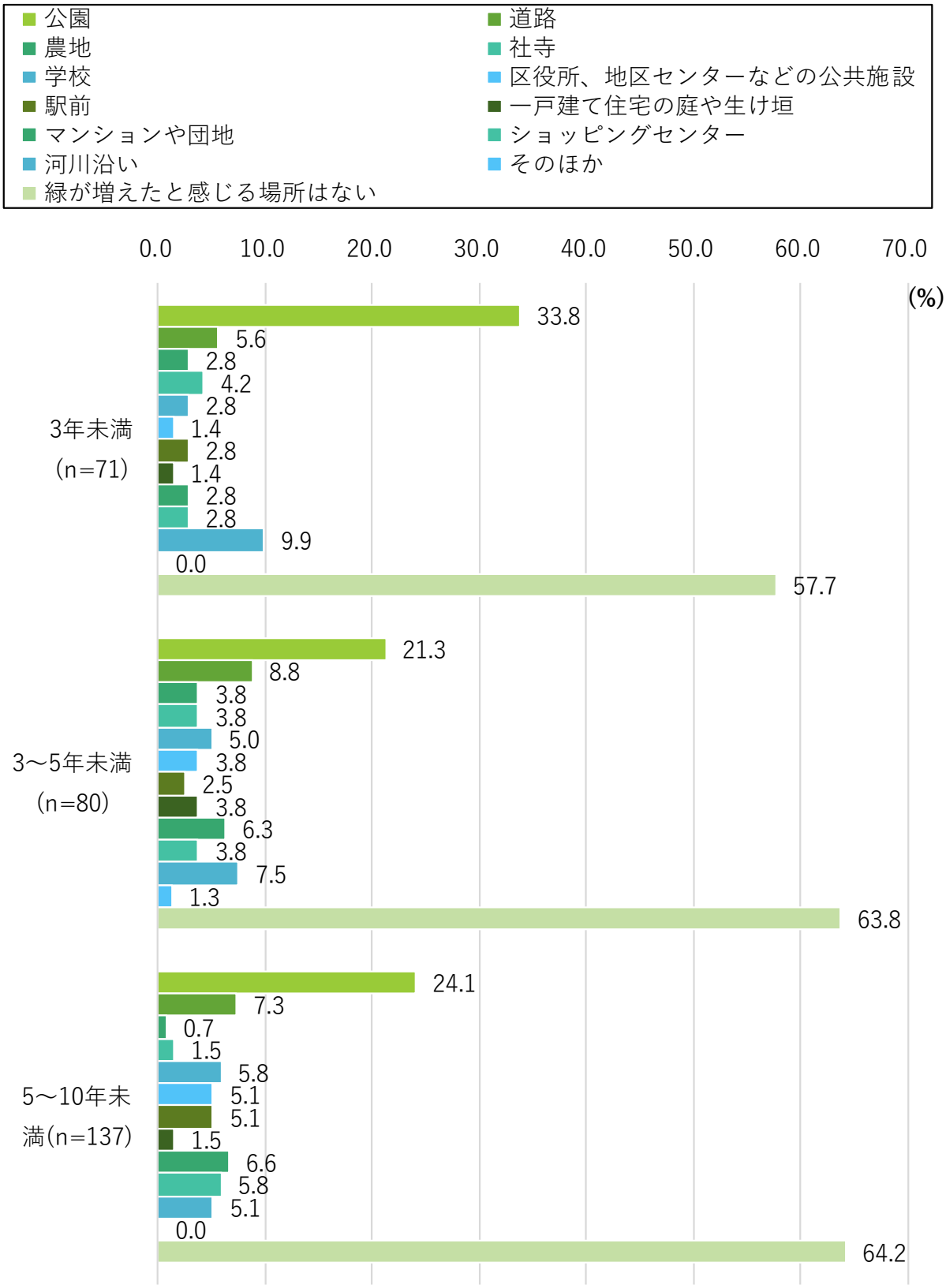
- 水元地区において「緑が増えたと感じる場所はない」が全体の集計結果より低い。また、「公園」がやや高く、「道路」がやや低い。
- 金町・新宿地区において「公園」が全体の集計結果よりやや高い。また、「緑が増えたと感じる場所はない」がやや低い。
- 柴又・高砂地区において、「緑が増えたと感じる場所はない」が全体の集計結果よりやや高い。また、「公園」がやや低い。

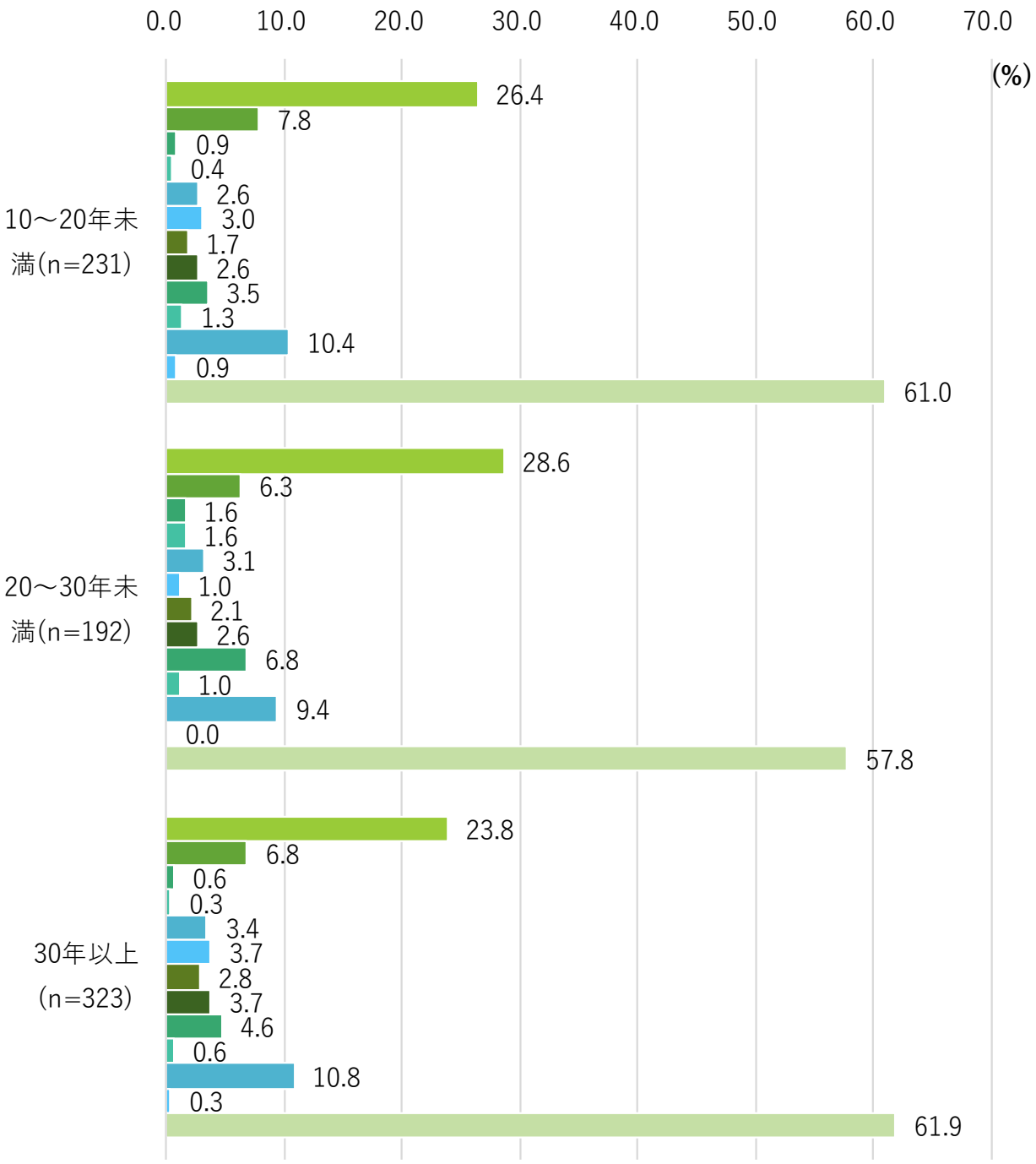



0.0
20.0
40.0
60.0
80.0
(%)
亀有・青戸
地区(n=143)
21.0
7.0
3.5
2.1
3.5
3.5
2.8
3.5
8.4
2.8
8.4
0.0
63.6
小菅・お花
茶屋・堀切
地区(n=171)
30.4
11.7
1.2
2.3
5.3
5.8
3.5
3.5
4.7
2.9
8.2
0.6
57.9
立石・四つ
木地区
(n=147)
23.8
8.8
0.7
0.0
4.1
4.8
2.0
2.0
4.1
2.0
12.2
0.7
64.6
奥戸・新小
岩地区
(n=179)
25.1
6.7
0.6
1.7
2.2
2.2
1.7
2.2
1.1
2.2
7.3
0.0
63.7

【在住歴別】

- 3年未満において「公園」が全体の集計結果よりやや高い。

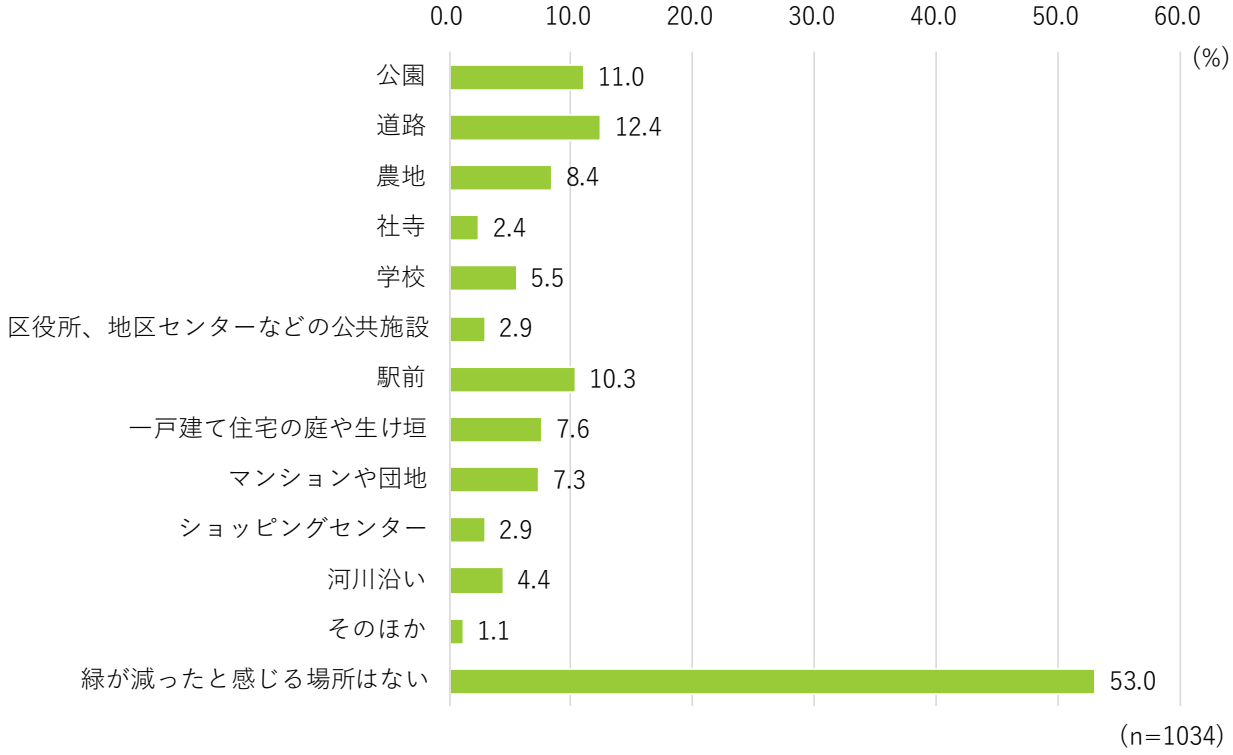



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
70.0
(%)
10～20年未満(n=231)
26.4
7.8
0.9
0.4
2.6
3.0
1.7
2.6
3.5
1.3
10.4
0.9
61.0
20～30年未満(n=192)
28.6
6.3
1.6
1.6
3.1
1.0
2.1
2.6
6.8
1.0
9.4
0.0
57.8
30年以上(n=323)
23.8
6.8
0.6
0.3
3.4
3.7
2.8
3.7
4.6
0.6
10.8
0.3
61.9

（4）住まい周辺で緑が減ったと感じる場所

Q　過去 10 年を振り返って、あなたのお住まい周辺で緑が減ったと感じる場所はどこですか。葛飾区在住 10 年未満の場合は、住み始めたときと比べて緑が減ったと感じる場所をお答えください。（いくつでも）

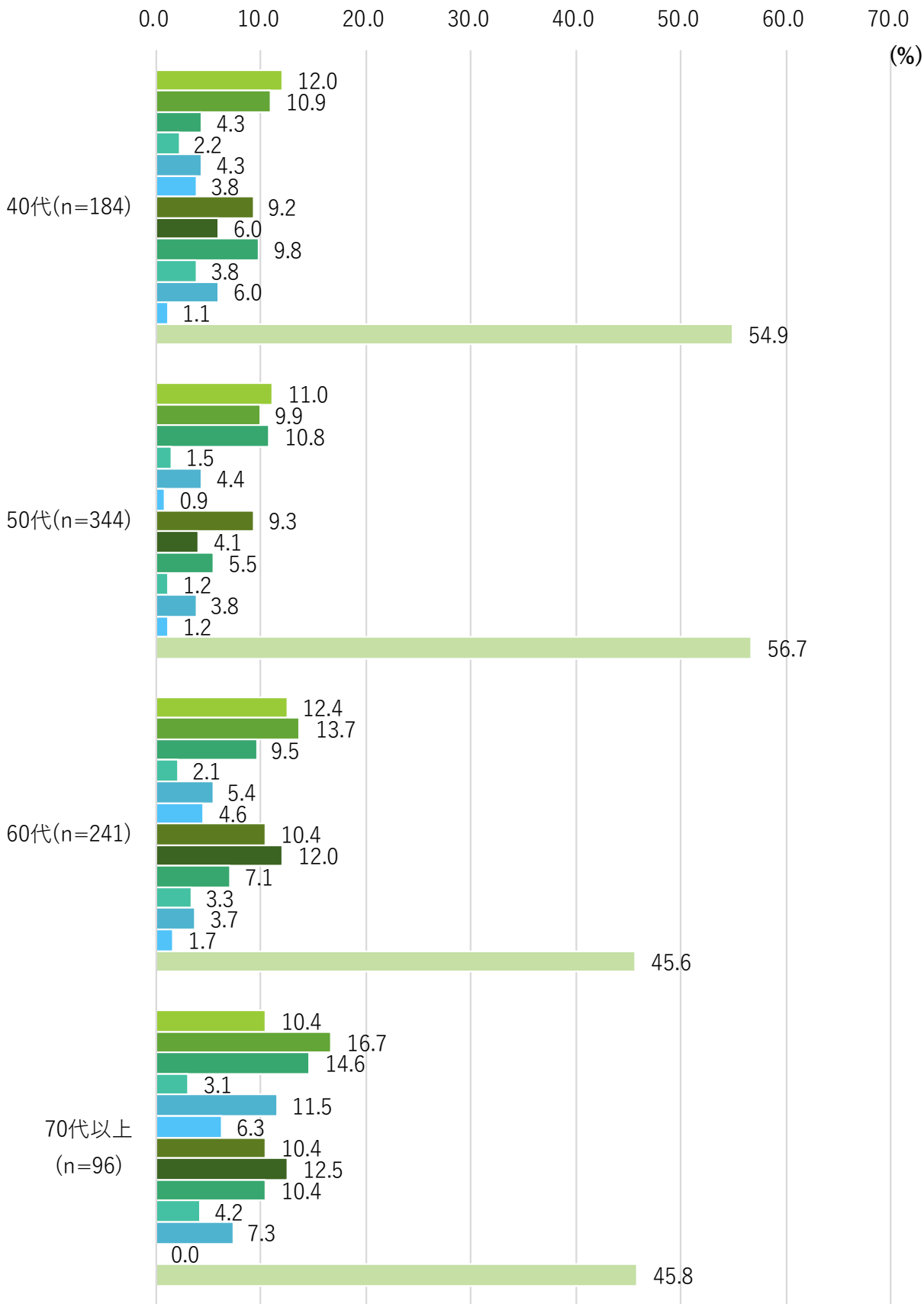
- 「緑が減ったと感じる場所はない」（53.0%）が多く、次いで「道路」（12.4%）、「公園」（11.0%）、「駅前」（10.3%）となっている。



「そのほか」の回答
- 道路沿い
- 道路（たつみ橋交差点前の桜など）
- 森永乳業の構内の木々や芝生がなくなった。
- 森永乳業工場跡地
- 立石の再開発
- 畑や空き地が軒並み家やマンションが建っている場所
- 集会所がある広場
- お店
- もとから少ない
- 意識したことがない
- 10 年も住んでいない

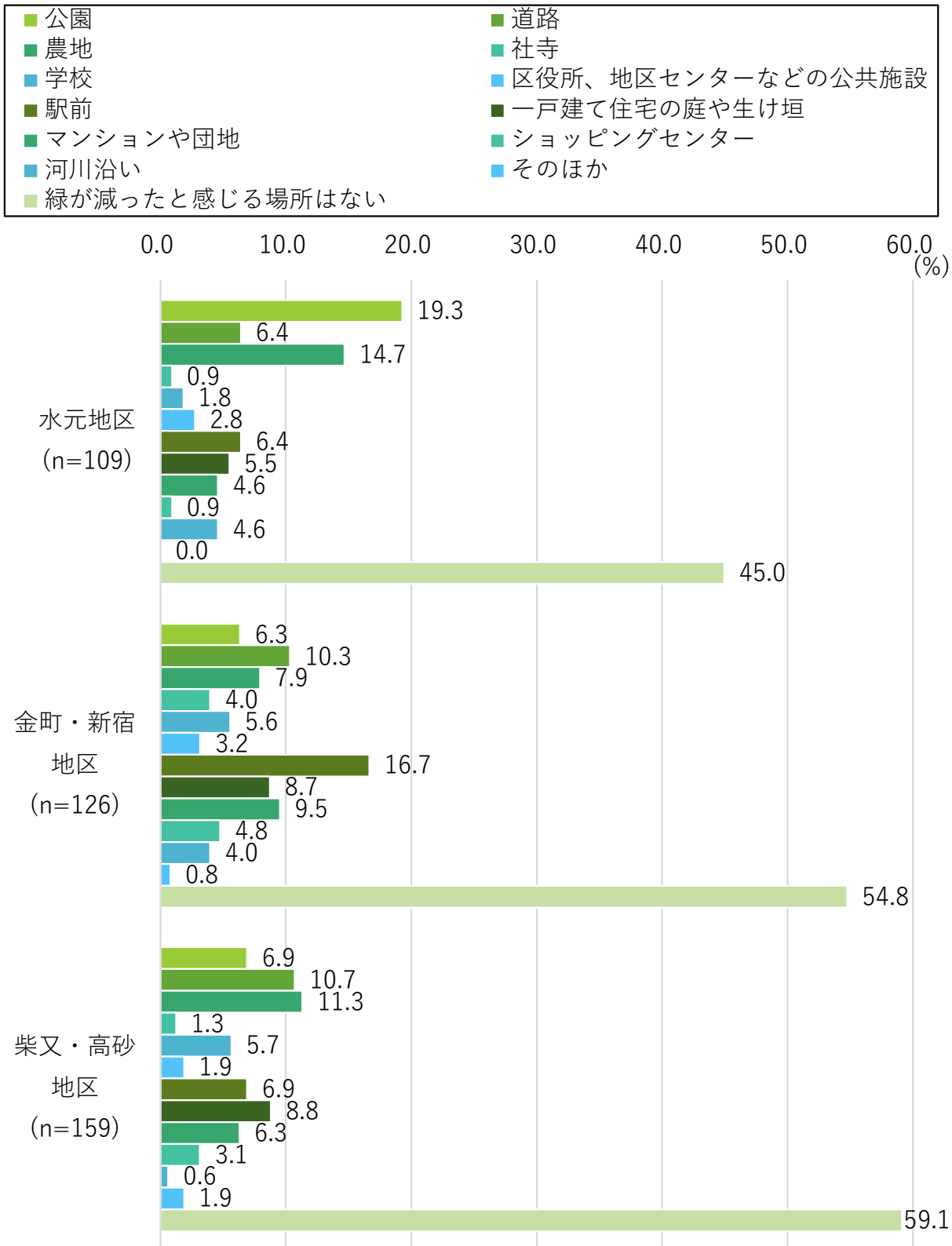
【年齢別】

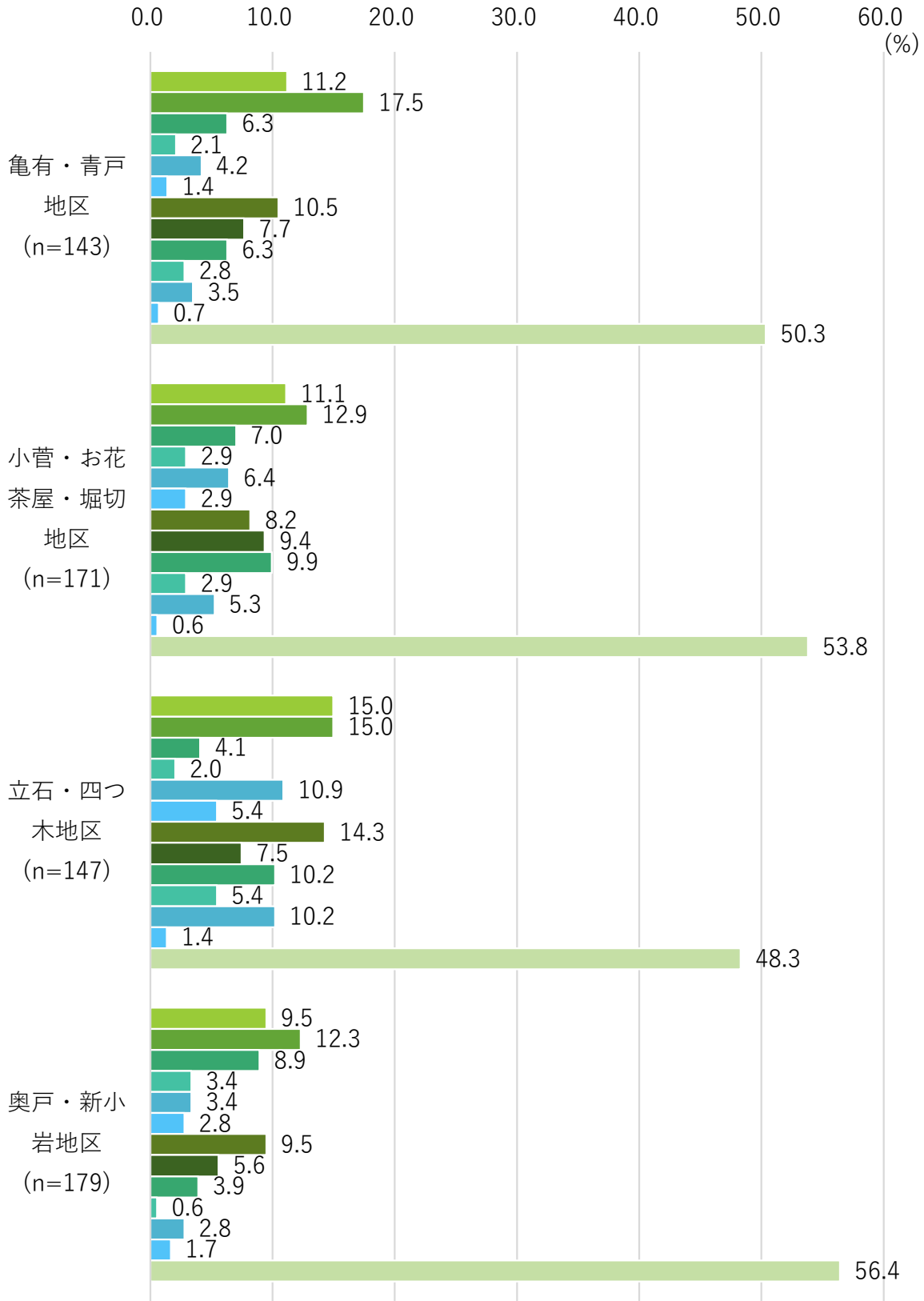
- 20 代において「公園」「道路」「一戸建て住宅の庭や生け垣」が全体の集計結果よりやや高い。
- 30 代において、「緑が減ったと感じる場所はない」が全体の集計結果より高い。また、「公園」「農地」がやや低い。
- 60 代、70 代以上において、「緑が減ったと感じる場所はない」が全体の集計結果よりやや低い。
- 70 代以上については、「農地」「学校」が全体の集計結果よりやや高い。


0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
70.0
(%)
40代(n=184)
12.0
10.9
4.3
2.2
4.3
3.8
9.2
6.0
9.8
3.8
6.0
1.1
54.9
50代(n=344)
11.0
9.9
10.8
1.5
4.4
0.9
9.3
4.1
5.5
1.2
3.8
1.2
56.7
60代(n=241)
12.4
13.7
9.5
2.1
5.4
4.6
10.4
12.0
7.1
3.3
3.7
1.7
45.6
70代以上
(n=96)
10.4
16.7
14.6
3.1
11.5
6.3
10.4
12.5
10.4
4.2
7.3
0.0
45.8

【居住地別】

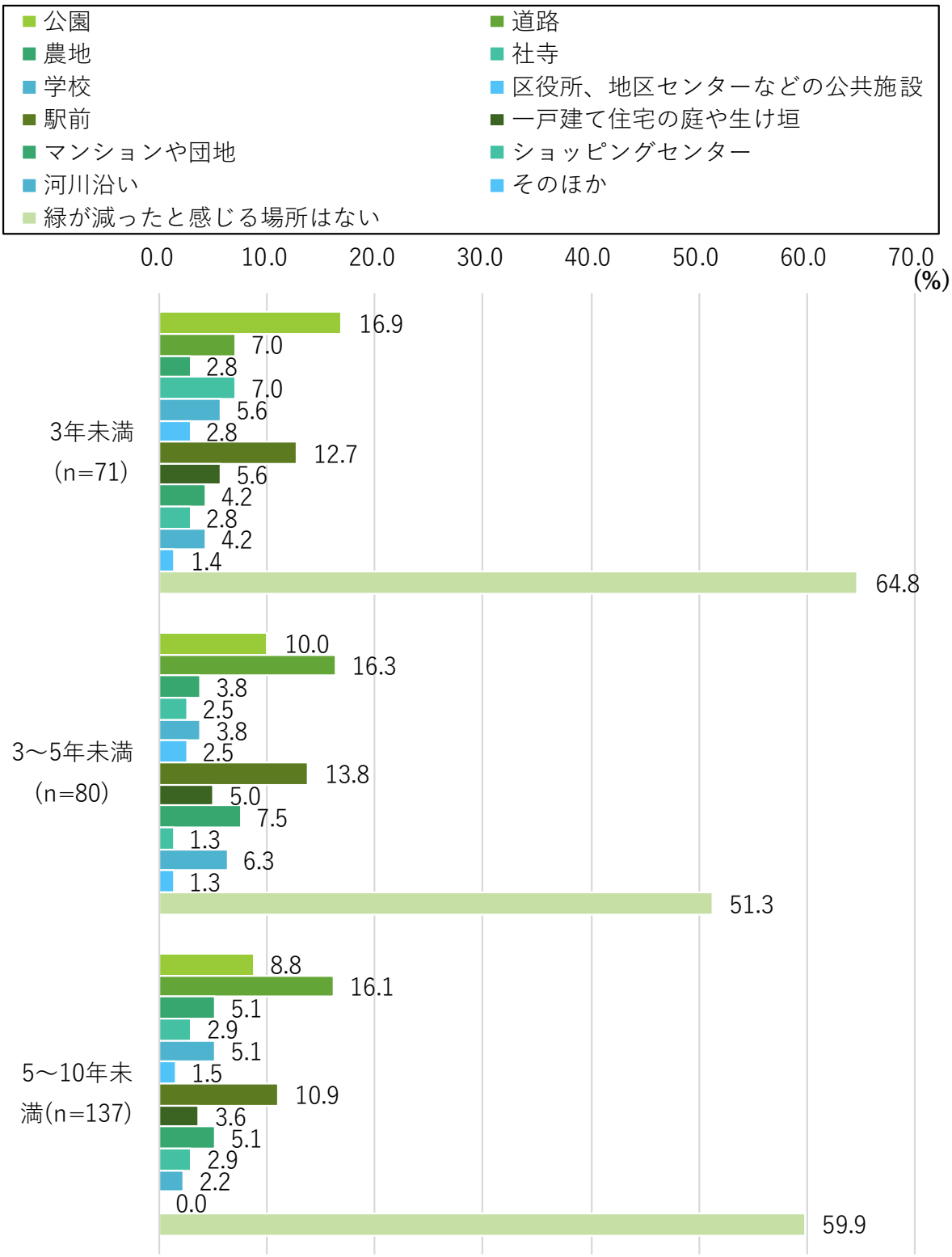
- 水元地区において「公園」「農地」が全体の集計結果よりやや高く、「道路」「緑が減ったと感じる場所はない」がやや低い。
- 金町・新宿地区において、「駅前」が全体の集計結果よりやや高い。
- 柴又・高砂地区において、「緑が減ったと感じる場所はない」が全体の集計結果よりやや高い。
- 立石・四つ木地区において、「学校」「河川沿い」が全体の集計結果よりやや高い。

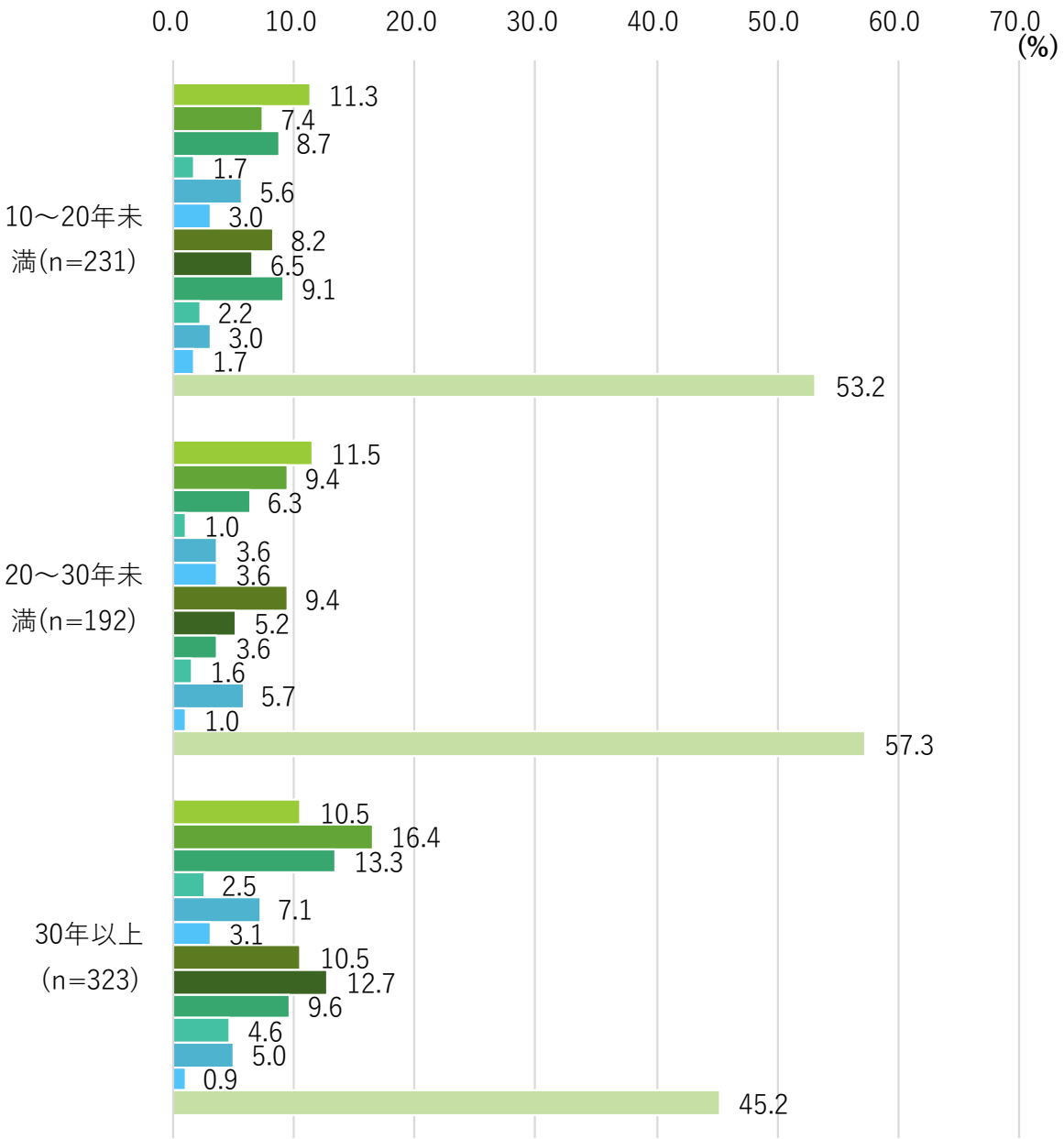



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
(%)
亀有・青戸地区 (n=143)
11.2
17.5
6.3
2.1
4.2
1.4
10.5
7.7
6.3
2.8
3.5
0.7
50.3
小菅・お花茶屋・堀切地区 (n=171)
11.1
12.9
7.0
2.9
6.4
2.9
8.2
9.4
9.9
2.9
5.3
0.6
53.8
立石・四つ木地区 (n=147)
15.0
15.0
4.1
2.0
10.9
5.4
14.3
7.5
10.2
5.4
10.2
1.4
48.3
奥戸・新小岩地区 (n=179)
9.5
12.3
8.9
3.4
3.4
2.8
9.5
5.6
3.9
0.6
2.8
1.7
56.4

【在住歴別】

- 3 年未満において「緑が減ったと感じる場所はない」が全体の集計結果より高い。また、「公園」がやや高く、「道路」「農地」がやや低い。
- 5 ～10 年未満において「緑が減ったと感じる場所はない」が全体の集計結果よりやや高い。
- 10～20 年未満において「道路」が全体の集計結果よりやや低い。
- 30 年以上において「一戸建て住宅の庭や生け垣」が全体の集計結果よりやや高い。また、「緑が減ったと感じる場所はない」がやや低い。

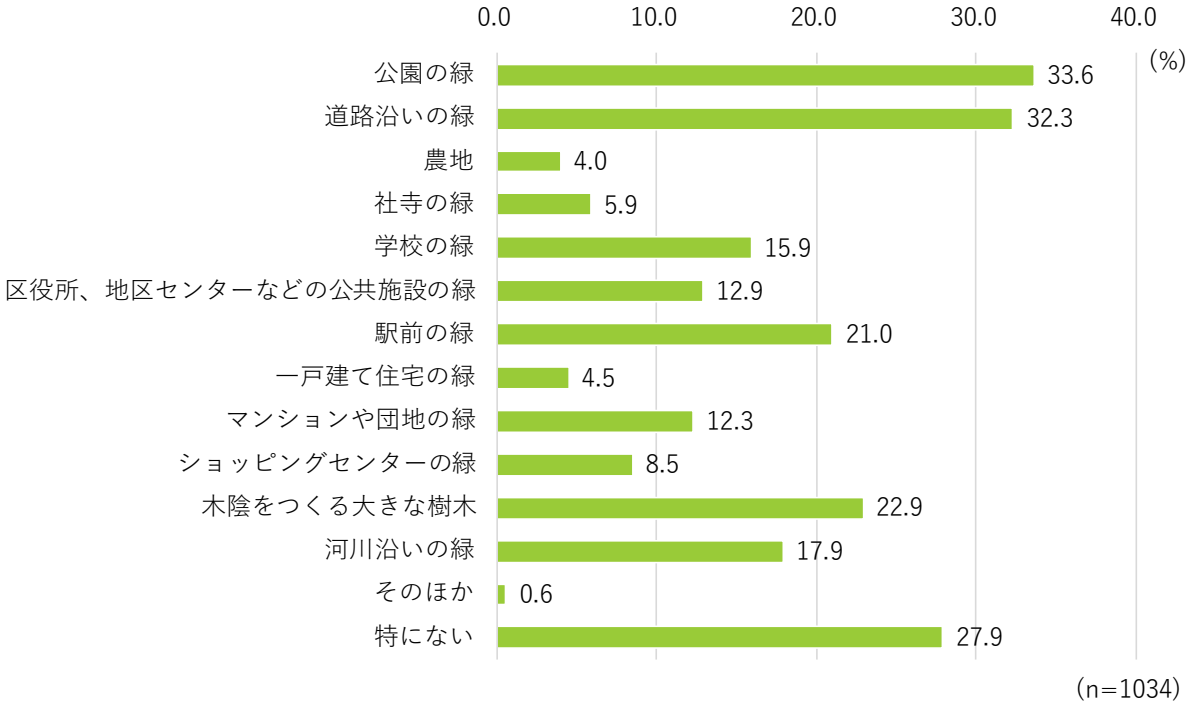



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
70.0
(%)
10～20年未満(n=231)
11.3
7.4
8.7
1.7
5.6
3.0
8.2
6.5
9.1
2.2
3.0
1.7
53.2
20～30年未満(n=192)
11.5
9.4
6.3
1.0
3.6
3.6
9.4
5.2
3.6
1.6
5.7
1.0
57.3
30年以上(n=323)
10.5
16.4
13.3
2.5
7.1
3.1
10.5
12.7
9.6
4.6
5.0
0.9
45.2

（5）今後増やしていく必要があると感じる緑

Q　あなたのお住まい周辺で、今後増やしていく必要があると感じる緑はどれですか。(いくつでも)。

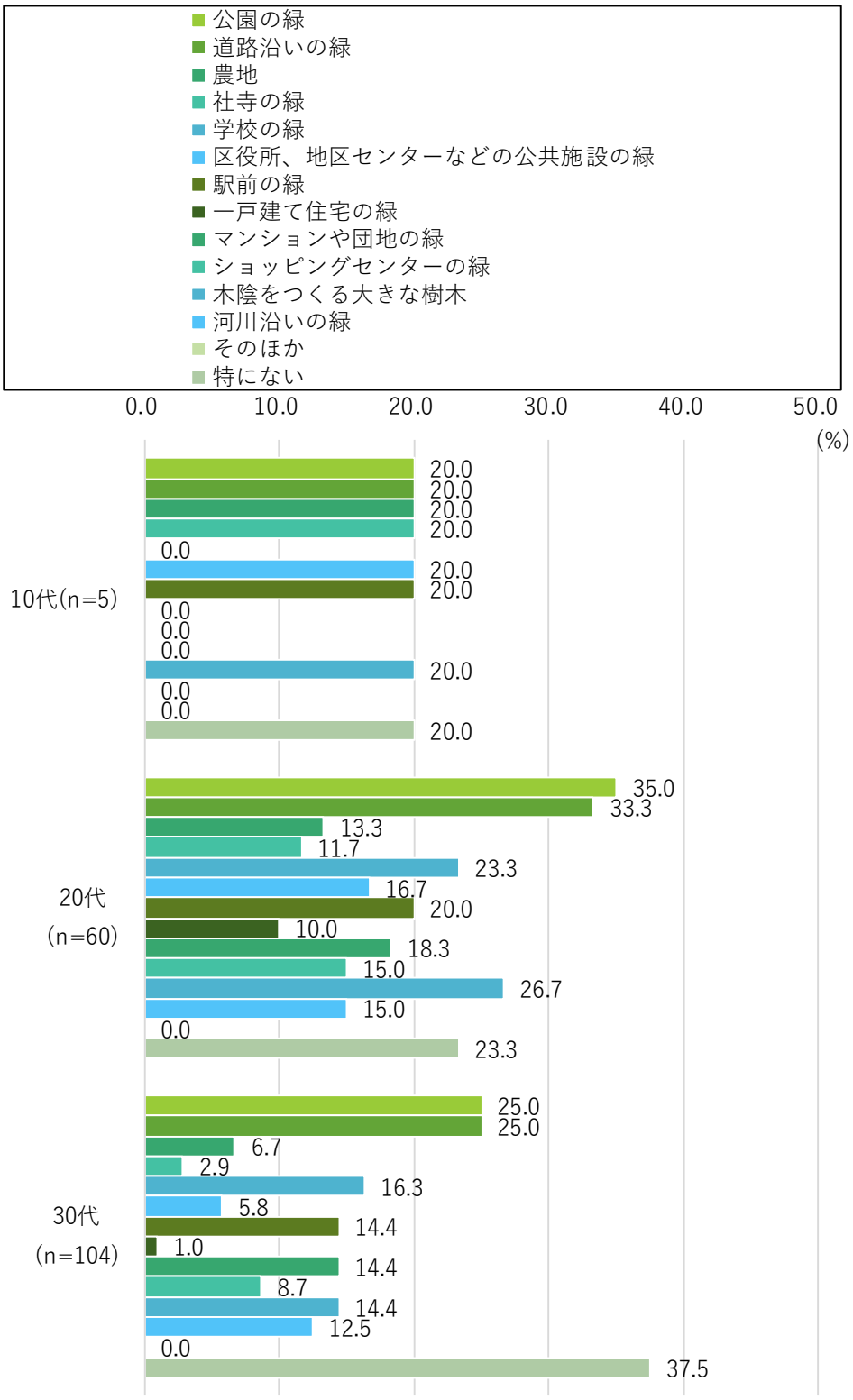
- 「公園の緑」(33.6%)、「道路沿いの緑」(32.3%)のがやや多く、次いで「特にない」(27.9%)となっている。

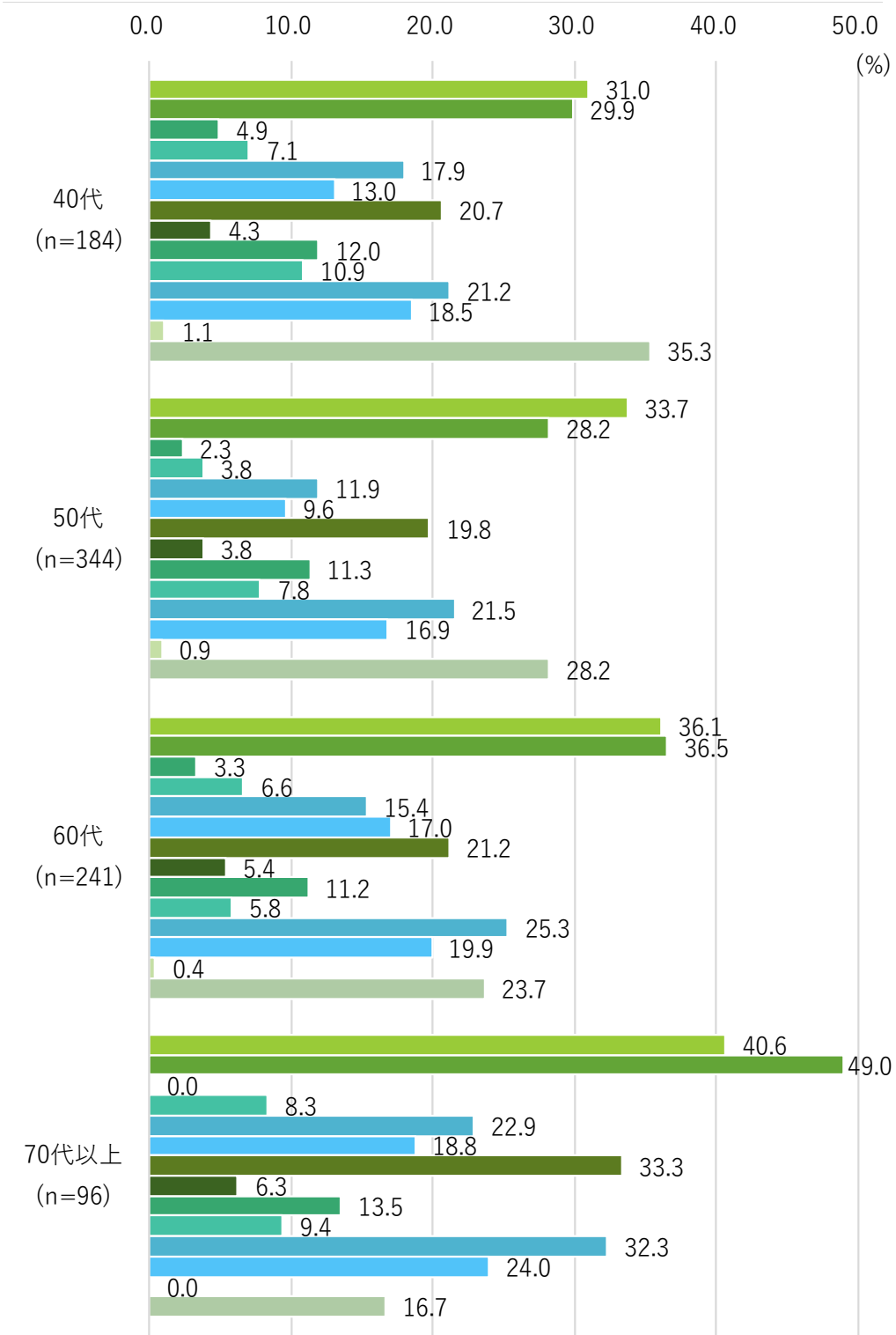


「そのほか」の回答
- 建物の屋上
- 河川敷の緑(木)
- 日よけになるような街路樹
- 現在開発が行われている立石周辺
- 増やせるのならどこでも良い
- 意識したことがない

【年齢別】

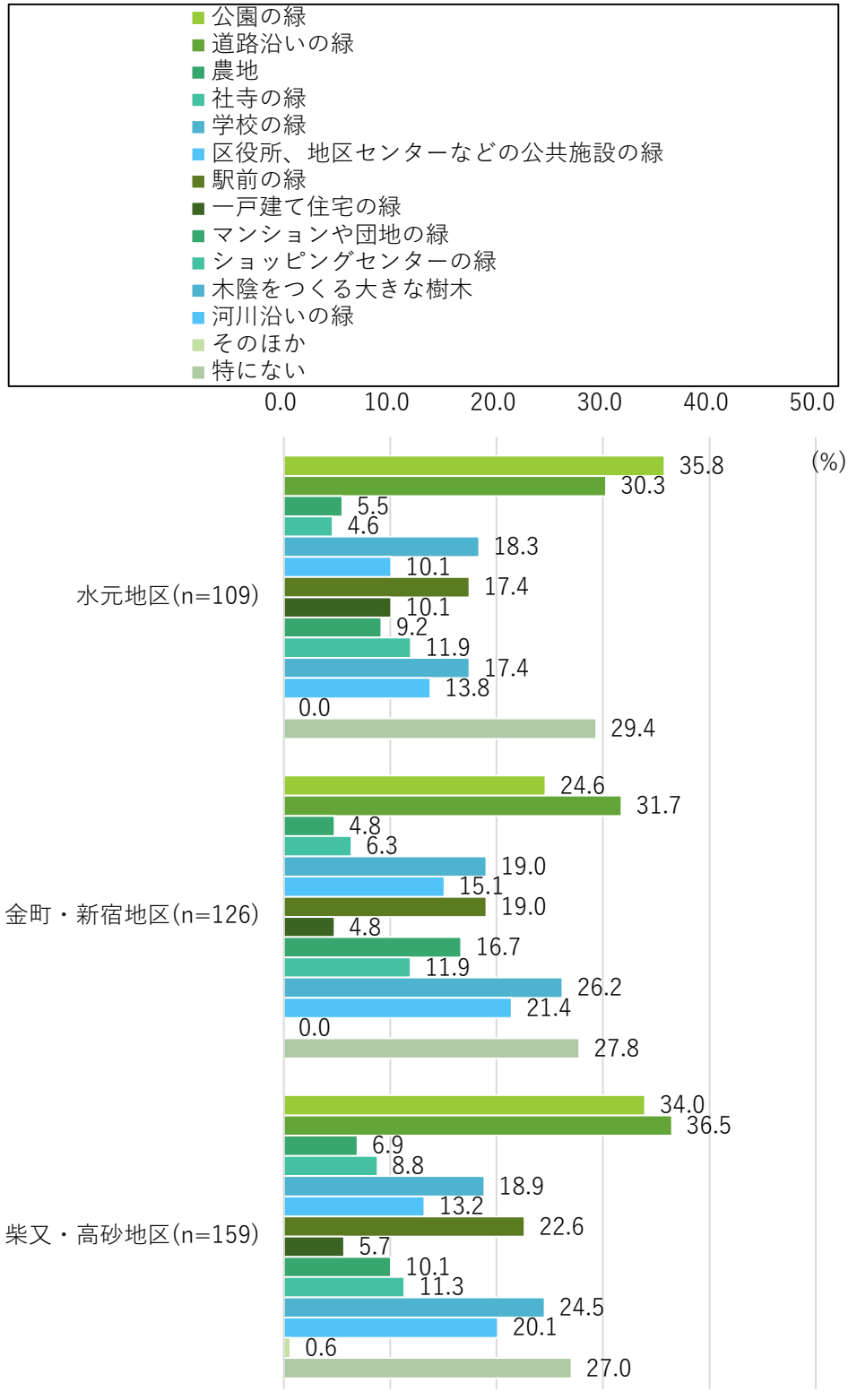
- 20 代において「農地」「社寺の緑」「学校の緑」「一戸建て住宅の緑」「マンションや団地の緑」「ショッピングセンターの緑」が全体の集計結果よりやや高い。
- 30 代、60 代において「特にない」が全体の集計結果よりやや高い。
- 30 代については、「公園の緑」「道路沿いの緑」「区役所、地区センターなどの公共施設の緑」「駅前の緑」「木陰をつくる大きな樹木」「河川沿いの緑」が全体の集計結果よりやや低い。
- 70 代において「道路沿いの緑」「駅前の緑」が全体の集計結果より高く、「特にない」が低い。また、「公園の緑」「学校の緑」「区役所、地区センターなどの公共施設の緑」「木陰をつくる大きな樹木」「河川沿いの緑」がやや高い。

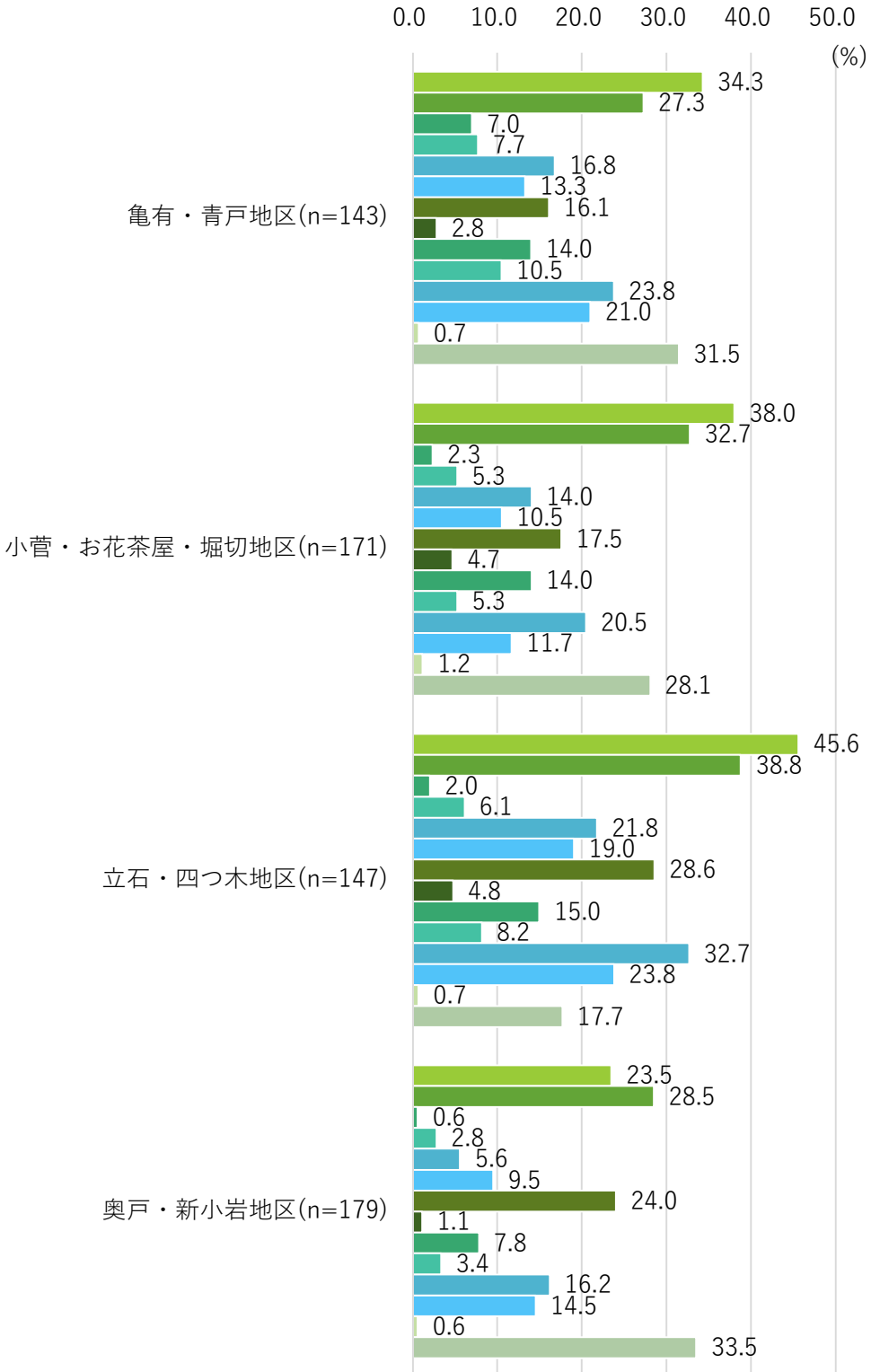



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
(%)
40代
(n=184)
31.0
29.9
4.9
7.1
17.9
13.0
20.7
4.3
12.0
10.9
21.2
18.5
1.1
35.3
50代
(n=344)
33.7
28.2
2.3
3.8
11.9
9.6
19.8
3.8
11.3
7.8
21.5
16.9
0.9
28.2
60代
(n=241)
36.1
36.5
3.3
6.6
15.4
17.0
21.2
5.4
11.2
5.8
25.3
19.9
0.4
23.7
70代以上
(n=96)
40.6
49.0
0.0
8.3
22.9
18.8
33.3
6.3
13.5
9.4
32.3
24.0
0.0
16.7

【居住地別】

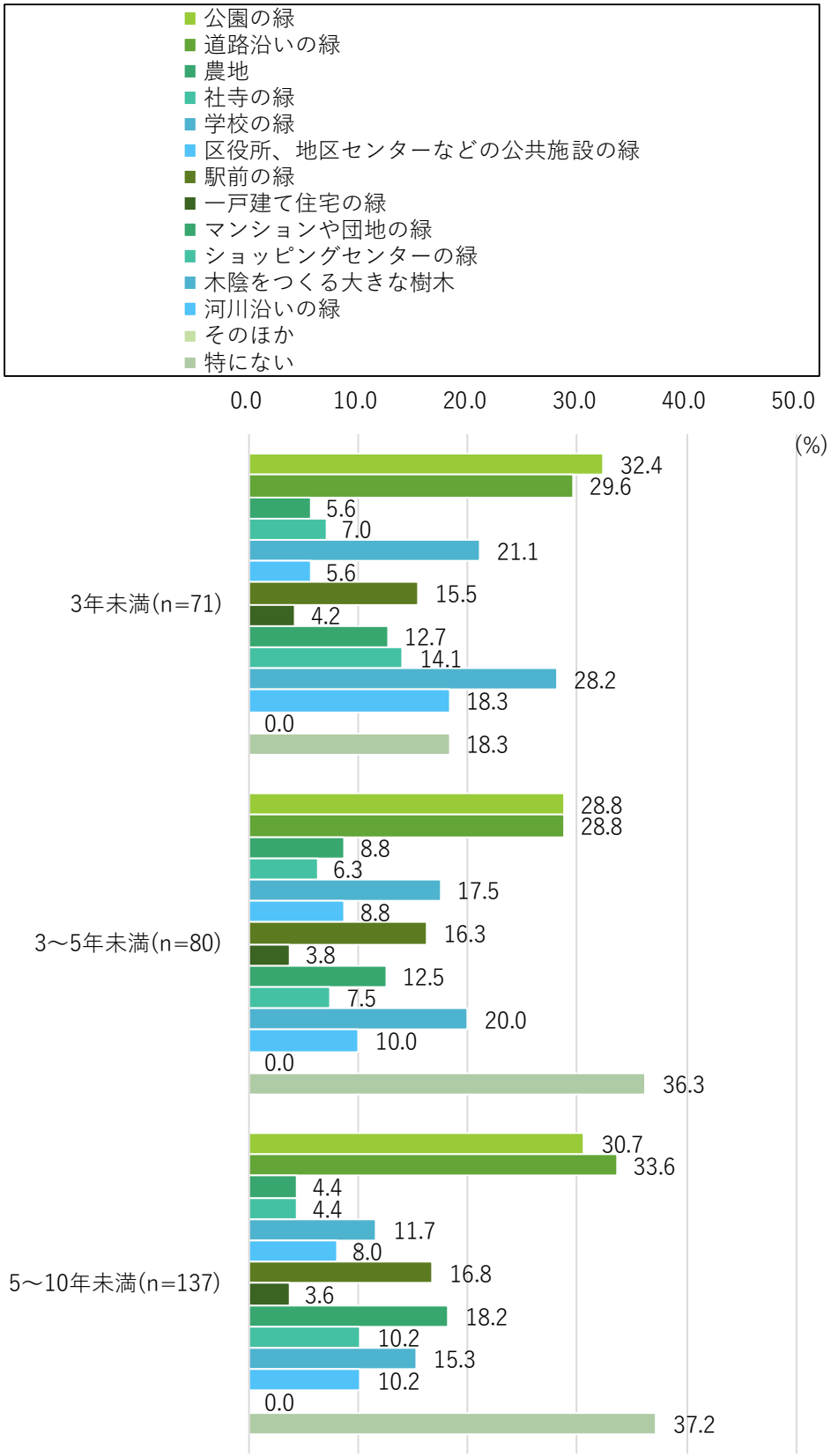
- 水元地区において「一戸建て住宅の緑」が全体の集計結果よりやや高い。また、「木陰をつくる大きな樹木」がやや低い。
- 金町・新宿地区において「公園の緑」が全体の集計結果よりやや低い。
- 亀有・青戸地区において「道路沿いの緑」が全体の集計結果よりやや低い。
- 立石・四つ木地区において「公園の緑」が全体の集計結果より高い。また、「道路沿いの緑」「学校の緑」「区役所」「地区センターなどの公共施設の緑」「駅前の緑」「木陰をつくる大きな樹木」「河川沿いの緑」がやや高く、「特にない」が低い。
- 奥戸・新小岩地区において「公園の緑」「学校の緑」が全体の集計結果より低い。また、「ショッピングセンターの緑」「木陰をつくる大きな樹木」がやや低く、「特にない」がやや高い。



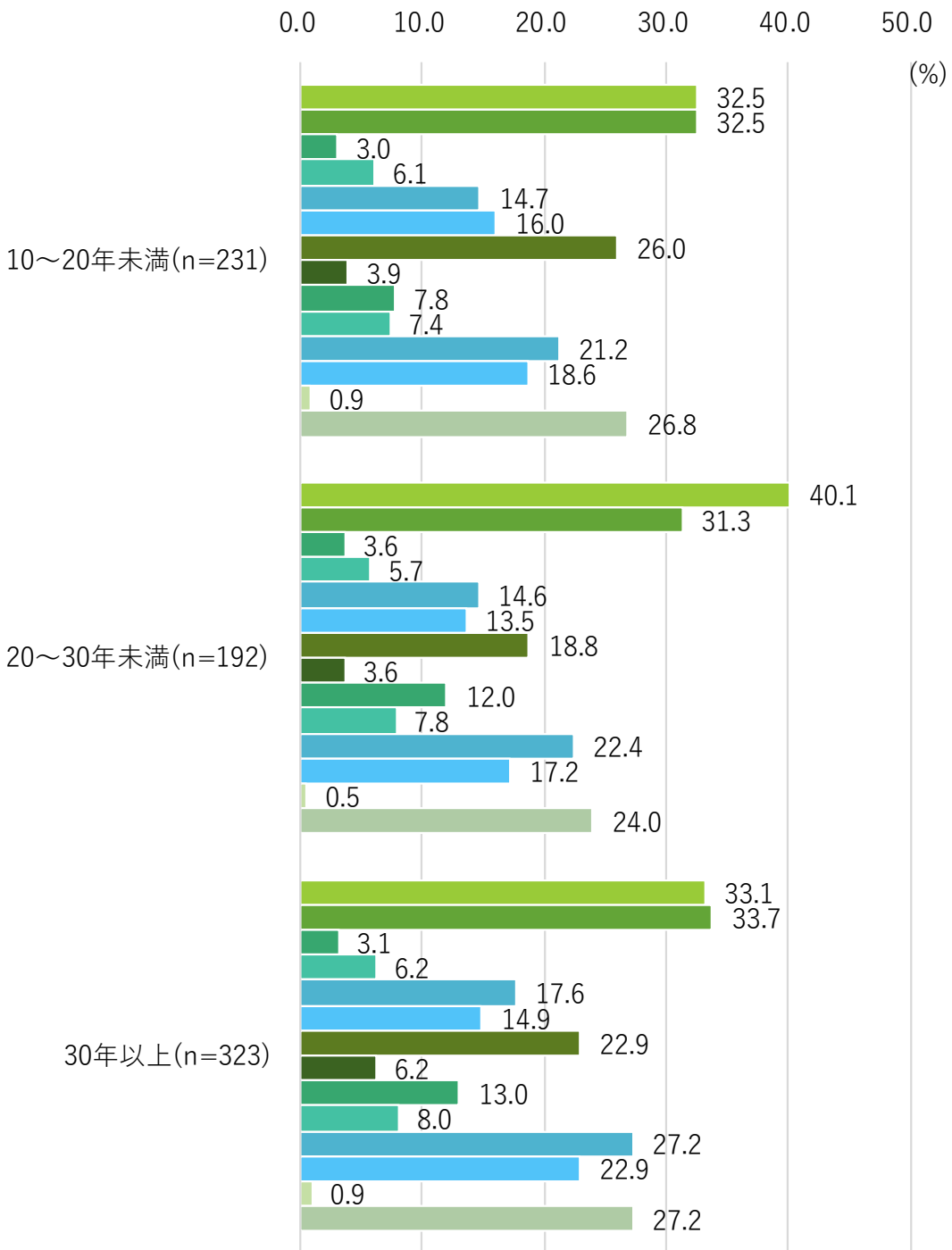

0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
(%)
亀有・青戸地区(n=143)
34.3
27.3
7.0
7.7
16.8
13.3
16.1
2.8
14.0
10.5
23.8
21.0
0.7
31.5
小菅・お花茶屋・堀切地区(n=171)
38.0
32.7
2.3
5.3
14.0
10.5
17.5
4.7
14.0
5.3
20.5
11.7
1.2
28.1
立石・四つ木地区(n=147)
45.6
38.8
2.0
6.1
21.8
19.0
28.6
4.8
15.0
8.2
32.7
23.8
0.7
17.7
奥戸・新小岩地区(n=179)
23.5
28.5
0.6
2.8
5.6
9.5
24.0
1.1
7.8
3.4
16.2
14.5
0.6
33.5

【在住歴別】

- 3 年未満において「学校の緑」「ショッピングセンターの緑」「木陰をつくる大きな樹木」が全体の集計結果よりやや高い。また、「区役所、地区センターなどの公共施設の緑」「駅前の緑」「特にない」がやや低い。
- 3～5 年未満において「特にない」が全体の集計結果よりやや高く、「河川沿いの緑」がやや低い。
- 5～10 年未満において「マンションや団地の緑」「特にない」が全体の集計結果よりやや高く、「木陰をつくる大きな樹木」「河川沿いの緑」がやや低い。



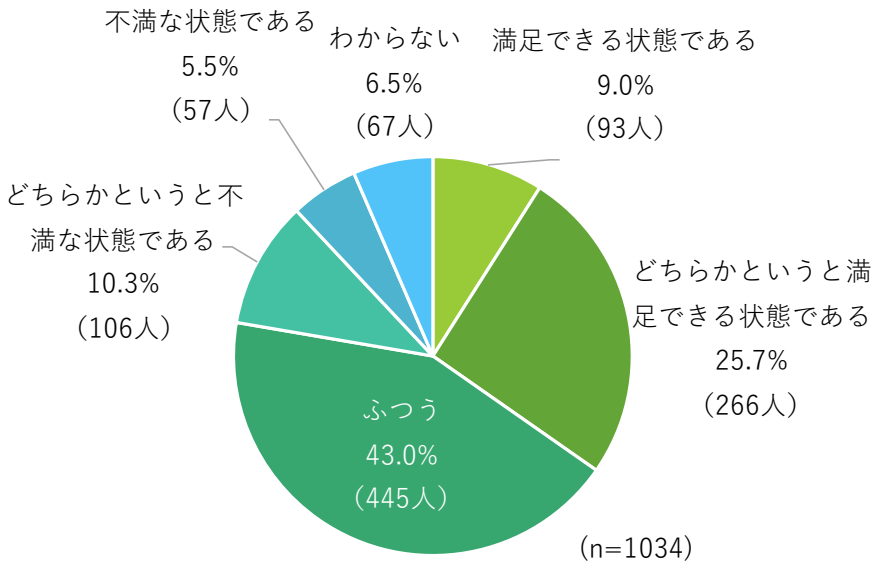
- 20～30 年未満において「公園の緑」が全体の集計結果よりやや高く、30 年以上において「河川沿いの緑」がやや高い。



（6）「まちの魅力を高める」という要素としての満足度

Q　あなたのお住まい周辺の緑は、「まちの魅力を高める」という要素として、満足できる状態ですか。

- 「ふつう」（43.0%）が最も多く、次いで「どちらかというと満足できる状態である」（25.7%）となっている。
- 「満足」「どちらかといえば満足」の合計（34.7%）が、「不満」「どちらかというと不満」の合計（15.8%）を上回っている。

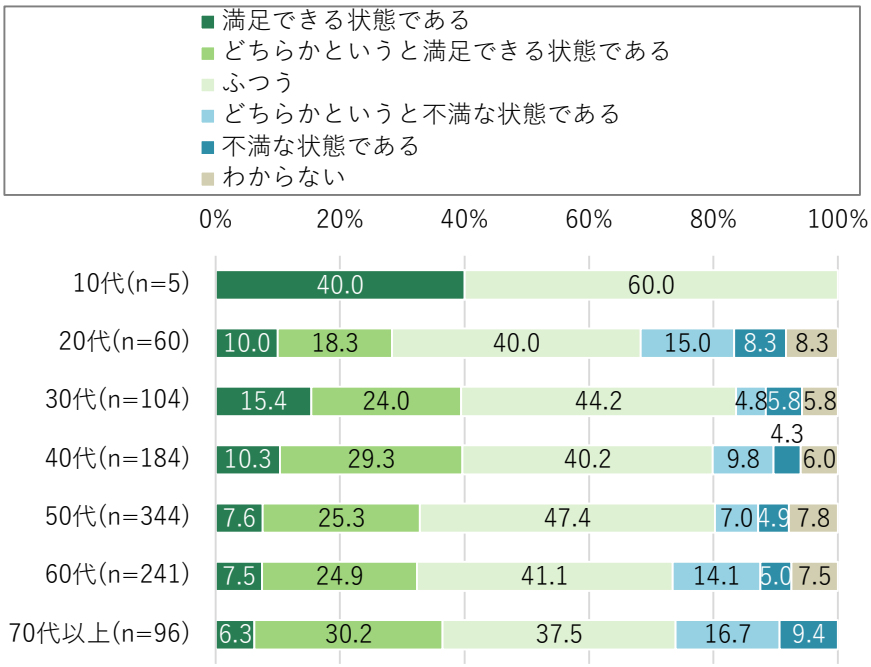


選択した理由

満足できる状態である・どちらかというと満足できる状態である
● 住みやすい ● 緑が多い、緑が適度にある ● 公園が多い ● 水元公園がある、水元公園に緑がある など
ふつう
● 特にない ● 緑は多くも少なくもない ● 可もなく不可もない など
不満な状態である・どちらかというと不満な状態である
● 緑が少ない ● 再開発、宅地化、道路の整備などで緑が減っている など

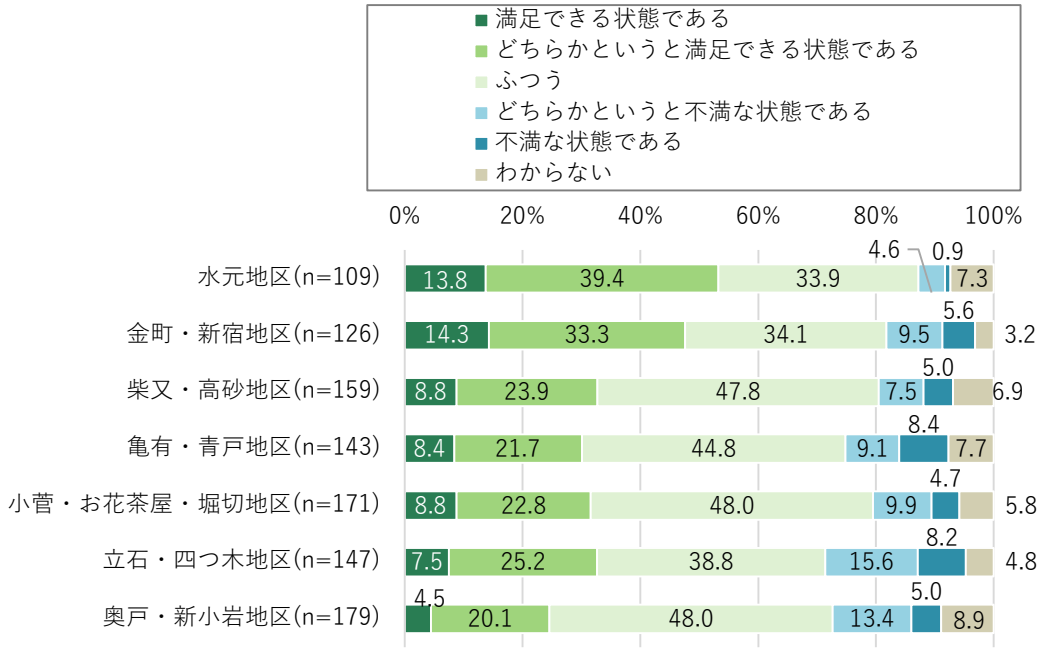
【年齢別】

- 20 代において「満足」「どちらかといえば満足」の合計が全体の集計結果よりやや低く、「不満」「どちらかというと不満」の合計がやや高い。
- 30 代において「不満」「どちらかというと不満」の合計が全体の集計結果よりやや低い。
- 70 代以上において「不満」「どちらかというと不満」の合計が全体の集計結果より高い。



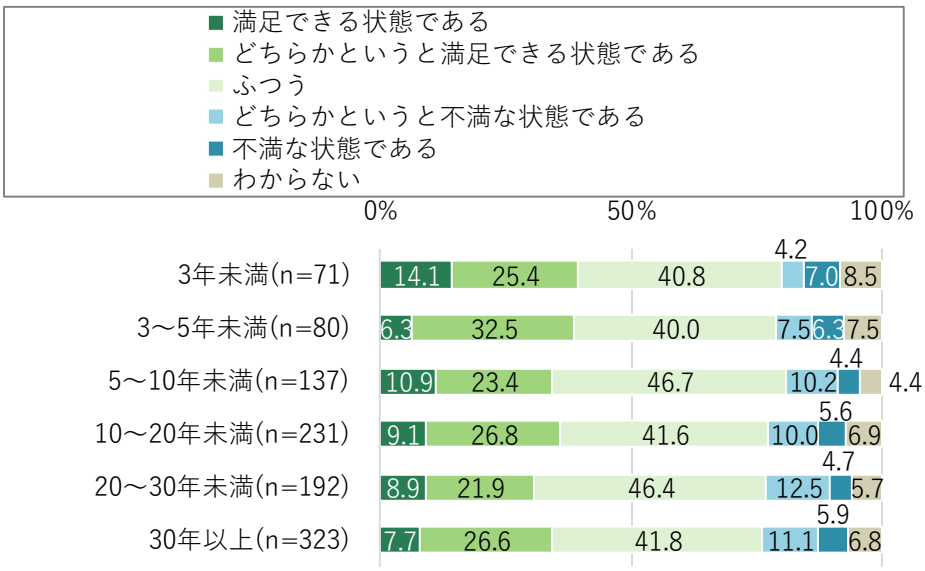
【居住地別】

- 水元地区、金町・新宿地区において、「満足」「どちらかといえば満足」の合計が全体の集計結果より高い。また、水元地区は、「不満」「どちらかというと不満」の合計が全体の集計結果より低い。
- 立石・四つ木地区において、「不満」「どちらかというと不満」の合計が全体の集計結果よりやや高い。
- 奥戸・新小岩地区において、「満足」「どちらかといえば満足」の合計全全体の集計結果より低い。



【在住歴別】

- ３年未満において「満足」が全体の集計結果よりやや高く、「どちらかというと不満」がやや低い。
- 3～5 年未満において「どちらかといえば満足」が全体の集計結果よりやや高い。

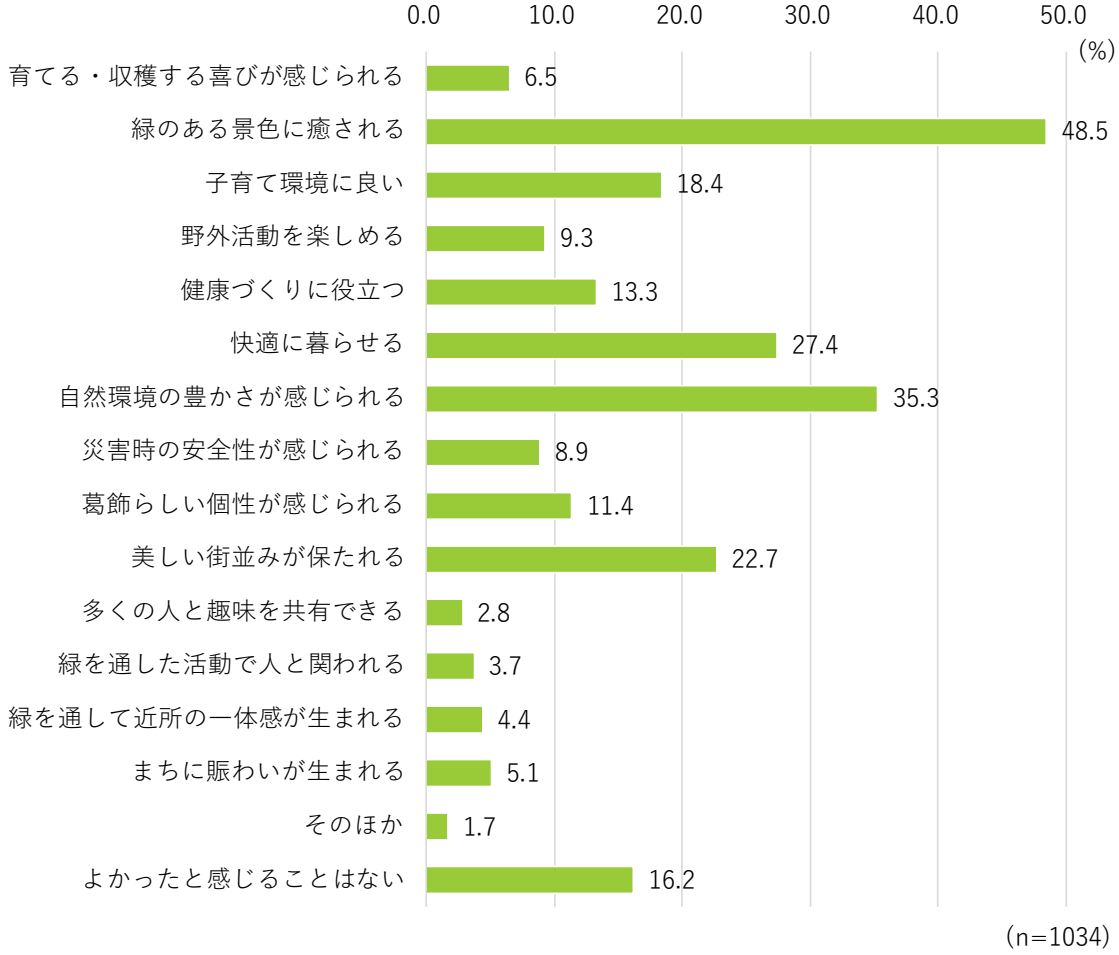


（7）緑があってよかったと感じる時・よかったと感じることはない理由

①緑があってよかったと感じる時

Q　あなたが、暮らしのなかで緑があってよかったと感じるのはどんな時ですか。(いくつでも)。

- 「緑のある景色に癒される」(48.5%)、「自然環境の豊かさが感じられる」(35.3%)、「快適に暮らせる」(27.4%)、「美しい街並みが保たれる」(22.7%) の順に多く、緑が存在することによる効果が選ばれている。

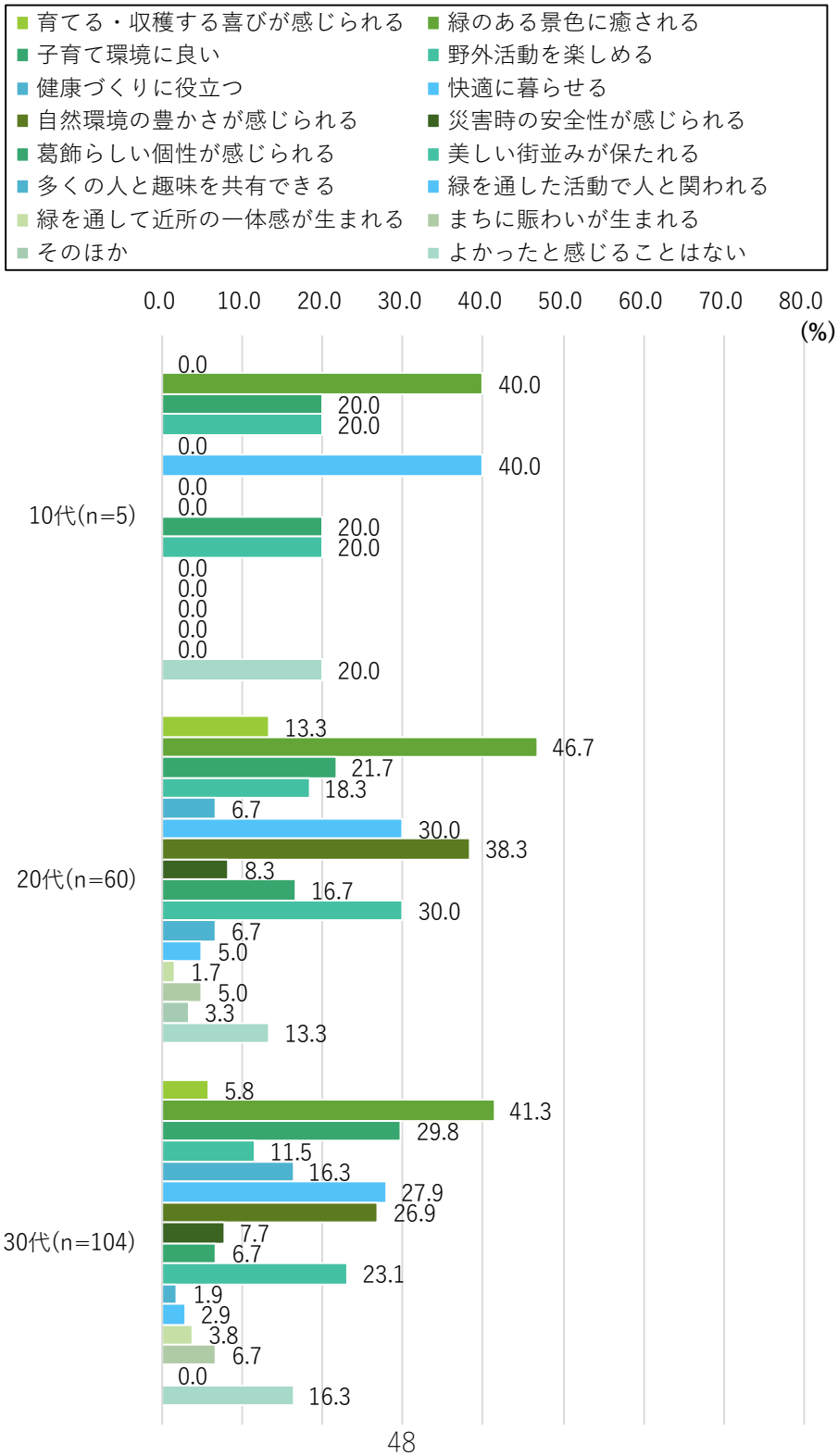


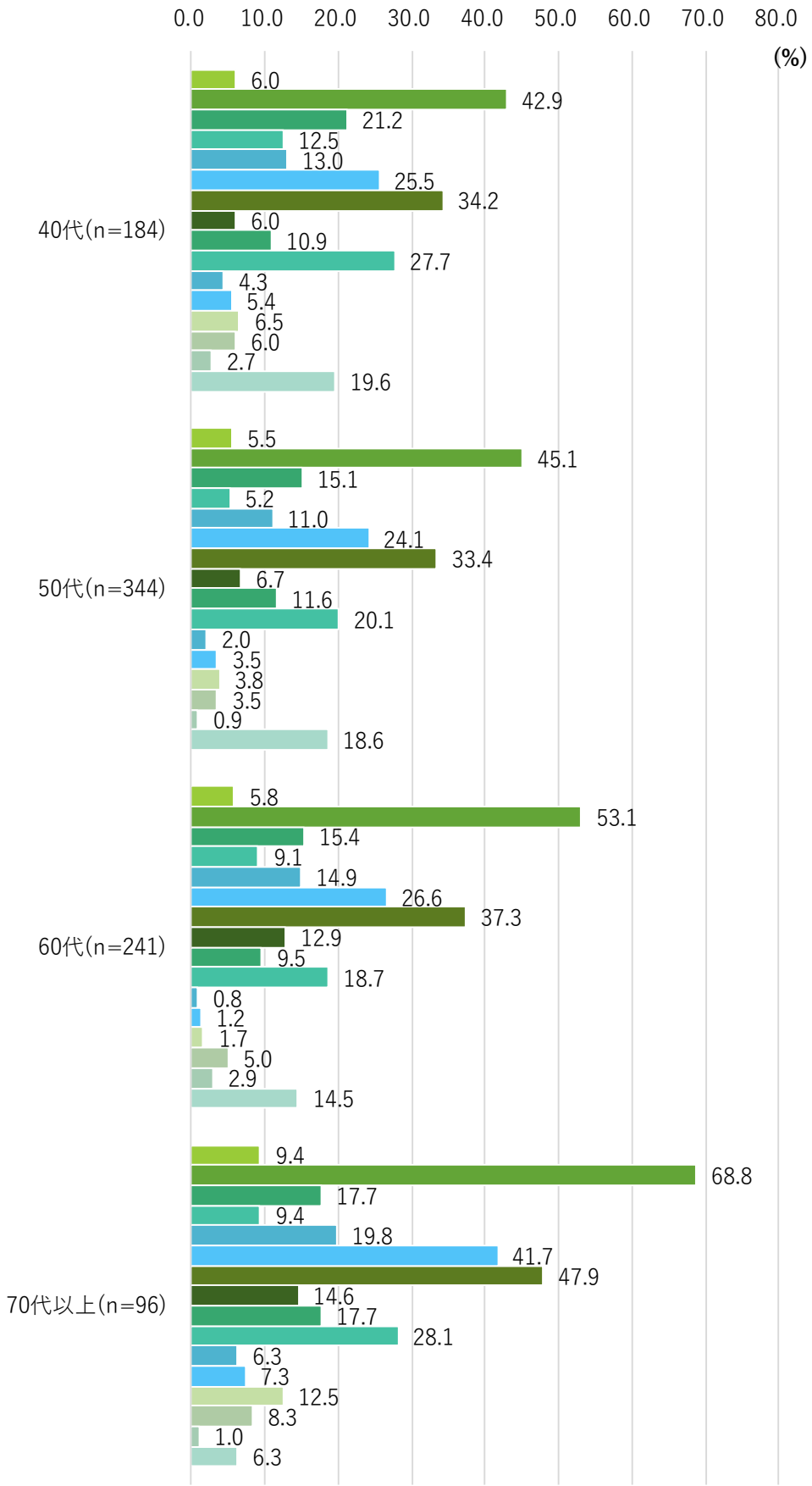
(n=1034)

「そのほか」の回答
- 季節感が感じられる（２件）
- 四季を感じる（２件）
- 季節の花が見られる
- 美しいと感じた時
- 暑さをしのげる
- 夏に涼しく感じる
- 鳥の囀りに癒される
- 生き物(虫などが)見られる
- 空気が美味しい
- コロナ禍で散歩にいける
- コロナ感染の時期
- 散歩が楽しい
- 不調なときや疲れた時に、緑の近くを通った時や、雨後の土の匂いを感じた時
- 学校の芝生は風で砂が舞わなくて良い
- 特に意識したことがない
- 別に無い

【年齢別】

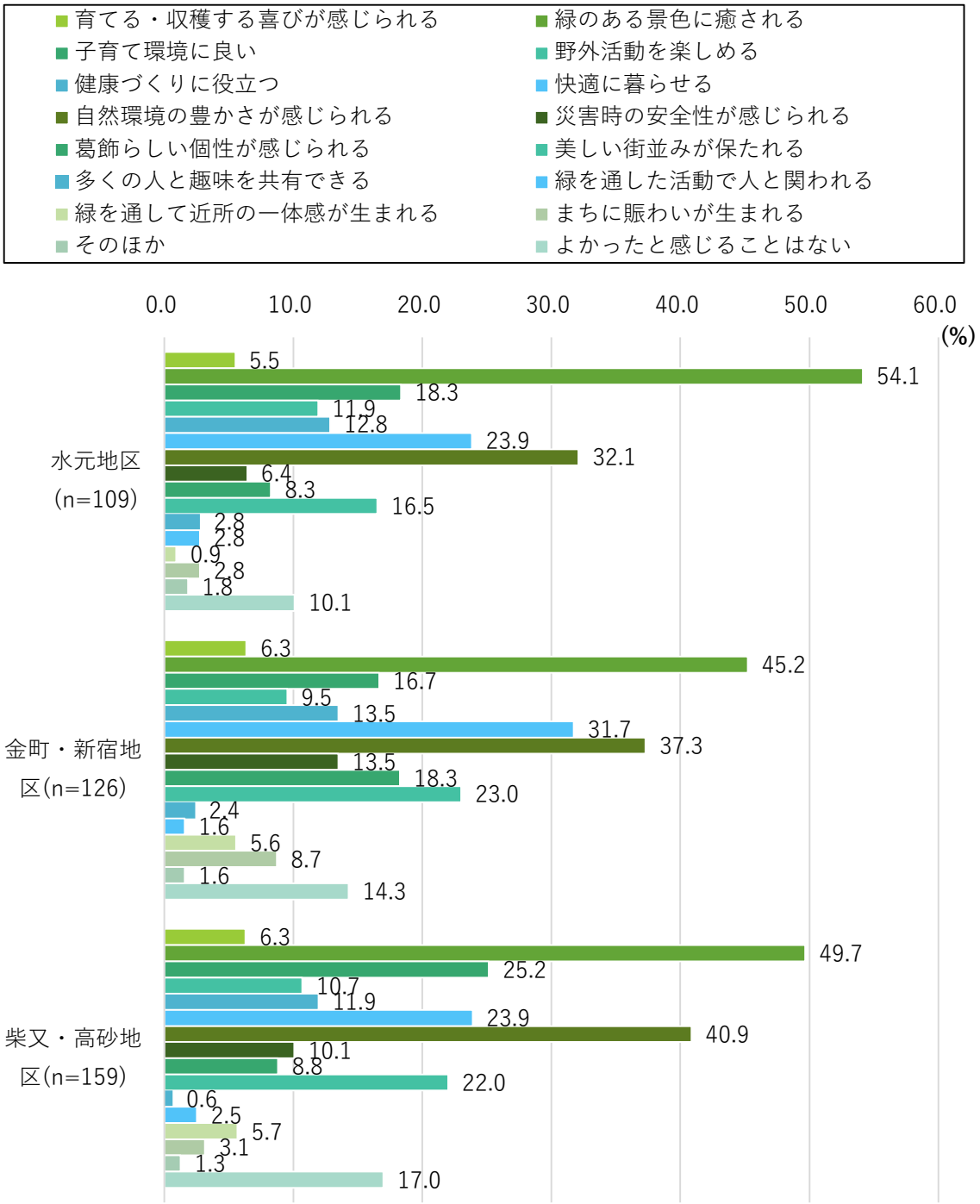
- 20 代において「育てる・収穫する喜びが感じられる」「野外活動を楽しめる」「葛飾らしい個性が感じられる」「美しい街並みが保たれる」が全体の集計結果よりやや高く、「健康づくりに役立つ」がやや低い。
- 30 代において「子育て環境に良い」が全体の集計結果より高く、「緑のある景色に癒される」「自然環境の豊かさが感じられる」がやや低い。
- 40 代において「緑のある景色に癒される」が全体の集計結果よりやや低い。
- 70 代において「緑のある景色に癒される」「快適に暮らせる」「自然環境の豊かさが感じられる」が全体の集計結果より高い。また、「健康づくりに役立つ」「災害時の安全性が感じられる」「葛飾らしい個性が感じられる」「美しい街並みが保たれる」「緑を通して近所の一体感が生まれる」がやや高く、「よかったと感じることはない」がやや低い。

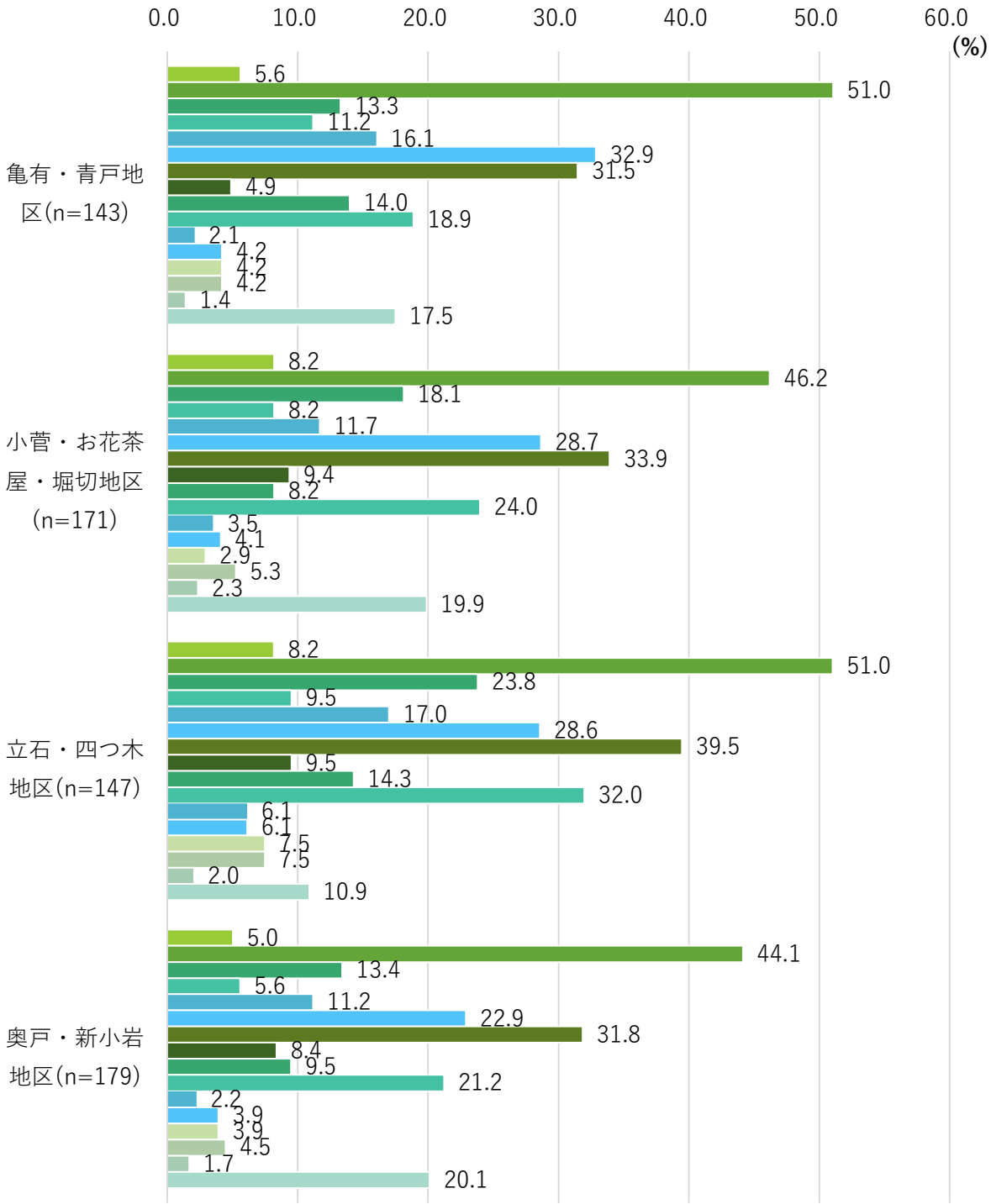



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
70.0
80.0
(%)
40代(n=184)
6.0
42.9
21.2
12.5
13.0
25.5
34.2
6.0
10.9
27.7
4.3
5.4
6.5
6.0
2.7
19.6
50代(n=344)
5.5
45.1
15.1
5.2
11.0
24.1
33.4
6.7
11.6
20.1
2.0
3.5
3.8
3.5
0.9
18.6
60代(n=241)
5.8
53.1
15.4
9.1
14.9
26.6
37.3
12.9
9.5
18.7
0.8
1.2
1.7
5.0
2.9
14.5
70代以上(n=96)
9.4
68.8
17.7
9.4
19.8
41.7
47.9
14.6
17.7
28.1
6.3
7.3
12.5
8.3
1.0
6.3

【居住地別】

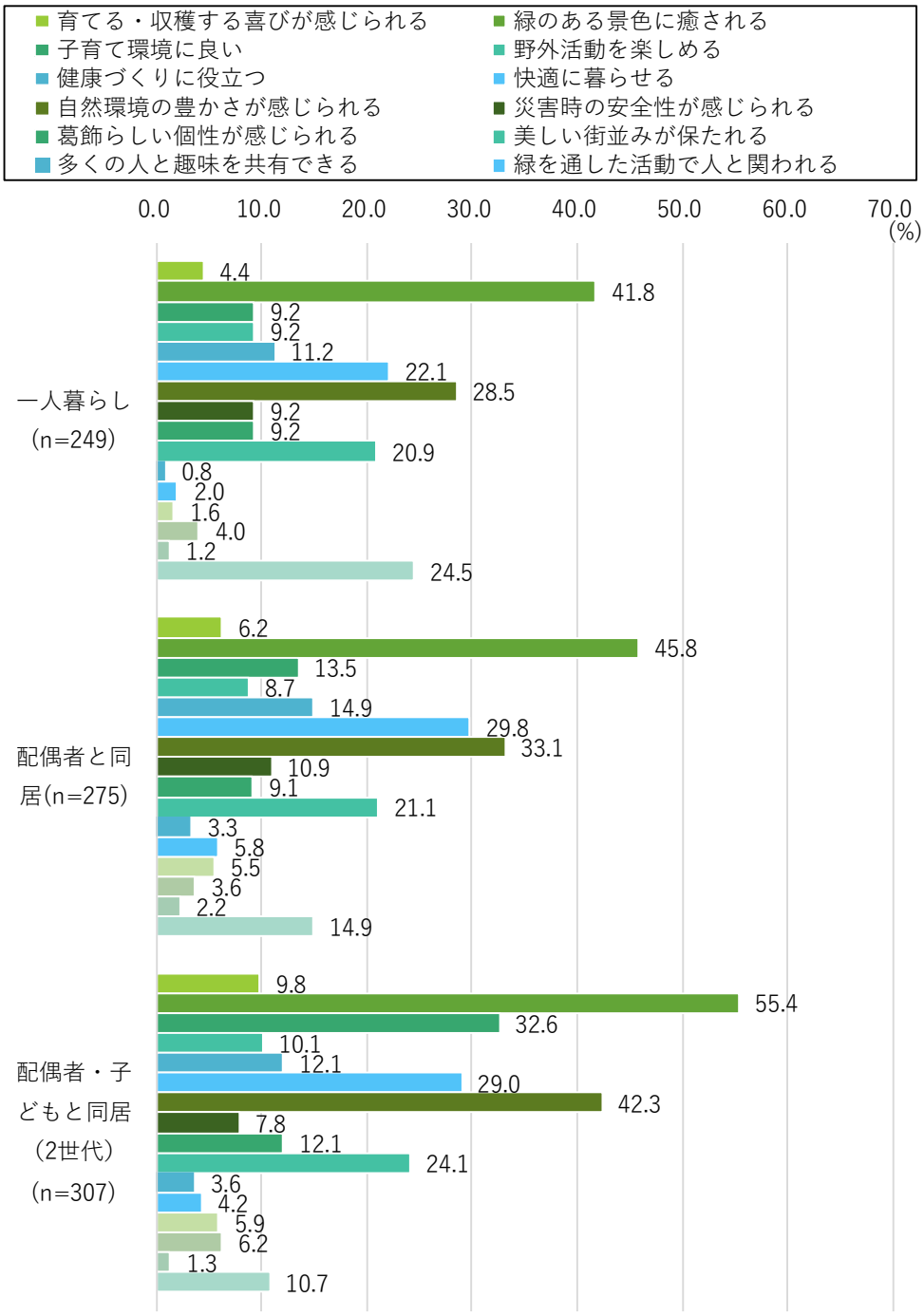
- 水元地区において「緑のある景色に癒される」が全体の集計結果よりやや高く、「美しい街並みが保たれる」「よかったと感じることはない」がやや低い。
- 金町・新宿地区において「葛飾らしい個性が感じられる」が全体の集計結果よりやや高い。
- 柴又・高砂地区において「子育て環境に良い」「自然環境の豊かさが感じられる」が全体の集計結果よりやや高い。
- 亀有・青戸地区において「快適に暮らせる」が全体の集計結果よりやや高く、「子育て環境に良い」がやや低い。
- 立石・四つ木地区において「子育て環境に良い」「美しい街並みが保たれる」が全体の集計結果よりやや高く、「よかったと感じることはない」がやや低い。

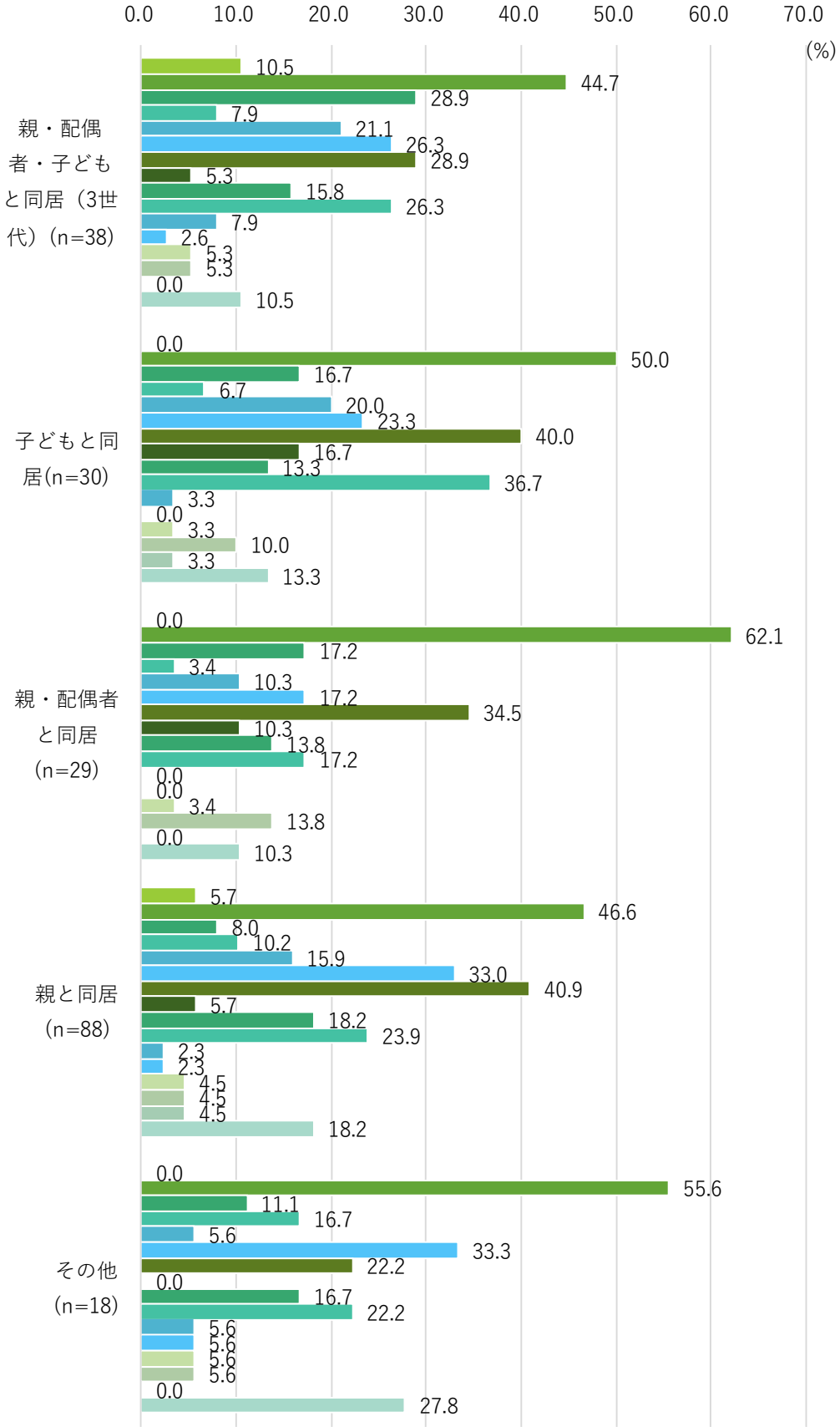



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
(%)
亀有・青戸地区(n=143)
5.6
51.0
13.3
11.2
16.1
32.9
31.5
4.9
14.0
18.9
2.1
4.2
4.2
4.2
1.4
17.5
小菅・お花茶屋・堀切地区(n=171)
8.2
46.2
18.1
8.2
11.7
28.7
33.9
9.4
8.2
24.0
3.5
4.1
2.9
5.3
2.3
19.9
立石・四つ木地区(n=147)
8.2
51.0
23.8
9.5
17.0
28.6
39.5
9.5
14.3
32.0
6.1
6.1
7.5
7.5
2.0
10.9
奥戸・新小岩地区(n=179)
5.0
44.1
13.4
5.6
11.2
22.9
31.8
8.4
9.5
21.2
2.2
3.9
3.9
4.5
1.7
20.1

【世帯構成別】

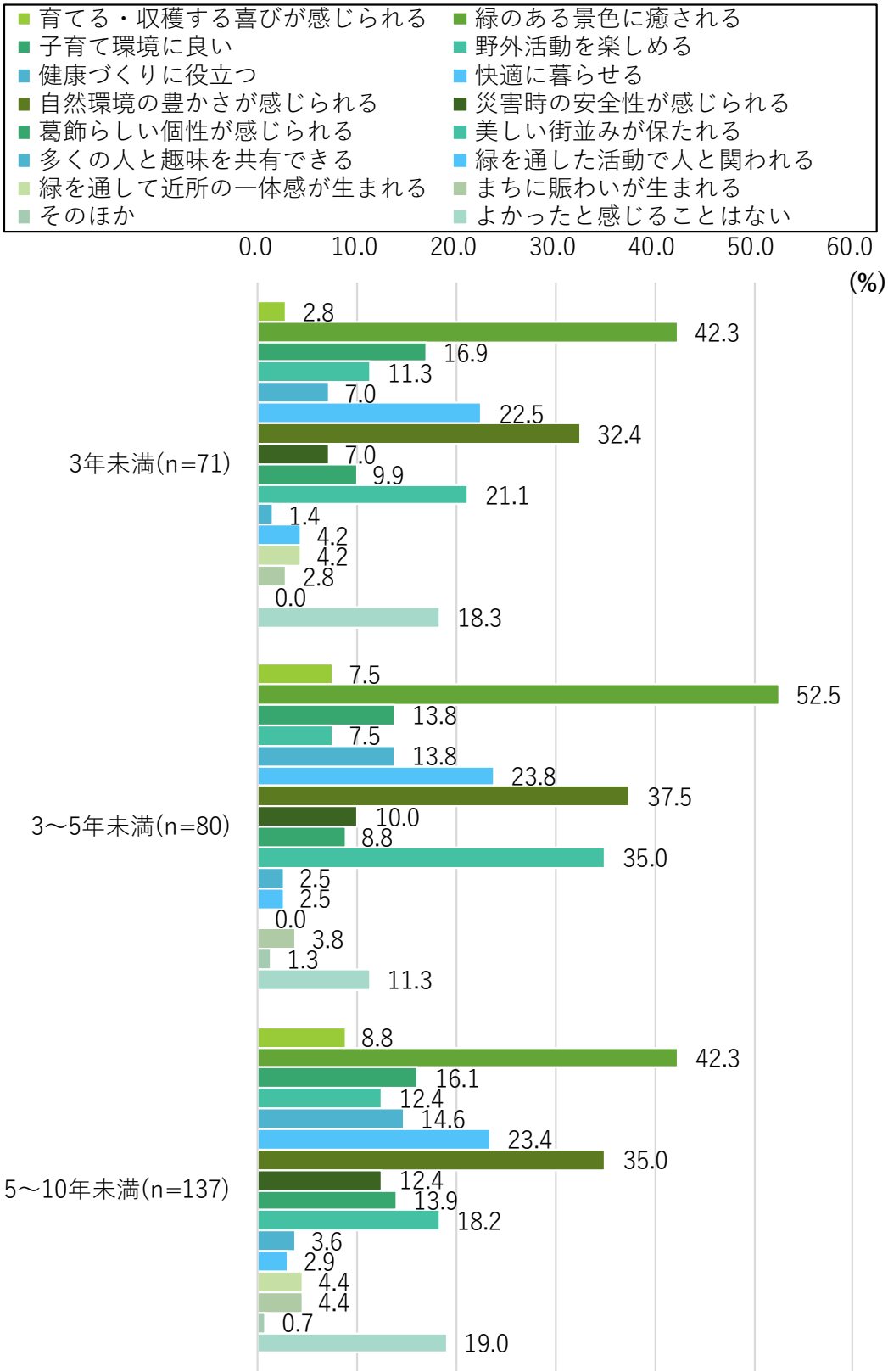
- 一人暮らしにおいて「よかったと感じることはない」が全体の集計結果よりやや高く、「緑のある景色に癒される」「子育て環境に良い」「快適に暮らせる」「自然環境の豊かさが感じられる」がやや低い。
- 配偶者・子どもと同居（2 世代）において「子育て環境に良い」が全体の集計結果より高く、「緑のある景色に癒される」「自然環境の豊かさが感じられる」がやや高い。また、「よかったと感じることはない」はやや低い。
- 親・配偶者・子どもと同居（3 世代）において「子育て環境に良い」が全体の集計結果より高く、「健康づくりに役立つ」「多くの人と趣味を共有できる」がやや高い。また、「よかったと感じることはない」はやや低い。
- 親と同居において「子育て環境に良い」が全体の集計結果より低い。また、「快適に暮らせる」「自然環境の豊かさが感じられる」「葛飾らしい個性が感じられる」がやや高い。

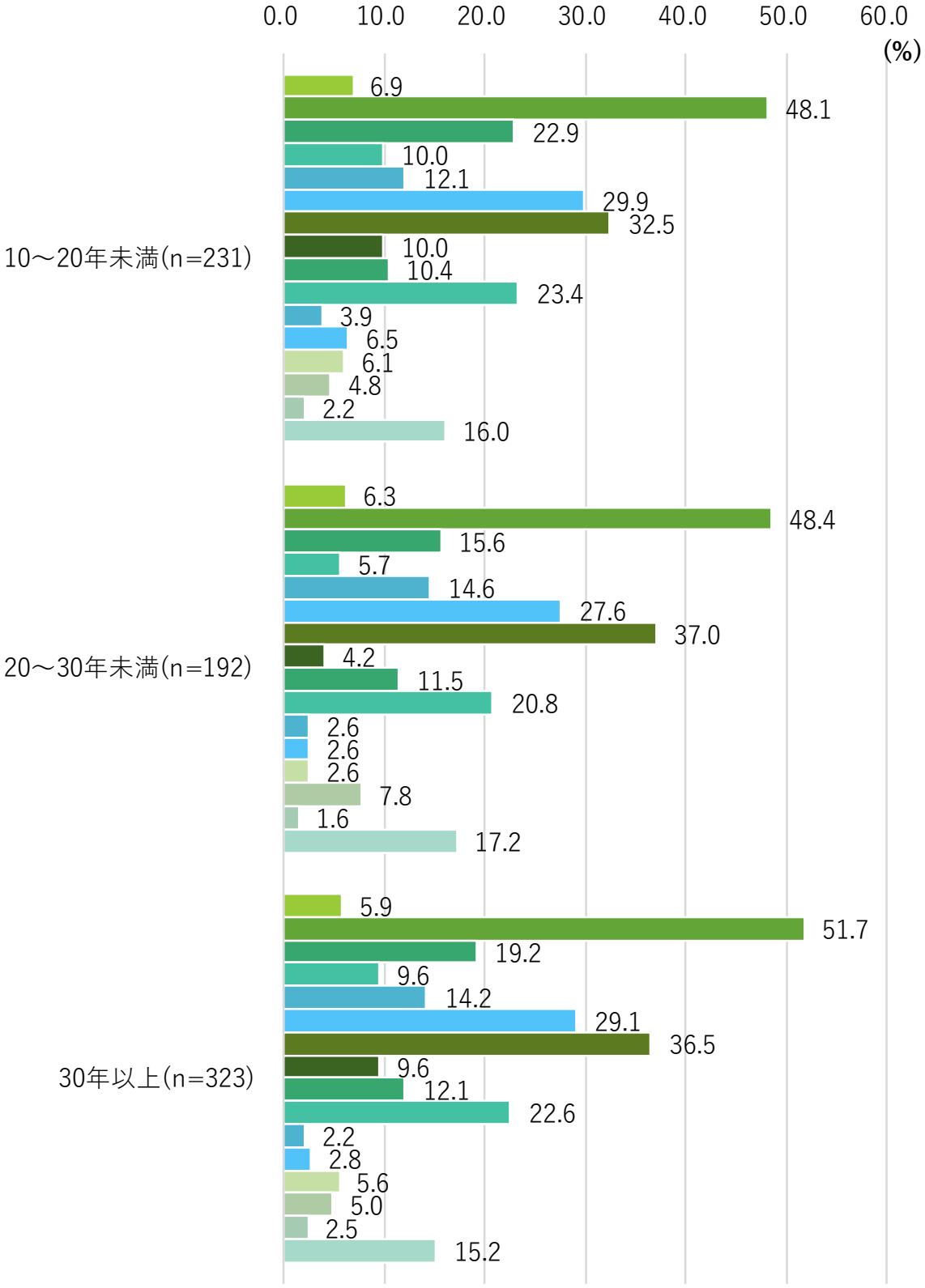



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
70.0
(%)
親・配偶者・子どもと同居（3世代）（n=38）
10.5
44.7
28.9
7.9
21.1
26.3
28.9
5.3
15.8
26.3
7.9
2.6
5.3
5.3
0.0
10.5
子どもと同居(n=30)
0.0
50.0
16.7
6.7
20.0
23.3
40.0
16.7
13.3
36.7
3.3
0.0
3.3
10.0
3.3
13.3
親・配偶者と同居(n=29)
0.0
62.1
17.2
3.4
10.3
17.2
34.5
10.3
13.8
17.2
0.0
0.0
3.4
13.8
0.0
10.3
親と同居(n=88)
5.7
46.6
8.0
10.2
15.9
33.0
40.9
5.7
18.2
23.9
2.3
2.3
4.5
4.5
4.5
18.2
その他(n=18)
0.0
55.6
11.1
16.7
5.6
33.3
22.2
0.0
16.7
22.2
5.6
5.6
5.6
5.6
0.0
27.8

【在住歴別】

- ３年未満、5～10 年未満において「緑のある景色に癒される」が全体の集計結果よりやや低い。
- ３年未満については「健康づくりに役立つ」も全体の集計結果よりやや低い。
- 3～5 年未満において「美しい街並みが保たれる」が全体の集計結果より高い。

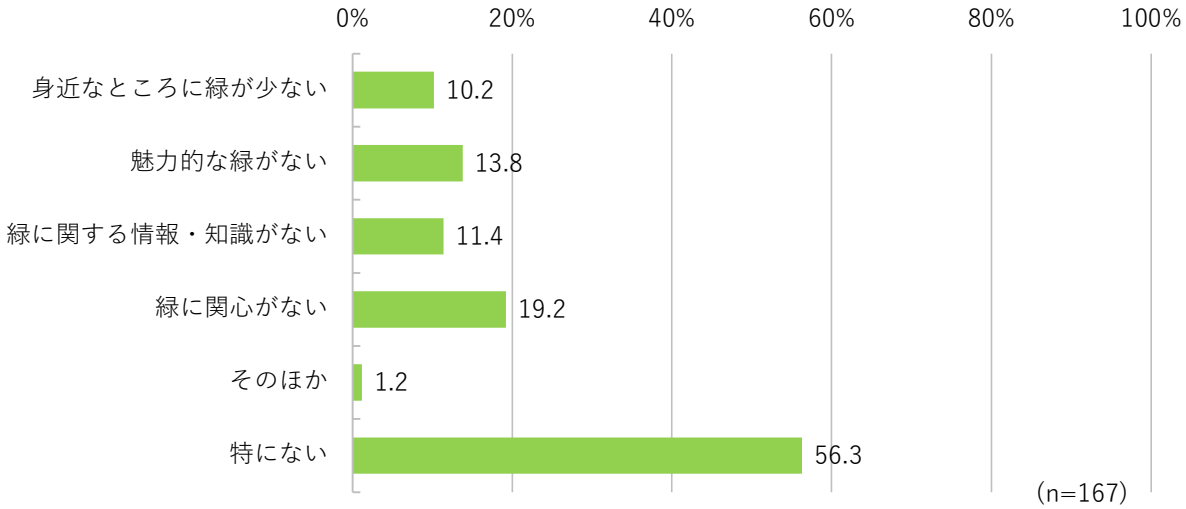



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
(%)
10～20年未満(n=231)
6.9
48.1
22.9
10.0
12.1
29.9
32.5
10.0
10.4
23.4
3.9
6.5
6.1
4.8
2.2
16.0
20～30年未満(n=192)
6.3
48.4
15.6
5.7
14.6
27.6
37.0
4.2
11.5
20.8
2.6
2.6
2.6
7.8
1.6
17.2
30年以上(n=323)
5.9
51.7
19.2
9.6
14.2
29.1
36.5
9.6
12.1
22.6
2.2
2.8
5.6
5.0
2.5
15.2

②「よかったと感じることはない」を選択した理由

Q　前問で、「よかったと感じることはない」を選択した理由はなんですか。（いくつでも）

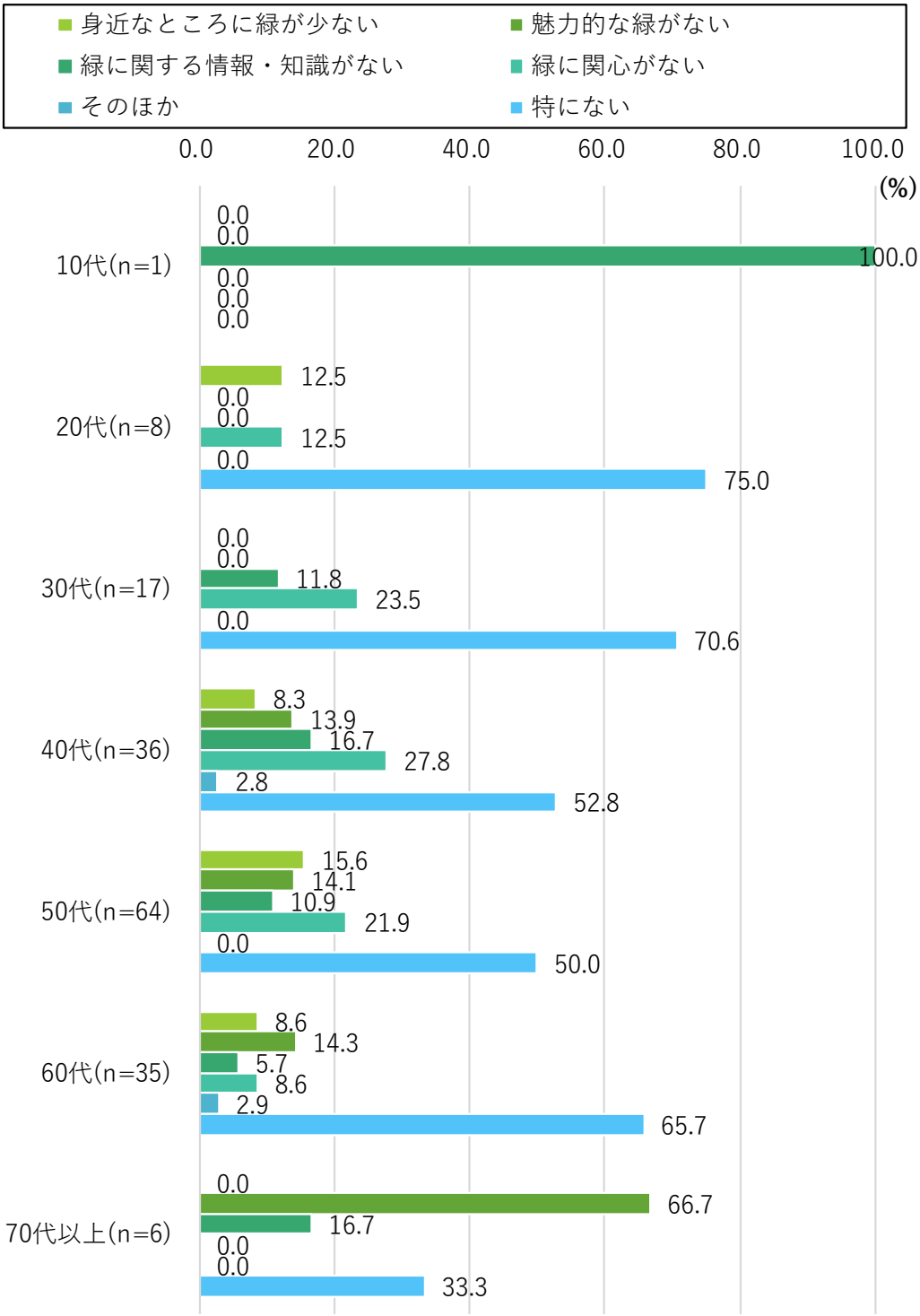
- 「特にない」（56.3%）が最も多く、次いで「緑に関心がない」（19.2%）となっている。



「そのほか」の回答
・街路樹が歩道側に伸びてきて歩行に危険な（原文ママ）
・虫が出る

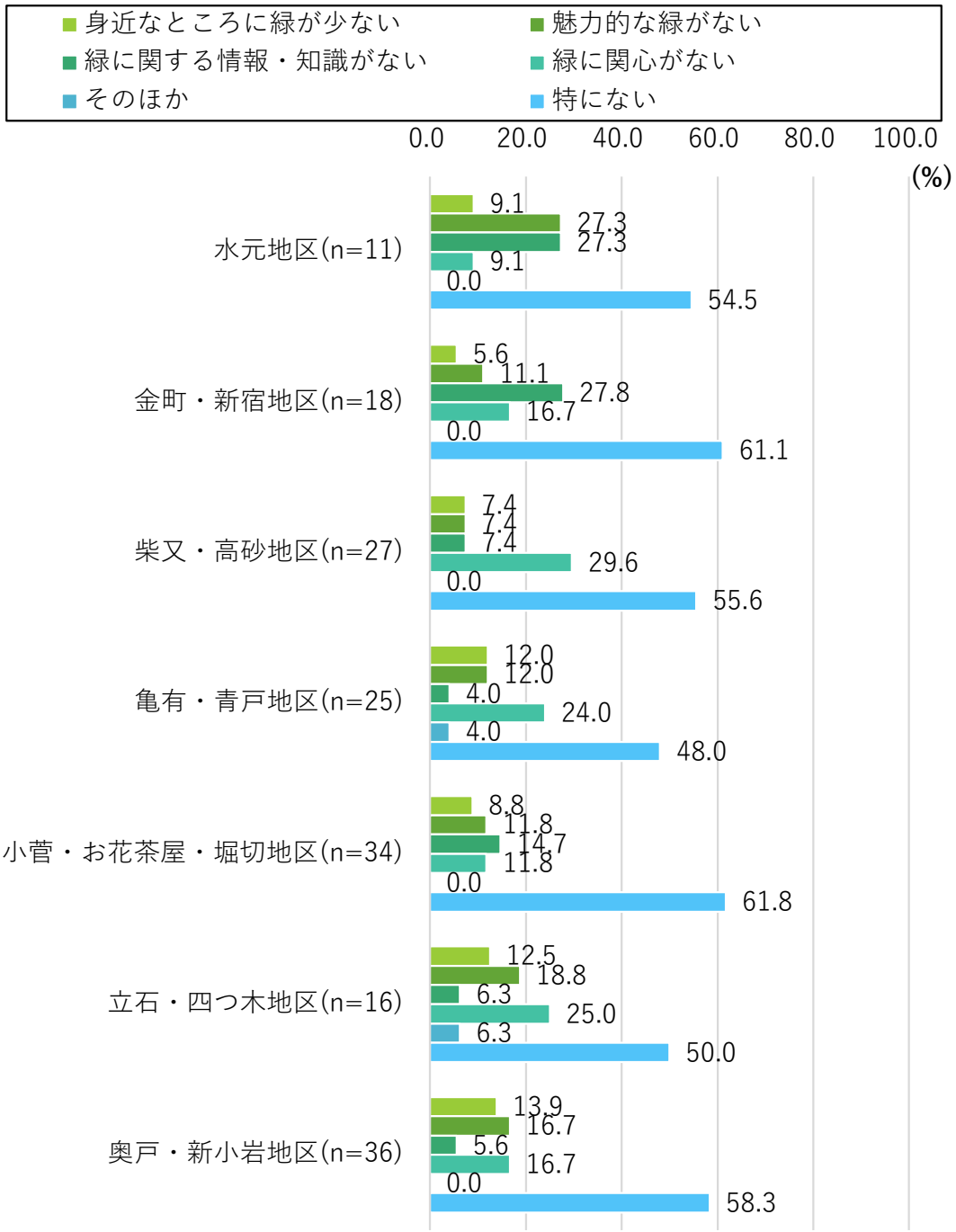
【年齢別】

- 40 代において「緑に関する情報・知識がない」「緑に関心がない」が全体の集計結果よりやや高い。
- 50 代において「身近なところに緑が少ない」が全体の集計結果よりやや高く、「特にない」がやや低い。
- 60 代において「緑に関心がない」が全体の集計結果より低く、「緑に関する情報・知識がない」がやや低い。また、「特にない」がやや高い。



【居住地別】

- 小菅・お花茶屋・堀切地区において「緑に関心がない」が全体の集計結果よりやや低い。また、「特にない」がやや高い。
- 奥戸・新小岩地区において「緑に関する情報・知識がない」が全体の集計結果よりやや低い。

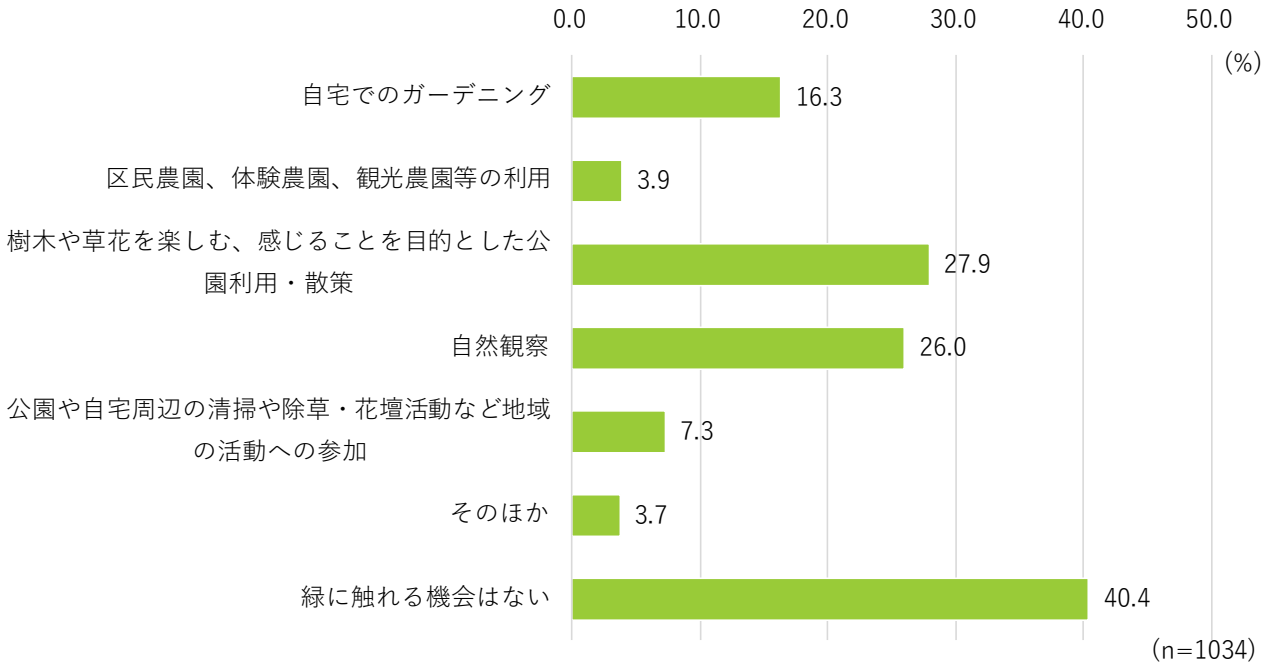


（8）普段緑に触れる機会・触れる機会がない理由

①普段緑に触れる機会

Q　あなたは普段、どのような機会に緑に触れていますか。(いくつでも)。

- 「緑に触れる機会はない」(40.4%) が最も多く、次いで「樹木や草花を楽しむ、感じることを目的とした公園利用・散策」(27.9%)、「自然観察」(26.0%) となっている。

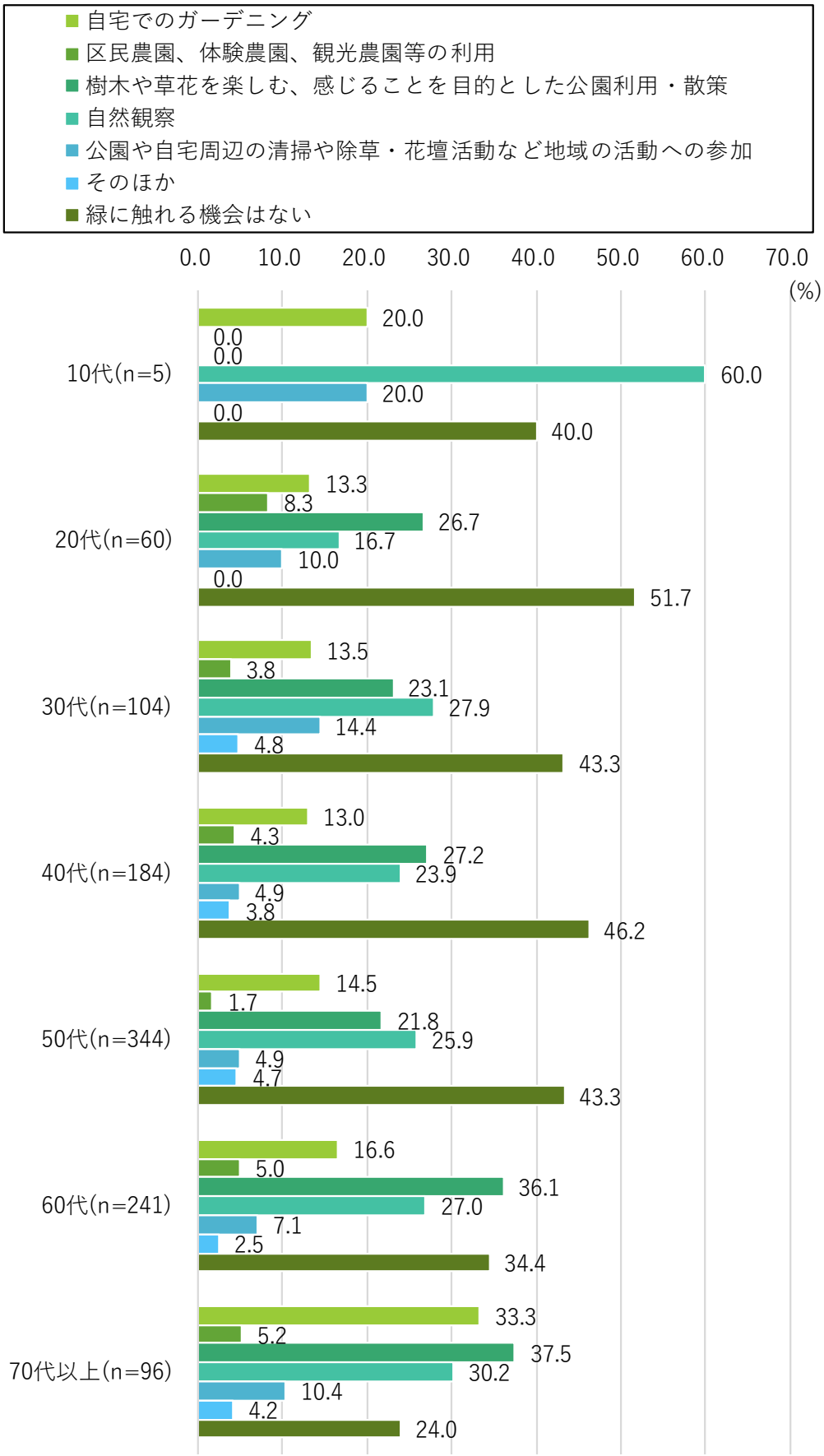


「そのほか」の回答

散歩、ウォーキング	・散歩（９件） ・散歩、ウォーキングで活用している ・土手散策 ・中川沿いや水元公園での散歩 ・公園内散歩 ・犬の散歩 ・犬の散歩で草木を見つける
レジャー	・サイクリング ・休日のレジャー ・ゴルフ場 ・釣り ・公園や河川敷での運動時 ・江戸川河川敷や水元公園周辺
通勤時仕事中	・通勤時に緑地のすぐ横を通っていく ・通勤時や買い物時に紅葉みたり、桜をみたり ・仕事柄高速道路で山道を走る事が多くそこで景観を楽しめている ・転勤で茨城のつくば市に通勤しているが緑の豊かさは葛飾と雲泥の差だと思う。 ・送迎の仕事をしている時 ・水耕栽培の仕事で
自宅での植物栽培	・観葉植物の栽培 ・ガーデニングではないが、観葉植物の室内園芸 ・実家の草花 ・ベランダで鉢植え植物を育てる
ジョギングランニング中	・ジョギング（２件） ・ランニング中 ・土手のランニングで緑の香りを感じる
上記以外	・なんとなく ・帰省した時 ・学校の芝生

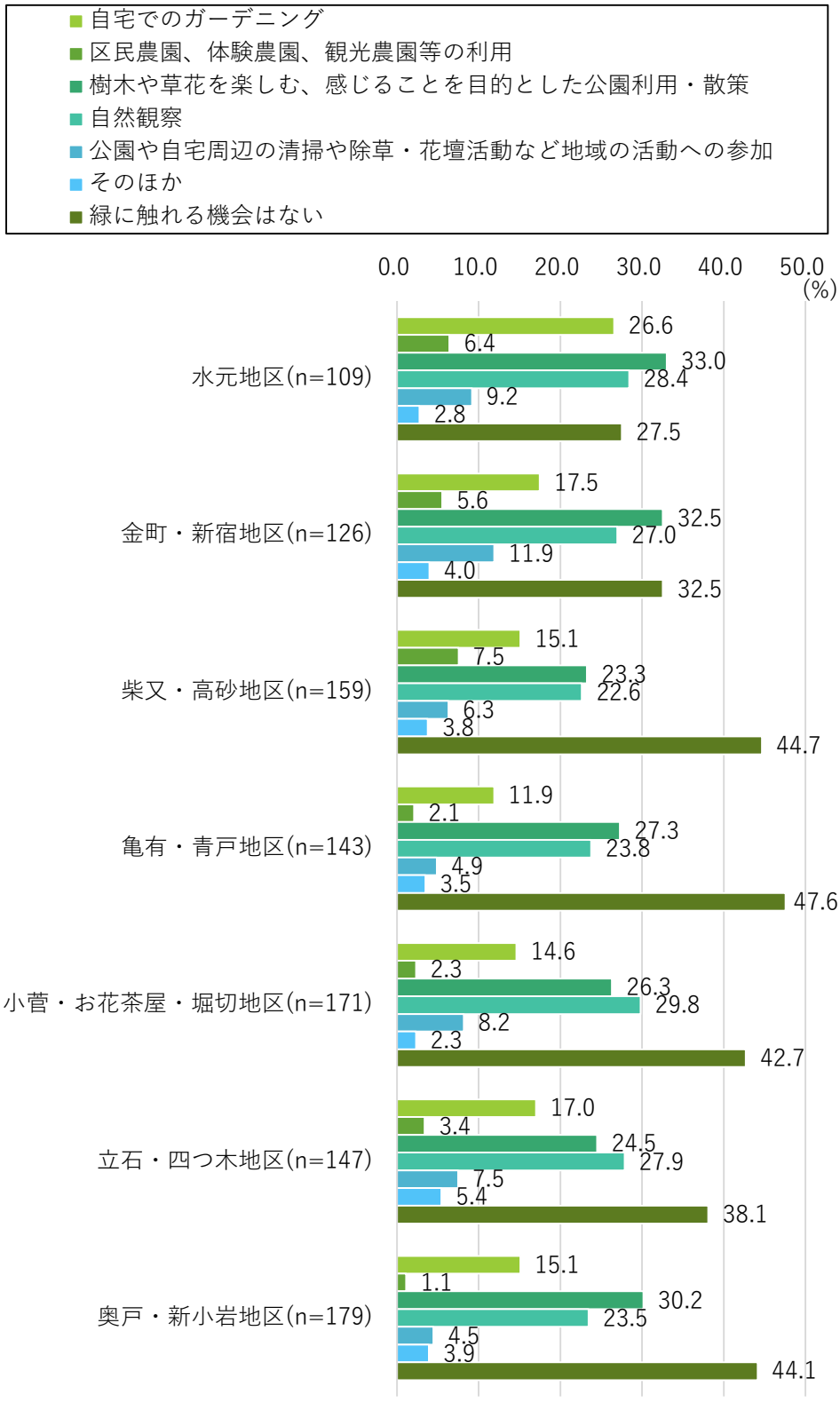
【年齢別】

- 20 代において「緑に触れる機会はない」が全体の集計結果より高い。また、「自然観察」がやや低い。
- 30 代において「公園や自宅周辺の清掃や除草・花壇活動など地域の活動への参加」が全体の集計結果よりやや高い。
- 40 代において「緑に触れる機会はない」が全体の集計結果よりやや高い。
- 50 代において「樹木や草花を楽しむ、感じることを目的とした公園利用・散策」が全体の集計結果よりやや低い。
- 60 代において「樹木や草花を楽しむ、感じることを目的とした公園利用・散策」が全体の集計結果よりやや高く、「緑に触れる機会はない」はやや低い。
- 70 代以上において「自宅でのガーデニング」が全体の集計結果より高く、「樹木や草花を楽しむ、感じることを目的とした公園利用・散策」がやや高い。また、「緑に触れる機会はない」が低い。


自宅でのガーデニング
区民農園、体験農園、観光農園等の利用
樹木や草花を楽しむ、感じることを目的とした公園利用・散策
自然観察
公園や自宅周辺の清掃や除草・花壇活動など地域の活動への参加
そのほか
緑に触れる機会はない
0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
70.0
(%)
10代(n=5)
20.0
0.0
0.0
60.0
20.0
0.0
40.0
20代(n=60)
13.3
8.3
26.7
16.7
10.0
0.0
51.7
30代(n=104)
13.5
3.8
23.1
27.9
14.4
4.8
43.3
40代(n=184)
13.0
4.3
27.2
23.9
4.9
3.8
46.2
50代(n=344)
14.5
1.7
21.8
25.9
4.9
4.7
43.3
60代(n=241)
16.6
5.0
36.1
27.0
7.1
2.5
34.4
70代以上(n=96)
33.3
5.2
37.5
30.2
10.4
4.2
24.0

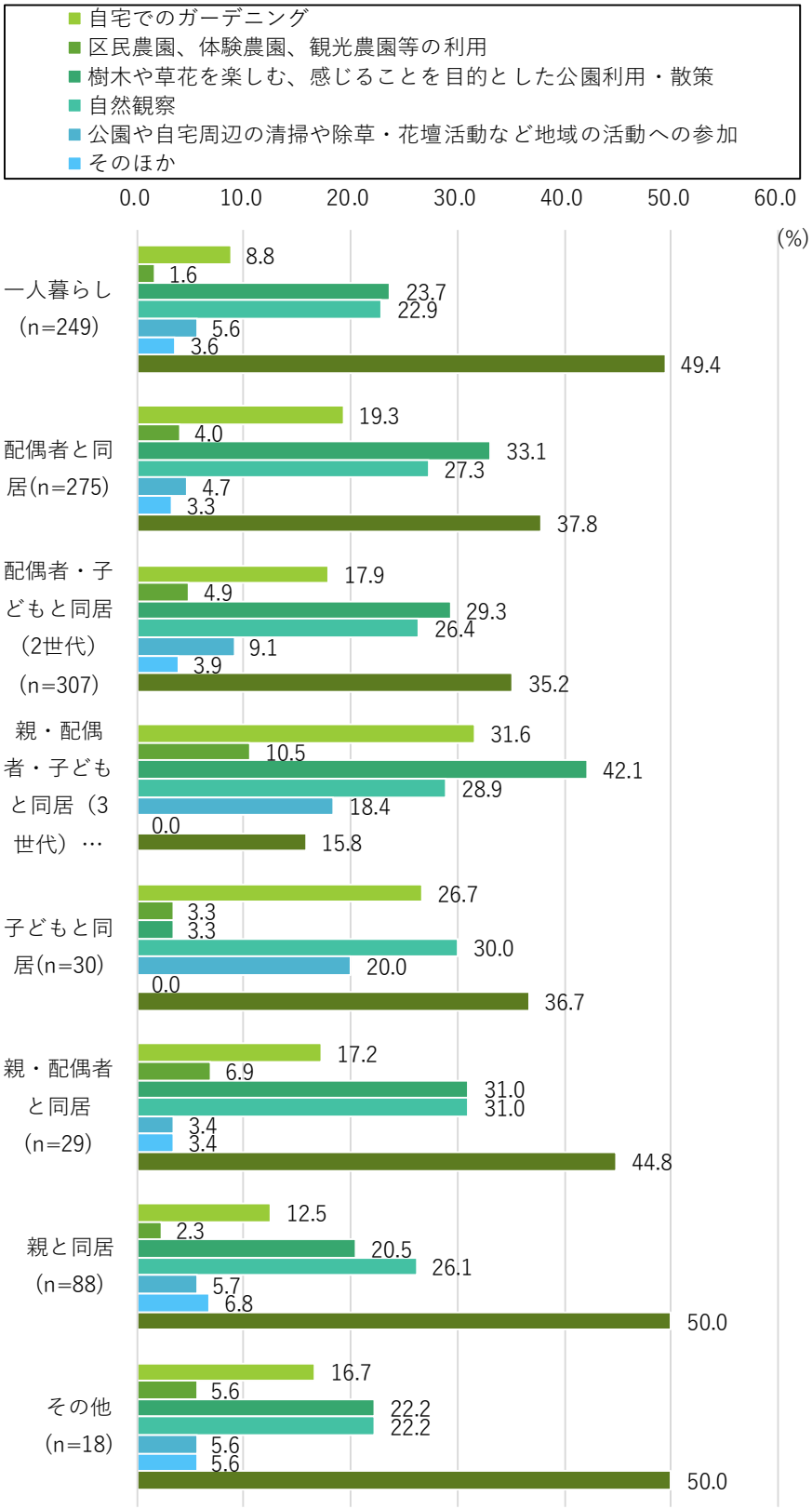
【居住地別】

- 水元地区において「自宅でのガーデニング」が全体の集計結果より高く、「樹木や草花を楽しむ、感じることを目的とした公園利用・散策」がやや高い。また、「緑に触れる機会はない」は低い。
- 金町・新宿地区において「緑に触れる機会はない」が全体の集計結果よりやや低い。
- 亀有・青戸地区において「緑に触れる機会はない」が全体の集計結果よりやや高い。



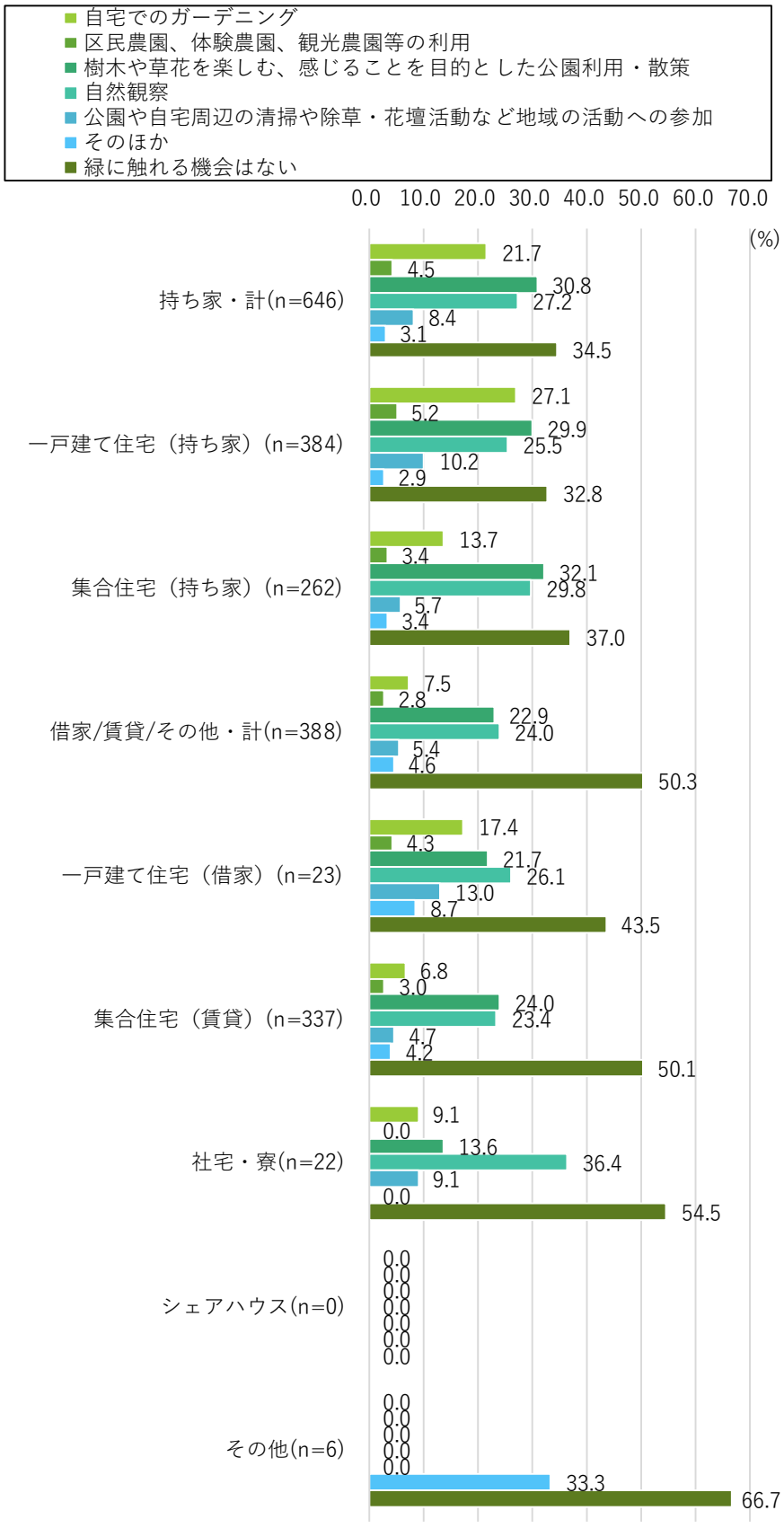
【世帯構成別】

- 一人暮らしにおいて「緑に触れる機会はない」が全体の集計結果よりやや高く、「自宅でのガーデニング」がやや低い。
- 配偶者と同居において「樹木や草花を楽しむ、感じることを目的とした公園利用・散策」が全体の集計結果よりやや高い。
- 親と同居において「緑に触れる機会はない」が全体の集計結果よりやや高く、「樹木や草花を楽しむ、感じることを目的とした公園利用・散策」がやや低い。



【住居形態別】

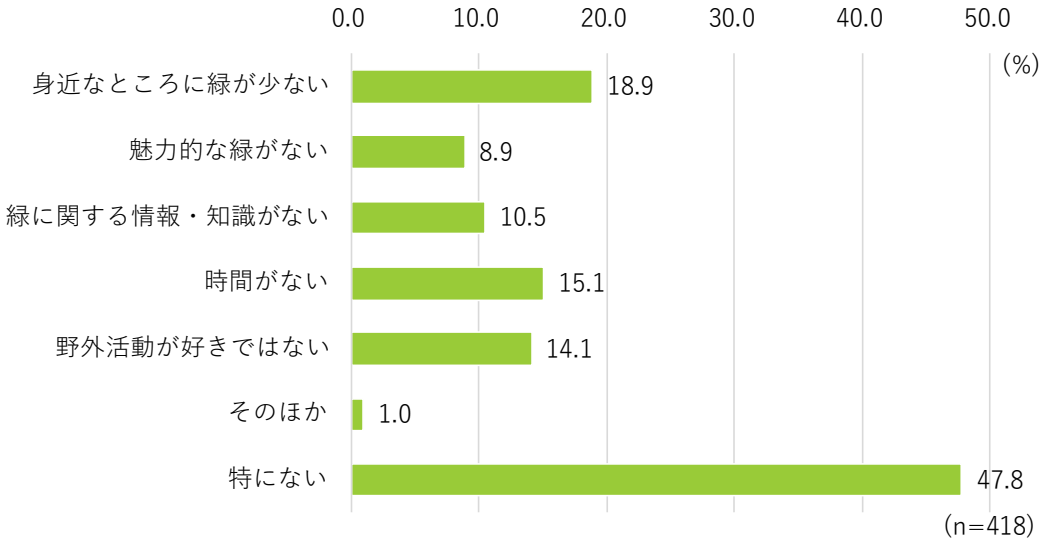
- 一戸建て住宅（持ち家）において「自宅でのガーデニング」が全体の集計結果より高く、「緑に触れる機会はない」がやや低い。
- 集合住宅（賃貸）において「緑に触れる機会はない」が全体の集計結果よりやや高く、「自宅でのガーデニング」がやや低い。



②緑に触れる機会はない理由

Q　あなたが普段、緑に触れる機会を持たない理由を教えてください。（いくつでも）

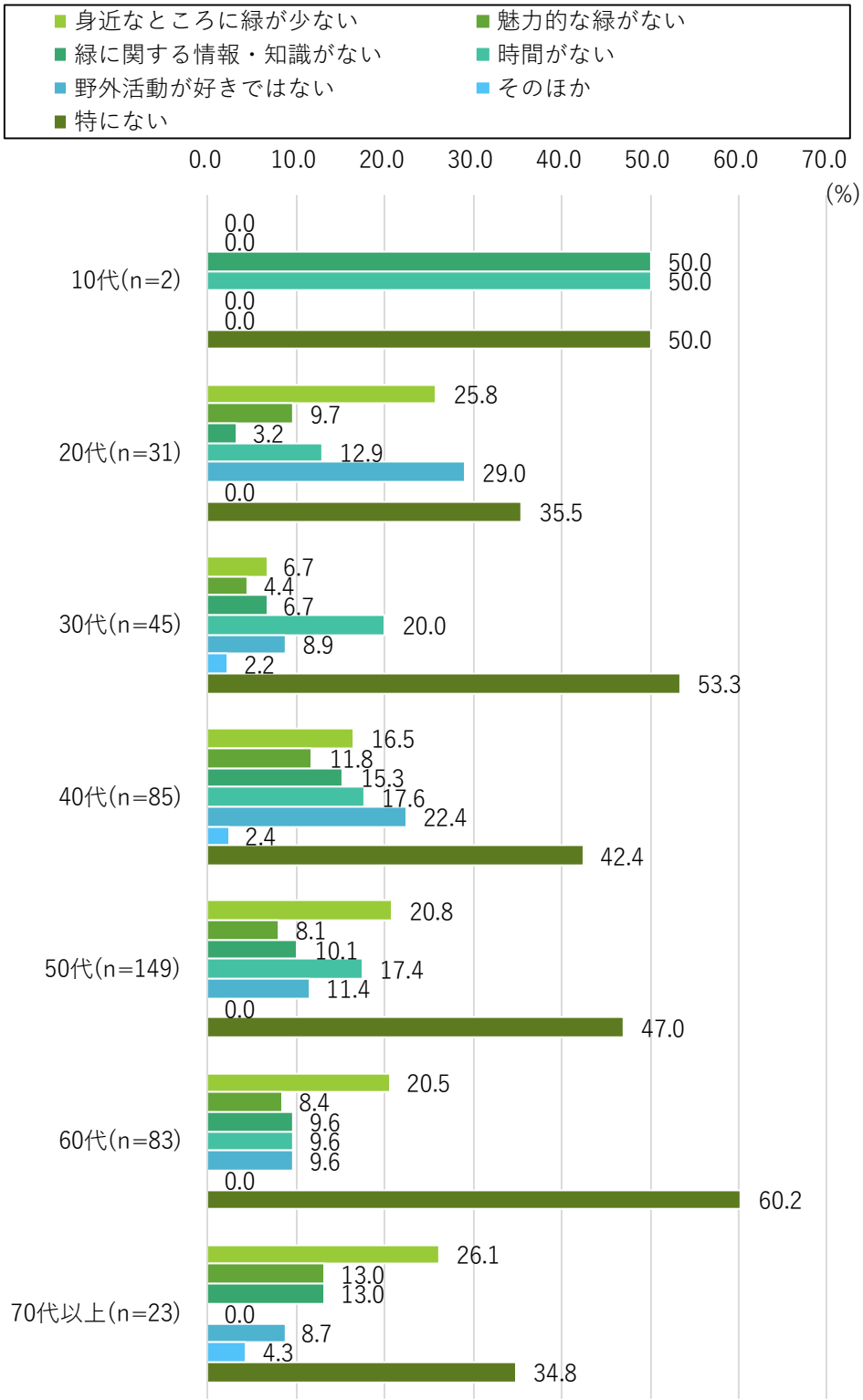
- 「特にない」（47.8%）が最も多く、次いで「身近なところに緑が少ない」（18.9%）となっている。



「そのほか」の回答
- 虫がいるため
- 虫が出る
- どこか散策にでも行きたいと思いますが、先延ばしになってしまう
- 興味ない

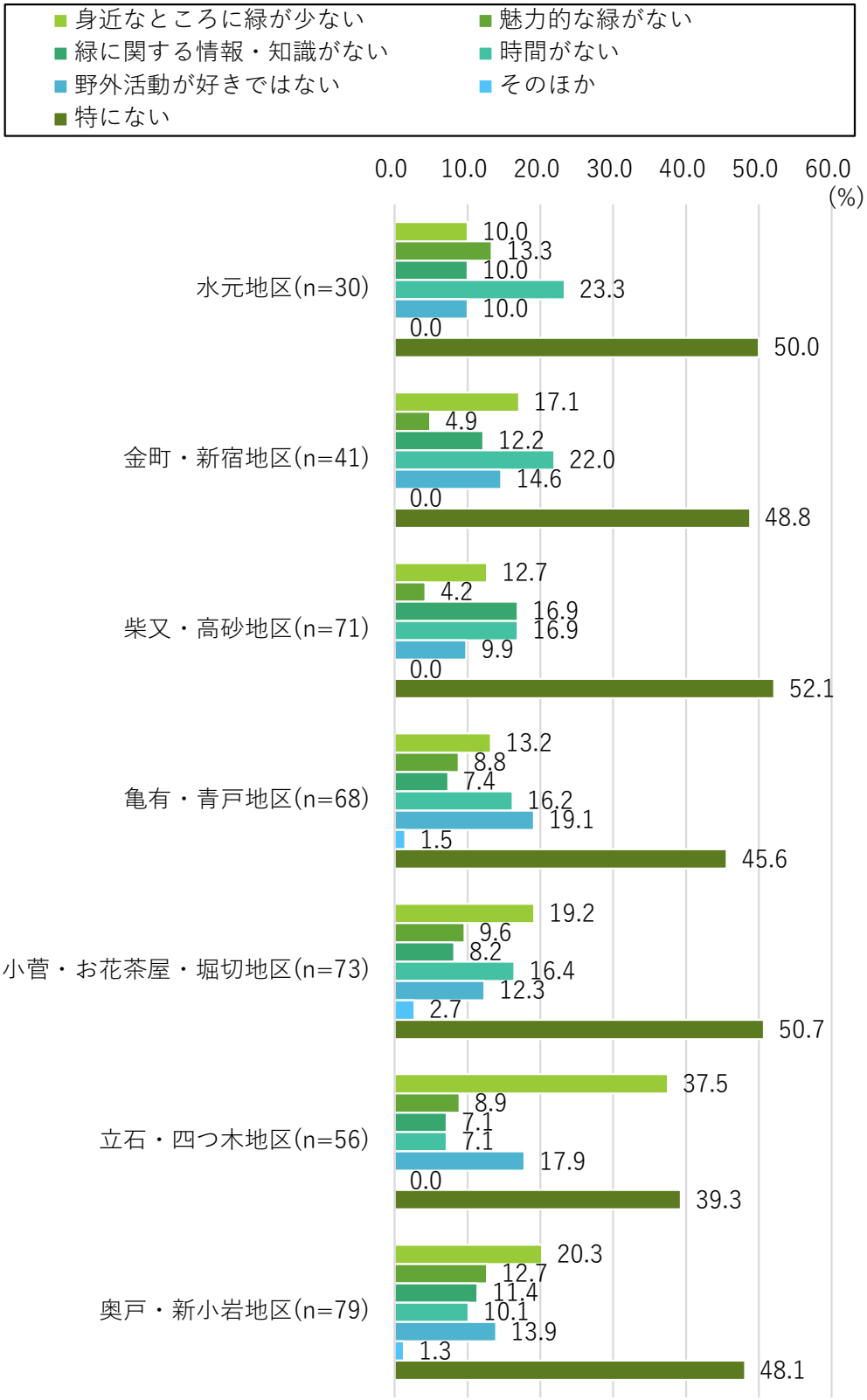
【年齢別】

- 20 代において「野外活動が好きではない」が全体の集計結果より高く、「特にない」が低い。
- 30 代において「身近なところに緑が少ない」が全体の集計結果より低い。
- 60 代において「特にない」が全体の集計結果より高い。



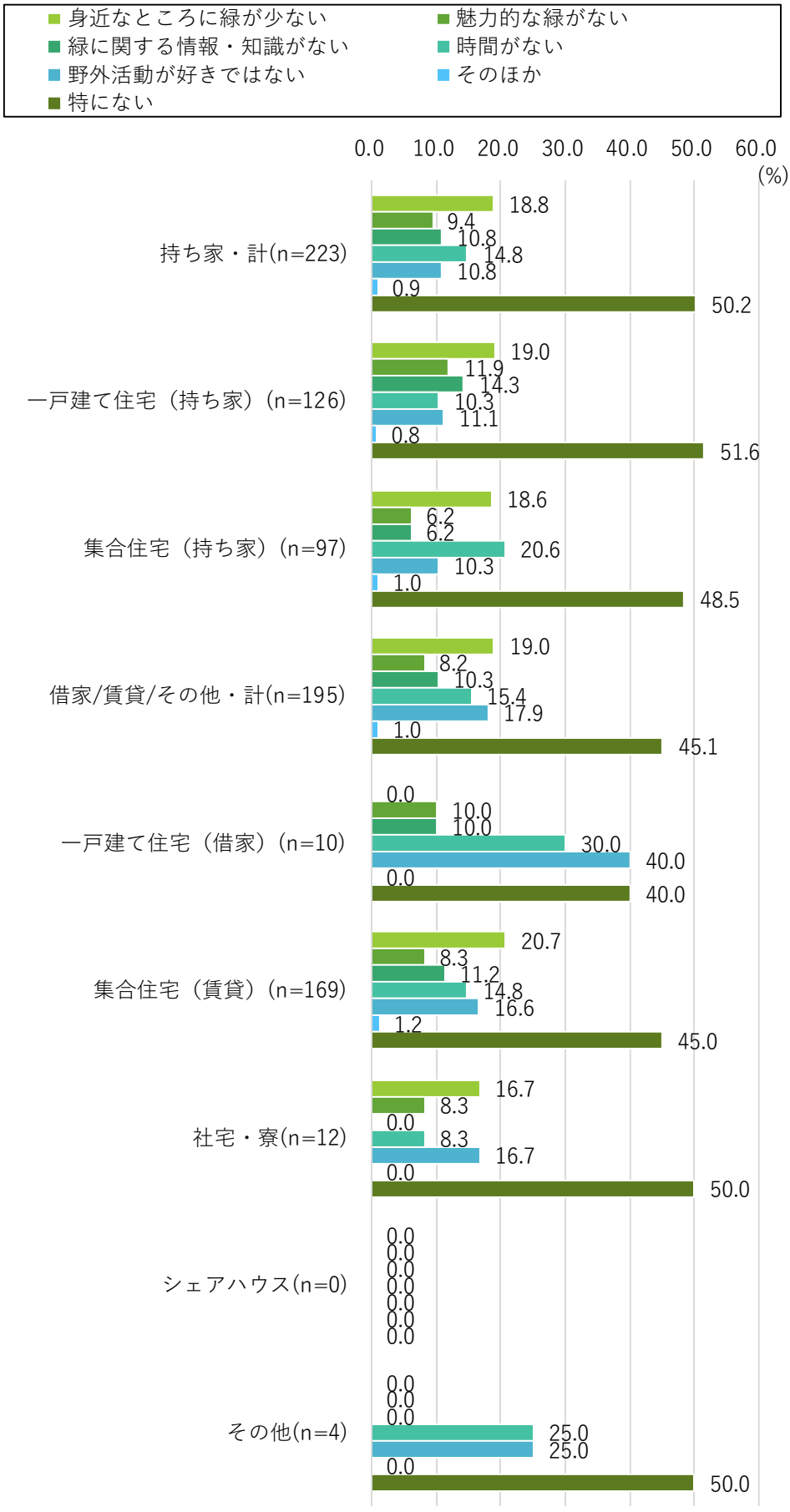
【居住地別】

- 立石・四つ木地区において「身近なところに緑が少ない」が全体の集計結果より高い。



【住居形態別】

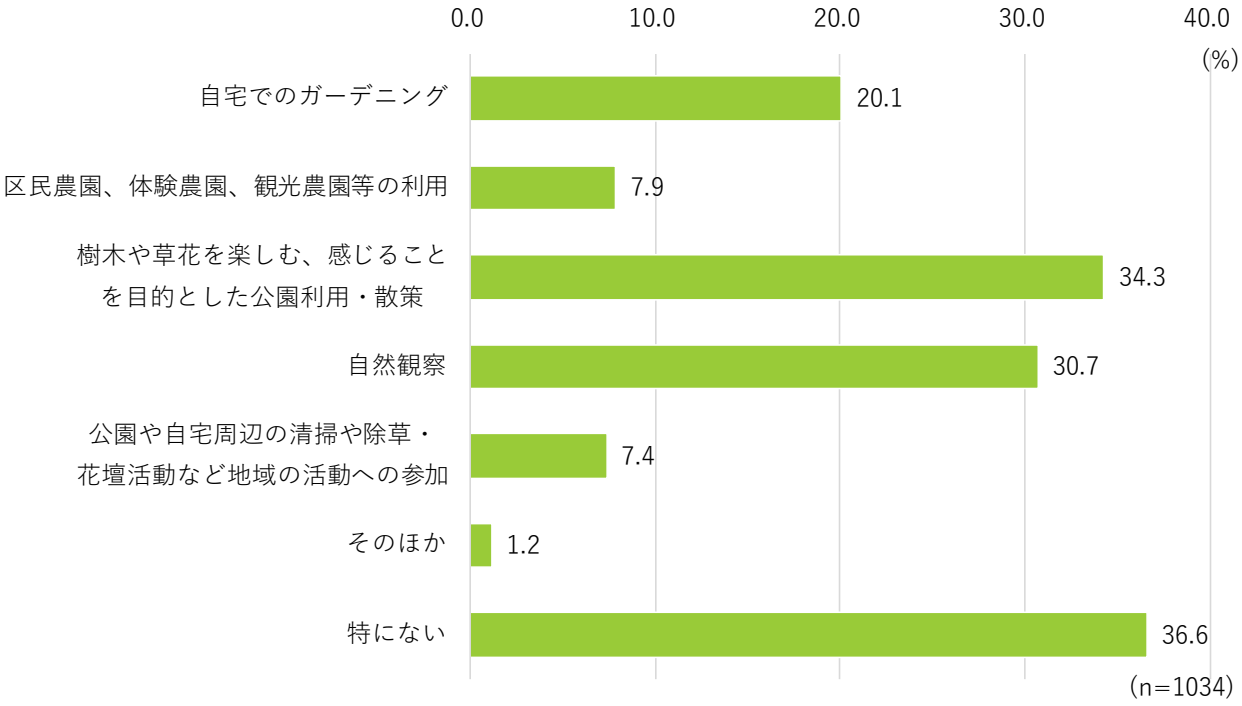
- 集合住宅（持ち家）において「時間がない」が全体の集計結果よりやや高い。



（9）今後行いたい緑に関する活動

Q　今後（も）、あなたが行いたい、緑に関する活動は何ですか。（いくつでも）

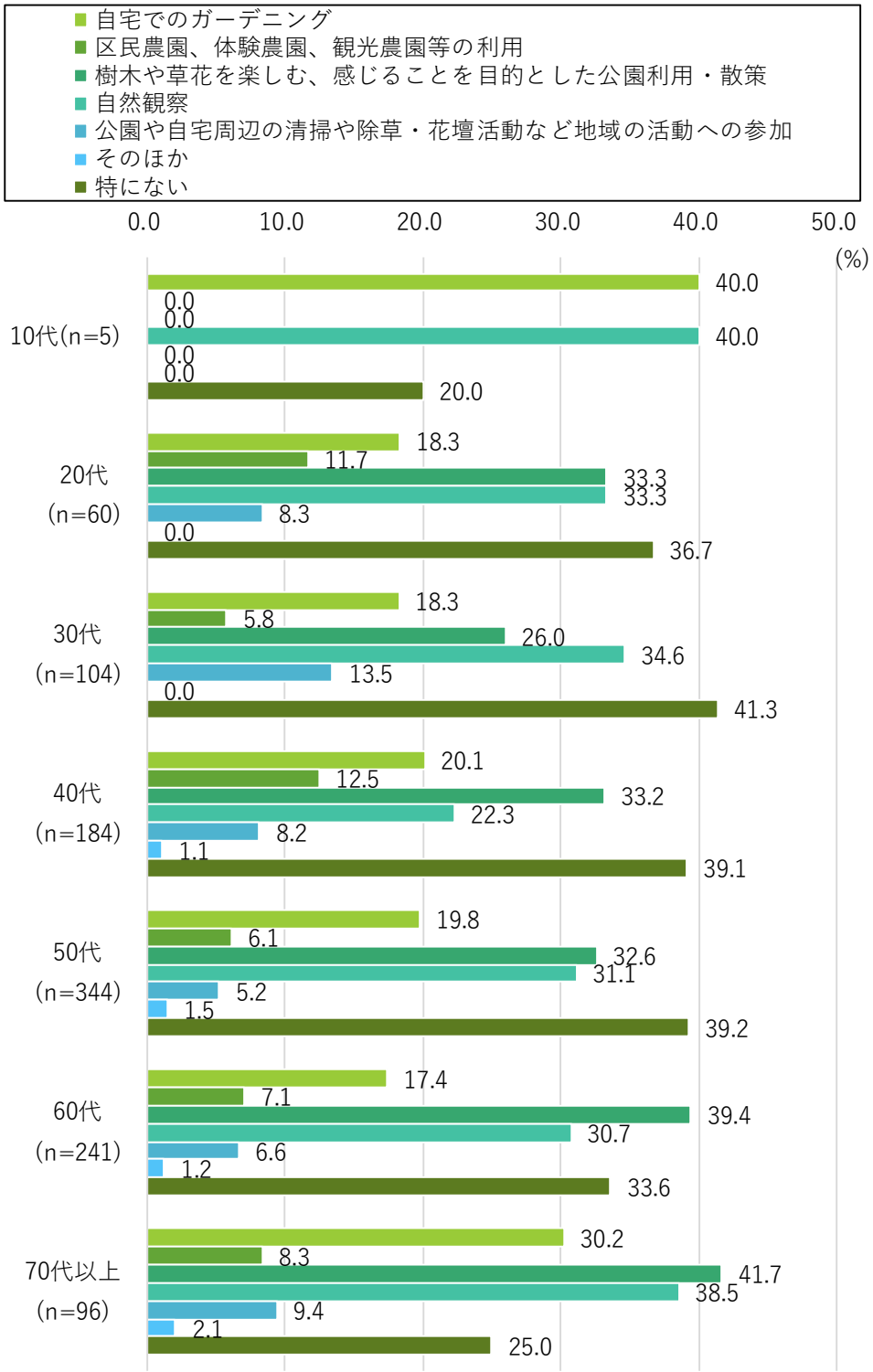
- 「特にない」（36.6%）が最も多く、次いで「樹木や草花を楽しむ、感じることを目的とした公園利用・散策」（34.3%）、「自然観察」（30.7%）となっている。



「そのほか」の回答
- 散歩、ウォーキングなど健康管理
- 自然の中での散策
- 犬の散歩
- 通勤退勤時に緑地などを通る
- 観葉植物の室内園芸
- 室内用の観葉植物の育成
- 学校の芝生化
- 木を植える
- 公園でのバーベキュー
- 釣り
- ゴルフ場
- 意識しなくても、緑に触れられる環境が欲しい

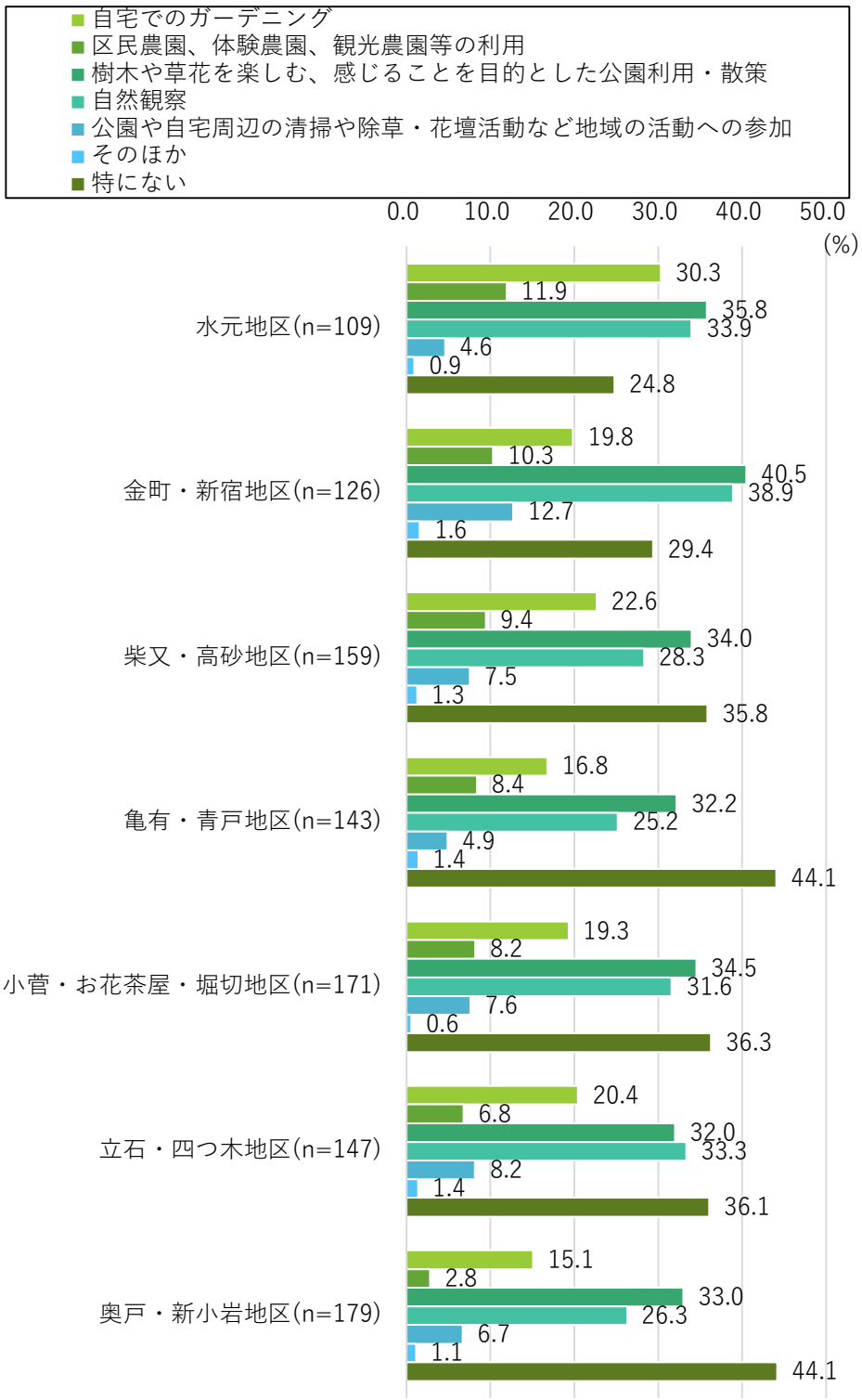
【年齢別】

- 30 代において「公園や自宅周辺の清掃や除草・花壇活動など地域の活動への参加」が全体の集計結果よりやや高く、「樹木や草花を楽しむ、感じることを目的とした公園利用・散策」がやや低い。
- 40 代において「自然観察」が全体の集計結果よりやや低い。
- 60 代において「樹木や草花を楽しむ、感じることを目的とした公園利用・散策」が全体の集計結果よりやや高い。
- 70 代において「自宅でのガーデニング」が全体の集計結果より高く、「樹木や草花を楽しむ、感じることを目的とした公園利用・散策」「自然観察」が全体の集計結果よりやや高い。また、「特にない」が低い。



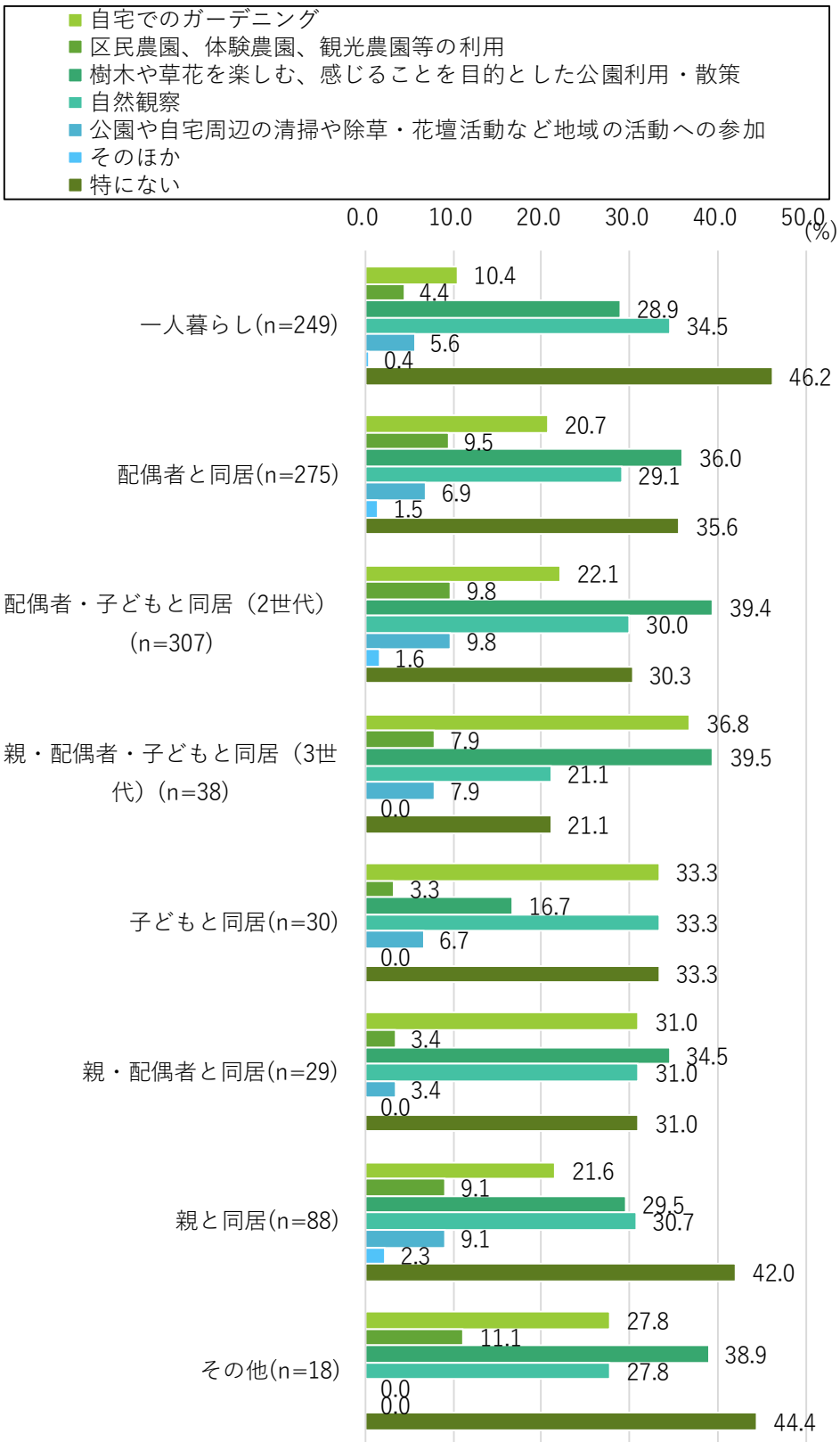
【居住地別】

- 水元地区において「自宅でのガーデニング」が全体の集計結果より高く、「特にない」が低い。
- 金町・新宿地区において「樹木や草花を楽しむ、感じることを目的とした公園利用・散策」「自然観察」「公園や自宅周辺の清掃や除草・花壇活動など地域の活動への参加」が全体の集計結果よりやや高い。
- 亀有・青戸地区において「自然観察」が全体の集計結果よりやや低く、「特にない」がやや高い。
- 奥戸・新小岩地区において「自宅でのガーデニング」「区民農園、体験農園、観光農園等の利用」が全体の集計結果よりやや低く、「特にない」がやや高い。



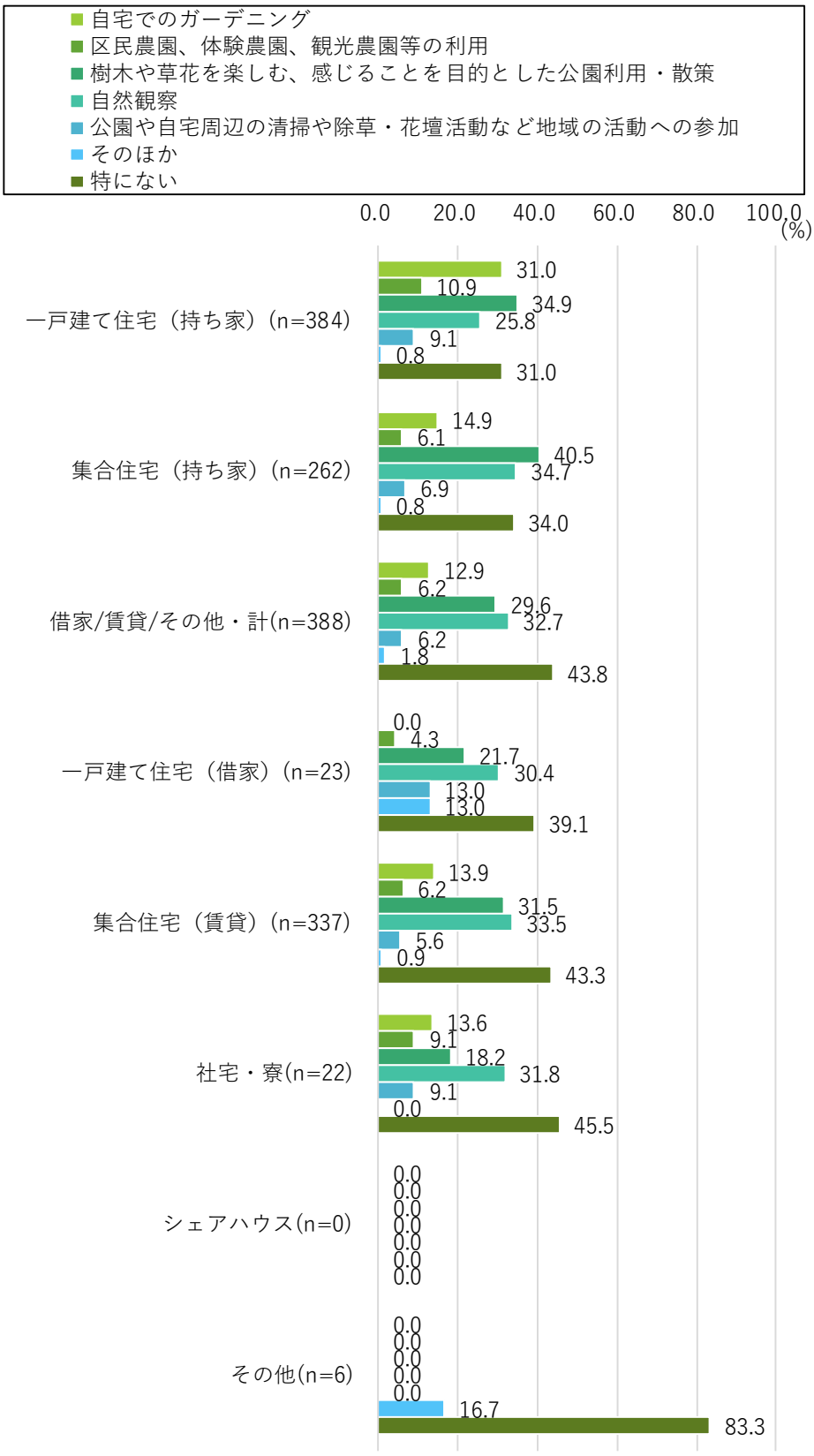
【世帯構成別】

- 一人暮らしにおいて「特にない」が全体の集計結果よりやや高く、「自宅でのガーデニング」「樹木や草花を楽しむ、感じることを目的とした公園利用・散策」がやや低い。
- 配偶者・子どもと同居（2 世代）において「樹木や草花を楽しむ、感じることを目的とした公園利用・散策」が全体の集計結果よりやや高く、「特にない」がやや低い。



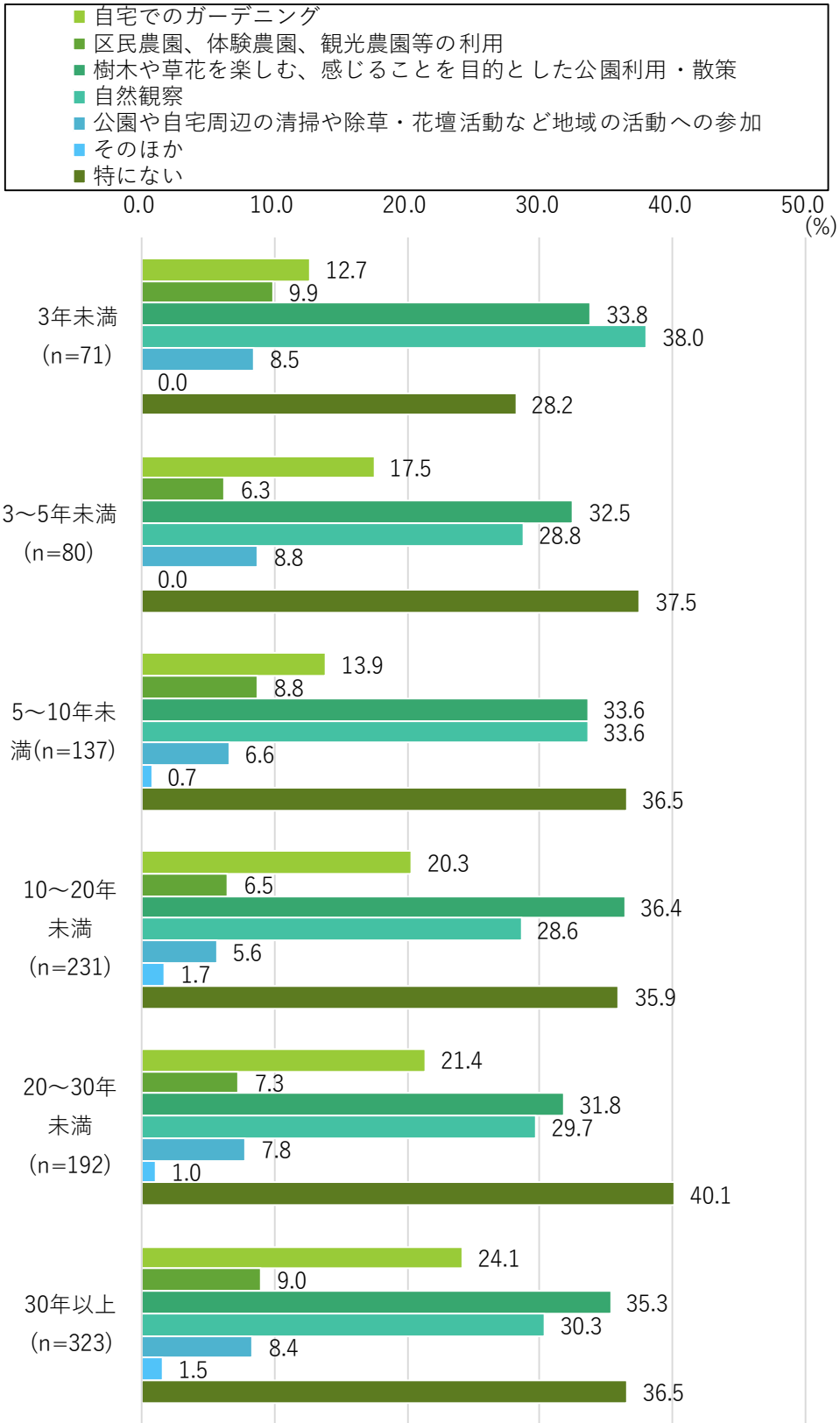
【住居形態別】

- 一戸建て住宅（持ち家）において「自宅でのガーデニング」が全体の集計結果より高く、「特にない」がやや低い。
- 集合住宅（持ち家）において「樹木や草花を楽しむ、感じることを目的とした公園利用・散策」が全体の集計結果よりやや高く、「自宅でのガーデニング」がやや低い。
- 集合住宅（賃貸）において「特にない」が全体の集計結果より高く、「自宅でのガーデニング」がやや低い。



【在住歴別】

- 3年未満において「自然観察」が全体の集計結果よりやや高く、「自宅でのガーデニング」「特にない」がやや低い。
- 5～10年未満において「自宅でのガーデニング」が全体の集計結果よりやや低い。

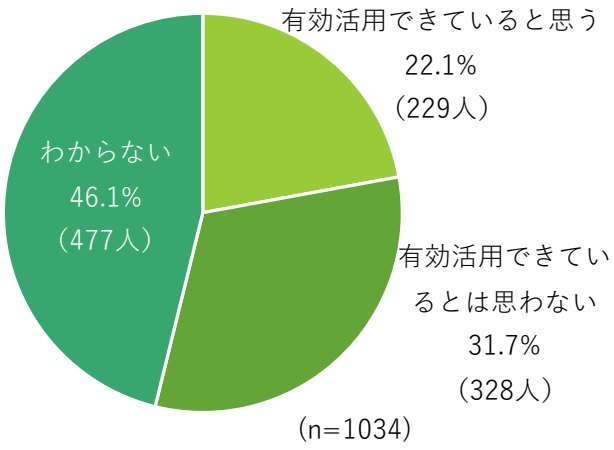


2　水辺について

（1）水辺の有効活用

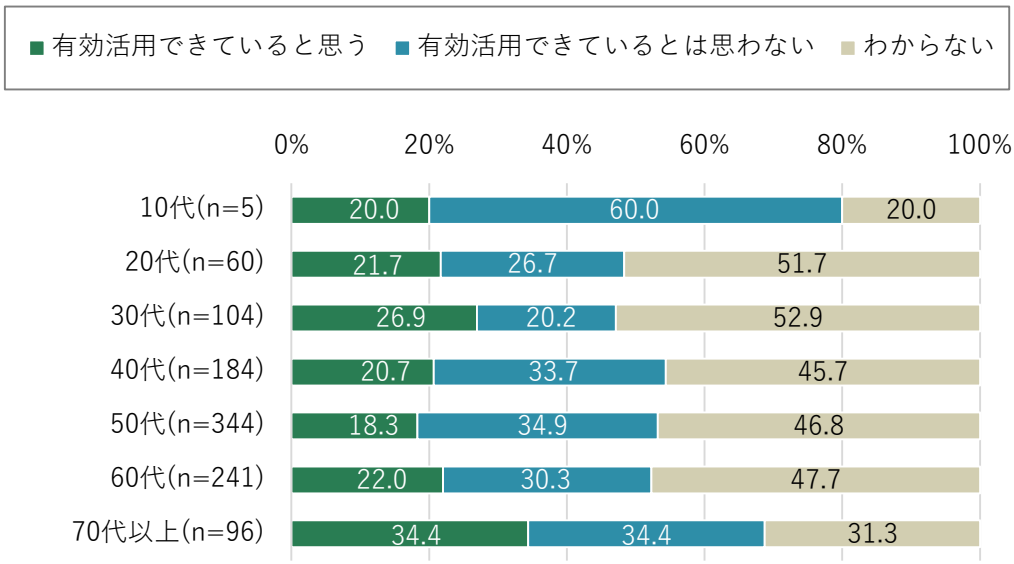
Q　葛飾区は多くの河川がありますが、区役所の施策において、水辺の有効活用ができていると思いますか。

- 「わからない」が約半数（46.1%）を占めている。
- 「有効活用できていると思わない」（31.7%）が、「有効活用できていると思う」（22.1%）を上回っている。



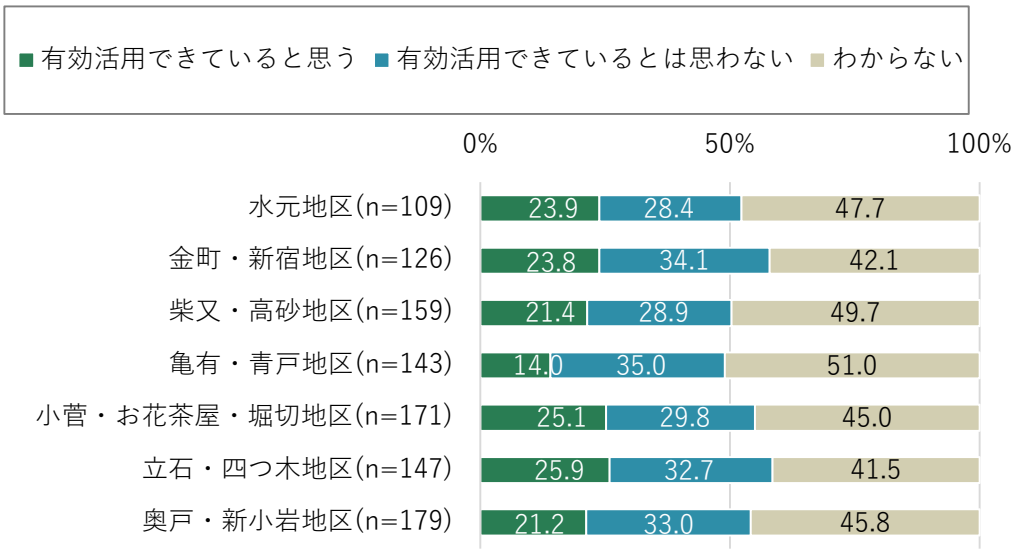
【年齢別】

- 20 代において「有効活用できているとは思わない」が全体の集計結果よりやや低い。
- 30 代において「有効活用できているとは思わない」が全体の集計結果より低い。
- 70 代以上において「有効活用できていると思う」が全体の集計結果より高く、「わからない」が低い。
- 「わからない」が 20 代、30 代において全体の集計結果よりやや高い。



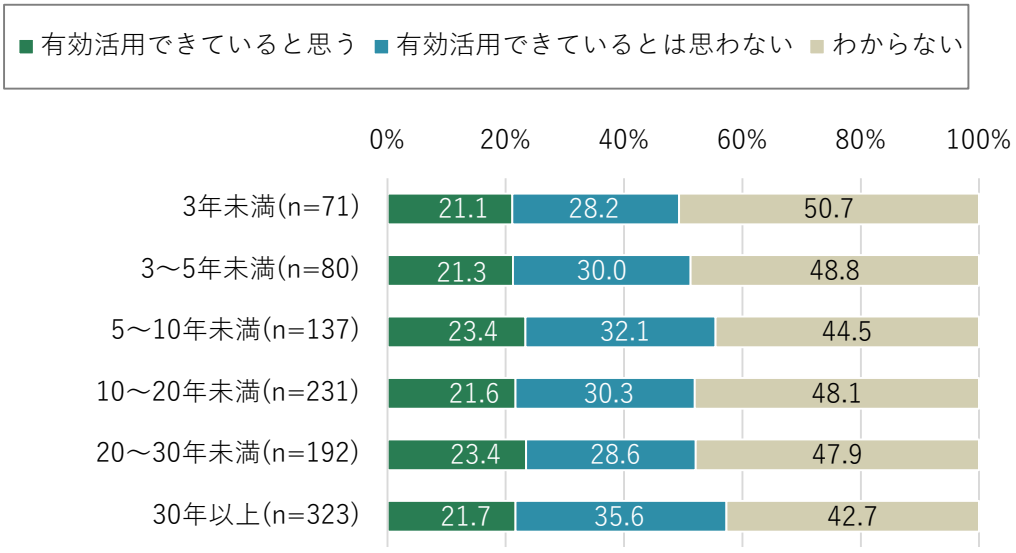
【居住地別】

- 亀有・青戸地区において「有効活用できていると思う」が全体の集計結果よりやや低い。



【在住歴別】

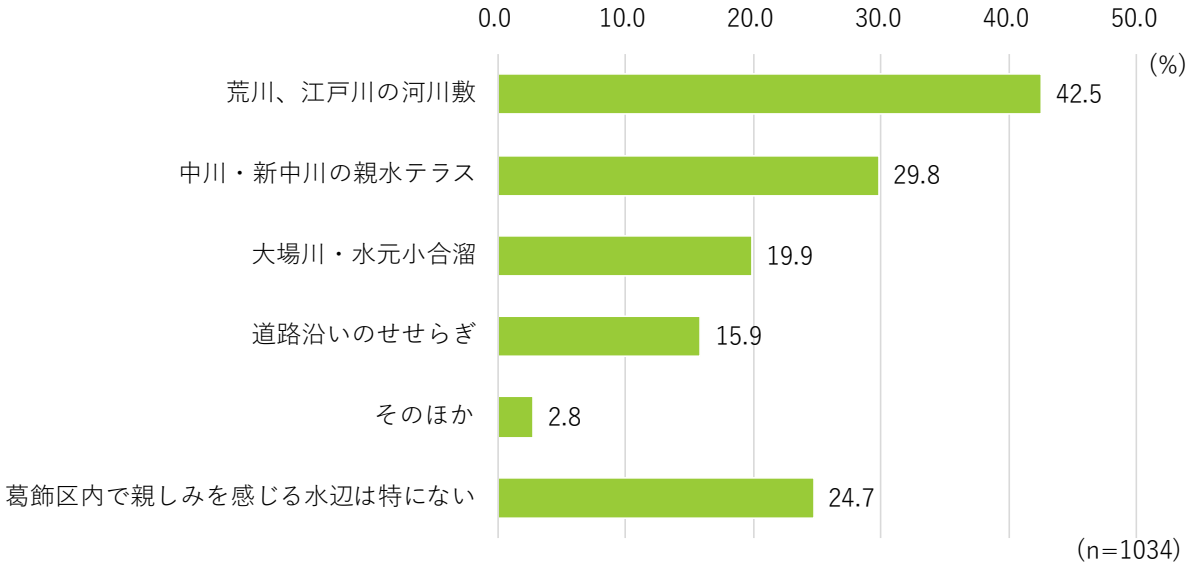
- 全体の比率と 5 ポイント以上差が出ている区分はない。



（2）葛飾区内で親しみを感じる水辺

Q　あなたが葛飾区内で親しみを感じる水辺はどこですか。（いくつでも）

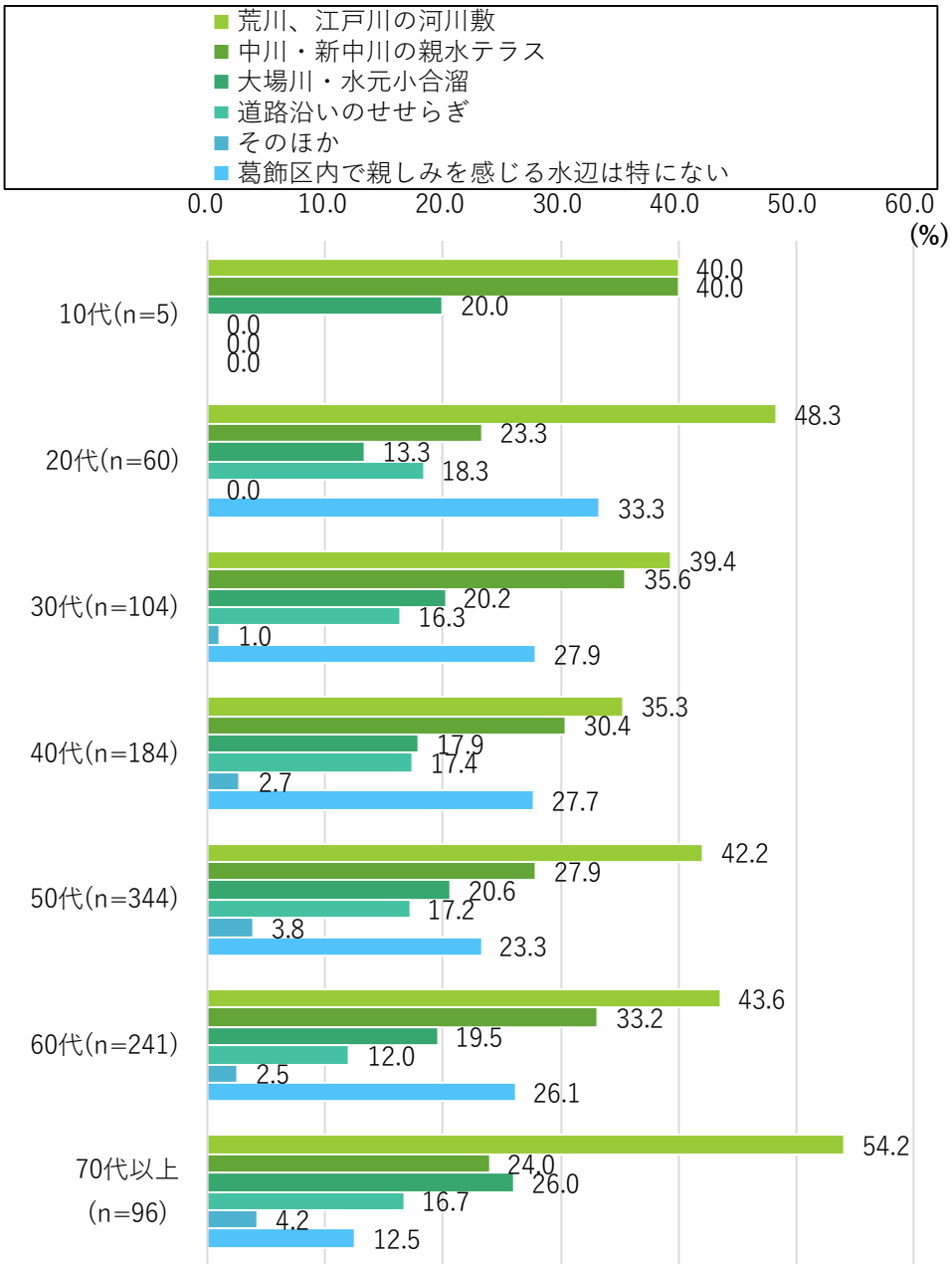
- 「荒川、江戸川の河川敷」（42.5%）が最も多く、次いで「中川・新中川の親水テラス」（29.8%）、「葛飾区内で親しみを感じる水辺は特にない」（24.7%）となっている。



「そのほか」の回答
- 水元公園（13 件）
- 曳舟川親水公園（２件）
- 曳舟川通り
- 親水公園（３件）
- 夏の親水公園
- お花茶屋の親水公園
- 柴又付近の江戸川土手
- メダカの水路
- 京成の荒川橋梁
- 高砂橋
- 青砥七丁目の中川周辺の道路沿い
- 綾瀬川　拘置所付近
- 飲食店で出会う方々
- わからない

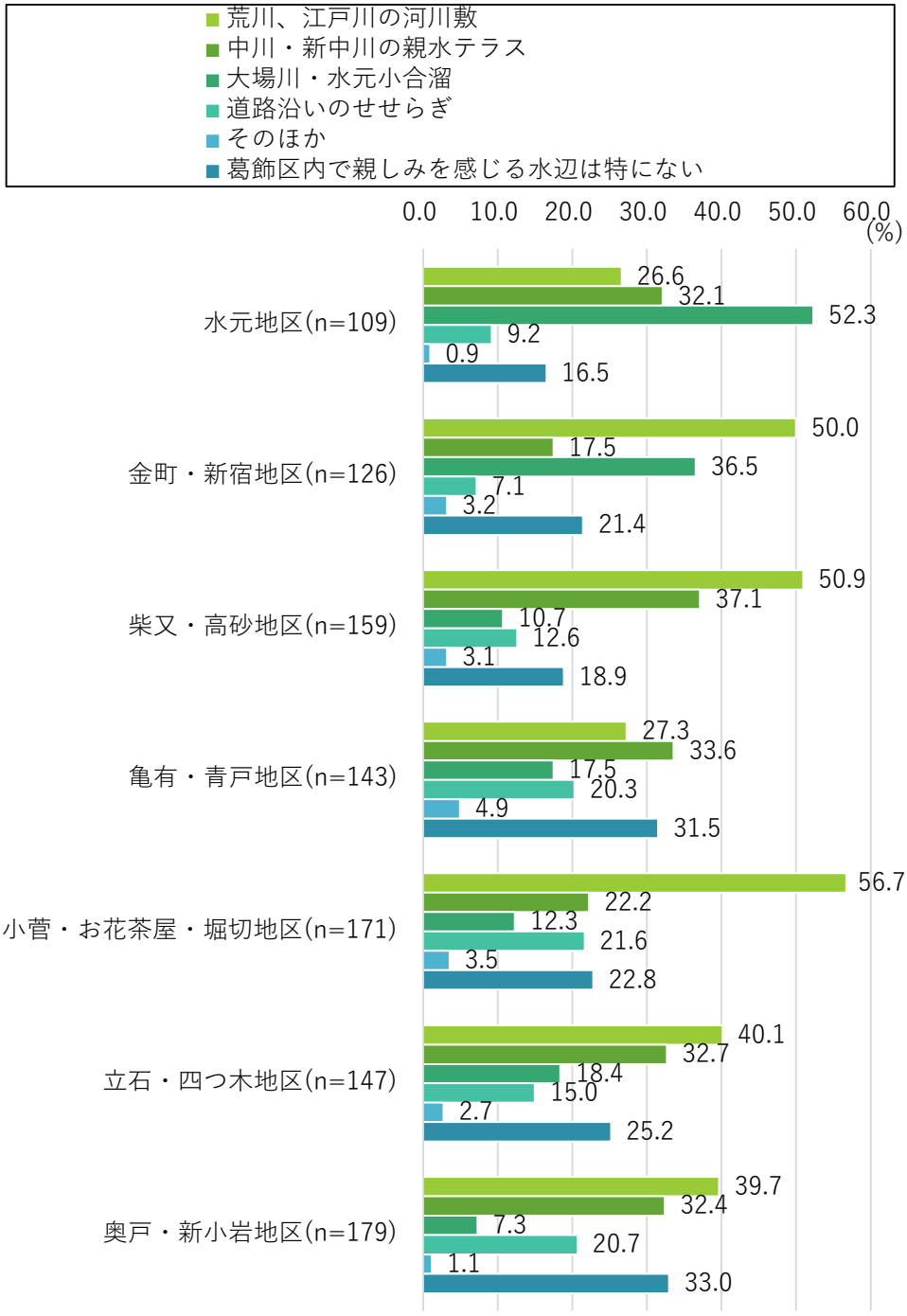
【年齢別】

- 20 代において「荒川、江戸川の河川敷」「葛飾区内で親しみを感じる水辺は特にない」が全体の集計結果よりやや高く、「中川・新中川の親水テラス」「大場川・水元小合溜」がやや低い。
- 30 代において「中川・新中川の親水テラス」が全体の集計結果よりやや高い。
- 40 代において「荒川、江戸川の河川敷」が全体の集計結果よりやや低い。
- 70 代以上において「荒川、江戸川の河川敷」が全体の集計結果より高く、「大場川・水元小合溜」がやや高い。また、「葛飾区内で親しみを感じる水辺は特にない」が低く、「中川・新中川の親水テラス」がやや低い。



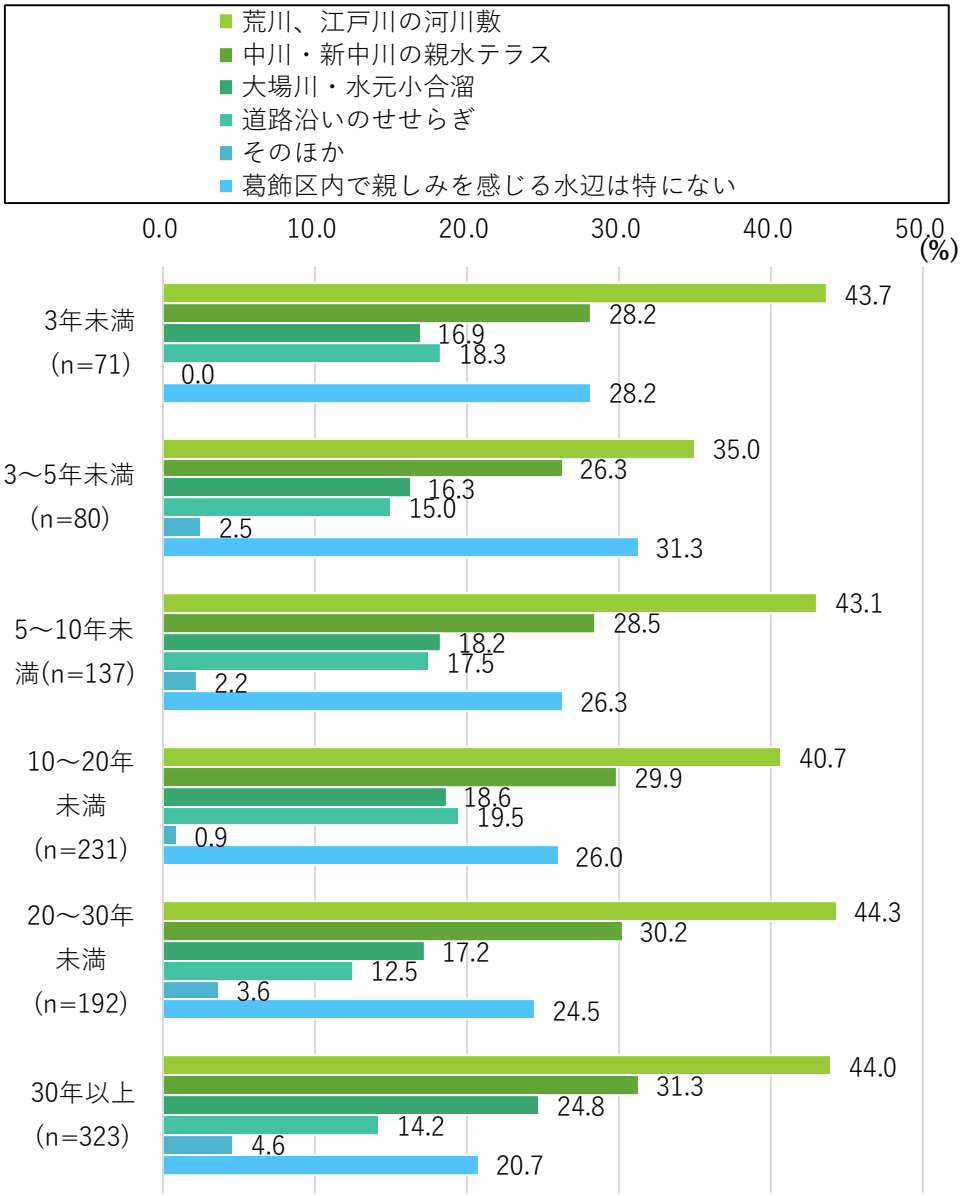
【居住地別】

- 水元地区において「大場川・水元小合溜」が全体の集計結果より高い。また、「荒川、江戸川の河川敷」が低く、「道路沿いのせせらぎ」「葛飾区内で親しみを感じる水辺は特にない」がやや低い。
- 金町・新宿地区において「大場川・水元小合溜」が全体の集計結果より高く、「中川・新中川の親水テラス」が低い。
- 亀有・青戸地区において「荒川、江戸川の河川敷」が全体の集計結果より低い。
- 小菅・お花茶屋・堀切地区において「荒川、江戸川の河川敷」が全体の集計結果より高い。奥戸・新小岩地区において「大場川・水元小合溜」が全体の集計結果より低い。



【在住歴別】

- 3～5 年未満において「葛飾区内で親しみを感じる水辺は特にない」が全体の集計結果よりやや高く、「荒川、江戸川の河川敷」がやや低い。

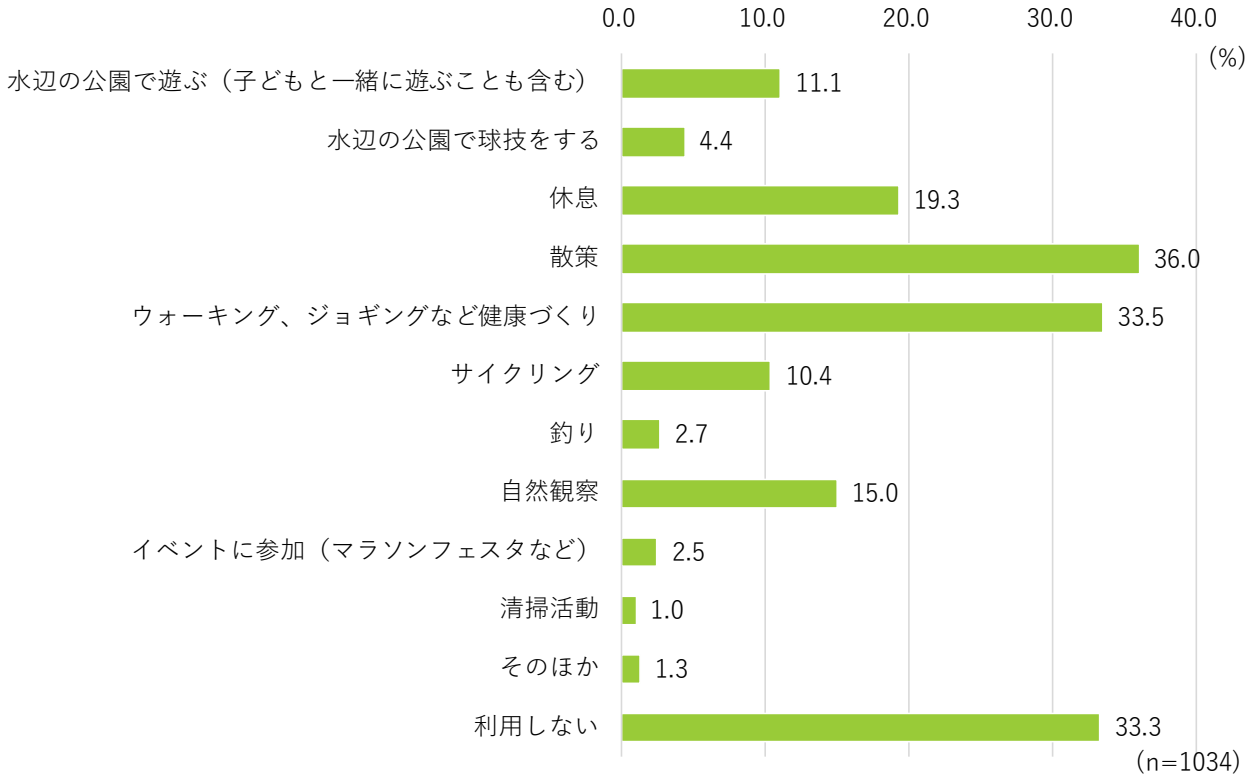


（3）水辺の利用状況

①水辺の利用方法

Q　あなたは普段、葛飾区内の水辺をどのように利用していますか。（いくつでも）

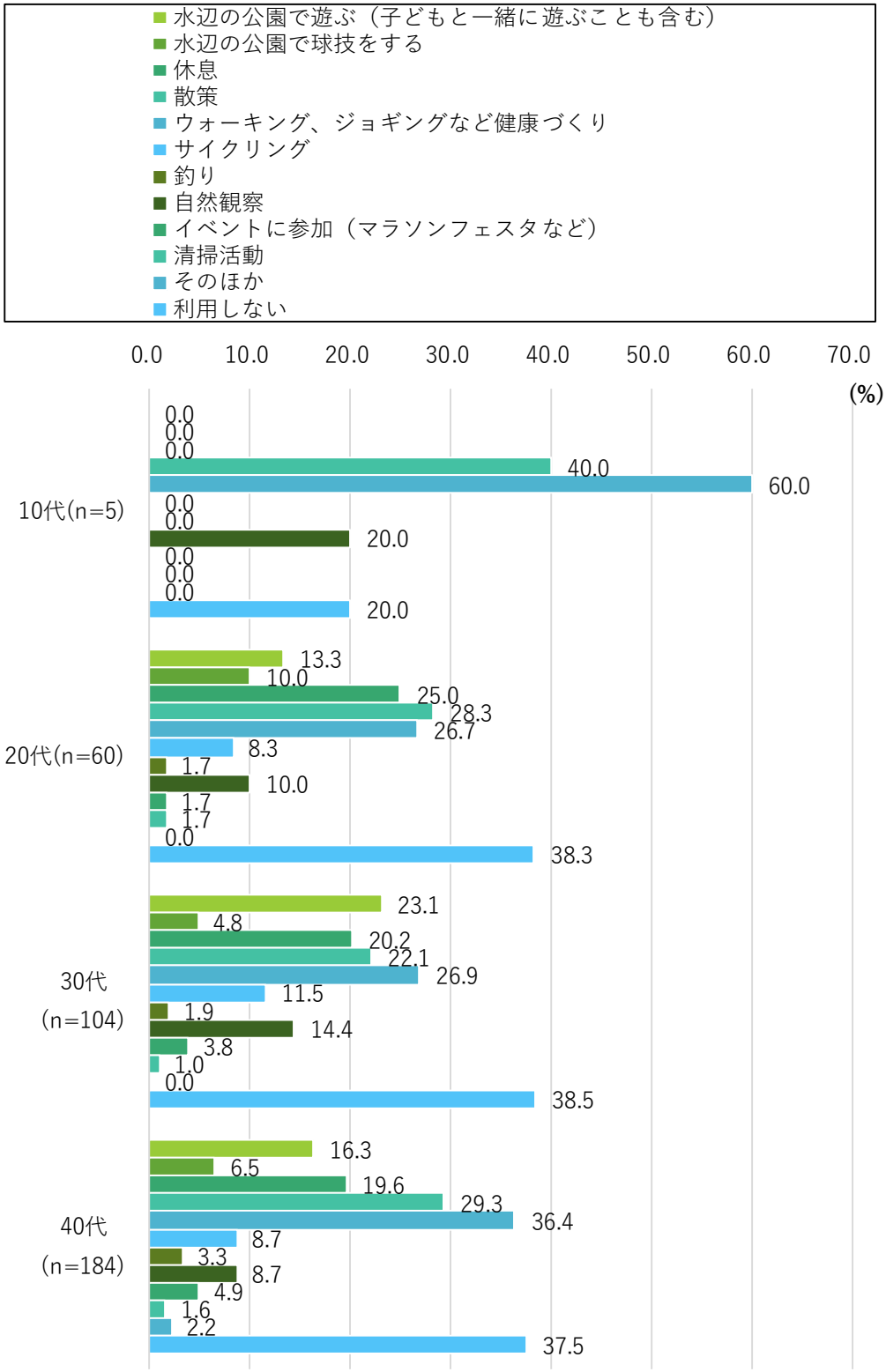
- 「散策」(36.0%)、「ウォーキング、ジョギングなど健康づくり」(33.5%）に次いで、「利用しない」(33.3%）が多い。



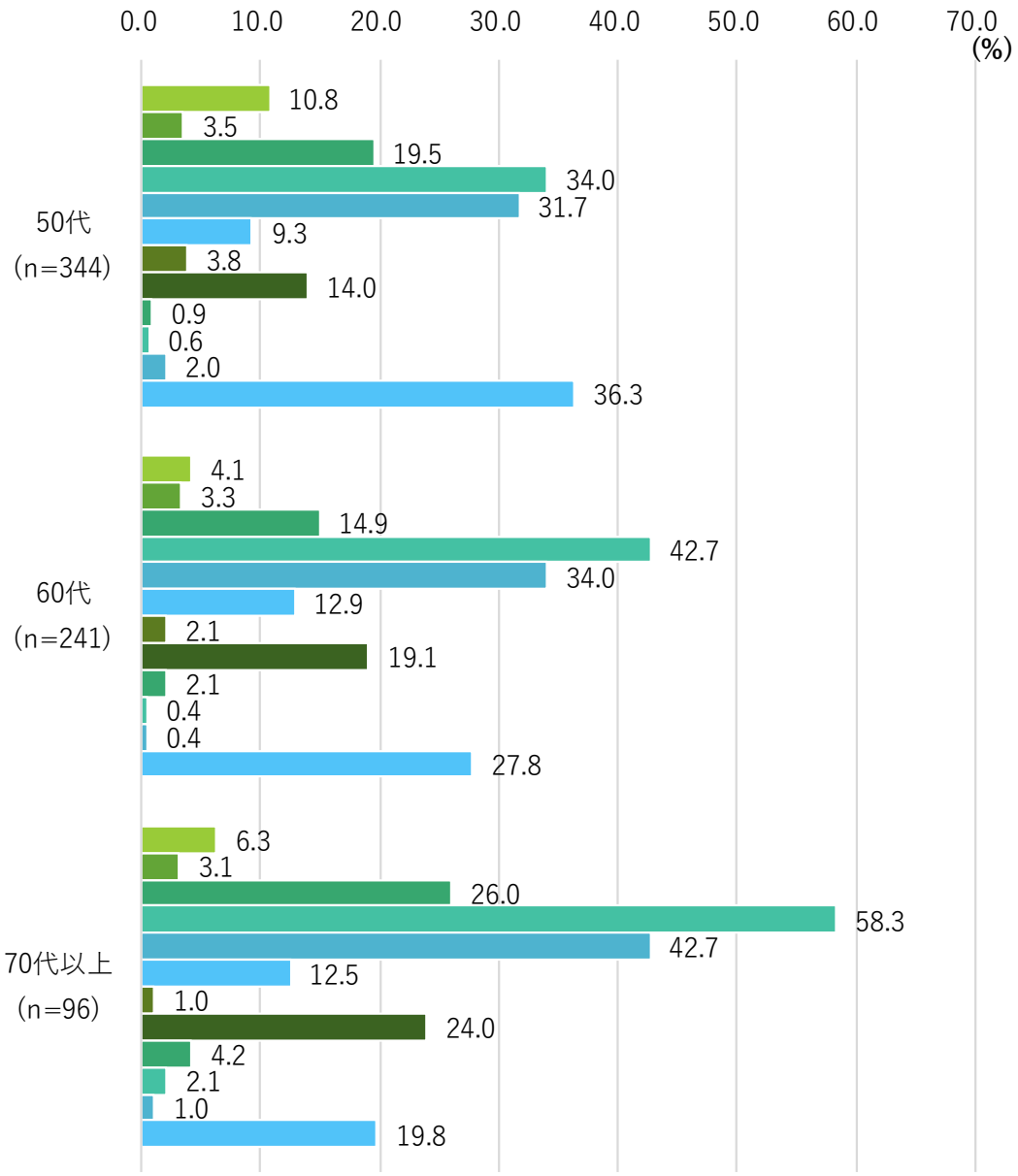
「そのほか」の回答
- 犬の散歩（２件）
- ペットと散歩
- 散歩
- 水辺の公園での散歩
- SUP
- マリンスポーツを楽しむ
- イベント、ダンスや盆踊り
- 花火大会
- 電車から眺めるたけ
- 電車や車から眺めて四季や気候を感じる
- 自転車通勤
- 水元公園は遠すぎる。交通機関不便

【年齢別】

- 20 代において「水辺の公園で球技をする」「休息」「利用しない」が全体の集計結果よりやや高く、「散策」「ウォーキング、ジョギングなど健康づくり」がやや低い。
- 30 代において「水辺の公園で遊ぶ（子どもと一緒に遊ぶことも含む）」が全体の集計結果より高く、「利用しない」がやや高い。また、「散策」が低く、「ウォーキング、ジョギングなど健康づくり」がやや低い。
- 40 代において「水辺の公園で遊ぶ（子どもと一緒に遊ぶことも含む）」が全体の集計結果よりやや高く、「散策」「自然観察」がやや低い。

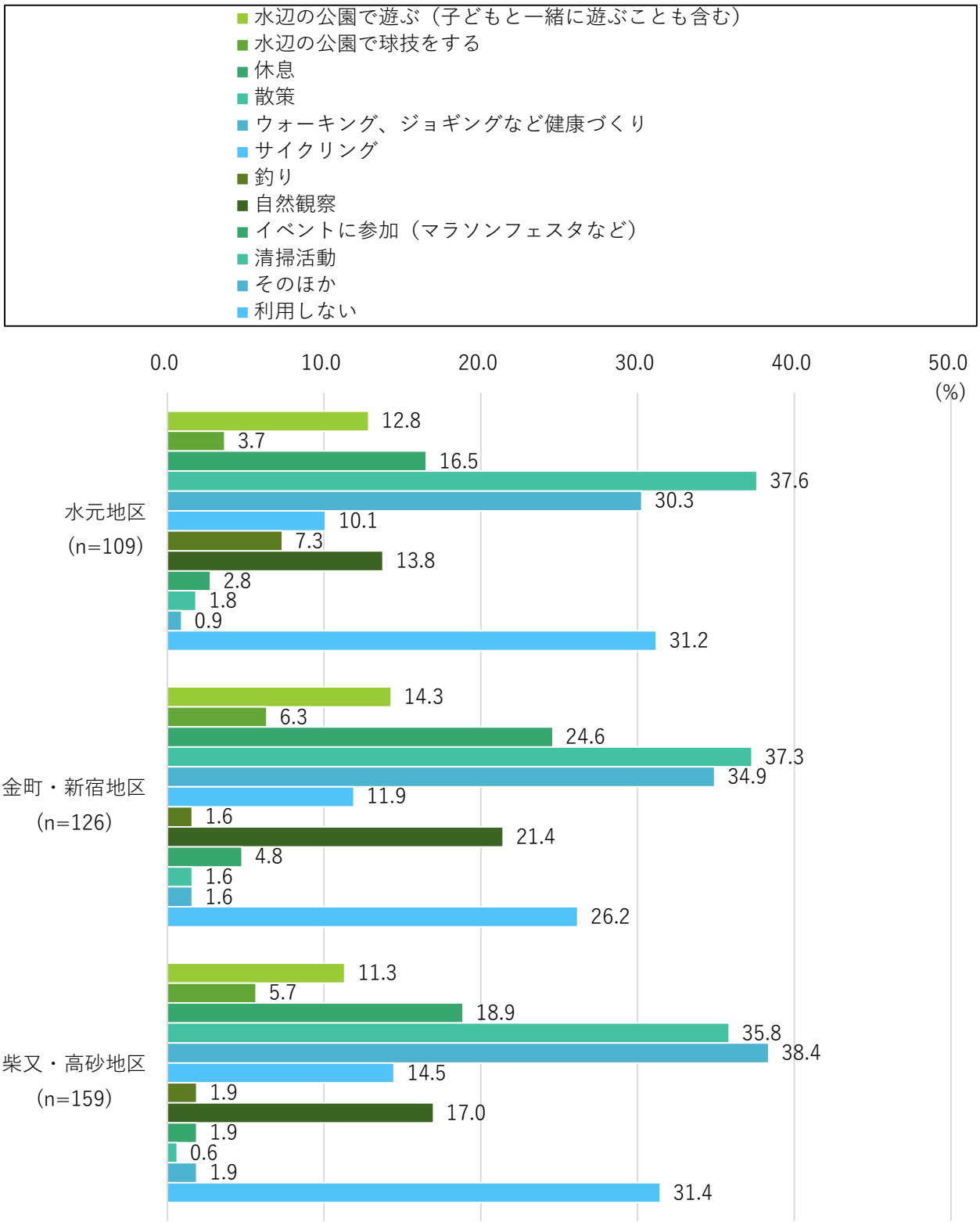


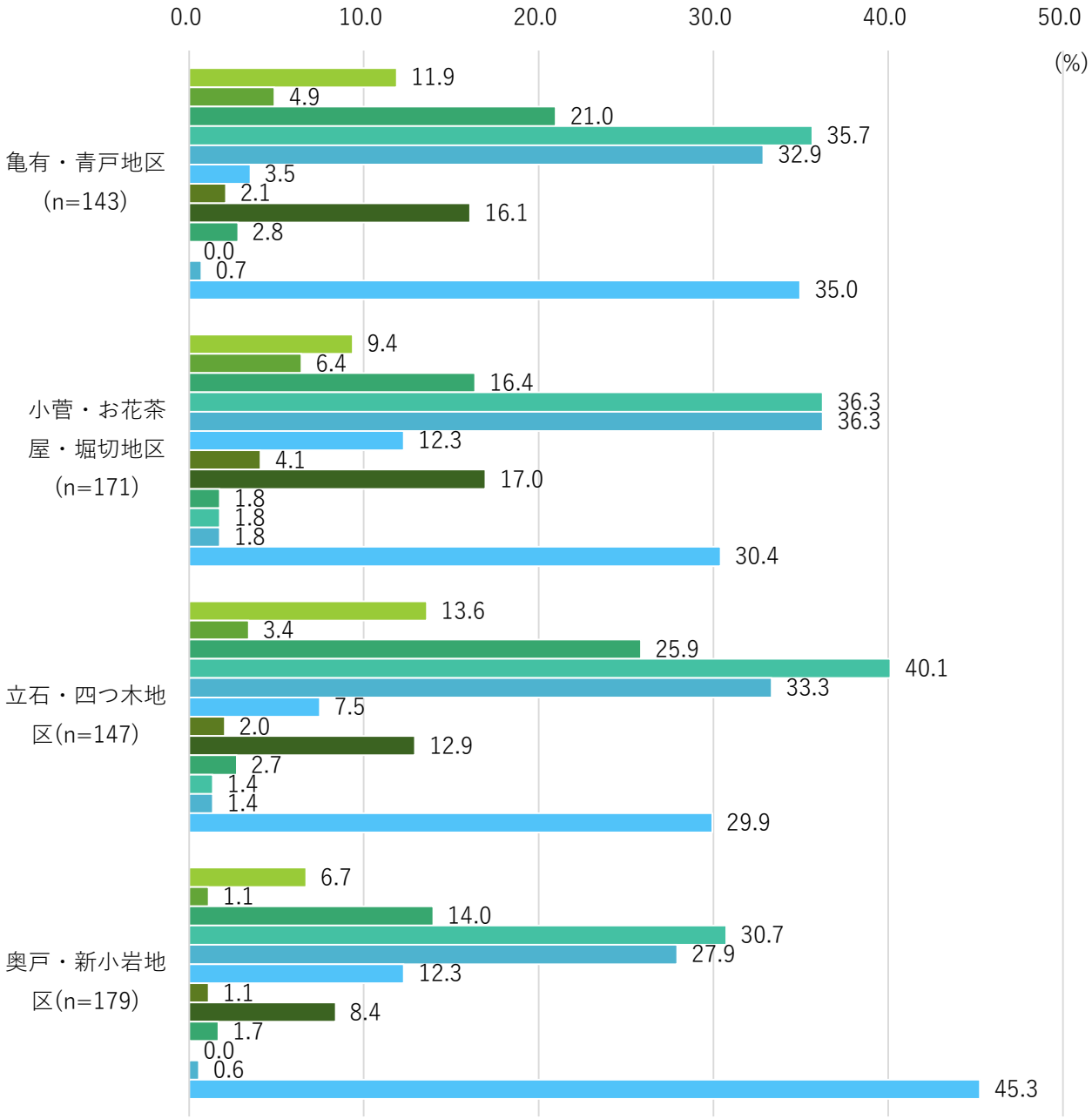
- 60 代において「散策」が全体の集計結果よりやや高く、「水辺の公園で遊ぶ（子どもと一緒に遊ぶことも含む)」「利用しない」がやや低い。
- 70 代以上において「散策」が全体の集計結果より高く、「休息」「ウォーキング、ジョギングなど健康づくり」「自然観察」がやや高い。また、「利用しない」が低い。



【居住地別】

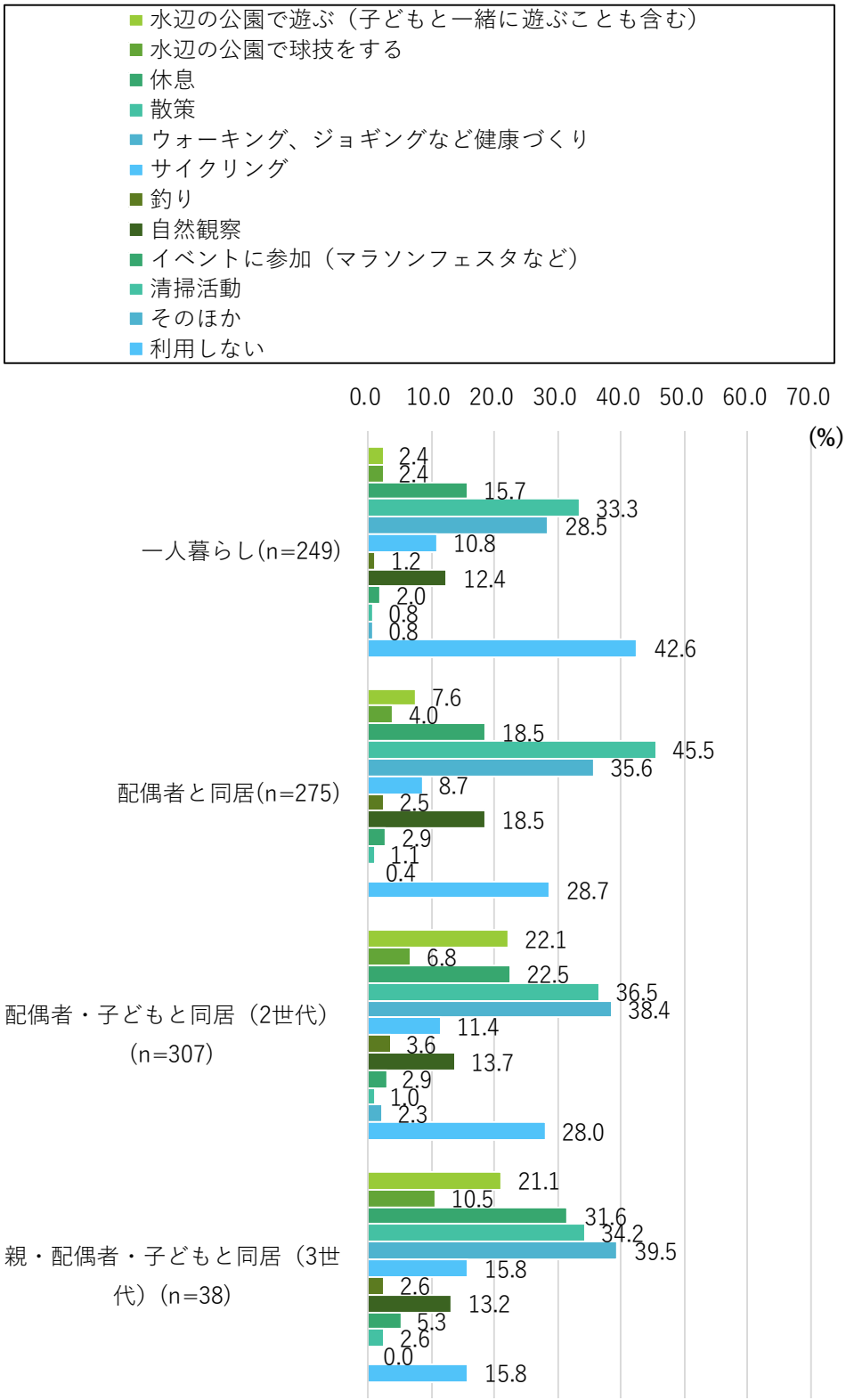
- 金町・新宿地区「休息」「自然観察」が全体の集計結果よりやや高く、「利用しない」がやや低い。
- 亀有・青戸地区において「サイクリング」が全体の集計結果よりやや低い。
- 立石・四つ木地区において「休息」が全体の集計結果よりやや高い。
- 奥戸・新小岩地区は「利用しない」が全体の集計結果より高い。また、「休息」「散策」「ウォーキング、ジョギングなど健康づくり」「自然観察」がやや低い。



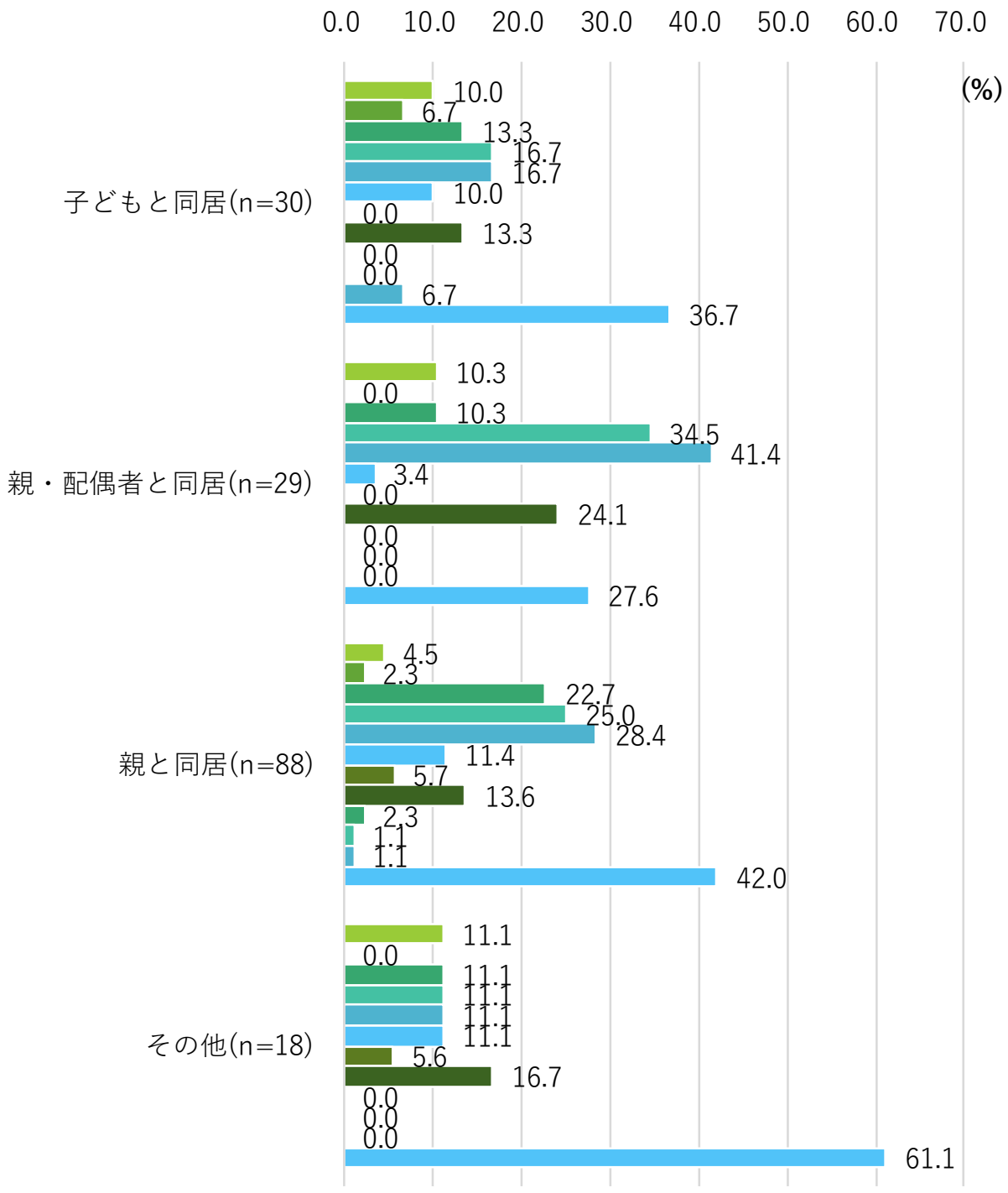

0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
(%)
亀有・青戸地区
(n=143)
11.9
4.9
21.0
35.7
32.9
3.5
2.1
16.1
2.8
0.0
0.7
35.0
小菅・お花茶屋・堀切地区
(n=171)
9.4
6.4
16.4
36.3
36.3
12.3
4.1
17.0
1.8
1.8
1.8
30.4
立石・四つ木地区(n=147)
13.6
3.4
25.9
40.1
33.3
7.5
2.0
12.9
2.7
1.4
1.4
29.9
奥戸・新小岩地区(n=179)
6.7
1.1
14.0
30.7
27.9
12.3
1.1
8.4
1.7
0.0
0.6
45.3

【世帯構成別】

- 一人暮らしにおいて「利用しない」が全体の集計結果よりやや高く、「水辺の公園で遊ぶ（子どもと一緒に遊ぶことも含む）」がやや低い。
- 配偶者と同居において「散策」が全体の集計結果よりやや高い。
- 配偶者・子どもと同居（2 世代）において「水辺の公園で遊ぶ（子どもと一緒に遊ぶことも含む）」が全体の集計結果より高く、「利用しない」がやや低い。



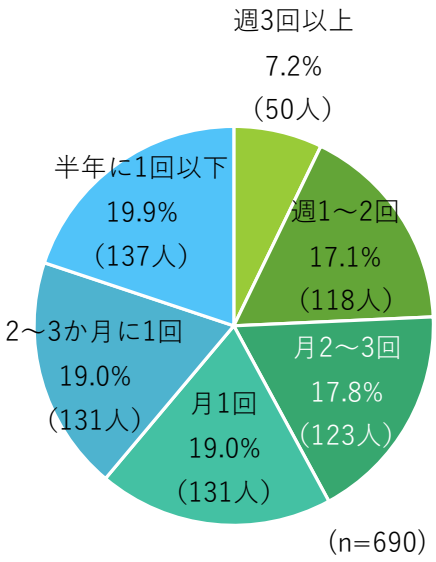
- 親と同居において「利用しない」が全体の集計結果よりやや高い。また、「散策」が全体の集計結果より低く、「水辺の公園で遊ぶ（子どもと一緒に遊ぶことも含む）」「ウォーキング、ジョギングなど健康づくり」がやや低い。



②水辺の利用頻度

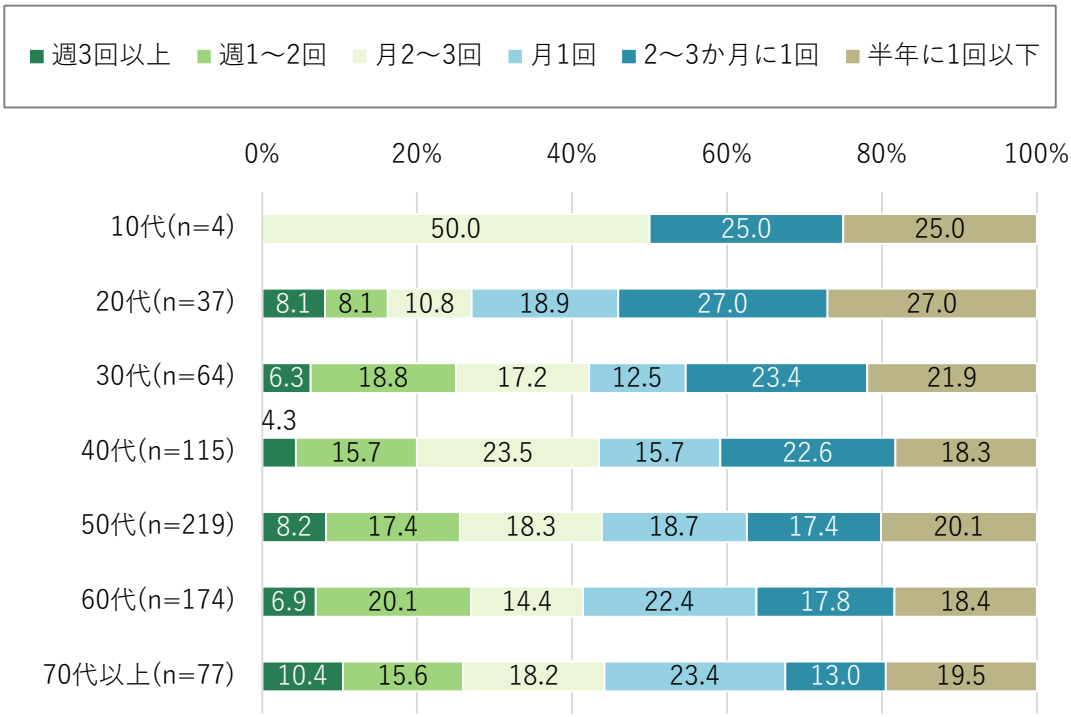
Q　葛飾区内の水辺の利用頻度を教えてください。

- 「週１～２回」、「月２～３回」、「月１回」、「２～３か月に１回」、「半年に１回以下」が、ほぼ同じ割合（各 17～20%）となっている。



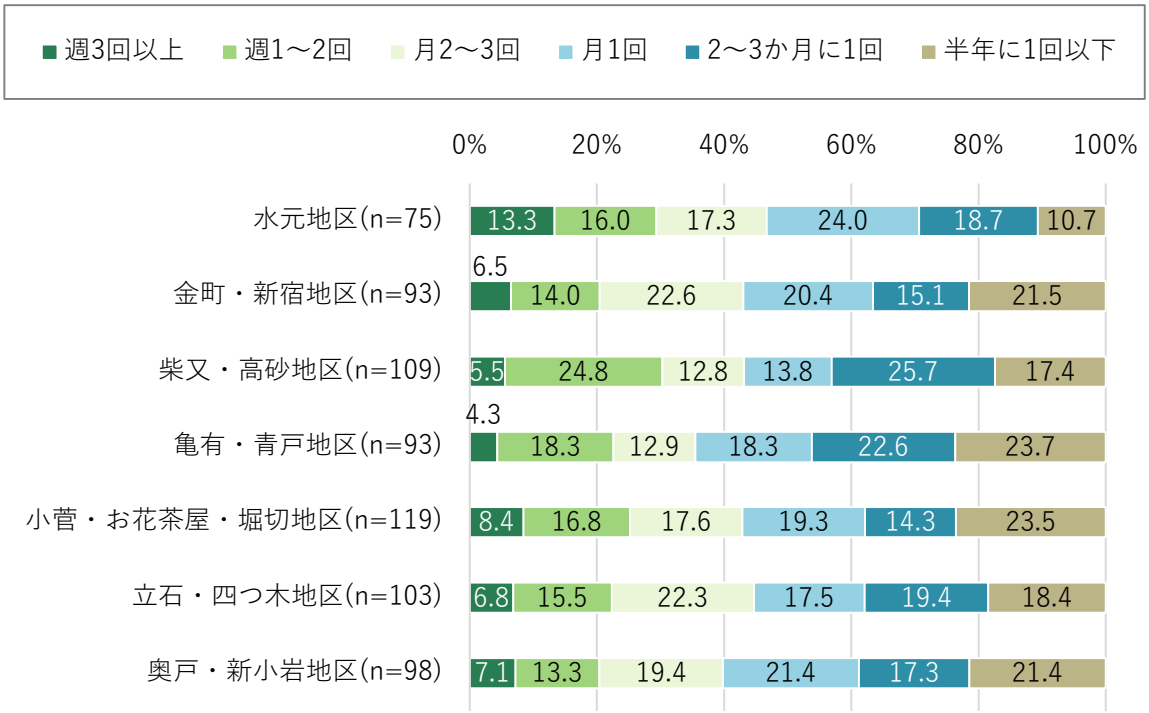
【年齢別】

- 20 代の利用頻度が他の年齢層より低い。



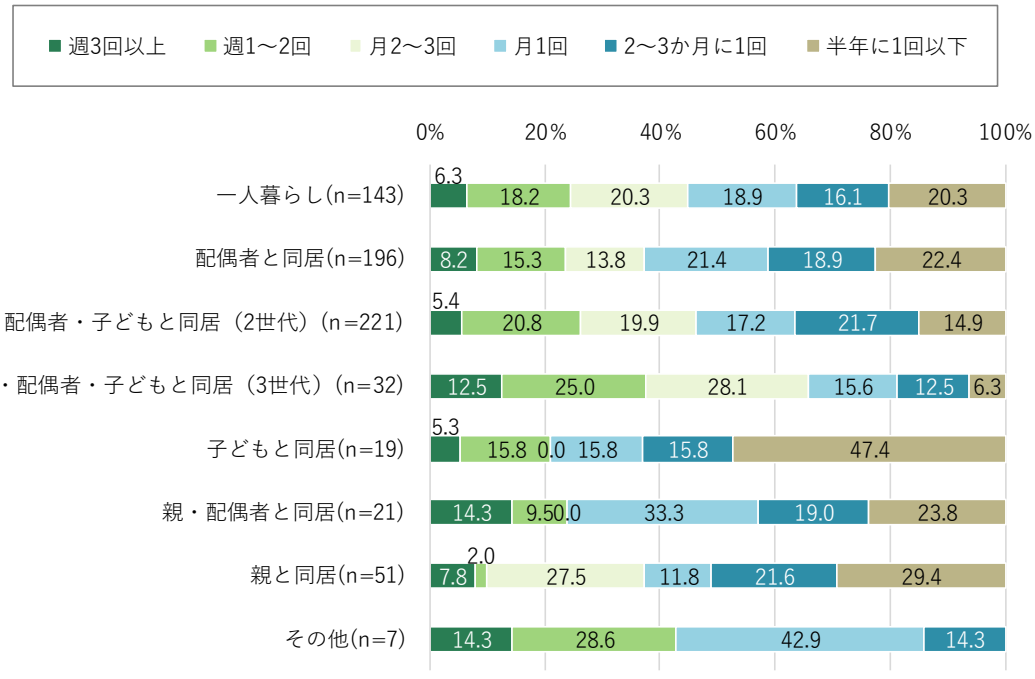
【居住地別】

- 水元地区において「週３回以上」「月１回以上」が全体の集計結果よりやや高く、「半年に１回以下」がやや低い。
- 柴又・高砂地区において「週 1～2 回」「2～3 か月に 1 回」が全体の集計結果よりやや高く、「月 1 回」がやや低い。



【世帯構成別】

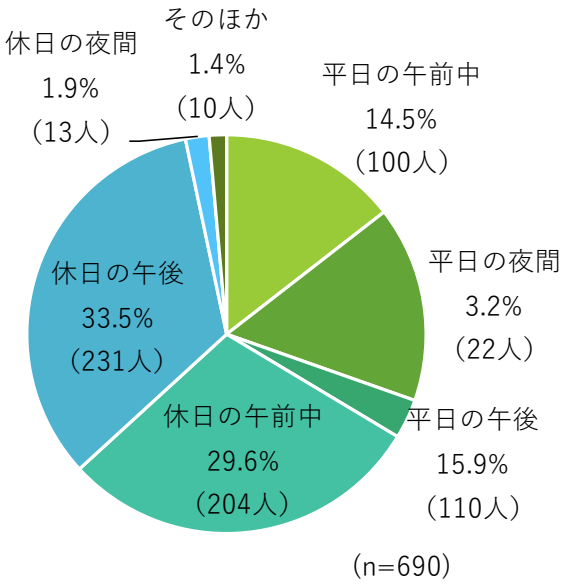
- 親・配偶者・子どもと同居（3 世代）において「月２～３回」が全体の集計結果より高く、「半年に１回以下」が低い。また、親と同居において「週１～２回」が全体の集計結果より低い。（いずれも母数が少ないため参考値）



③最も多く利用する時間帯

Q　葛飾区内の水辺を最も多く利用する時間帯を教えてください。

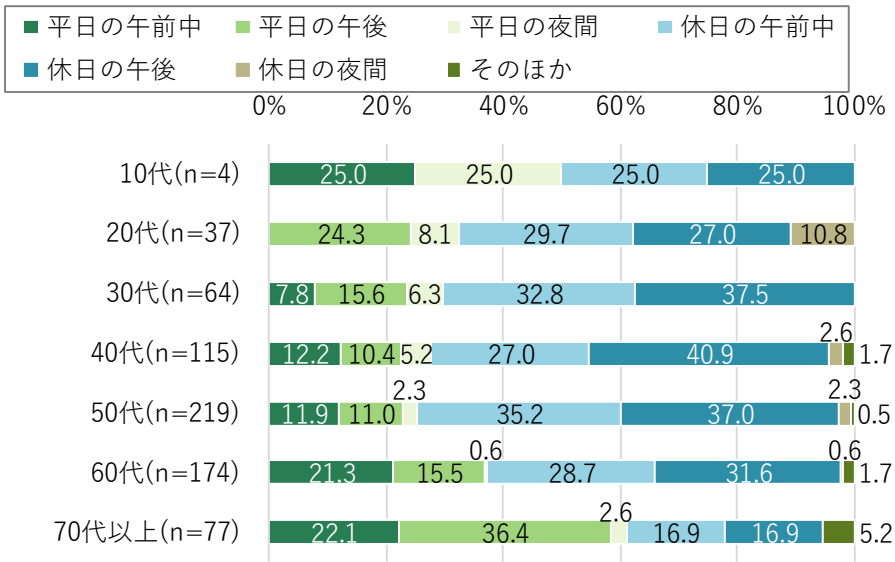
- 「休日の午後」（33.5%）が最も多く、次いで「休日の午前中」（29.6%）が多い。



「そのほか」の回答
- ・決まってない（２件）
- ・決まった時間はない
- ・不定期
- ・平日、休日に関係なく午後
- ・休日の朝
- ・特に目指していくわけでなく、通る時って感じなので
- ・ほとんど出かけない
- ・ほとんど利用しない
- ・特にない

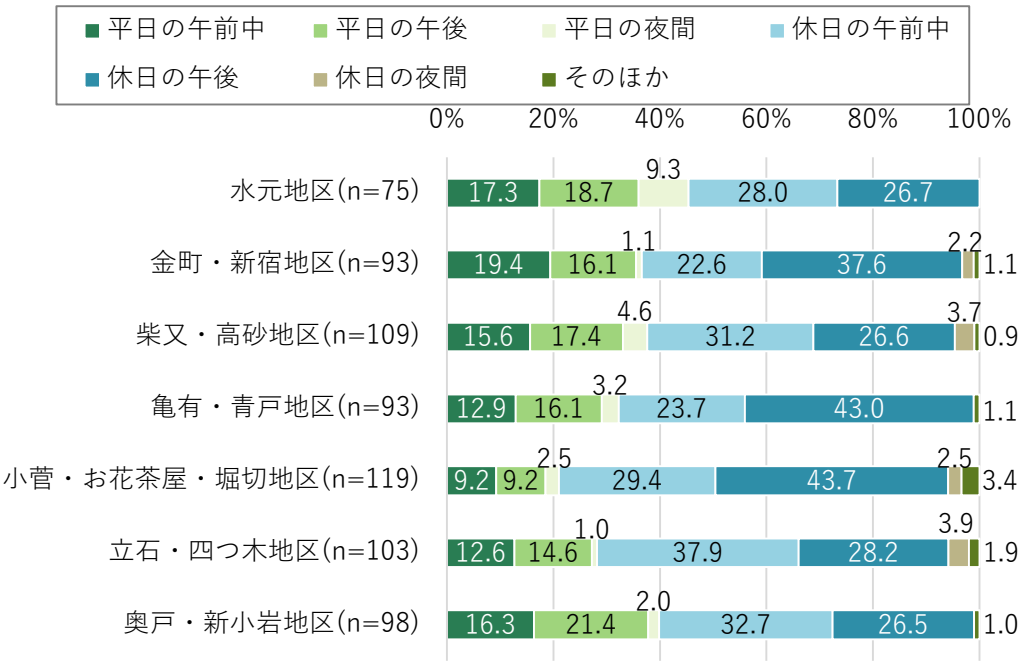
【年齢別】

- 20 代において「夜間」（平日の夜間、休日の夜間の計）が全体の集計結果より高く、「午前中」（平日の午前中、休日の午前中の計）が低い。
- 70 代において「平日の午後」が全体の集計結果より高く、「休日の午前」「休日の午後」が低い。



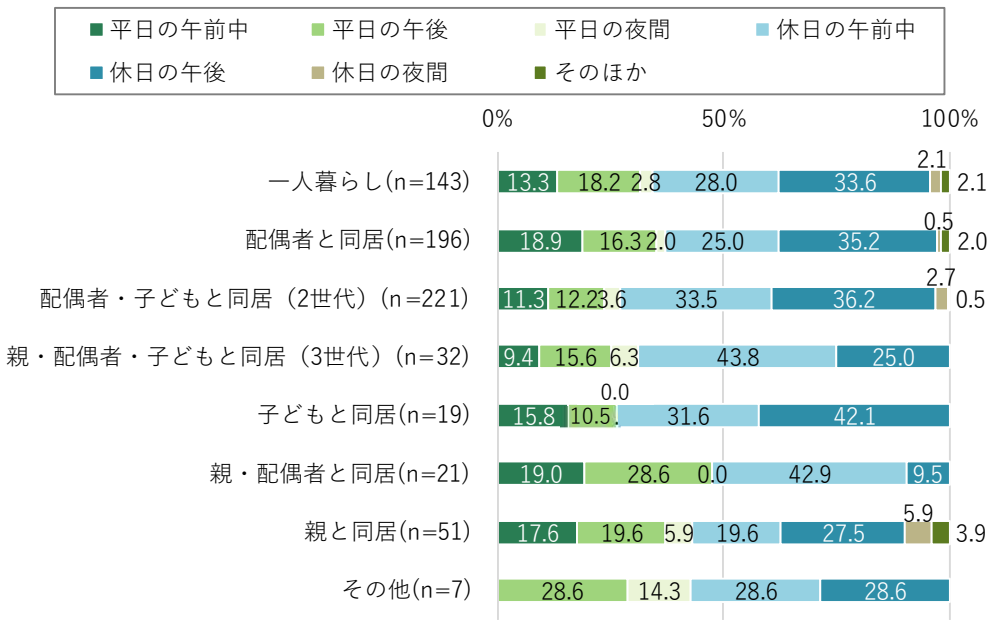
【居住地別】

- 水元地区は「平日の夜間」が全体の集計結果よりやや高く、「休日の午後」がやや低い。
- 金町・新宿地区は「休日の午前中」が全体の集計結果よりやや低い。
- 柴又・高砂地区は「休日の午後」が全体の集計結果よりやや低い。
- 亀有・青戸地区は「休日の午後」が全体の集計結果よりやや高く、「休日の午前中」がやや低い。
- 小菅・お花茶屋・堀切地区は「休日の午後」が全体の集計結果より高く、「平日の午前中」「平日の午後」がやや低い。
- 立石・四つ木地区は「休日の午前中」が全体の集計結果よりやや高く、「休日の午後」がやや低い。
- 奥戸・新小岩地区は「平日の午後」が全体の集計結果よりやや高く、「休日の午後」がやや低い。



【世帯構成別】

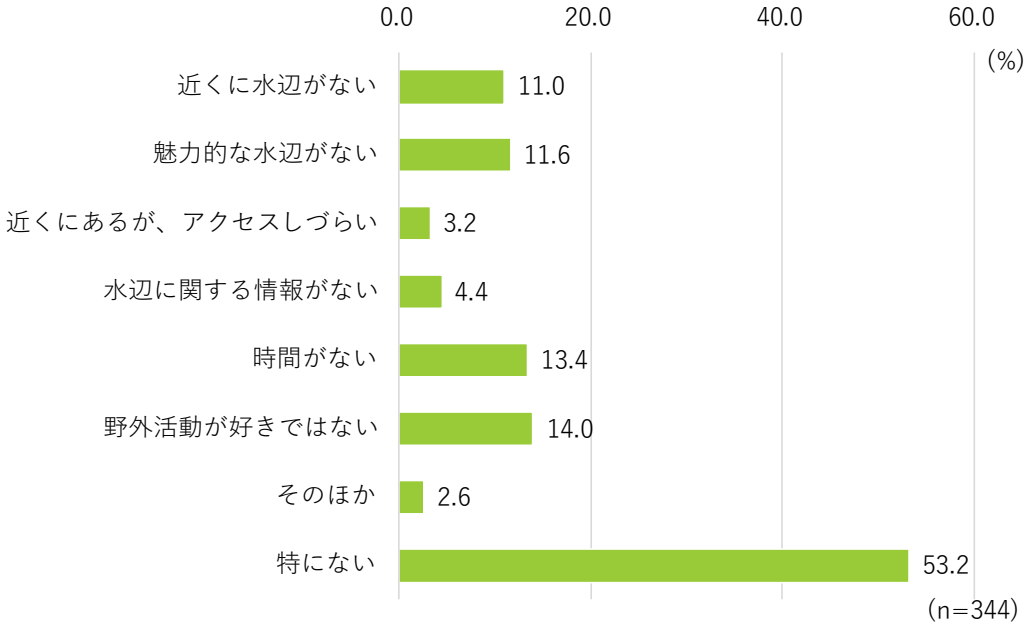
- 親・配偶者・子どもと同居（3 世代）において「休日の午前中」が全体の集計結果より高い。（母数が少ないため参考値）



④水辺を利用する機会を持たない理由

Q　あなたが普段、葛飾区内の水辺を利用する機会を持たない理由を教えてください。(いくつでも)

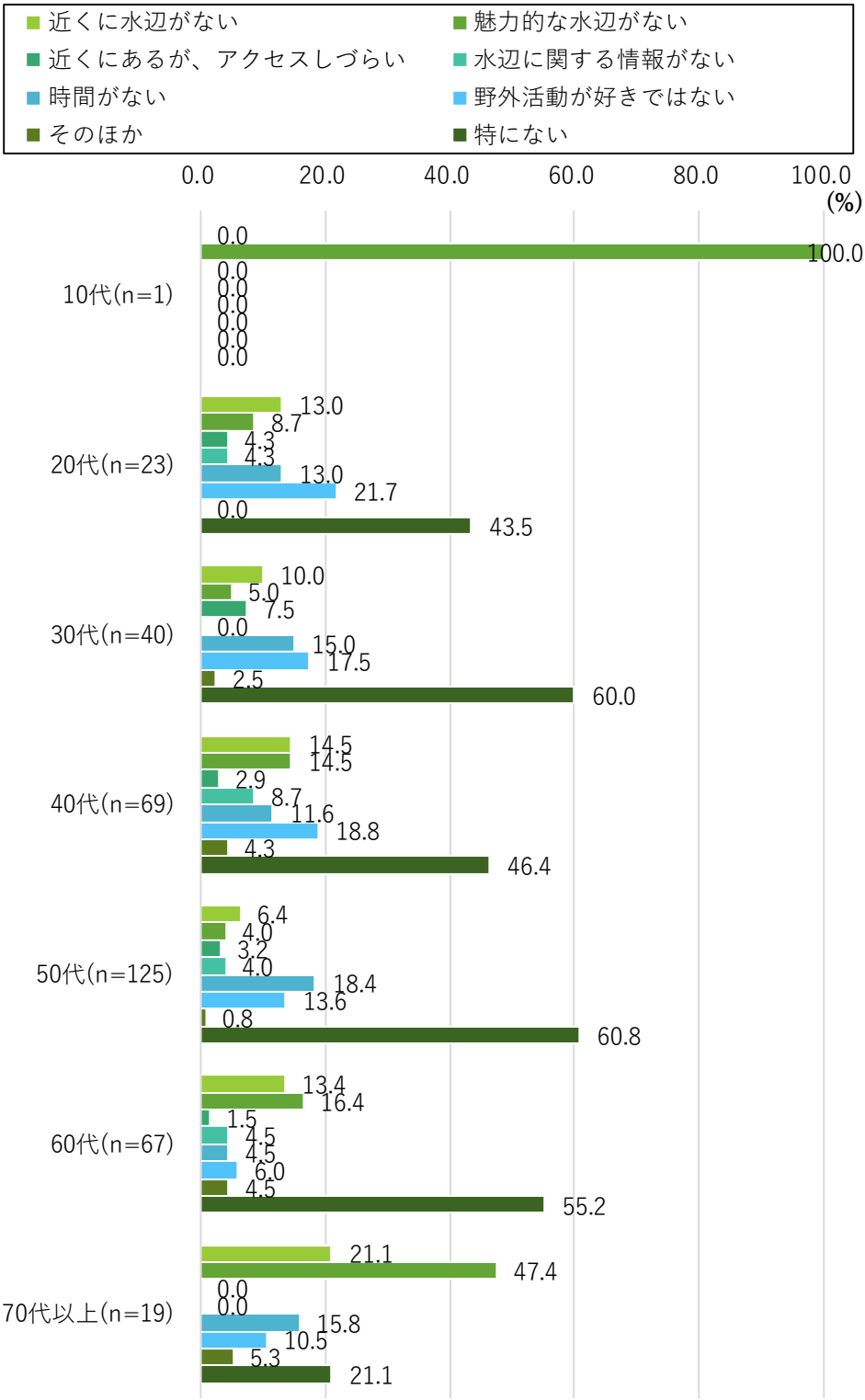
- 「特にない」(53.2%)の割合が高く、次いで「野外活動が好きではない」(14.0%)、「時間がない」(13.4%)、「魅力的な水辺がない」(11.6%)、「近くに水辺がない」(11.0%)となっている。



「そのほか」の回答
- 利用する目的がない
- 利用方法がよくわからない
- 近づく手段を知らない
- 興味がない
- 水辺があまり好きではない
- 危険、汚い
- 虫がいるから
- 忙しい
- 江戸川区の親水公園が良いので

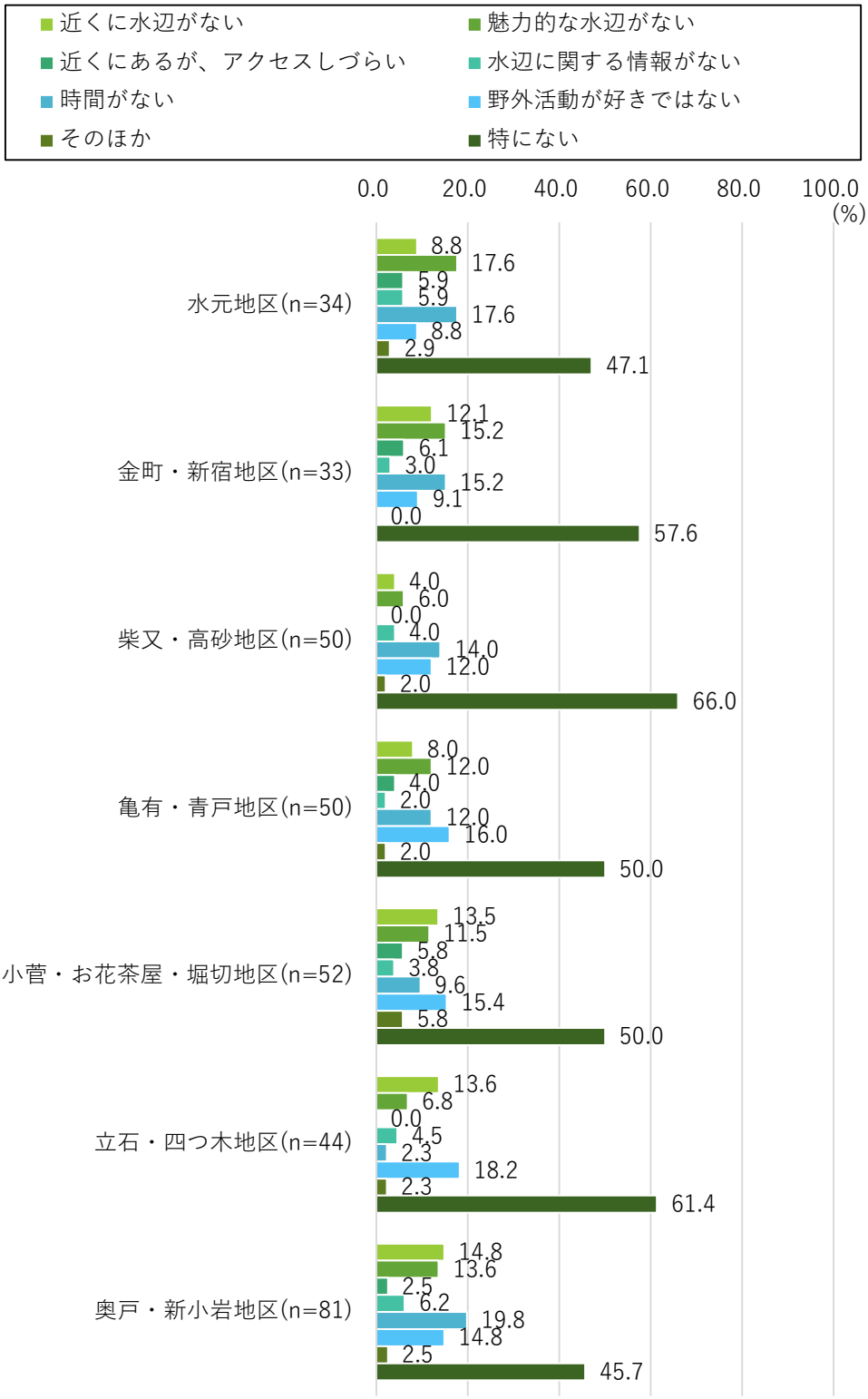
【年齢別】

- 30 代において「特にない」が全体の集計結果よりやや高く、「魅力的な水辺がない」がやや低い。
- 40 代において「特にない」が全体の集計結果よりやや低い。
- 50 代において「時間がない」「特にない」が全体の集計結果よりやや高く、「魅力的な水辺がない」がやや低い。
- 60 代において「時間がない」「野外活動が好きではない」が全体の集計結果よりやや低い。



【居住地別】

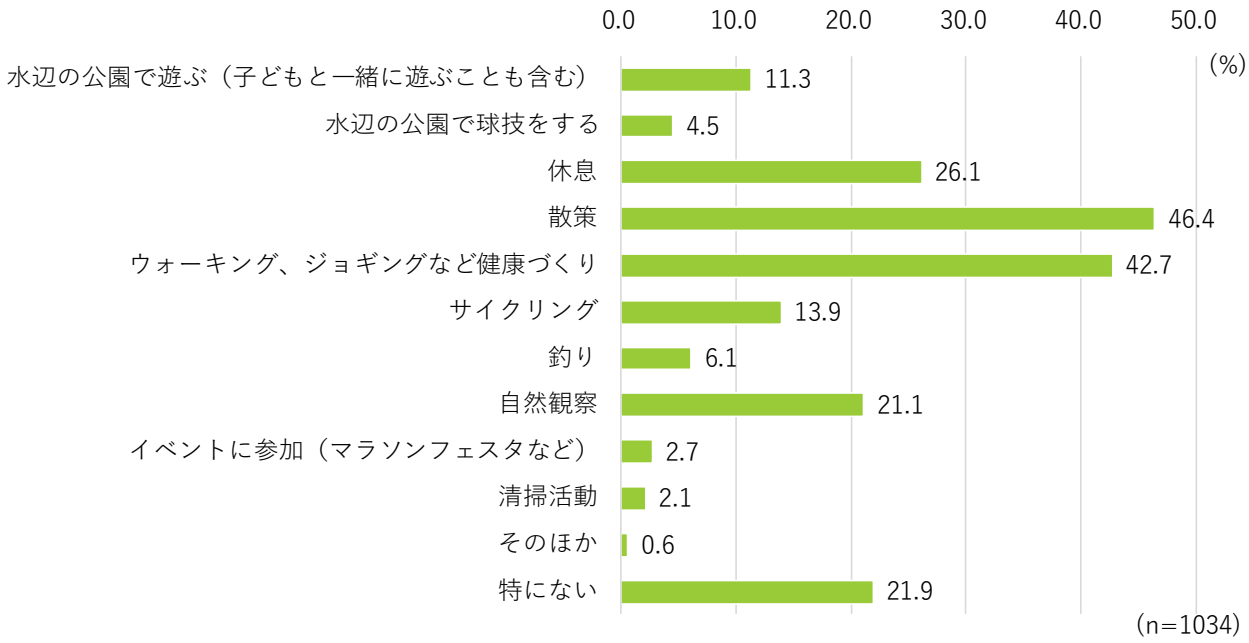
- 水元地区において「魅力的な水辺がない」が全体の集計結果よりやや高く、「野外活動が好きではない」「特にない」がやや低い。
- 柴又・高砂地区において「特にない」が全体の集計結果より高い。また、「近くに水辺がない」「魅力的な水辺がない」がやや低い。
- 立石・四つ木地区において「時間がない」が全体の集計結果より低い。また、「特にない」がやや高い。
- 奥戸・新小岩地区は「時間がない」が全体の集計結果よりやや高い。また、「特にない」はやや低い。



（4）今後行いたい水辺の利用方法

Q　今後（も）、あなたが行いたい、水辺の利用方法は何ですか。（いくつでも）

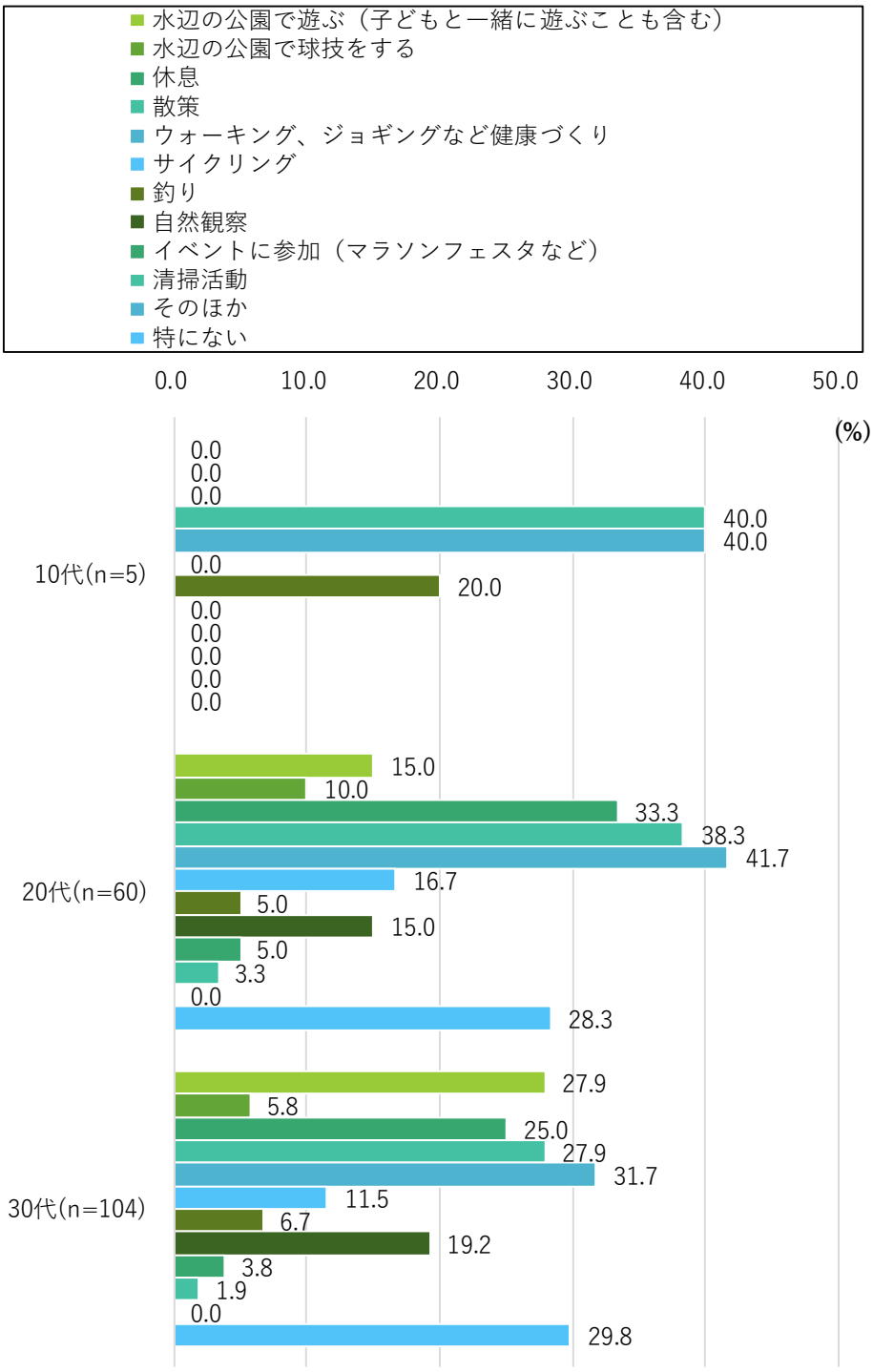
- 「散策」（46.4%）、「ウォーキング、ジョギングなど健康づくり」（42.7%）が多く、次いで「休息」（26.1%）となっている。

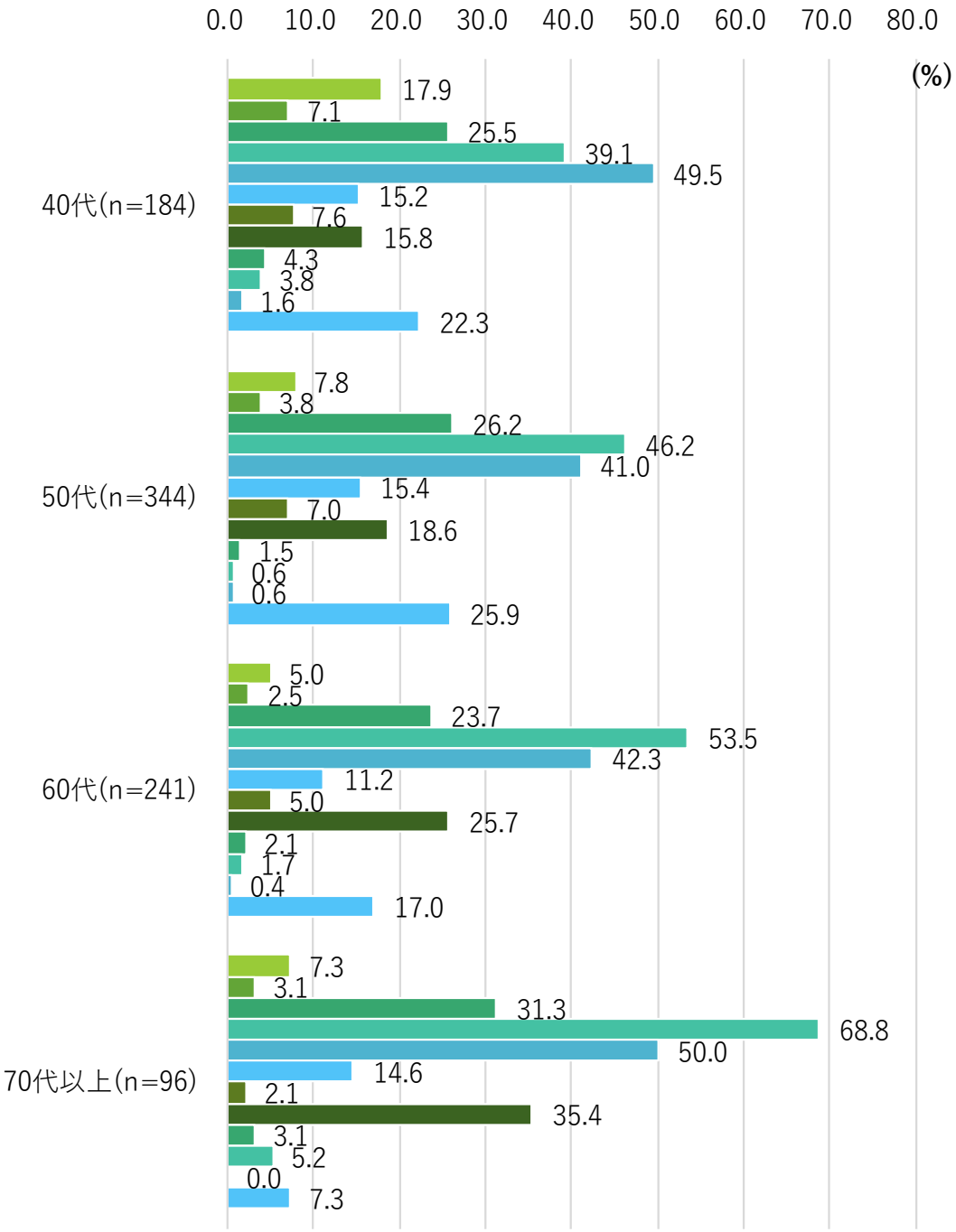


「そのほか」の回答
- 犬の散歩（２件）
- ペットとの散歩
- SUP
- 知人とバーベキュー
- 花火大会

【年齢別】

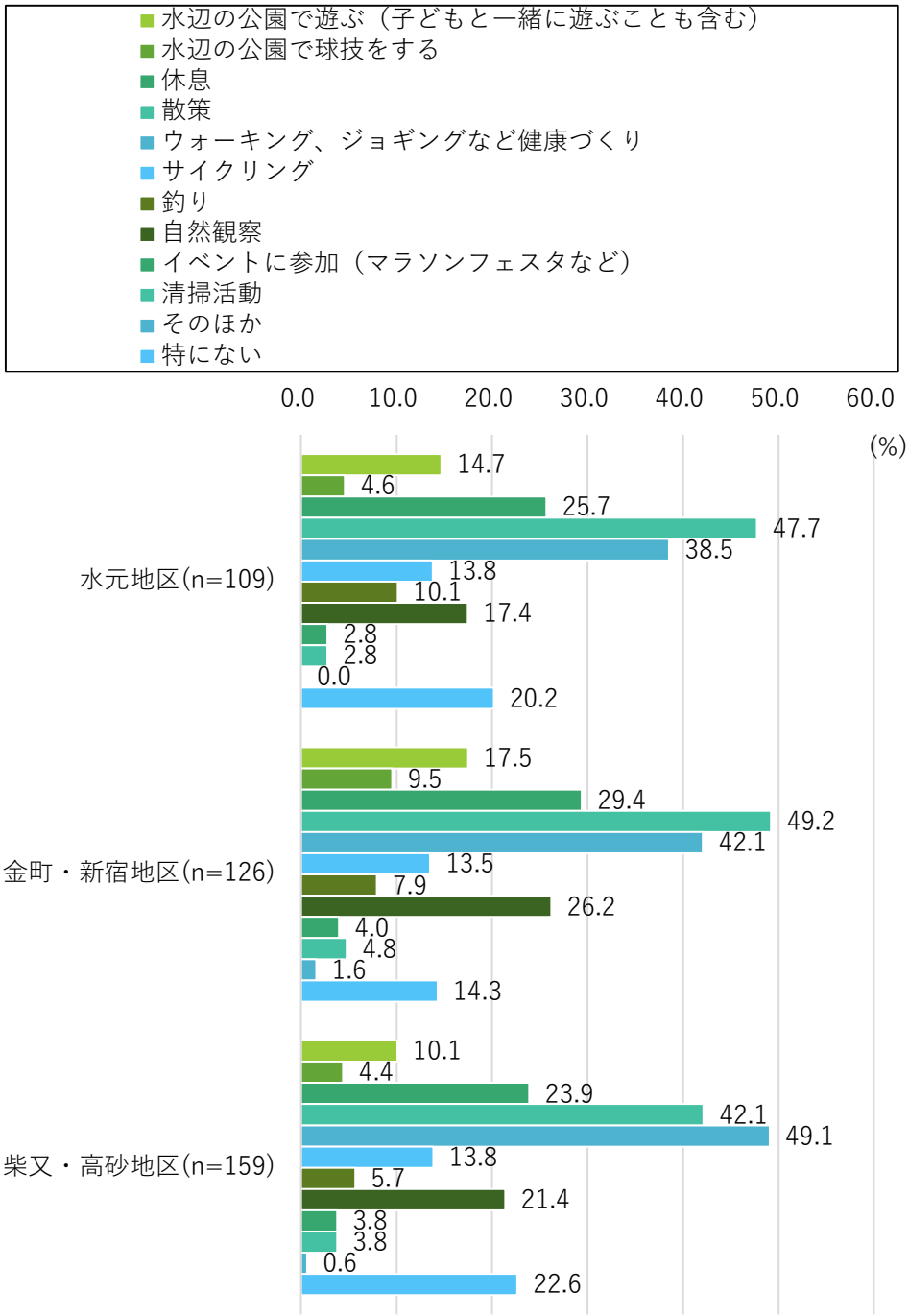
- 20 代において「水辺の公園で球技をする」「休息」「特にない」が全体の集計結果よりやや高く、「散策」「自然観察」がやや低い。
- 30 代において「水辺の公園で遊ぶ（子どもと一緒に遊ぶことも含む)」が全体の集計結果より高く、「特にない」がやや高い。また、「散策」「ウォーキング、ジョギングなど健康づくり」が低い。
- 40 代において「水辺の公園で遊ぶ（子どもと一緒に遊ぶことも含む)」「ウォーキング、ジョギングなど健康づくり」が全体の集計結果よりやや高く、「散策」「自然観察」がやや低い。
- 60 代において「散策」が全体の集計結果よりやや高く、「水辺の公園で遊ぶ（子どもと一緒に遊ぶことも含む)」がやや低い。
- 70 代以上において「散策」「自然観察」が全体の集計結果より高く、「休息」「ウォーキング、ジョギングなど健康づくり」がやや高い。また、「特にない」が低い。

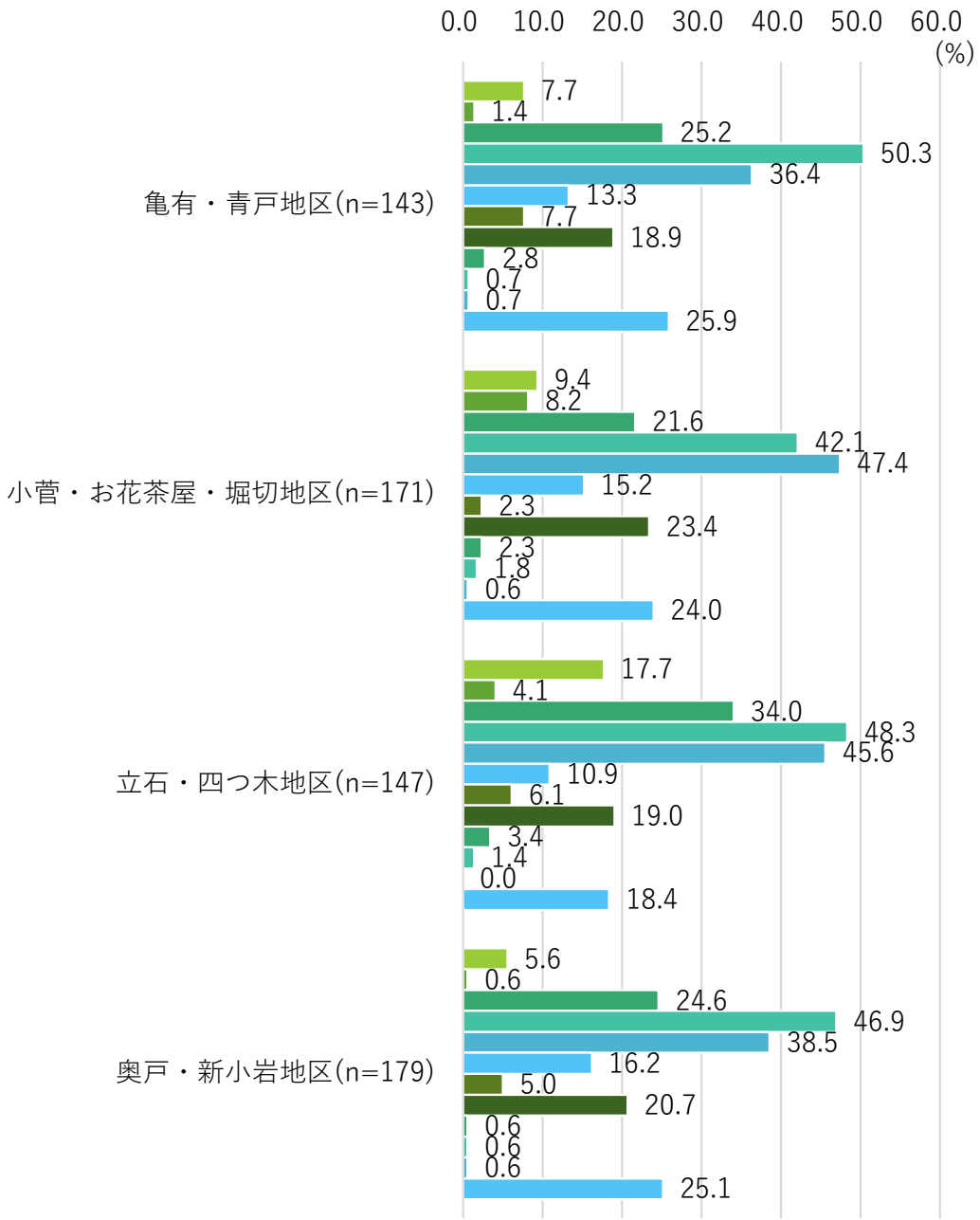



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
70.0
80.0
(%)
40代(n=184)
17.9
7.1
25.5
39.1
49.5
15.2
7.6
15.8
4.3
3.8
1.6
22.3
50代(n=344)
7.8
3.8
26.2
46.2
41.0
15.4
7.0
18.6
1.5
0.6
0.6
25.9
60代(n=241)
5.0
2.5
23.7
53.5
42.3
11.2
5.0
25.7
2.1
1.7
0.4
17.0
70代以上(n=96)
7.3
3.1
31.3
68.8
50.0
14.6
2.1
35.4
3.1
5.2
0.0
7.3

【居住地別】

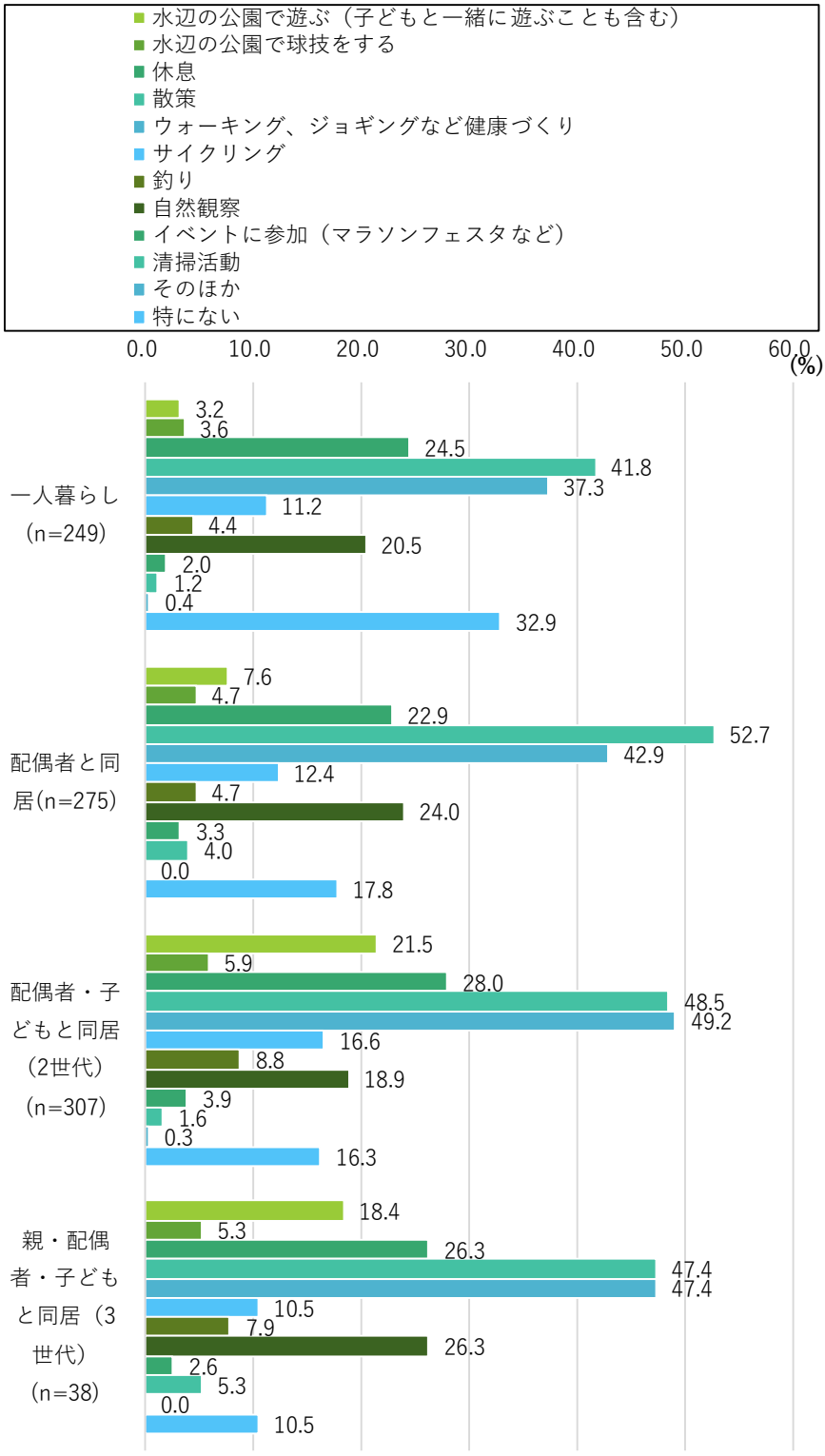
- 金町・新宿地区において「水辺の公園で遊ぶ（子どもと一緒に遊ぶことも含む）」「自然観察」が全体の集計結果よりやや高く、「特にない」がやや低い。
- 柴又・高砂地区において「ウォーキング、ジョギングなど健康づくり」が全体の集計結果より高い。
- 亀有・青戸地区において「ウォーキング、ジョギングなど健康づくり」が全体の集計結果より低い。
- 立石・四つ木地区において「水辺の公園で遊ぶ（子どもと一緒に遊ぶことも含む）」「休息」が全体の集計結果よりやや高い。
- 奥戸・新小岩地区において「水辺の公園で遊ぶ（子どもと一緒に遊ぶことも含む）」が全体の集計結果よりやや低い。

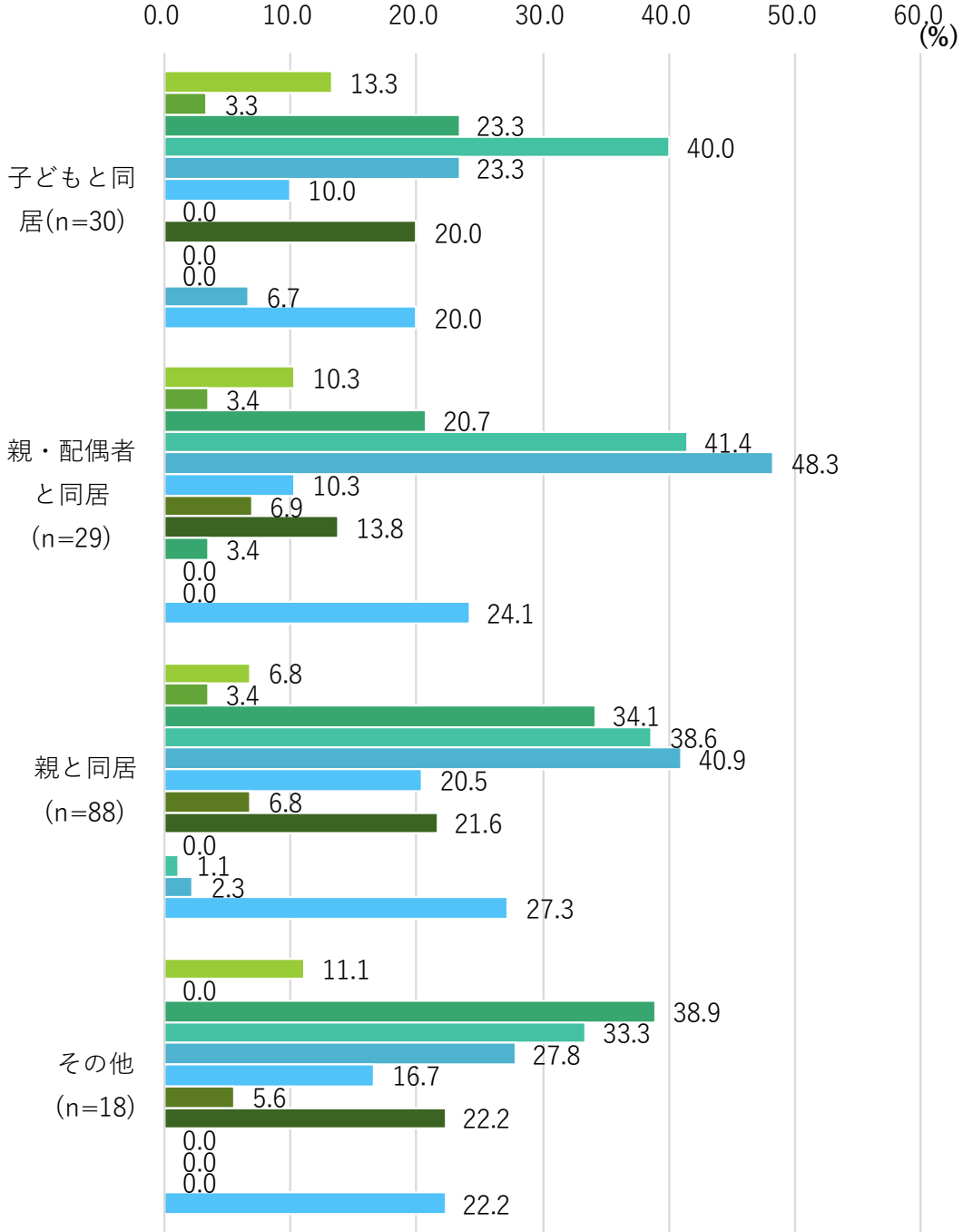



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
(%)
亀有・青戸地区(n=143)
7.7
1.4
25.2
50.3
36.4
13.3
7.7
18.9
2.8
0.7
0.7
25.9
小菅・お花茶屋・堀切地区(n=171)
9.4
8.2
21.6
42.1
47.4
15.2
2.3
23.4
2.3
1.8
0.6
24.0
立石・四つ木地区(n=147)
17.7
4.1
34.0
48.3
45.6
10.9
6.1
19.0
3.4
1.4
0.0
18.4
奥戸・新小岩地区(n=179)
5.6
0.6
24.6
46.9
38.5
16.2
5.0
20.7
0.6
0.6
0.6
25.1

【世帯構成別】

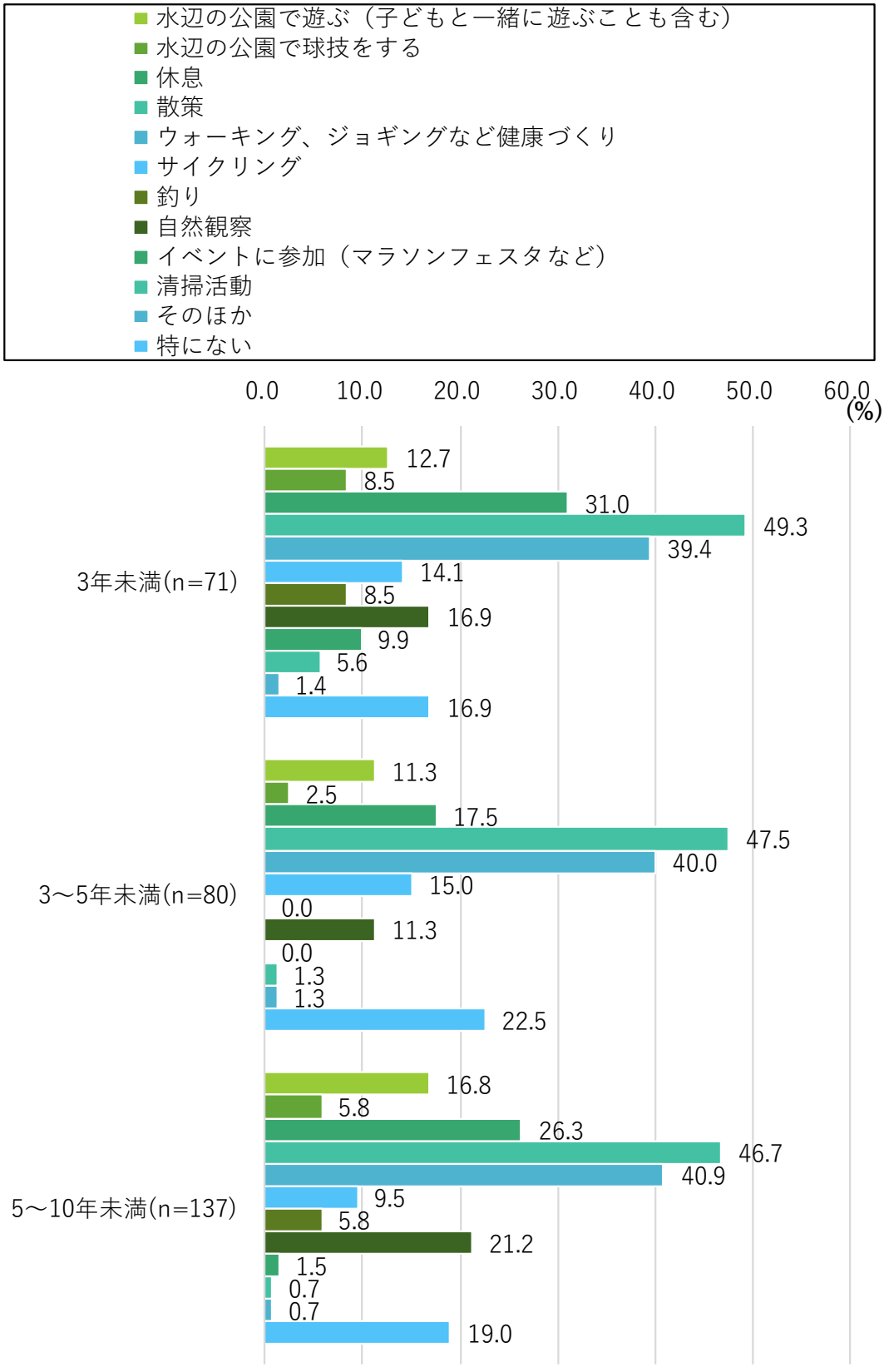
- 一人暮らしにおいて「特にない」が全体の集計結果より高い。また、「水辺の公園で遊ぶ（子どもと一緒に遊ぶことも含む）」「ウォーキング、ジョギングなど健康づくり」がやや低い。
- 配偶者と同居において「散策」が全体の集計結果よりやや高く、「特にない」がやや低い。
- 配偶者・子どもと同居（2 世代）において「水辺の公園で遊ぶ（子どもと一緒に遊ぶことも含む）」が全体の集計結果より高い。
- 親と同居において「休息」「サイクリング」「特にない」が全体の集計結果よりやや高く、「散策」がやや低い。

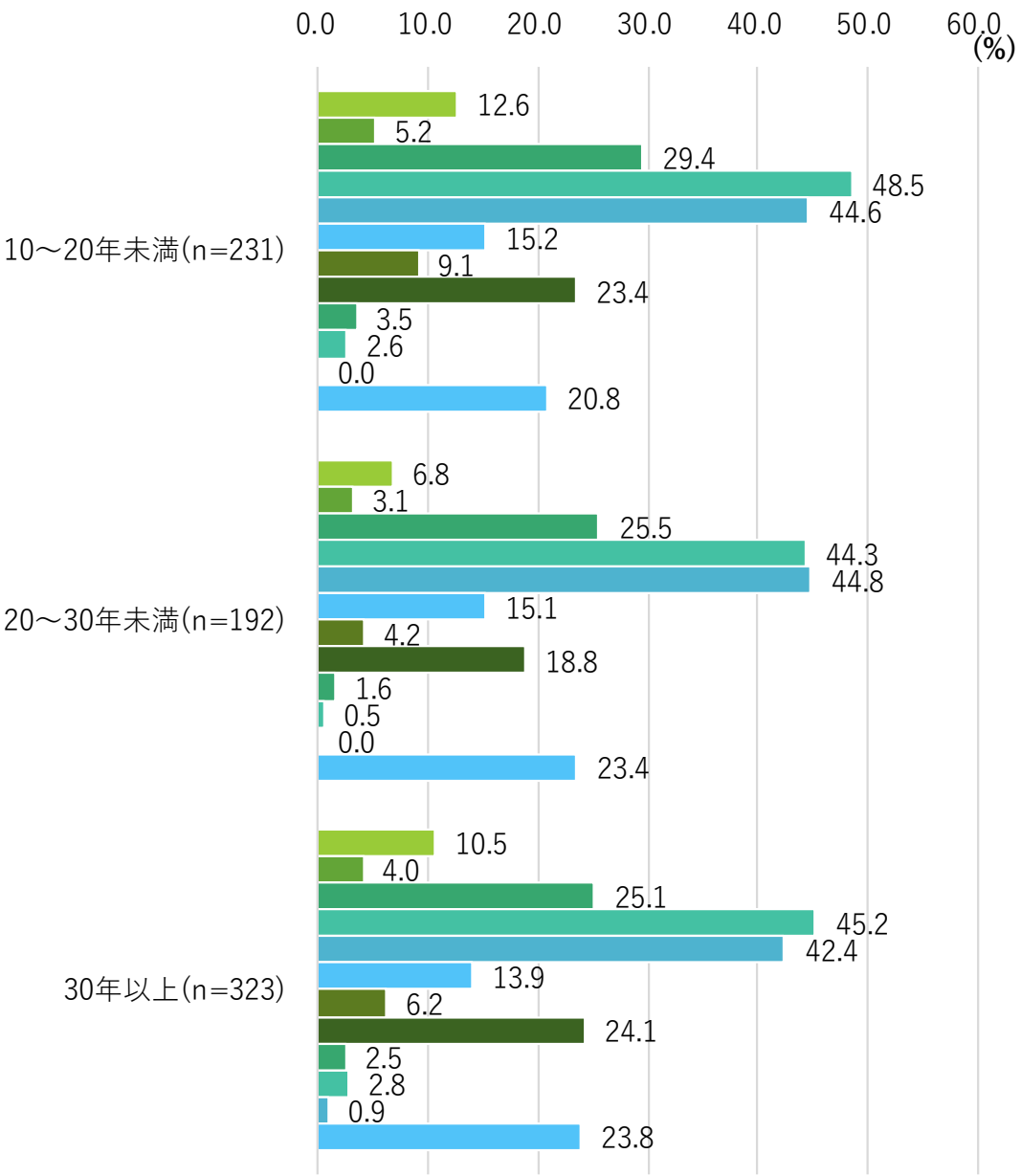



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
(%)
子どもと同居(n=30)
13.3
3.3
23.3
40.0
23.3
10.0
0.0
20.0
0.0
0.0
6.7
20.0
親・配偶者と同居(n=29)
10.3
3.4
20.7
41.4
48.3
10.3
6.9
13.8
3.4
0.0
0.0
24.1
親と同居(n=88)
6.8
3.4
34.1
38.6
40.9
20.5
6.8
21.6
0.0
1.1
2.3
27.3
その他(n=18)
11.1
0.0
38.9
33.3
27.8
16.7
5.6
22.2
0.0
0.0
0.0
22.2

【在住歴別】

- 3 年未満において「イベントに参加（マラソンフェスタなど)」が全体の集計結果よりやや高い。
- 3～5 年未満において「休息」「釣り」「自然観察」が全体の集計結果よりやや低い。
- 5～10 年未満において「水辺の公園で遊ぶ（子どもと一緒に遊ぶことも含む)」が全体の集計結果よりやや高い。

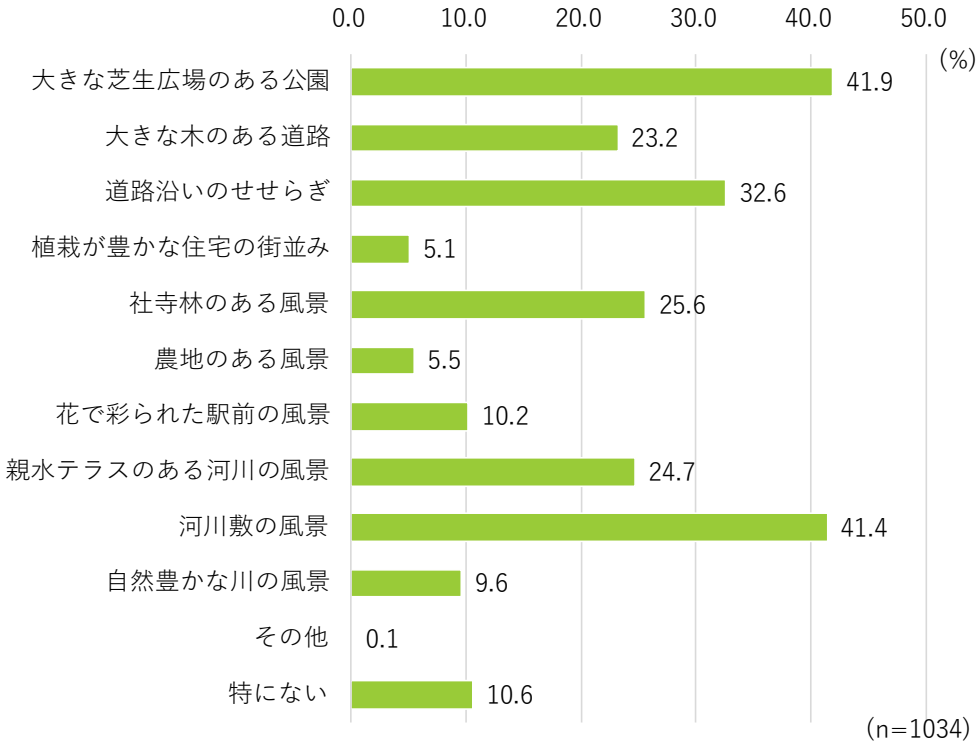



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
(%)
10～20年未満(n=231)
12.6
5.2
29.4
48.5
44.6
15.2
9.1
23.4
3.5
2.6
0.0
20.8
20～30年未満(n=192)
6.8
3.1
25.5
44.3
44.8
15.1
4.2
18.8
1.6
0.5
0.0
23.4
30年以上(n=323)
10.5
4.0
25.1
45.2
42.4
13.9
6.2
24.1
2.5
2.8
0.9
23.8

3　葛飾らしい緑と水辺の風景について

Q　あなたが葛飾らしいまたは葛飾の魅力だと感じる、緑や水辺の風景を選んでください。(3 つまで)

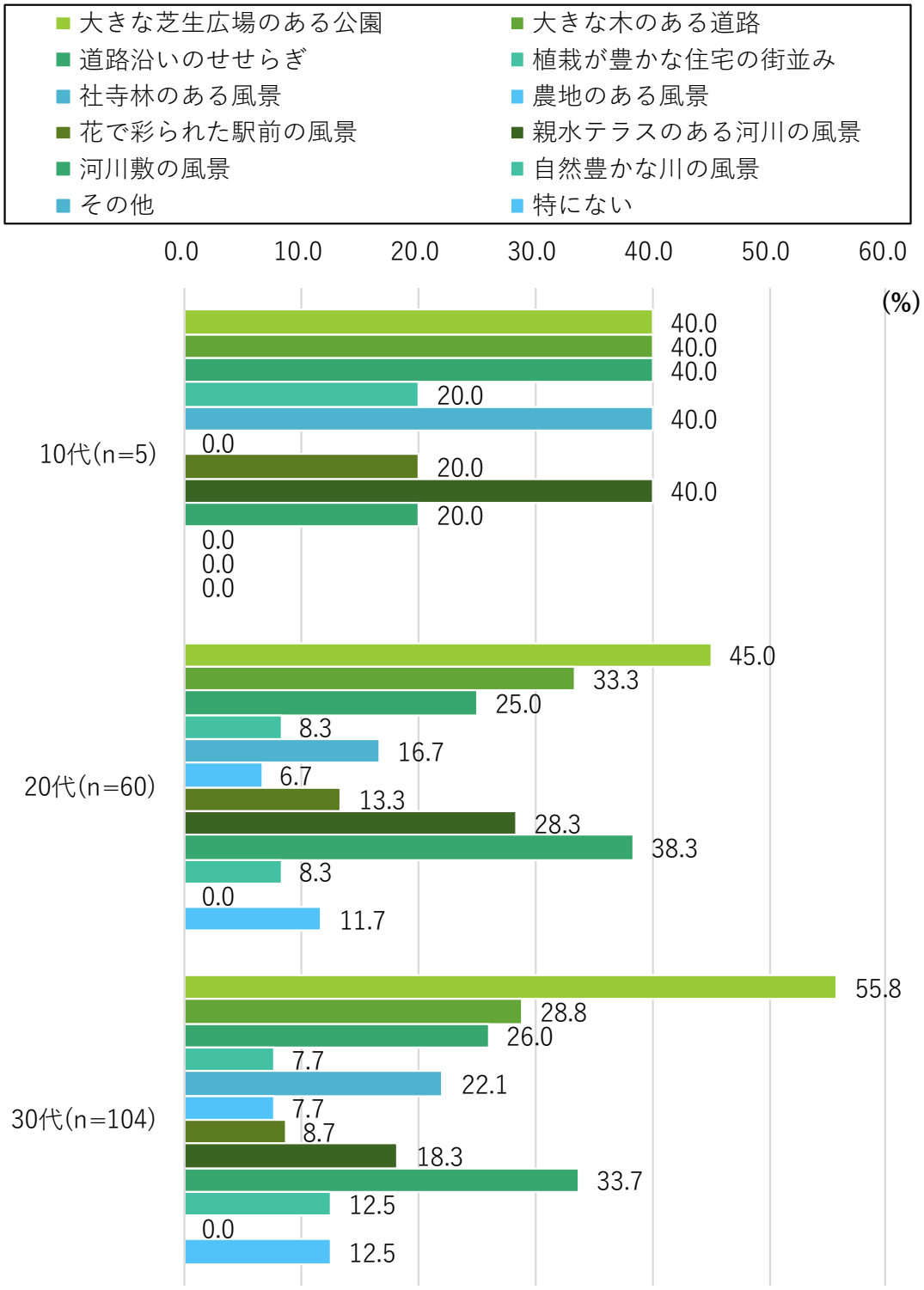
- 「大きな芝生広場のある公園」(41.9%)、「河川敷の風景」(41.4%) が多く、次いで「道路沿いのせせらぎ」(32.6%) となっている。

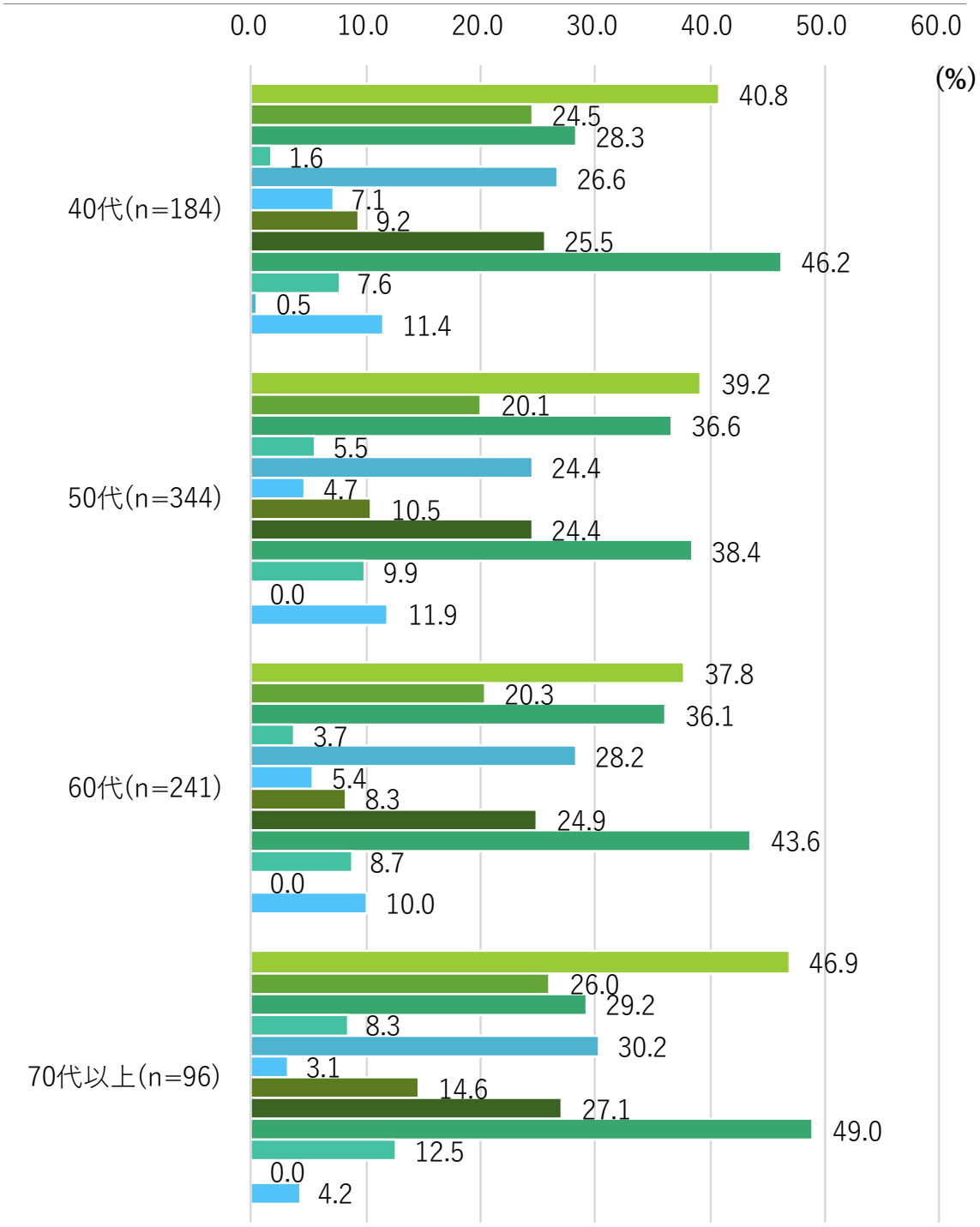


「その他」の回答
・水元公園や上千葉砂原公園など、木の多い公園

【年齢別】

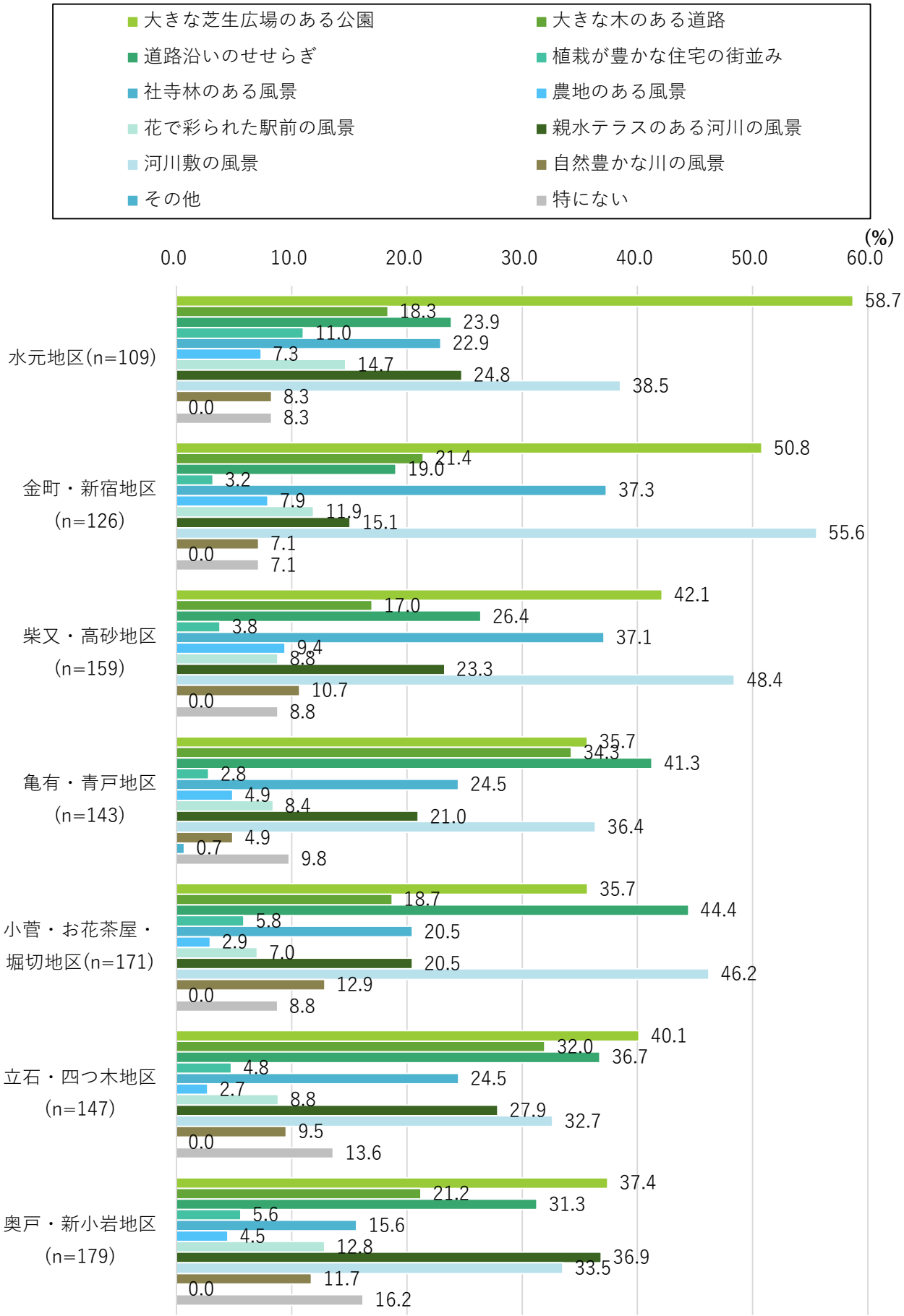
- 20 代において「大きな木のある道路」が全体の集計結果より高い。また、「道路沿いのせせらぎ」「社寺林のある風景」がやや低い。
- 30 代において「大きな芝生広場のある公園」が全体の集計結果より高く、「大きな木のある道路」がやや高い。また、「道路沿いのせせらぎ」「親水テラスのある河川の風景」「河川敷の風景」がやや低い。
- 70 代において「河川敷の風景」が全体の集計結果よりやや高い。また、「特にない」がやや低い。




0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
(%)
40代(n=184)
40.8
24.5
28.3
1.6
26.6
7.1
9.2
25.5
46.2
7.6
0.5
11.4
50代(n=344)
39.2
20.1
36.6
5.5
24.4
4.7
10.5
24.4
38.4
9.9
0.0
11.9
60代(n=241)
37.8
20.3
36.1
3.7
28.2
5.4
8.3
24.9
43.6
8.7
0.0
10.0
70代以上(n=96)
46.9
26.0
29.2
8.3
30.2
3.1
14.6
27.1
49.0
12.5
0.0
4.2

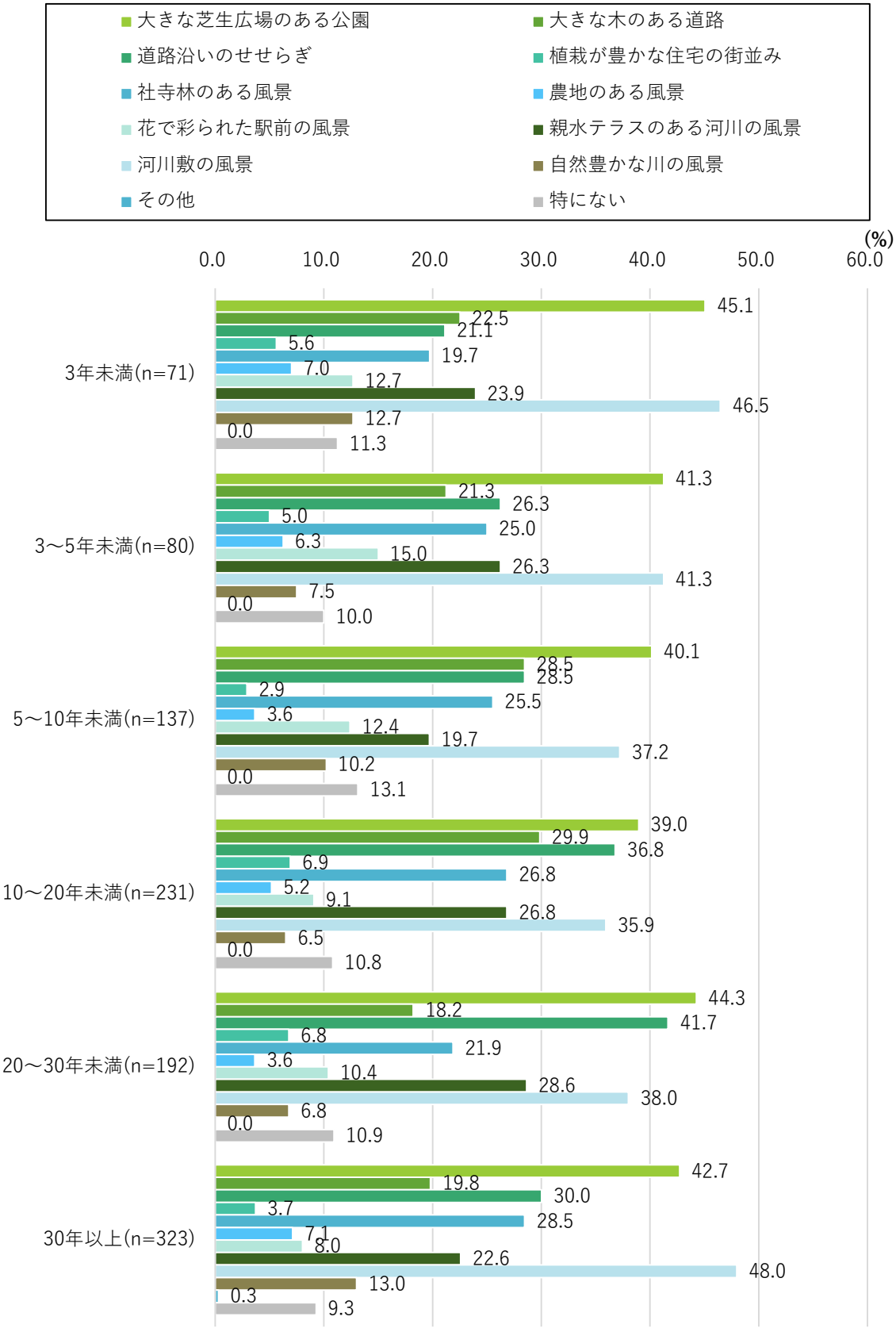
【居住地別】

- 水元地区は「大きな芝生広場のある公園」が全体の集計結果より高く、「植栽が豊かな住宅の街並み」がやや高い。また、「道路沿いのせせらぎ」がやや低い。
- 金町・新宿地区は「社寺林のある風景」「河川敷の風景」が全体の集計結果より高く、「大きな芝生広場のある公園」がやや高い。また、「道路沿いのせせらぎ」が低く、「親水テラスのある河川の風景」がやや低い。
- 柴又・高砂地区は「社寺林のある風景」が全体の集計結果より高く、「河川敷の風景」がやや高い。また、「大きな木のある道路」「道路沿いのせせらぎ」がやや低い。
- 亀有・青戸地区は「大きな木のある道路」が全体の集計結果より高く、「道路沿いのせせらぎ」がやや高い。また、「大きな芝生広場のある公園」「河川敷の風景」がやや低い。
- 小菅・お花茶屋・堀切地区は「道路沿いのせせらぎ」が全体の集計結果より高い。また、「大きな芝生広場のある公園」「社寺林のある風景」がやや低い。
- 奥戸・新小岩地区は「親水テラスのある河川の風景」が全体の集計結果より高い。また、「社寺林のある風景」「河川敷の風景」がやや低い。


大きな芝生広場のある公園
大きな木のある道路
道路沿いのせせらぎ
植栽が豊かな住宅の街並み
社寺林のある風景
農地のある風景
花で彩られた駅前の風景
親水テラスのある河川の風景
河川敷の風景
自然豊かな川の風景
その他
特にない
(%)
0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
水元地区(n=109)
58.7
18.3
23.9
11.0
22.9
7.3
14.7
24.8
38.5
8.3
0.0
8.3
金町・新宿地区
(n=126)
50.8
21.4
19.0
3.2
37.3
7.9
11.9
15.1
55.6
7.1
0.0
7.1
柴又・高砂地区
(n=159)
42.1
17.0
26.4
3.8
37.1
9.4
8.8
23.3
48.4
10.7
0.0
8.8
亀有・青戸地区
(n=143)
35.7
34.3
41.3
2.8
24.5
4.9
8.4
21.0
36.4
4.9
0.7
9.8
小菅・お花茶屋・
堀切地区(n=171)
35.7
18.7
44.4
5.8
20.5
2.9
7.0
20.5
46.2
12.9
0.0
8.8
立石・四つ木地区
(n=147)
40.1
32.0
36.7
4.8
24.5
2.7
8.8
27.9
32.7
9.5
0.0
13.6
奥戸・新小岩地区
(n=179)
37.4
21.2
31.3
5.6
15.6
4.5
12.8
36.9
33.5
11.7
0.0
16.2

【在住歴別】

- 3 年未満、30 年以上において「河川敷の風景」が全体の集計結果よりやや高い。また、3 年未満においては「道路沿いのせせらぎ」が低く、「社寺林のある風景」がやや低い。
- 3～5 年未満において「道路沿いのせせらぎ」が全体の集計結果よりやや低い。
- 5～10 年未満、10～20 年未満において「大きな木のある道路」が全体の集計結果よりやや高い。また、10～20 年未満においては「河川敷の風景」がやや低い。

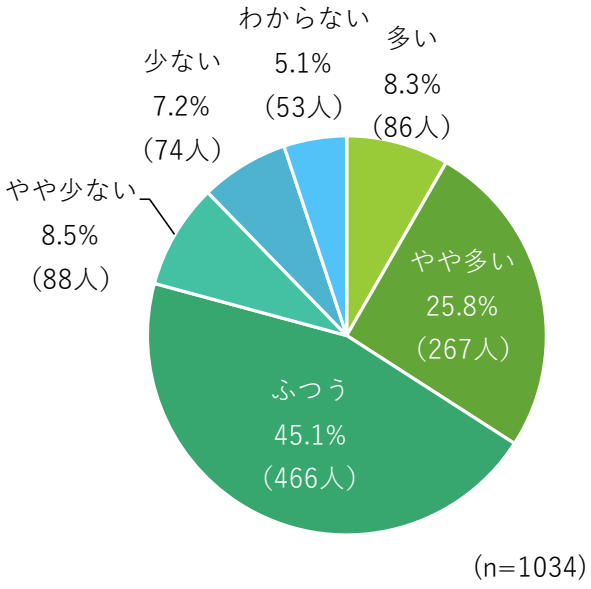


4　公園について

（1）住まい周辺の公園の量

Q　あなたのお住まい周辺は、公園が多いと思いますか。

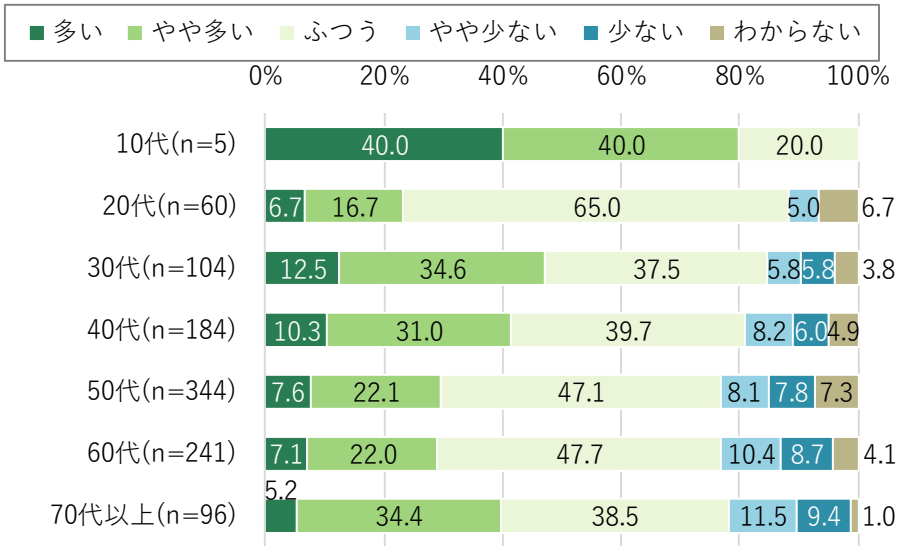
- 「ふつう」（45.1%）が最も多く、次いで「やや多い」（25.8%）となっている。
- 「多い」「やや多い」の合計（34.1%）が、「少ない」「やや少ない」の合計（15.7%）を上回っている。



（n=1034）

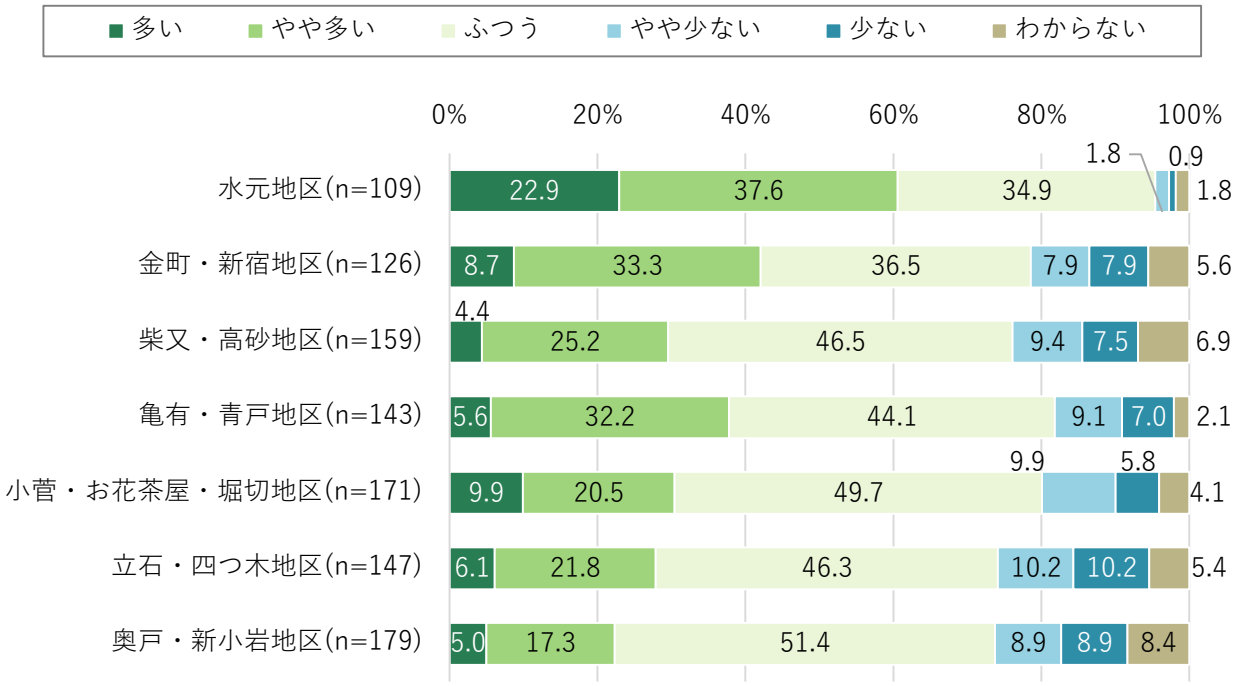
【年齢別】

- 20 代は「ふつう」が全体の集計結果より高い。
- 30 代、40 代、70 代以上において「多い」「やや多い」の計が全体の集計結果より高く、「ふつう」がやや低い。



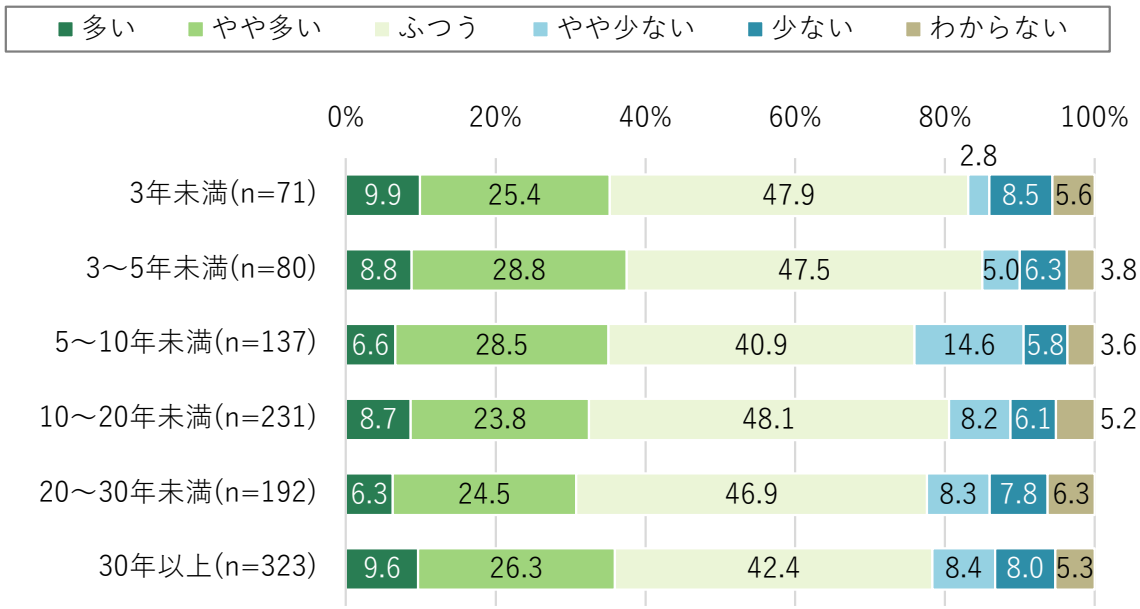
【居住地別】

- 水元地区において「多い」「やや多い」の合計が全体の集計結果より高く、「少ない」「やや少ない」の合計が全体の集計結果より低い。
- 奥戸・新小岩地区において「多い」「やや多い」の合計が全体の集計結果より低い。



【在住歴別】

- 3 年未満において「やや少ない」が全体の集計結果よりやや低い。
- 5～10 年未満において「やや少ない」が全体の集計結果よりやや高い。

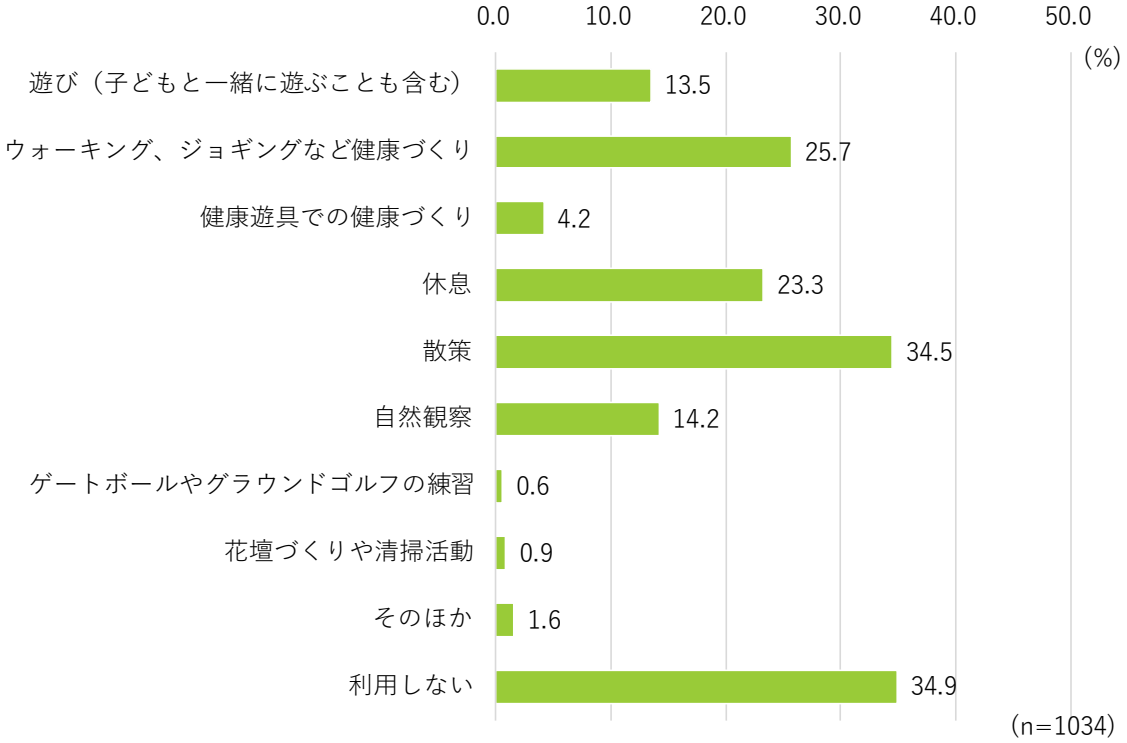


（2）公園の利用状況

①公園の利用方法

Q　あなたは普段、葛飾区内の公園をどのように利用していますか。（いくつでも）

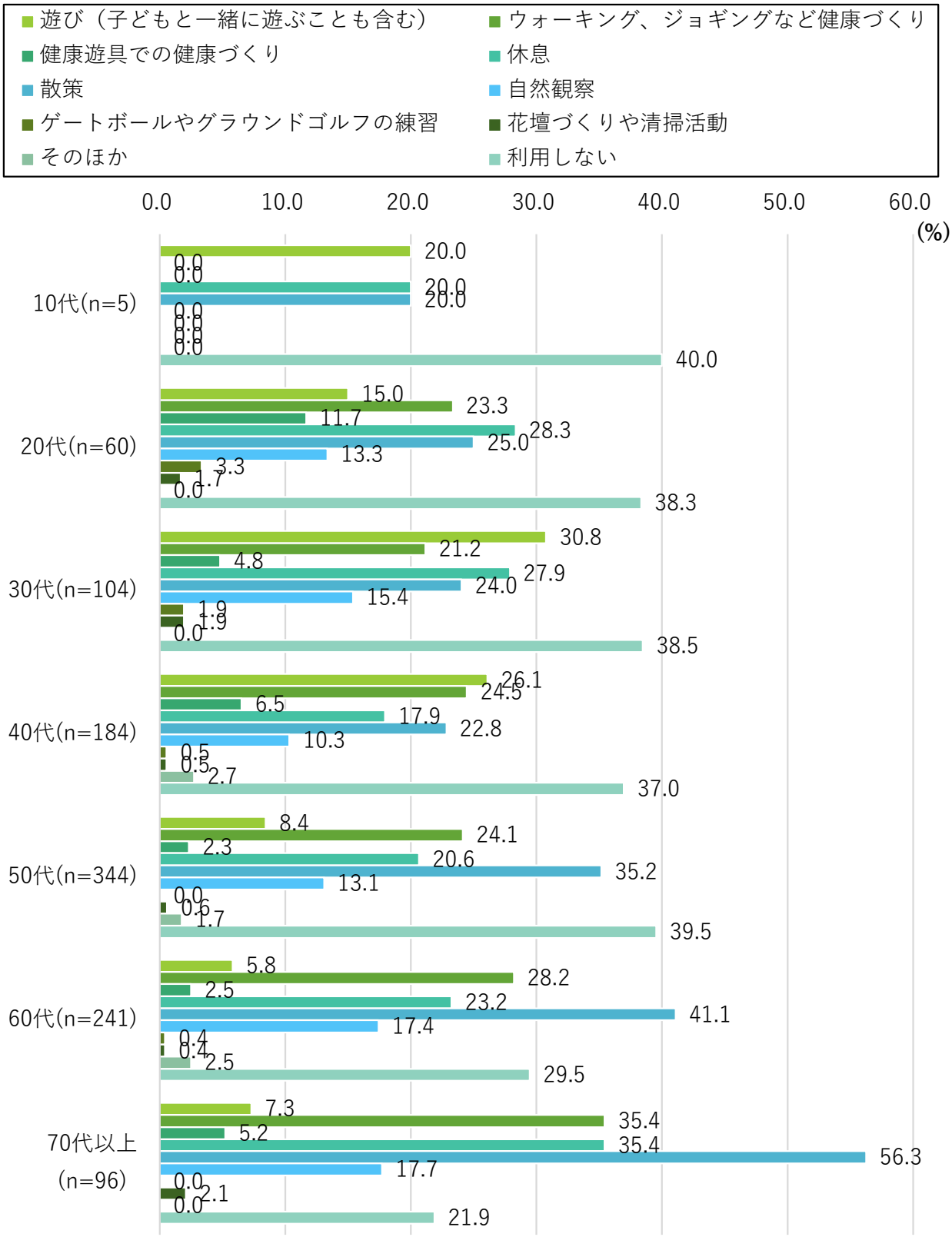
- 「利用しない」（34.9%）が最も多く、次いで「散策」（34.5%）、「ウォーキング、ジョギングなど健康づくり」（25.7%）、「休息」（23.3%）となっている。



「そのほか」の回答
- 犬の散歩（４件）
- 桜の観賞
- 鉄棒で懸垂
- ピクニック
- 町内イベント
- 訓練
- 公園の利用方法に問題
- 散歩
- 花見や紅葉
- 孫と遊ぶ
- トイレ
- フードフェスタ等のイベントに行く
- 釣り

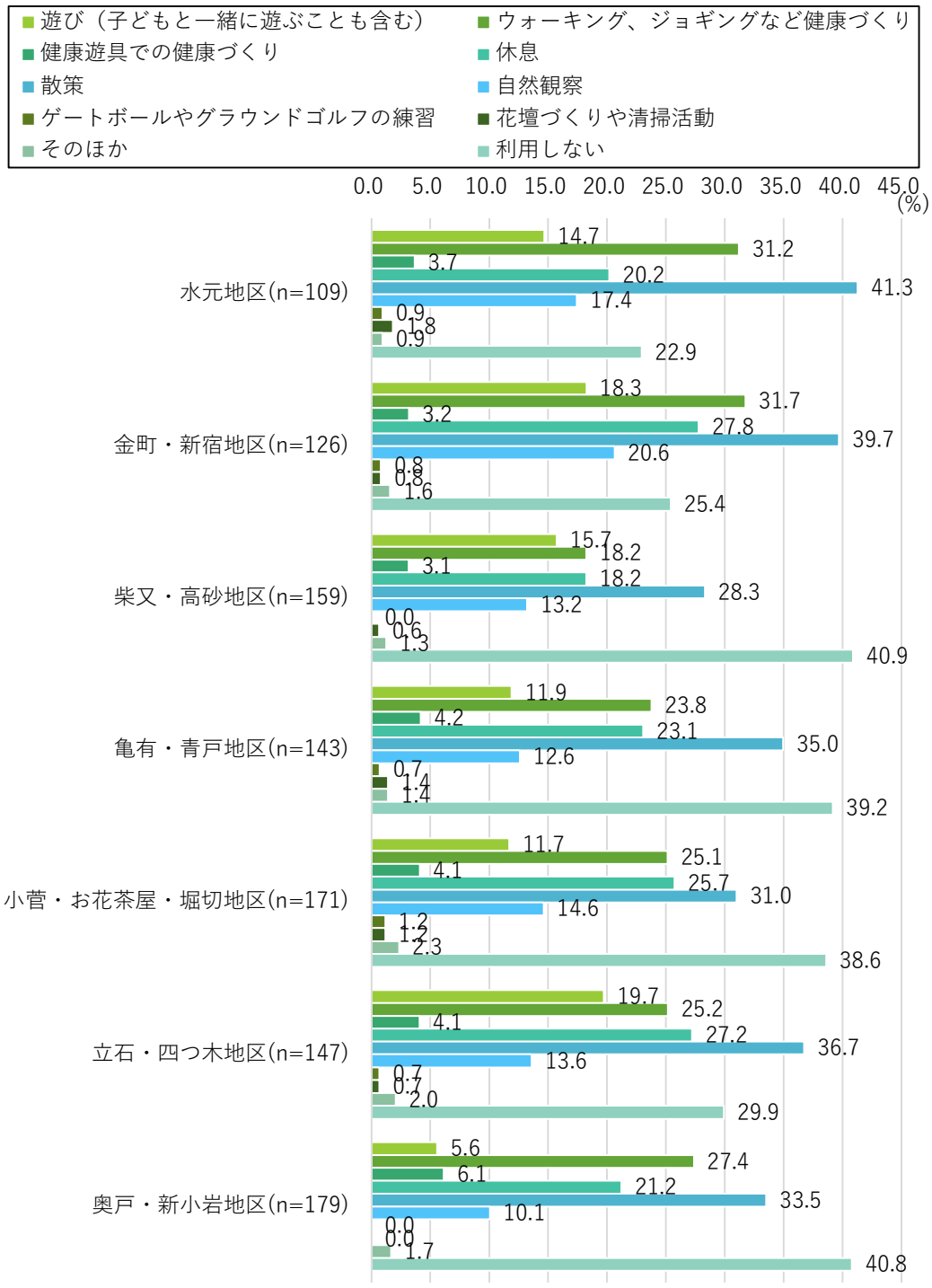
【年齢別】

- 30 代、40 代において「遊び（子どもと一緒に遊ぶことも含む)」が全体の集計結果より高く、「散策」が低い。
- 70 代以上において「休息」「散策」が全体の集計結果より高く、「利用しない」が低い。



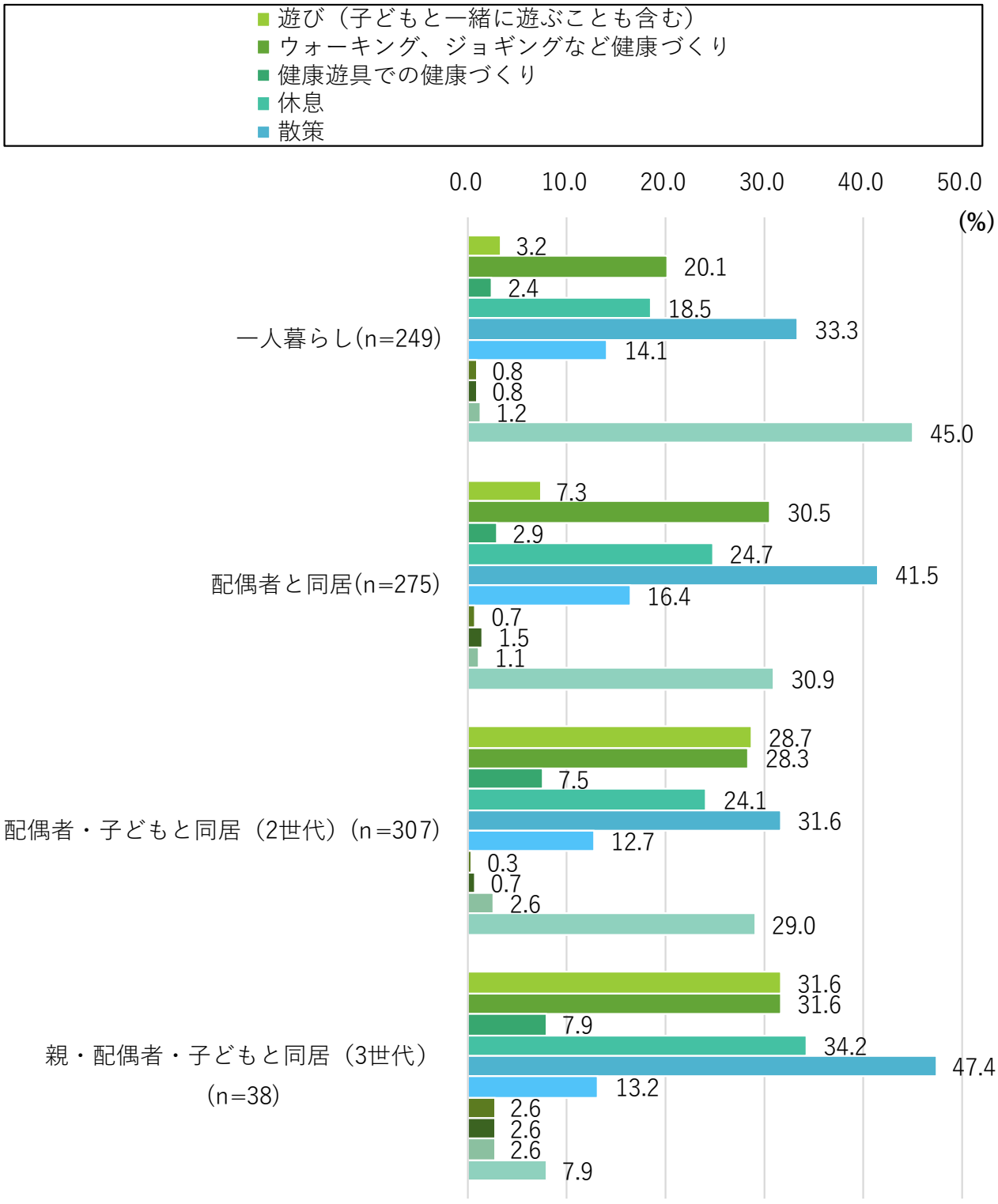
【居住地別】

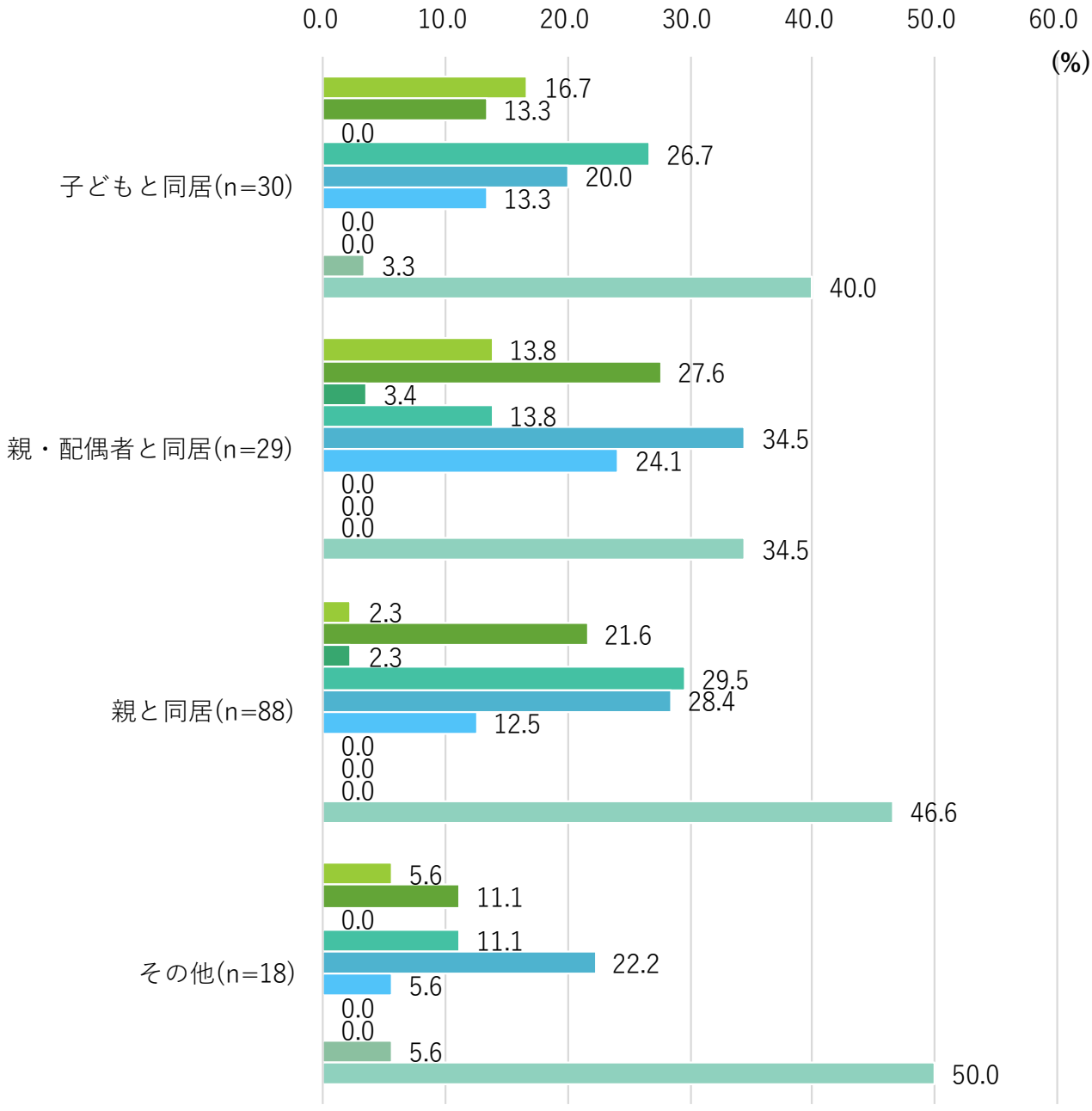
- 水元地区において「利用しない」が全体の集計結果より低い。また「ウォーキング、ジョギングなど健康づくり」「散策」がやや高い。
- 金町・新宿地区において「ウォーキング、ジョギングなど健康づくり」「散策」「自然観察」が全体の集計結果よりやや高く、「利用しない」がやや低い。
- 柴又・高砂地区については「利用しない」が全体の集計結果よりやや高く、「ウォーキング、ジョギングなど健康づくり」「休息」「散策」がやや低い。
- 立石・四つ木地区において「遊び（子どもと一緒に遊ぶことも含む）」が全体の集計結果よりやや高い。
- 奥戸・新小岩地区において「利用しない」が全体の集計結果よりやや高く、「遊び（子どもと一緒に遊ぶことも含む）」がやや低い。



【世帯構成別】

- 一人暮らし、親と同居において「利用しない」が全体の集計結果より高い。また「遊び（子どもと一緒に遊ぶことも含む）」が低い。
- 配偶者と同居において「散策」が全体の集計結果よりやや高く、「遊び（子どもと一緒に遊ぶことも含む）」がやや低い。
- 配偶者・子どもと同居（2 世代）においては「遊び（子どもと一緒に遊ぶことも含む）」「休息」「散策」が全体の集計結果より高く、「利用しない」が低い。

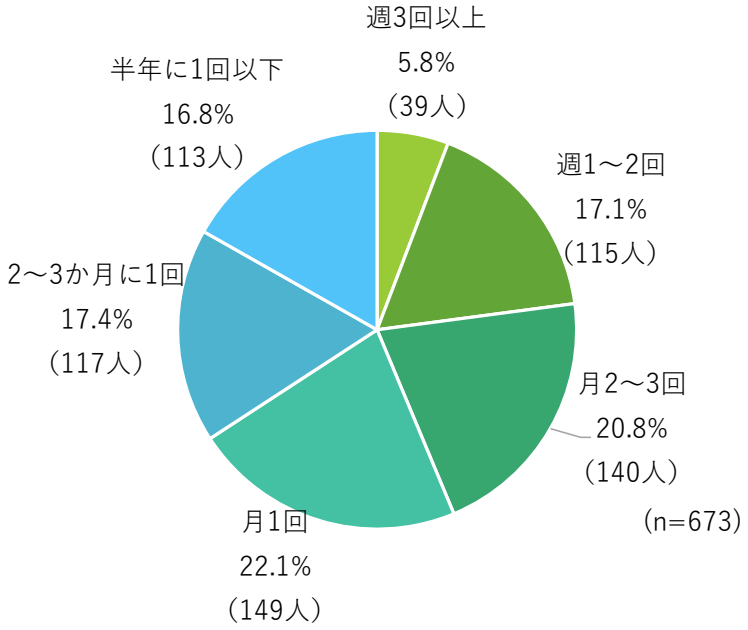



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
(%)
子どもと同居(n=30)
16.7
13.3
0.0
26.7
20.0
13.3
0.0
0.0
3.3
40.0
親・配偶者と同居(n=29)
13.8
27.6
3.4
13.8
34.5
24.1
0.0
0.0
0.0
34.5
親と同居(n=88)
2.3
21.6
2.3
29.5
28.4
12.5
0.0
0.0
0.0
46.6
その他(n=18)
5.6
11.1
0.0
11.1
22.2
5.6
0.0
0.0
5.6
50.0

②公園の利用頻度

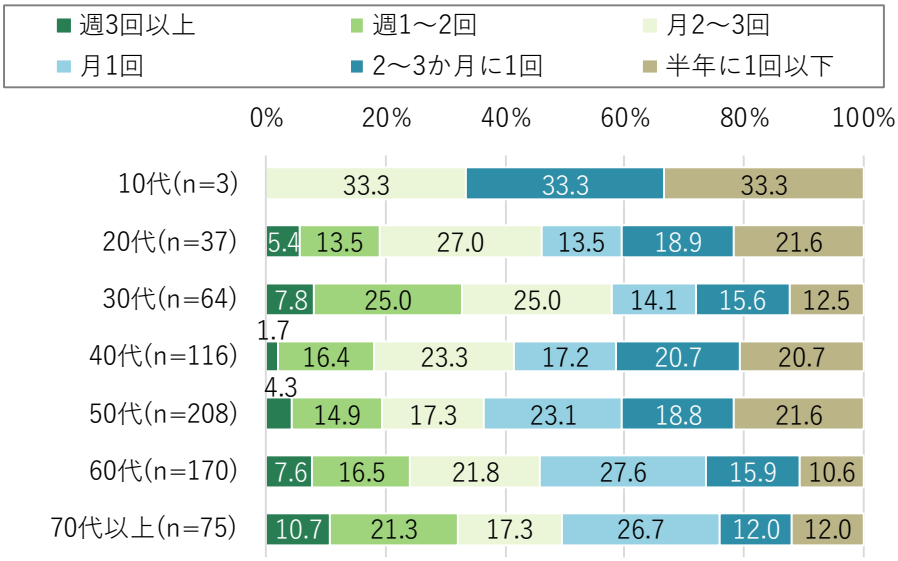
Q　葛飾区内の公園の利用頻度を教えてください。

- 「月１回」（22.1%）、「月２～３回」（20.8%）がやや多く、次いで「２～３か月に１回」（17.4%）、「週１～２回」（17.1%）、「半年に１回以下」（16.8%）となっている。



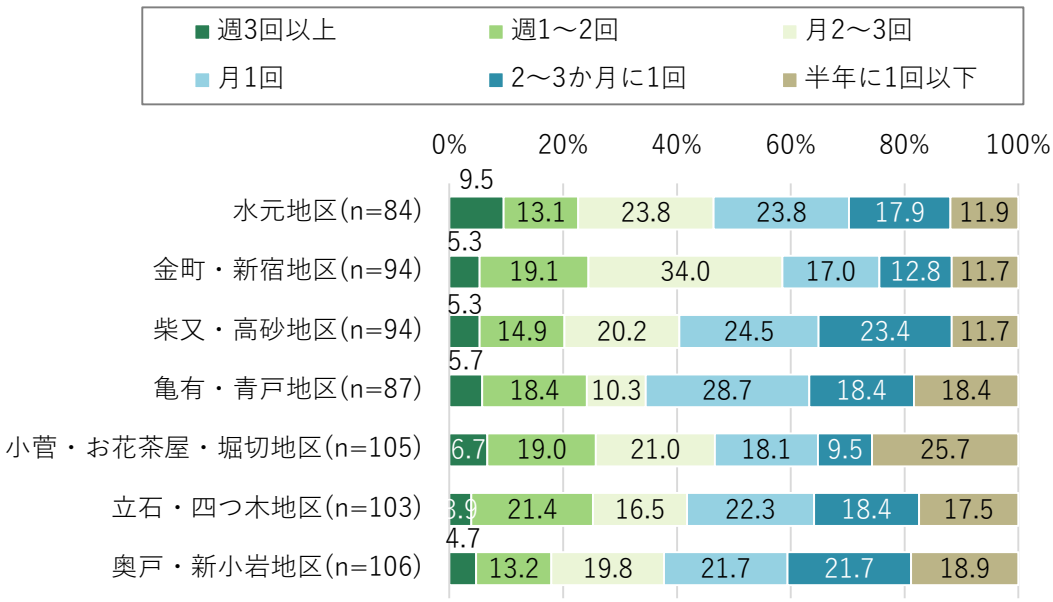
【年齢別】

- 30 代において「週１～２回」が全体の集計結果よりやや高く、「月１回」がやや低い。
- 60 代において「月１回」が全体の集計結果よりやや高く、「半年に１回以下」がやや低い。
- 70 代以上において「２～３か月に１回」が全体の集計結果よりやや低い。
- 「週１回以上」（「週３回以上」と「週１～２回」の合計）に着目すると、30 代、70 代以上が全体の集計結果よりやや高い。



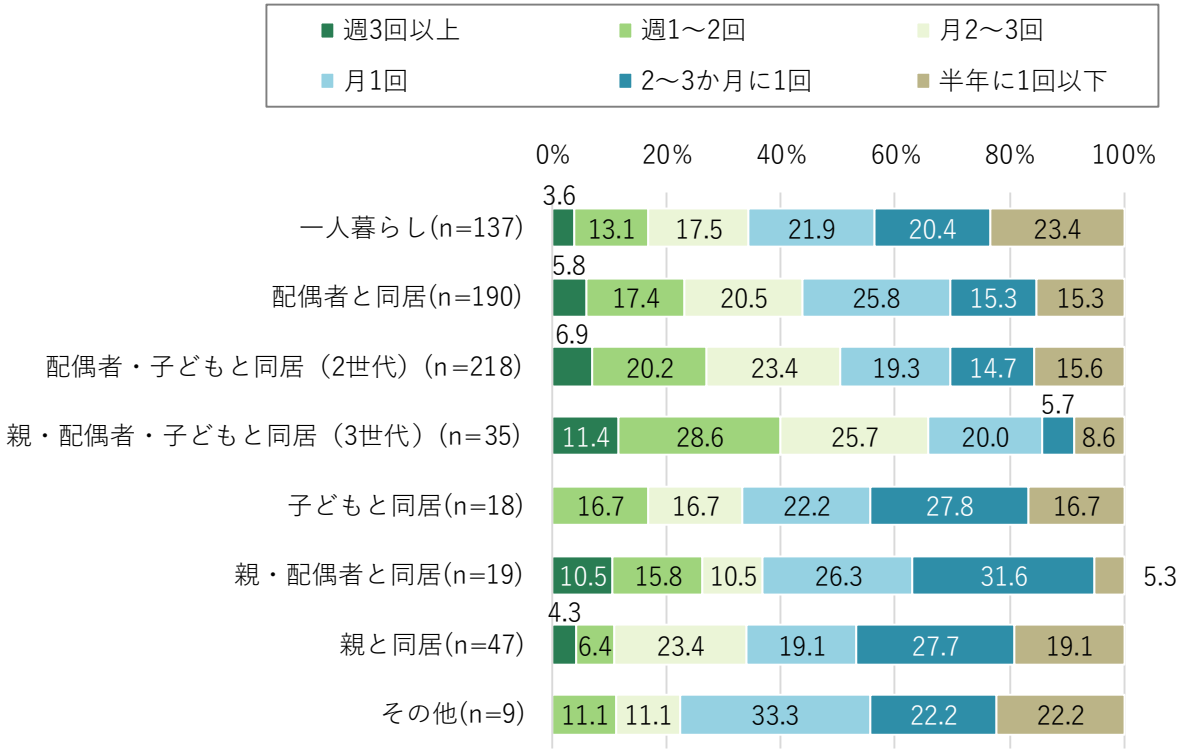
【居住地別】

- 金町・新宿地区において「月２～３回」が全体の集計結果より高い。
- 亀有・青戸地区において「月２～３回」が全体の集計結果より低い。



【世帯構成別】

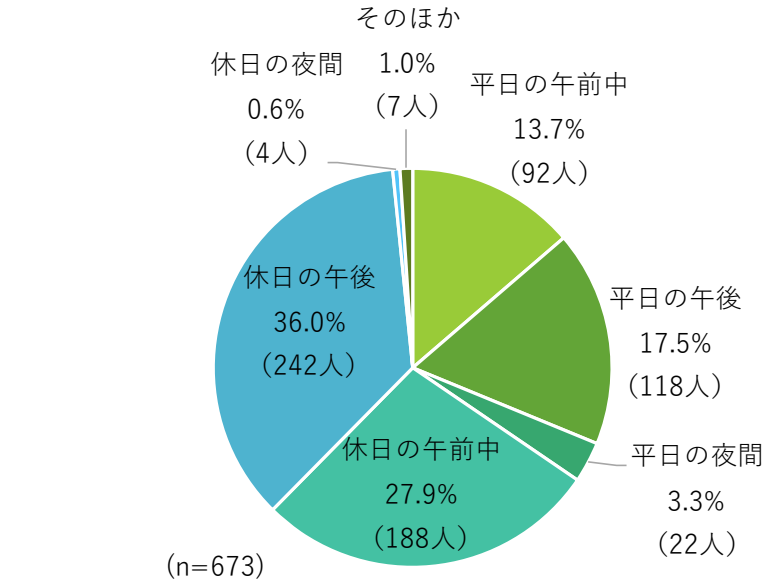
- 親・配偶者・子どもと同居（３世代）において「週１～２回」が全体の集計結果より高く、「２～３か月に１回」が低い。（母数が少ないため参考値）



③最も多く利用する時間帯

Q　葛飾区内の公園を最も多く利用する時間帯を教えてください。

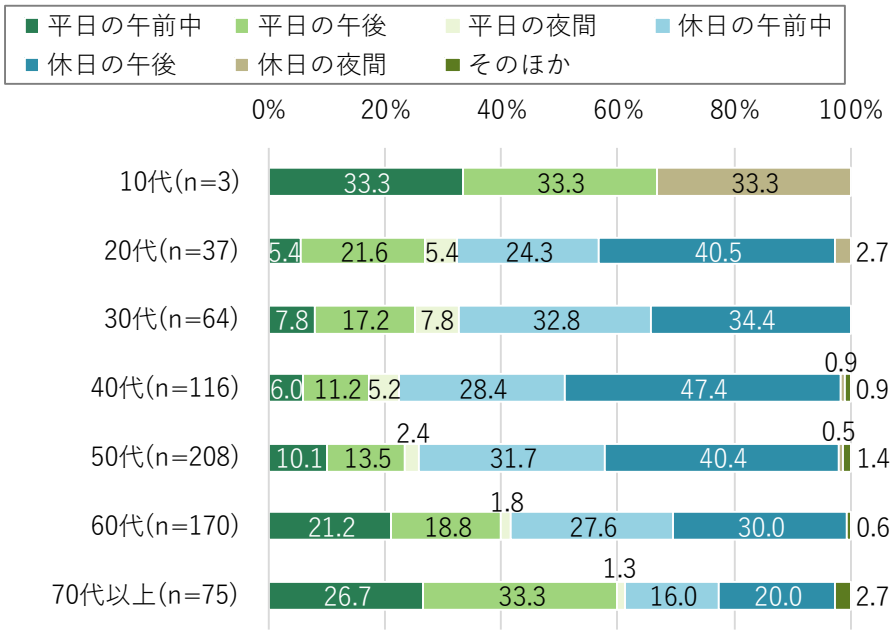
- 「休日の午後」（36.0%）が最も多く、次いで「休日の午前中」（27.9%）となっている。



「そのほか」の回答
- ・利用しない（３件）
- ・決まってない（２件）
- ・不定期
- ・フードフェスタ等のイベント時間

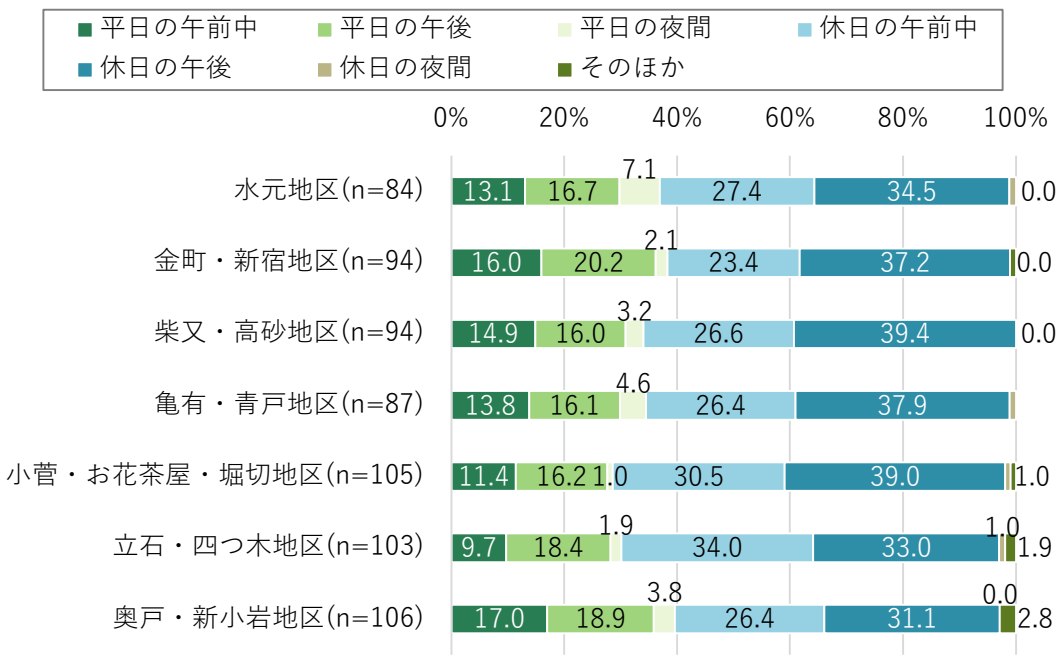
【年齢別】

- 20 代～60 代は休日（「休日の午前中」「休日の午後」「休日の夜間」の合計）の利用が多く、70 代以上は平日（「平日の午前中」「平日の午後」「平日の夜間」の合計）の利用が多い。



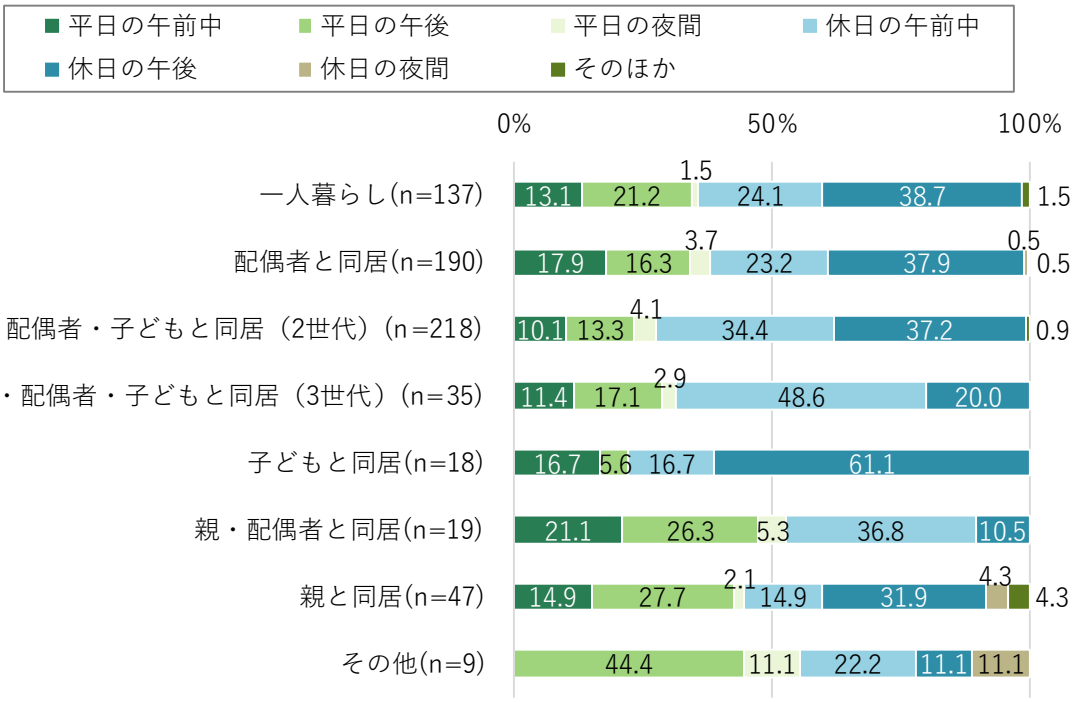
【居住地別】

- 立石・四つ木地区において「休日の午前中」が全体の集計結果よりやや高い。



【世帯構成別】

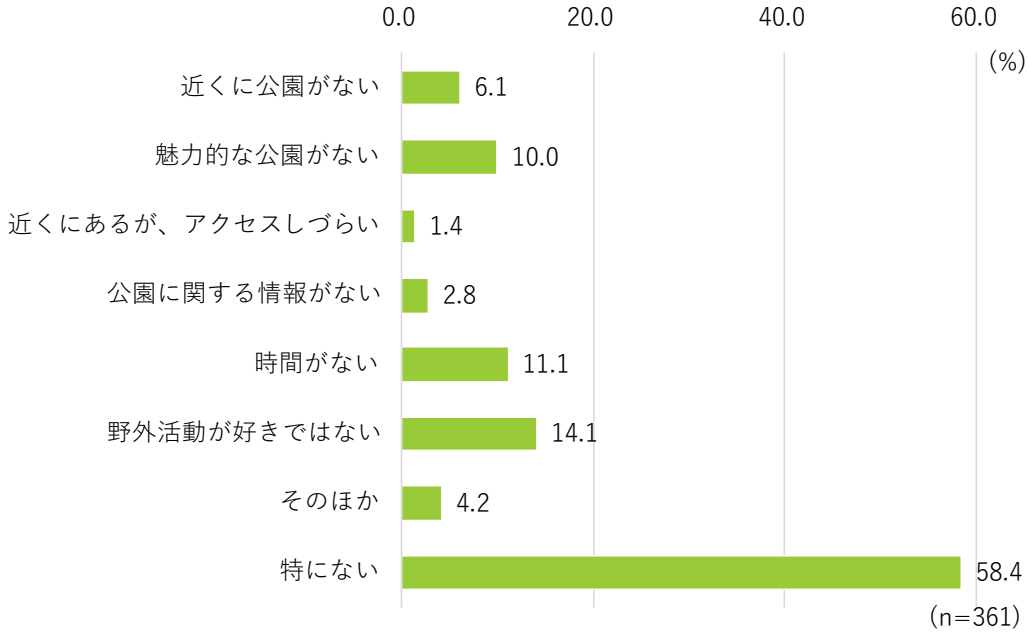
- 親・配偶者・子どもと同居（3 世代）において「休日の午前中」が全体の集計結果よりやや高い。また、親と同居において「平日の午後」が全体の集計結果より高く、「休日の午後」が低い。（いずれも母数が少ないため参考値）



④公園を利用しない理由

Q　あなたが普段、葛飾区内の公園を利用しない理由を教えてください。（いくつでも）

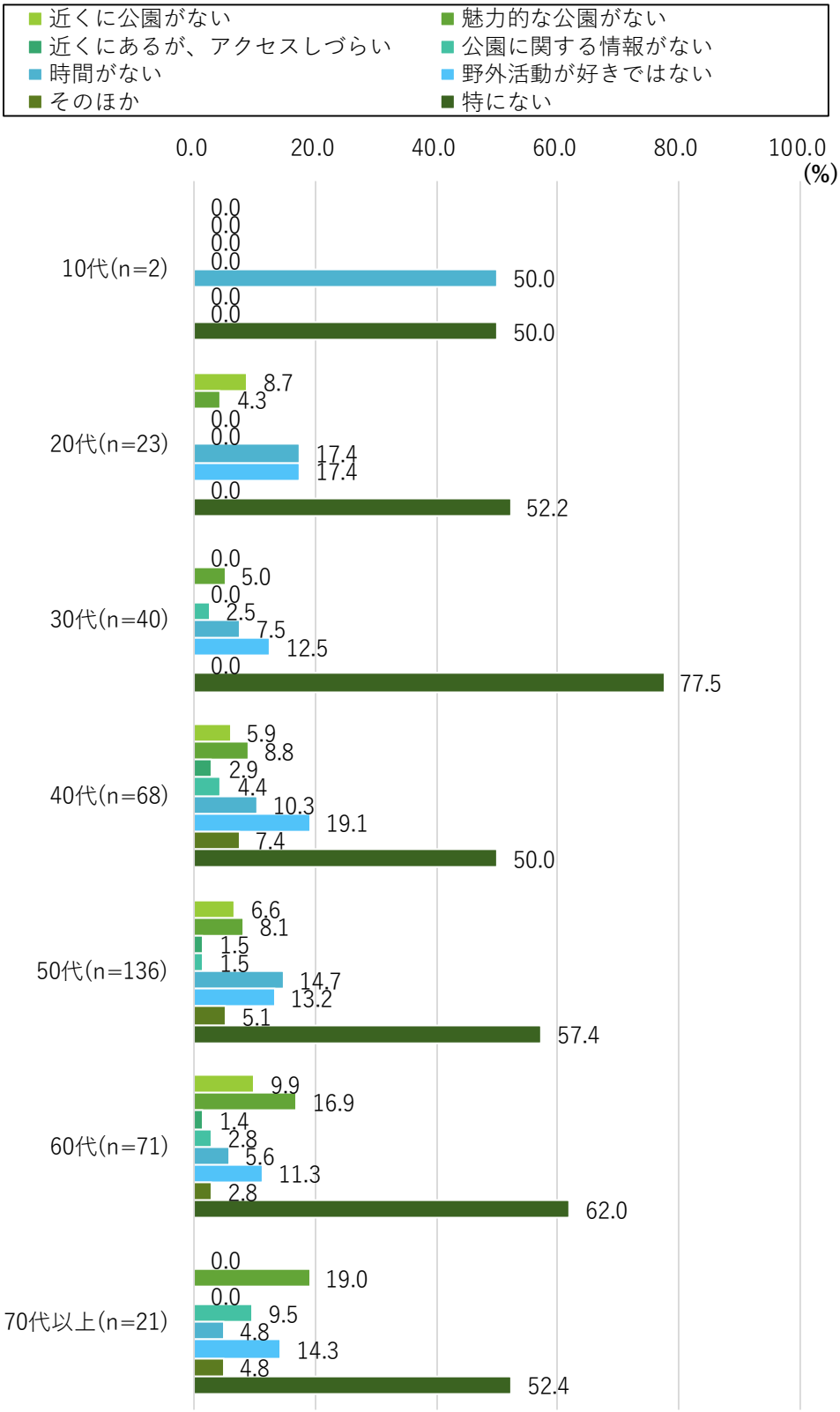
- 「特にない」（58.4%）が最も多く、次いで「野外活動が好きではない」（14.1%）、「時間がない」（11.1%）、「魅力的な公園がない」（10.0%）となっている。



「そのほか」の回答
- 子どもがボール遊びをしている
- 子供の為のものだから
- 子供が小さくまだ歩けないので、利用する機会がない
- 子育てを終えて行く機会がなくなった
- 一人だと色々気を使って利用しないようにしている
- 距離が有りすぎて行く機会がない
- 近くに大きな公園がない
- 水元公園以外は、する事がない公園ばかりだから
- 足立区と違い、公園に犬を連れていけない
- 脚か不自由
- 利用するのにちょうどよい気候の日が少なく、スケジュールと合わない
- 忙しい
- 変質者や宗教の勧誘する集まりに使われるから。
- 虫が苦手な上に犬も苦手でたくさんいるので
- 一人で行くと不審者に見られそうだから

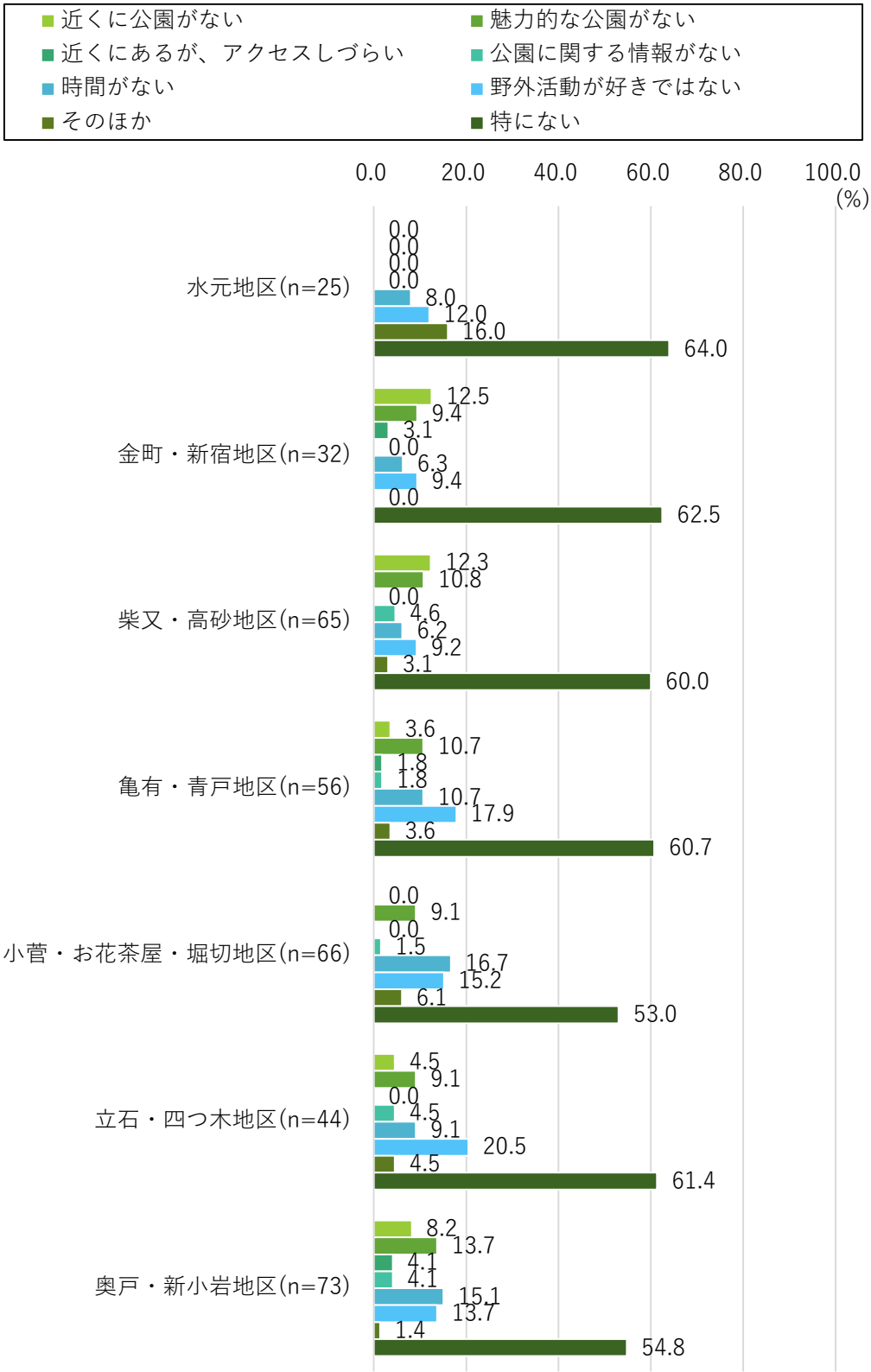
【年齢別】

- 30 代において「特にない」が全体の集計結果より高い。(母数が少ないため参考値)
- 40 代において「特にない」が全体の集計結果よりやや低い。
- 60 代において「魅力的な公園がない」が全体の集計結果よりやや高く、「時間がない」がやや低い。



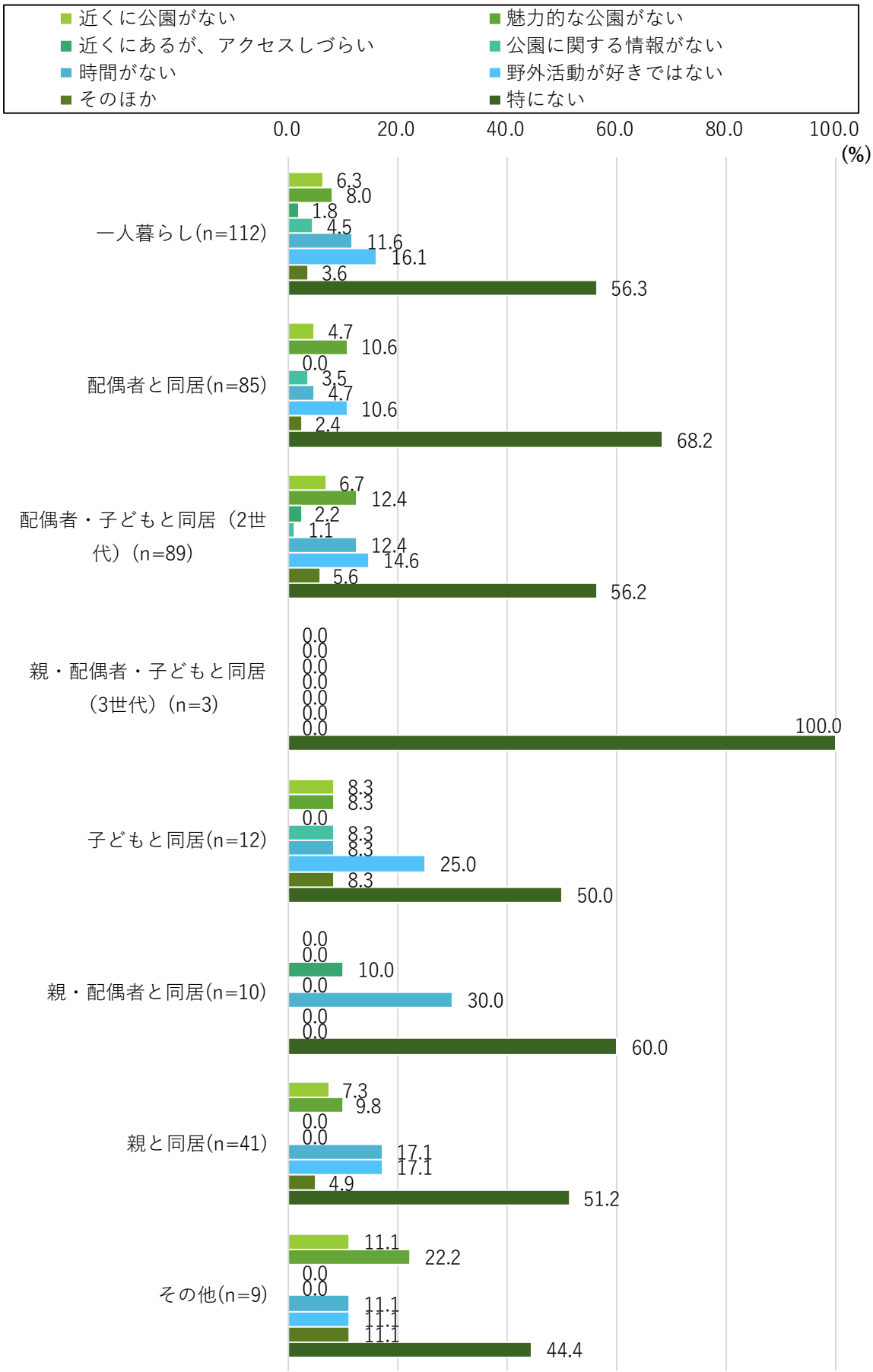
【居住地別】

- 金町・新宿地区、柴又・高砂地区において「近くに公園がない」が全体の集計結果よりやや高い。（金町・新宿地区は母数が少ないため参考値）
- 小菅地区において「時間がない」が全体の集計結果よりやや高く、「特にない」がやや低い。
- 立石・四つ木地区において「野外活動が好きではない」が全体の集計結果よりやや高い。



【世帯構成別】

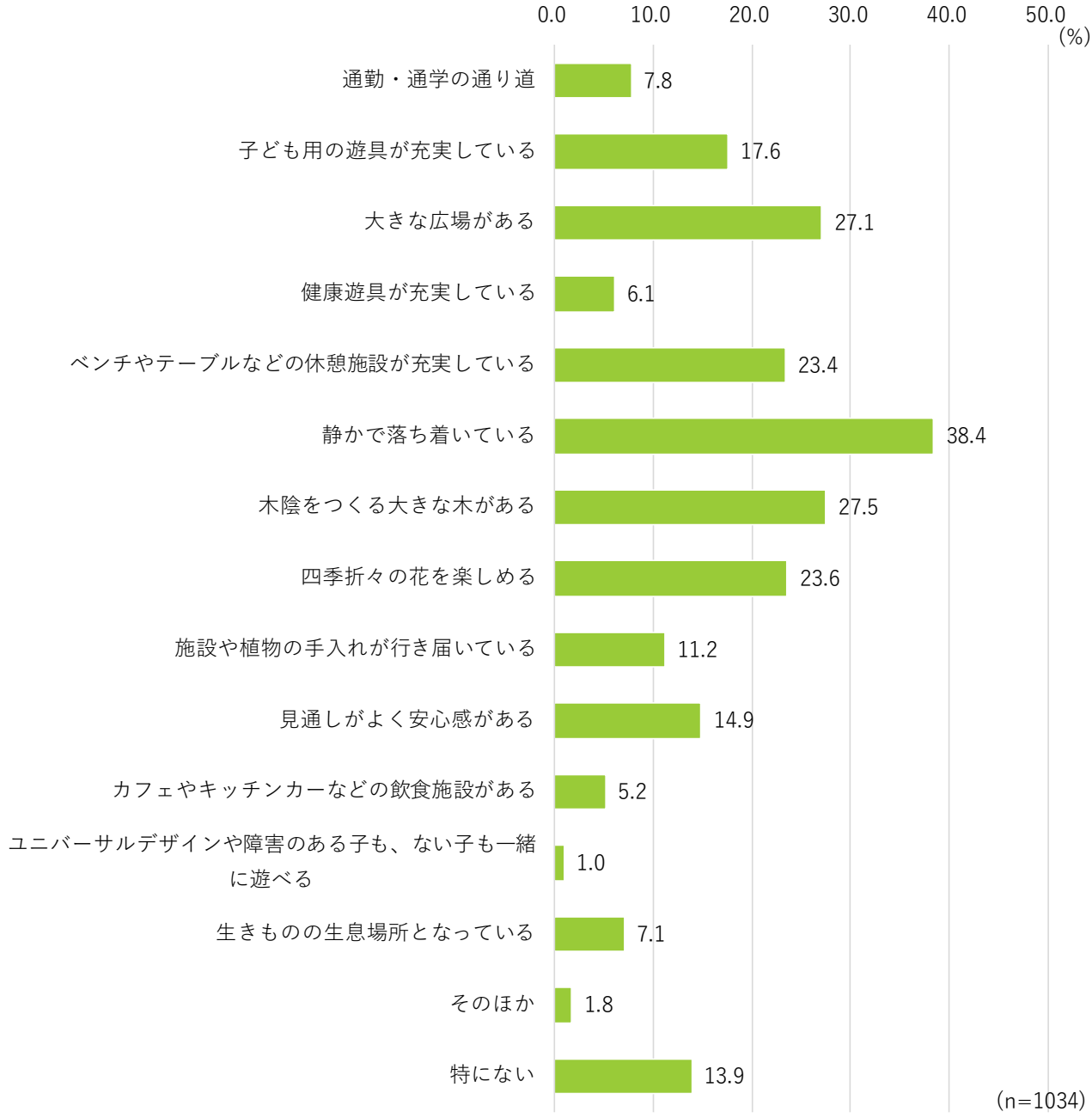
- 配偶者と同居において「特にない」が全体の集計結果よりやや高く、「時間がない」がやや低い。



（3）身近な公園に望むこと

Q　あなたにとって身近な公園は、どのような公園であることが望ましいですか。(3 つまで)

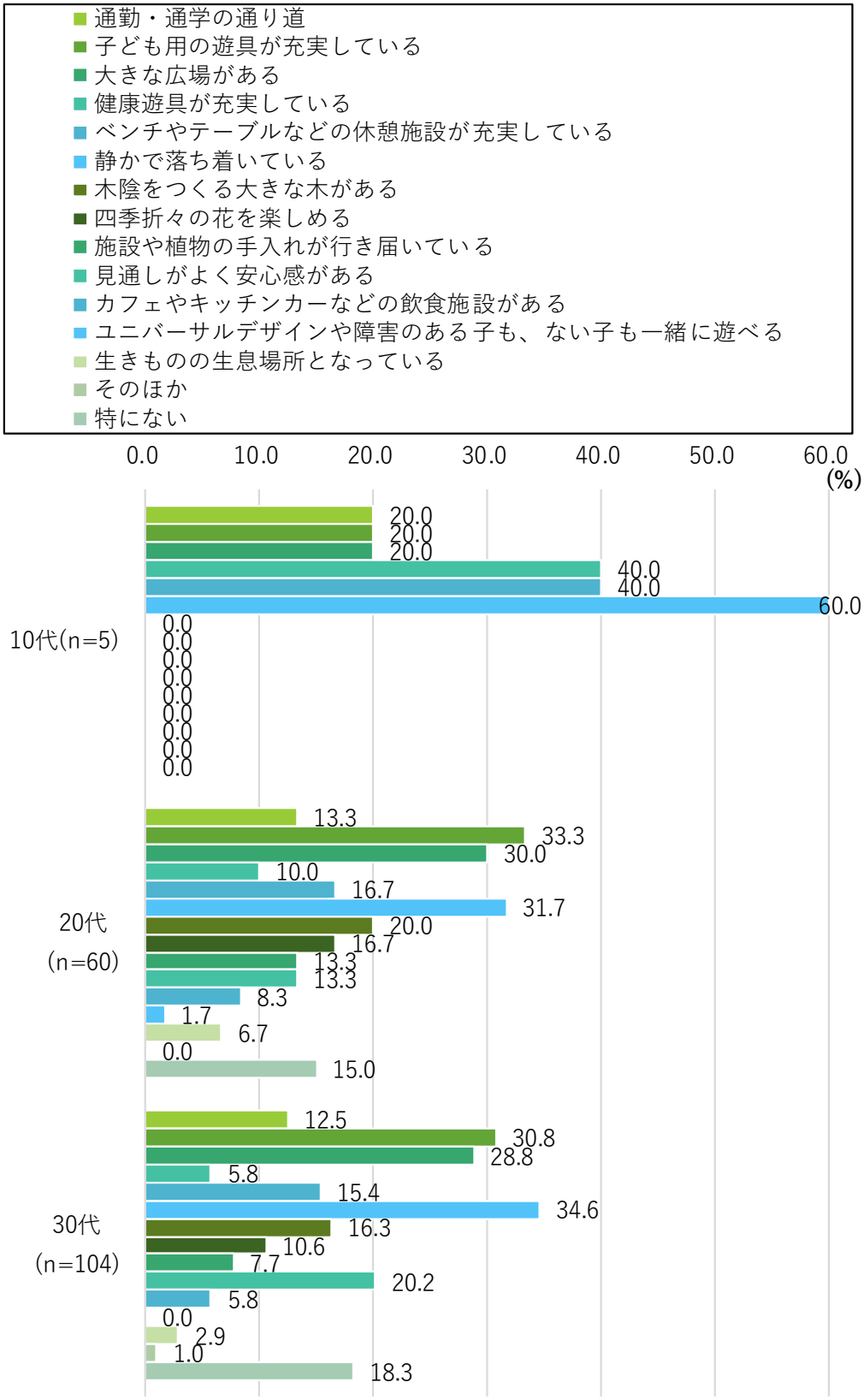
- 「静かで落ち着いていること」(38.4%) が最も多く、次いで「木陰をつくる大きな木がある」(27.5%)、「大きな広場がある」(27.1%) となっている。

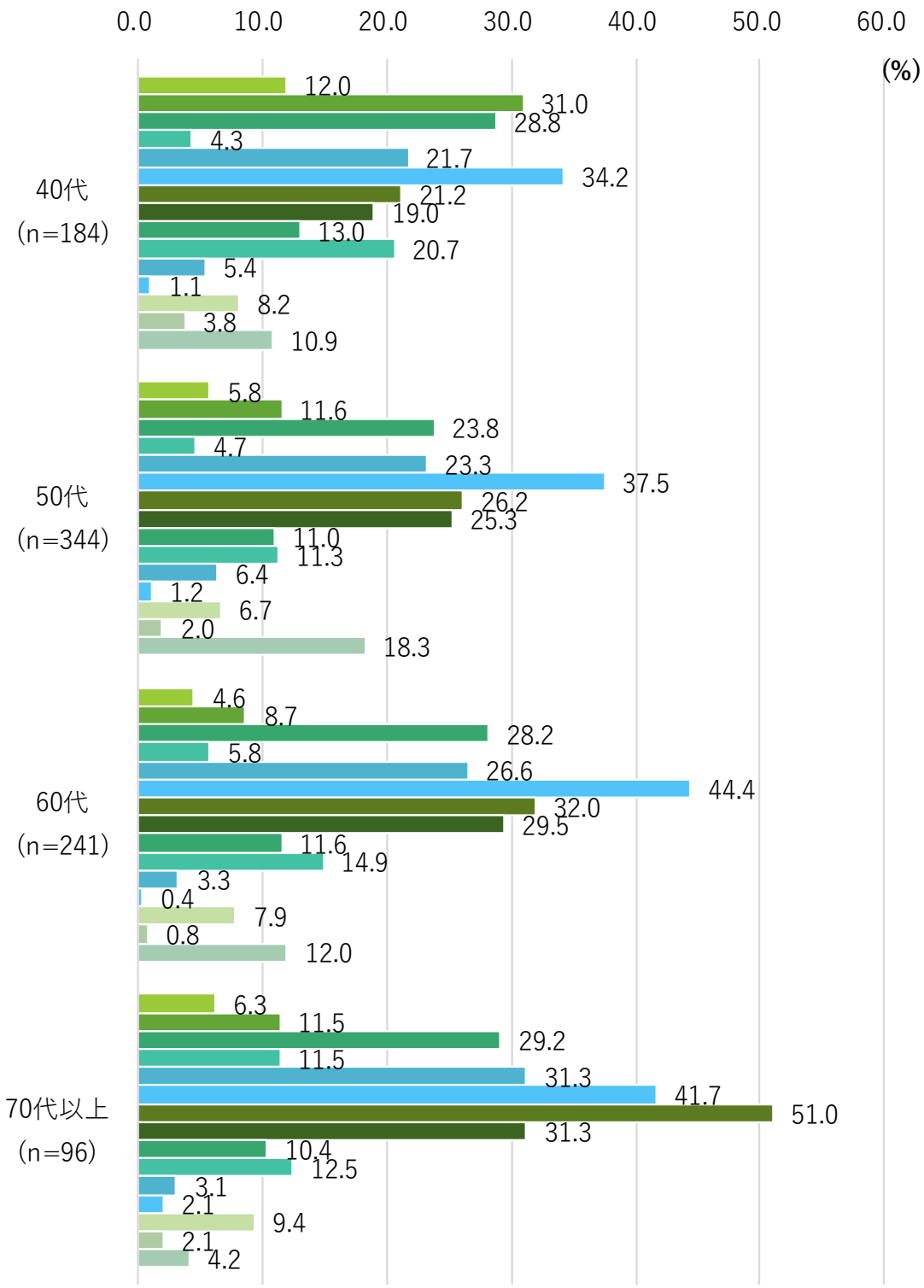


「そのほか」の回答
- キレイなトイレがある
- トイレが整っている・
- 公衆トイレがあること
- 綺麗であること
- 舎人公園の焼物市みたいなイベント
- 活気がある
- 子供が自由に使える場所
- 子供が好き勝手に遊べる公園。注意看板が多すぎるので
- 芝生が多く、寝転がれる公園
- ボール遊びができる
- 犬と遊べる公園
- 災害時の避難所や待機場所、炊き出しなどできる場所
- 子供が性犯罪に巻き込まれない場
- 自転車やキックボードが走らない
- ここに出てきた全部が望ましい
- 人がいない
- ヘタにテーブルや椅子や屋根がなくて、夜のたまり場にならない

【年齢別】

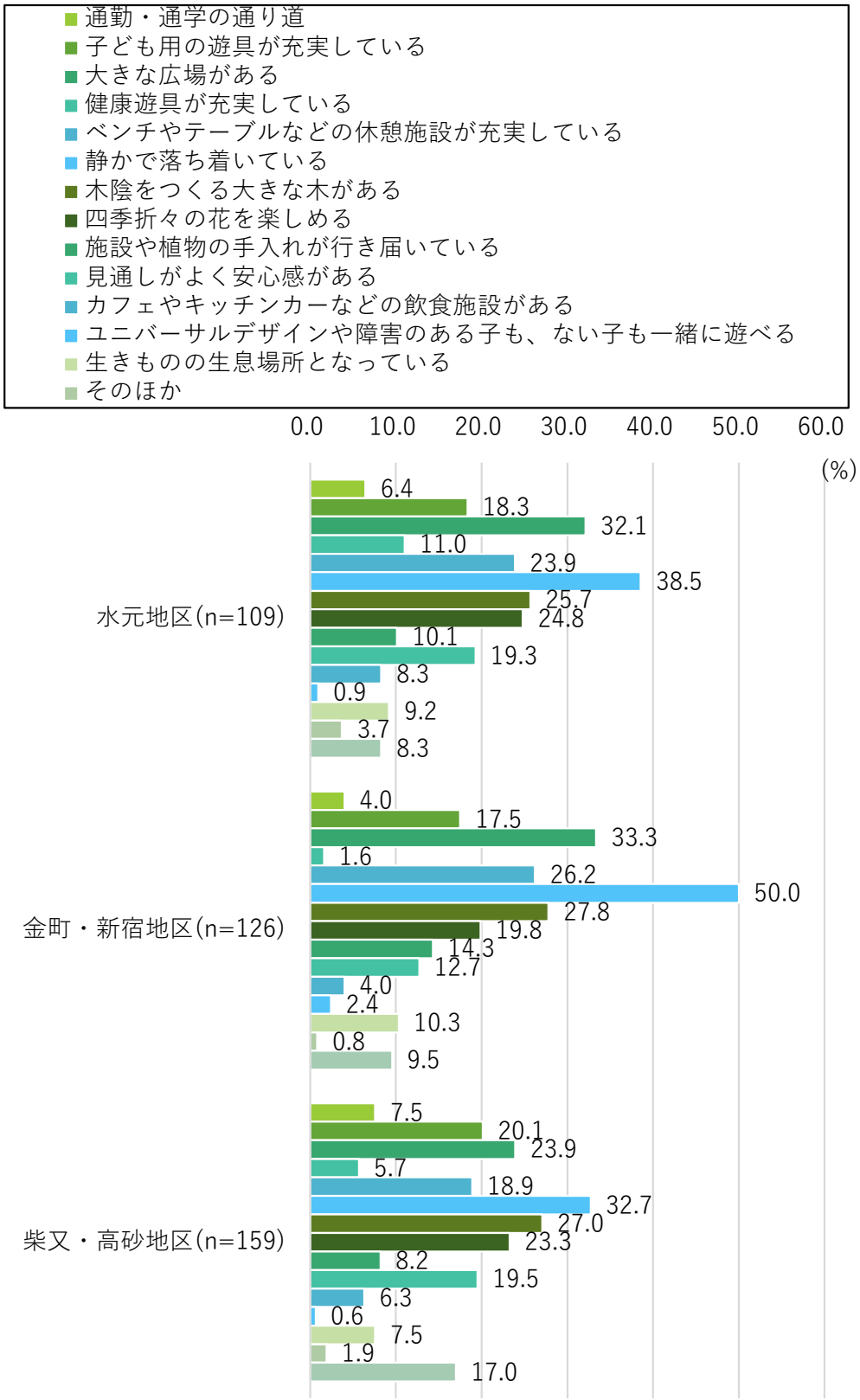
- 20 代、30 代、40 代において「子ども用の遊具が充実している」が全体の集計結果より高い。
- 30 代については「木陰をつくる大きな木がある」「四季折々の花を楽しめる」が全体の集計結果より低い。
- 70 代以上において「木陰をつくる大きな木がある」が全体の集計結果より高い。

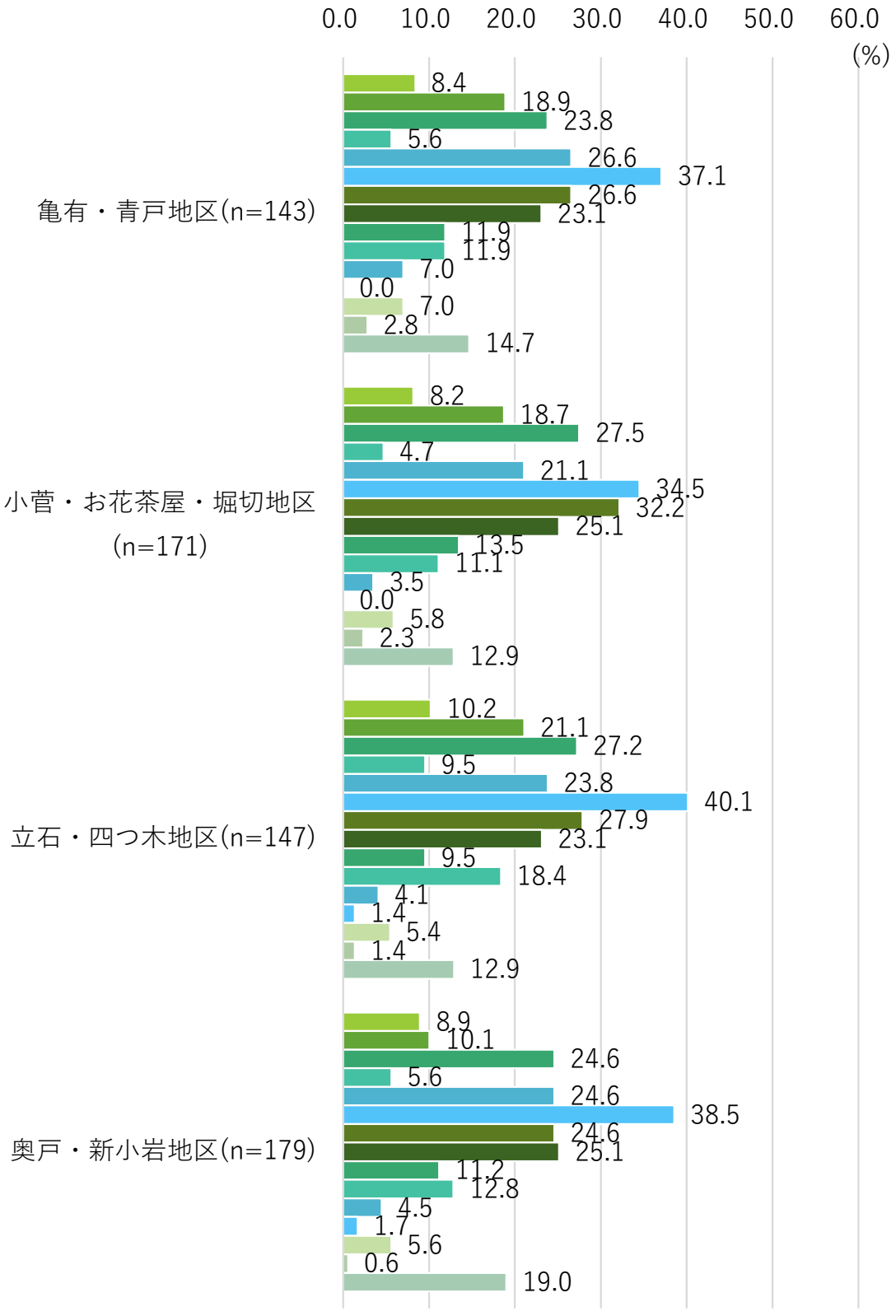



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
(%)
40代
(n=184)
12.0
31.0
28.8
4.3
21.7
34.2
21.2
19.0
13.0
20.7
5.4
1.1
8.2
3.8
10.9
50代
(n=344)
5.8
11.6
23.8
4.7
23.3
37.5
26.2
25.3
11.0
11.3
6.4
1.2
6.7
2.0
18.3
60代
(n=241)
4.6
8.7
28.2
5.8
26.6
44.4
32.0
29.5
11.6
14.9
3.3
0.4
7.9
0.8
12.0
70代以上
(n=96)
6.3
11.5
29.2
11.5
31.3
41.7
51.0
31.3
10.4
12.5
3.1
2.1
9.4
2.1
4.2

【居住地別】

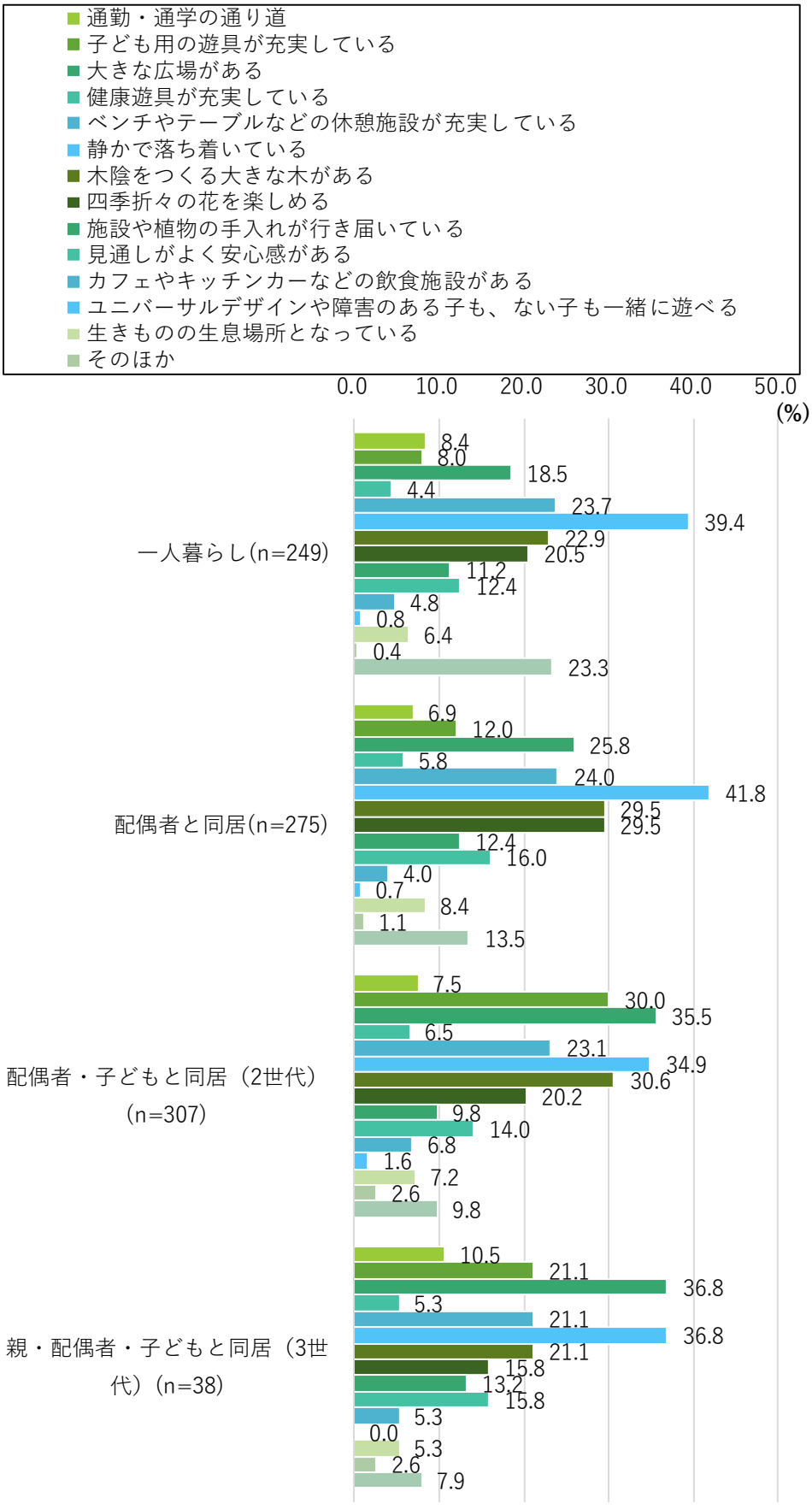
- 水元地区、金町・新宿地区において「大きな広場がある」が全体の集計結果よりやや高い。
- 金町・新宿地区においては「静かで落ち着いている」が全体の集計結果より高い。
- 柴又・高砂地区では「静かで落ち着いている」が全体の集計結果よりやや低い。
- 奥戸・新小岩地区では「子ども用の遊具が充実している」全体の集計結果よりやや低い。

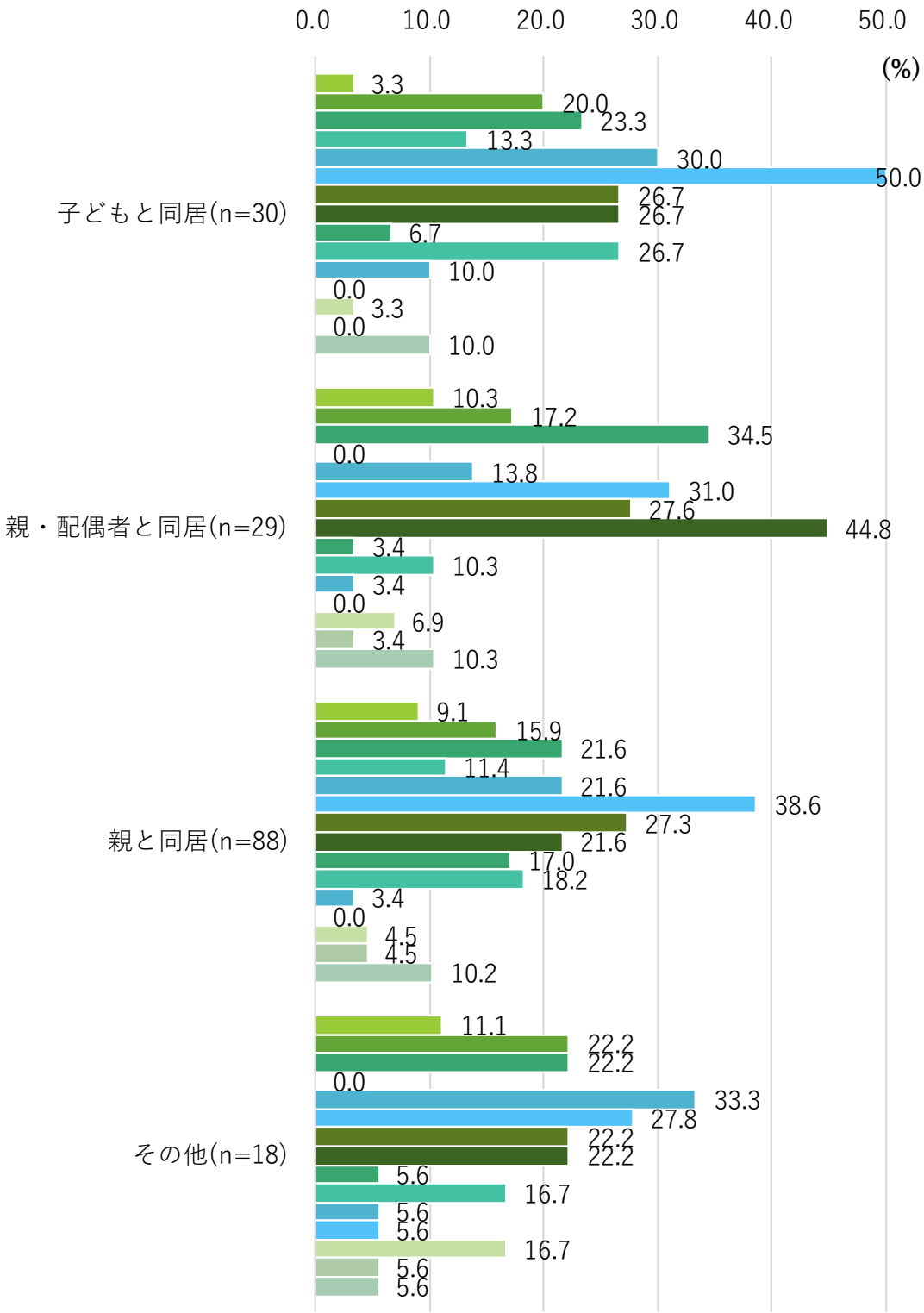



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
(%)
亀有・青戸地区(n=143)
8.4
18.9
23.8
5.6
26.6
37.1
26.6
23.1
11.9
11.9
7.0
0.0
7.0
2.8
14.7
小菅・お花茶屋・堀切地区
(n=171)
8.2
18.7
27.5
4.7
21.1
34.5
32.2
25.1
13.5
11.1
3.5
0.0
5.8
2.3
12.9
立石・四つ木地区(n=147)
10.2
21.1
27.2
9.5
23.8
40.1
27.9
23.1
9.5
18.4
4.1
1.4
5.4
1.4
12.9
奥戸・新小岩地区(n=179)
8.9
10.1
24.6
5.6
24.6
38.5
24.6
25.1
11.2
12.8
4.5
1.7
5.6
0.6
19.0

【世帯構成別】

- 配偶者・子どもと同居（2 世代）において「子ども用の遊具が充実している」が全体の集計結果より高い。



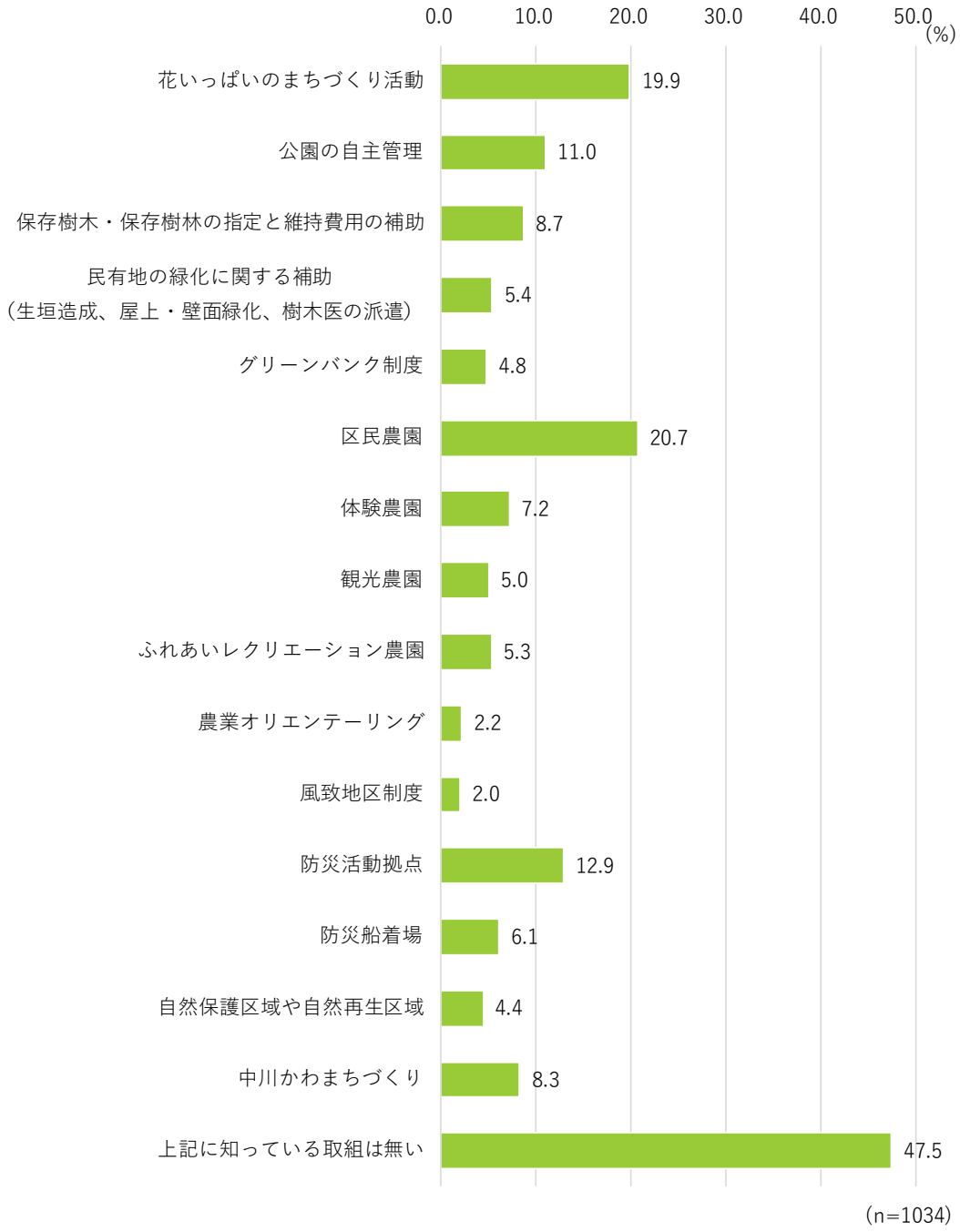

0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
(%)
子どもと同居(n=30)
3.3
20.0
23.3
13.3
30.0
50.0
26.7
26.7
6.7
26.7
10.0
0.0
3.3
0.0
10.0
親・配偶者と同居(n=29)
10.3
17.2
34.5
0.0
13.8
31.0
27.6
44.8
3.4
10.3
3.4
0.0
6.9
3.4
10.3
親と同居(n=88)
9.1
15.9
21.6
11.4
21.6
38.6
27.3
21.6
17.0
18.2
3.4
0.0
4.5
4.5
10.2
その他(n=18)
11.1
22.2
22.2
0.0
33.3
27.8
22.2
22.2
5.6
16.7
5.6
5.6
16.7
5.6
5.6

5　期待する区の施策

（1）区の施策の認知状況

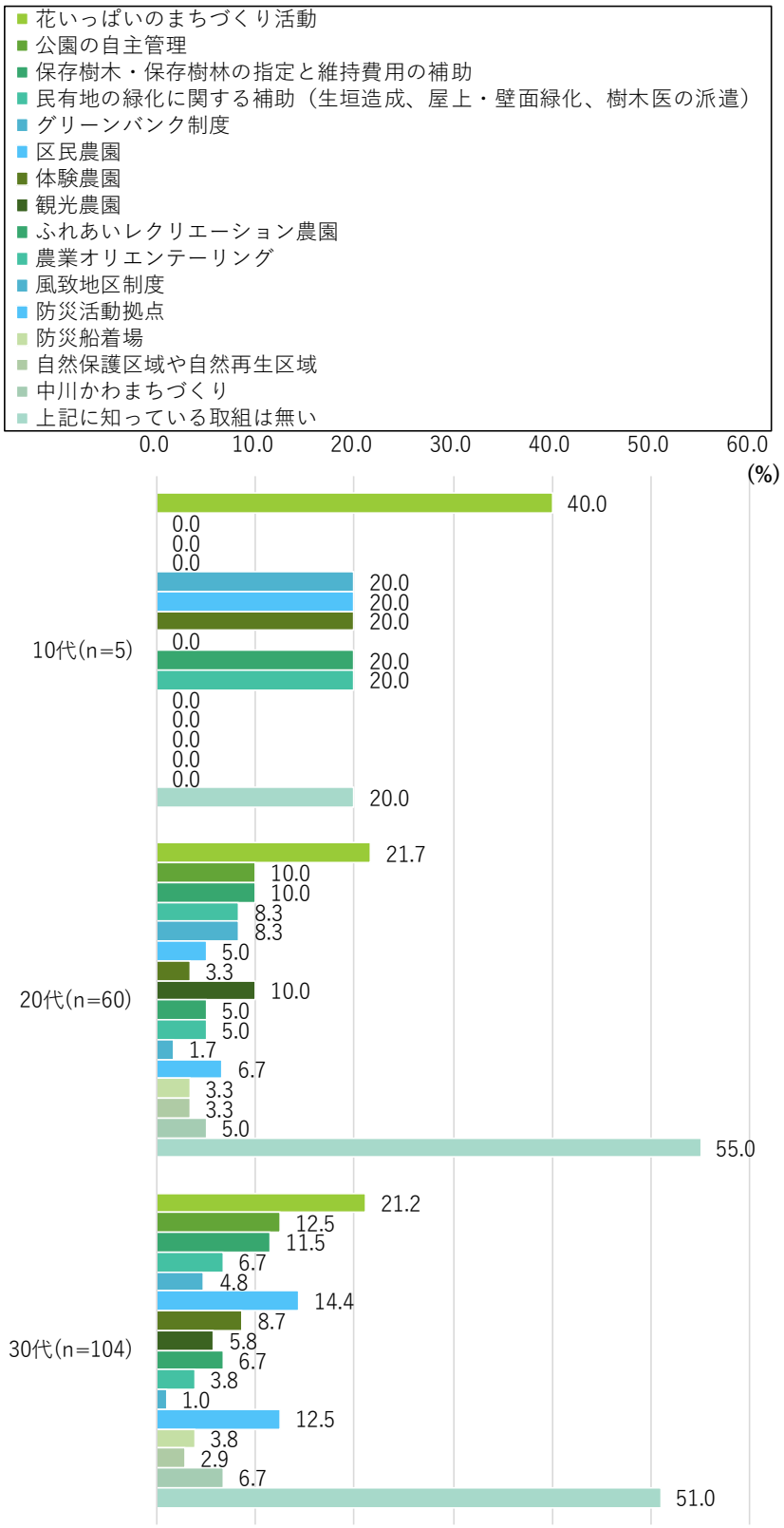
Q　あなたは、区役所が行っている水辺・緑に関する以下の取組をご存じですか。ご存じの取組を全て選んでください。（いくつでも）

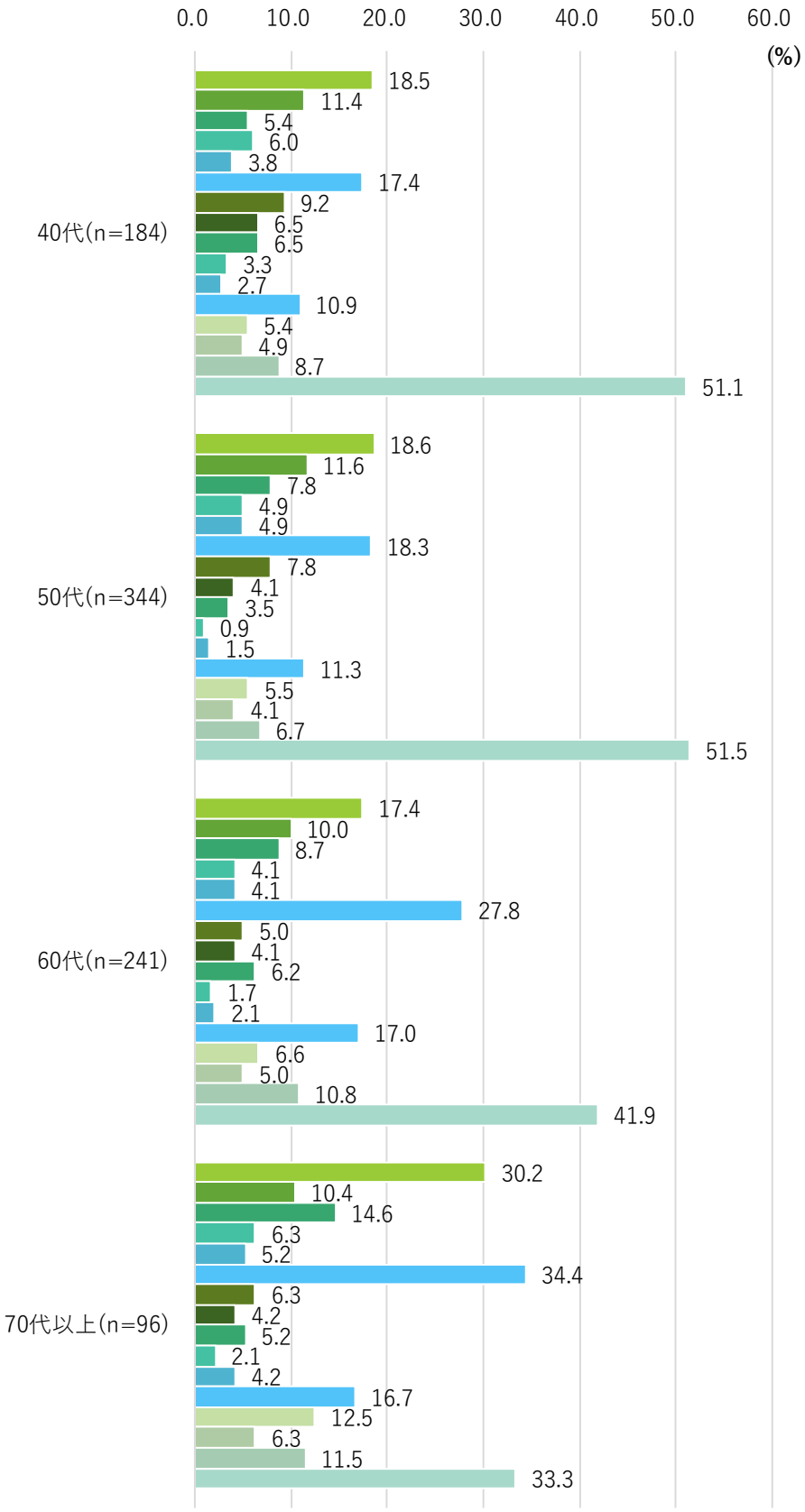
- 認知度が高い取組は、「区民農園」（20.7%）、「花いっぱいのまちづくり活動」（19.9%）である。
- 「知っている取組は無い」が 47.5%で、半数弱を占めている。



【年齢別】

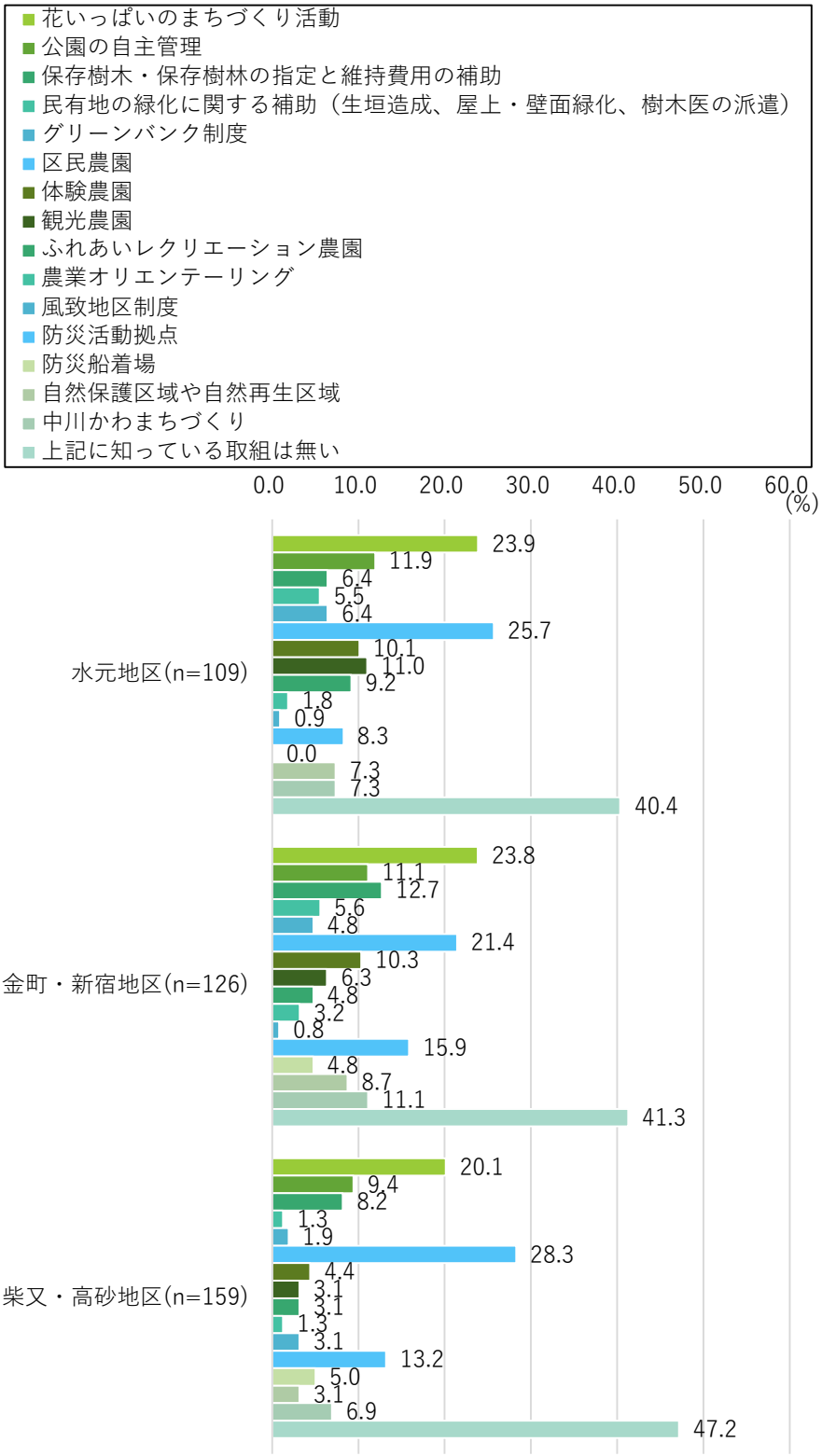
- 20 代において「区民農園」が全体の集計結果より低く、「防災活動拠点」がやや低い。また、「上記に知っている取組は無い」がやや高い。
- 「区民農園」は 40 代においてもやや低いが、60 代ではやや高い。
- 70 代以上において「花いっぱいのまちづくり活動」「区民農園」が全体の集計結果より高く、「保存樹木・保存樹林の指定と維持費用の補助」「防災船着場」がやや高い。また、「上記に知っている取組は無い」が低い。

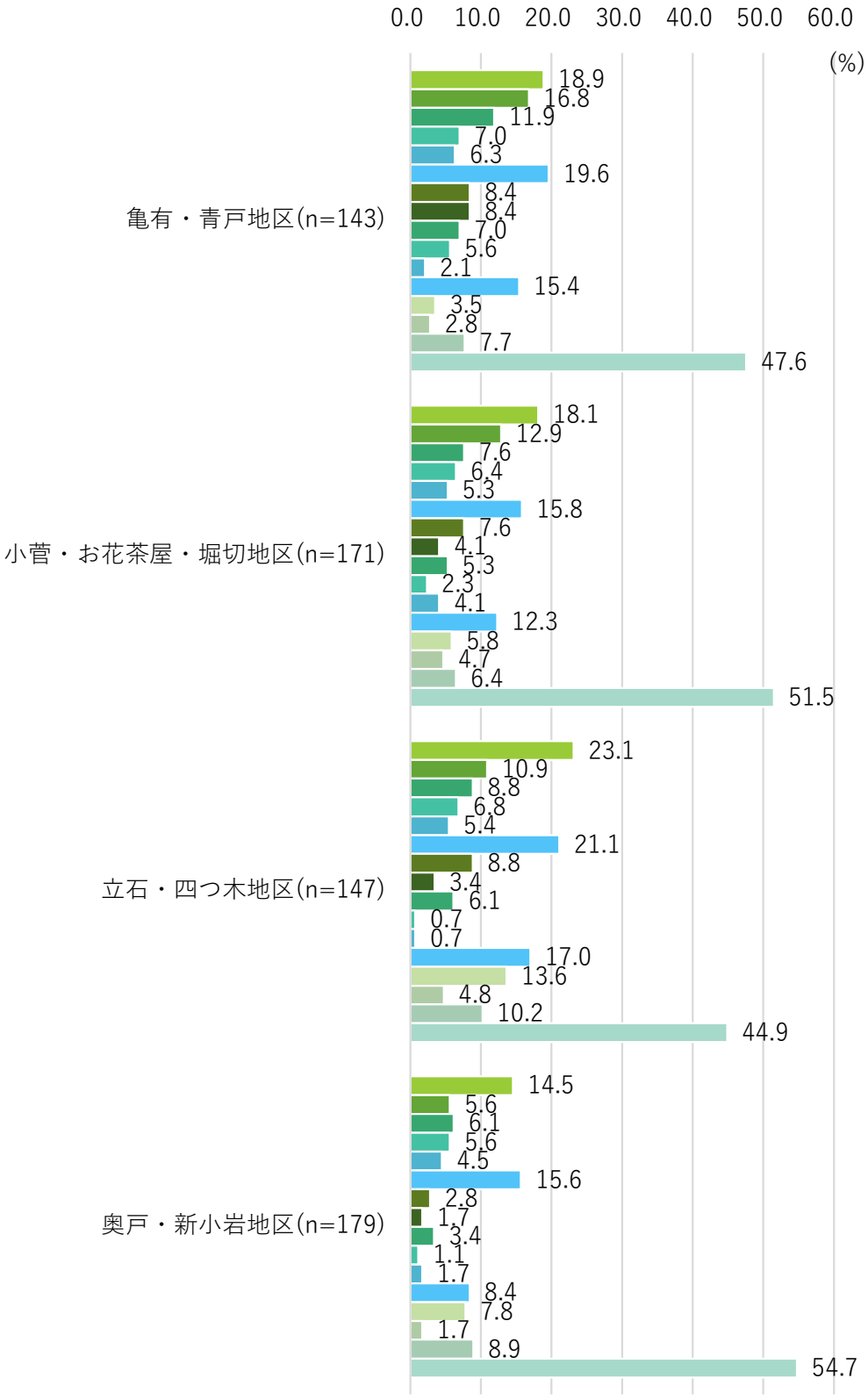



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
(%)
40代(n=184)
18.5
11.4
5.4
6.0
3.8
17.4
9.2
6.5
6.5
3.3
2.7
10.9
5.4
4.9
8.7
51.1
50代(n=344)
18.6
11.6
7.8
4.9
4.9
18.3
7.8
4.1
3.5
0.9
1.5
11.3
5.5
4.1
6.7
51.5
60代(n=241)
17.4
10.0
8.7
4.1
4.1
27.8
5.0
4.1
6.2
1.7
2.1
17.0
6.6
5.0
10.8
41.9
70代以上(n=96)
30.2
10.4
14.6
6.3
5.2
34.4
6.3
4.2
5.2
2.1
4.2
16.7
12.5
6.3
11.5
33.3

【居住地別】

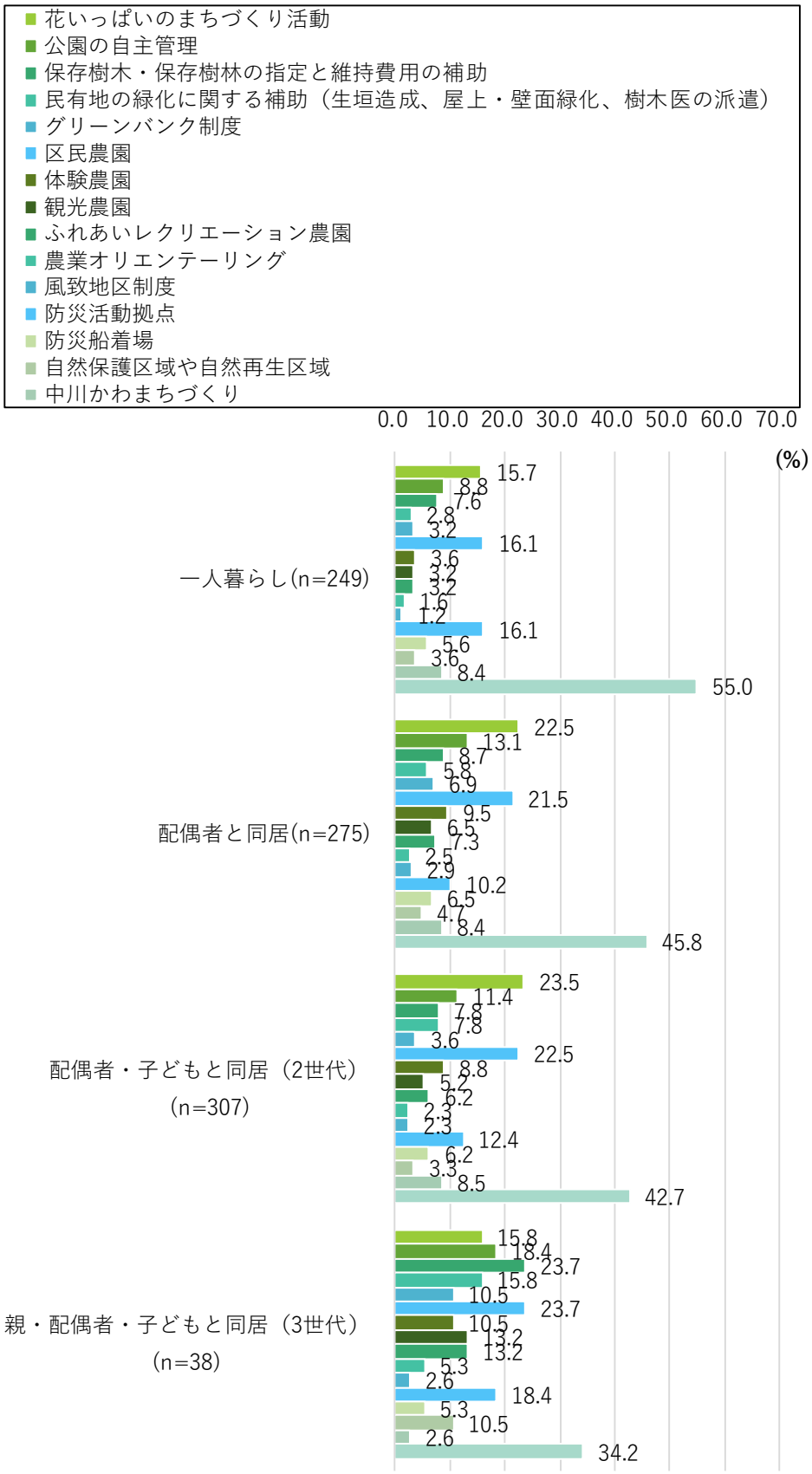
- 水元地区において「観光農園」が全体の集計結果よりやや高く、「防災船着き場」「上記に知っている取組は無い」がやや低い。
- 「上記に知っている取組は無い」は金町・新宿地区においても、全体の集計結果よりやや低い。
- 柴又・高砂地区において「区民農園」、亀有・青戸地区において「公園の自主管理」が全体の集計結果よりやや高い。
- 奥戸・新小岩地区は「防災船着き場」が全体の集計結果よりやや高く、「花いっぱいのまちづくり活動」「公園の自主管理」「区民農園」がやや低い。

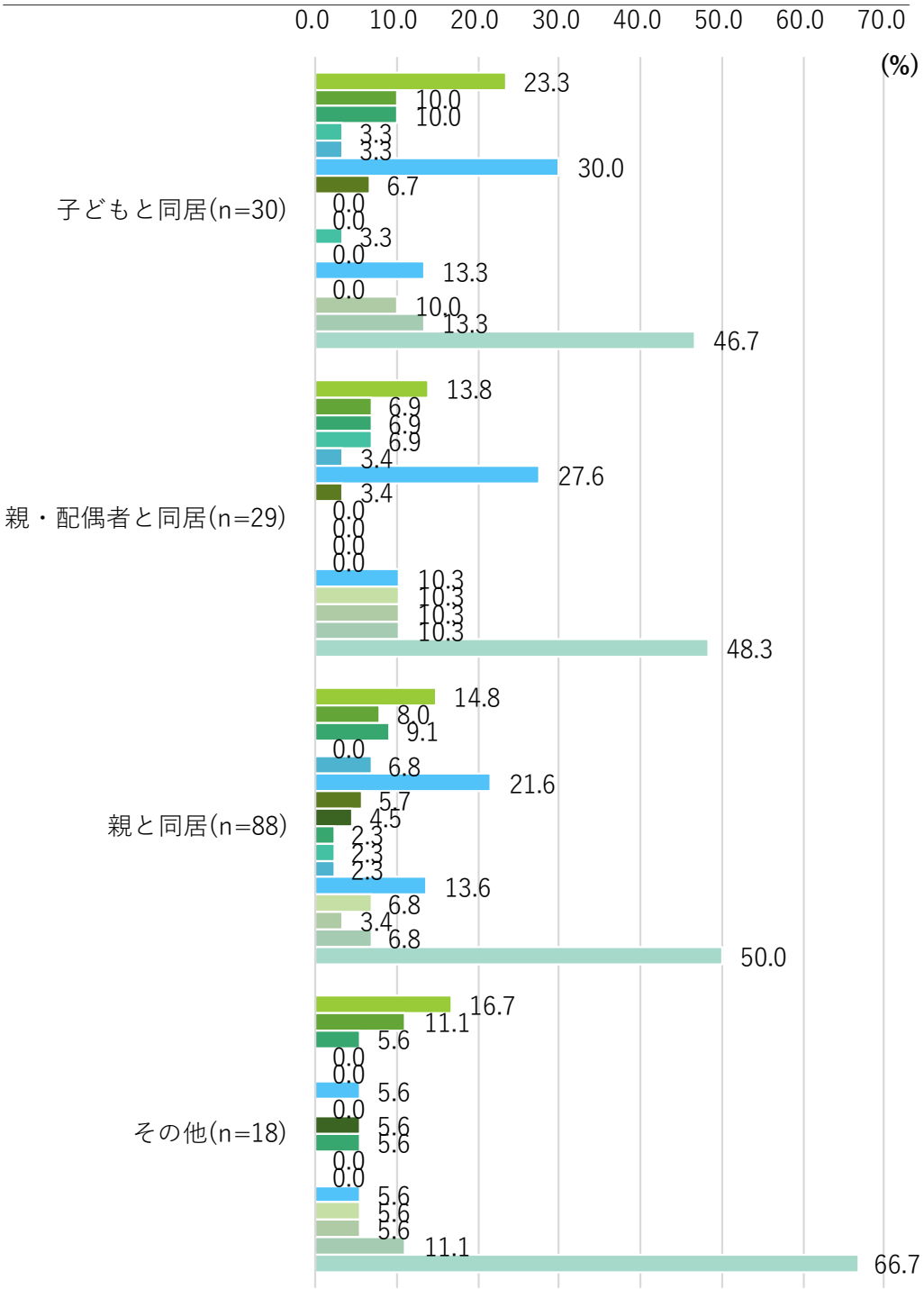



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
(%)
亀有・青戸地区(n=143)
18.9
16.8
11.9
7.0
6.3
19.6
8.4
8.4
7.0
5.6
2.1
15.4
3.5
2.8
7.7
47.6
小菅・お花茶屋・堀切地区(n=171)
18.1
12.9
7.6
6.4
5.3
15.8
7.6
4.1
5.3
2.3
4.1
12.3
5.8
4.7
6.4
51.5
立石・四つ木地区(n=147)
23.1
10.9
8.8
6.8
5.4
21.1
8.8
3.4
6.1
0.7
0.7
17.0
13.6
4.8
10.2
44.9
奥戸・新小岩地区(n=179)
14.5
5.6
6.1
5.6
4.5
15.6
2.8
1.7
3.4
1.1
1.7
8.4
7.8
1.7
8.9
54.7

【世帯構成別】

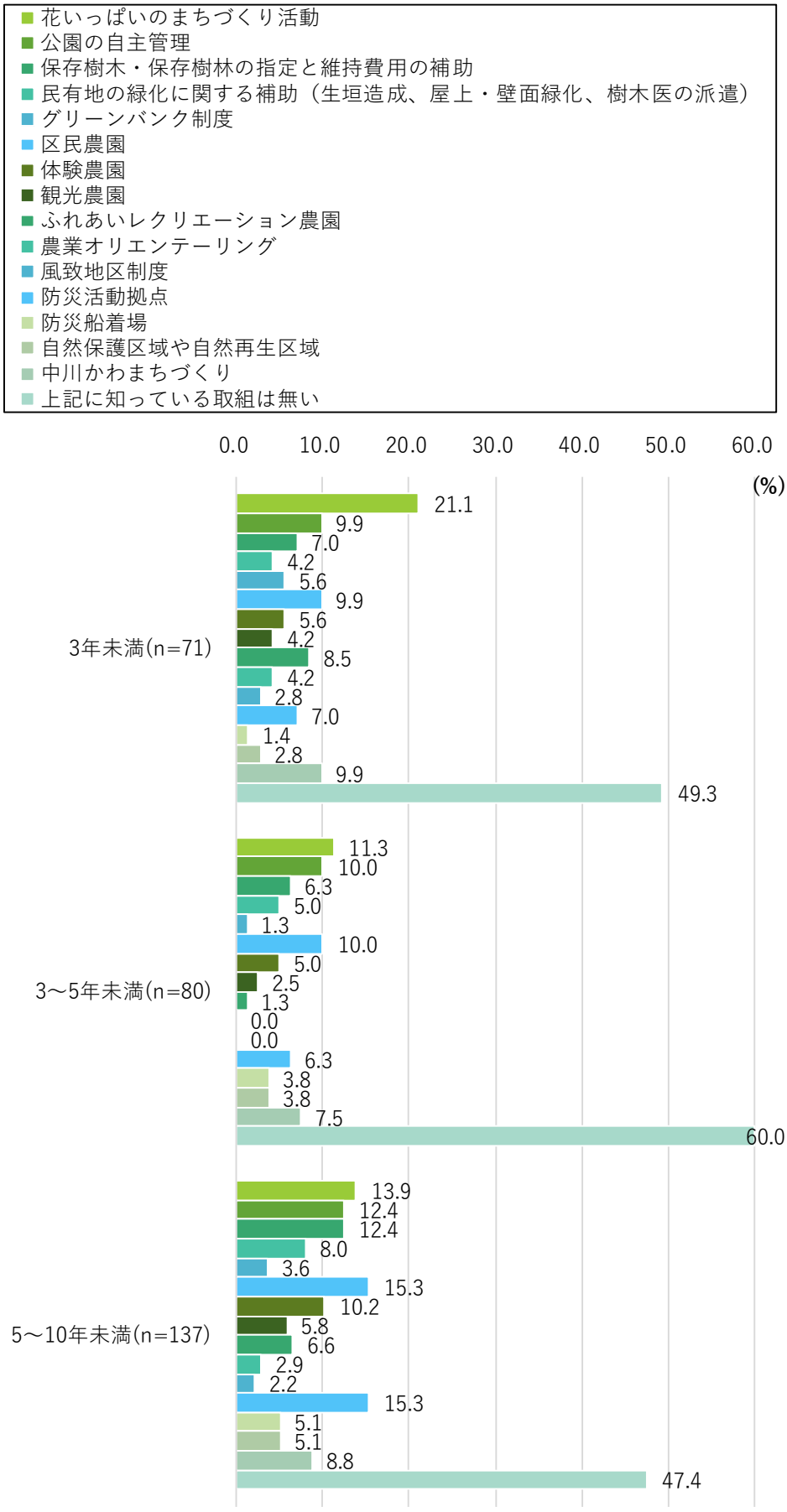
- 親・配偶者・子どもと同居（3 世代）において「保存樹木・保存樹林の指定と維持費用の補助」「民有地の緑化に関する補助（生垣造成、屋上・壁面緑化、樹木医の派遣）」が全体の集計結果より高く、「知っている取組は無い」が低い。（母数が少ないため参考値）

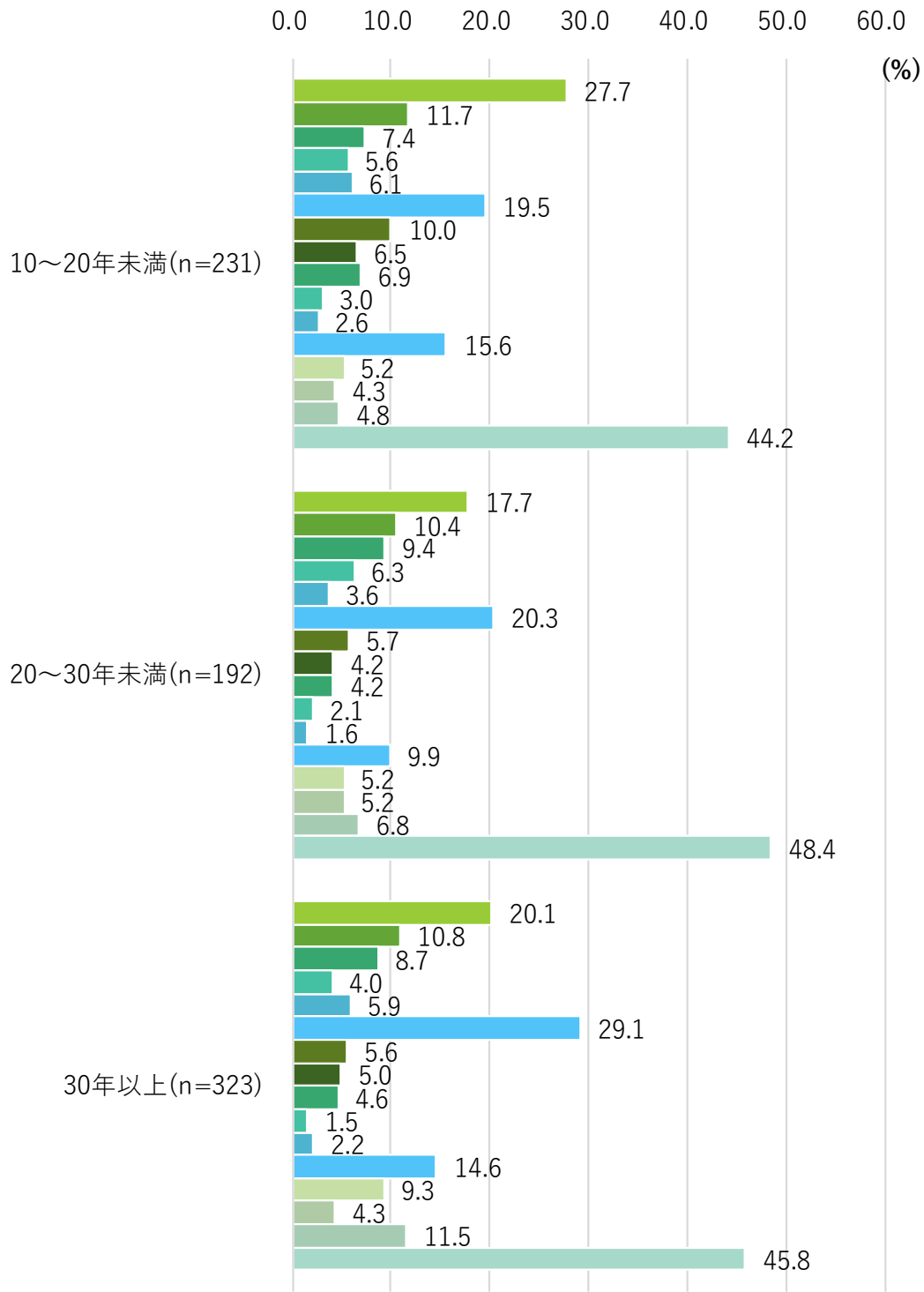



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
70.0
(%)
子どもと同居(n=30)
23.3
10.0
10.0
3.3
3.3
30.0
6.7
0.0
0.0
3.3
0.0
13.3
0.0
10.0
13.3
46.7
親・配偶者と同居(n=29)
13.8
6.9
6.9
6.9
3.4
27.6
3.4
0.0
0.0
0.0
0.0
10.3
10.3
10.3
10.3
48.3
親と同居(n=88)
14.8
8.0
9.1
0.0
6.8
21.6
5.7
4.5
2.3
2.3
2.3
13.6
6.8
3.4
6.8
50.0
その他(n=18)
16.7
11.1
5.6
0.0
0.0
5.6
0.0
5.6
5.6
0.0
0.0
5.6
5.6
5.6
11.1
66.7

【在住歴別】

- 3 年未満、3～5 年未満において「区民農園」が全体の集計結果より低い。また、3～5 年未満は「上記に知っている取組は無い」が高い。

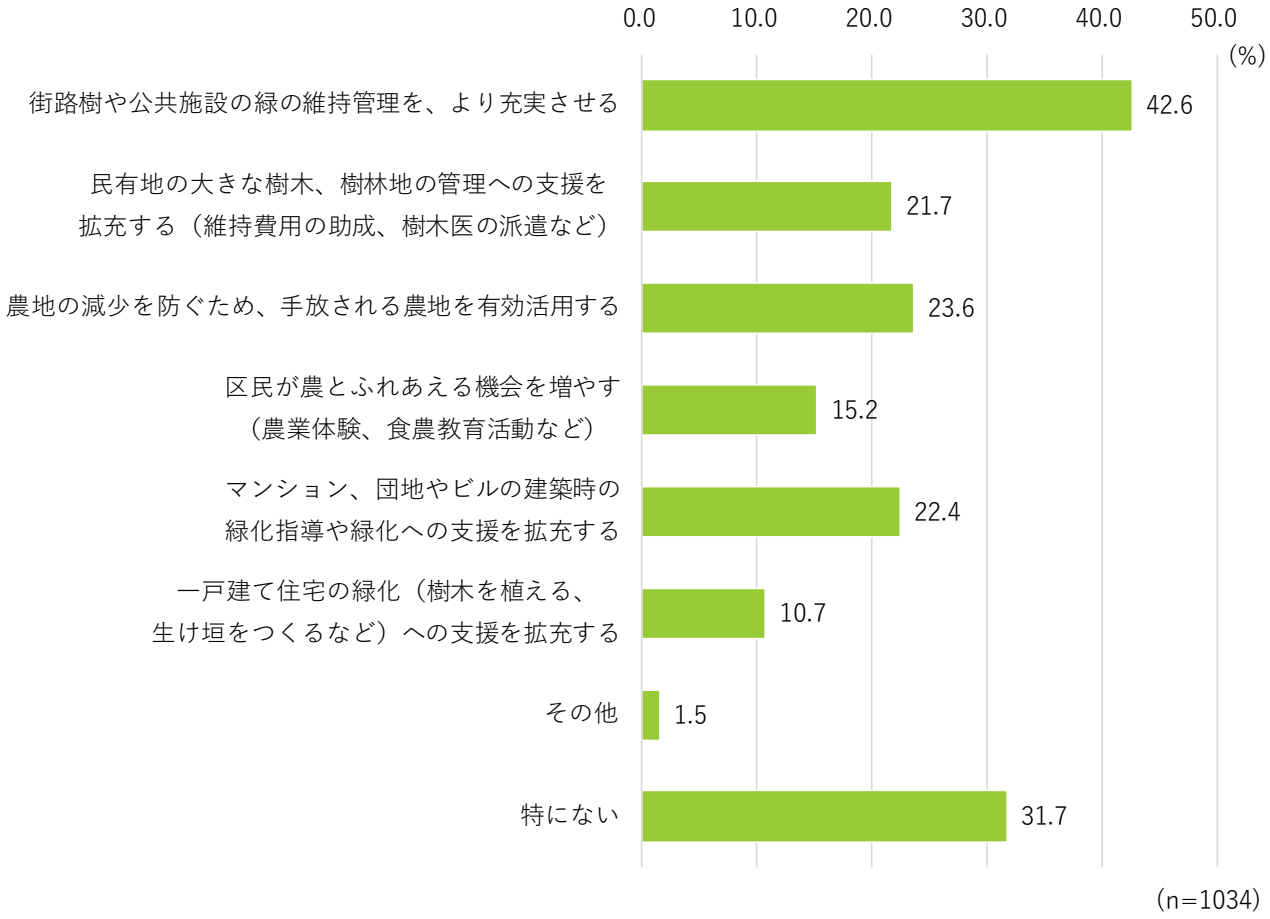



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
(%)
10～20年未満(n=231)
27.7
11.7
7.4
5.6
6.1
19.5
10.0
6.5
6.9
3.0
2.6
15.6
5.2
4.3
4.8
44.2
20～30年未満(n=192)
17.7
10.4
9.4
6.3
3.6
20.3
5.7
4.2
4.2
2.1
1.6
9.9
5.2
5.2
6.8
48.4
30年以上(n=323)
20.1
10.8
8.7
4.0
5.9
29.1
5.6
5.0
4.6
1.5
2.2
14.6
9.3
4.3
11.5
45.8

（2）区内の緑に関して区役所に期待する取組

Q　あなたが葛飾区内の緑に関して区役所に期待する取組は何ですか。特に重要だと思うものを３つまで選んでください。

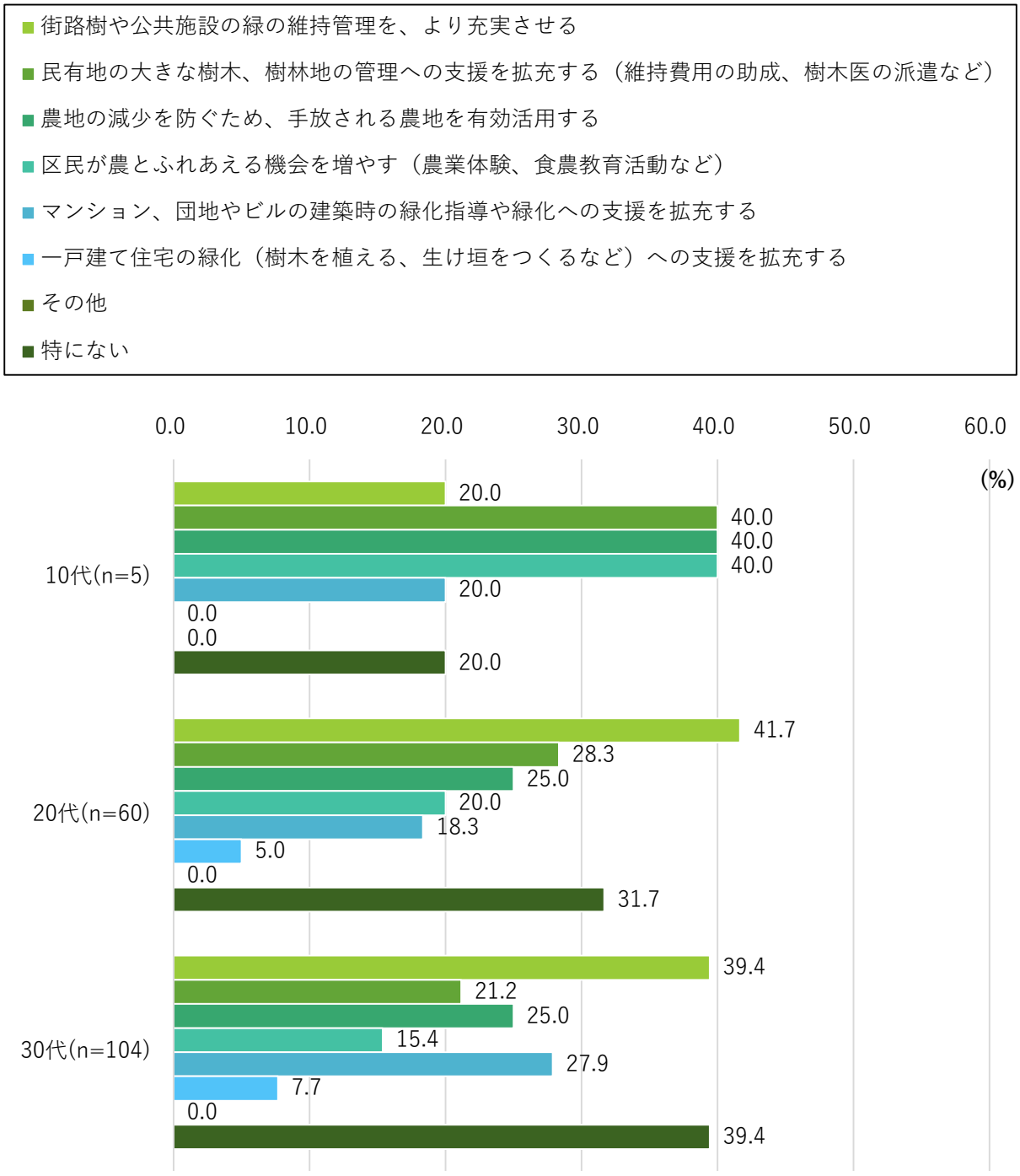
- 「街路樹や公共施設の緑の維持管理を、より充実させる」（42.6%）が最も多く、次いで「特にない」（31.7%）となっている。

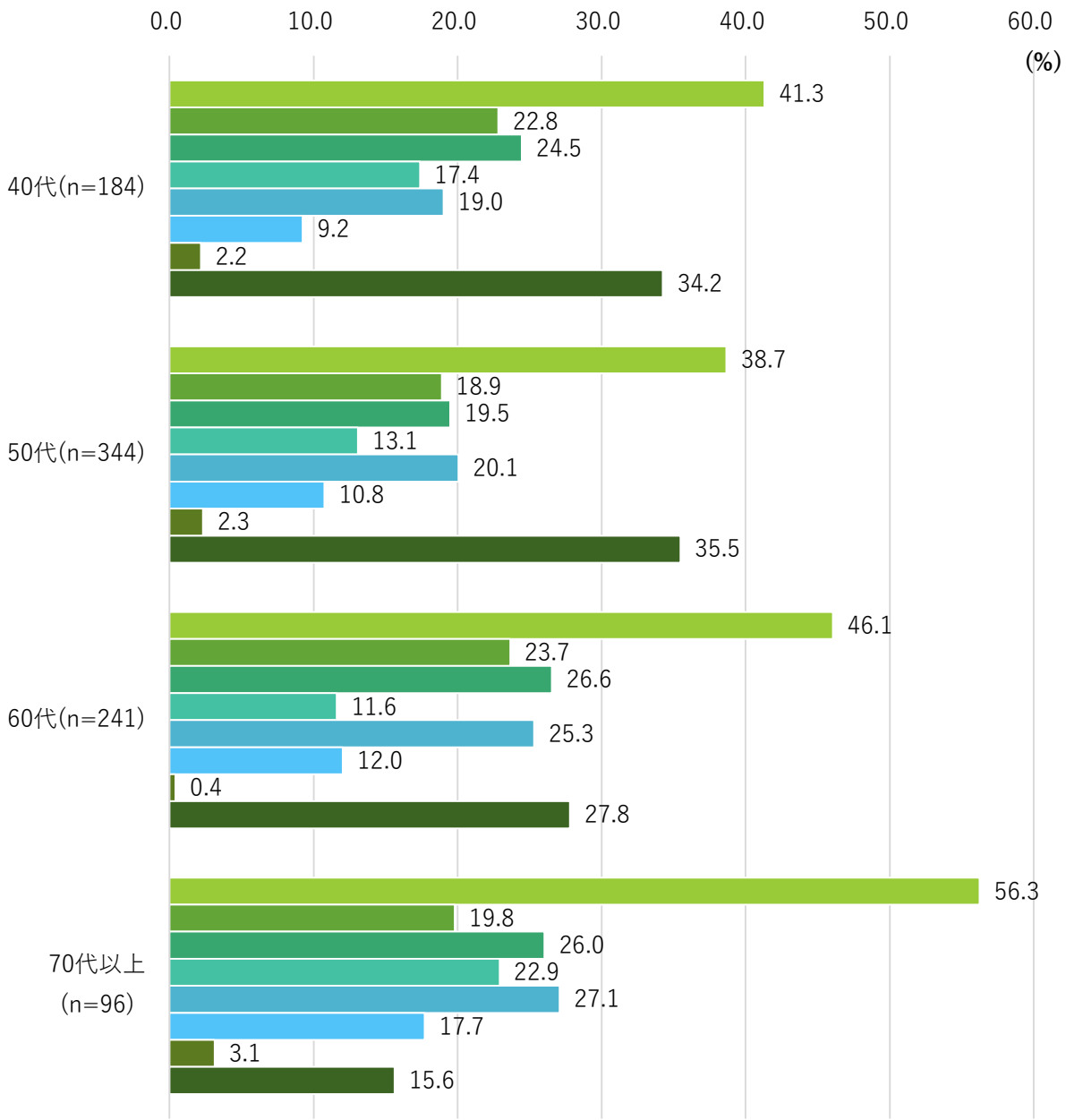


「その他」の回答
- 現状の緑地面積を、維持する
- 見通しを悪くする樹木の伐採
- 芝生と裸足で歩ける公園の整備
- 子供が力いっぱい遊べる場所を作る
- 犬と共有できる公園スペース
- 公園
- 街路樹に頼らない緑道づくり
- 江戸川周辺、水元公園の活用
- 荒川河川敷の有効活用
- 河川沿いの緑地、歩道の整備
- 駅前に広場
- 買い物する場所が少な過ぎるので、緑とショッピングモールを合体させた施設の誘致
- 区の花である菖蒲、アピールが弱すぎる。堀切菖蒲園だけでは物足りない。
- 公営の集合住宅の共用部において、既にある緑の手入れや、勝手に植え替えさせない等の管理
- 不届者の排除
- 貧困家庭がなくなるように

【年齢別】

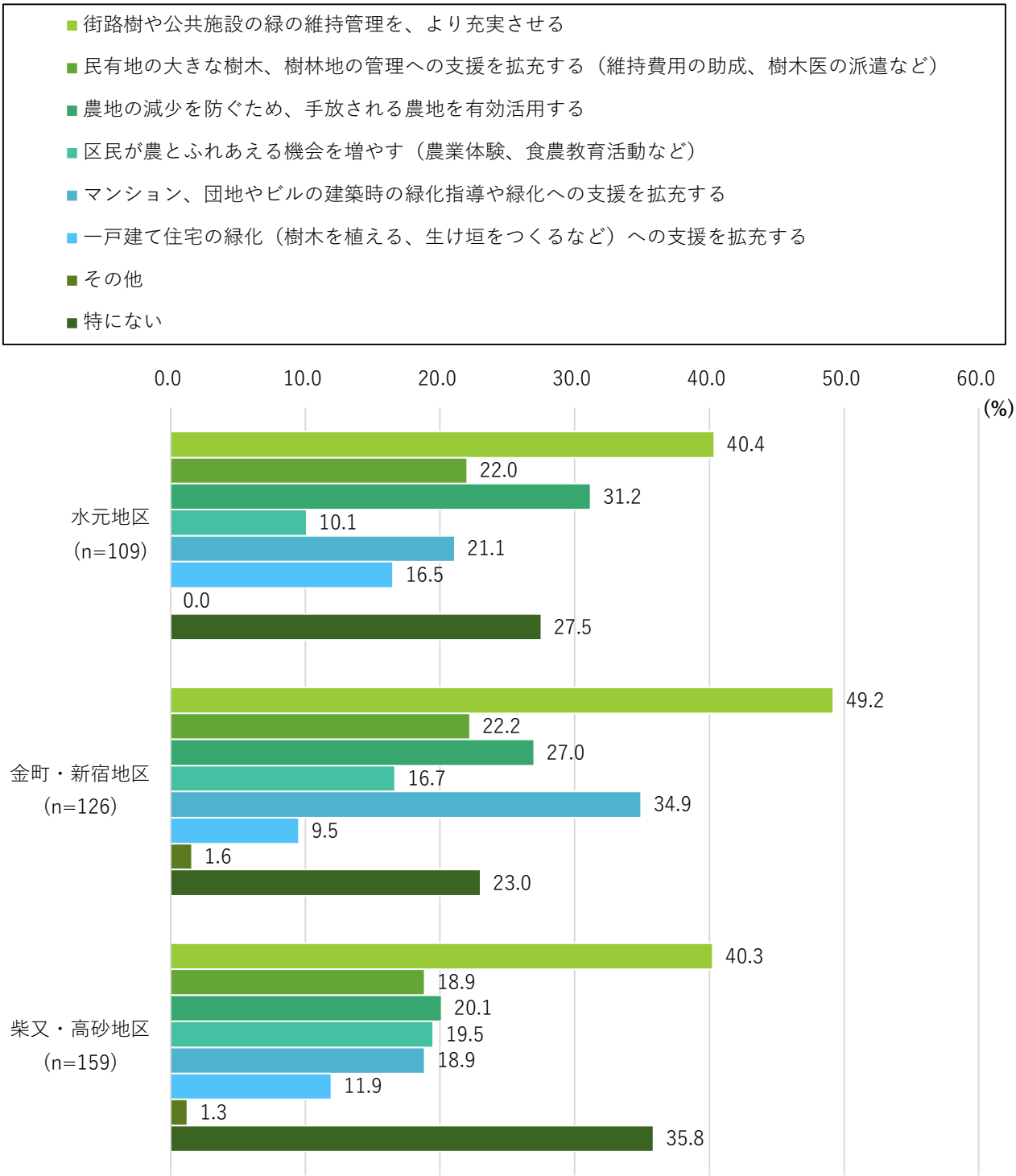
- 20 代において「民有地の大きな樹木、樹林地の管理への支援を拡充する（維持費用の助成、樹木医の派遣など)」が全体の集計結果よりやや高く、「一戸建て住宅の緑化（樹木を植える、生け垣をつくるなど）への支援を拡充する」がやや低い。
- 30 代において「マンション、団地やビルの建築時の緑化指導や緑化への支援を拡充する」「特にない」が全体の集計結果よりやや高い。
- 70 代以上において「街路樹や公共施設の緑の維持管理を、より充実させる」が全体の集計結果より高く、「区民が農とふれあえる機会を増やす（農業体験、食農教育活動など)」「一戸建て住宅の緑化（樹木を植える、生け垣をつくるなど）への支援を拡充する」がやや高い。また、「特にない」が低い。

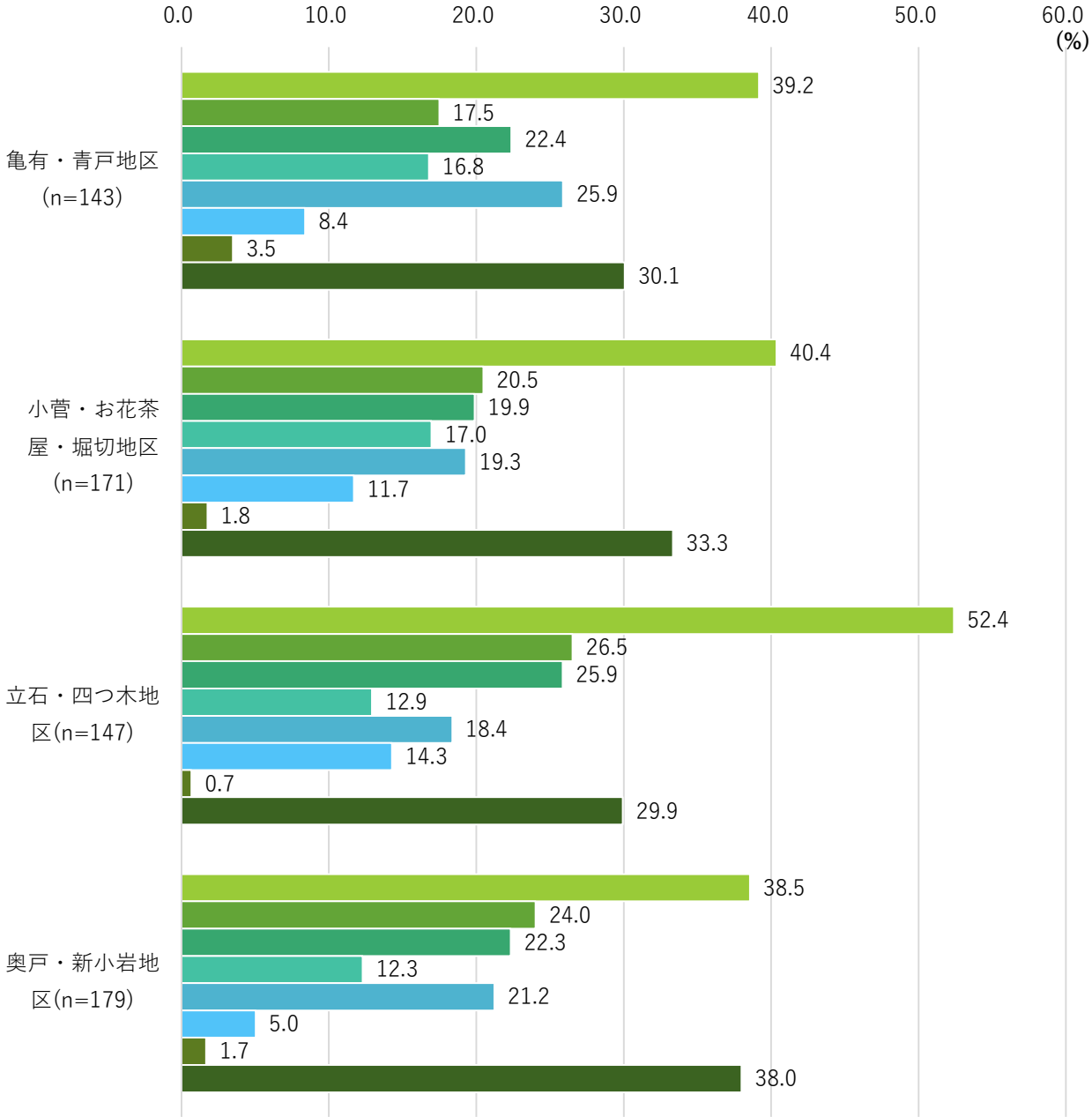



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
(%)
40代(n=184)
41.3
22.8
24.5
17.4
19.0
9.2
2.2
34.2
50代(n=344)
38.7
18.9
19.5
13.1
20.1
10.8
2.3
35.5
60代(n=241)
46.1
23.7
26.6
11.6
25.3
12.0
0.4
27.8
70代以上
(n=96)
56.3
19.8
26.0
22.9
27.1
17.7
3.1
15.6

【居住地別】

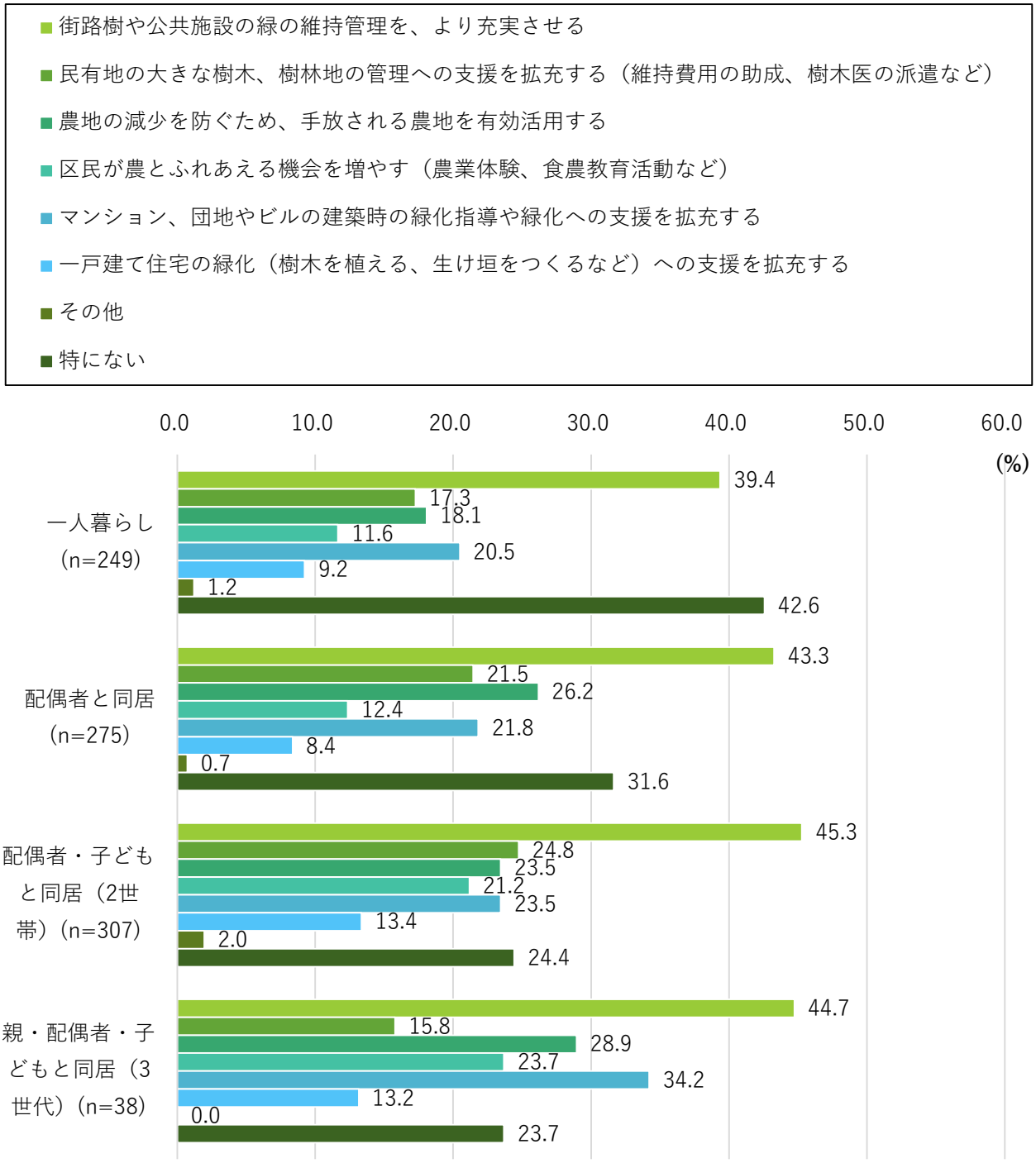
- 金町・新宿地区において「マンション、団地やビルの建築時の緑化指導や緑化への支援を拡充する」が全体の集計結果より高く、「街路樹や公共施設の緑の維持管理を、より充実させる」がやや高い。また、「特にない」がやや低い。
- 「街路樹や公共施設の緑の維持管理を、より充実させる」は、立石・四つ木地区においても全体の集計結果よりやや高い。

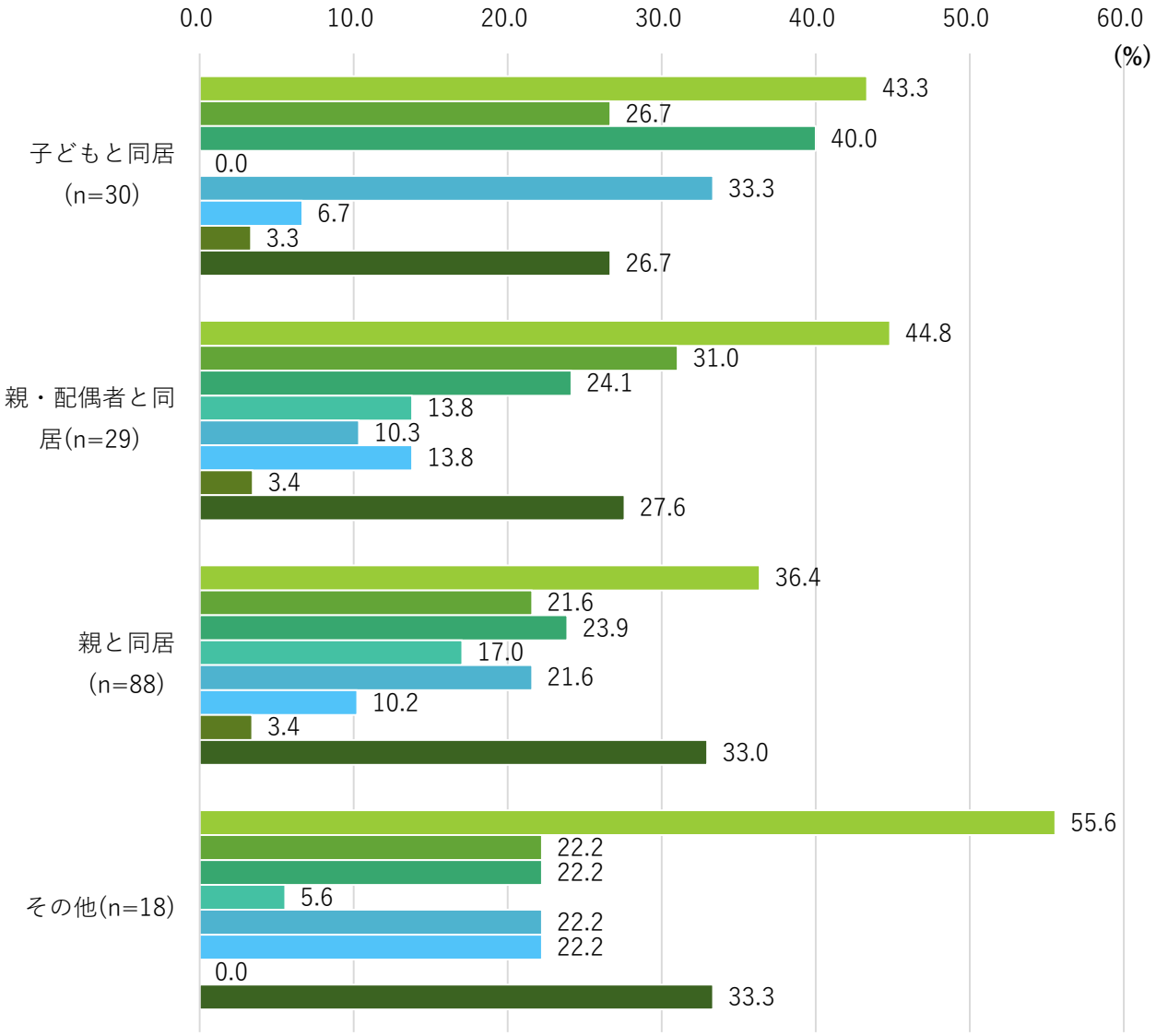



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
(%)
亀有・青戸地区
(n=143)
39.2
17.5
22.4
16.8
25.9
8.4
3.5
30.1
小菅・お花茶
屋・堀切地区
(n=171)
40.4
20.5
19.9
17.0
19.3
11.7
1.8
33.3
立石・四つ木地
区(n=147)
52.4
26.5
25.9
12.9
18.4
14.3
0.7
29.9
奥戸・新小岩地
区(n=179)
38.5
24.0
22.3
12.3
21.2
5.0
1.7
38.0

【世帯構成別】

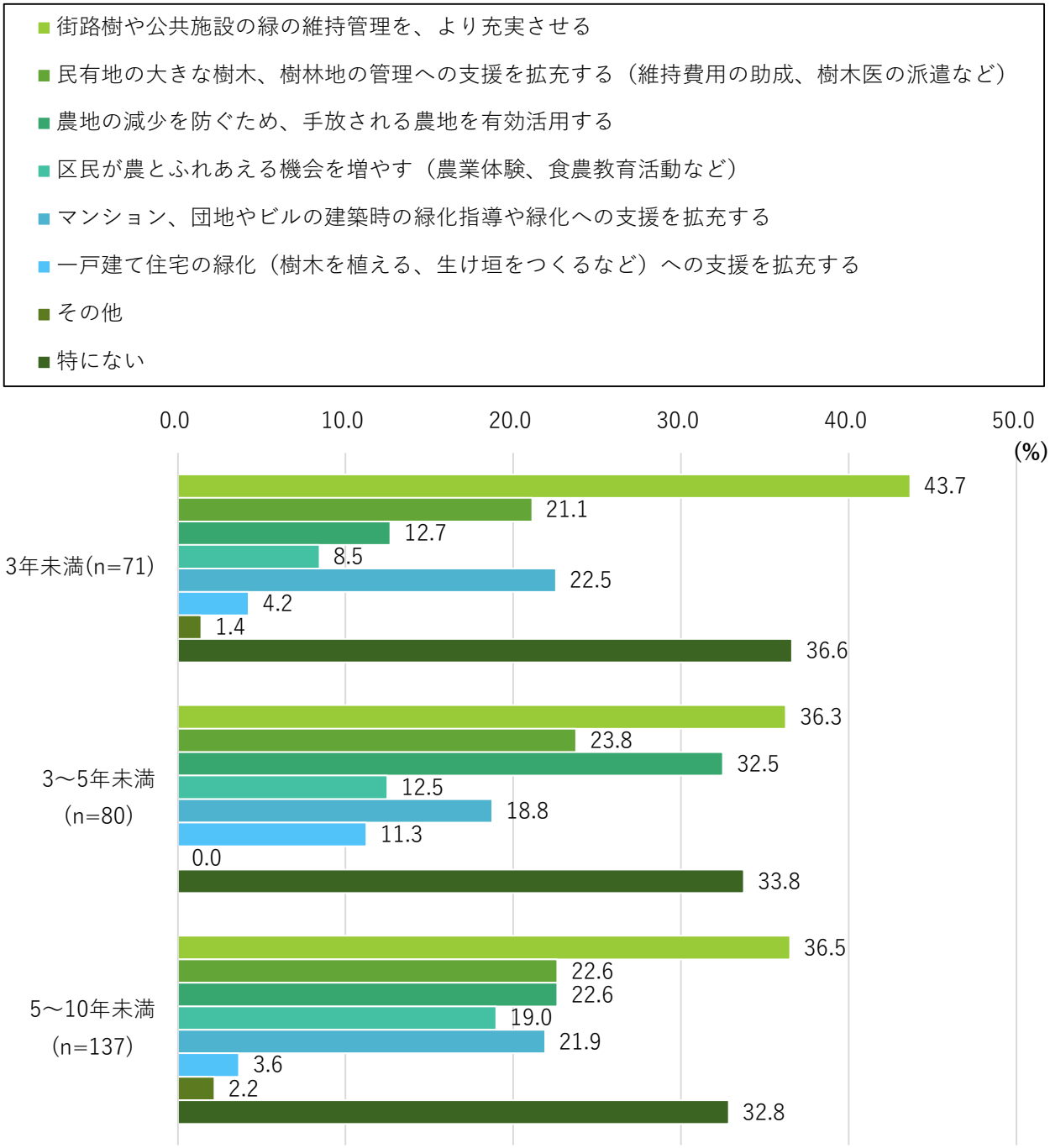
- 一人暮らしにおいて「特にない」が全体の集計結果より高い。



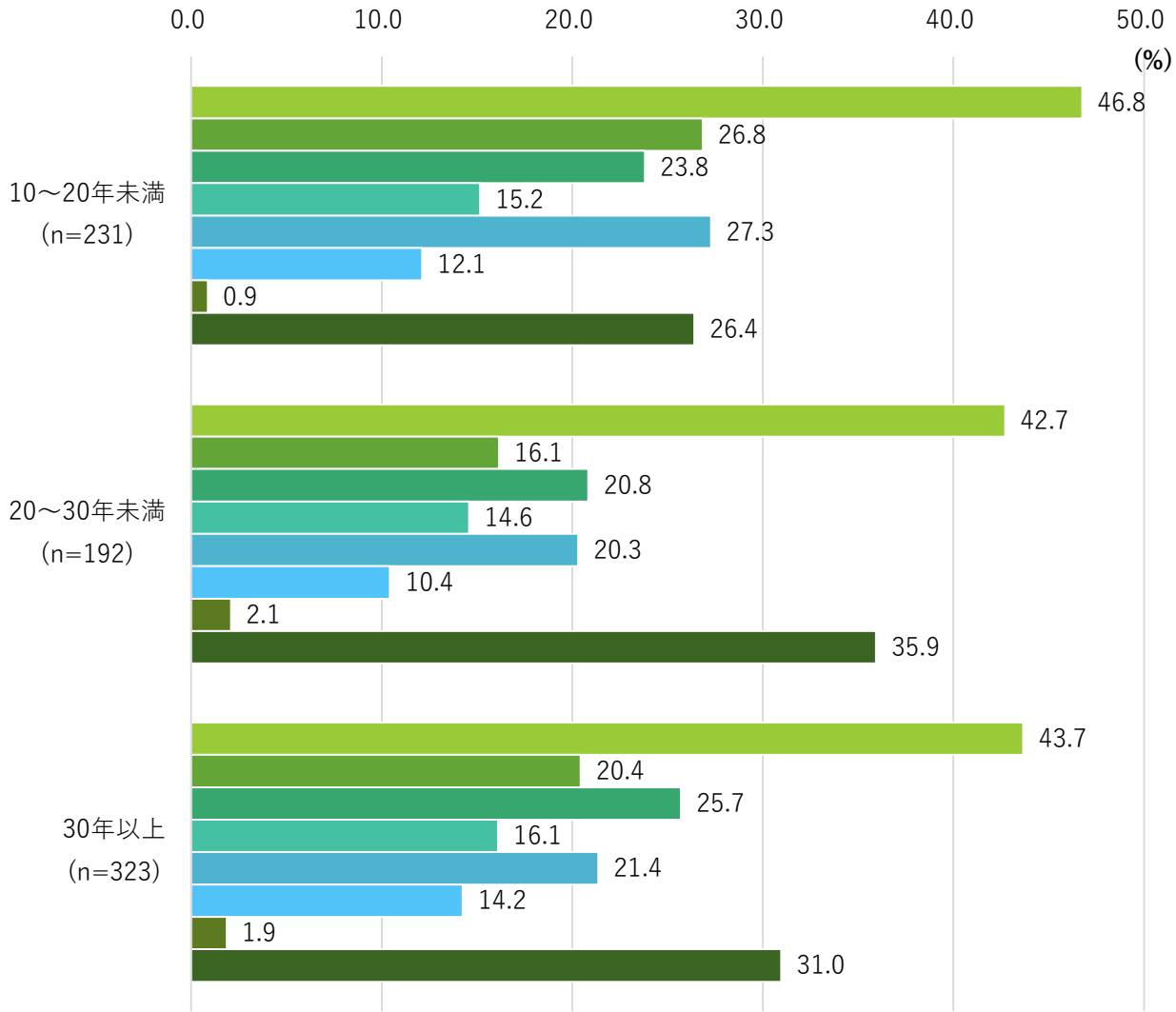

0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
(%)
子どもと同居
(n=30)
43.3
26.7
40.0
0.0
33.3
6.7
3.3
26.7
親・配偶者と同
居(n=29)
44.8
31.0
24.1
13.8
10.3
13.8
3.4
27.6
親と同居
(n=88)
36.4
21.6
23.9
17.0
21.6
10.2
3.4
33.0
その他(n=18)
55.6
22.2
22.2
5.6
22.2
22.2
0.0
33.3

【在住歴別】

- ３年未満において「農地の減少を防ぐため、手放される農地を有効活用する」が全体の集計結果より低く、「区民が農とふれあえる機会を増やす（農業体験、食農教育活動など）」「一戸建て住宅の緑化（樹木を植える、生け垣をつくるなど）への支援を拡充する」がやや低い。
- 3～5 年未満において「農地の減少を防ぐため、手放される農地を有効活用する」が全体の集計結果よりやや高く、「街路樹や公共施設の緑の維持管理を、より充実させる」がやや低い。
- 5～10 年未満では「街路樹や公共施設の緑の維持管理を、より充実させる」「一戸建て住宅の緑化（樹木を植える、生け垣をつくるなど）への支援を拡充する」が全体の集計結果より低い。



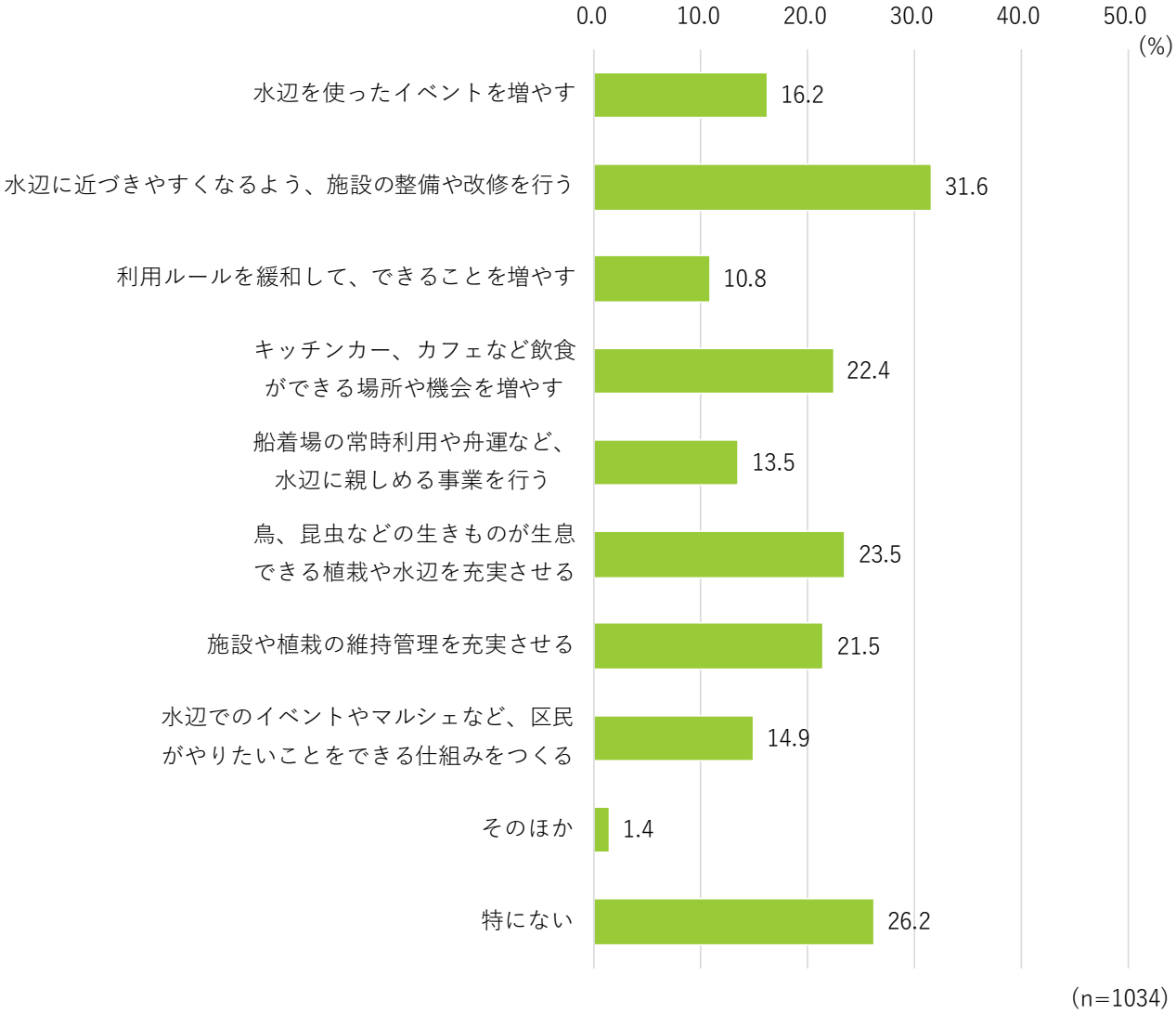
- 10～20 年未満では「街民有地の大きな樹木、樹林地の管理への支援を拡充する（維持費用の助成、樹木医の派遣など）」が全体の集計結果よりやや高く、「特にない」がやや低い。
- 20～30 年未満においては「街民有地の大きな樹木、樹林地の管理への支援を拡充する（維持費用の助成、樹木医の派遣など）」が全体の集計結果よりやや低い。



（3）区内の水辺に関して区役所に期待する取組

Q　あなたが葛飾区内の水辺に関して区役所に期待する取組は何ですか。特に重要だと思うものを３つまで選んでください。

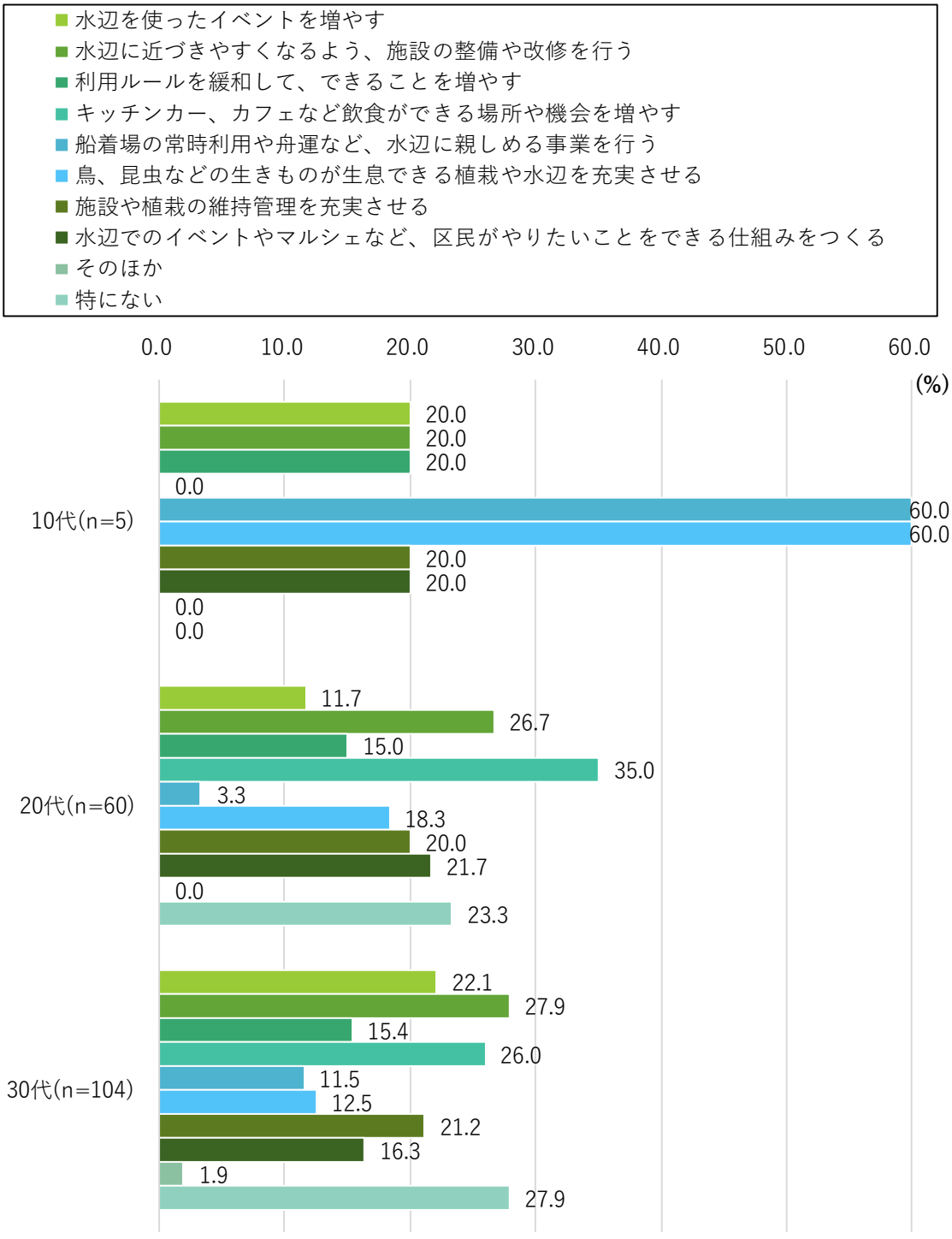
- 「水辺に近づきやすくなるよう、施設の整備や改修を行う」（31.6%）が最も多く、次いで「特にない」（26.2%）となっている。

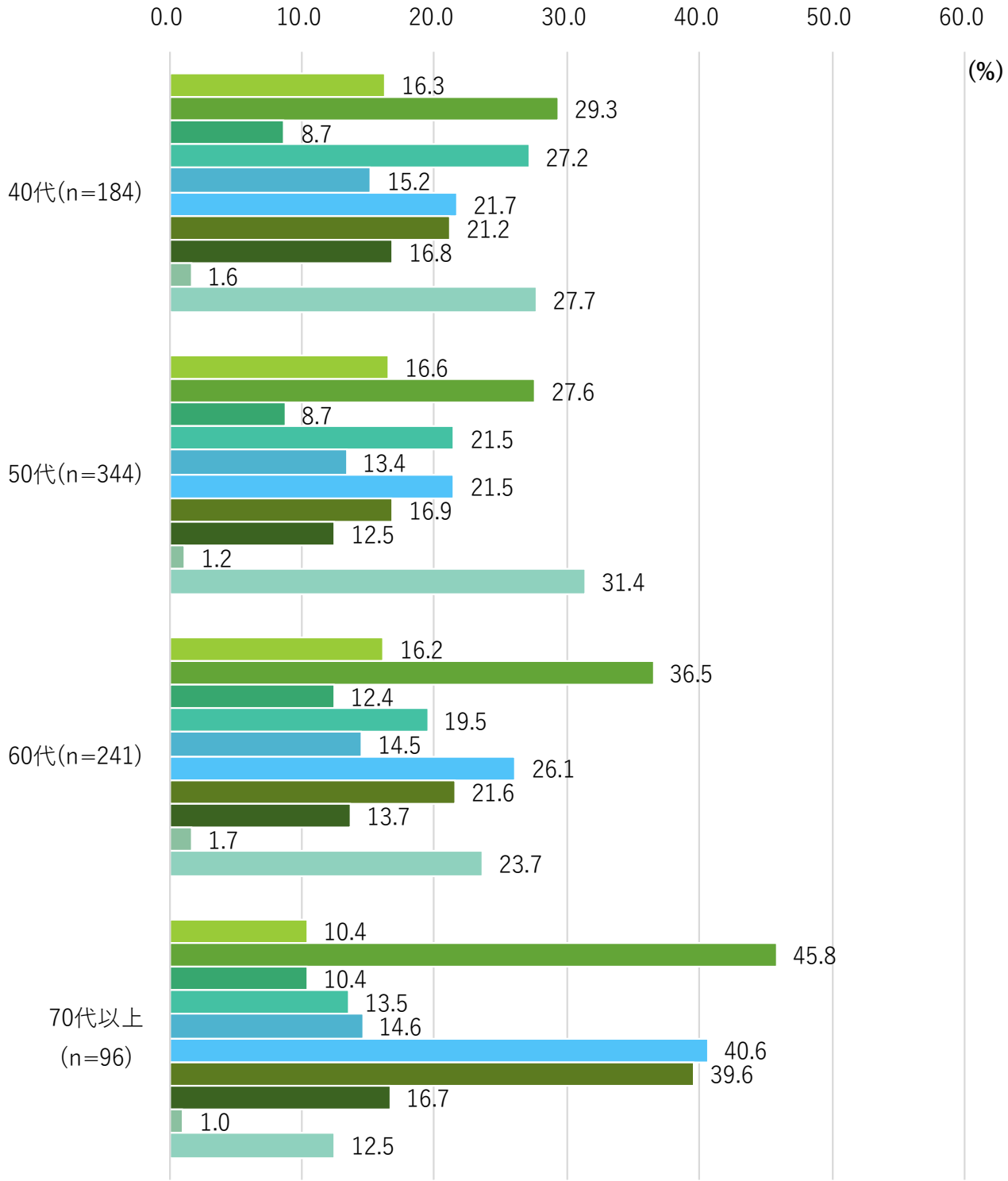


「そのほか」の回答
- 安心安全の確保
- 安全性は配慮してほしい。
- 増水時の安全性の担保
- 公園でのタバコ禁止
- 禁煙の徹底
- 公園
- せめてキャッチボールが出来る場所を学区に一つ
- 防災対策のイベントや、防災設備を充実させる
- トイレの設置
- 河川沿い整備、橋増加
- 釣りができる桟橋
- 荒川河川敷の有効活用
- ここに出てるの全部必要
- 他に優先すべきことが

【年齢別】

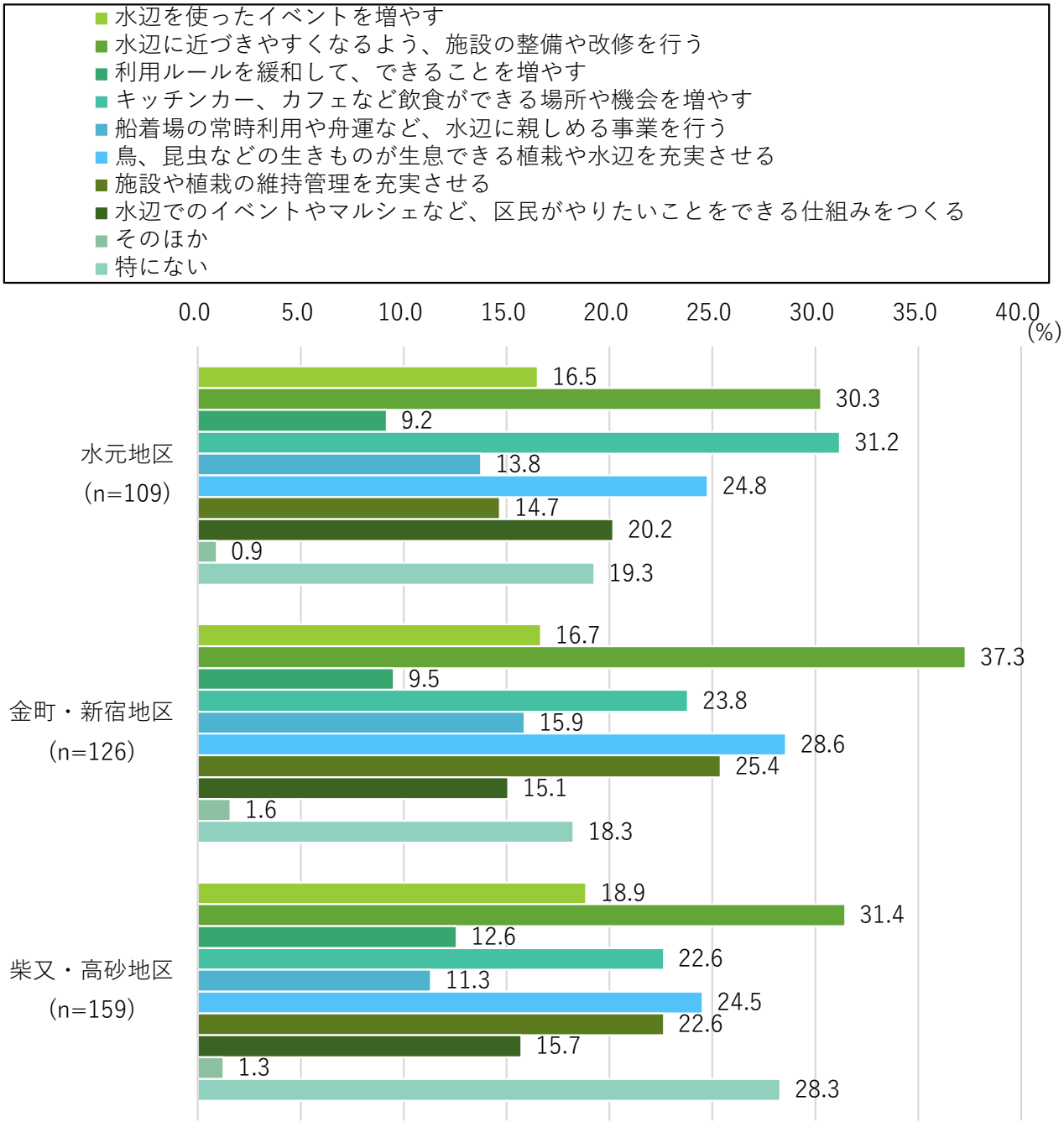
- 20 代において「キッチンカー、カフェなど飲食ができる場所や機会を増やす」が全体の集計結果より高く、「船着場の常時利用や舟運など、水辺に親しめる事業を行う」が低い。
- 30 代において「鳥、昆虫などの生きものが生息できる植栽や水辺を充実させる」が全体の集計結果より低い。70 代において「水辺に近づきやすくなるよう、施設の整備や改修を行う」「鳥、昆虫などの生きものが生息できる植栽や水辺を充実させる」「施設や植栽の維持管理を充実させる」が全体の集計結果より高く、「特にない」が低い。

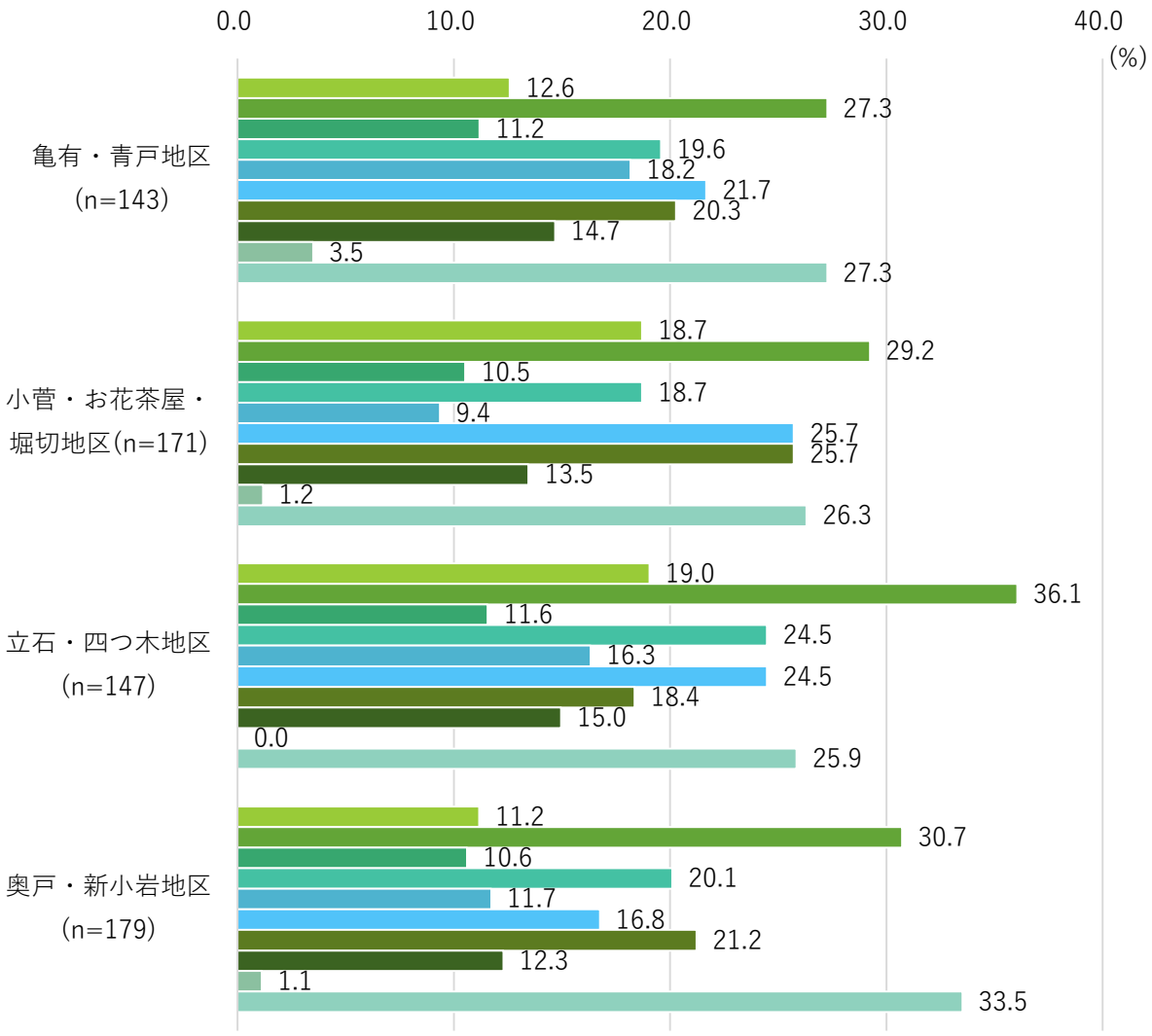



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
(%)
40代(n=184)
16.3
29.3
8.7
27.2
15.2
21.7
21.2
16.8
1.6
27.7
50代(n=344)
16.6
27.6
8.7
21.5
13.4
21.5
16.9
12.5
1.2
31.4
60代(n=241)
16.2
36.5
12.4
19.5
14.5
26.1
21.6
13.7
1.7
23.7
70代以上
(n=96)
10.4
45.8
10.4
13.5
14.6
40.6
39.6
16.7
1.0
12.5

【居住地別】

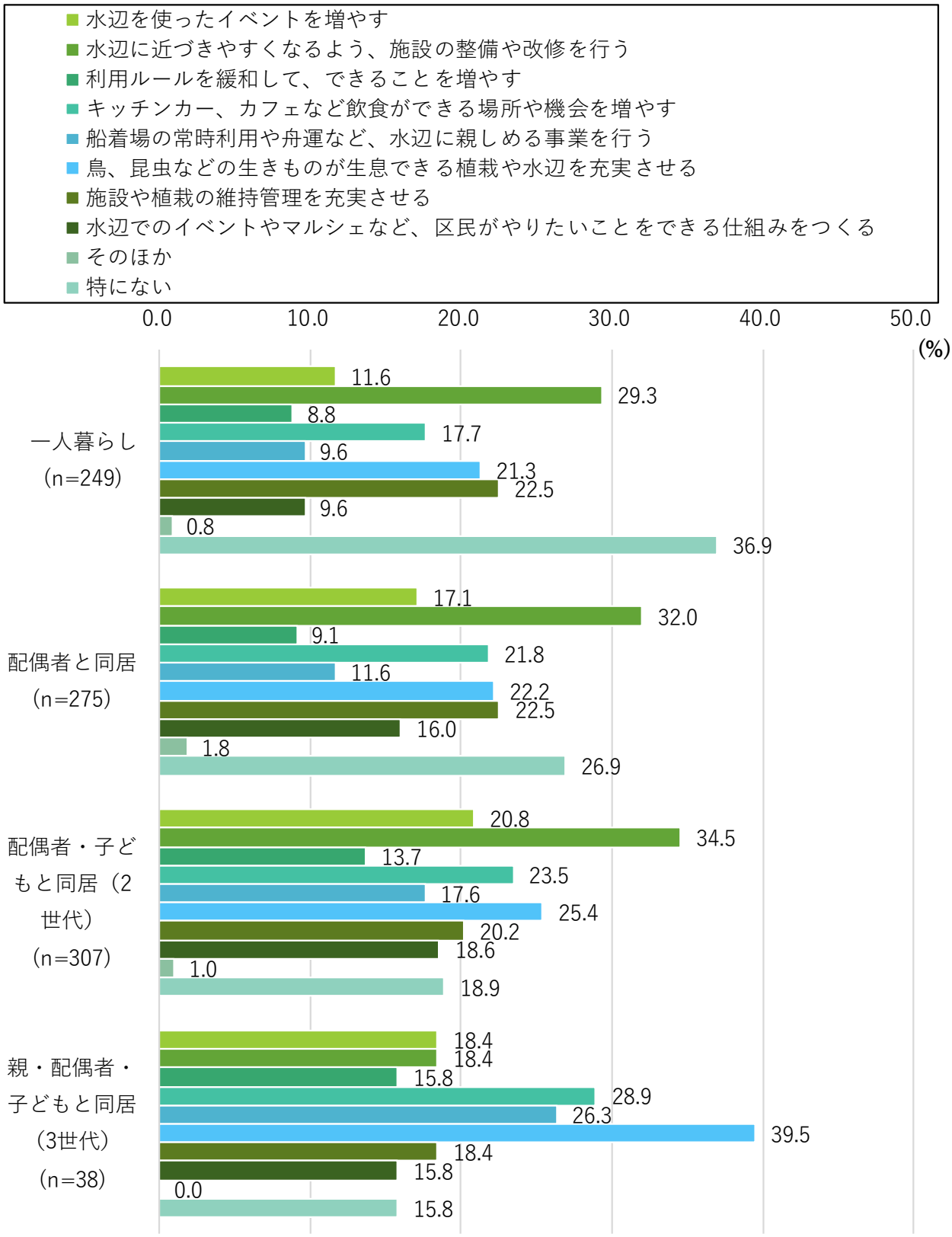
- 水元地区において「キッチンカー、カフェなど飲食ができる場所や機会を増やす」「水辺でのイベントやマルシェなど、区民がやりたいことをできる仕組みをつくる」が全体の集計結果よりやや高く、「施設や植栽の維持管理を充実させる」「特にない」がやや低い。
- 金町・新宿地区において「水辺に近づきやすくなるよう、施設の整備や改修を行う」「鳥、昆虫などの生きものが生息できる植栽や水辺を充実させる」が全体の集計結果よりやや高く、「特にない」がやや低い。

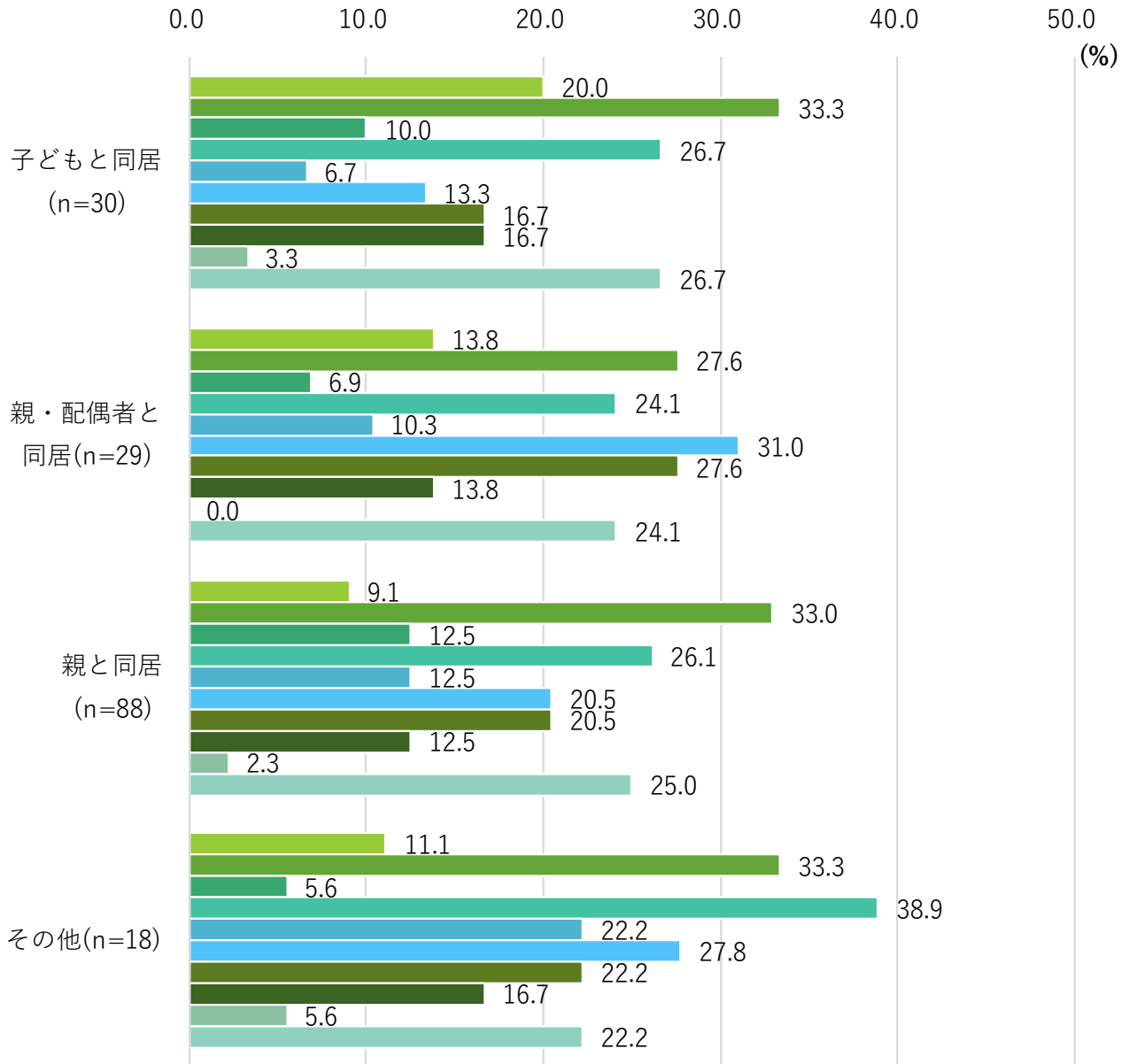



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
(%)
亀有・青戸地区
(n=143)
12.6
27.3
11.2
19.6
18.2
21.7
20.3
14.7
3.5
27.3
小菅・お花茶屋・
堀切地区(n=171)
18.7
29.2
10.5
18.7
9.4
25.7
25.7
13.5
1.2
26.3
立石・四つ木地区
(n=147)
19.0
36.1
11.6
24.5
16.3
24.5
18.4
15.0
0.0
25.9
奥戸・新小岩地区
(n=179)
11.2
30.7
10.6
20.1
11.7
16.8
21.2
12.3
1.1
33.5

【世帯構成別】

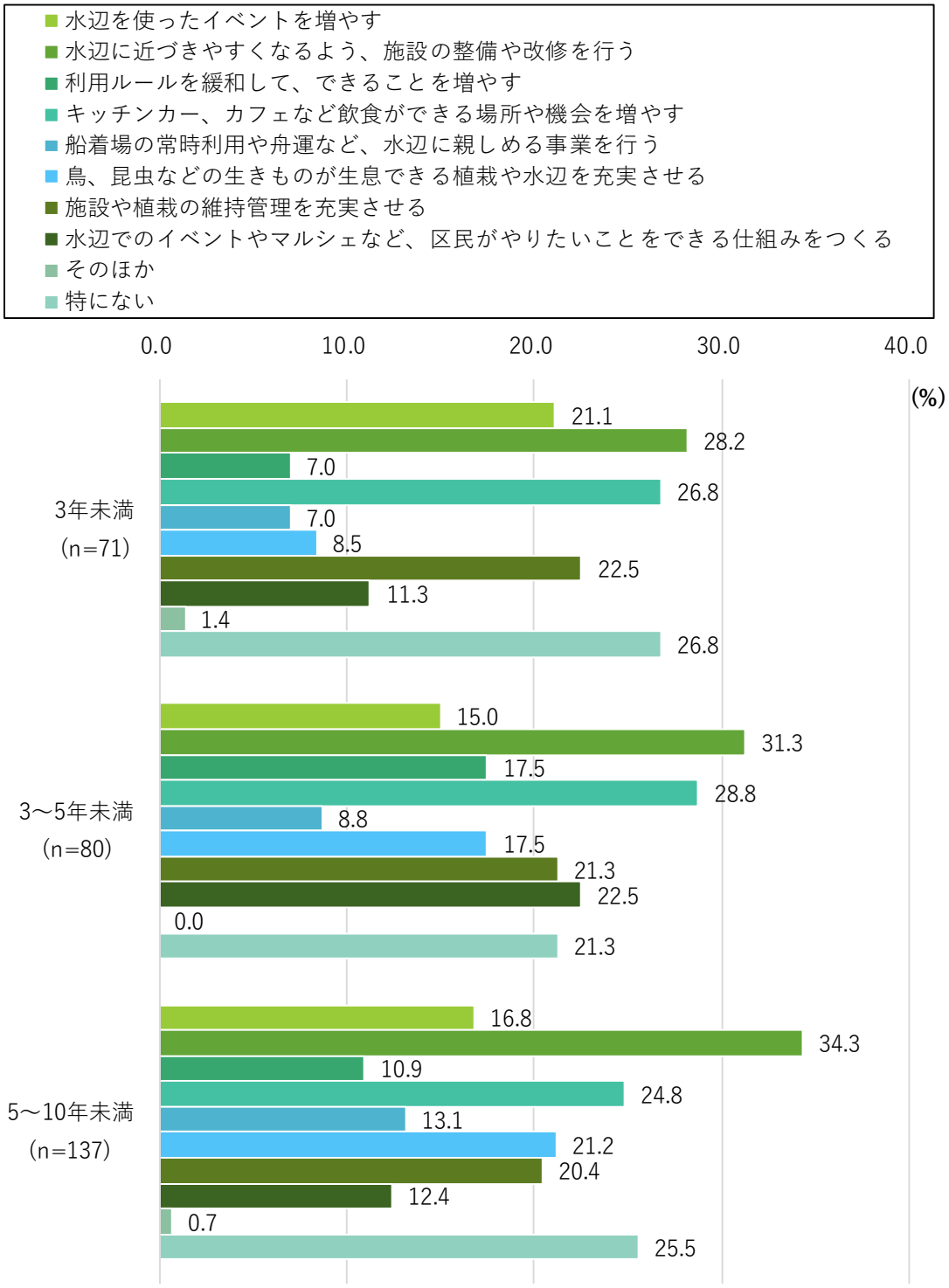
- 一人暮らしにおいて「特にない」が全体の集計結果より高い。また、「水辺でのイベントやマルシェなど、区民がやりたいことをできる仕組みをつくる」がやや低い。
- 配偶者・子どもと同居（2 世代）において「特にない」が全体の集計結果よりやや低い。
- 親と同居において「水辺を使ったイベントを増やす」が全体の集計結果よりやや低い。

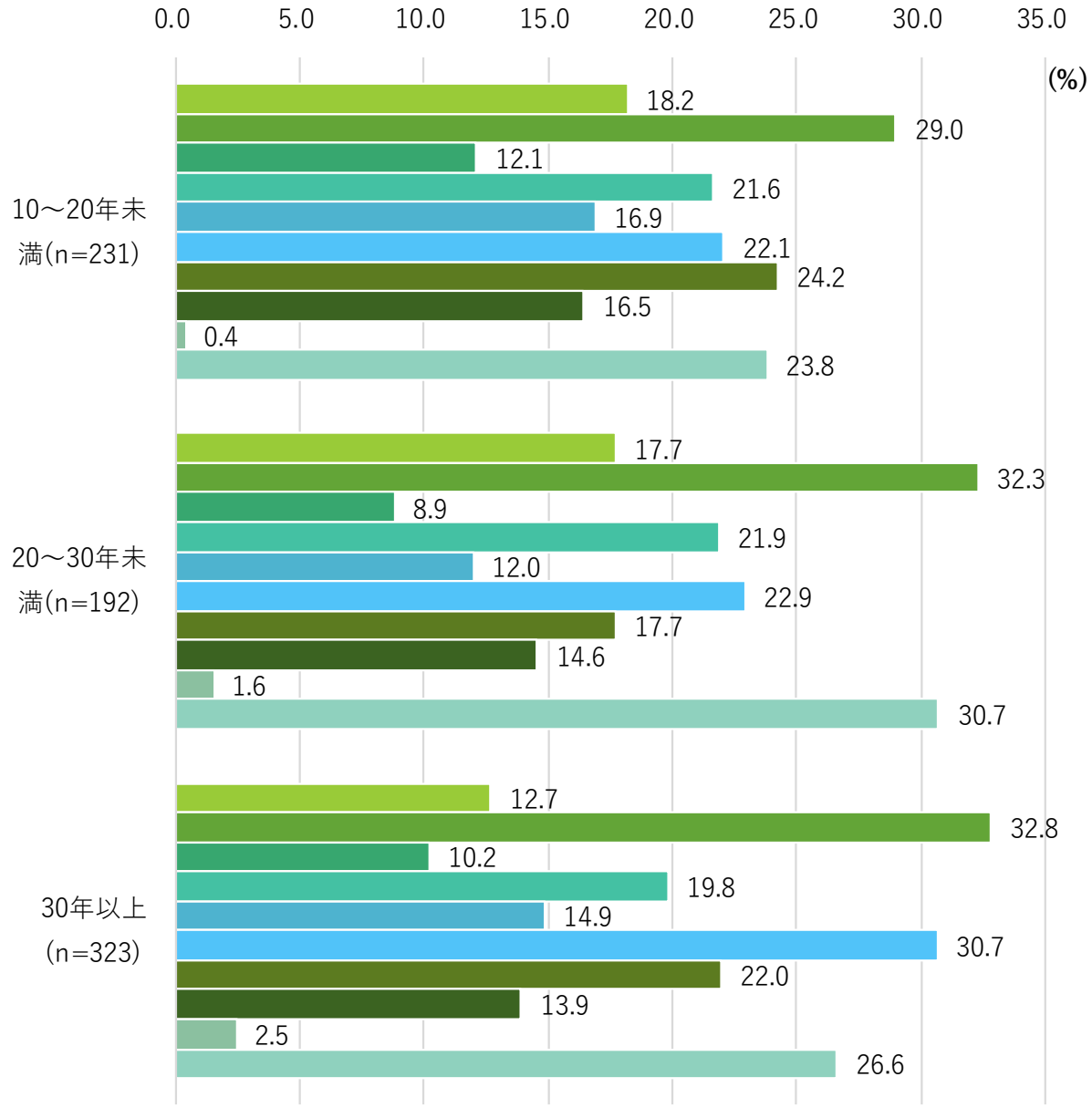



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
(%)
子どもと同居
(n=30)
20.0
33.3
10.0
26.7
6.7
13.3
16.7
16.7
3.3
26.7
親・配偶者と
同居(n=29)
13.8
27.6
6.9
24.1
10.3
31.0
27.6
13.8
0.0
24.1
親と同居
(n=88)
9.1
33.0
12.5
26.1
12.5
20.5
20.5
12.5
2.3
25.0
その他(n=18)
11.1
33.3
5.6
38.9
22.2
27.8
22.2
16.7
5.6
22.2

【在住歴別】

- ３年未満において「鳥、昆虫などの生きものが生息できる植栽や水辺を充実させる」が全体の集計結果より低く、「船着場の常時利用や舟運など、水辺に親しめる事業を行う」がやや低い。
- 3～5 年未満において「利用ルールを緩和して、できることを増やす」「キッチンカー、カフェなど飲食ができる場所や機会を増やす」「水辺でのイベントやマルシェなど、区民がやりたいことをできる仕組みをつくる」が全体の集計結果よりやや高く、「鳥、昆虫などの生きものが生息できる植栽や水辺を充実させる」がやや低い。
- 30 年以上において「鳥、昆虫などの生きものが生息できる植栽や水辺を充実させる」が全体の集計結果より高い。

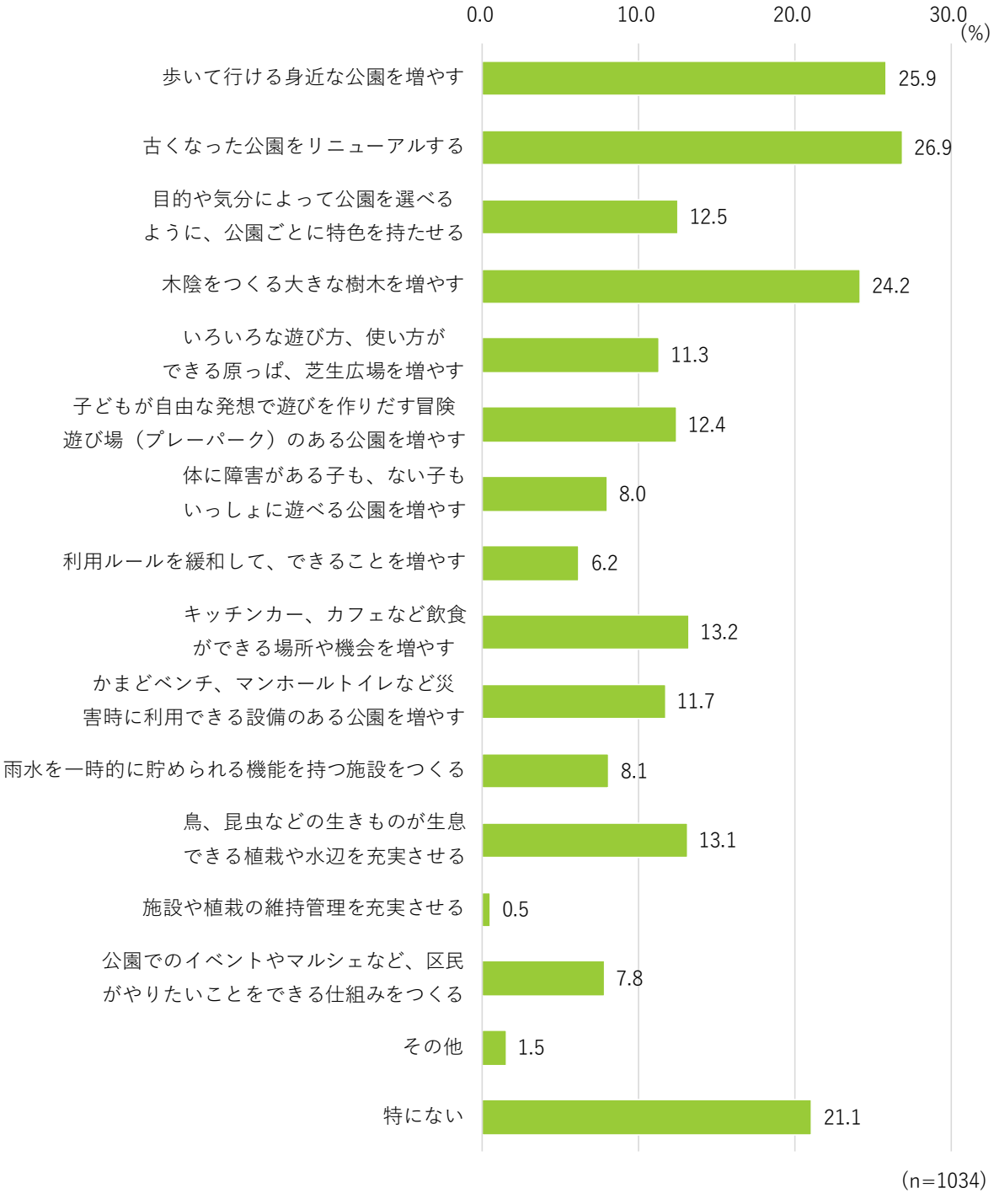



0.0
5.0
10.0
15.0
20.0
25.0
30.0
35.0
(%)
10～20年未満(n=231)
18.2
29.0
12.1
21.6
16.9
22.1
24.2
16.5
0.4
23.8
20～30年未満(n=192)
17.7
32.3
8.9
21.9
12.0
22.9
17.7
14.6
1.6
30.7
30年以上(n=323)
12.7
32.8
10.2
19.8
14.9
30.7
22.0
13.9
2.5
26.6

（4）区内の公園に関して区役所に期待する取組

Q　あなたが葛飾区内の公園に関して区役所に期待する取組は何ですか。特に重要だと思うものを３つまで選んでください。

- 「古くなった公園をリニューアルする」（26.9%）、「歩いて行ける身近な公園を増やす」（25.9%）、「木陰をつくる大きな樹木を増やす」（24.2%）の割合が高い。

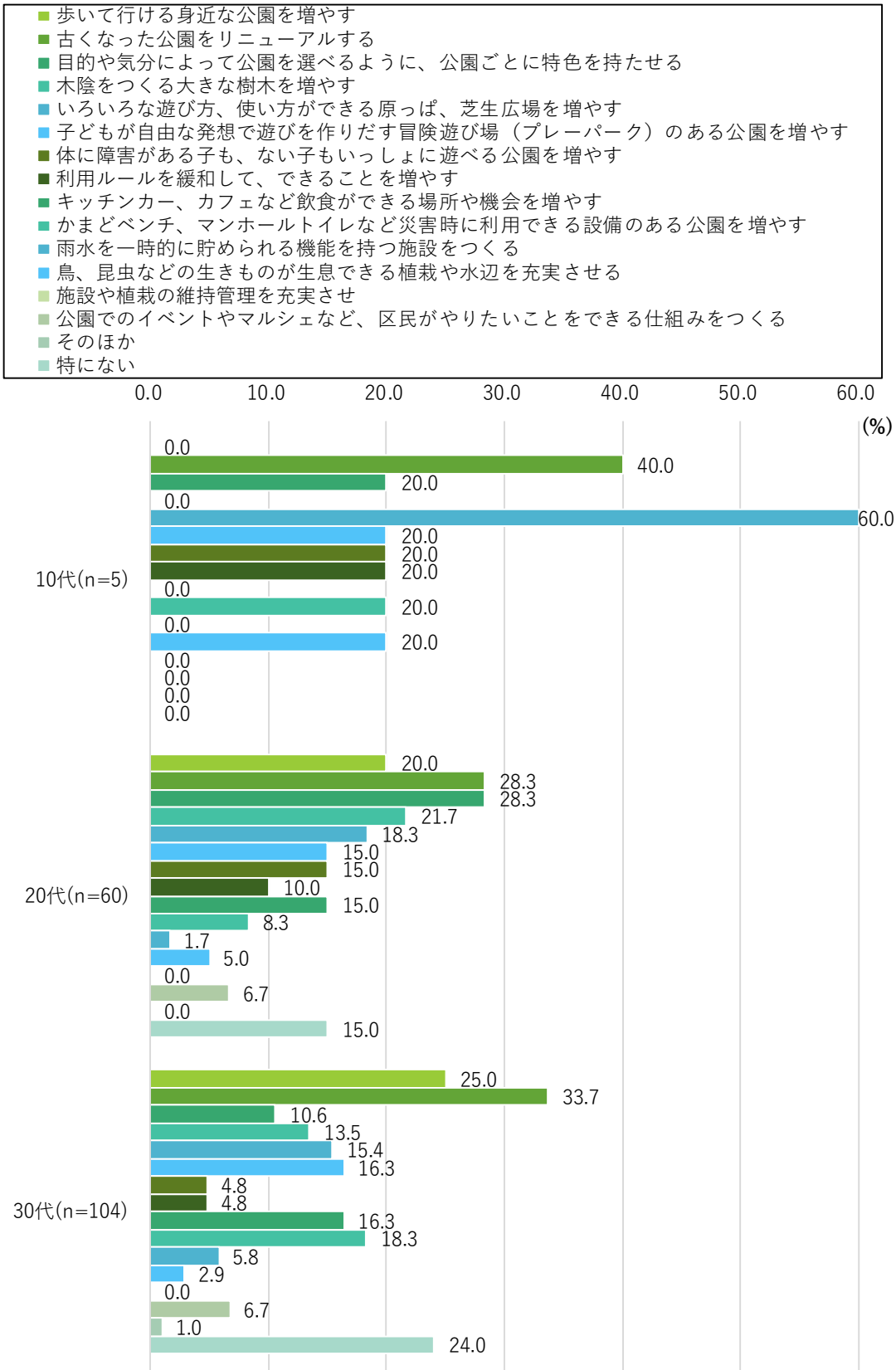


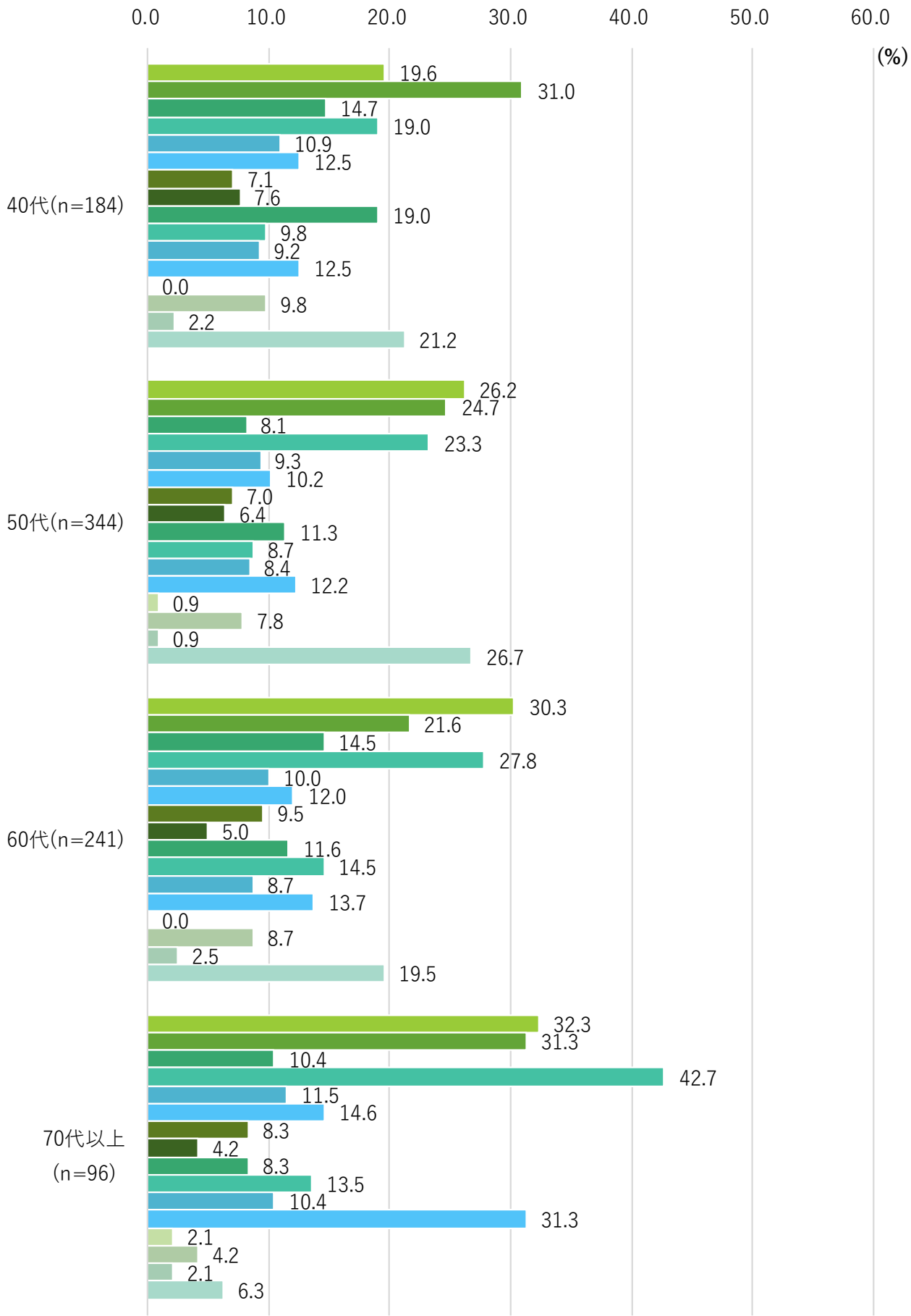
「施設や植栽の維持管理を充実させる」の具体的な内容
・古い大木を切る
・公園や歩道の雑草を放置しない
・樹木管理と除草ができてない
・清掃の労力たるや理解が必要
・老朽化が目立つ

「そのほか」の回答
・清潔なトイレの設置
・トイレにウォシュレット
・キレイなトイレを整備する
・タバコ禁止
・禁煙の徹底
・狭い公園では子供優先で、高齢者は入れない。
・安心安全の確保
・全ては子供の為に、が必要です
・災害時の井戸、トイレの充実
・芝生を増やしてほしい
・ドッグラン
・サッカー野球などのボール遊びができる公園
・自転車を入れない
・ボール遊びや花火、自転車やキックボードの乗り入れ等、危険を伴う行為に関するルールを明確化し周知する
・ここに出てる全て必要。さっきから３つとか少ない。
・とにかく、計画性を持って事業を進めてもらいたい

【年齢別】

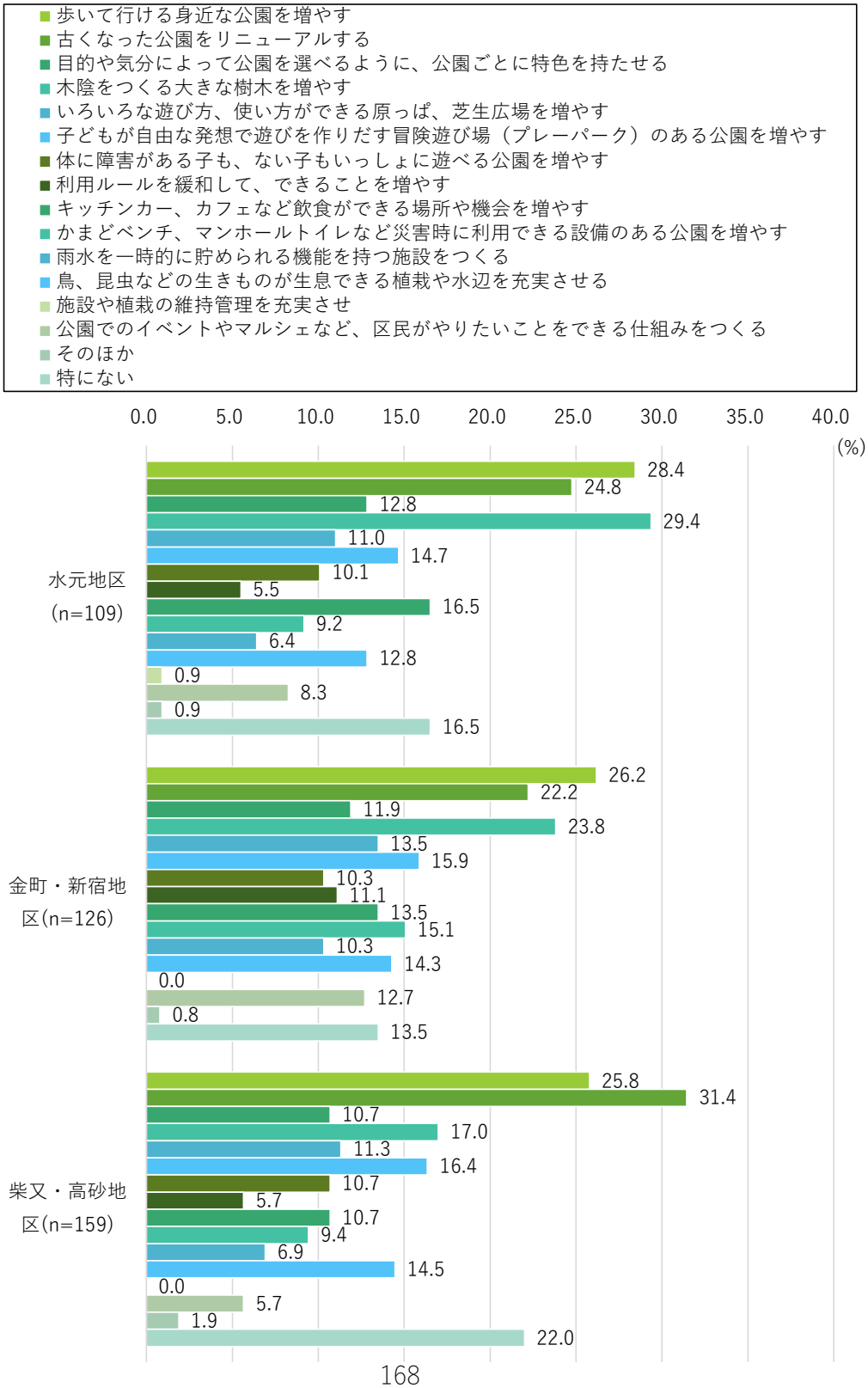
- 20 代において「目的や気分によって公園を選べるように、公園ごとに特色を持たせる」が全体の集計結果より高い。
- 30 代において「木陰をつくる大きな樹木を増やす」「鳥、昆虫などの生きものが生息できる植栽や水辺を充実させる」が全体の集計結果より低い。
- 70 代において「木陰をつくる大きな樹木を増やす」「鳥、昆虫などの生きものが生息できる植栽や水辺を充実させる」が全体の集計結果より高く、「特にない」が低い。

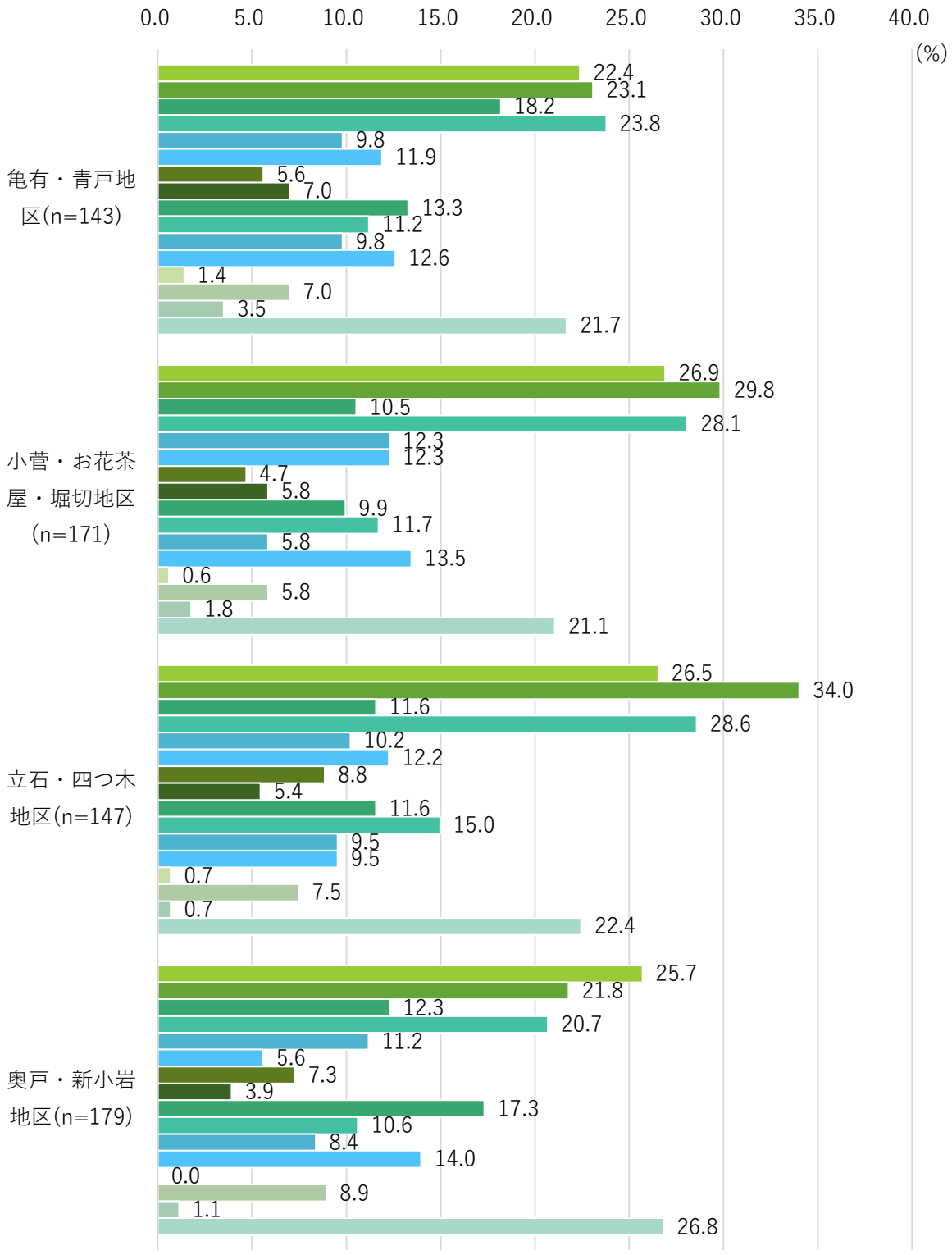



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
(%)
40代(n=184)
19.6
31.0
14.7
19.0
10.9
12.5
7.1
7.6
19.0
9.8
9.2
12.5
0.0
9.8
2.2
21.2
50代(n=344)
26.2
24.7
8.1
23.3
9.3
10.2
7.0
6.4
11.3
8.7
8.4
12.2
0.9
7.8
0.9
26.7
60代(n=241)
30.3
21.6
14.5
27.8
10.0
12.0
9.5
5.0
11.6
14.5
8.7
13.7
0.0
8.7
2.5
19.5
70代以上
(n=96)
32.3
31.3
10.4
42.7
11.5
14.6
8.3
4.2
8.3
13.5
10.4
31.3
2.1
4.2
2.1
6.3

【居住地別】

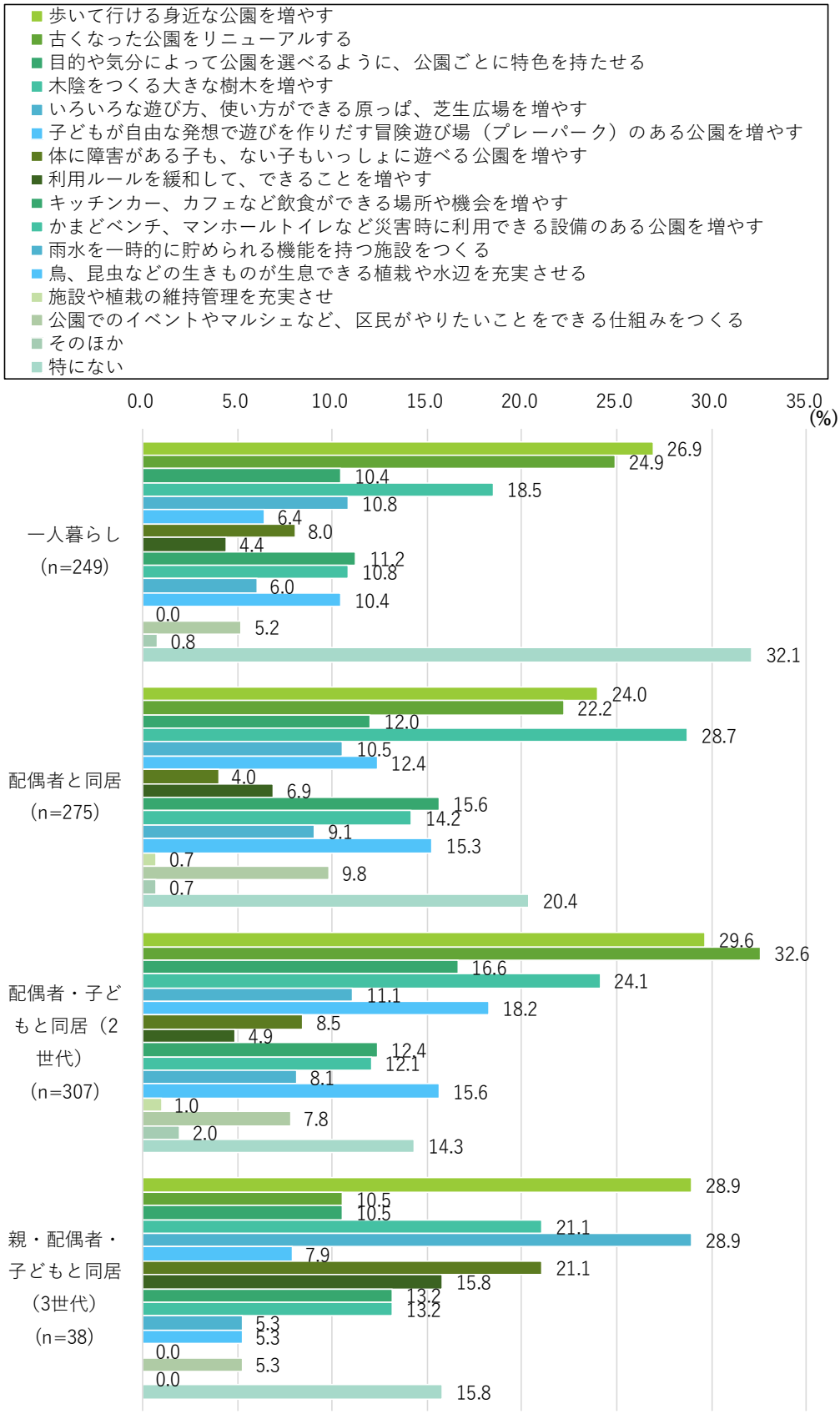
- 水元地区において「木陰をつくる大きな樹木を増やす」が全体の集計結果よりやや高い。
- 金町・新宿地区において「特にない」が全体の集計結果よりやや低い。
- 柴又・高砂地区において「木陰をつくる大きな樹木を増やす」が全体の集計結果よりやや低い。
- 亀有・青戸地区において「目的や気分によって公園を選べるように、公園ごとに特色を持たせる」が全体の集計結果よりやや高い。
- 立石・四つ木地区において「古くなった公園をリニューアルする」が全体の集計結果よりやや高い。
- 奥戸・新小岩地区は「特にない」が全体の集計結果よりやや高い。また、「古くなった公園をリニューアルする」「子どもが自由な発想で遊びを作りだす冒険遊び場（プレーパーク）のある公園を増やす」がやや低い。

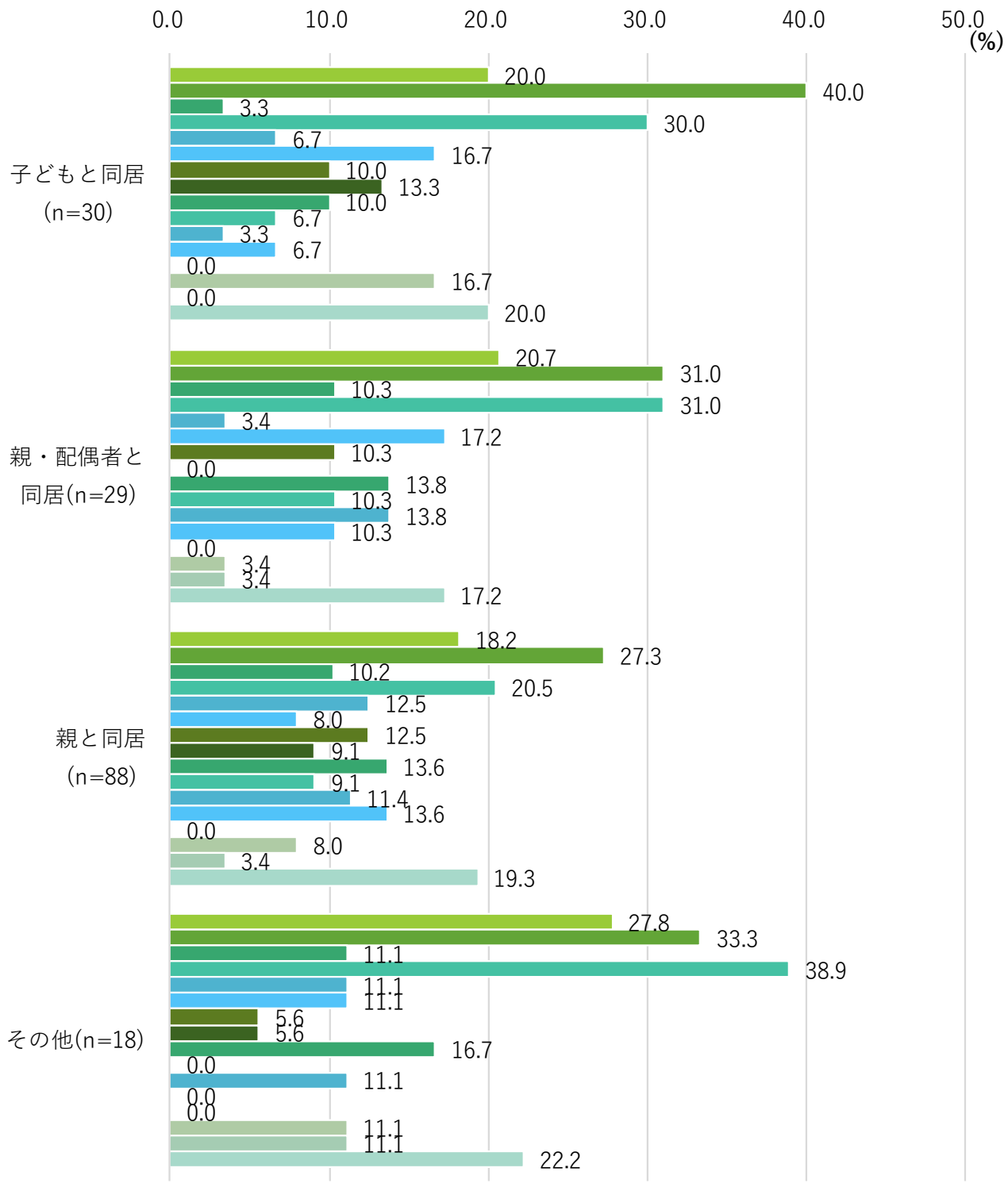



0.0
5.0
10.0
15.0
20.0
25.0
30.0
35.0
40.0
(%)
亀有・青戸地区(n=143)
22.4
23.1
18.2
23.8
9.8
11.9
5.6
7.0
13.3
11.2
9.8
12.6
1.4
7.0
3.5
21.7
小菅・お花茶屋・堀切地区(n=171)
26.9
29.8
10.5
28.1
12.3
12.3
4.7
5.8
9.9
11.7
5.8
13.5
0.6
5.8
1.8
21.1
立石・四つ木地区(n=147)
26.5
34.0
11.6
28.6
10.2
12.2
8.8
5.4
11.6
15.0
9.5
9.5
0.7
7.5
0.7
22.4
奥戸・新小岩地区(n=179)
25.7
21.8
12.3
20.7
11.2
5.6
7.3
3.9
17.3
10.6
8.4
14.0
0.0
8.9
1.1
26.8

【世帯構成別】

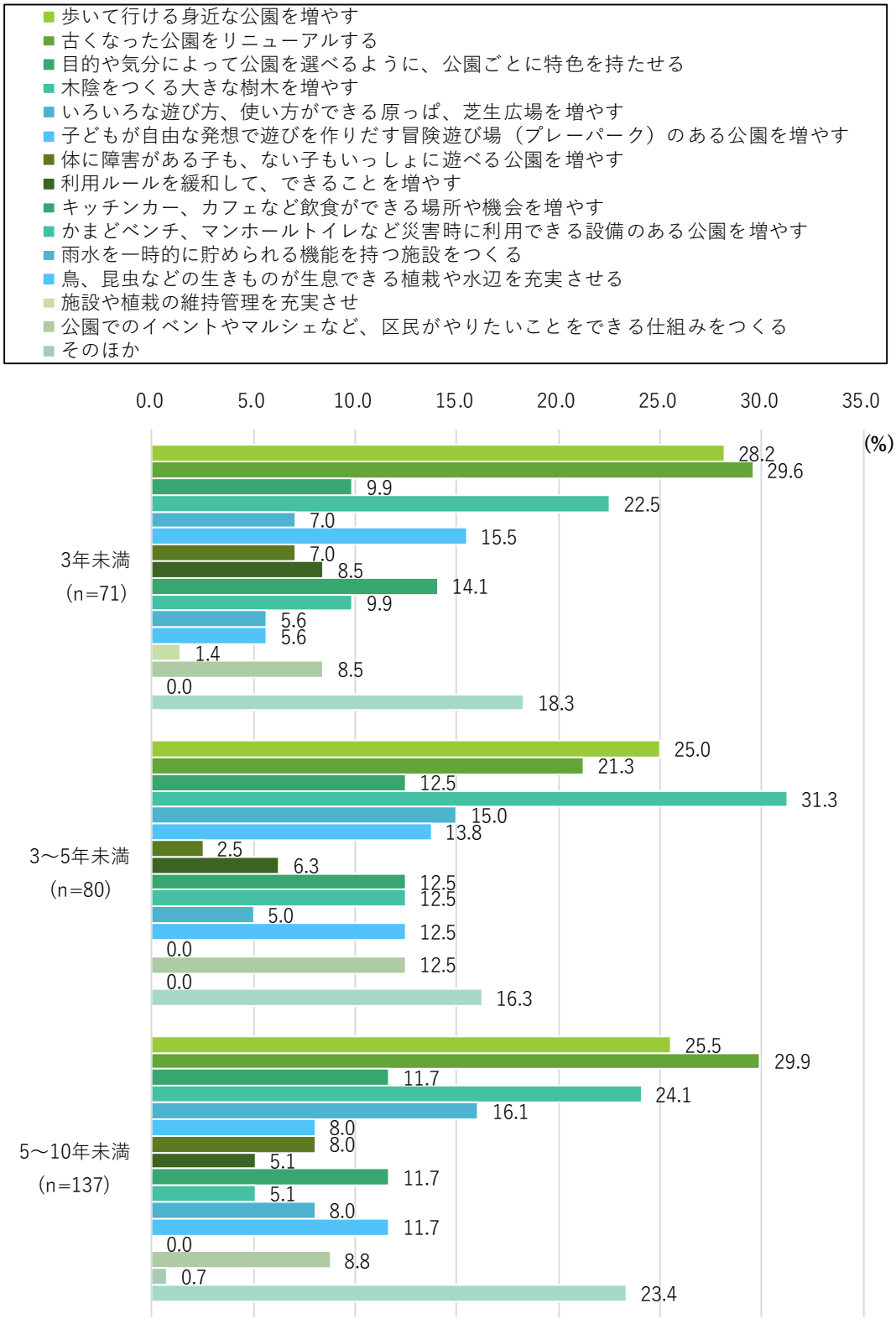
- 親・配偶者・子どもと同居（3 世代）において「いろいろな遊び方、使い方ができる原っぱ、芝生広場を増やす」「体に障害がある子も、ない子もいっしょに遊べる公園を増やす」が全体の集計結果より高い。また、子どもと同居において「古くなった公園をリニューアルする」が高い。（いずれも母数が少ないため参考値）



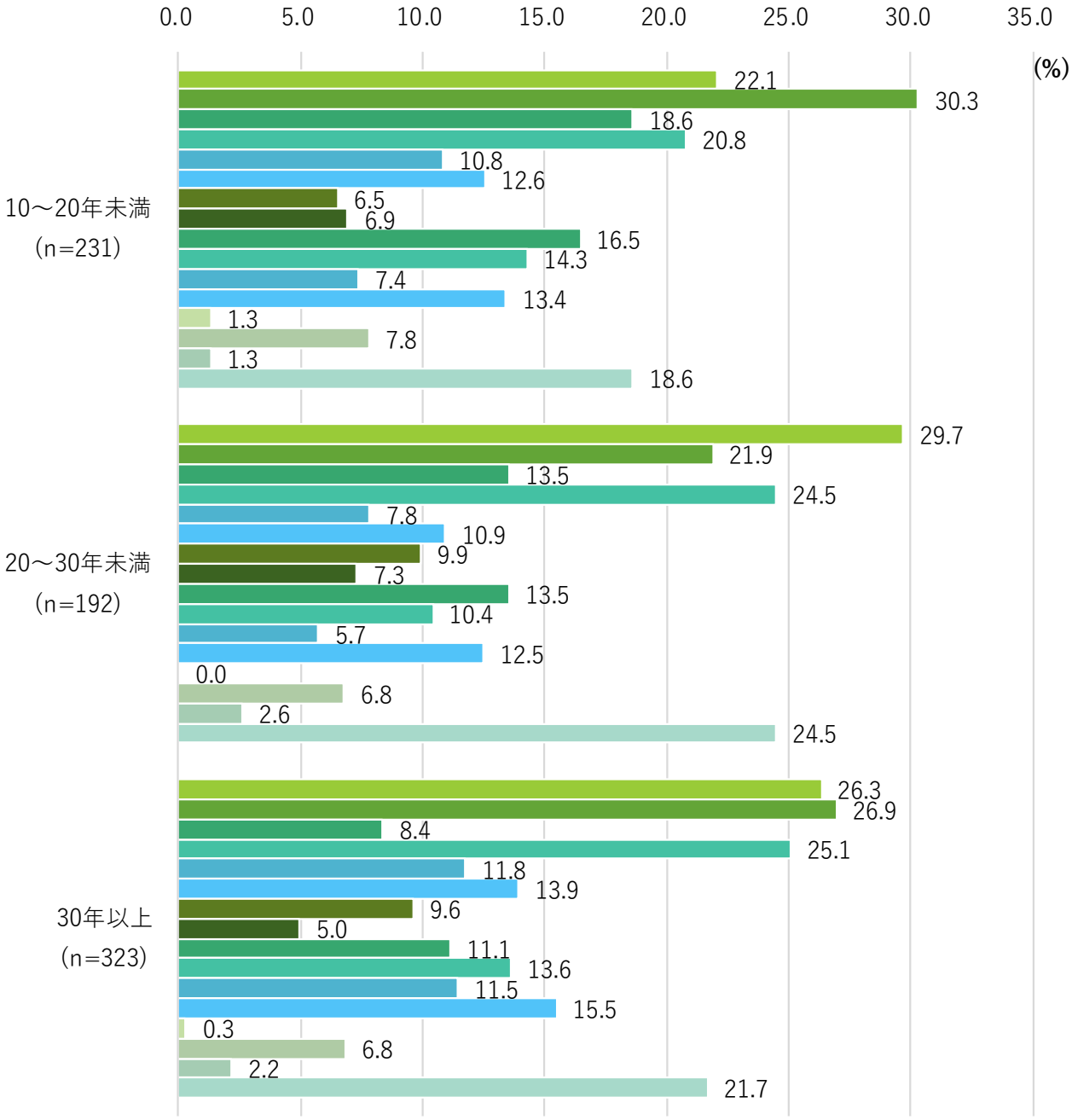

0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
(%)
子どもと同居
(n=30)
20.0
40.0
3.3
30.0
6.7
16.7
10.0
13.3
10.0
6.7
3.3
6.7
0.0
16.7
0.0
20.0
親・配偶者と
同居(n=29)
20.7
31.0
10.3
31.0
3.4
17.2
10.3
0.0
13.8
10.3
13.8
10.3
0.0
3.4
3.4
17.2
親と同居
(n=88)
18.2
27.3
10.2
20.5
12.5
8.0
12.5
9.1
13.6
9.1
11.4
13.6
0.0
8.0
3.4
19.3
その他(n=18)
27.8
33.3
11.1
38.9
11.1
11.1
5.6
5.6
16.7
0.0
11.1
0.0
0.0
11.1
11.1
22.2

【在住歴別】

- 3 年未満において「鳥、昆虫などの生きものが生息できる植栽や水辺を充実させる」が全体の集計結果よりやや低い。
- 3～5 年未満において「木陰をつくる大きな樹木を増やす」が全体の集計結果よりやや高い。また、「古くなった公園をリニューアルする」「体に障害がある子も、ない子もいっしょに遊べる公園を増やす」がやや低い。
- 5～10 年未満において「かまどベンチ、マンホールトイレなど災害時に利用できる設備のある公園を増やす」が全体の集計結果よりやや低い。



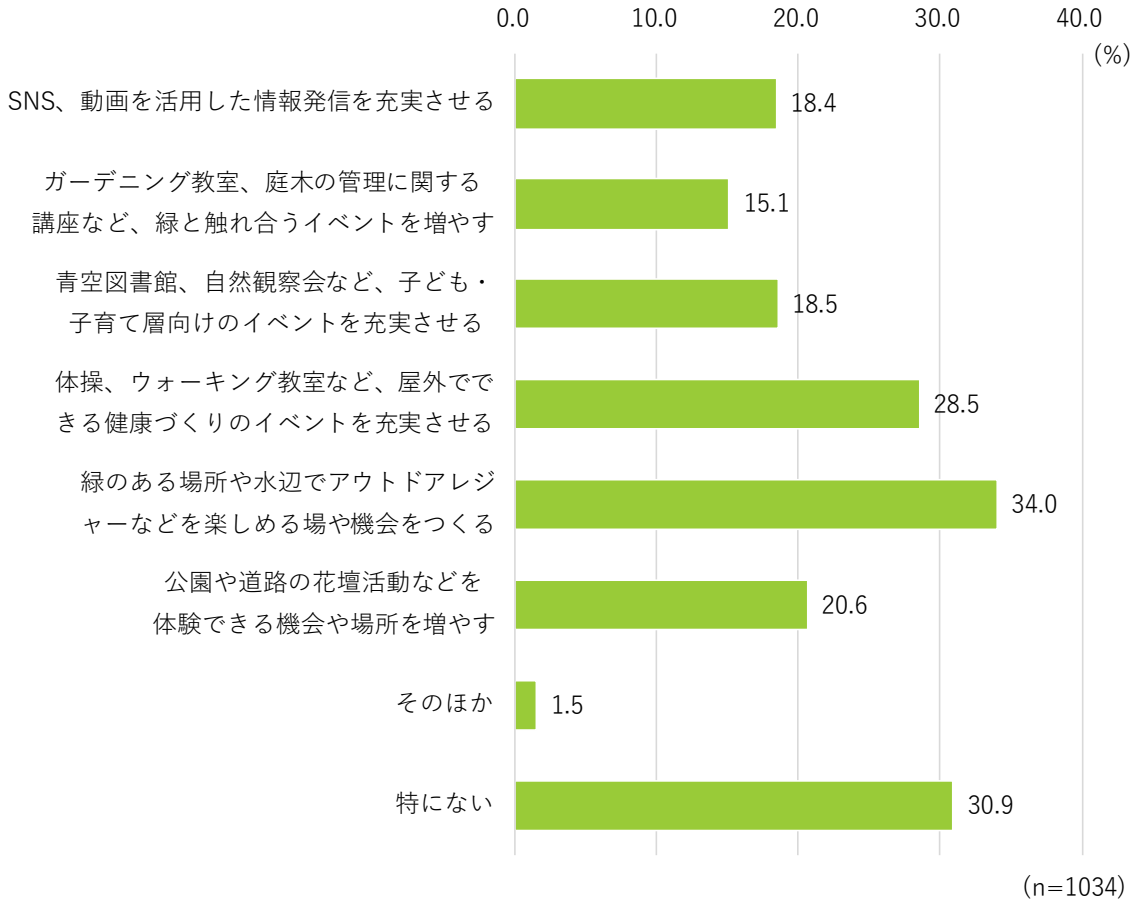
- 10～20 年未満において「古くなった公園をリニューアルする」が全体の集計結果よりやや高い。
- 20～30 年未満において「古くなった公園をリニューアルする」が全体の集計結果よりやや低い。



（5）区民が緑や水辺とふれあう機会を増やすため区役所に期待する取組

Q　区民が緑や水辺とふれあう機会を増やすため、あなたが区役所に期待する取組は何ですか。特に重要だと思うものを３つまで選んでください。

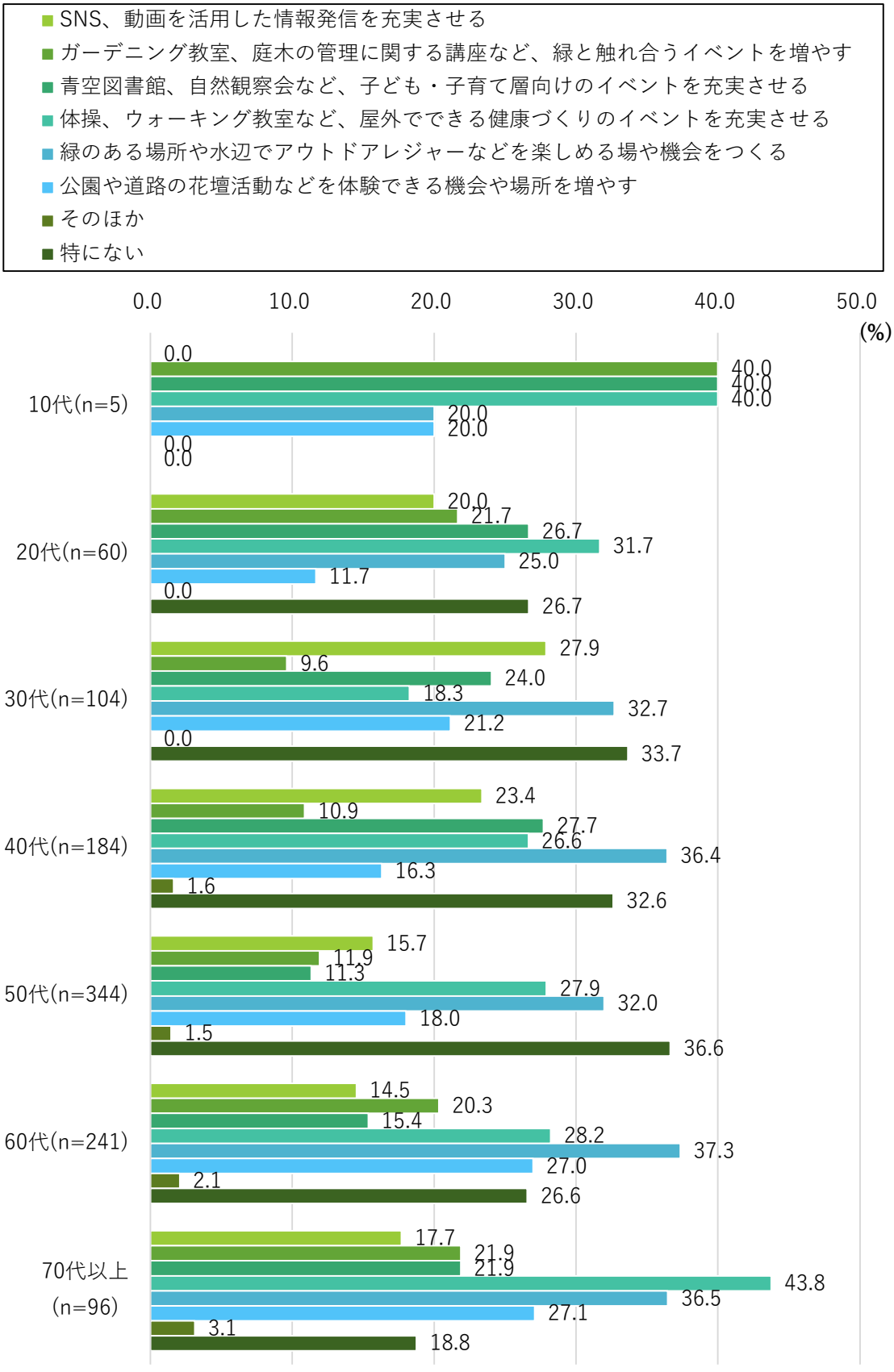
- 「緑のある場所や水辺でアウトドアレジャーなどを楽しめる場や機会をつくる」(34.0%)が最も多く、次いで「特にない」(30.9%)、「体操、ウォーキング教室など、屋外でできる健康づくりのイベントを充実させる」(28.5%)となっている。



「そのほか」の回答
- トイレを作ってほしい
- トイレやベンチの設置
- トイレにウォシュレット
- 子供が安心安全に遊べる様にする
- 目線を子供にしてください　公園なのだから
- 実際に公園を回ってみて確かめること
- 河川の清掃イベント
- 犬と参加できるイベントをやる
- 触れ合える施設運営を行える企業誘致
- ロードバイクを安心して止めることができる駐輪場
- 健康増進がすすむメリットがあるポイント付与
- 禁煙の徹底
- 不審者を見張る
- 路側帯・公園等の樹木と除草管理
- 水元公園の交通アクセスを良くする
- やる気

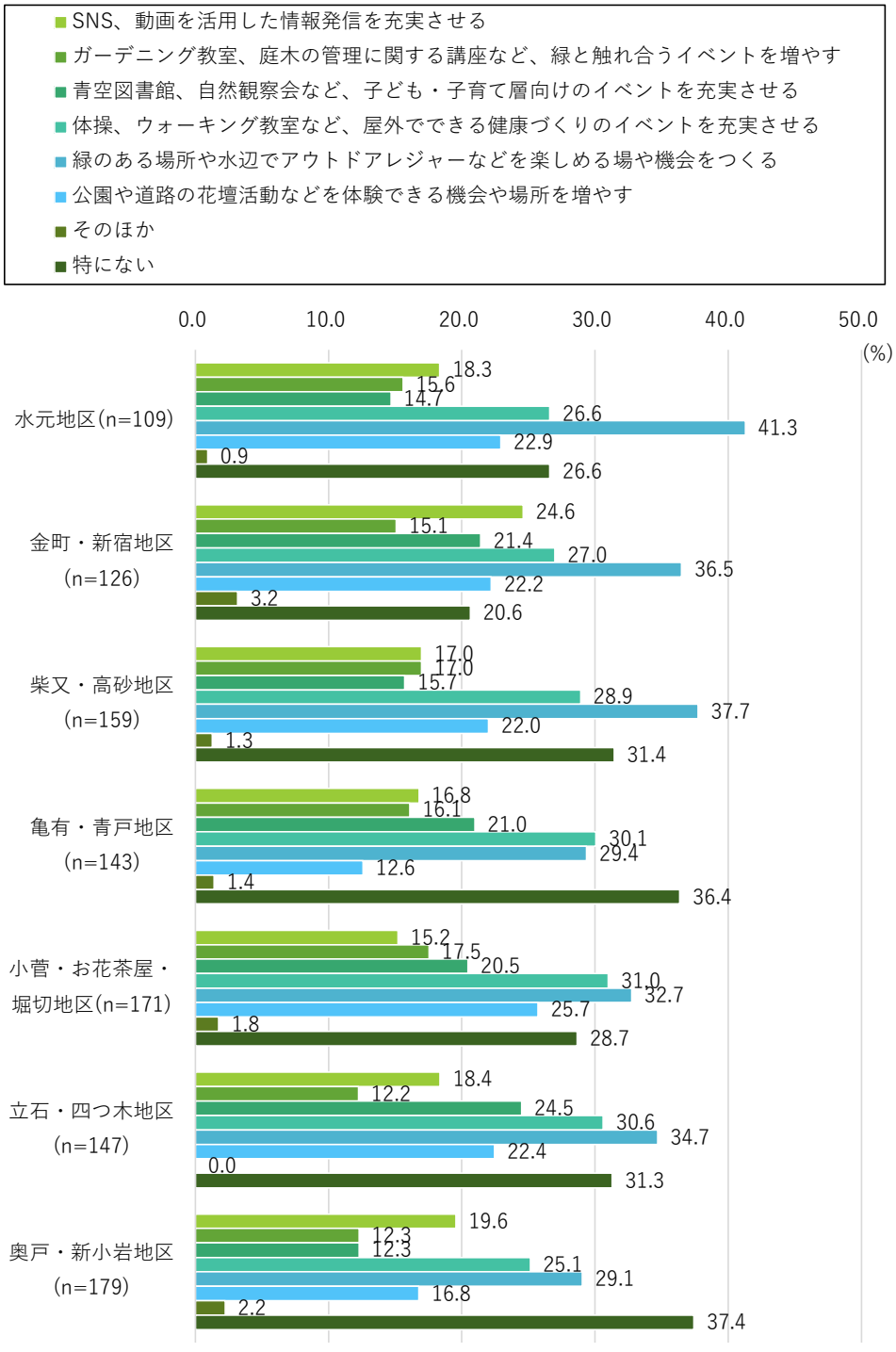
【年齢別】

- 30 代において「体操、ウォーキング教室など、屋外でできる健康づくりのイベントを充実させる」が全体の集計結果より低い。
- 70 代以上において「体操、ウォーキング教室など、屋外でできる健康づくりのイベントを充実させる」が全体の集計結果より高く、「特にない」が低い。



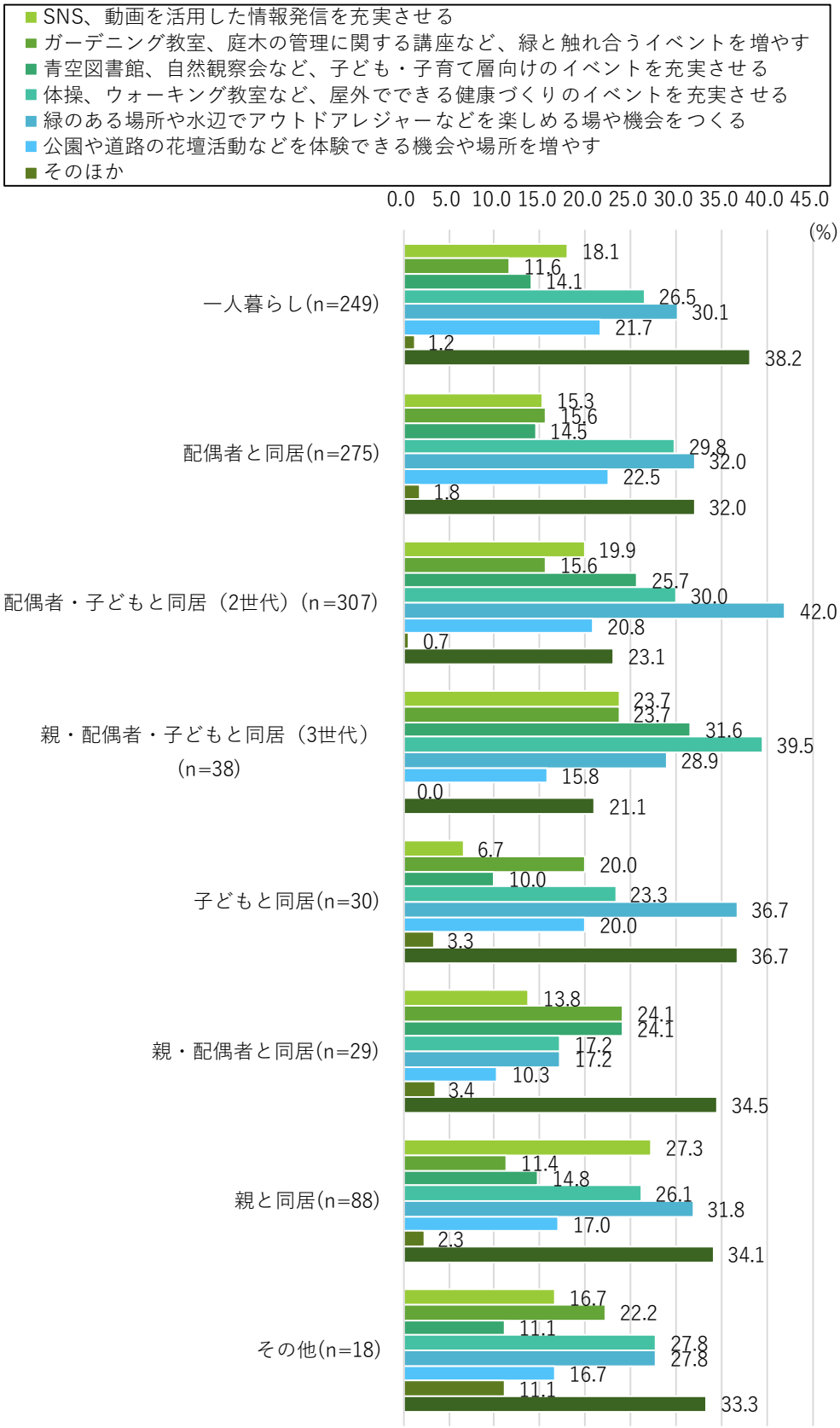
【居住地別】

- 水元地区において「緑のある場所や水辺でアウトドアレジャーなどを楽しめる場や機会をつくる」が全体の集計結果よりやや高い。
- 金町・新宿地区において「SNS、動画を活用した情報発信を充実させる」が全体の集計結果よりやや高い。また、「特にない」が低い。
- 亀有・青戸地区において「特にない」が全体の集計結果よりやや高い。また、「公園や道路の花壇活動などを体験できる機会や場所を増やす」がやや低い。
- 小菅・お花茶屋・堀切地区において「公園や道路の花壇活動などを体験できる機会や場所を増やす」が全体の集計結果よりやや高い。
- 奥戸・新小岩地区において「特にない」が全体の集計結果よりやや高く、「青空図書館、自然観察会など、子ども・子育て層向けのイベントを充実させる」がやや低い。



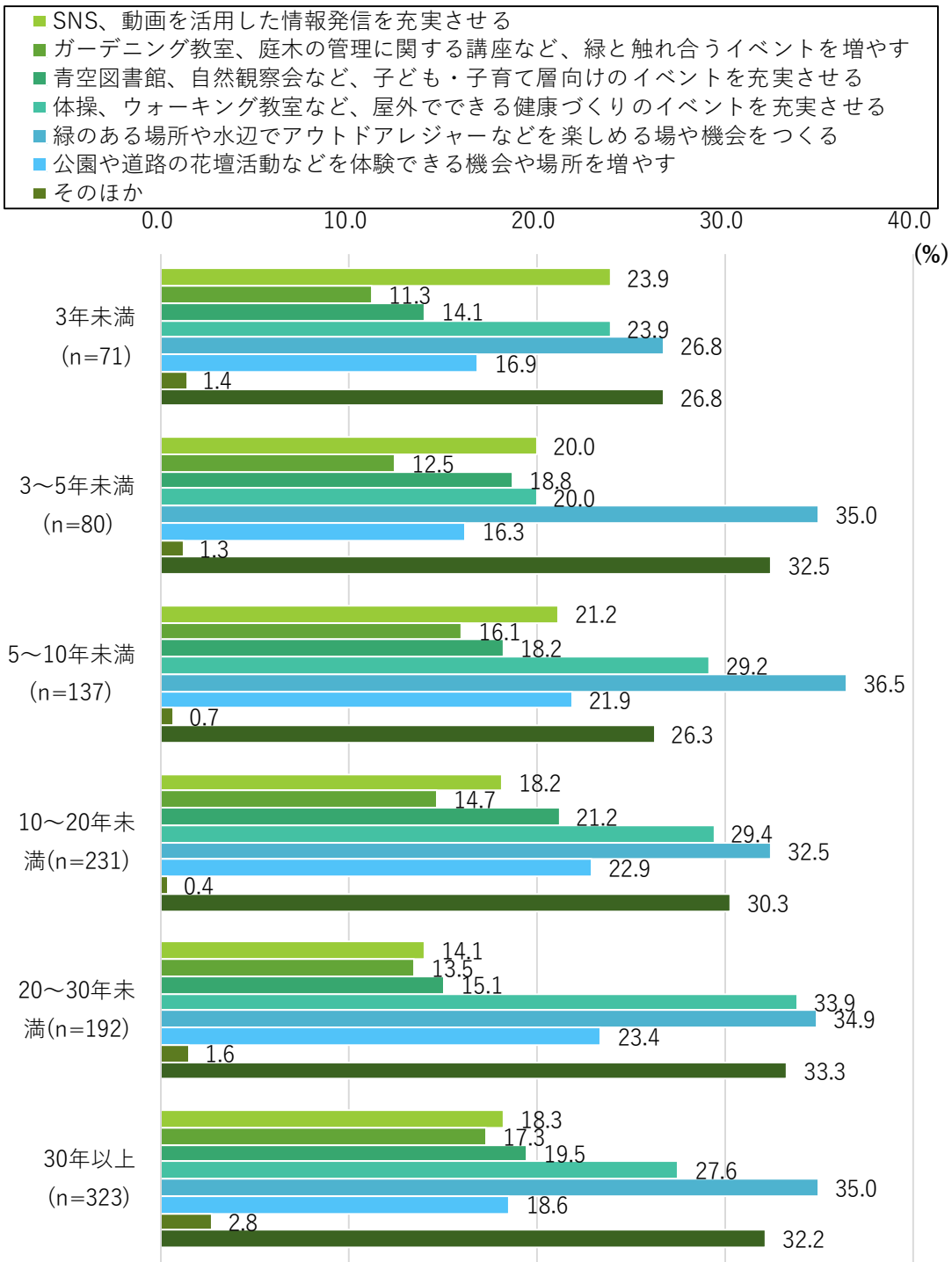
【世帯構成別】

- 親・配偶者・子どもと同居（3 世代）において「親・配偶者・子どもと同居（3 世代）」「体操、ウォーキング教室など、屋外でできる健康づくりのイベントを充実させる」が全体の集計結果より高い。また、子どもと同居において「SNS、動画を活用した情報発信を充実させる」が全体の集計結果より低い。（いずれも母数が少ないため参考値）



【在住歴別】

- 3 年未満において「SNS、動画を活用した情報発信を充実させる」が全体の集計結果よりやや高く、「緑のある場所や水辺でアウトドアレジャーなどを楽しめる場や機会をつくる」がやや低い。
- 3～5 年未満において「体操、ウォーキング教室など、屋外でできる健康づくりのイベントを充実させる」が全体の集計結果よりやや低く、20～30 年未満ではやや高い。

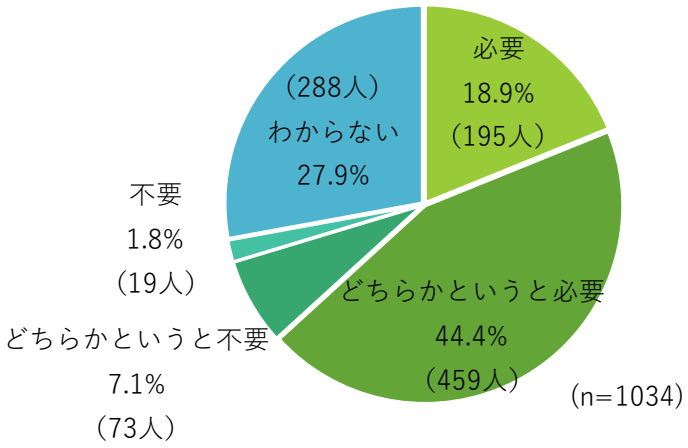


6　協働への意識

（1）緑化推進や水辺の活用によるまちの魅力向上のための協働の取組の必要性

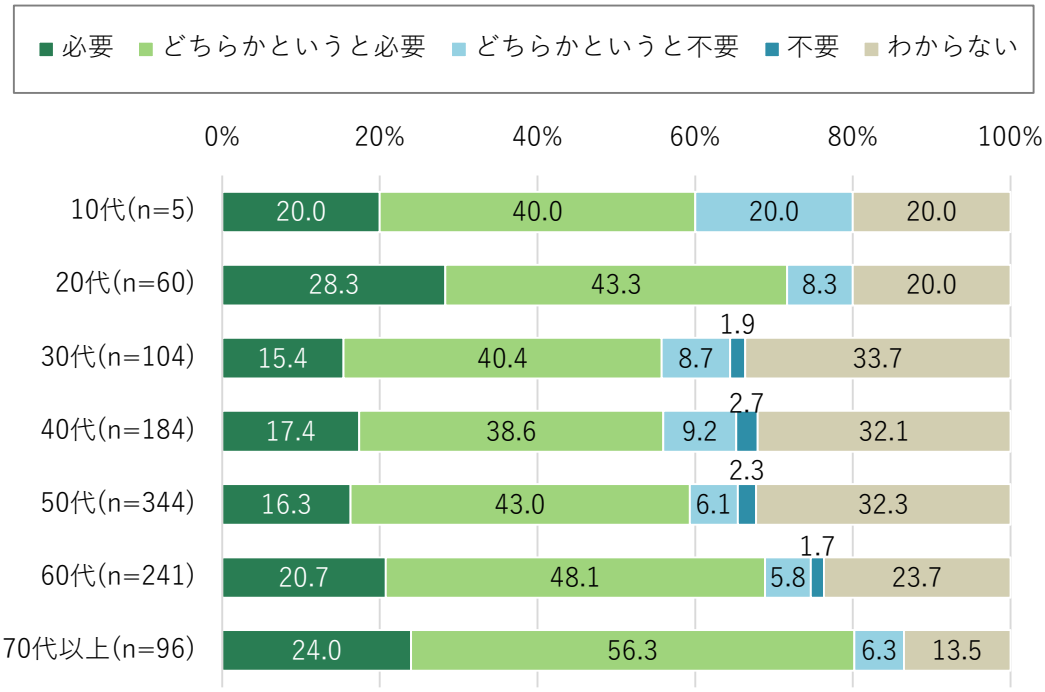
Q　緑化推進や水辺の活用によるまちの魅力向上のために、協働での取組が必要だと思いますか。

- 「必要」「どちらかというと必要」が合計 63.3%で、必要性を感じている人が多い。



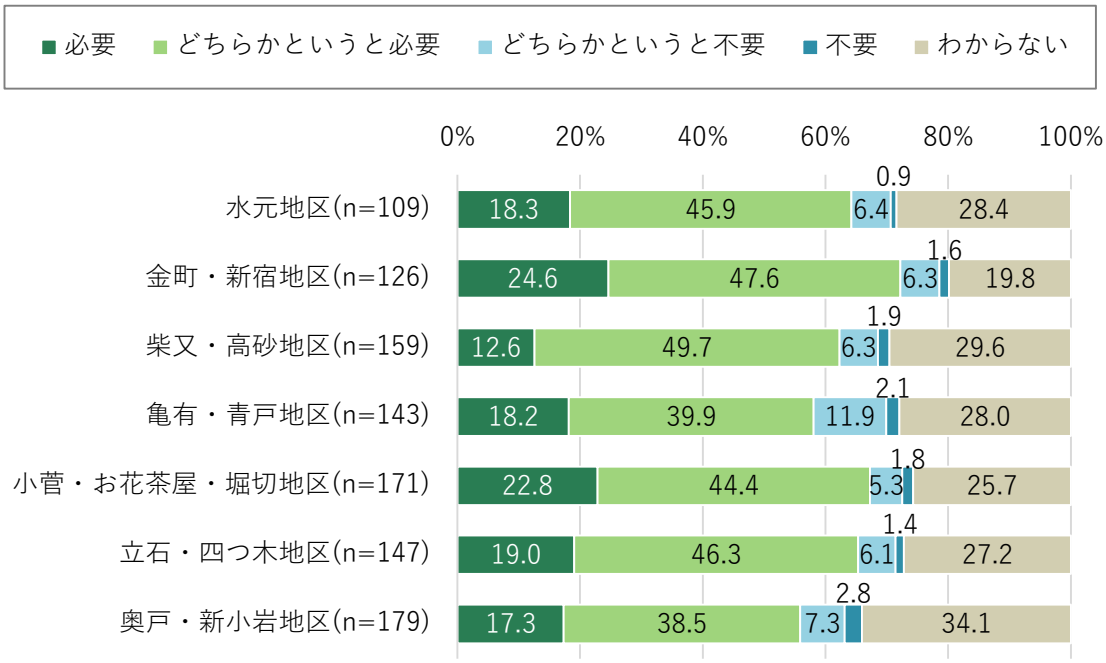
【年齢別】

- 70 代以上で「必要」「どちらかというと必要」の合計が全体の集計結果より高く、20 代、60 代でやや高い。
- 30 代、40 代において「必要」「どちらかというと必要」の合計が全体の集計結果よりやや低い。



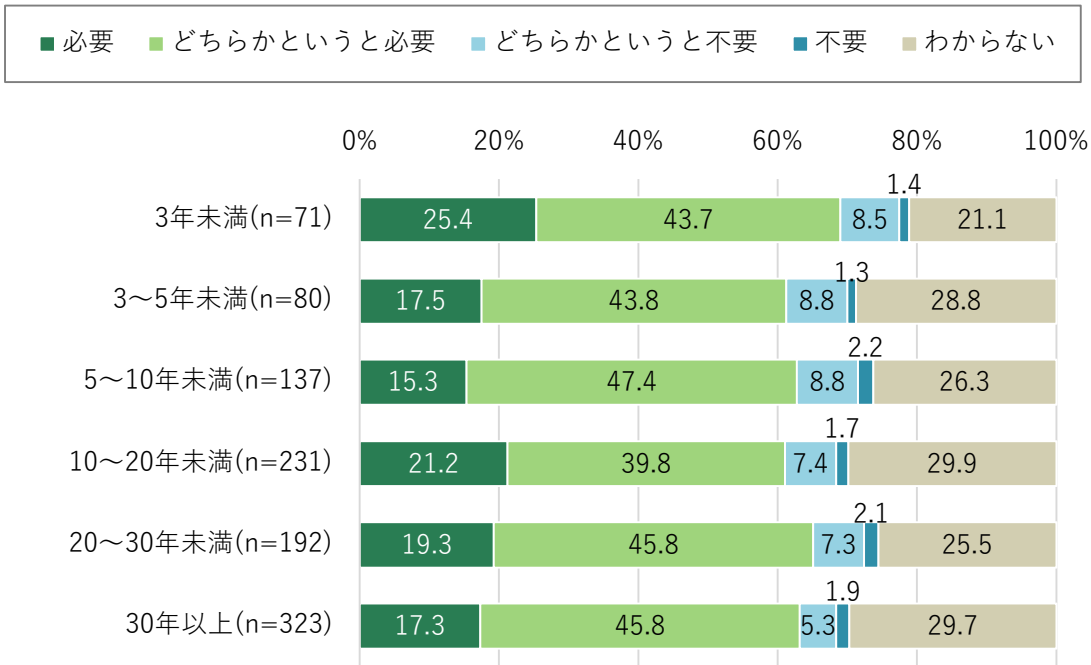
【居住地別】

- 金町・新宿地区で「必要」「どちらかというと必要」の合計が全体の集計結果よりやや高く、亀有・青戸地区、奥戸・新小岩地区でやや低い。



【在住歴別】

- 3年未満で「必要」「どちらかというと必要」の合計が全体の集計結果よりやや高い。

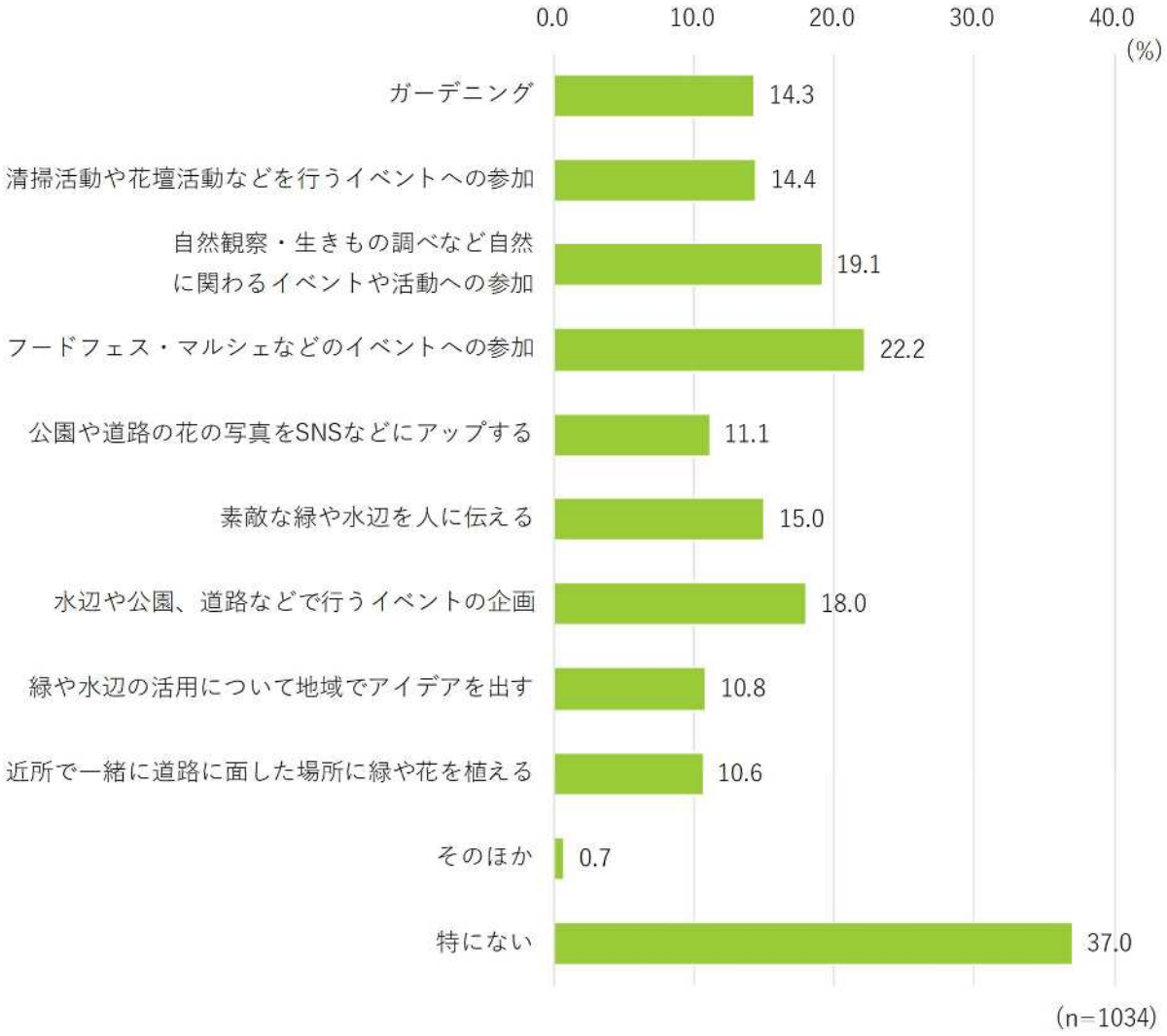


（2）緑や水辺によって、まちを今よりも魅力的なものにするためにしてみたいこと

①緑や水辺によって、まちを今よりも魅力的なものにするためにしてみたいこと

Q　緑や水辺によって、まちを今よりも魅力的なものにするために、あなたがしてみたいことはありますか。（いくつでも）

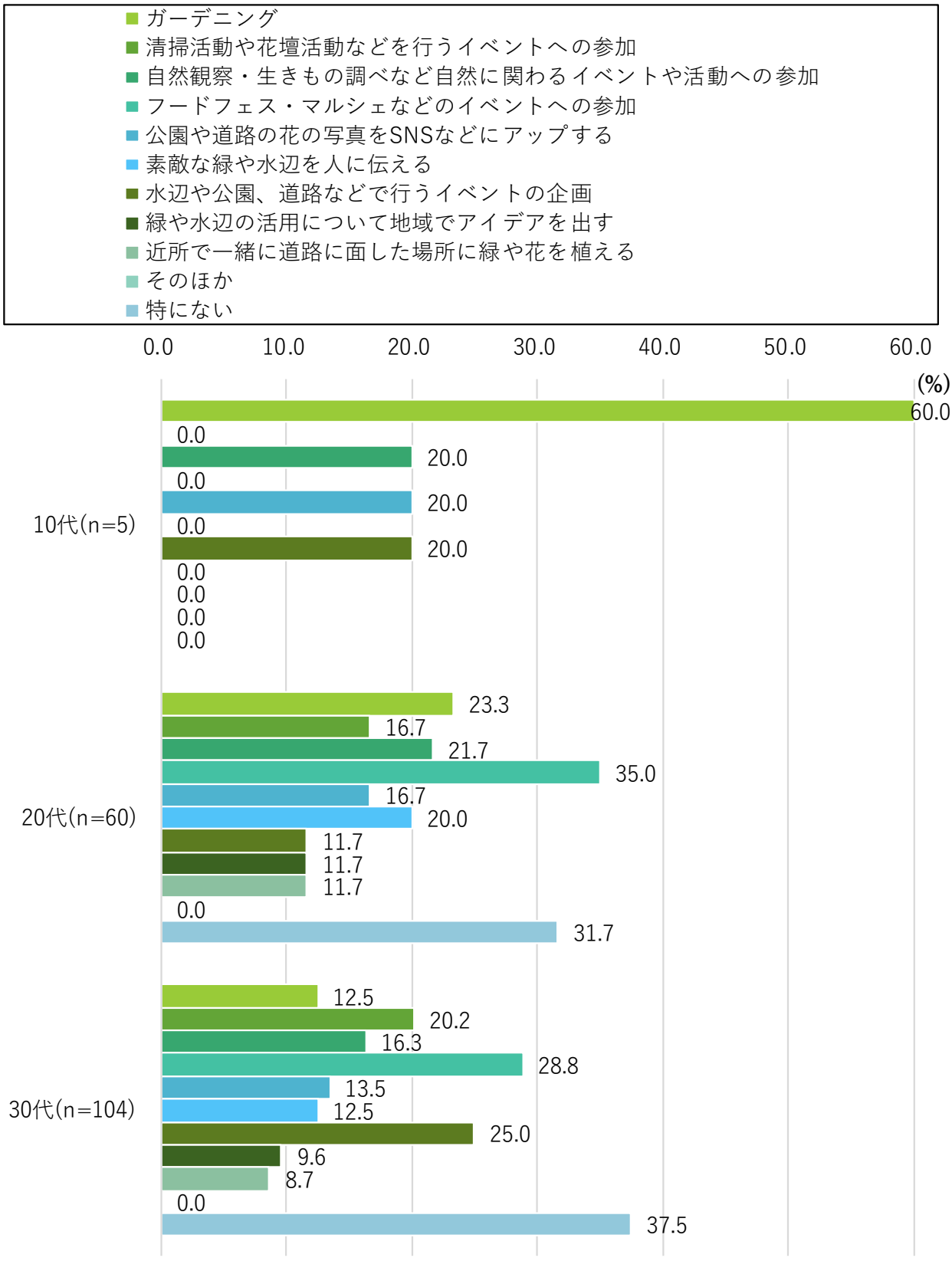
- 「特にない」（37.0%）が最も多く、次いで「フードフェス・マルシェなどのイベントへの参加」（22.2%）、「自然観察・生きもの調べなど自然に関わるイベントや活動への参加」（19.1%）、「水辺や公園、道路などで行うイベントの企画」（18.0%）となっている。

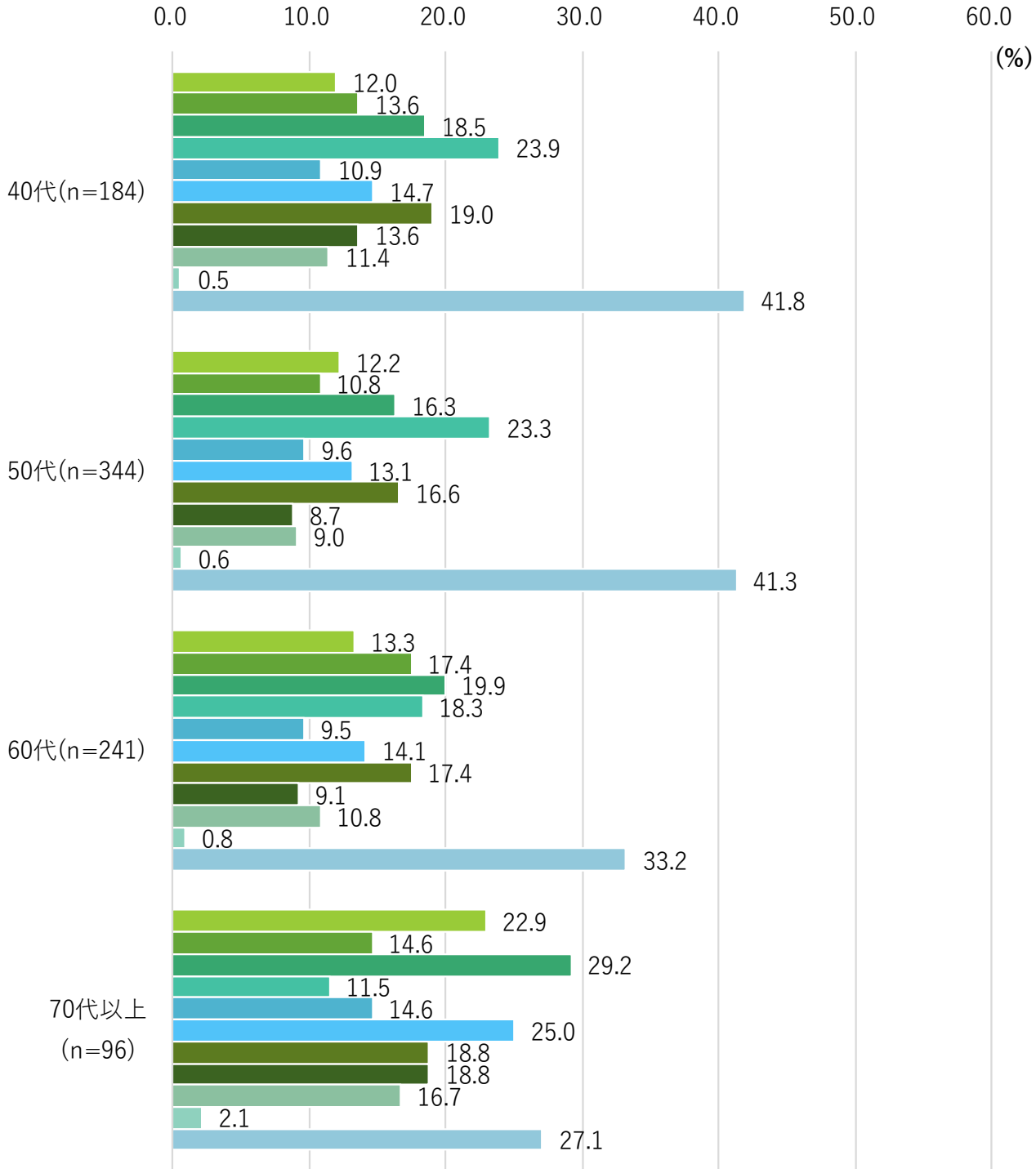


「そのほか」の回答
- 緑や水辺の手入れ、手すりなどが錆びていたり、ゴミが放置されていたり、川もとにかく汚い、葛飾区内歩きタバコ禁止を徹底するくらいの事をまずは行なってほしい
- 近くの公園の掃除　しますよ
- 不審者の監視
- 禁煙徹底活動
- きれいな緑地計画と実行
- この問題には役所が前面に出ていない
- 現在は病気療養中で外出できない

【年齢別】

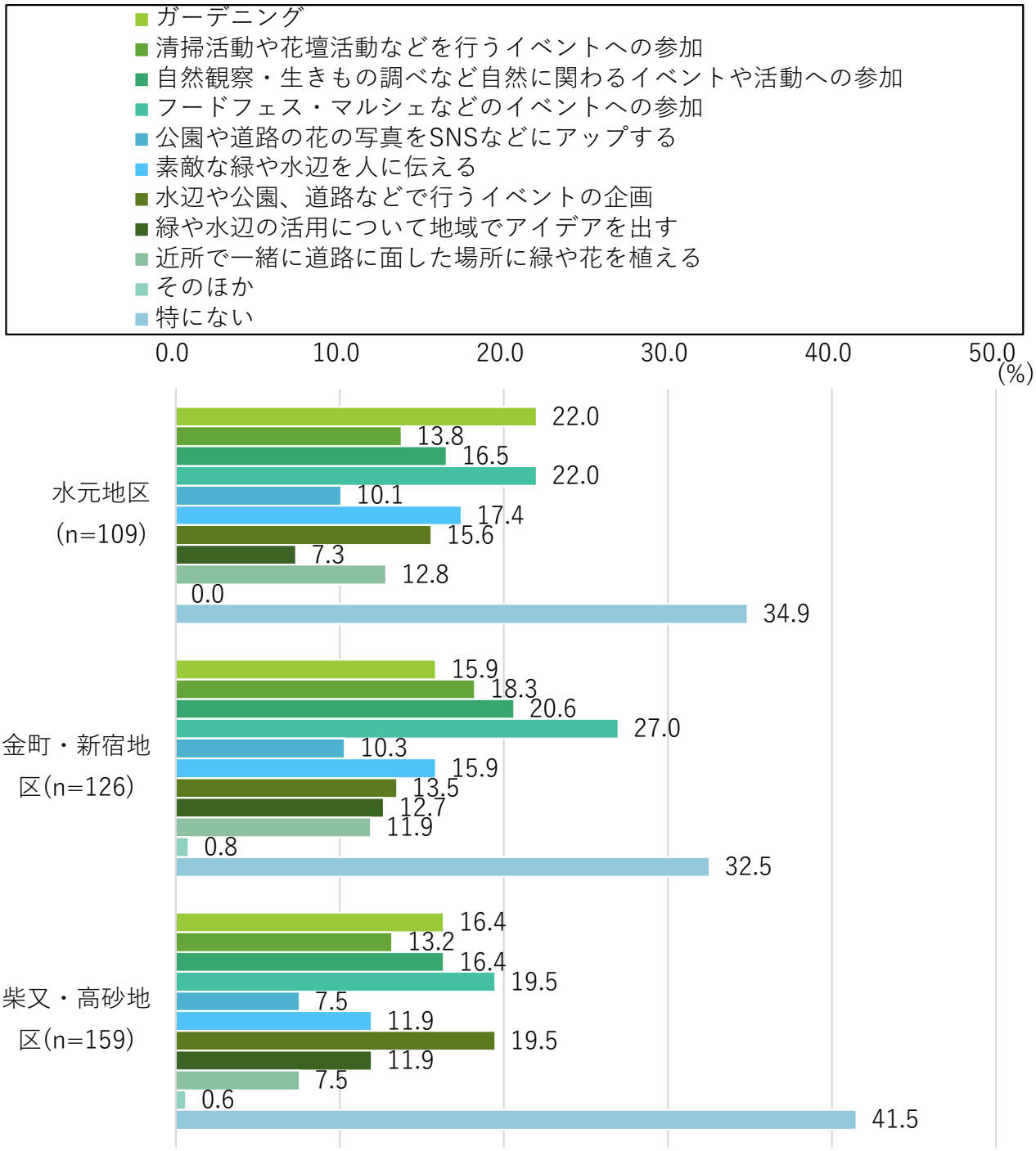
- 20 代において「フードフェス・マルシェなどのイベントへの参加」が全体の集計結果より高い。
- 70 代以上において「自然観察・生きもの調べなど自然に関わるイベントや活動への参加」「素敵な緑や水辺を人に伝える」が全体の集計結果より高く、「フードフェス・マルシェなどのイベントへの参加」が低い。

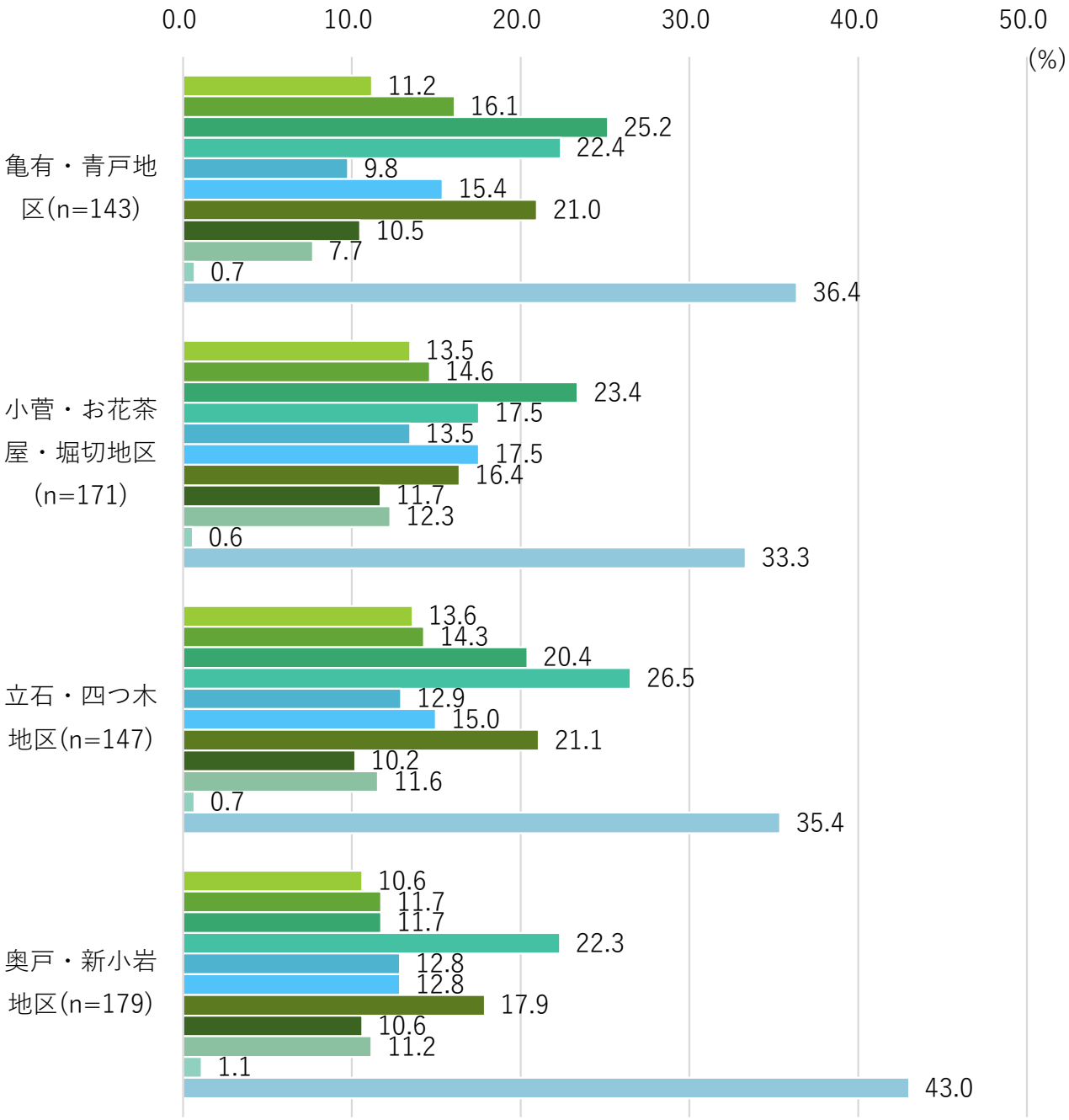



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
(%)
40代(n=184)
12.0
13.6
18.5
23.9
10.9
14.7
19.0
13.6
11.4
0.5
41.8
50代(n=344)
12.2
10.8
16.3
23.3
9.6
13.1
16.6
8.7
9.0
0.6
41.3
60代(n=241)
13.3
17.4
19.9
18.3
9.5
14.1
17.4
9.1
10.8
0.8
33.2
70代以上
(n=96)
22.9
14.6
29.2
11.5
14.6
25.0
18.8
18.8
16.7
2.1
27.1

【居住地別】

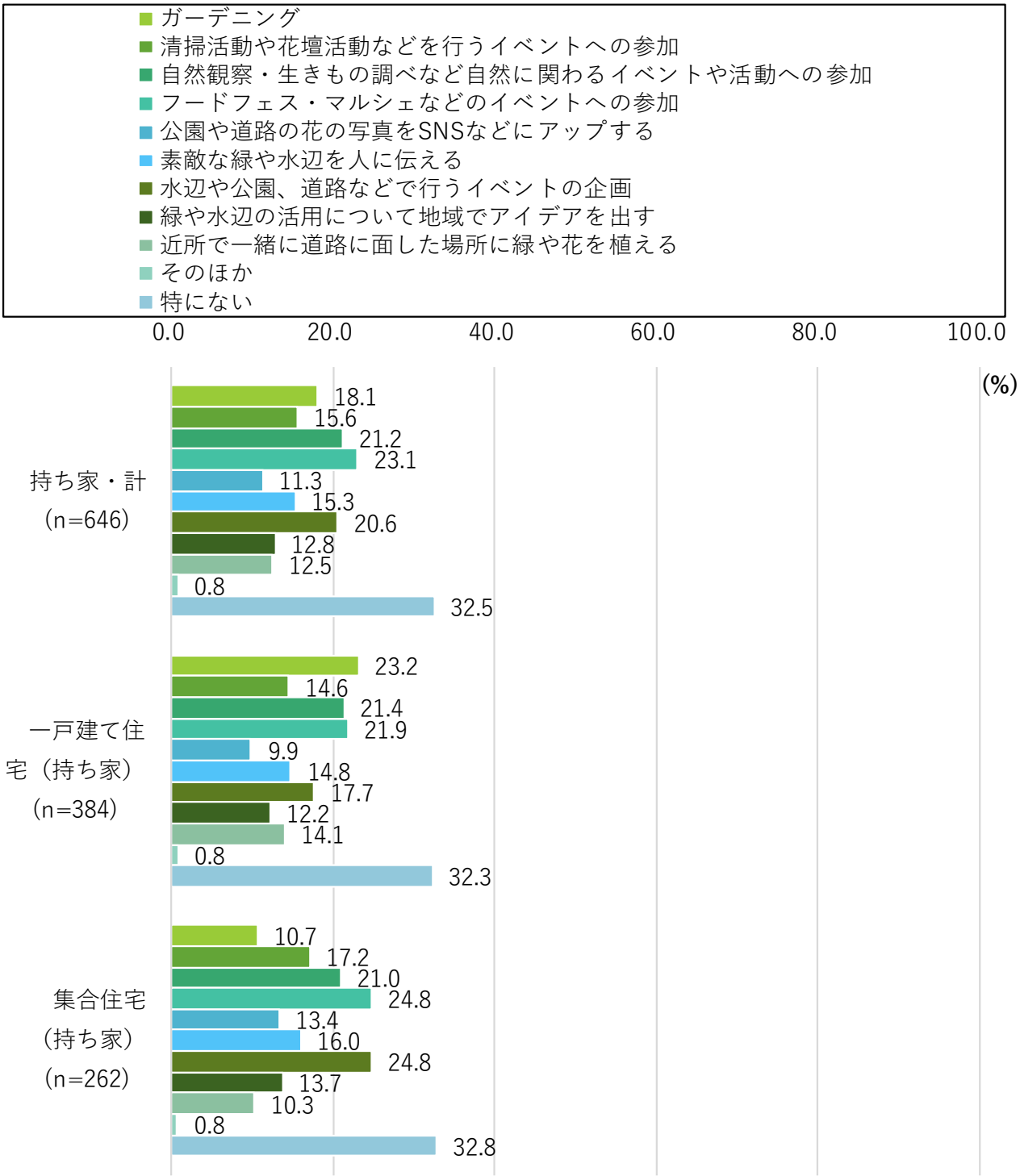
- 水元地区において「ガーデニング」が全体の集計結果よりやや高い。
- 亀有・青戸地区において「自然観察・生きもの調べなど自然に関わるイベントや活動への参加」が全体の集計結果よりやや高く、奥戸・新小岩地区ではやや低い。

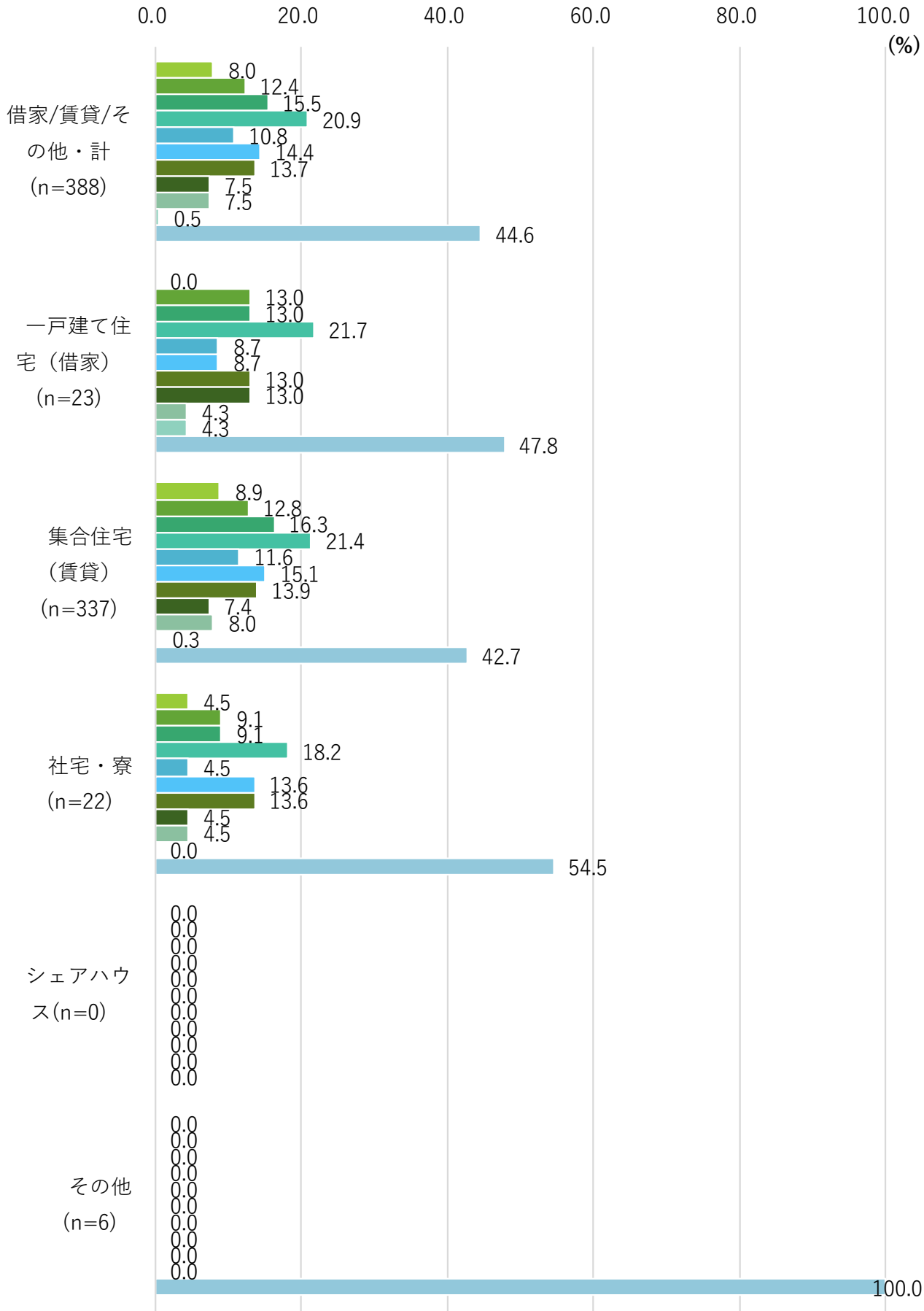



0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
(%)
亀有・青戸地区(n=143)
11.2
16.1
25.2
22.4
9.8
15.4
21.0
10.5
7.7
0.7
36.4
小菅・お花茶屋・堀切地区(n=171)
13.5
14.6
23.4
17.5
13.5
17.5
16.4
11.7
12.3
0.6
33.3
立石・四つ木地区(n=147)
13.6
14.3
20.4
26.5
12.9
15.0
21.1
10.2
11.6
0.7
35.4
奥戸・新小岩地区(n=179)
10.6
11.7
11.7
22.3
12.8
12.8
17.9
10.6
11.2
1.1
43.0

【住居形態別】

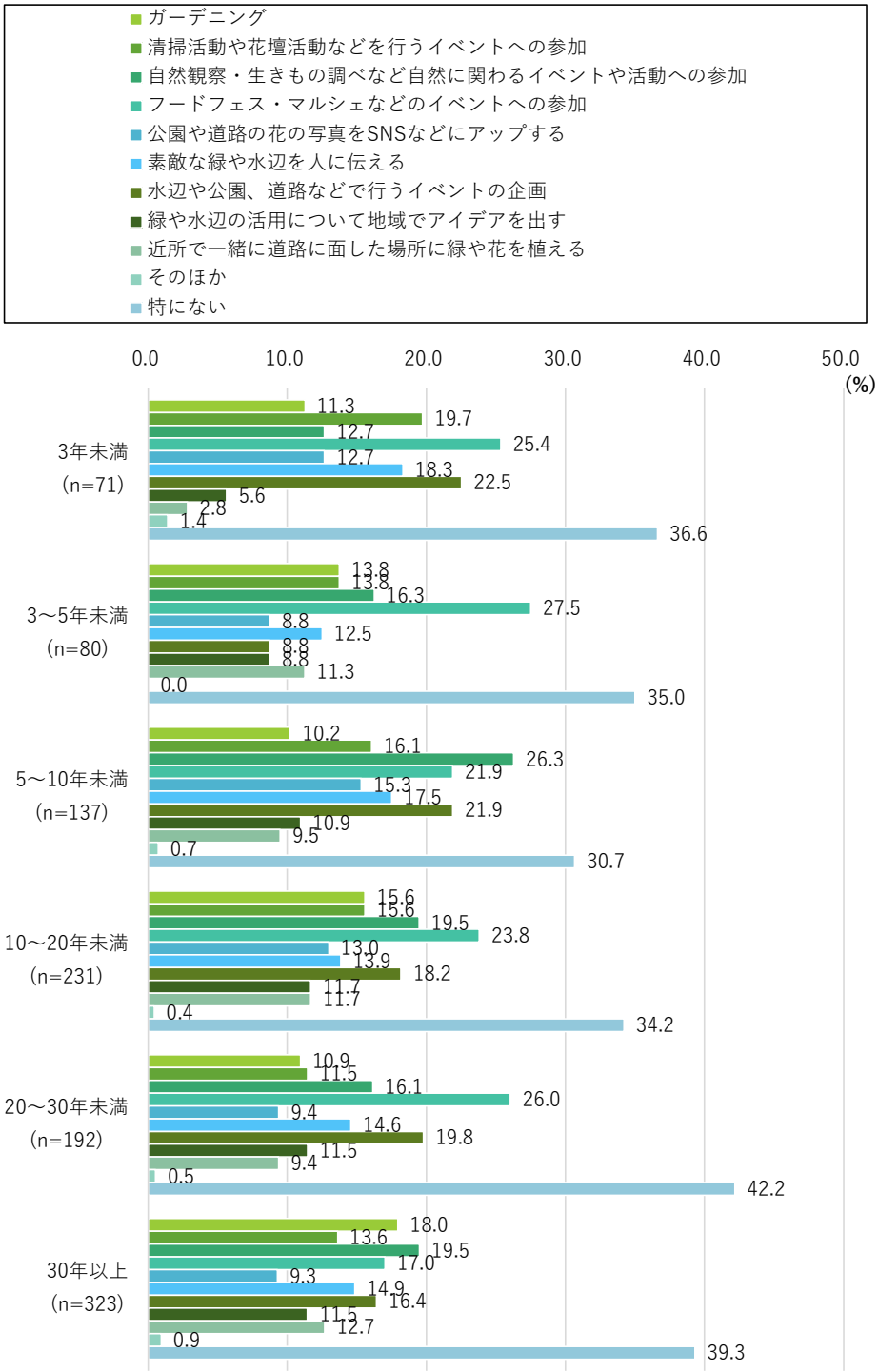
- 一戸建て住宅（持ち家）において「ガーデニング」が全体の集計結果よりやや高い。
- 集合住宅（持ち家）において「水辺や公園、道路などで行うイベントの企画」が全体の集計結果よりやや高い。
- 集合住宅（賃貸）において「特にない」が全体の集計結果よりやや高く、「ガーデニング」がやや低い。




0.0
20.0
40.0
60.0
80.0
100.0
(%)
借家/賃貸/その他・計
(n=388)
8.0
12.4
15.5
20.9
10.8
14.4
13.7
7.5
7.5
0.5
44.6
一戸建て住宅（借家）
(n=23)
0.0
13.0
13.0
21.7
8.7
8.7
13.0
13.0
4.3
4.3
47.8
集合住宅
（賃貸）
(n=337)
8.9
12.8
16.3
21.4
11.6
15.1
13.9
7.4
8.0
0.3
42.7
社宅・寮
(n=22)
4.5
9.1
9.1
18.2
4.5
13.6
13.6
4.5
4.5
0.0
54.5
シェアハウス(n=0)
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
その他
(n=6)
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
100.0

【在住歴別】

- 3 年未満において「清掃活動や花壇活動などを行うイベントへの参加」が全体の集計結果よりやや高く、「自然観察・生きもの調べなど自然に関わるイベントや活動への参加」「緑や水辺の活用について地域でアイデアを出す」「近所で一緒に道路に面した場所に緑や花を植える」がやや低い。
- 3～5 年未満において「フードフェス・マルシェなどのイベントへの参加」が全体の集計結果よりやや高く、「水辺や公園、道路などで行うイベントの企画」がやや低い。
- 5～10 年未満において「自然観察・生きもの調べなど自然に関わるイベントや活動への参加」が全体の集計結果よりやや高く、「特にない」がやや低い。
- 20～30 年未満において「特にない」が全体の集計結果よりやや高い。
- 30 年以上において「フードフェス・マルシェなどのイベントへの参加」が全体の集計結果よりやや低い。



②前問の取組の妨げになっていること

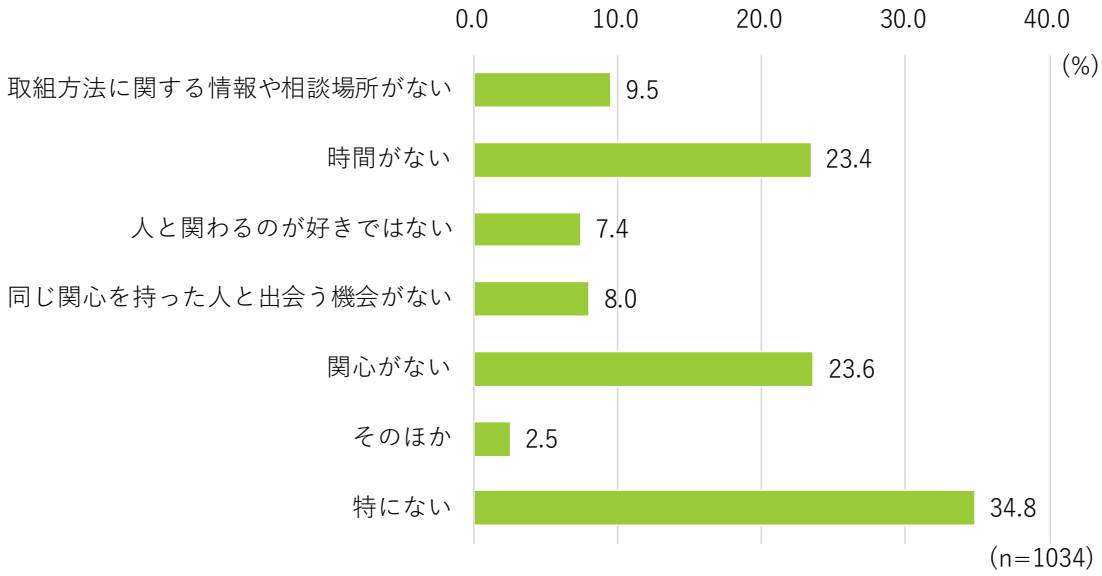
Q　前問の取組の妨げになっていることは何ですか。（いくつでも）

- 取組の妨げになっていることは、いずれの取組も「特にない」「時間がない」「関心がない」が上位を占めている。

ア　ガーデニング

【単純集計】

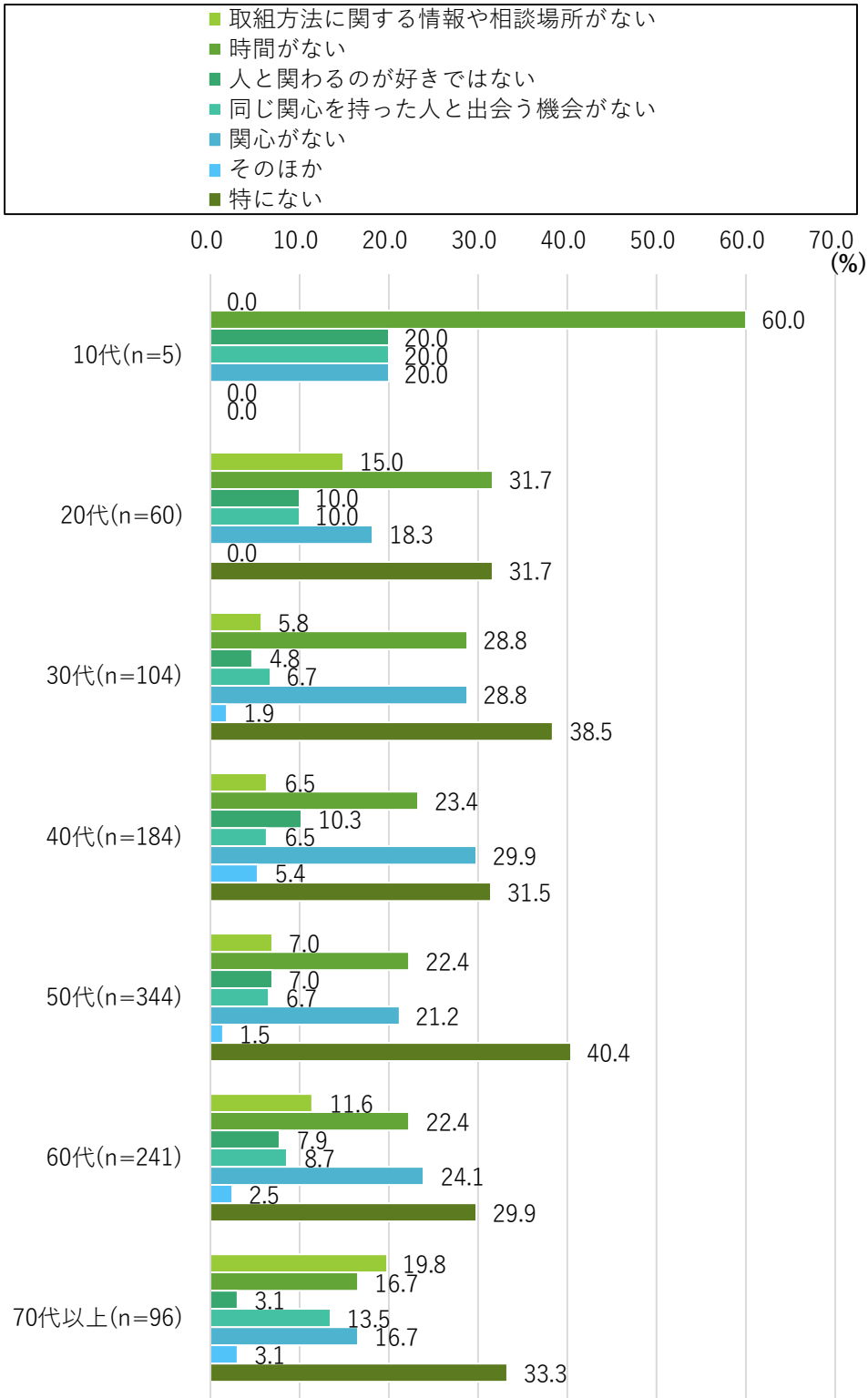
- 「特にない」（34.8%）が最も多い。



「そのほか」の回答
- 場所がない（７件）
- 庭がない（２件）
- 敷地が狭い
- ベランダが狭い
- マンションの規約
- 集合住宅なので庭がなく、ベランダだと難しい
- 虫と土が苦手
- 虫がたかるからきらい
- 土の匂いが苦手
- お金も時間もない
- お金がない
- コストがかかる
- 忙しい
- 休みが平日の為
- 持病で出来ない
- 足腰が悪く、立ち続ける、しゃがむのを続けられない
- 枯れてしまいそう
- 日当たりが良くない　室内飼いのペットがいてベランダに出られない
- 区の事業として先んじて基盤整備後区民との取り組み

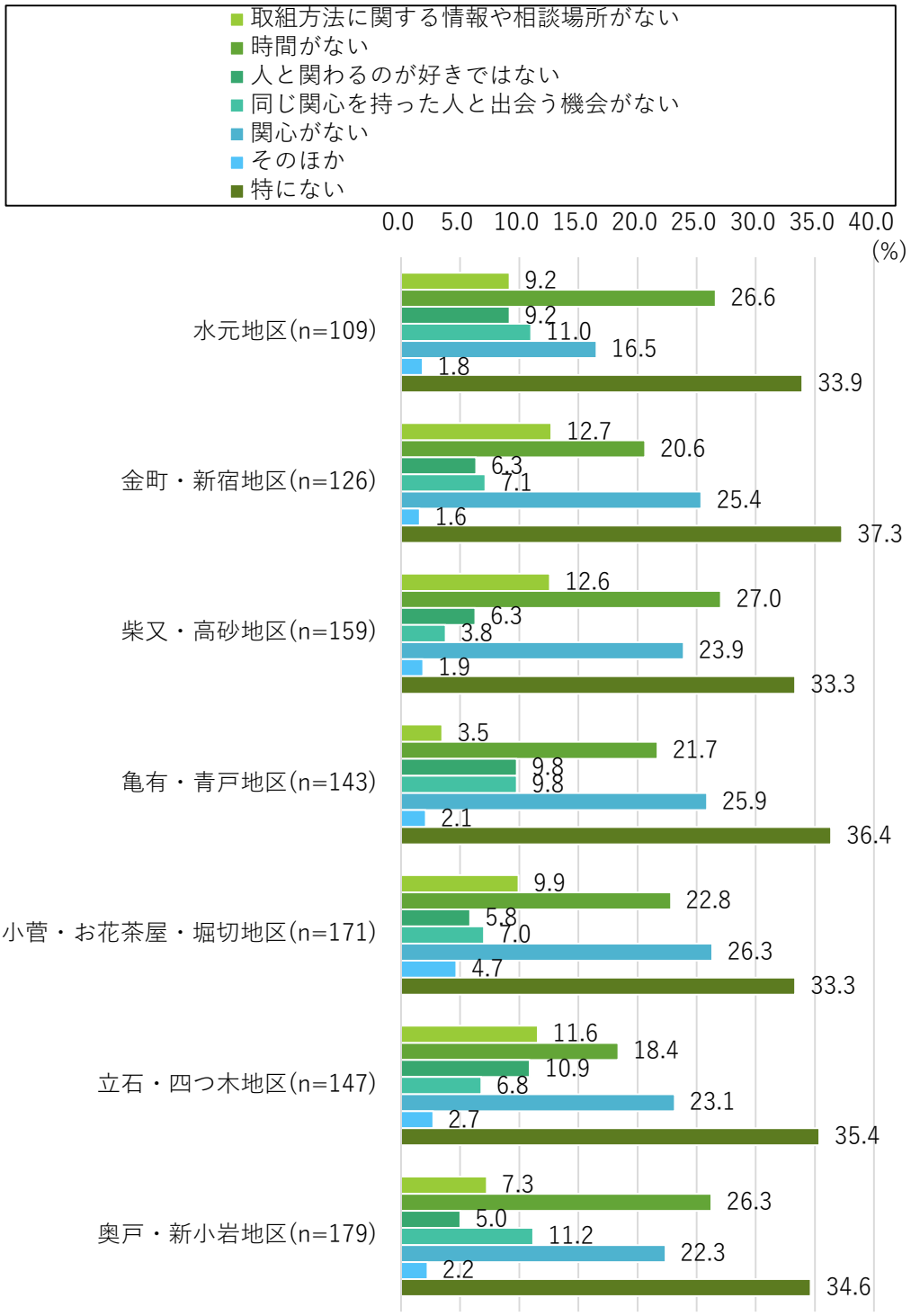
【年齢別】

- 70 代以上において「取組方法に関する情報や相談場所がない」が全体の集計結果より高い。



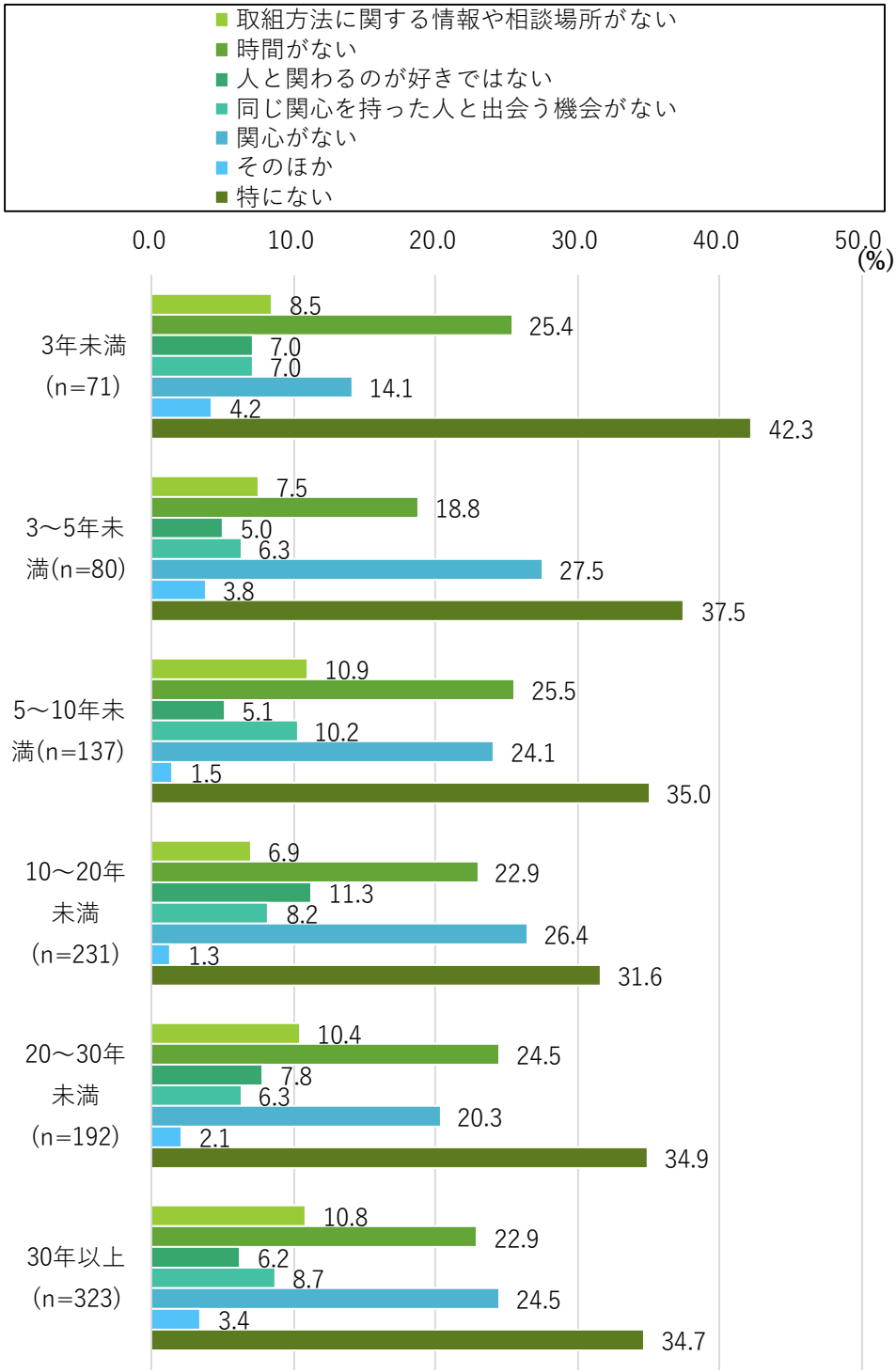
【居住地別】

- 水元地区において「関心がない」、亀有・青戸地区において「取組方法に関する情報や相談場所がない」、立石・四つ木地区において「時間がない」が全体の集計結果よりやや低い。



【在住歴別】

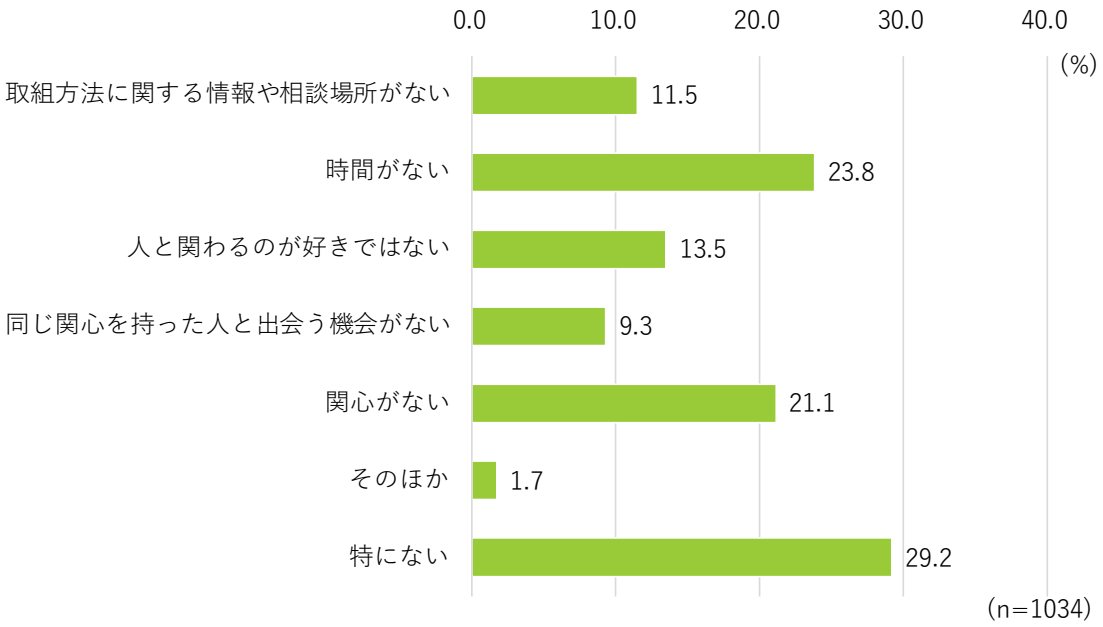
- 3 年未満において「特にない」が全体の集計結果よりやや高く、「関心がない」がやや低い。



イ　清掃活動や花壇活動などを行うイベントへの参加

【単純集計】

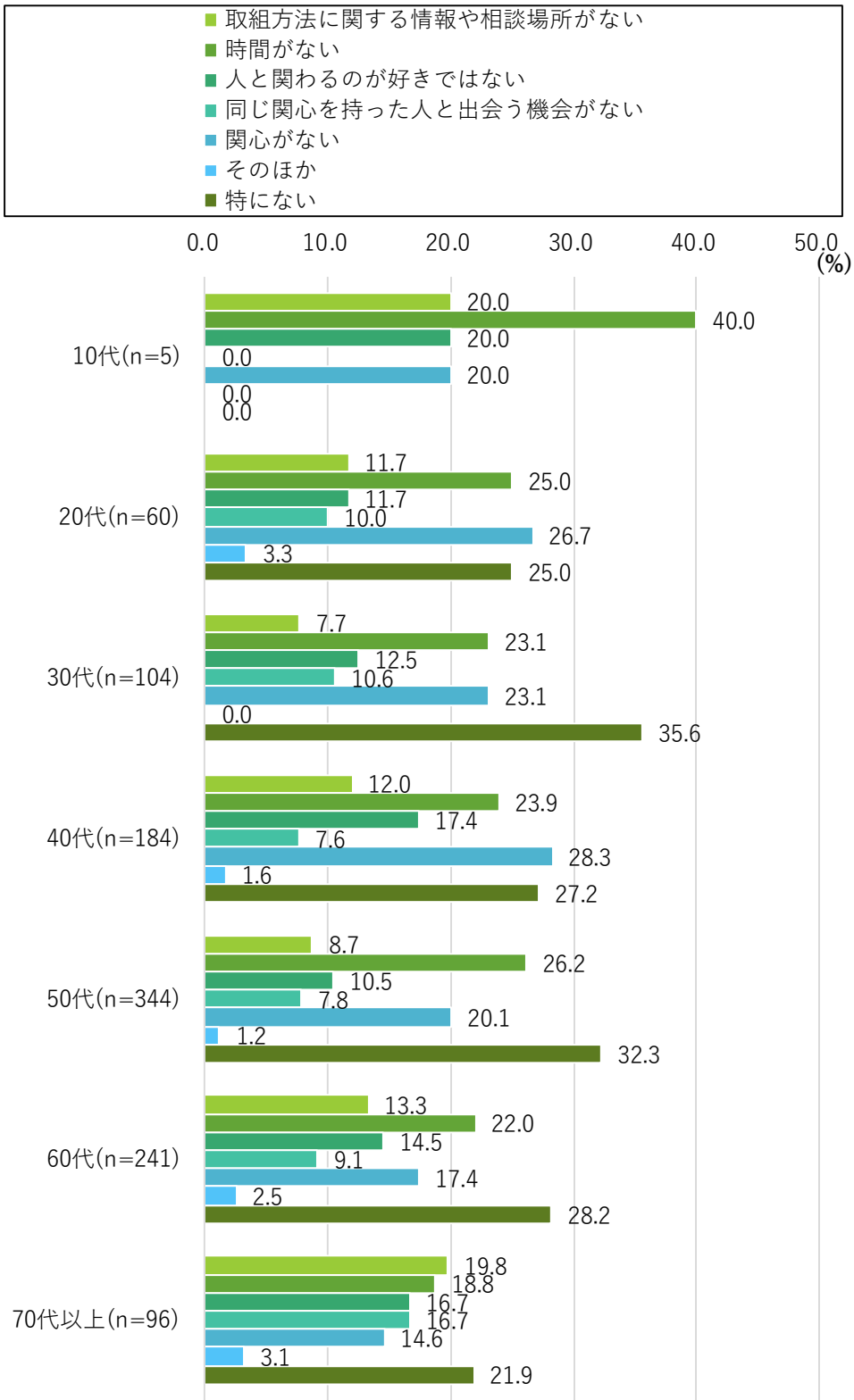
- 「特にない」（29.2%）が最も多い。



「そのほか」の回答
- お金も時間もない
- イベントは時間が合わないことが多い
- 休みが平日の為
- 忙しい
- 面倒
- 正直休みの日に清掃ってのはめんどくさいと感じてしまうのではないか？参加することのメリットがあれば別だけど。見返りを求めるのは論外なんだろうが。
- 行動に移す勇気がない
- 自治会で行っているので妨げるものはない
- 身体的に無理。
- 体調の問題
- 手に障害を持っている
- 体力不足
- 持病で出来ない
- 足腰が悪いから
- 介護者がいるので、自由な時間が作れない
- お年寄りの固定観念の中やるのは嫌だ
- 民度が低すぎる

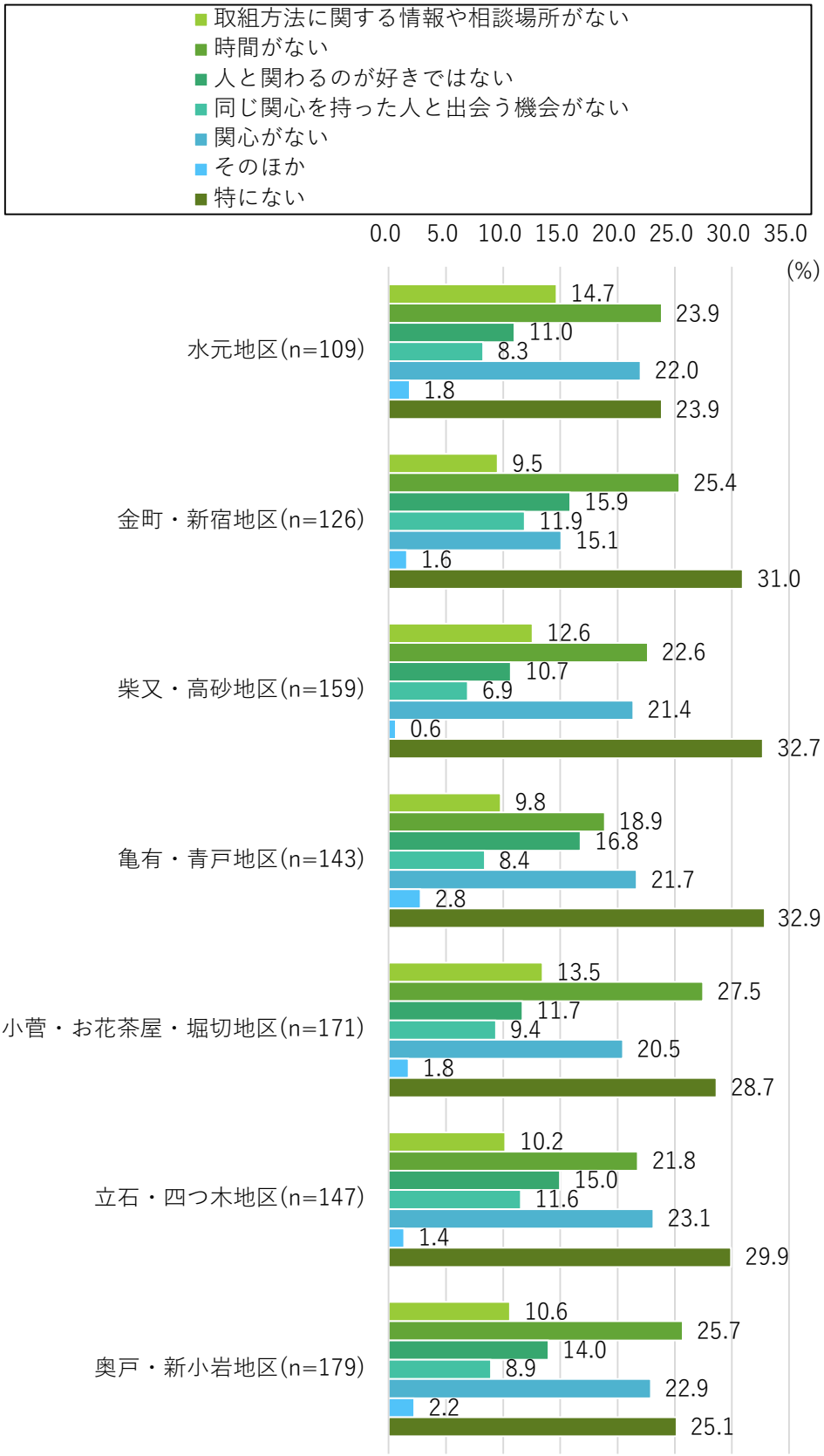
【年齢別】

- 20 代、40 代において「関心がない」が全体の集計結果よりやや高い。
- 30 代において「特にない」が全体の集計結果よりやや高い。
- 70 代以上においては「取組方法に関する情報や相談場所がない」「同じ関心を持った人と出会う機会がない」が全体の集計結果よりやや高く、「時間がない」「関心がない」「特にない」がやや低い。



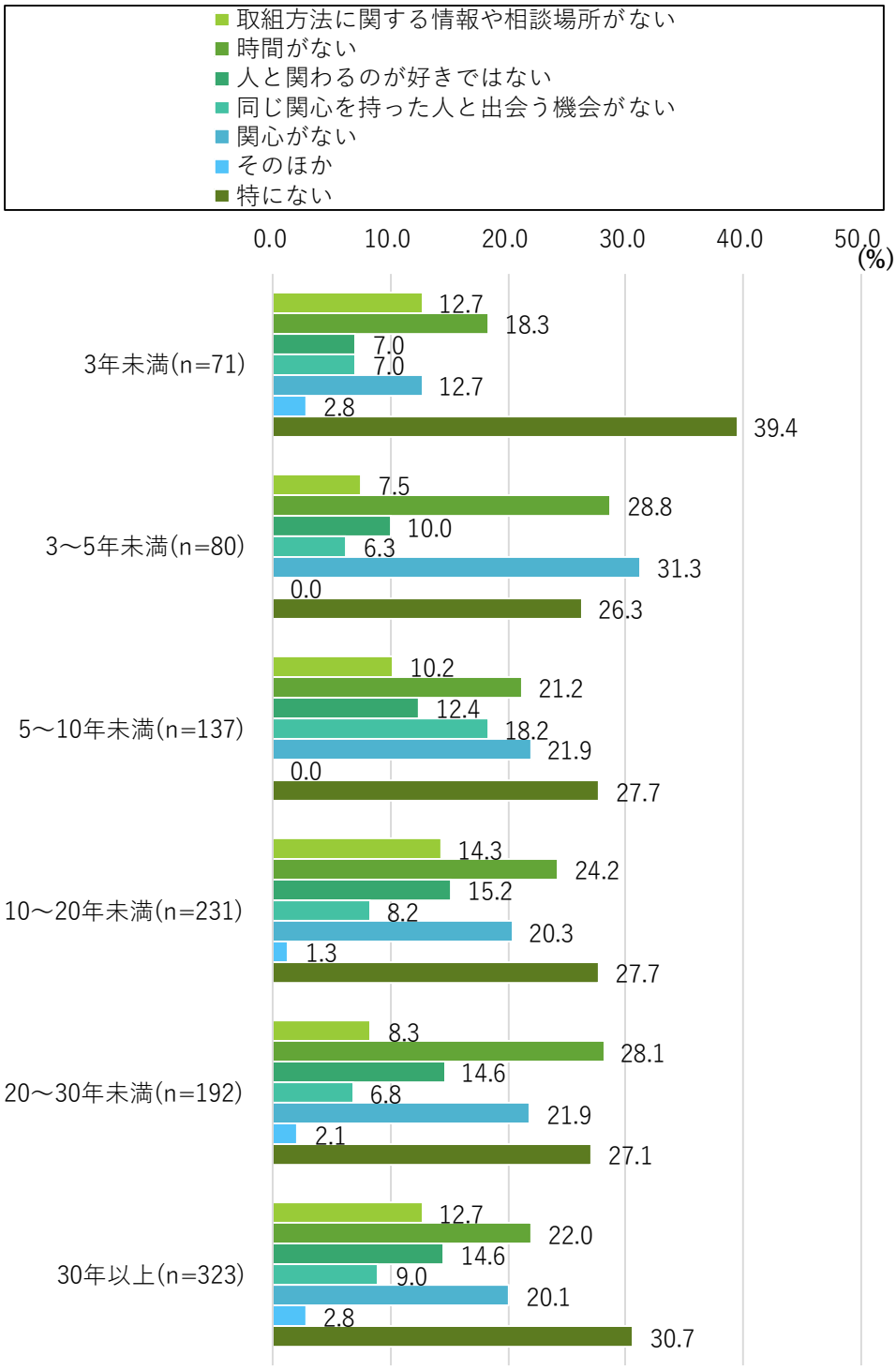
【居住地別】

- 水元地区において「特にない」が全体の集計結果よりやや低い。
- 金町・新宿地区において「関心がない」が全体の集計結果よりやや低い。



【在住歴別】

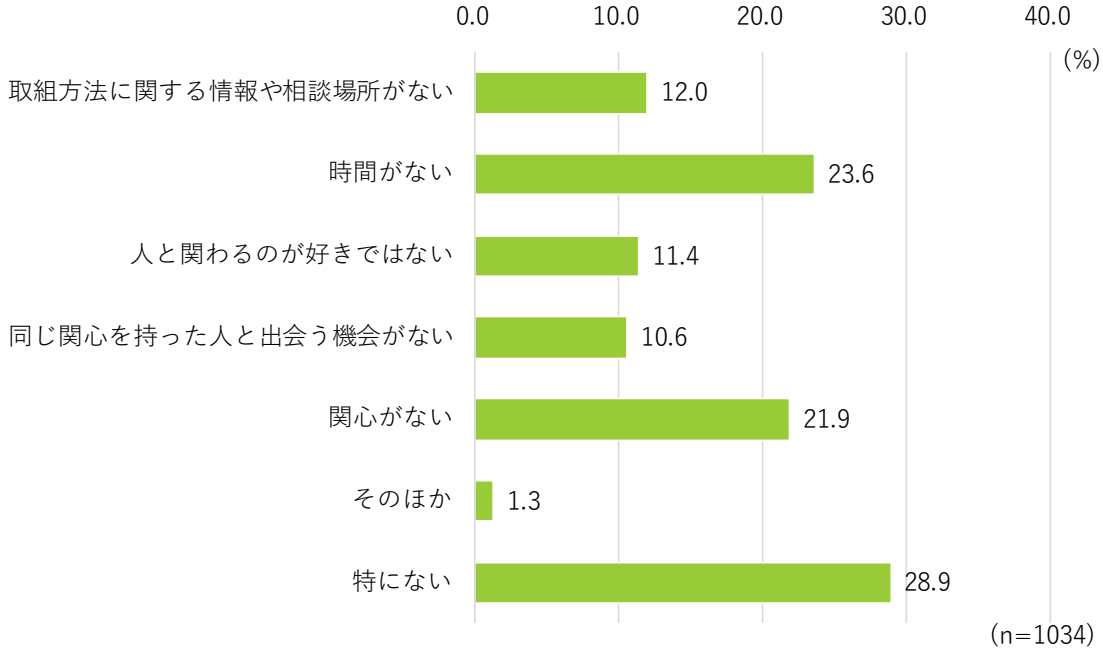
- 3 年未満において「特にない」が全体の集計結果より高い。また、「時間がない」「人と関わるのが好きではない」「関心がない」がやや低い。
- 3～5 年未満「関心がない」が全体の集計結果より高い。
- 5～10 年未満において「同じ関心を持った人と出会う機会がない」が全体の集計結果よりやや高い



ウ　自然観察・生きもの調べなど自然に関わるイベントや活動への参加

【単純集計】

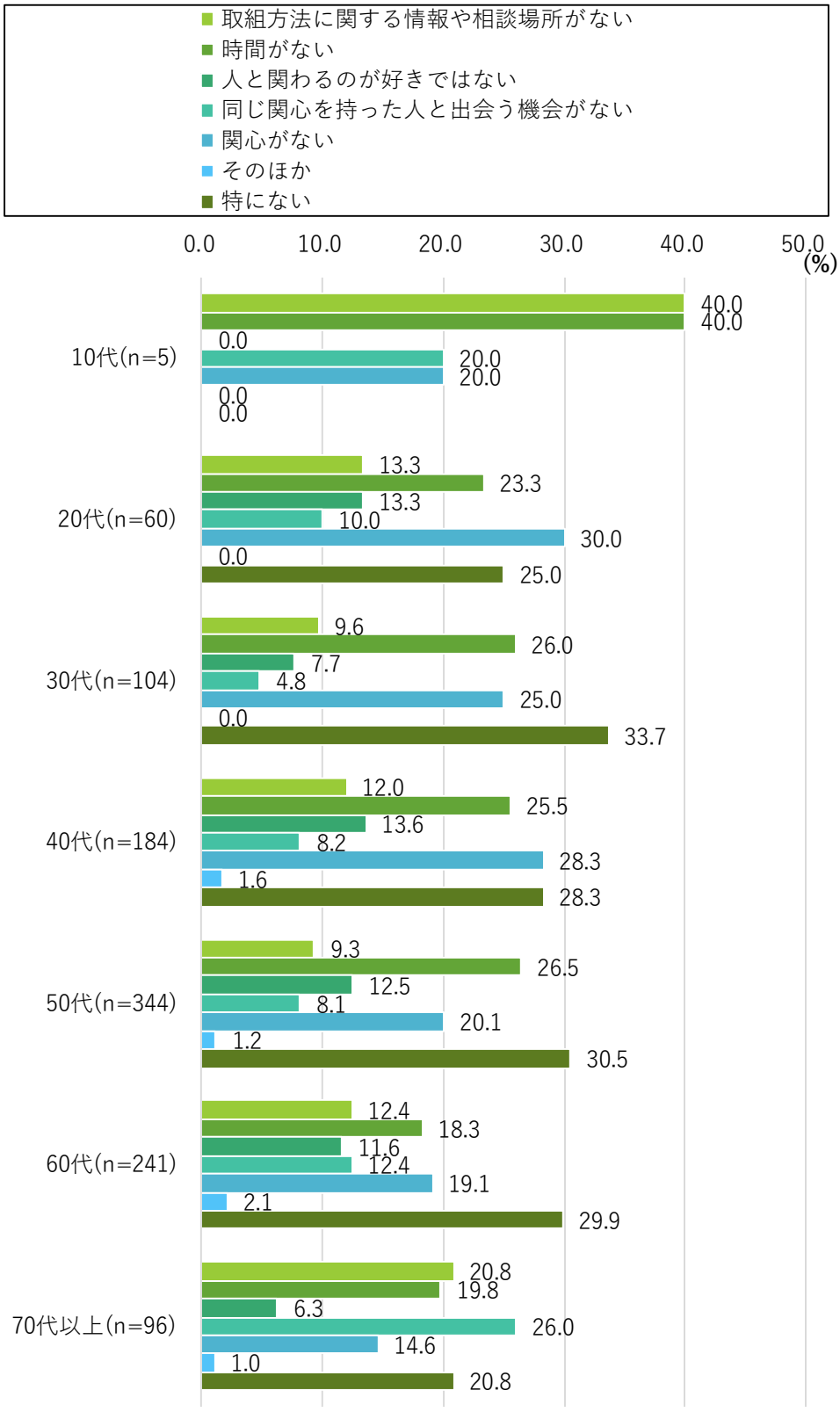
- 「特にない」（28.9%）が最も多い。



「そのほか」の回答
- お金も時間もない
- イベントは時間が合わないことが多い
- 忙しい
- 休みが平日の為
- 子連れじゃないとすごく参加しづらい
- 自然は好きだけど虫が苦手
- 虫がたかるから嫌い
- 持病で出来ない
- 足腰が悪いから
- 身体的に無理。
- 個人で行っているので問題はない
- 特に無い

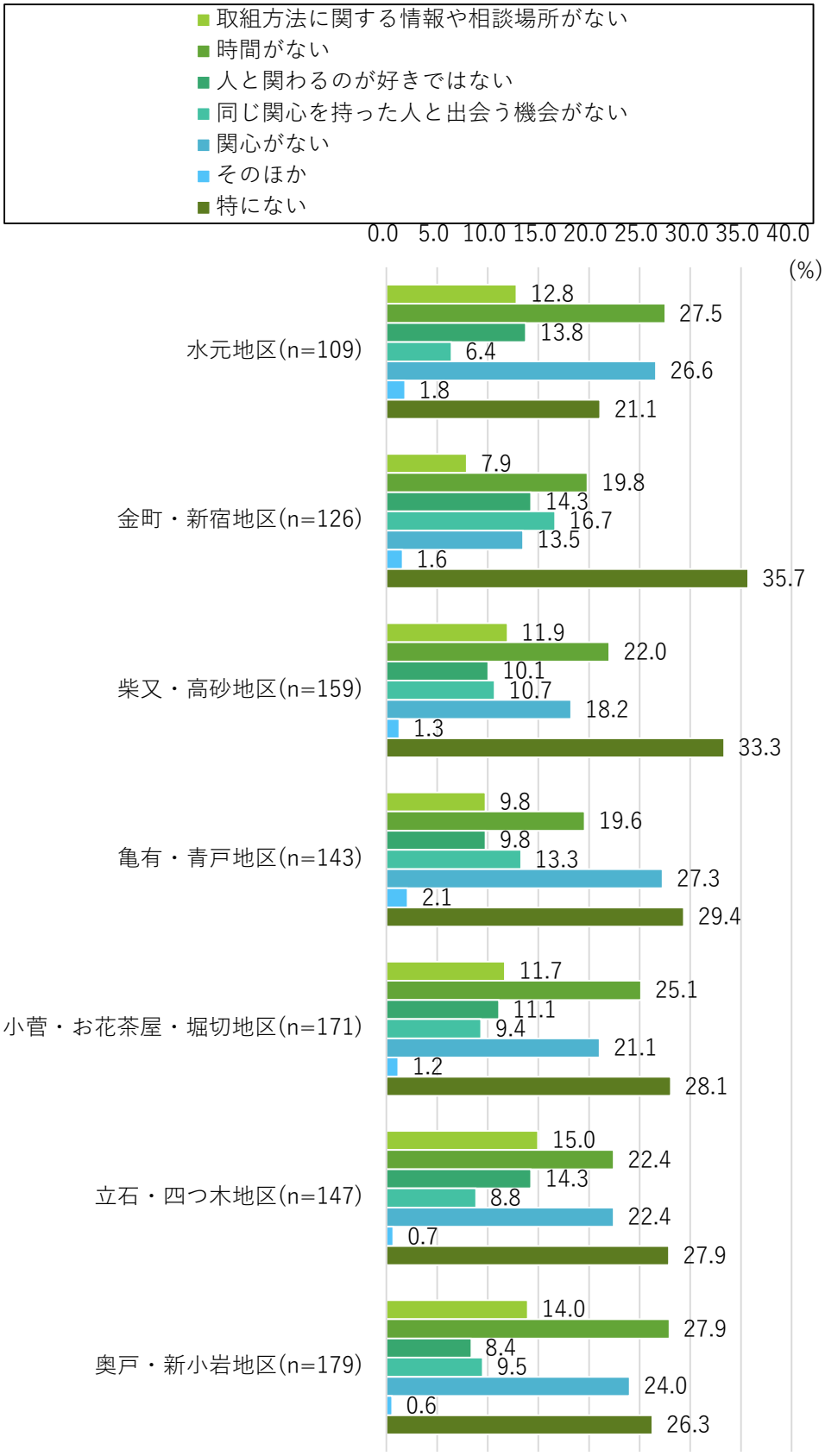
【年齢別】

- 20 代、40 代において「関心がない」が全体の集計結果よりやや高い。
- 30 代において「同じ関心を持った人と出会う機会がない」が全体の集計結果よりやや低い。
- 60 代において「時間がない」が全体の集計結果よりやや低い。
- 70 代以上において「同じ関心を持った人と出会う機会がない」が全体の集計結果より高い。



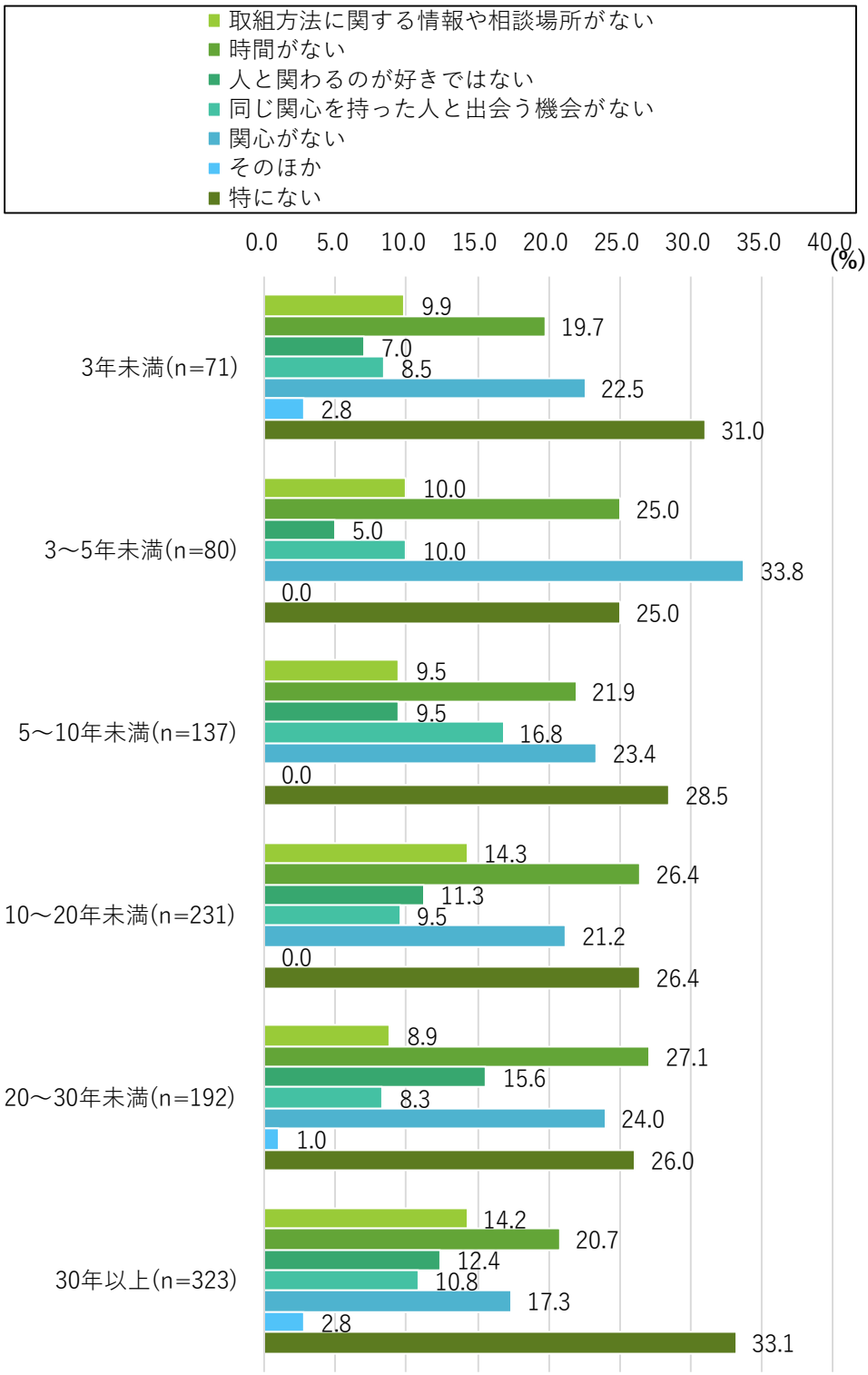
【居住地別】

- 水元地区において「特にない」が全体の集計結果よりやや低い。
- 金町・新宿地区において「同じ関心を持った人と出会う機会がない」「特にない」が全体の集計結果よりやや高く、「関心がない」がやや低い。
- 亀有・青戸地区において「関心がない」が全体の集計結果よりやや高い。



【在住歴別】

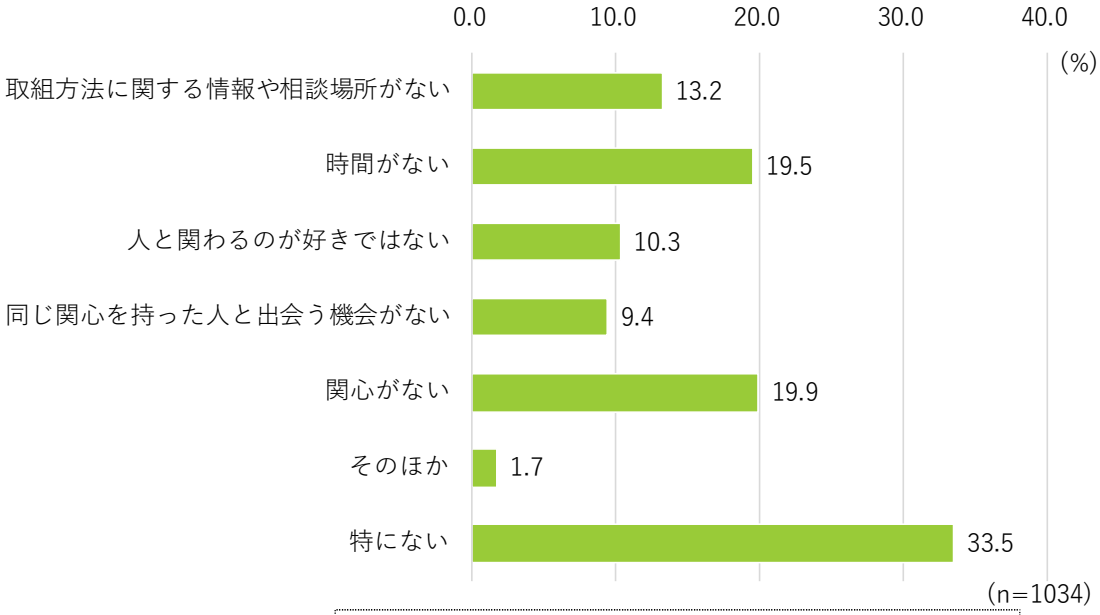
- 3～5 年未満において「関心がない」が全体の集計結果より高く、「人と関わるのが好きではない」がやや低い。
- 5～10 年未満において「同じ関心を持った人と出会う機会がない」が全体の集計結果よりやや高い。



エ　フードフェス・マルシェなどのイベントへの参加

【単純集計】

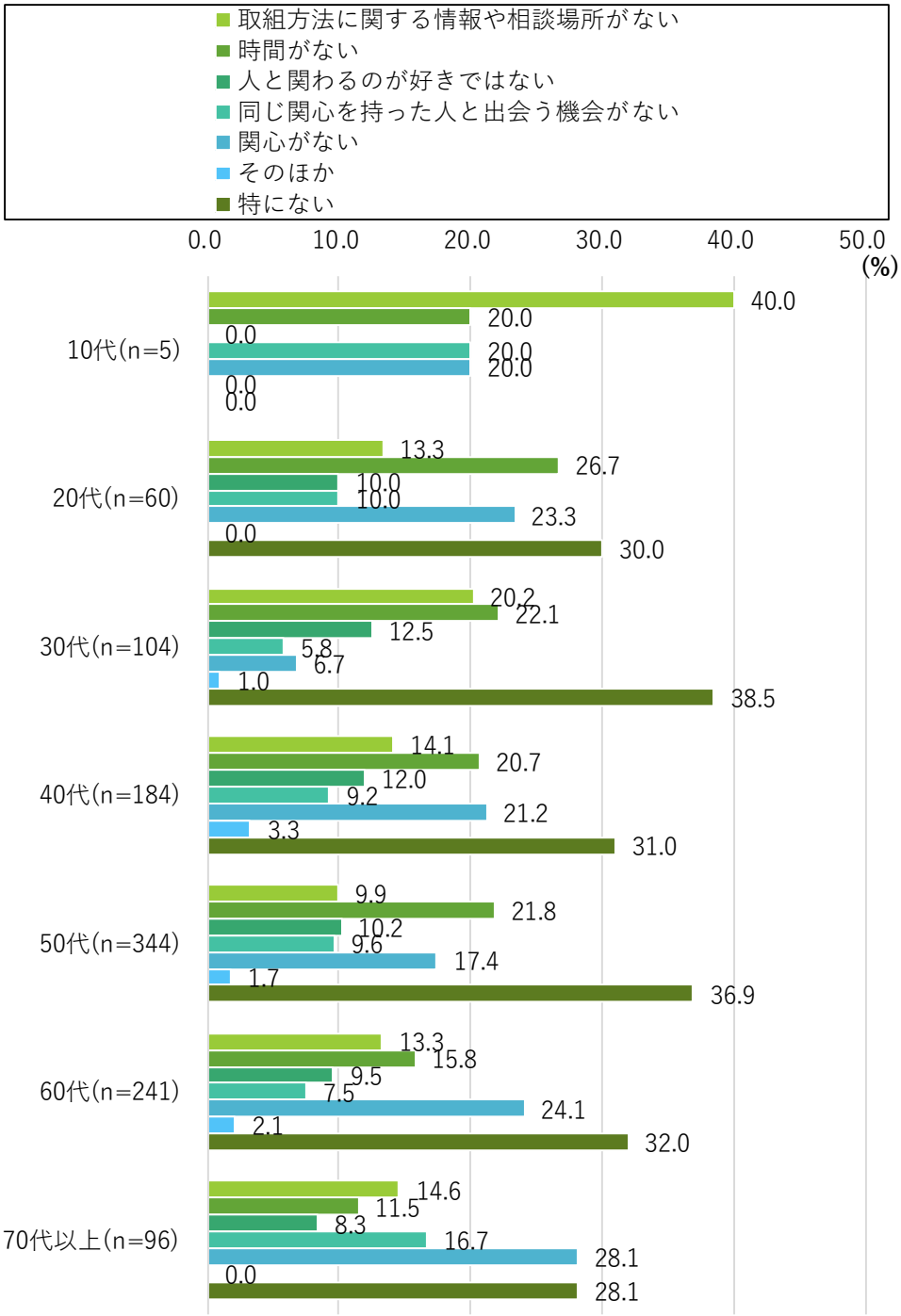
- 「特にない」（33.5%）が最も多い。



「そのほか」の回答
- 人混みが苦手（２件）
- 歩いていける距離にイベントがない
- 近くにイベントが出来る所が少ない。
- そもそもあまり実施されていない
- やってることをしらない
- 休みが平日の為
- お金も時間もない
- 可処分所得が少ない
- 忙しい
- 葛飾のイベントはセンスがない
- 飲食イベントはゴミが出る
- コストがかかる
- 食物アレルギーがある
- 身体的に無理。
- 持病で出来ない
- 能力が無い
- 自然の取り組みとは違う

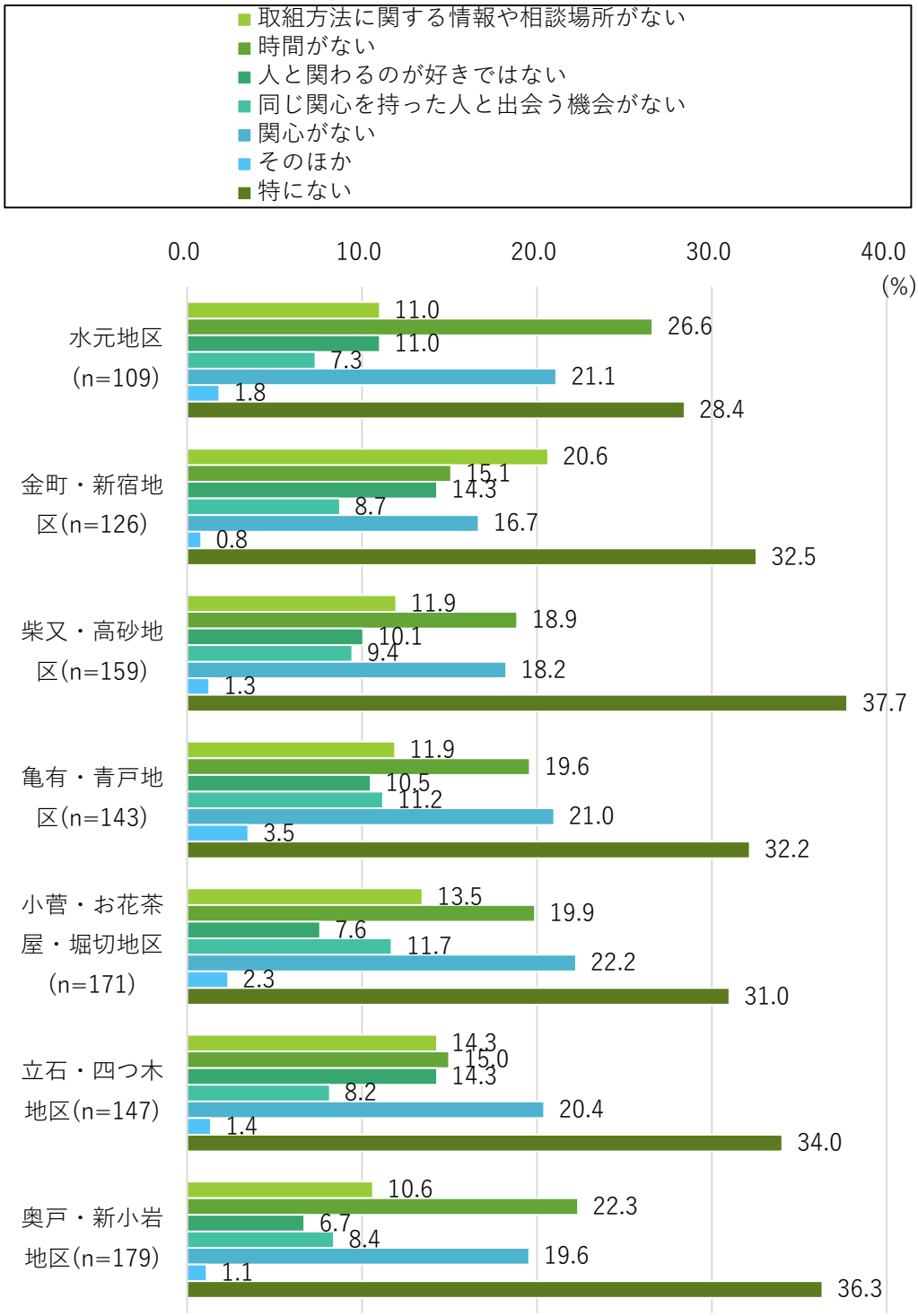
【年齢別】

- 20 代において「時間がない」が全全体の集計結果よりやや高い。
- 30 代において「取組方法に関する情報や相談場所がない」が全体の集計結果よりやや高い。また、「関心がない」が低い。70 代において「同じ関心を持った人と出会う機会がない」「関心がない」が全体の集計結果よりやや高く、「時間がない」「特にない」がやや低い。



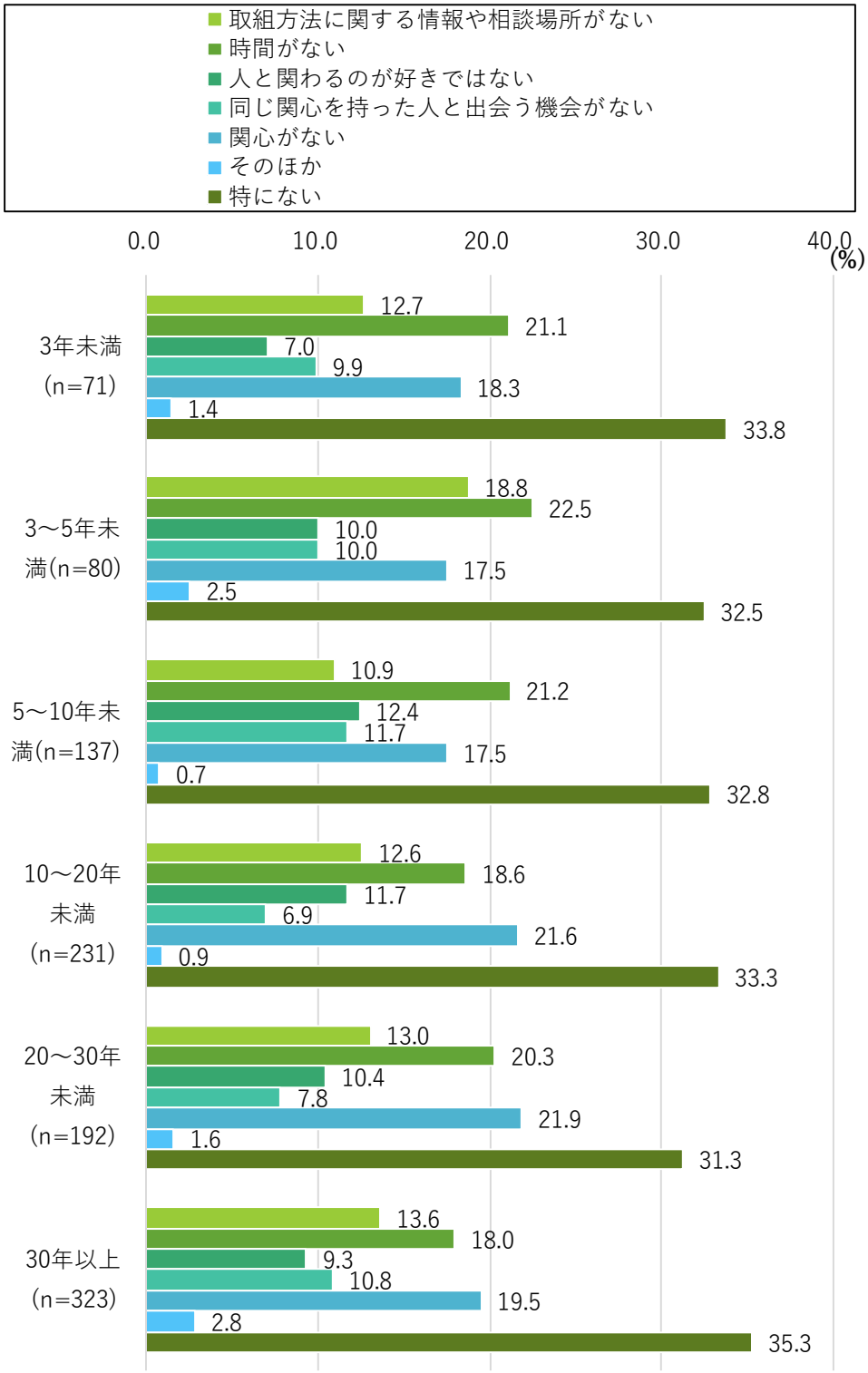
【居住地別】

- 水元地区において「時間がない」が全体の集計結果よりやや高く、「特にない」がやや低い。
- 金町・新宿地区において「取組方法に関する情報や相談場所がない」が全体の集計結果よりやや高い。



【在住歴別】

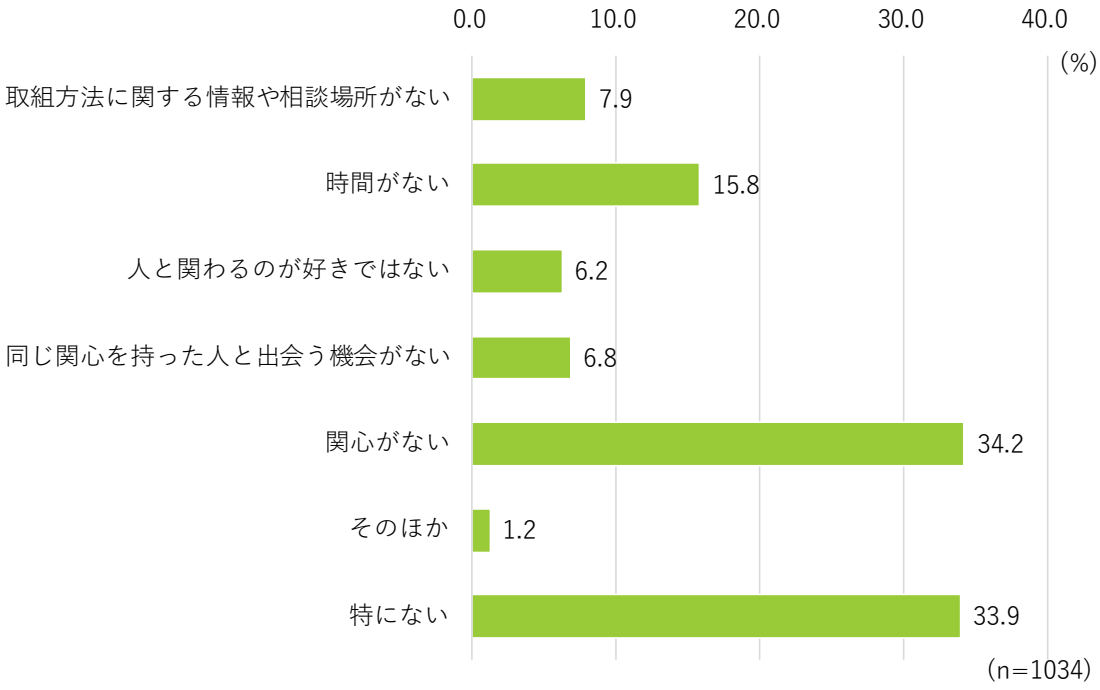
- 3～5 年未満において「取組方法に関する情報や相談場所がない」が全体の集計結果よりやや高い。



オ　公園や道路の花の写真を SNS などにアップする

【単純集計】

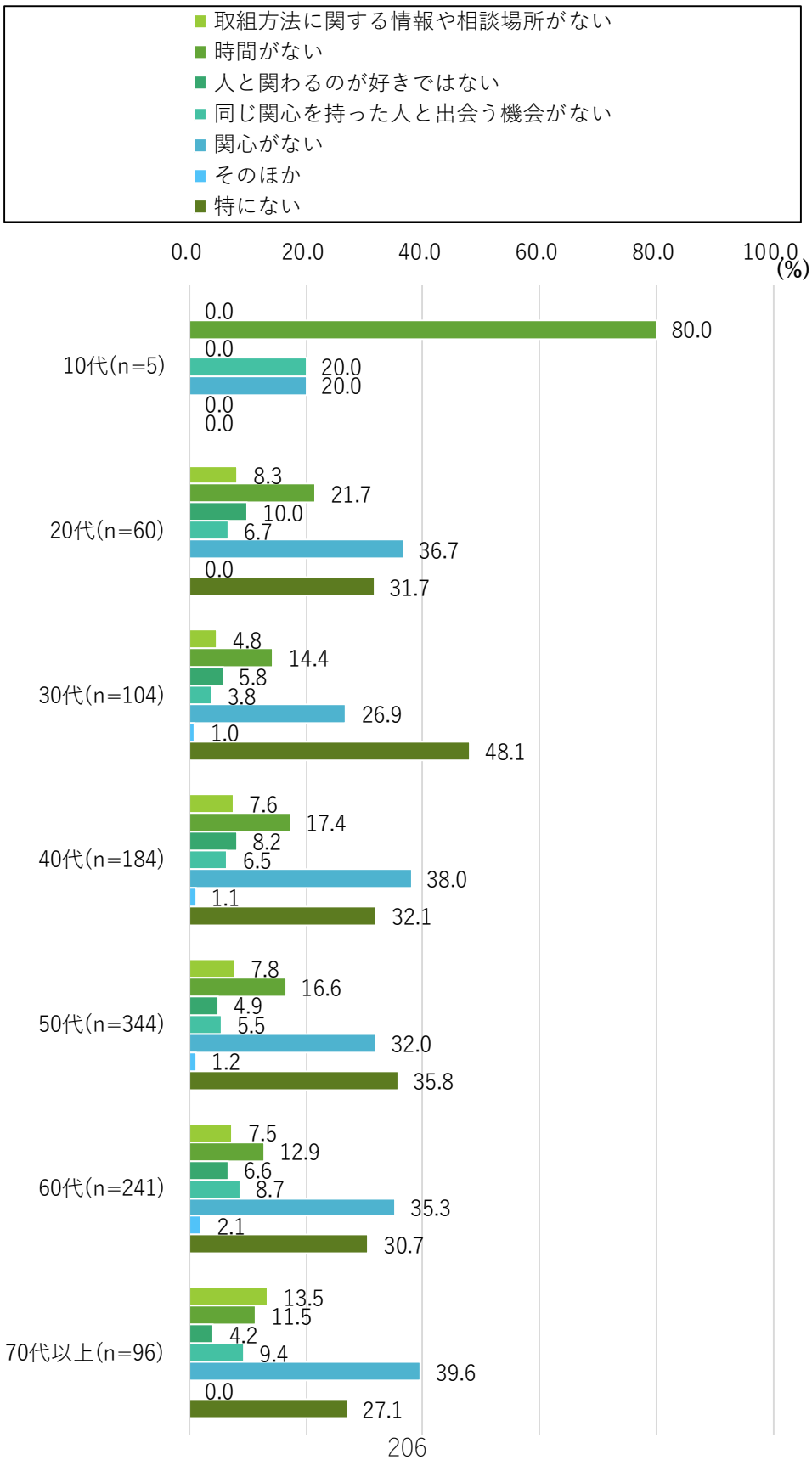
- 「関心がない」（34.2%）が最も多く、次いで「特にない」（33.9%）が多い。



「そのほか」の回答
- ＳＮＳをやってない（５件）
- ＳＮＳへの情報配信は危険に感じる
- ＳＮＳに投稿しない主義
- お金も時間もない
- 持病で出来ない
- 休みが平日の為
- 忙しい
- 身体的に無理。

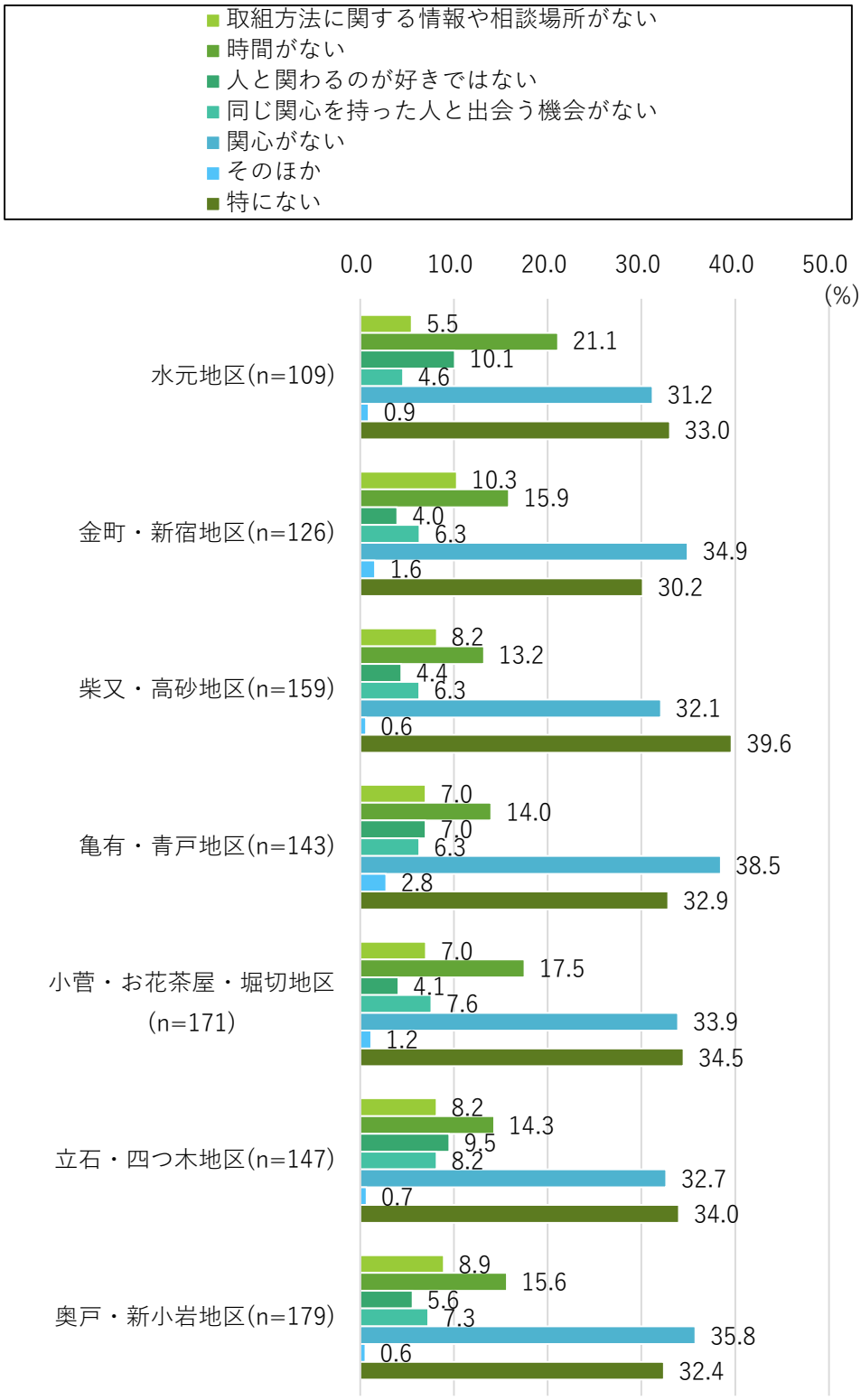
【年齢別】

- 20 代において「時間がない」が全体の集計結果よりやや高い。
- 30 代において「特にない」が全体の集計結果より高い。また、「関心がない」がやや低い。
- 70 代において「取組方法に関する情報や相談場所がない」「関心がない」が全体の集計結果よりやや高く、「特にない」がやや低い。



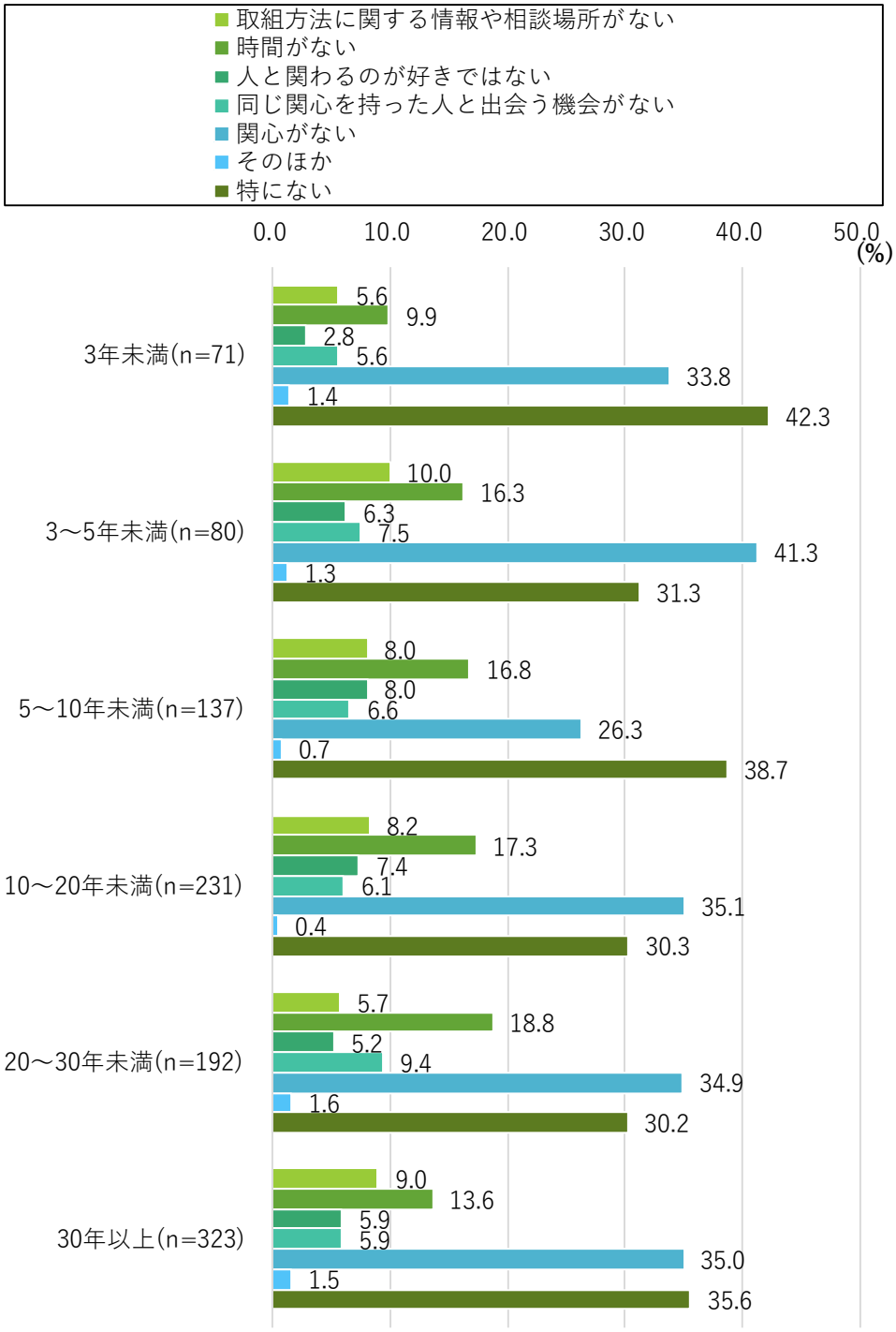
【居住地別】

- 水元地区において「時間がない」が全体の集計結果よりやや高い。
- 柴又・高砂地区において「特にない」が全体の集計結果よりやや高い。



【在住歴別】

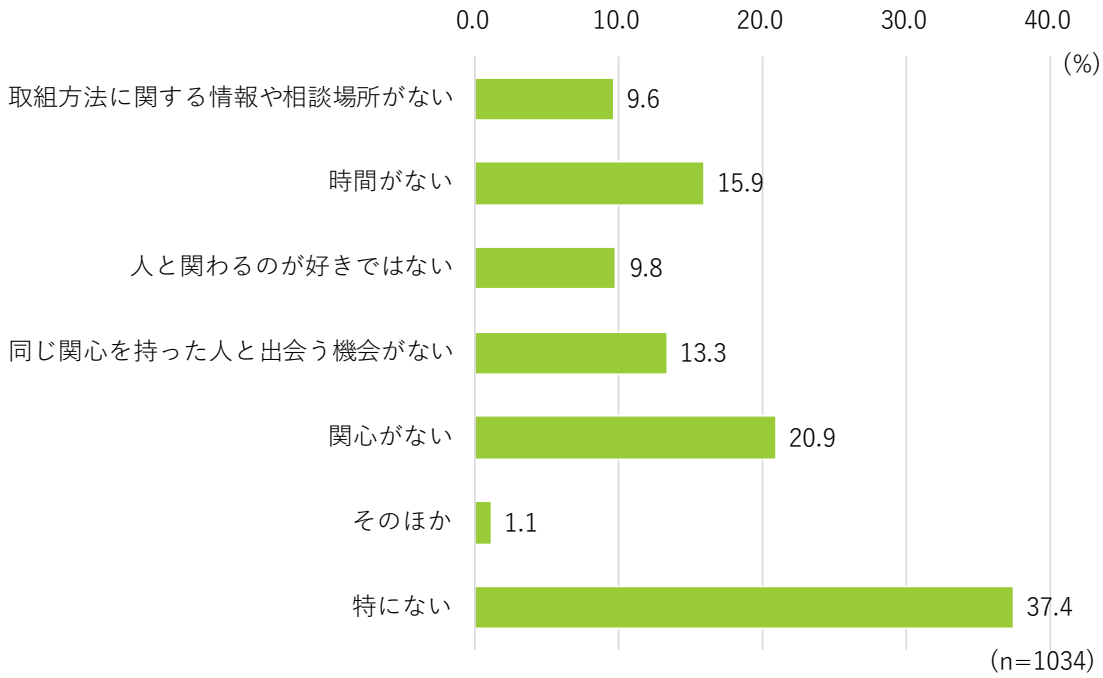
- 3 年未満において「特にない」が全体の集計結果よりやや高い。また、「時間がない」がやや低い。
- 3～5 年未満において「関心がない」が全体の集計結果よりやや高く、5～10 年未満においてやや低い。



カ　素敵な緑や水辺を人に伝える

【単純集計】

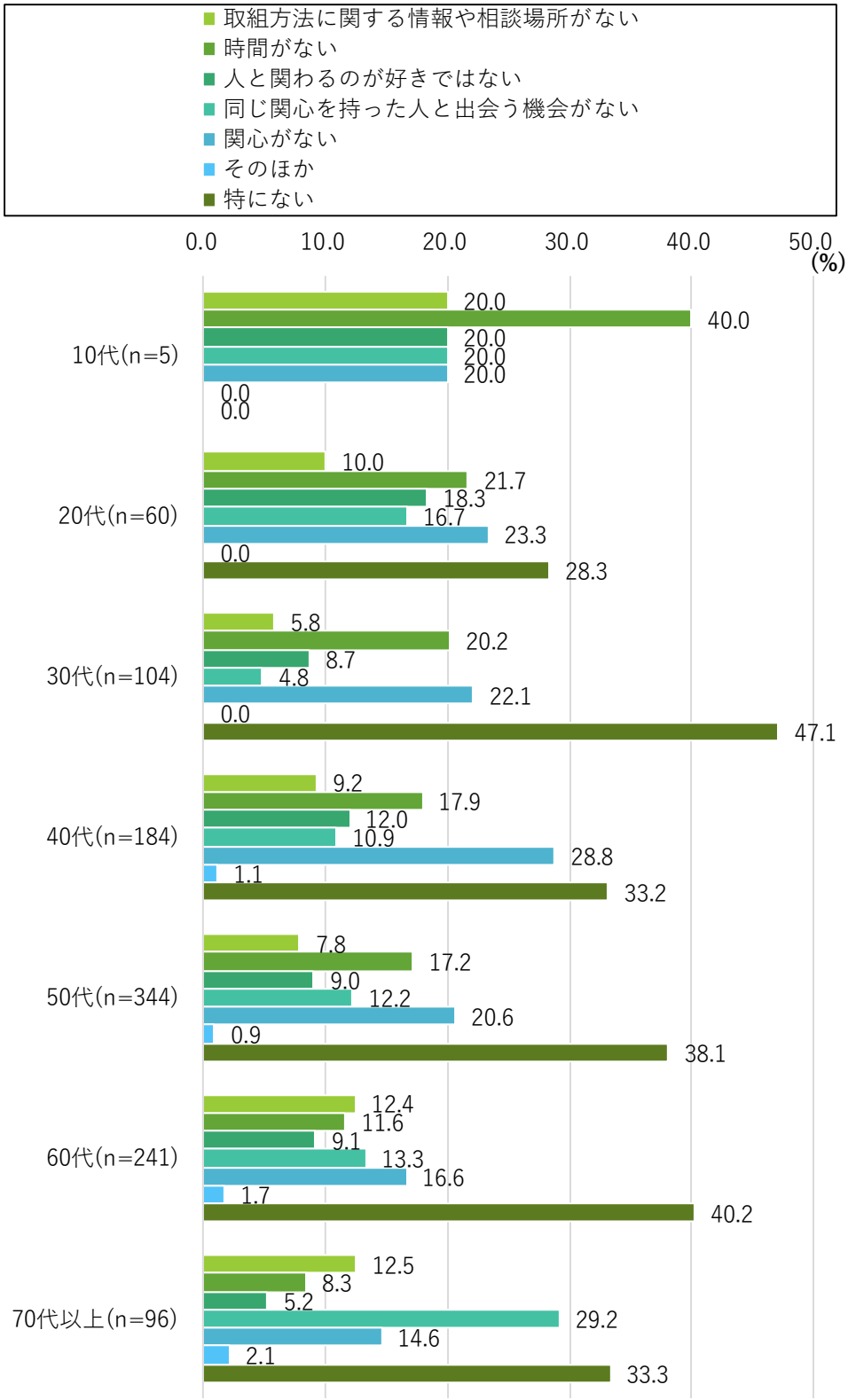
- 「特にない」（37.4%）が最も多い。



「そのほか」の回答
- 実践中
- ＳＮＳをやらない
- お金も時間もない
- 人に勧めるのは苦手
- 忙しい
- 休みが平日の為
- 教えたいと思った水元公園が既に知られていた
- 役所が地域に促す取り組みが感じられない。人任せ。
- 持病で出来ない
- 身体的に無理。

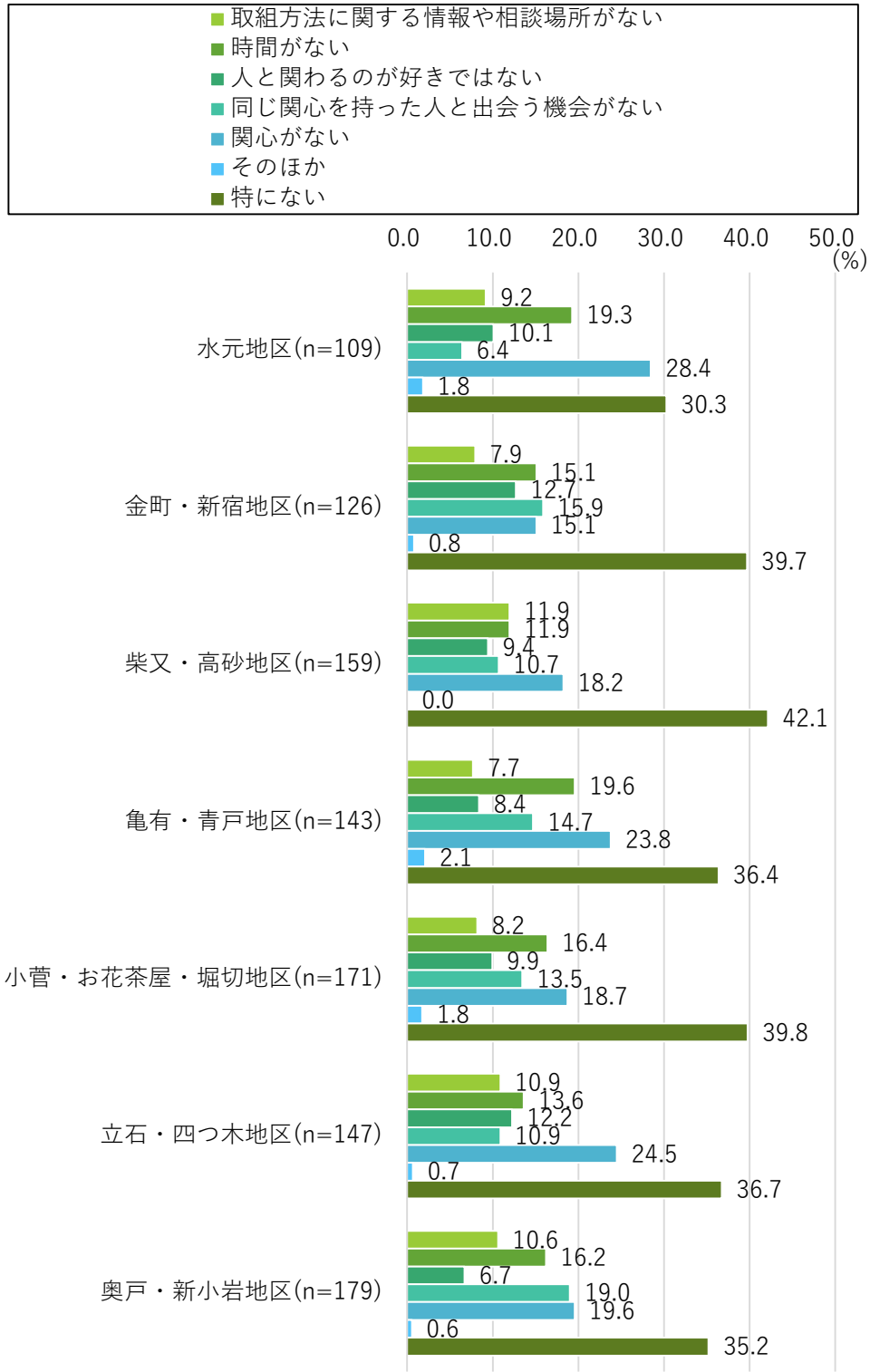
【年齢別】

- 20 代において「時間がない」「人と関わるのが好きではない」が全体の集計結果よりやや高い。また、「特にない」がやや低い。
- 30 代において「特にない」が全体の集計結果よりやや高い。また、「同じ関心を持った人と出会う機会がない」がやや低い。
- 40 代において「関心がない」が全体の集計結果よりやや高い。
- 70 代以上において「同じ関心を持った人と出会う機会がない」が全体の集計結果より高い。また、「時間がない」「関心がない」がやや低い。



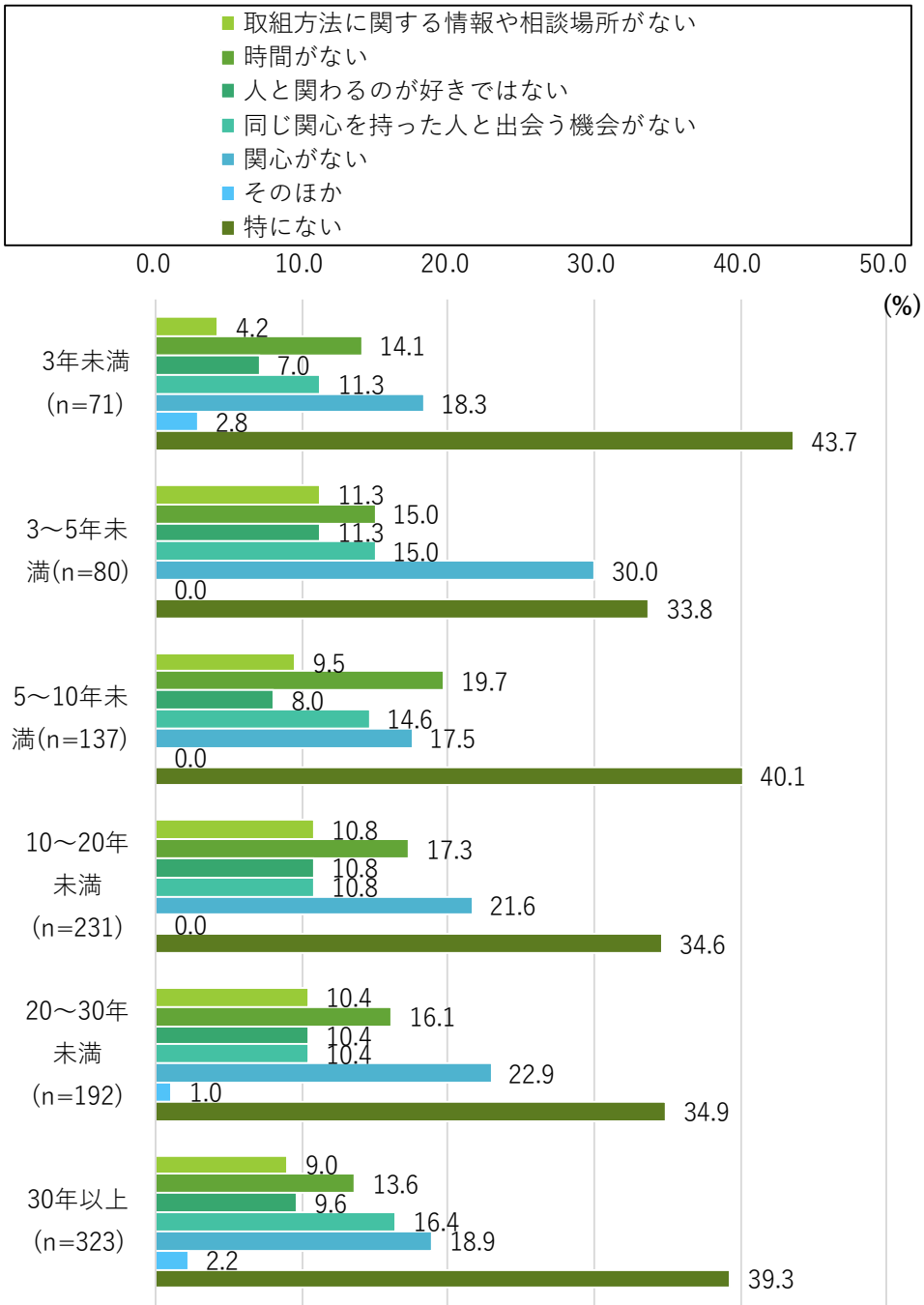
【居住地別】

- 水元地区において「関心がない」が全体の集計結果よりやや高い。また、「同じ関心を持った人と出会う機会がない」「特にない」がやや低い。
- 金町・新宿地区において「同じ関心を持った人と出会う機会がない」が全体の集計結果よりやや低い。



【在住歴別】

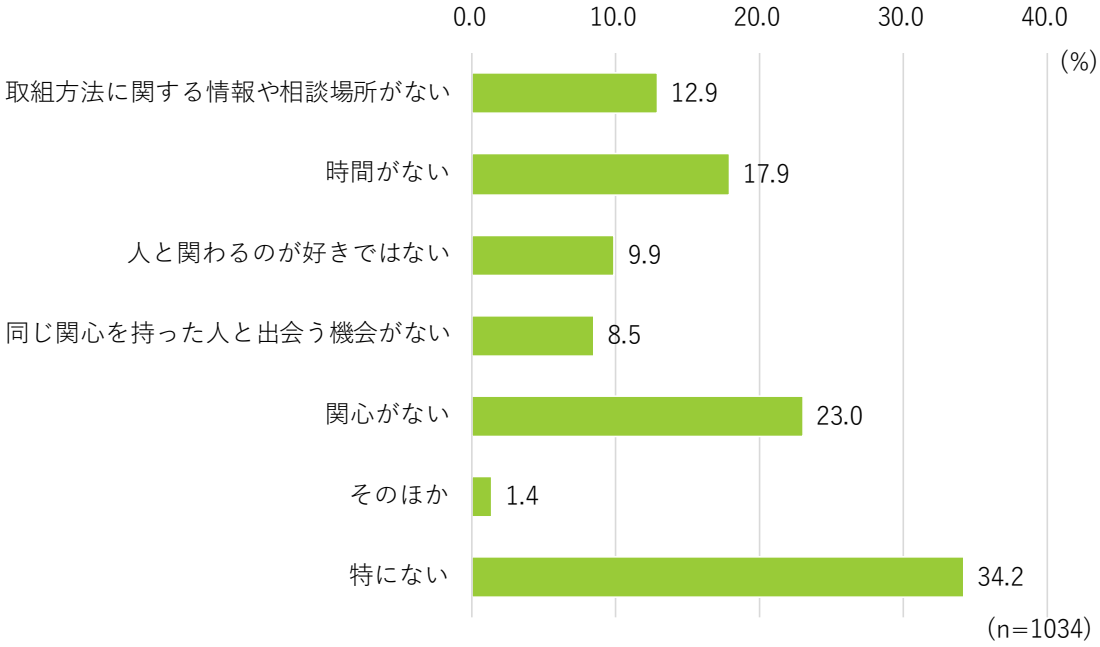
- 3 年未満において「特にない」が全体の集計結果よりやや高い。また、「取組方法に関する情報や相談場所がない」がやや低い。
- 3～5 年未満において「関心がない」が全体の集計結果よりやや高い。



キ　水辺や公園、道路などで行うイベントの企画

【単純集計】

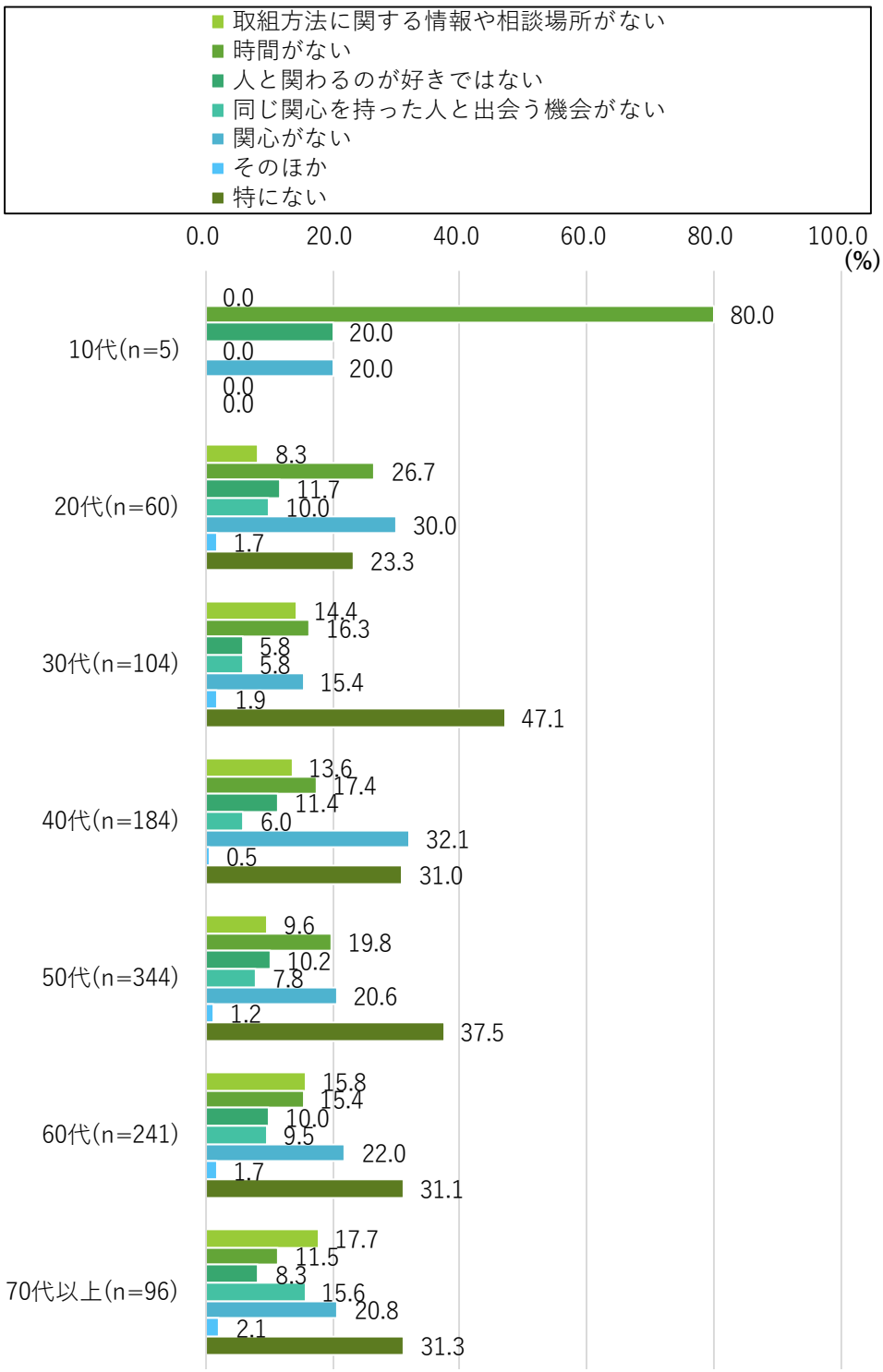
- 「特にない」（34.2%）が最も多い。



「そのほか」の回答
- 企画力がない（２件）
- 実践中
- PR が全くない
- 歩いていける距離にイベントがない
- 治安が悪そう
- お金も時間もない
- 忙しい
- 休みが平日の為
- 面倒
- メリットを感じない
- 持病で出来ない
- 身体的に無理。

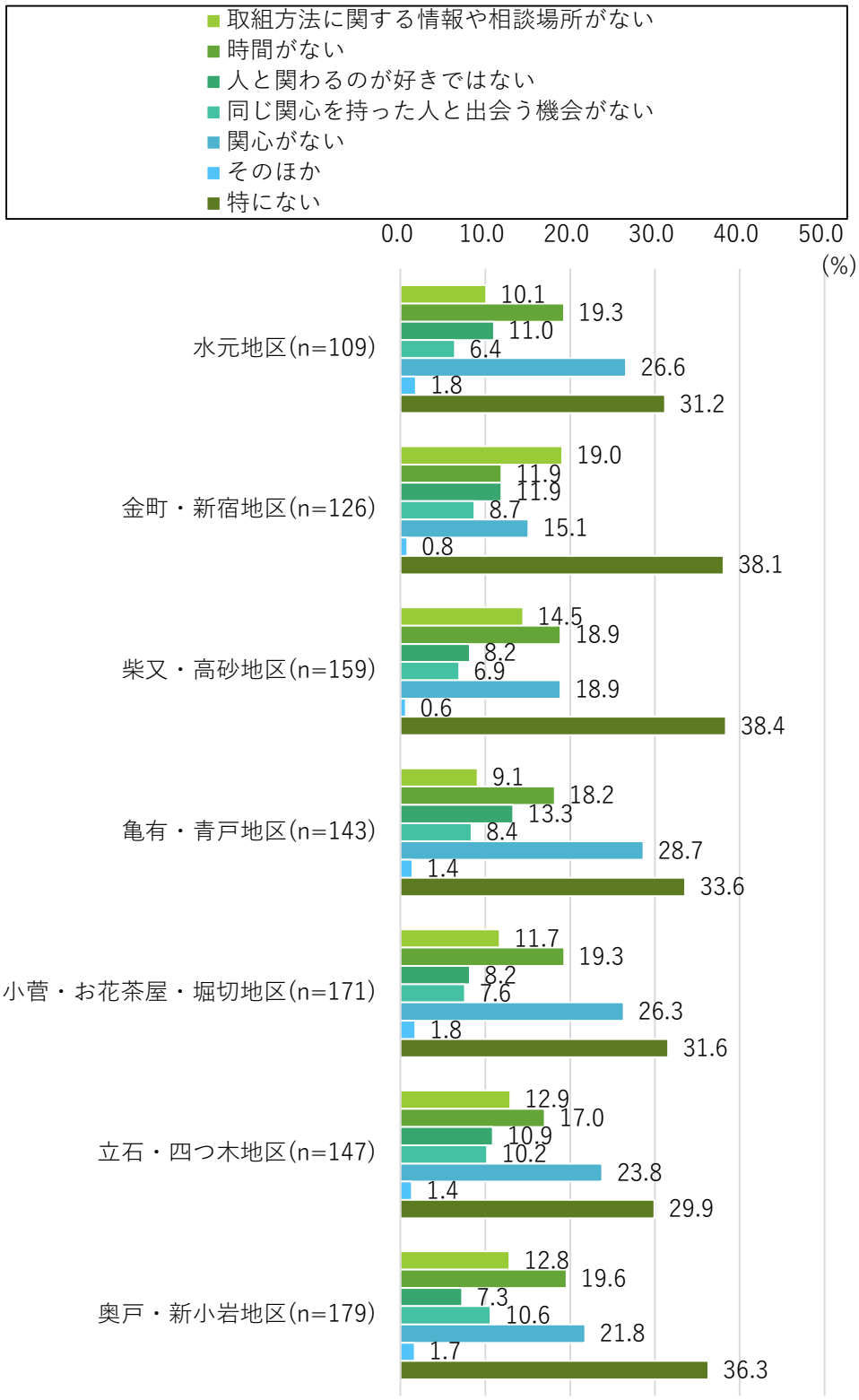
【年齢別】

- 20 代において「特にない」が全体の集計結果より低い。また、「時間がない」「関心がない」がやや高い。
- 30 代では「特にない」が全体の集計結果より高い。また、「関心がない」がやや低い。
- 40 代において「関心がない」が全体の集計結果よりやや高い。



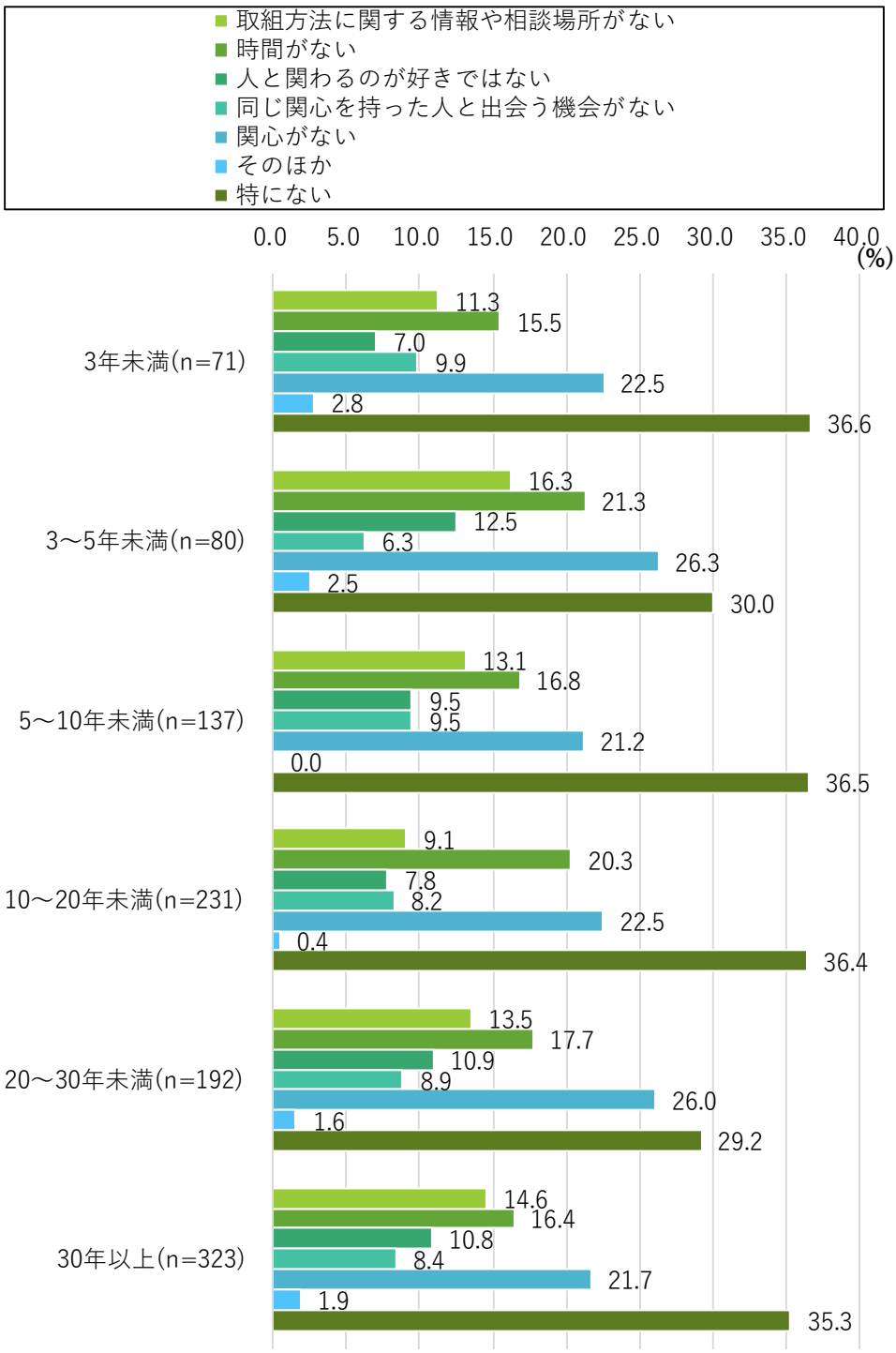
【居住地別】

- 金町・新宿地区において「取組方法に関する情報や相談場所がない」が全体の集計結果よりやや高い。また、「時間がない」「関心がない」がやや低い。
- 亀有・青戸地区において「関心がない」が全体の集計結果よりやや高い。



【在住歴別】

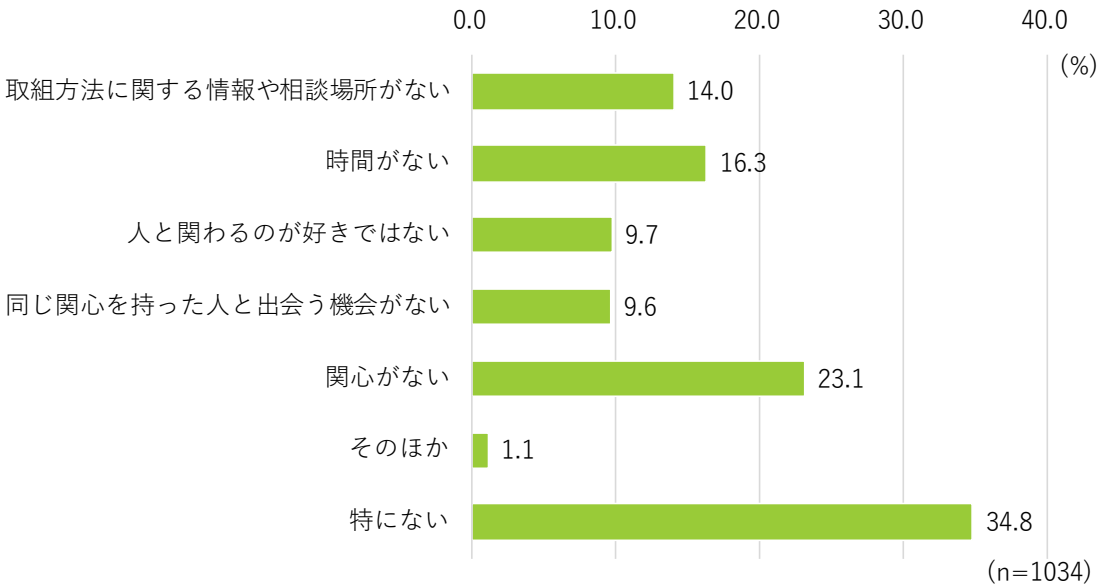
- 20～30 年未満において「特にない」が全体の集計結果よりやや高い。



ク　緑や水辺の活用について地域でアイデアを出す

【単純集計】

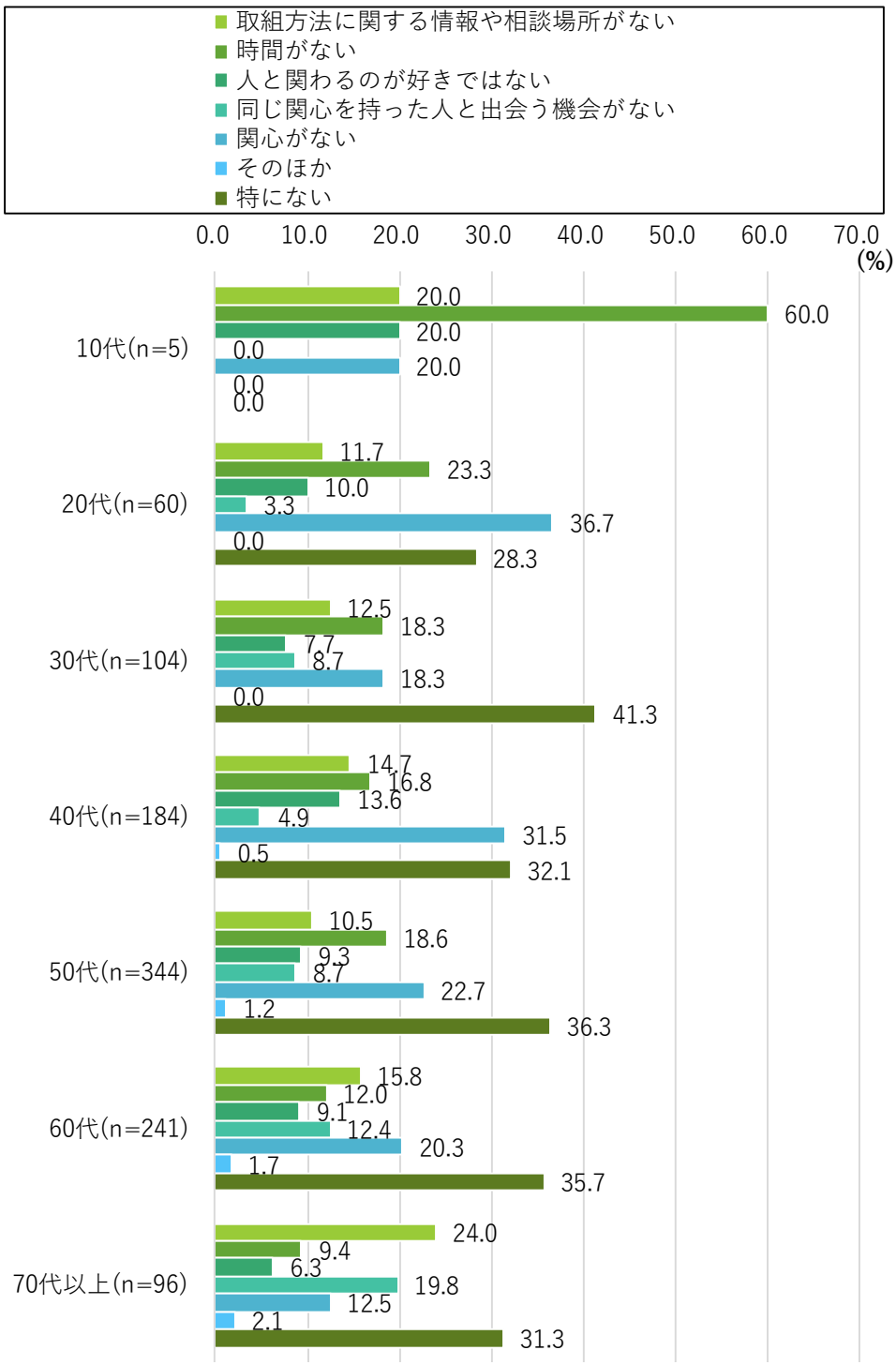
- 「特にない」（34.8%）が最も多い。



「そのほか」の回答
- ・実践中
- ・人に伝えるのは苦手
- ・能力がない
- ・お金も時間もない
- ・忙しい
- ・休みが平日の為
- ・面倒
- ・メリットを感じられない
- ・役所が取り組むべき
- ・身体的に無理
- ・持病で出来ない

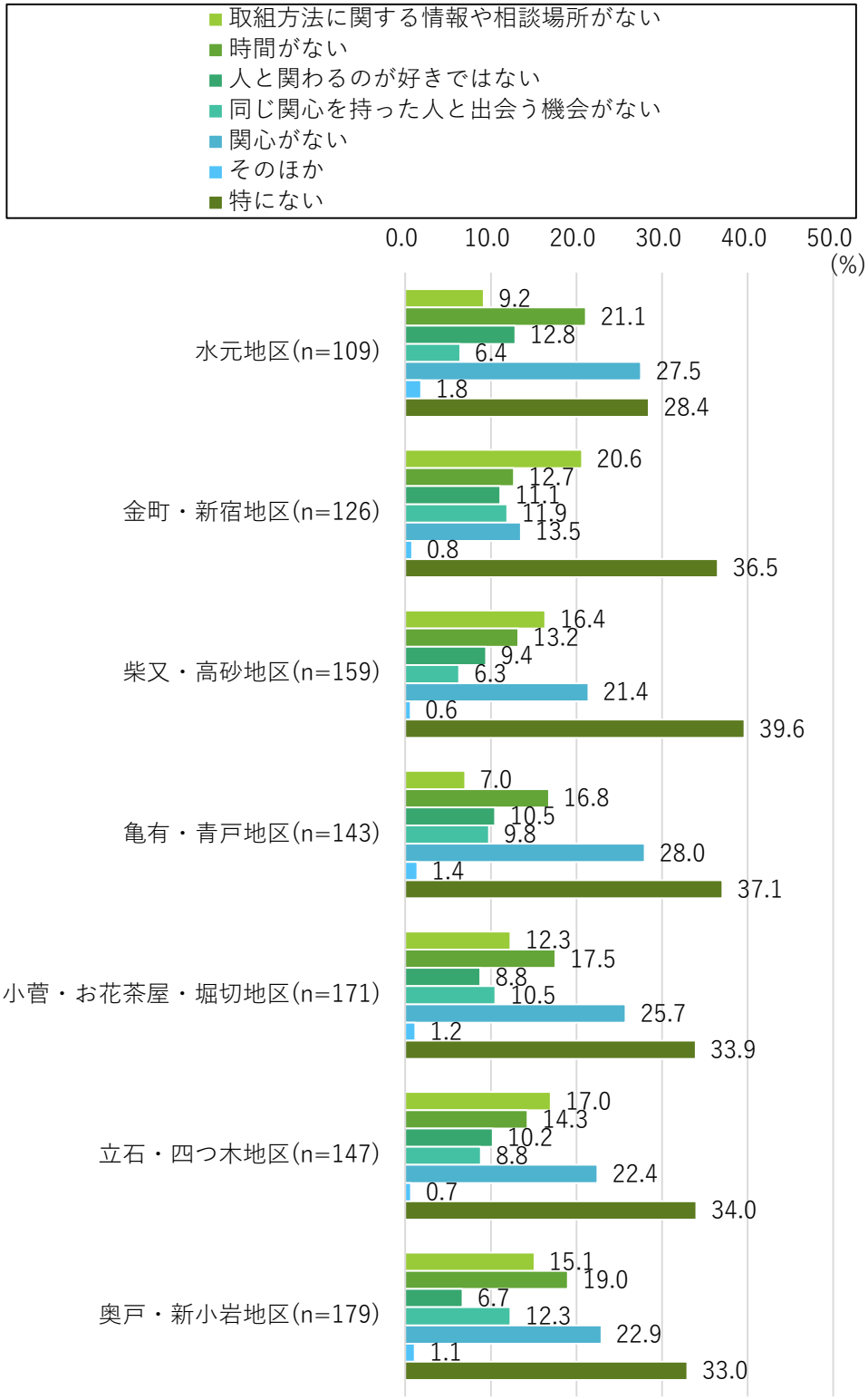
【年齢別】

- 20 代において「関心がない」が全体の集計結果より高く、「時間がない」がやや高い。また、「同じ関心を持った人と出会う機会がない」「特にない」がやや低い。
- 30 代において「特にない」が全体の集計結果よりやや高い。
- 40 代において「関心がない」が全体の集計結果よりやや高い。
- 70 代において「同じ関心を持った人と出会う機会がない」が全体の集計結果より高く、「取組方法に関する情報や相談場所がない」がやや高い。また、「関心がない」が低く、「時間がない」がやや低い。



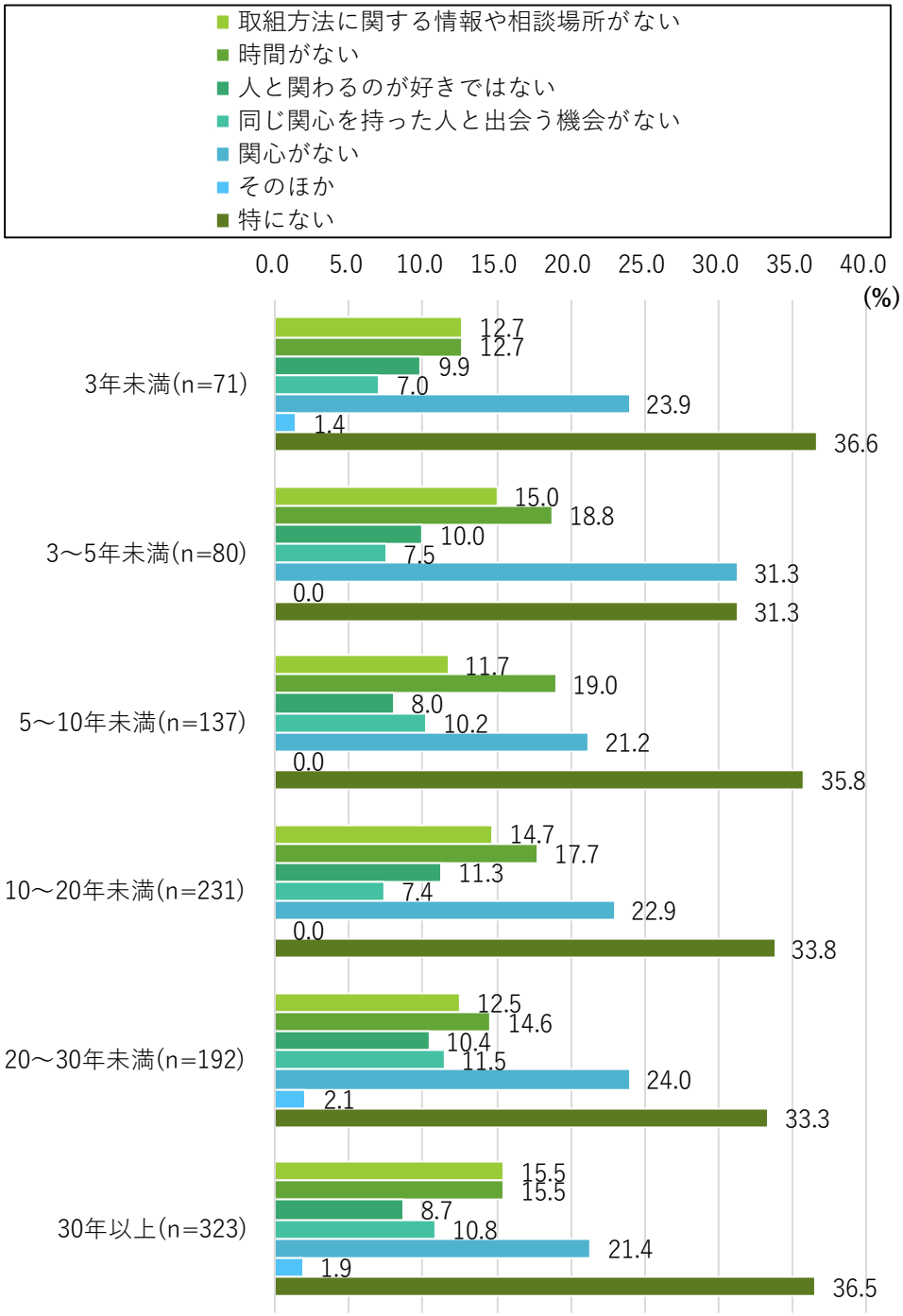
【居住地別】

- 水元地区において「特にない」が全体の集計結果よりやや低い。
- 金町・新宿地区において「取組方法に関する情報や相談場所がない」が全体の集計結果よりやや高い。また、「関心がない」がやや低い。
- 亀有・青戸地区において「取組方法に関する情報や相談場所がない」が全体の集計結果よりやや低い。



【在住歴別】

- 3～5 年未満において「関心がない」が全体の集計結果よりやや高い。



ケ　近所で一緒に道路に面した場所に緑や花を植える

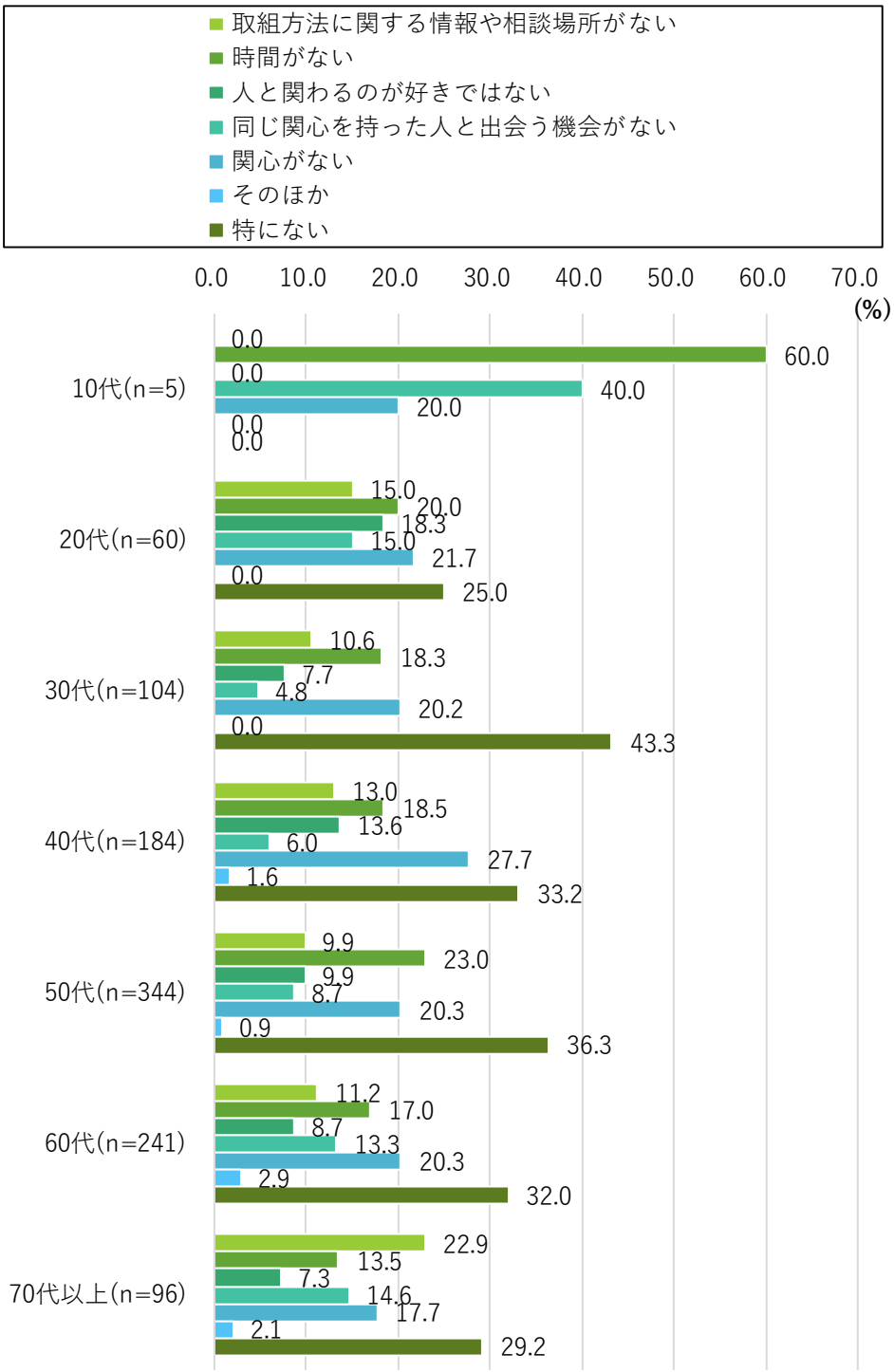
【単純集計】

- 「特にない」（33.9%）が最も多い。

「そのほか」の回答
- 近所の人と行っている
- 実践中
- お金も時間もない
- 忙しい
- 休みが平日の為
- 近所づきあいは苦手
- 男がそんなことをするのは照れくさい
- どこまで勝手にやっていないのかわからない
- そんな土地があるとは思えない
- 役所が促すべきで、住民に聞く問題ではない。
- 葛飾区全体を云々では
- 足腰が悪いから
- 身体的に無理。
- 身体に障害がある
- 持病で出来ない

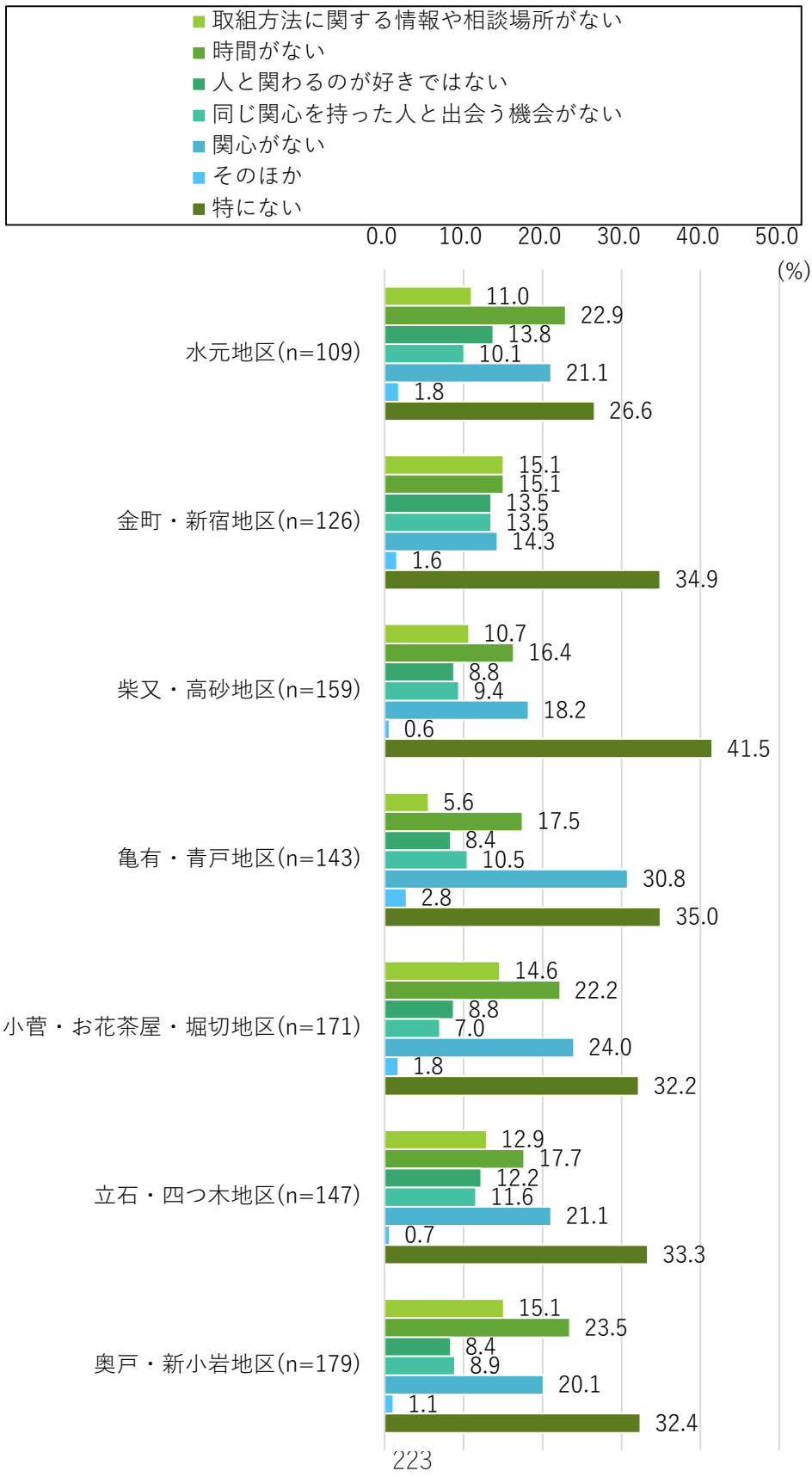
【年齢別】

- 20 代において「人と関わるのが好きではない」「同じ関心を持った人と出会う機会がない」が全体の集計結果よりやや高い。また、「特にない」がやや低い。
- 30 代において「特にない」が全体の集計結果よりやや高い。また、「同じ関心を持った人と出会う機会がない」がやや低い。
- 40 代において「関心がない」が全体の集計結果よりやや高い。
- 70 代以上において「取組方法に関する情報や相談場所がない」が全体の集計結果より高い。また「時間がない」がやや低い。



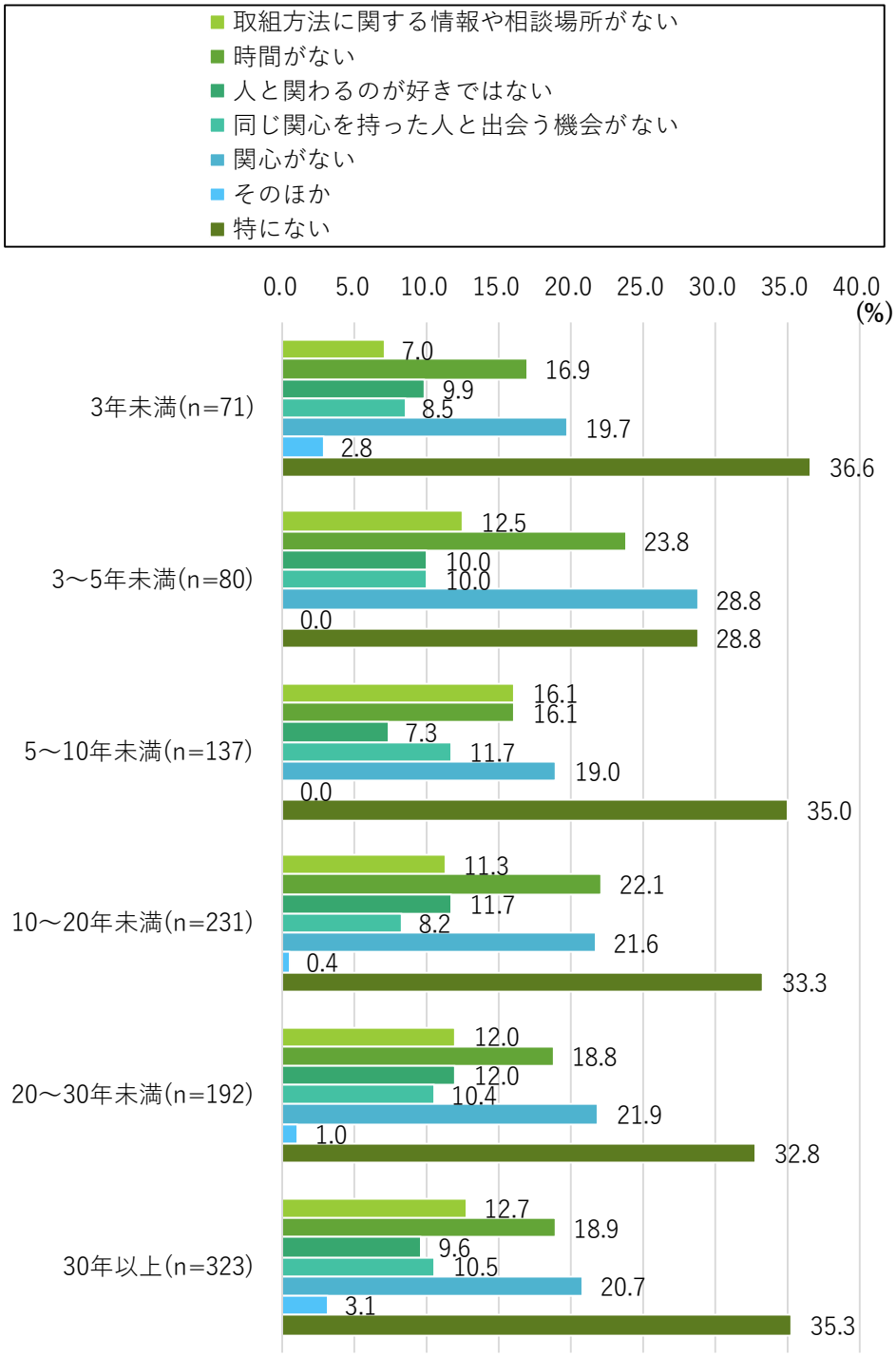
【居住地別】

- 水元地区において「特にない」が全体の集計結果よりやや低い。
- 金町・新宿地区において「関心がない」が全体の集計結果よりやや低い。
- 柴又・高砂地区において「特にない」が全体の集計結果よりやや高い。
- 亀有・青戸地区において「関心がない」が全体の集計結果よりやや高い。また、「取組方法に関する情報や相談場所がない」がやや低い。



【在住歴別】

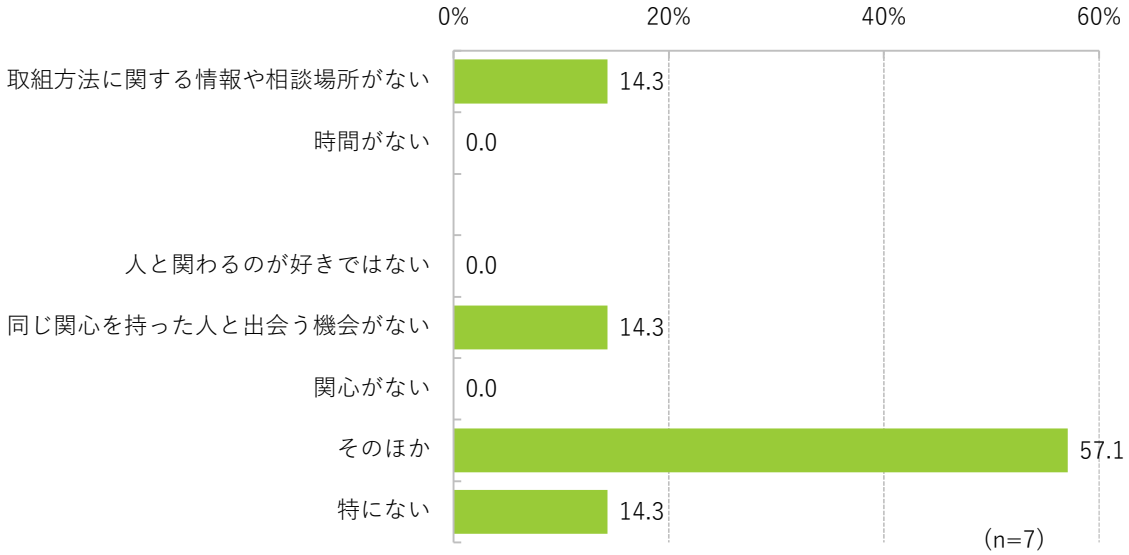
- 3 年未満において「取組方法に関する情報や相談場所がない」が全体の集計結果よりやや低い。
- 3～5 年未満において「関心がない」が全体の集計結果よりやや高い。また、「特にない」がやや低い。



コ　そのほかの取組

【単純集計】

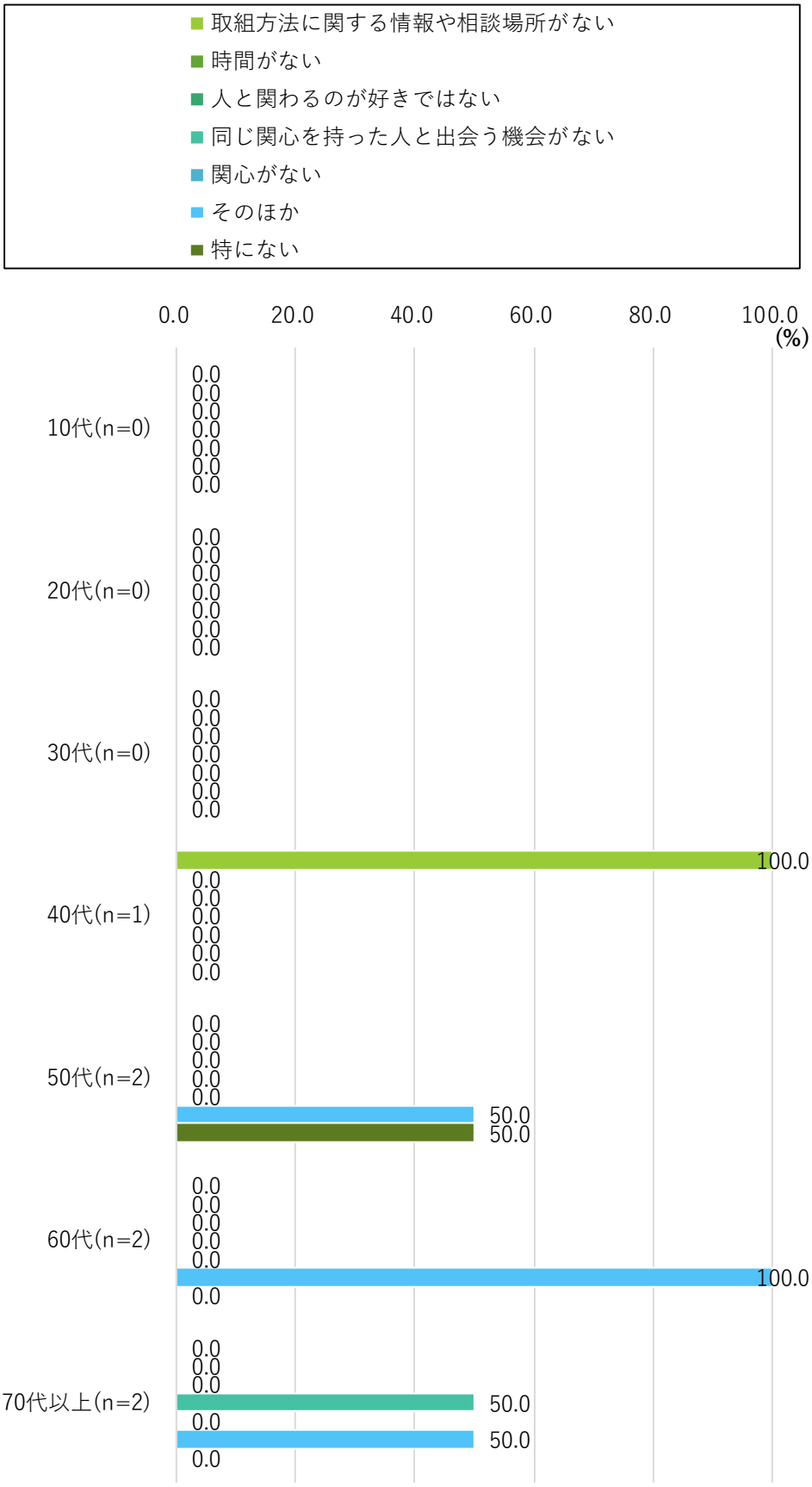
- 「そのほか」（57.1%）が最も多い。



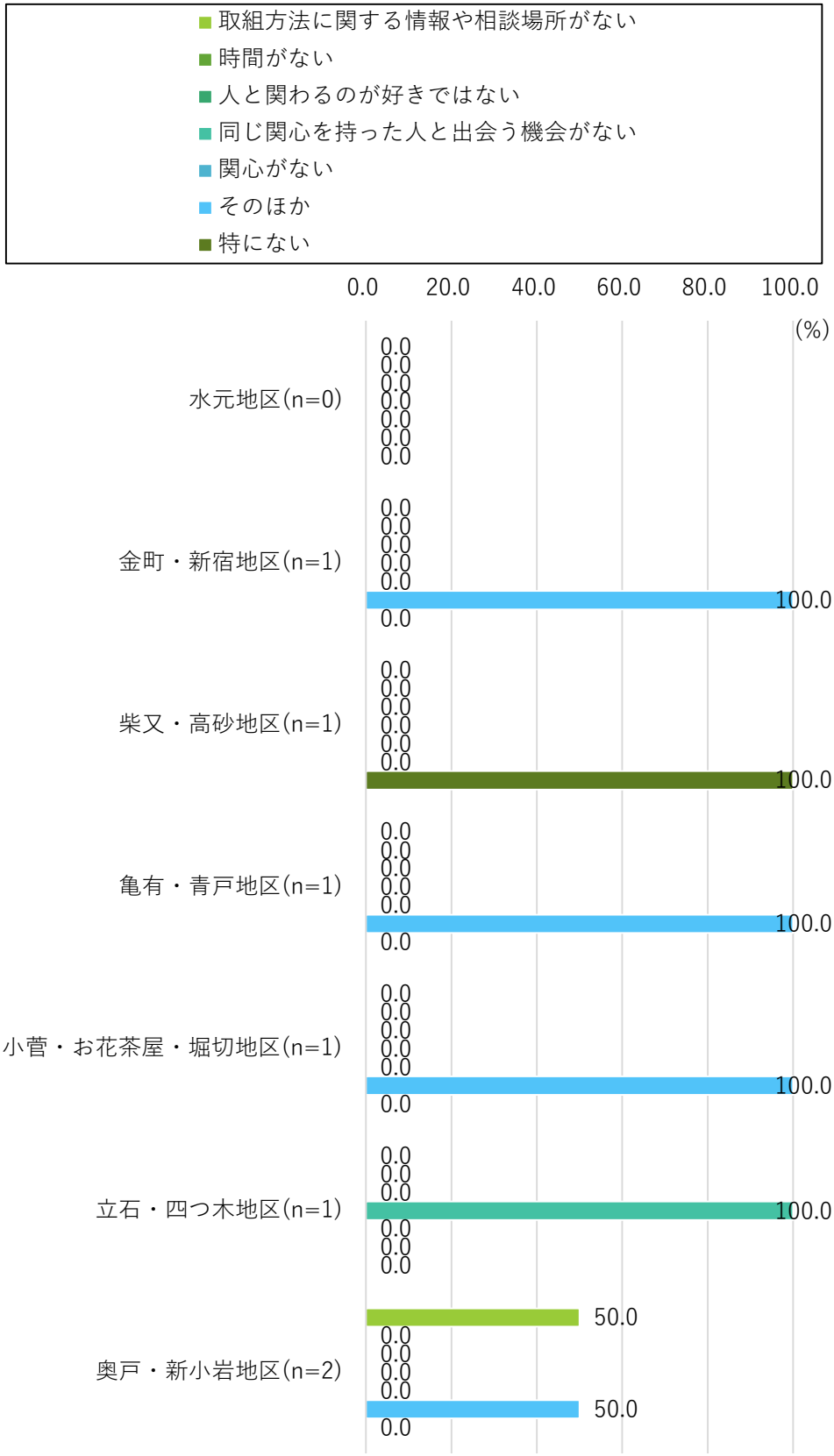
「そのほか」の回答
- その通りだと思う
- 区としての事業基盤整備後区民と融合
- 低所得である
- 喫煙者の良識

【年齢別】

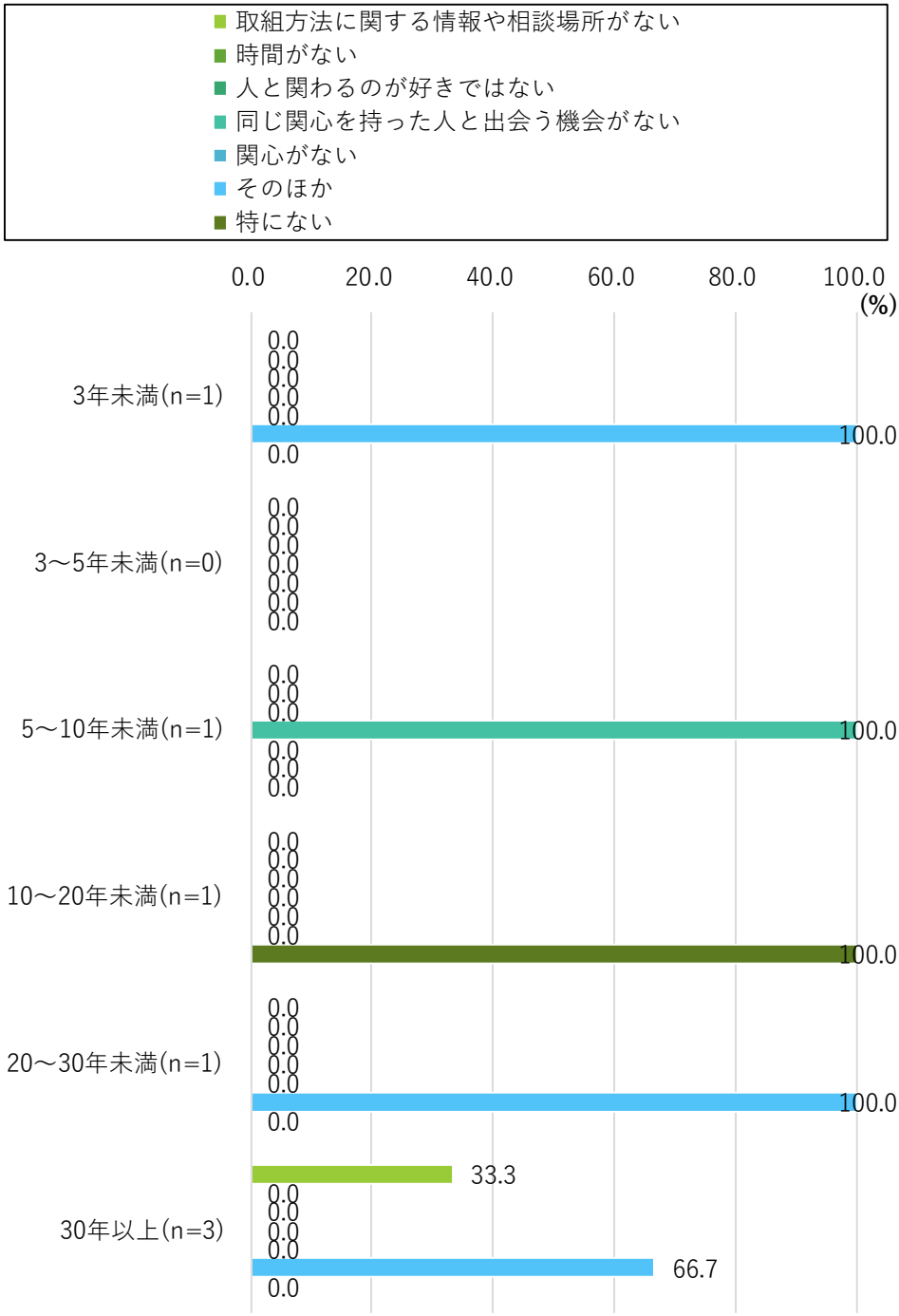
（クロス集計については母数が少ないため参考値として掲載。以下同じ。）



【居住地別】


取組方法に関する情報や相談場所がない
時間がない
人と関わるのが好きではない
同じ関心を持った人と出会う機会がない
関心がない
そのほか
特にない
0.0
20.0
40.0
60.0
80.0
100.0
(%)
水元地区(n=0)
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
金町・新宿地区(n=1)
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
100.0
0.0
柴又・高砂地区(n=1)
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
100.0
亀有・青戸地区(n=1)
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
100.0
0.0
小菅・お花茶屋・堀切地区(n=1)
0.0
0.0
0.0
0.0
0.0
100.0
0.0
立石・四つ木地区(n=1)
0.0
0.0
0.0
100.0
0.0
0.0
0.0
奥戸・新小岩地区(n=2)
50.0
0.0
0.0
0.0
0.0
50.0
0.0

【在住歴別】


取組方法に関する情報や相談場所がない
時間がない
人と関わるのが好きではない
同じ関心を持った人と出会う機会がない
関心がない
そのほか
特にない
0.0
20.0
40.0
60.0
80.0
100.0
(%)
3年未満(n=1)
3～5年未満(n=0)
5～10年未満(n=1)
10～20年未満(n=1)
20～30年未満(n=1)
30年以上(n=3)
100.0
100.0
100.0
100.0
33.3
66.7

7　自由意見

Q　葛飾区内の緑や水辺について日ごろ感じていること、区役所に取り組んでほしいことについてのご提案、ご意見がありましたら、ご記入ください。

- 記述内容の頻出語を基に分類を行った結果、「特になし」（481 件）が最も多く、次いで「緑化の推進」に関する内容が 67 件、「公園の整備」に関する内容が 59 件、「河川・水辺の整備」に関することが 52 件であった。

カテゴリ	件数
特になし	481
緑化の推進	67
公園の整備	59
河川・水辺の整備	52
わからない	50
街路樹・緑の整備	47
清掃・衛生	46
現状維持	39
防災	38
地域イベント	34
街の整備	26
施設の整備	17
予算・税金	15
その他	63

Ⅴ　考察

1　緑に対する意識　（「緑について」の集計結果より）

（1）全般

①緑の量やまちの魅力としての満足度に対する意識

- 実感として、住まい周辺には一定程度の緑があり、半数以上の回答者が過去 10 年を振り返って増えても減ってもいないと捉えている。また、まちの魅力を高める要素として不満に感じている割合は低い。
- 緑の量の多さに対する実感、まちの魅力としての満足度は、地区別の緑被率を大きくは乖離していない（下図）。
- 多くの回答者が、緑が多い・身近と感じる場所は「公園」で、今後増やしていく必要があると感じる緑は「公園の緑」「道路沿いの緑」である。
- 緑があってよかったこととして、緑のある景色に癒される、自然の豊かさが感じられる、快適に暮らせること、きれいな街並みが保たれることが選ばれている。

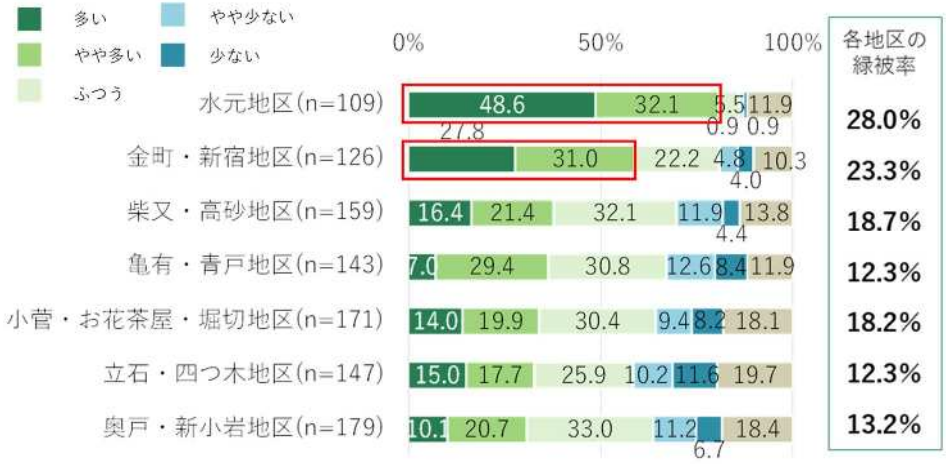


図　住まい周辺の緑の量（地区別集計）と緑被率

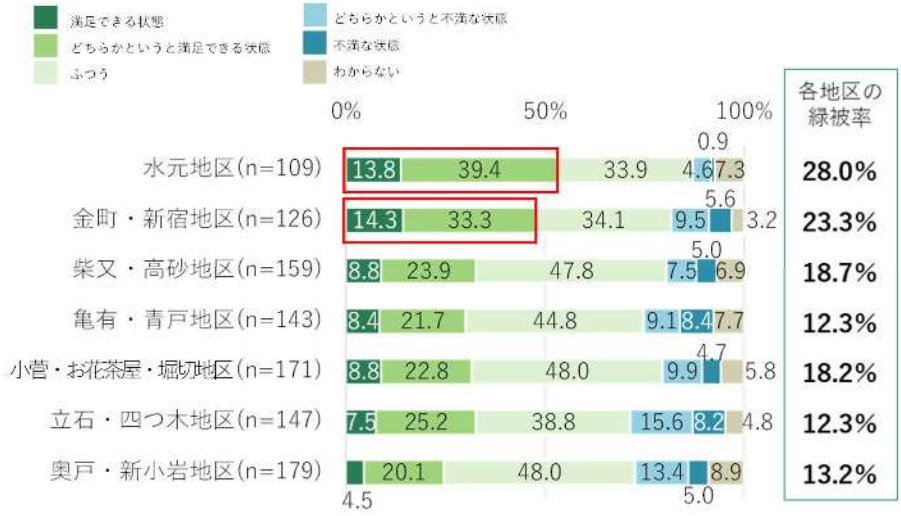


図　緑の満足度（地区別集計）と緑被率

②緑と自身の関わり

- 普段緑に触れる機会は「ない」が約 40%で最も多い。
- 地区別では、緑被率が高い水元地区と金町・新宿地区において他の地区より「ない」の割合が低い。
- 触れる機会がない理由として、緑被率が低い立石・四つ木地区において「身近なところにみどりが少ない」（37.5%）が、他地区（10～20%程度）より高い割合となっている。しかし、立石・四つ木地区も含め、全体としては「特にない」が最も多い。
- 緑に関するこれからの取組について、緑がある場所で享受できる「樹木や草花を楽しむ、感じることを目的とした公園利用・散策」（34.3%）、「自然観察」（30.3%）が選ばれており、これらに比べて自ら緑を育てる「自宅でのガーデニング」（20.1%）や「公園や自宅周辺の清掃や除草・花壇活動など地域の活動への参加」（7.4%）を選んだ割合は低い。この傾向は、地区別にみても概ね同様である。
- 緑に触れる機会、今後行いたい緑の活動、緑について区に期待する取組は、「特にない」とする回答が一定数（２～３割）見られる。

【まとめ】

- 緑の量や、まちの魅力を高める要素として、現状に大きな不満はない。
- 緑は、公園、道路、河川沿いなど公共空間に「あるもの」で、緑があってよかったこととして、緑のある景色に癒される、自然の豊かさが感じられる、快適に暮らせるなど、効果を享受する意識がやや強く、自ら育てる意識はやや希薄である。
- 様々な設問に共通して「特にない」の回答が２～３割を占めており、緑そのものに関心がないと考えられる層も一定数存在する。
- 緑をまちの共有資産としてみんなで育てていくためには、意識の醸成が必要である。

（2）まちの魅力を高めるという要素としての緑の満足度による意識の違い

- 「まちの魅力を高める」という要素としての緑に満足している層と不満を感じている層で回答者全体の集計結果（%）と比較して差が生じている設問結果を整理した（下表）。

＜表中の記号＞

【高】【低回答者全体の集計結果（%）と比較し 10 ポイント以上の差がある

【やや高】【やや低】回答者全体の集計結果（%）と比較し 5 ポイント以上 10 ポイント未満の差がある

設問	**「まちの魅力を高める」という要素としての緑に満足している層*** （*満足・やや満足の計）	**「まちの魅力を高める」という要素としての緑に不満を感じている層*** （*不満・やや不満の計）
住まい周辺の緑の量	多いと感じている	少ないと感じている
緑が多いまたは身近に感じる場所	【高】　公園 【やや高】河川沿い、道路	【やや低】公園、道路
緑が増えたと感じる場所	【高】　公園 【低】　増えたと感じる場所がない	【低】　公園 【高】　増えたと感じる場所がない
緑が減ったと感じる場所	—	【高】　一戸建て住宅の庭や生け垣 【やや高】道路、農地、駅前、マンションや団地 【低】　減ったと感じる場所がない
今後増やしていく必要がある緑	—	【高/やや高】農地を除く項目 【低】　特にない
暮らしのなかで緑があってよかったと感じる時	※「満足」と回答した層 【高】緑のある景色に癒される 子育て環境に良い 葛飾らしい個性が感じられる	【高】自然環境の豊かさが感じられる 美しい街並みが保たれる
緑に触れる機会を持たない理由	【やや高】時間がない	【高】　身近なところに緑が少ない 【やや高】時間がない
葛飾らしいまたは葛飾の魅力だと感じる、緑や水辺の風景	【高】　大きな芝生広場のある公園 【やや高】大きな木のある道路	【やや高】自然豊かな川の風景
住まい周辺の公園の量	多い、やや多いと感じている	少ない、やや少ないと感じている
公園の利用頻度	※「満足」と回答した層 【高】週 1 回以上利用	—

住まい周辺に緑が多いと感じており、公園、河川沿い、道路で緑を身近に感じている
公園を比較的高い頻度で利用しており、利用を通じて緑の豊かさを感じていると推測

住まい周辺に緑が少なく、減っていると感じている
満足している層より緑化の必要性を強く認識
自然、景観を形作るものとして緑を重視
身近に緑、公園が少ないと感じている

【まとめ】

- 満足度を高めている主な要素は、公園、道路、河川沿いなど、緑を身近に感じる環境があることと考えられる（特に、公園の利用が、緑の豊かさを実感する機会になっていると推測される）。
- 不満を感じさせている要素は、身近な場所での緑の少なさ、緑の減少が大きい。
- これらの結果から、次の 3 点が今後の取組において重要と考えられる。
  - 公園や水辺の魅力を高め、利用してもらうことで、緑を身近に感じる機会を増やしていくことが満足度を高めていく上で重要
  - 緑の豊かさが感じられる公共施設や道路空間（沿道含む）の形成、身近な場所（住宅、駅前、団地・マンション等）での緑の確保も、重要なポイント
  - 公園や水辺も含まれるみどり率は 23 区中 4 番目であるものの、引き続き地区別の緑被率が低い地区において、緑を身近に感じられる緑化を進めていくことが重要

2　水辺に対する意識　（「水辺について」「葛飾らしい緑と水辺の風景」の集計結果より）

- 荒川・江戸川の河川敷、中川・新中川の親水テラスは、親しみを持つ存在となっている。
- 葛飾らしい緑と水辺の風景として、道路沿いのせせらぎも約3割の回答者が選んでいる。
- 水辺のネットワーク性を活かした散策、ウォーキング、ジョギングなど健康づくりといった利用が主になされており、今後したい利用方法もほぼ同じ傾向となっている。
- また、水辺の利用について、現在は「利用しない」が 33.3%だが、今後の利用について「特にない」は 21.9%となっていることから、現在は利用していないが、今後の利用には関心を持つ層が1割程度存在している。

【まとめ】

- 水辺は親しみをもって受け止められており、区民が日常的に利用できる場として整備、活用していくことが重要である。
- 水辺の利用方法については、現在と今後に差がない。現在行っていることに満足しているか、もしくは現在の利用方法以外のイメージが持てていない可能性がある。また、現在は水辺を利用していないが、利用に関心を持っている層も1割程度存在している。水辺の活用を進めるに当たり、水辺の利用可能性について様々な試行などを展開し、区民の関心を高める取組が重要である。

3　公園に対する意識　（「公園ついて」の集計結果より）

- 住まい周辺の公園の量については、「ふつう」が 45.1%で最も多い。また、「多い」と「やや多い」の合計が、「少ない」と「やや少ない」の合計を上回っている。公園の利用頻度が高い 30 代と 70 代以上、現在の利用頻度は高くない 40 代において、「多い」「やや多い」と回答している割合が高い。
- 公園を利用しない理由について「近くに公園がない」は1割未満である。
- 身近な公園に対して望むことは、「静かで落ち着いていること」が4割弱を占めているが、年齢別では子育て世代に当たる 20～40 代では「静かで落ち着いていること」に近い割合で、「子ども用の遊具が充実していること」や「大きな広場があること」が望まれている。
- 年齢が上がるほど「木陰をつくる大きな木があること」や「四季折々の花が楽しめること」が望まれている。

【まとめ】

- 公園の量については一定の満足が得られている。
- 公園を比較的高い頻度で利用する、子育て世代（主に 30 代）が望む子どもを遊ばせられる公園、高齢世代に望まれている大きな樹木や四季折々の花のある落ち着いた環境のある公園については、利用者のニーズが高い公園として考慮していく必要がある。

4　区の取組に対する認知度と期待　（「期待する区の施策」の集計結果より）

- 区役所の取組について、「知っている取組は無い」とした回答者が５割弱。認知度が比較的高い取組は、区民農園、花いっぱいのまちづくり活動（約２割が認知）。
- 緑については「街路樹や公共施設の緑の維持管理の充実」「農地の減少を防ぐため、手放される農地を有効に活用する」などが選ばれている。
- 水辺については「水辺に近づきやすくなるよう、施設の整備や改修を行う」「鳥、昆虫などの生きものが生息できる植栽や水辺を充実させる」「キッチンカーやカフェなど飲食ができる場所や機会を増やす」などが選ばれている。
- 公園については「古くなった公園をリニューアル」「歩いて行ける身近な公園を増やす」「木陰をつくる大きな樹木を増やす」などが選ばれている。
- これらの結果から、整備も求められる一方で、現在ある資源を適切に維持または育成、活用、リニューアルする取組へのニーズも高い。
- 緑、水辺、公園のいずれについても「特にない」の回答が一定数（２～３割）見られる。

【まとめ】

- 区の取組が区民にあまり知られていないことから、区の取組をはじめ、身近な緑や水辺について知る機会を設けていくことが重要である。
- 総体としては、既存のストックを適切に維持または育成、再生していくことがやや重視されており、質を高めていくことが重要である。
- 「（１）緑に対する意識」と同様に、各設問に共通して「特にない」の回答が２～３割を占めており、緑・水辺・公園そのものに関心がないと考えられる層も一定数存在しており、関心を向けてもらうための情報発信も重要である。

5　協働への意識　（「協働への意識」の集計結果より）

（1）全般

- 緑化推進や水辺の活用によるまちの魅力向上のための協働の取組については、必要性を感じている人が多い。
- 緑や水辺によって、まちを今よりも魅力的なものにするため回答者自身がしてみたいことは、「特にない」（37.0%）が最も多い。次いで多い回答は、「フードフェス・マルシェなどのイベントへの参加」「自然観察・生きもの調べなど自然に関わるイベントや活動への参加」「水辺や公園、道路などで行うイベントの企画」であり、緑や水辺の保全・創出そのものへの主体的な関わりよりも、場の活用への関心が高い。
- 取組の妨げになっていることは、いずれの取組も「特にない」「時間がない」「関心がない」が上位を占めている。

【まとめ】
- 協働の取組の必要性は認識されているが、自身の取組については「特にない」と考える割合が高く、協働が自分ごとと捉えられていない。
- また、イベントへの参加や企画など場の活用への関心が高く、自ら緑を育てたり、地域の活動に参加する意識はやや希薄である。
- 関心の高いイベントへの参加、企画といった活動機会を設けていくとともに、イベントの機会に自ら緑や花を植える、育てることにつながる体験の場を設けるなどして、楽しさを実感してもらうなど、自身の行動につながるきかっけをつくっていくことが重要である。

（2）世代別の意識・意向

- 緑化推進や水辺の活用によるまちの魅力向上のための協働の取組について、世代別では、20 代、60 代及び 70 代以上において必要性を感じている人の割合が高く、30 代から 50 代はやや低い結果となった。
- 協働の必要性を感じている割合がやや低く、かつ「わからない」と回答した割合が高い 30 代・40 代・50 代に着目すると、次の取組に関心がみられる一方で、「特にない」を選んだ割合が 4 割前後と高い。

  ＜関心が見られる取組＞

  （30～50 代共通）「フードフェス・マルシェなどイベントへの参加」
  「緑や水辺の活用について地域でアイデアを出す」
  「自然観察・生きもの調べなど自然に関わるイベントや活動への参加」

  （30 代のみ）　「清掃活動や花壇活動などを行うイベントへの参加」
- そこで、30 代・40 代・50 代の「妨げとなっていること」への回答を見ると、共通事項として「関心がない」 「時間がない」ことが妨げになっており、また「特にない」も多いという特徴がみられた。

【まとめ】

- 「関心がない」「時間がない」ことが妨げになっており、また「特にない」も多いことから、まずは、緑・水辺に関心を持つきっかけをつくることが大切である。
- 緑や水辺によって、まちを今よりも魅力的なものにするためにしてみたいことが「特にない」の回答が多く、「協働できること（担い手として取り組むこと）」をイメージできていない可能性がある。このことから、活動を体験できる機会をつくり、活動内容や所要時間について、イメージをもってもらうことが必要である。
- 「時間がない」ことが妨げとなっていることに対し、短時間でもできる活動や、活動時間が選べる活動があることなど、様々な活動があることを知ってもらうこと（情報発信）も必要である。

6　地区別の特徴

- 地区別のクロス集計の結果において、回答者全体の集計結果と比較して特徴的な結果が出ているポイントを下表に整理した。

地区	緑・公園に対する意識	水辺に対する意識	葛飾らしい緑・水辺の風景	区の取組に対する意識	今後（も）してみたいこと	まとめ
水元地区	・住まい周辺の緑の量、公園の量を「多い・やや多い」と回答した割合が他地区より高い。 ・まちの魅力を高めるという要素しての満足度が他地区より高い。 ・緑が減ったと感じる場所として、「公園」「農地」を選んだ割合がやや高い。 ・緑を増やしていく必要がある場所として、「一戸建ての住宅」を選んだ割合が他地区よりやや高い。	・親しみを感じている水辺はとして「大場川・水元小合溜」を多数の回答者が選択。	・「大きな芝生広場のある公園」「河川敷の風景」を多数の回答者が選択。 ・「大きな芝生広場のある公園」が他地区より高い割合で、「植栽が豊かな住宅の街並み」がやや高い割合で選ばれている。	・緑 「農地の減少を防ぐため、手放される農地を有効活用する」「一戸建て住宅の緑化への支援を拡充する」を選んだ割合が他地区よりやや高い。 ・水辺 「キッチンカー、カフェなど飲食ができる場所や機会を増やす」「水辺でのイベントやマルシェなど、区民がやりたいことをできる仕組みをつくる」を選んだ割合が他地区よりやや高い。 ・公園 「木陰をつくる大きな樹木を増やす」を選んだ割合が他地区よりやや高い。	・緑に関する活動について、「自宅でのガーデニング」を選んだ割合が他地区より高く、「特にない」を選んだ割合が低い。 ・ガーデニングに関しては、「緑や水辺によって、まちを今より魅力的にするためにしてみたいこと」においても、やや高い割合で選ばれている。	・緑・公園に対する満足度が高い。 ・水辺の利用頻度が高い。 ・農地の減少を他地区よりも感じており、保全と手放される農地の有効活用のニーズがある。 ・一戸建て住宅の緑化への支援が求められており、ガーデニングの取組意向も高い。 ・水辺の活用や公園における大きな樹木についてもニーズがある。
金町・新宿地区	・住まい周辺の緑の量を「多い・やや多い」と回答した割合が他地区より高い。 ・まちの魅力を高めるという要素しての満足度が他地区より高い。 ・公園について、量を「多い・やや多い」と感じている割合が他地区よりやや高く、月１回以上利用している割合も高い。	・親しみを感じている水辺はとして「荒川、江戸川の河川敷」、「大場川・水元小合溜」を多数の回答者が選択。 ・現在の利用、今後の利用とも、自然観察を選んだ割合が他地区より高い。	・「河川敷の風景」「大きな芝生広場のある公園」を多数の回答者が選択。 ・「社寺林のある風景」が他地区より高い割合で選ばれている。	・緑 「マンション、団地やビルの建築時の緑化指導や緑化への支援を拡充する」を選んだ割合が他地区より高く、「街路樹や公共施設の緑の維持管理を、より充実させる」がやや高い。 ・水辺 「水辺に近づきやすくなるよう、施設の整備や改修を行う」「鳥、昆虫などの生きものが生息できる植栽や水辺を充実させる」を選んだ割合が他地区よりやや高い。	・緑に関する活動について、「樹林や草花を楽しむ、感じることを目的とした公園利用・散策」「自然観察」「公園や自宅周辺の清掃や除草・花壇活動など地域の活動への参加」を選んだ割合が他地区よりやや高い。	・緑、公園に対する満足度は高く、公園の利用頻度は高い。 ・水辺の自然環境に関心がみられる。 ・マンション等建築時の緑化指導や支援、水辺に近づきやすくする施設整備のニーズがある。 ・清掃や除草・花壇活動など地域の活動への参加などへの関心もやや高い。
柴又・高砂地区	・住まい周辺における緑量の過去 10 年の変化について、「減ったと感じる場所はない」「増えたと感じる場所はない」とも、他地区よりやや高い。 ・普段の公園の利用方法について、「利用しない」と回答した割合が他地区よりやや高い。	・親しみを感じている水辺はとして「荒川、江戸川の河川敷」「中川・新中川の親水テラス」を多数の回答者が選択。 ・今後の利用として、「ウォーキング、ジョギングなど健康づくり」を選んだ割合が他地区よりやや高い。	・「河川敷の風景」を多数の回答者が選択。 ・「社寺林のある風景」が他地区より高い割合で、「河川敷の風景」がやや高い割合で選ばれている。	・公園 「木陰をつくる大きな樹木を増やす」を選んだ割合が他地区よりやや低い。 「古くなった公園をリニューアルする」を選んだ割合が、立石・四つ木地区に次いで高い。	—	・住まい周辺における緑量の変化を感じていない割合がやや高い。 ・「河川敷の風景」が葛飾らしい風景と捉えられている。また、社寺林のある風景も他地区よりも多く選ばれている。 ・公園を利用しない割合がやや高い。

地区	緑・公園に対する意識	水辺に対する意識	葛飾らしい緑・水辺の風景	区の取組に対する意識	今後（も）してみたいこと	まとめ
亀有・青戸地区	・住まい周辺の緑の量を「多い・やや多い」と回答した割合が他地区よりやや低い。	・親しみを感じている水辺はとして「中川・新中川の親水テラス」「特にない」を多数の回答者が選択。	・「道路沿いのせせらぎ」を多数の回答者が選択。 ・「大きな木のある道路」が他地区より高い割合で、「道路沿いのせせらぎ」がやや高い割合で選ばれている。	・公園 「目的や気分によって公園を選べるように、公園ごとに特色を持たせる」を選んだ割合が他地区よりやや高い。	・緑や水辺によって、まちを今より魅力的にするためにしてみたいことについて、「自然観察・生きもの調べなど自然に関わるイベントや活動への参加」を選んだ割合が他地区よりやや高い。	・他地区と比べて緑被率が低い地区（緑被率 12.3%）であり、実感としても緑は多くない。 ・道路沿いのせせらぎや大きな木のある道路が葛飾らしい風景として捉えられている。 ・公園ごとに特色を持たせることへのニーズがやや高い。 ・自然に関わるイベントや活動への参加についての関心がやや高い。
小菅・お花茶屋・堀切地区	・住まい周辺の緑の量を「多い・やや多い」と回答した割合が他地区よりやや低い。 （参考） 小学生のアンケート結果において、緑がたくさんある場所として「川沿い」を選んだ割合が他地区より高い。	・親しみを感じている水辺はとして「荒川、江戸川の河川敷」を多数の回答者が選択。	・「河川敷の風景」「道路沿いのせせらぎ」を多数の回答者が選択。 ・「道路沿いのせせらぎ」が他地区より高い割合で選ばれている。	—	（参考） 小学生のアンケート結果において、緑がある場所でこれからしたいこととして、「ごみ拾いや落ち葉掃除などのボランティア活動」を選んだ割合が他地区より高い。	・緑よりも河川敷、道路沿いのせせらぎなどの水辺が葛飾らしい風景として捉えられている。 ・小学生のボランティア活動に対する関心が高い。
立石・四つ木地区	・住まい周辺の緑の量を「多い・やや多い」と回答した割合が他地区よりやや低い。 ・まちの魅力を高めるという要素としての満足度について、他地区より不満度がやや高い。 ・緑に触れる機会がない理由として、「身近なところに緑が少ない」を選んだ割合が他地区より高い。 ・緑を増やしていく必要がある場所として「公園」を選んだ割合が他地区より高い。	・親しみを感じている水辺はとして「荒川、江戸川の河川敷」を多数の回答者が選択。 ・今後の利用として、「水辺の公園で遊ぶ」「休息」を選んだ割合が他地区よりやや高い。	・「大きな芝生広場のある公園」「道路沿いのせせらぎ」を多数の回答者が選択。	・緑 「街路樹や公共施設の緑の維持管理を、より充実させる」を選んだ割合が他地区よりやや高い。 ・公園 「古くなった公園をリニューアルする」を選んだ割合が、他地区よりやや高い。	—	・他地区と比べて緑被率が低い地区（緑被率 12.3%）であり、実感としても緑は多くなく、身近なところに緑が少ないと捉えられている。 ・公園の緑の充実に関心が見られ、街路樹や公共施設の緑の維持管理の充実や古くなった公園のリニューアルへのニーズがやや高い。 ・水辺の公園で遊ぶことや休息することへの関心がやや高い。
奥戸・新小岩地区	・住まい周辺の緑の量、公園の量を「多い・やや多い」と回答した割合が他地区より低い。 ・まちの魅力を高めるという要素としての満足度が、他地区より低い。 ・普段の公園の利用方法について、「利用しない」と回答した割合が他地区よりやや高い。	・親しみを感じている水辺はとして「荒川、江戸川の河川敷」を多数の回答者が選択。	・「大きな芝生広場のある公園」「親水テラスのある河川の風景」を多数の回答者が選択。 ・「親水テラスのある河川の風景」が他地区より高い割合で選ばれている。	・緑、水辺、公園それぞれのニーズに関する質問で「特にない」を選択した割合が他地区よりやや高い。	・緑に関する活動で「特にない」を選択した割合が他地区よりやや高い。 ・緑や水辺によってまちを今より魅力的にするためにしてみたいことについても、「特にない」を選択した割合が他地区よりやや高い。	・他地区と比べて緑被率が低い（緑被率 13.2%）地区であり、まちの魅力を高めるという要素としての緑に対する満足度が低い。 ・親水テラスのある河川の風景が葛飾らしい風景と捉えられている。 ・区の取組へのニーズ、今後（も）してみたいことに関する設問全体をとおして「特にない」を選択した割合が高い。

資料　調査票(WEB 回答フォーム)

葛飾区の緑と水辺に関する区民アンケート

下記アンケートにご協力お願いいたします。

アンケート回答に設問とは関係のない情報が入力されていないかご確認ください。
PCやスマートフォンなどの環境によっては
自動でメールアドレスなどが入力されることがあります。
回答内容は調査依頼元に提供されるため、ご注意ください。

回答内容の取扱いは、プライバシーポリシーをご確認ください。

主催：株式会社マクロミル

「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。決して第三者に口外しないよう、ご協力お願いします。

アンケート中は、ブラウザの「戻る」ボタンは押さぬようご注意ください。

Q1　100%

はじめに、あなたご自身について伺います。
現在の世帯構成をお答えください。

◎ 単一回答　★ 必須回答　▲ とじる

1. 一人暮らし
2. 配偶者と同居
3. 配偶者・子どもと同居（2世代）
4. 親・配偶者・子どもと同居（3世代）
5. 子どもと同居
6. 親・配偶者と同居
7. 親と同居
8. そのほか（具体的に：（必須入力））

ここで改ページ

Q2
主なお住まいの住居形態をお答えください。

⊙ 単一回答　★ 必須回答

1. 一戸建て住宅（持ち家）
2. 一戸建て住宅（借家）
3. 集合住宅（持ち家）
4. 集合住宅（賃貸）
5. 社宅・寮
6. シェアハウス
7. そのほか（具体的に：(必須入力)）

ここで改ページ

Q3
葛飾区在住歴をお答えください。
引っ越し経験がある場合は、最近の引っ越しの後からの居住年数をお答えください。
※以降の設問も葛飾区についてお答えください。

⊙ 単一回答　★ 必須回答　▲ とじる

1. 3年未満
2. 3～5年未満
3. 5～10年未満
4. 10～20年未満
5. 20～30年未満
6. 30年以上

ここで改ページ

Q4
葛飾区にお住まいの理由として、最もあてはまるものをお答えください。

⊙ 単一回答　★ 必須回答

1. 生まれてから住んでいるから
2. 親族と同居・近くに住むため
3. 友人が住んでいるから
4. 勤務先・通学先に近いから
5. 買い物等の利便性が高いから
6. まちの雰囲気が良いから
7. 交通の便が良いから
8. 自然環境が豊かだから
9. 教育環境が良いから
10. 下町の情緒や地域のつながりが強いから
11. 家賃や住宅購入価格が条件に合ったから
12. そのほか（具体的に：(必須入力)）

ここで改ページ

C1

◇このアンケートにおける「緑」と「水辺」について
緑　：樹木や草花などの植物。
水辺：河川敷、親水テラス、道路沿いのせせらぎなど、水に親しめる場所のこと。

ここで改ページ

Q5
あなたのお住まい周辺は、緑が多いと感じますか。また、そう思う理由は何ですか。

⊙ 単一回答　★ 必須回答

1. 多い（理由：(必須入力)）
2. やや多い（理由：(必須入力)）
3. ふつう（理由：(必須入力)）
4. やや少ない（理由：(必須入力)）
5. 少ない（理由：(必須入力)）

⑥ わからない

ここで改ページ

Q6

あなたのお住まい周辺で、緑が多いまたは身近に感じる場所はどこですか。（いくつでも）

✔ 複数回答　★ 必須回答　▲ とじる

1 公園
2 道路
3 農地
4 社寺
5 学校
6 区役所、地区センターなどの公共施設
7 駅前
8 一戸建て住宅の庭や生け垣
9 マンションや団地
10 ショッピングセンター
11 河川沿い
12 そのほか（具体的に：（必須入力））
13 緑が多いまたは身近に感じる場所はない

ここで改ページ

Q7

過去10年を振り返って、あなたのお住まい周辺で緑が増えたと感じる場所はどこですか。葛飾区在住10年未満の場合は、住み始めたときと比べて緑が増えたと感じる場所をお答えください。（いくつでも）

✔ 複数回答　★ 必須回答　▲ とじる

1 公園
2 道路

3	農地
4	社寺
5	学校
6	区役所、地区センターなどの公共施設
7	駅前
8	一戸建て住宅の庭や生け垣
9	マンションや団地
10	ショッピングセンター
11	河川沿い
12	そのほか（具体的に：（必須入力））
13	緑が増えたと感じる場所はない

ここで改ページ

Q8

過去10年を振り返って、あなたのお住まい周辺で緑が減ったと感じる場所はどこですか。葛飾区在住10年未満の場合は、住み始めたときと比べて緑が減ったと感じる場所をお答えください。（いくつでも）

✔ 複数回答　★ 必須回答　▲ とじる

1	公園
2	道路
3	農地
4	社寺
5	学校
6	区役所、地区センターなどの公共施設
7	駅前
8	一戸建て住宅の庭や生け垣
9	マンションや団地
10	ショッピングセンター

11	河川沿い
12	そのほか（具体的に：(必須入力)）
13	緑が減ったと感じる場所はない

ここで改ページ

Q9

あなたのお住まい周辺で、今後増やしていく必要があると感じる緑はどれですか。（いくつでも）

✔ 複数回答　★ 必須回答　▲ とじる

1	公園の緑
2	道路沿いの緑
3	農地
4	社寺の緑
5	学校の緑
6	区役所、地区センターなどの公共施設の緑
7	駅前の緑
8	一戸建て住宅の緑
9	マンションや団地の緑
10	ショッピングセンターの緑
11	木陰をつくる大きな樹木
12	河川沿いの緑
13	そのほか（具体的に：(必須入力)）
14	特にない

ここで改ページ

Q10

あなたのお住まい周辺の緑は、「まちの魅力を高める」という要素として、満足できる状態ですか。

⊙ 単一回答　★ 必須回答　▲ とじる

1 満足できる状態である

2 どちらかというと満足できる状態である

3 ふつう

4 どちらかというと不満な状態である

5 不満な状態である

6 わからない

ここで改ページ

Q11

前問で【【Q10の選択内容】】と答えた理由を教えてください。

★ 必須回答

0/500文字

ここで改ページ

Q12

あなたが、暮らしのなかで緑があってよかったと感じるのはどんな時ですか。（いくつでも）

✔ 複数回答 ★ 必須回答 ↓ とじる

1 育てる・収穫する喜びが感じられる

2 緑のある景色に癒される

3 子育て環境に良い

4 野外活動を楽しめる

5 健康づくりに役立つ

6 快適に暮らせる

7 自然環境の豊かさが感じられる

8 災害時の安全性が感じられる

9	髙飾らしい個性が感じられる
10	美しい街並みが保たれる
11	多くの人と趣味を共有できる
12	緑を通した活動で人と関われる
13	緑を通して近所の一体感が生まれる
14	まちに賑わいが生まれる
15	そのほか（具体的に： (必須入力) ）
16	よかったと感じることはない

ここで改ページ

Q13

前問で、「よかったと感じることはない」を選択した理由はなんですか。（いくつでも）

✔ 複数回答　★ 必須回答　↓ とじる

1	身近なところに緑が少ない
2	魅力的な緑がない
3	緑に関する情報・知識がない
4	緑に関心がない
5	そのほか（具体的に： (必須入力) ）
6	特にない

ここで改ページ

Q14

あなたは普段、どのような機会に緑に触れていますか。（いくつでも）

✔ 複数回答　★ 必須回答

1	自宅でのガーデニング
2	区民農園、体験農園、観光農園等の利用
3	樹木や草花を楽しむ、感じることを目的とした公園利用・散策
4	自然観察

5 公園や自宅周辺の清掃や除草・花壇活動など地域の活動への参加

6 そのほか（具体的に： (必須入力) ）

7 緑に触れる機会はない

ここで改ページ

Q15
あなたが普段、緑に触れる機会を持たない理由を教えてください。（いくつでも）

✔ 複数回答　★ 必須回答

1 身近なところに緑が少ない

2 魅力的な緑がない

3 緑に関する情報・知識がない

4 時間がない

5 野外活動が好きではない

6 そのほか（具体的に： (必須入力) ）

7 特にない

ここで改ページ

Q16
今後（も）、あなたが行いたい、緑に関する活動は何ですか。（いくつでも）

✔ 複数回答　★ 必須回答

1 自宅でのガーデニング

2 区民農園、体験農園、観光農園等の利用

3 樹木や草花を楽しむ、感じることを目的とした公園利用・散策

4 自然観察

5 公園や自宅周辺の清掃や除草・花壇活動など地域の活動への参加

6 そのほか（具体的に： (必須入力) ）

7 特にない

ここで改ページ

Q17

葛飾区は多くの河川がありますが、区役所の施策において、水辺の有効活用ができていると思いますか。

⊙ 単一回答　★ 必須回答　↓ とじる

1. 有効活用できていると思う
2. 有効活用できているとは思わない
3. わからない

ここで改ページ

Q18

前問で【【Q17の選択内容】】と答えた理由を教えてください。

★ 必須回答

0/500文字

ここで改ページ

Q19

あなたが葛飾区内で親しみを感じる水辺はどこですか。（いくつでも）

✔ 複数回答　★ 必須回答

1. 荒川、江戸川の河川敷
2. 中川・新中川の親水テラス
3. 大場川・水元小合溜
4. 道路沿いのせせらぎ
5. そのほか（具体的に：(必須入力)）
6. 葛飾区内で親しみを感じる水辺は特にない

ここで改ページ

Q20
あなたは普段、葛飾区内の水辺をどのように利用していますか。（いくつでも）

✔ 複数回答　★ 必須回答

1. 水辺の公園で遊ぶ（子どもと一緒に遊ぶことも含む）
2. 水辺の公園で球技をする
3. 休息
4. 散策
5. ウォーキング、ジョギングなど健康づくり
6. サイクリング
7. 釣り
8. 自然観察
9. イベントに参加（マラソンフェスタなど）
10. 清掃活動
11. そのほか（具体的に：（必須入力））
12. 利用しない

ここで改ページ

Q21
葛飾区内の水辺の利用頻度を教えてください。

⊙ 単一回答　★ 必須回答

1. 週3回以上
2. 週1～2回
3. 月2～3回
4. 月1回
5. 2～3か月に1回
6. 半年に1回以下

ここで改ページ

Q22

葛飾区内の水辺を最も多く利用する時間帯を教えてください。

◉ 単一回答　★ 必須回答

1. 平日の午前中
2. 平日の午後
3. 平日の夜間
4. 休日の午前中
5. 休日の午後
6. 休日の夜間
7. そのほか（具体的に：（必須入力））

ここで改ページ

Q23

あなたが普段、葛飾区内の水辺を利用する機会を持たない理由を教えてください。
（いくつでも）

✔ 複数回答　★ 必須回答　↓ とじる

1. 近くに水辺がない
2. 魅力的な水辺がない
3. 近くにあるが、アクセスしづらい
4. 水辺に関する情報がない
5. 時間がない
6. 野外活動が好きではない
7. そのほか（具体的に：（必須入力））
8. 特にない

ここで改ページ

Q24

今後（も）、あなたが行いたい、水辺の利用方法は何ですか。（いくつでも）

✔ 複数回答　★ 必須回答

1	水辺の公園で遊ぶ（子どもと一緒に遊ぶことも含む）
2	水辺の公園で球技をする
3	休息
4	散策
5	ウォーキング、ジョギングなど健康づくり
6	サイクリング
7	釣り
8	自然観察
9	イベントに参加（マラソンフェスタなど）
10	清掃活動
11	そのほか（具体的に：（必須入力））
12	特にない

ここで改ページ

Q25

あなたが葛飾らしいまたは葛飾の魅力だと感じる、緑や水辺の風景を選んでください。（3つまで）

✔ 複数回答（3個まで選択）　★ 必須回答　↓ とじる

1 大きな芝生広場のある公園

2 大きな木のある道路

3 道路沿いのせせらぎ

4 植栽が豊かな住宅の街並み

5 社寺林のある風景

6 農地のある風景

7 花で彩られた駅前の風景

8 親水テラスのある河川の風景

9 河川敷の風景

10 自然豊かな川の風景

11 その他 (必須入力)

12 特にない

ここで改ページ

Q26

あなたのお住まい周辺は、公園が多いと思いますか。

⊙ 単一回答　★ 必須回答

1 多い

2 やや多い

3 ふつう

4 やや少ない

5 少ない

6 わからない

ここで改ページ

Q27

あなたは普段、葛飾区内の公園をどのように利用していますか。（いくつでも）

✔ 複数回答　★ 必須回答

1 遊び（子どもと一緒に遊ぶことも含む）

2 ウォーキング、ジョギングなど健康づくり

3 健康遊具での健康づくり

4 休息

5 散策

6 自然観察

7 ゲートボールやグラウンドゴルフの練習

8 花壇づくりや清掃活動

9 そのほか（具体的に：（必須入力））

10 利用しない

ここで改ページ

Q28

葛飾区内の公園の利用頻度を教えてください。

⊙ 単一回答　★ 必須回答

1 週3回以上

2 週1～2回

3 月2～3回

④ 月1回

⑤ 2～3か月に1回

⑥ 半年に1回以下

ここで改ページ

Q29
葛飾区内の公園を最も多く利用する時間帯を教えてください。

◉ 単一回答　★ 必須回答

① 平日の午前中

② 平日の午後

③ 平日の夜間

④ 休日の午前中

⑤ 休日の午後

⑥ 休日の夜間

⑦ そのほか（具体的に：(必須入力)）

ここで改ページ

Q30
あなたが普段、葛飾区内の公園を利用しない理由を教えてください。（いくつでも）

✔ 複数回答　★ 必須回答

1 近くに公園がない

2 魅力的な公園がない

3 近くにあるが、アクセスしづらい

4 公園に関する情報がない

5 時間がない

6 野外活動が好きではない

7 そのほか（具体的に：(必須入力)）

8 特にない

ここで改ページ

Q31

あなたにとって身近な公園は、どのような公園であることが望ましいですか。（3つまで）

✔ 複数回答（3個まで選択）　★ 必須回答　　↓ とじる

1	通勤・通学の通り道
2	子ども用の遊具が充実している
3	大きな広場がある
4	健康遊具が充実している
5	ベンチやテーブルなどの休憩施設が充実している
6	静かで落ち着いている
7	木陰をつくる大きな木がある
8	四季折々の花を楽しめる
9	施設や植物の手入れが行き届いている
10	見通しがよく安心感がある
11	カフェやキッチンカーなどの飲食施設がある
12	ユニバーサルデザインや障害のある子も、ない子も一緒に遊べる
13	生きものの生息場所となっている
14	そのほか（具体的に：（必須入力））
15	特にない

ここで改ページ

Q32

あなたは、区役所が行っている水辺・緑に関する以下の取組をご存じですか。ご存じの取組を全て選んでください。（いくつでも）

✔ 複数回答　★ 必須回答　　↓ とじる

1	花いっぱいのまちづくり活動
2	公園の自主管理

3	保存樹木・保存樹林の指定と維持費用の補助
4	民有地の緑化に関する補助（生垣造成、屋上・壁面緑化、樹木医の派遣）
5	グリーンバンク制度
6	区民農園
7	体験農園
8	観光農園
9	ふれあいレクリエーション農園
10	農業オリエンテーリング
11	風致地区制度
12	防災活動拠点
13	防災船着場
14	自然保護区域や自然再生区域
15	中川かわまちづくり
16	上記に知っている取組は無い

ここで改ページ

Q33

あなたが葛飾区内の緑に関して区役所に期待する取組は何ですか。特に重要だと思うものを3つまで選んでください。

✔ 複数回答（3個まで選択）　★ 必須回答　　↕ とじる

1	街路樹や公共施設の緑の維持管理を、より充実させる
2	民有地の大きな樹木、樹林地の管理への支援を拡充する（維持費用の助成、樹木医の派遣など）
3	農地の減少を防ぐため、手放される農地を有効活用する
4	区民が農とふれあえる機会を増やす（農業体験、食農教育活動など）
5	マンション、団地やビルの建築時の緑化指導や緑化への支援を拡充する
6	一戸建て住宅の緑化（樹木を植える、生け垣をつくるなど）への支援を拡充する
7	その他（具体的に：(必須入力)）

8 特にない

ここで改ページ

Q34

あなたが葛飾区内の水辺に関して区役所に期待する取組は何ですか。特に重要だと思うものを3つまで選んでください。

✔ 複数回答（3個まで選択） ★ 必須回答 ↕ とじる

1 水辺を使ったイベントを増やす

2 水辺に近づきやすくなるよう、施設の整備や改修を行う

3 利用ルールを緩和して、できることを増やす

4 キッチンカー、カフェなど飲食ができる場所や機会を増やす

5 船着場の常時利用や舟運など、水辺に親しめる事業を行う

6 鳥、昆虫などの生きものが生息できる植栽や水辺を充実させる

7 施設や植栽の維持管理を充実させる

8 水辺でのイベントやマルシェなど、区民がやりたいことをできる仕組みをつくる

9 そのほか（具体的に：（必須入力））

10 特にない

ここで改ページ

Q35

あなたが葛飾区内の公園に関して区役所に期待する取組は何ですか。特に重要だと思うものを3つまで選んでください。

✔ 複数回答（3個まで選択） ★ 必須回答 ↕ とじる

1 歩いて行ける身近な公園を増やす

2 古くなった公園をリニューアルする

3 目的や気分によって公園を選べるように、公園ごとに特色を持たせる

4 木陰をつくる大きな樹木を増やす

5 いろいろな遊び方、使い方ができる原っぱ、芝生広場を増やす

6 子どもが自由な発想で遊びを作りだす冒険遊び場（プレーパーク）のある公園を増やす

7	体に障害がある子も、ない子もいっしょに遊べる公園を増やす
8	利用ルールを緩和して、できることを増やす
9	キッチンカー、カフェなど飲食ができる場所や機会を増やす
10	かまどベンチ、マンホールトイレなど災害時に利用できる設備のある公園を増やす
11	雨水を一時的に貯められる機能を持つ施設をつくる
12	鳥、昆虫などの生きものが生息できる植栽や水辺を充実させる
13	施設や植栽の維持管理を充実させる（具体的に：(必須入力)）
14	公園でのイベントやマルシェなど、区民がやりたいことをできる仕組みをつくる
15	その他（具体的に：(必須入力)）
16	特にない

ここで改ページ

Q36

区民が緑や水辺とふれあう機会を増やすため、あなたが区役所に期待する取組は何ですか。特に重要だと思うものを3つまで選んでください。

✔ 複数回答（3個まで選択）　★ 必須回答　　↕ とじる

1	SNS、動画を活用した情報発信を充実させる
2	ガーデニング教室、庭木の管理に関する講座など、緑と触れ合うイベントを増やす
3	青空図書館、自然観察会など、子ども・子育て層向けのイベントを充実させる
4	体操、ウォーキング教室など、屋外でできる健康づくりのイベントを充実させる
5	緑のある場所や水辺でアウトドアレジャーなどを楽しめる場や機会をつくる
6	公園や道路の花壇活動などを体験できる機会や場所を増やす
7	そのほか（具体的に：(必須入力)）
8	特にない

ここで改ページ

Q37

緑化推進や水辺の活用によるまちの魅力向上のために、協働での取組が必要だと思い

ますか。

⊙ 単一回答　★ 必須回答　↓ とじる

1	必要
2	どちらかというと必要
3	どちらかというと不要
4	不要
5	わからない

ここで改ページ

Q38

緑や水辺によって、まちを今よりも魅力的なものにするために、あなたがしてみたいことはありますか。（いくつでも）

✔ 複数回答　★ 必須回答　↓ とじる

1	ガーデニング
2	清掃活動や花壇活動などを行うイベントへの参加
3	自然観察・生きもの調べなど自然に関わるイベントや活動への参加
4	フードフェス・マルシェなどのイベントへの参加
5	公園や道路の花の写真をSNSなどにアップする
6	素敵な緑や水辺を人に伝える
7	水辺や公園、道路などで行うイベントの企画
8	緑や水辺の活用について地域でアイデアを出す
9	近所で一緒に道路に面した場所に緑や花を植える
10	そのほか（具体的に：（必須入力））
11	特にない

ここで改ページ

Q39

前問の取組の妨げになっていることは何ですか。（いくつでも）

✔ 複数回答　★ 必須回答

0/10

1 ガーデニング ▼

2 清掃活動や花壇活動などを行うイベントへの参加 ▼

3 自然観察・生きもの調べなど自然に関わるイベントや活動への参加 ▼

4 フードフェス・マルシェなどのイベントへの参加 ▼

5 公園や道路の花の写真をSNSなどにアップする ▼

6 素敵な緑や水辺を人に伝える ▼

7 水辺や公園、道路などで行うイベントの企画 ▼

8 緑や水辺の活用について地域でアイデアを出す ▼

9 近所で一緒に道路に面した場所に緑や花を植える ▼

10 そのほか【【Q38_10FAの選択内容】】 ▲

1 取組方法に関する情報や相談場所がない

2 時間がない

3 人と関わるのが好きではない

4 同じ関心を持った人と出会う機会がない

5 関心がない

6 そのほか
（具体的に：(必須入力)）

7 特にない

閉じる

ここで改ページ

Q40
葛飾区内の緑や水辺について日ごろ感じていること、区役所に取り組んでほしいことについてのご提案、ご意見がありましたら、ご記入ください。

★ 必須回答 ↓ とじる

0/500文字

アンケートは以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。
送信ボタンを押してください。

送　信

© Macromill,Inc. All Rights Reserved.